

第3回自然環境保全基礎調査

動植物分布調査報告書

昆虫(チョウ)類

1988

環 境 庁

序

本報告書は、第3回自然環境保全基礎調査の一環として行われた動植物分布調査（全種調査）の結果を取りまとめたものである。

我が国に産する全ての動物種について、分布の現状とその時系列的変化を把握するためには、一つ一つの確実なデータ（いつ、どこに、何がいたか、それを誰が確認したか）を丹念に収集し、蓄積することが必要である。

しかし、動物は移動するものであり、身を守るため本能的に姿を隠す習性があるなど一般に人目に触れる機会が少く、また形態等が類似しているものがあり、多くの種について確実なデータを得ることはなかなか容易ではない。

従って、全国にわたるこの種の調査を実施するためには、種の分類、同定に関する確かな知識と能力を有する専門研究者の永年にわたる協力が不可欠である。

幸にも、本調査にあたっては、学会等を中心に約2,200名の専門家の理解と協力が得られることとなり、動物分布の把握に向けての第一歩を踏み出すことができた。

この全種調査は、哺乳類、鳥類、両生類・爬虫類、淡水魚類、昆虫類（トンボ類、チョウ類、セミ類、ガ類、甲虫類）、貝類（淡水産貝類及び陸産貝類）を対象として実施し、それらの結果を中間報告として9分冊の報告書にまとめたものである。

今回の調査では、約42万件の分布情報が寄せられ、およそ2,000枚の分布図が作成された。しかし、専門家の少なさや地域的偏在、あるいは調査期間の制約などの事情により、分布状況を的確に表現するに至らなかったものも相当数にのぼっている。このため検討会（分科会）において、それぞれの分布図毎に検討し、分布表現の程度を判定し、短いコメントを付すこととした。

このコメントは、今後調査を継続する際に、あるいは、本資料を活用する際に十分留意されるべきものである。

最後に、本調査の企画立案からまとめに至るまでご指導頂いた検討会の先生方並びに、貴重な時間をさいて分布情報の提供に御協力頂いた専門家の皆様に心から感謝の意を表する次第である。

発刊に寄せて

朝比奈 正二郎

今回報告する段階に至った第3回自然環境保全基礎調査に於て、昆虫類については、その中の知見の比較的豊富にある分類群について、出来得ればその群の全種類のリストをふまえて、全国的な分布図を作製し、今後の自然環境保全に役立てようと企図されたものである。

(対象昆虫) とり上げられた昆虫類は、蜻蛉類(既知全種203)、蝶類(既知全種286)、蛾類(イボタガ科、ヤママユガ科、スズメガ科、シャチホコガ科、ヤガ科カトカラ属、計251種)、セミ類(既知全種32)、甲虫類(ハンミョウ科23種8亜種、クワガタムシ科26種20亜種、オオキノコムシ科27種)である。

(完成度) 全国の好意ある多数の協力者によって寄せられた多量の資料が今般の調査の基礎となったわけであるが、昆虫類に於いては、忌憚なく云えば、古くより一般の関心が高く、又全国的に同好者研究者の多い蝶類を除いては十分期待に応える情報量に達しなかったことを卒直に認めざるを得ない。多大の労力をかけて作製された分布図であるが、なお資料不足に由来する完成度のひくいCクラスにとどまったものが少なかったことは、情報の蒐集に当っての手落ちも考えられ、強く反省を要する所であった。

(積極評課) 今回は過去の記録を多く省いたため、過去現在を通じての分布図としては完全を欠いたものも生じた。しかし得られた分布図に於ては1980年以後の新ししい知見が多くとり込まれている点を評価すべきであって、特に蝶類に於ての場合、特記すべき貢献としてあらわれていると思う。永年のデータの蓄積のある蝶類については、協力者も多く、情報も質的量的に豊富で、今回得られた結果を主体として、日本産蝶類の分布型を類型化するに進み得たことは大きな成果であったと思う。蛾類についても同じ目標があったと思われるが、邦産既知の蛾類は、300種足らずの蝶類の場合と異り、既知種4500に垂んとしている関係で、期待したレベルには達し得なかったことと思う。トンボ・セミ・甲虫類については予期し

た線まで達し得なかったことは残念であるが、これを契機として次回是一段の飛躍を期待することとしたい。

(今後の期待) 今回の調査報告の経験をふまえて、今後の基礎調査の一層の発展を期したいが、全国の研究者の中には的確な同定能力を持ち特に今回の如き分布調査及び分布論に興味を持つ人達も少くないので今後若し、このような研究者又は専門家グループに大きく依頼することによって、より正確なデータが迅速に得られる可能性があることも考慮に入れるべきであると思う。

冒頭に当たって、長期に亘り、今回の基礎調査に協力献身された全国各地の昆虫類研究家各位に深甚な感謝の意を表したい。

目 次

序

発刊によせて

I 調査方法	1
1 動植物分布調査（全種調査）概要	3
2 取りまとめの方法	12
3 昆虫（チョウ）類の調査実施状況	21
II 調査結果	25
第1 分布図	27
第2 集計表	287
第3 考察	297
1. 総括	297
2. 分布の概要	297
3. 日本産チョウ類における分布圏の拡大	322
4. 近年における迷チョウの土着	324
第4 まとめ	325
III 資料	
1 第3回自然環境保全基礎調査検討会及び分科会	
2 第3回自然環境保全基礎調査動植物分布調査実施要綱	
3 動植物分布調査票の記入のしかた	
4 調査対象種一覧表	
5 調査協力者名簿	
6 分布図索引（和名50音順）	

I 調査方法

1 動植物分布調査（全種調査）概要

(1) 目 的

本調査は、第3回自然環境保全基礎調査・動植物分布調査の一環として動物の主要分類群の全種（または一部の種）を対象に専門研究者の参加・協力を得て実施したものである。（図1-1）

自然環境保全基礎調査の目的は、全国的視点から我が国における自然環境の現状を科学的に把握し、自然環境保全施策の推進のための基礎資料を提供することである。

野生動物についていえば、人間を含むあらゆる動物は、大気・水・土地やその上に生育する植物（植生）等の環境に依存して生息するとともに、生態系を構成する一員としてそれを支えている側面があるが、中には、環境条件の変化等さまざまなインパクトにより絶滅の危機に頻している種もあり、一方、一部の帰化動物に代表されるように一定条件の下で分布域を著しく拡大するような種もある。

このため、野生動物に関する自然環境保全施策として、当面、絶滅のおそれのある種の保護や、人間生活との関わりの中で適切な保護管理を要する種に対する施策が優先的に講じられているところである。

基礎調査の一環として行う動植物分布調査（全種調査）は、これら施策の対象となるべき種の洗い出しや、今後講ずべき施策の検討のための、基礎的かつ客観的資料を提供する目的で、究極的には我が国に産する動物群の全種に関する全国的分布の現状及び経年変化の状況を把握しようとするものである。

(2) 調査の内容及び方法

全種調査は、究極的にはわが国に産する全ての動物種について、分布の現状を把握するとともに調査の積み重ねにより経年変化状況も把握しようとするものである。

このために必要な最小限の情報は「いつ、どこに、何が」いたかということである。また、必要に応じ情報源をたどるためには「誰が」報告したかということも重要である。

本調査では、調査対象種が多く、また、多数の調査員（専門研究者）の協力を得て実施するため、調査項目は上記に示すできるだけ単純かつ客観的な資料を得るためのものに絞りこんだ。

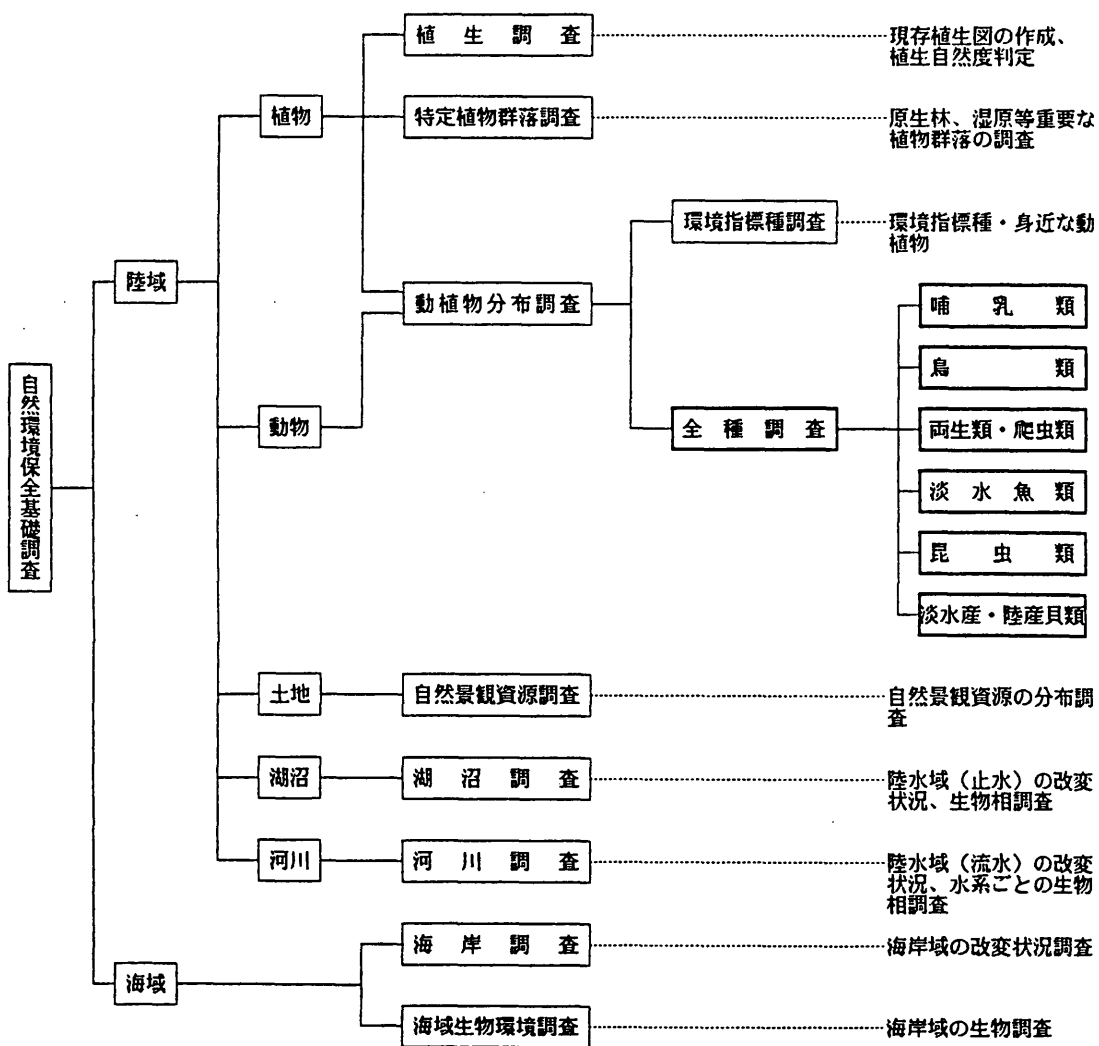
これらの調査項目に関する具体的な調査方法及び調査体制ならびに今回調査における調査対象種については、昭和56年度に実施した「第3回自然環境保全基礎調査（動物分布調査）における調査手法の検討調査」に引き続き、環境庁が設置した自然環境保全基礎調査検討会の下に動物の各分類群毎に設けた分科会（以下「分科会」という。）における検討作業を経て下記のとおり決定された。

① 調査対象種

今回の調査では、生態系の主要な位置を占め、生物学的知見の蓄積がある等の要件を満たし、さらに調査実施体制の構築が可能という観点を加味して次の分類群に属する全部又は一部の種・亜種を対象とした。

- ア. 哺乳類 (全種)
 イ. 鳥類 (＃)
 ウ. 両生類・爬虫類 (＃)
 エ. 淡水魚類 (＃)
 オ. 昆虫類 (トンボ・チョウ・セミ類の全種及びガ・甲虫類の一部)
 カ. 陸産及び淡水産貝類 (全種)

図 I - 1 第3回自然環境保全基礎調査骨子



これらの調査対象種について、本調査における種名の呼称の統一をはかるとともに既存の知見を整理するため、調査に先立ち、分類群毎の種名目録等を「動物分布調査のためのチェックリスト」としてとりまとめた。

種名目録は、調査対象種の学名及び和名を対応させるとともに、電算処理のためのコード番号が付されている。（巻末資料参照）

② 分布地

調査対象種の分布地を記録する方法としては、地名呼称によるあいまいさを避け、電算処理を容易とするために、「標準地域メッシュ・システム」（昭 48. 行政管理庁告示第143号「統計に用いる標準地域メッシュ及び標準地域メッシュコード」）による第3次地域区画（「基準地域メッシュ」または「3次メッシュ」ともいう。本報告書では以下「3次メッシュ」という。）を基本とした。この3次メッシュの大きさは、タテ（緯度差）30秒、ヨコ（経度差）45秒であり、概ね1km×1kmである。

なお、補助情報として従来どおりの地名による表記も採用し、メッシュコードのチェックが可能となるようにした。

なお、今回調査では、一部過去の記録も収集したため、3次メッシュの特定が不可能な場合には「第2次地域区画」（以下「2次メッシュ」という。約10km×10kmの範囲で、1/25,000地形図1枚分に対応する。）により記録した。

③ 調査時期

今回調査は、58年度より調査体制の構築を図り、全分類群について59年度に実施した。（さらに、とりまとめの段階で60年度以降のデータも若干補足されている。）

ただし、今回調査は、全種調査として第1回目のものであり、過去の記録、標本等であっても、現在の分布を反映していると考えられる情報については積極的に収集した。

調査年月日は、実際に記録（観察もしくは標本採集）された時点を調査票に記入し、過去の記録については、さらに調査票記入者名のほかに、観察または採集者名及び標本所蔵場所を明記することとした。

（なお、鳥類のみ59年12月～60年1月の期間に限定して一斉に現地調査が実施された。）

④ 調査体制

第3回基礎調査の動植物分布調査では、全国各地の調査員（専門研究者）が、自らのフィールドで得た情報を直接環境庁（鳥類については日本野鳥の会）に報告し、環境庁はこれらの報告を集大成して調査員に還元することにより、今後の継続的情報収集に資する調査網づくりと調査精度の向上を目指す調査体制を採用した。

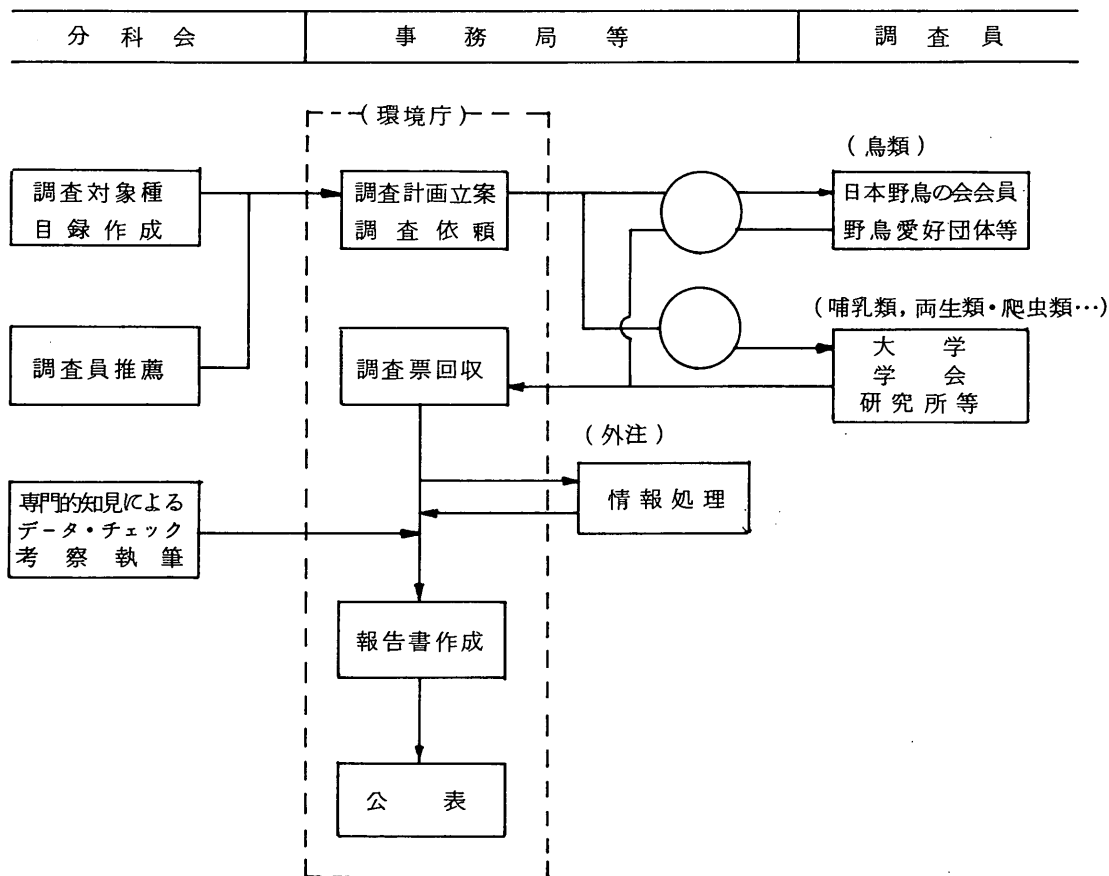
特に動物の分布調査においては、そもそも目指す動物との出会いの機会は偶然性に左右され、少数の調査員に限られた期間に十分なデータを収集することは困難であるため、継続的・反復的調査の必要性が高い。

また、本調査（全種調査）では、調査対象分類群が多岐に上ることから、調査員は、種の分類・同定に関する確かな知識と能力を備えていることが必須である。

このため、原則として分類群毎に、分科会検討員や学会等から推薦されただけ広範な専門研究者に対し、環境庁から直接、調査への協力要請を行い、承諾頂いた方々について調査員として依頼し、調査体制を作った。

調査員数は全分類群を通じ、延べ（2,225）名である。

図 I - 2 調査体制



注： ○ は、発送等の請負者を示す。

⑤ 実施方法

各調査員には、調査実施要綱等（巻末資料参照）のほか、次に示す調査票、メッシュ地形図を送付し、原則として昭和60年3月31日までに調査結果を環境庁あて返送するよう依頼した。

ア. 調 査 票

調査票は、分類群別に、図Ⅰ－３に示すような２種類の様式のものを使用した。これは、調査員の作業の便を考慮したもので、「調査地」毎の情報整理には、縦長の調査票、「種」毎の情報整理には、横長の調査票というように自由に選択して使用できることとした。

イ. メッシュ地形図

調査地（分布地）のメッシュコードを読みとるために、環境庁が国土地理院の承認を得て、５万分の１地形図上に３次メッシュ区画線等を加刷した「１／５万メッシュ地形図」を作成し、各調査員より申告のあった調査地域分を配付した。（図Ⅰ－４）

自然環境保全基礎調査動植物分布調査票

E		0 6		チョウ類	
調査者名		調査者コード			
(姓)		(名)			
カタカナ		メッシュコード			
調査年月日		年		月	
1 9					
日		日		日	
調査地		都道府県			
		市区町村			

0001	チャマダラセセリ	0031	イチモンジセセリ	0061	キチョウ	0091	ムラサキツバメ
0002	ヒメチャマダラセセリ	0032	ヒメイチモンジセセリ	0062	タイワンキチョウ	0092	ウラゴマダラシジミ
0003	ミヤマセセリ	0033	オガサワラセセリ	0063	ツマグロキチョウ	0093	チョウセンアカシジミ
0004	ダイミョウセセリ	0034	ユウレイセセリ	0064	ホシボシキチョウ	0094	ウラキンシジミ
0005	コウトウシロシタセセリ	0035	クロホシセセリ	0065	ヤマキチョウ	0095	ムモンアカシジミ
0006	アオバセセリ	0036	クロセセリ	0066	スジボソヤマキチョウ	0096	アカシジミ
0007	キバネセセリ	0037	オオシロモンセセリ	0067	モンキチョウ	0097	ウラナミアカシジミ
0008	オキナワヒロウドセセリ	0038	ウスバシロチョウ	0068	ミヤマモンキチョウ	0098	オナガシジミ
0009	テツイロヒロウドセセリ	0039	ヒメウスバシロチョウ	0069	フィールドダイダイモンキチョウ	0099	ミズイロオナガシジミ
0010	タイワンアオバセセリ	0040	ウスバキチョウ	0070	ウラナミシロチョウ	0100	ウスイロオナガシジミ
0011	ギンイチモンジセセリ	0041	ギフチョウ	0071	ウスキシロチョウ	0101	ダイセンシジミ
0012	アカネキマダラセセリ	0042	ヒメギフチョウ	0072	クモマツマキチョウ	0102	ウラクロシジミ
0013	カラフトタカネキマダラセセリ	0043	ジャコウアゲハ	0073	ツマキチョウ	0103	ミドリシジミ
0014	ホシチャバネセセリ	0044	ベニモンアゲハ	0074	ツマベニチョウ	0104	メスアカミドリシジミ
0015	ホソバセセリ	0045	ミカドアゲハ	0075	メスジロキチョウ	0105	アイノミドリシジミ
0016	バナナセセリ	0046	アオスジアゲハ	0076	モンシロチョウ	0106	ヒサマツミドリシジミ
0017	スジグロチャバネセセリ	0047	タイワンタイマイ	0077	スジグロシロチョウ	0107	キリシマミドリシジミ
0018	ヘリグロチャバネセセリ	0048	オナシアゲハ	0078	エゾスジグロシロチョウ	0108	フジミドリシジミ
0019	コキマダラセセリ	0049	キアゲハ	0079	タイワンモンシロチョウ	0109	ウラジロミドリシジミ
0020	アサヒナキマダラセセリ	0050	ナミアゲハ	0080	クロテンシロチョウ	0110	オオミドリシジミ
0021	ヒメキマダラセセリ	0051	シロオビアゲハ	0081	チョウセンシロチョウ	0111	クロミドリシジミ
0022	アカセセリ	0052	オナガアゲハ	0082	タイワンシロチョウ	0112	エゾミドリシジミ
0023	キマダラセセリ	0053	クロアゲハ	0083	ナミエシロチョウ	0113	ハヤシミドリシジミ
0024	ワイルマンキマダラセセリ	0054	ナガサキアゲハ	0084	カワカミシロチョウ	0114	ヒロオビミドリシジミ
0025	ネッタйкаセセリ	0055	アカネアゲハ	0085	ベニシロチョウ	0115	ジョウザンミドリシジミ
0026	コチャバネセセリ	0056	モンキアゲハ	0086	イワサキシロチョウ	0116	トラフシジミ
0027	オオチャバネセセリ	0057	カラスアゲハ	0087	ミヤマシロチョウ	0117	イワカワシジミ
0028	チャバネセセリ	0058	ヒヤマカラスアゲハ	0088	エゾシロチョウ	0118	カラスシジミ
0029	トガリチャバネセセリ	0059	ヒメシロチョウ	0089	ルーミスシジミ	0119	ミヤマカラスシジミ
0030	ミヤマチャバネセセリ	0060	エゾヒメシロチョウ	0090	ムラサキシジミ	0120	ベニモンカラスシジミ

0121	エソリンゴシジミ	0163	ミヤマシジミ	0205	オオウラギンヒョウモン	0247	リュウキュウムラサキ
0122	コツバメ	0164	アサマシジミ	0206	ギンボシヒョウモン	0248	ヤエヤマムラサキ
0123	キマダラルリツバメ	0165	カラフトリシジミ	0207	ツマグロヒョウモン	0249	イシガキチョウ
0124	ベニシジミ	0166	キヤムラシジミ	0208	ウラベニヒョウモン	0250	スミナガシ
0125	ゴイシシジミ	0167	ウラギンシジミ	0209	オオイチモンジ	0251	コムラサキ
0126	シロモンクロシジミ	0168	テングチョウ	0210	イチモンジチョウ	0252	ゴマダラチョウ
0127	カクモンシジミ	0169	ムラサキテングチョウ	0211	アサマイチモンジ	0253	アカホシゴマダラ
0128	クロシジミ	0170	アサギマダラ	0212	ジロミスジ	0254	オオムラサキ
0129	ウラナミシジミ	0171	タイワンアサギマダラ	0213	ヤエヤマイチモンジ	0255	フタオチョウ
0130	オジロシジミ	0172	ヒメコモンアサギマダラ	0214	コムスジ	0256	ヒョウマダラ
0131	アマミウラナミシジミ	0173	ルソンアサギマダラ	0215	リュウキュウミスジ	0257	ヒメウラナミジャノメ
0132	ヒメウラナミシジミ	0174	リュウキュウアサギマダラ	0216	ミスジチョウ	0258	ウラナミジャノメ
0133	オガサワラウラナミシジミ	0175	コモンマダラ	0217	オオミスジ	0259	リュウキュウウラナミジャノメ
0134	ルリウラナミシジミ	0176	ミナミコモンマダラ	0218	フタスジチョウ	0260	ヤエヤマウラナミジャノメ
0135	シロウラナミシジミ	0177	ウスコモンマダラ	0219	ホシミスジ	0261	マサキウラナミジャノメ
0136	オナガウラナミシジミ	0178	スジグロカバマダラ	0220	トラフタテハ	0262	ベニヒカゲ
0137	ムラサキオナガウラナミシジミ	0179	スジグロシロマダラ	0221	コヒョウモンモドキ	0263	クモベニヒカゲ
0138	ヤマトシジミ	0180	カバマダラ	0222	ウスイロヒョウモンモドキ	0264	タカネヒカゲ
0139	ハマヤマトシジミ	0181	オオカバマダラ	0223	ヒョウモンモドキ	0265	ダイセツタカネヒカゲ
0140	シルビアシジミ	0182	オオゴマダラ	0224	サカハチチョウ	0266	ジャノメチョウ
0141	クロホシヒメシジミ	0183	マルバネルリマダラ	0225	アカマダラ	0267	モリシロジャノメ
0142	ホリイコシジミ	0184	クルーギールリマダラ	0226	キタテハ	0268	ツマジロウラジャノメ
0143	ジョウザンシジミ	0185	マサキルリマダラ	0227	シータテハ	0269	ウラジャノメ
0144	オオルリシジミ	0186	ルリマダラ	0228	エルタテハ	0270	ヒメキマダラヒカゲ
0145	カバイロシジミ	0187	ツمامラサキマダラ	0229	ルリタテハ	0271	クロヒカゲ
0146	ゴマシジミ	0188	シロオビマダラ	0230	キベリタテハ	0272	クロヒカゲモドキ
0147	オオゴマシジミ	0189	シロモンルリマダラ	0231	ヒオドシチョウ	0273	ナミヒカゲ
0148	ルリシジミ	0190	クロイワマダラ	0232	クジャクチョウ	0274	シロオビヒカゲ
0149	スギタニルリシジミ	0191	ガランビマダラ	0233	コヒオドシ	0275	オオヒカゲ
0150	ヤクシマルリシジミ	0192	カバタテハ	0234	ヤンキーコヒオドシ	0276	キマダラモドキ
0151	オガサワラシジミ	0193	タイワンキマダラ	0235	ヒメアカタテハ	0277	ヤマキマダラヒカゲ
0152	タッパンルリシジミ	0194	ヒメカラフトヒョウモン	0236	アカタテハ	0278	サトキマダラヒカゲ
0153	サツマシジミ	0195	カラフトヒョウモン	0237	アオタテハモドキ	0279	ヒメジャノメ
0154	タイワンクロホシシジミ	0196	アサヒヒョウモン	0238	タテハモドキ	0280	リュウキュウヒメジャノメ
0155	ゴイシツバメシジミ	0197	ヒョウモンチョウ	0239	ジャノメタテハモドキ	0281	コジャノメ
0156	ツシマウラボシシジミ	0198	コヒョウモン	0240	イワサキタテハモドキ	0282	ヒメヒカゲ
0157	リュウキュウウラボシシジミ	0199	ウラギンスジヒョウモン	0241	ハイイロタテハモドキ	0283	シロオビヒメヒカゲ
0158	コウトウシジミ	0200	オオウラギンズジヒョウモン	0242	ルリモンタテハモドキ	0284	ウスイロコノマチョウ
0159	ツバメシジミ	0201	ミドリヒョウモン	0243	コノハチョウ	0285	クロコノマチョウ
0160	タイワンツバメシジミ	0202	クモガタヒョウモン	0244	キオビコノハ	0286	オビコノマチョウ
0161	クロツバメシジミ	0203	メスグロヒョウモン	0245	イワサキコノハ		
0162	ヒメシジミ	0204	ウラギンヒョウモン	0246	メスアカムラサキ		

その他の確認種

環境庁自然保護局企画調整課自然環境調査室

自然環境保全基礎調査動植物分布調査票

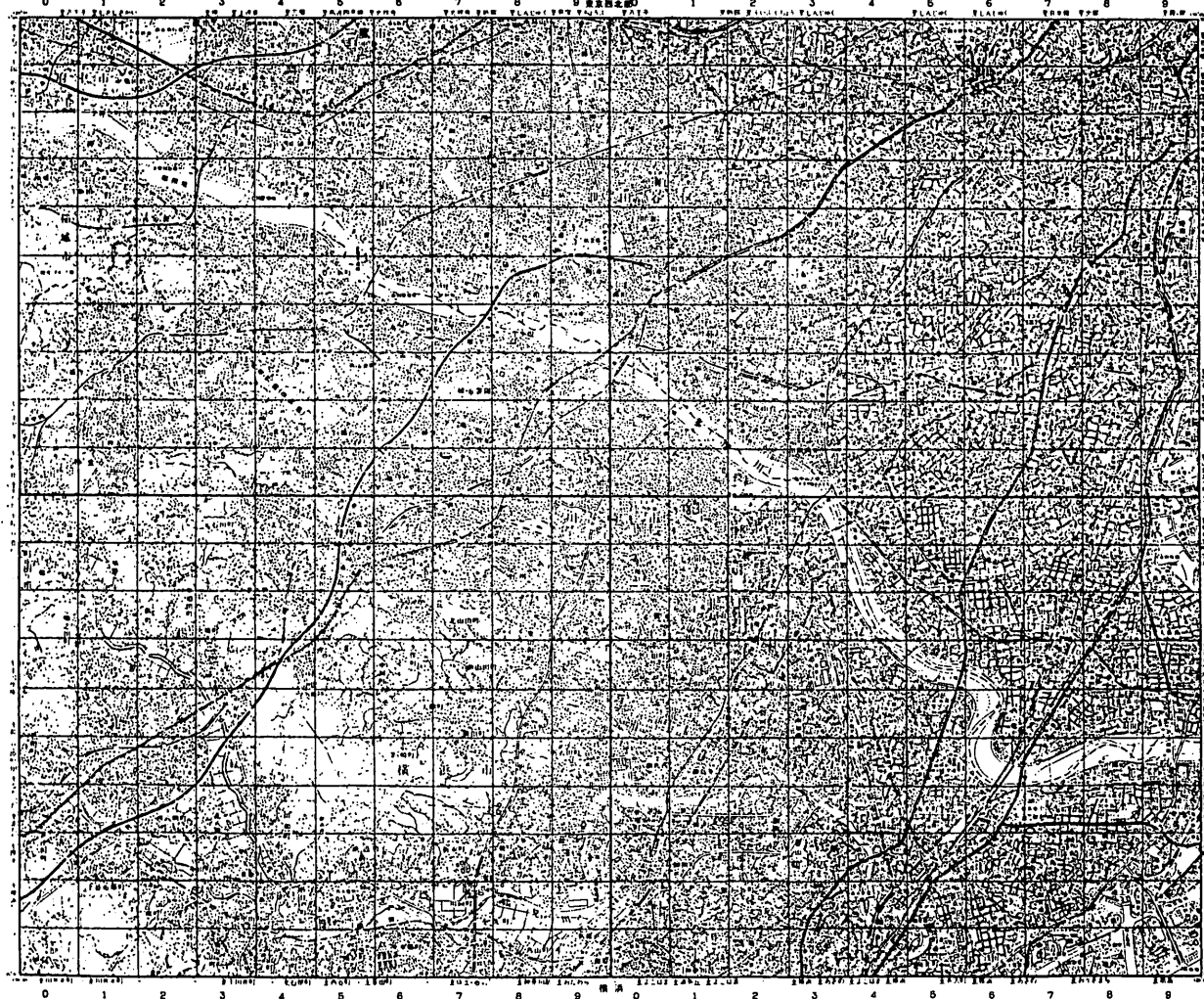
N		06	チ ョ ウ 類
調査者名	調査者コード	種名コード	
(姓) _____ (名) _____	_____	_____	
カタカナ	採集者名	種名	
_____	_____	_____	_____

メッシュコード	調査地	年	月	日	生息環境
		1	9		
		1	9		
		1	9		
		1	9		
		1	9		
		1	9		
		1	9		
		1	9		

		1	9		
		1	9		
		1	9		
		1	9		
		1	9		
		1	9		
		1	9		
		1	9		
		1	9		
		1	9		
		1	9		
		1	9		

標本所蔵場所

自然環境保全基礎調査用メッシュ地形図

[illegible][illegible]

メッシュコードの読み方例

標準地盤メッシュコードは例えば
●のメッシュでは

6441 52 37

6441-52 6441-53

6441-52-37

6441-42 6441-43

明治47年創設
昭和52年第2回開港
昭和56年再正
1. 資料：昭和55年開港計画：25,000坪計画
2. 開港：開港地と開港場の地界は一様である

1:50,000 東京西南部

昭和37年3月20日発行 (4色刷) 発行所(印刷)東京市
国土地理院
東京市本町三丁目一番地

この地図は、国土地理院地形図の縮尺で用いた、国土地理院
五分の一の縮尺で用いたものである。
(土地番号) 4257、4258、4259、4260

EX-4

5339-25

2. 取りまとめの方法

(1) 情報処理の内容と方法

情報処理は図 I - 5 の手順で進められた。

① 入 力

調査員より返送された調査票は、記入の不備等を点検した上で、分類群別、調査票種別（タテ型、ヨコ型）毎に整理番号を付し、分類群別マスターファイル（MT）を作成した。

なお、調査地（分布地）のメッシュコードは、前述のとおり行政管理庁告示の「標準地域メッシュシステム」に則り、日本工業規格（JIS C 6304）として指定されている区分方法（経緯度法）を用いている。（図 I - 6 参照）

② データの点検

データの記入ミスあるいは調査対象種の誤認等を訂正するため、次に示す3通りの方法でデータの点検を行い、必要に応じ調査者に照会するなどにより、所要の訂正を行った。

なお、本作業を行うにあたっては、マスターファイルを編集し、作業用ファイルを作成するとともに、分布図出力及び調査票検索システムを作成した。

点検の結果、訂正等を要するデータについては、マスターファイルに遡って訂正した。

ア. 論理チェック

データの中にあってはならない空白もしくは許されたもの以外の数字、符号、文字がないかどうかを点検するとともに、各項目のコード番号として用いられている範囲（レンジ）外のコード番号がないかどうかを点検した。

イ. メッシュコードの点検

国土数値情報（KS-200：土地利用面積ファイル）との照合を行い、明らかに陸地（内水面を含む）を含まないメッシュコードの記入された調査票を検索し、調査票記入の調査地（地名）もしくは調査者への照会に基づき訂正を行った。

ウ. 専門家による点検

各分類群毎の分科会検討委員等によって抽出された、分布図上で、明らかに誤りと考えられるデータ、これまでの知見に照らして疑問のあるデータ、1960年以前のデータ（淡水魚類のみ）について、調査票に遡って点検を行い、必要に応じ調査員、鳥類については日本野鳥の会各支部等に照会を行った上で所要の訂正または削除を行った。

③ 分布図及び集計表の出力

上記の作業を経た訂正後のマスターファイルを再編集し、本報告書掲載の分布図及び集計表の出力を行った。

(2) 調査結果の検討及び考察

調査結果については、分類群毎に分科会で下記のとおり検討を行った。

① 分布図の表示単位

本調査の原データは、前述の通り3次メッシュ（約1 km×1 km）単位で収集されたが、今回のとりまとめにおいて作成する分布図は次の観点から2次メッシュ（約10 km×10 km）単

位で表示することとした。

ア. 全国的分布図として見る場合、見易いものであること。

イ. 生息地の公表による乱獲を防止するため、生息地が特定されないようにできるだけ広い単位であること。

ウ. 各種開発に当たり、配慮すべき地域（貴重種の生息地等）に関する基礎的情報をあらかじめ提供することは、自然環境保全上重要であるので、上記イ. の観点も踏まえ公表可能な表示単位であること。

② 公表を控えるべきデータの取り扱い

第2回自然環境保全基礎調査・動物分布調査では、上記①－イ. の観点から、分布地を全て非公表とした調査対象種もあった。

今回調査でも、調査員からの申し出により、3次メッシュでの公表を差し控えるべきデータが若干数報告されたが、上記①－ウ. の趣旨に則り、調査員の了解が得られたデータについては、2次メッシュ情報のみ入力し、分布図に表示することとした。

③ 分布図についてのコメント

今回調査では、調査の期間が限られており、又分類群あるいは地域によっては、十分な調査員数が確保できなかったこと等から、調査対象種の全てについて従来から知られている分布パターンを十分表わした分布図が作成されたわけではない。

そこで、分布図の誤った解釈や不適切な引用を避けるために、各分科会検討員によりそれぞれの調査対象種がどの程度従来から知られている分布パターンを表現できているかについて類型区分の判定を行い、分布図上に短いコメントとして明記することとした。

④ 考 察

調査結果に関する考察は、各分科会において選出された担当者により執筆された。

図 I - 5 情報処理の手順

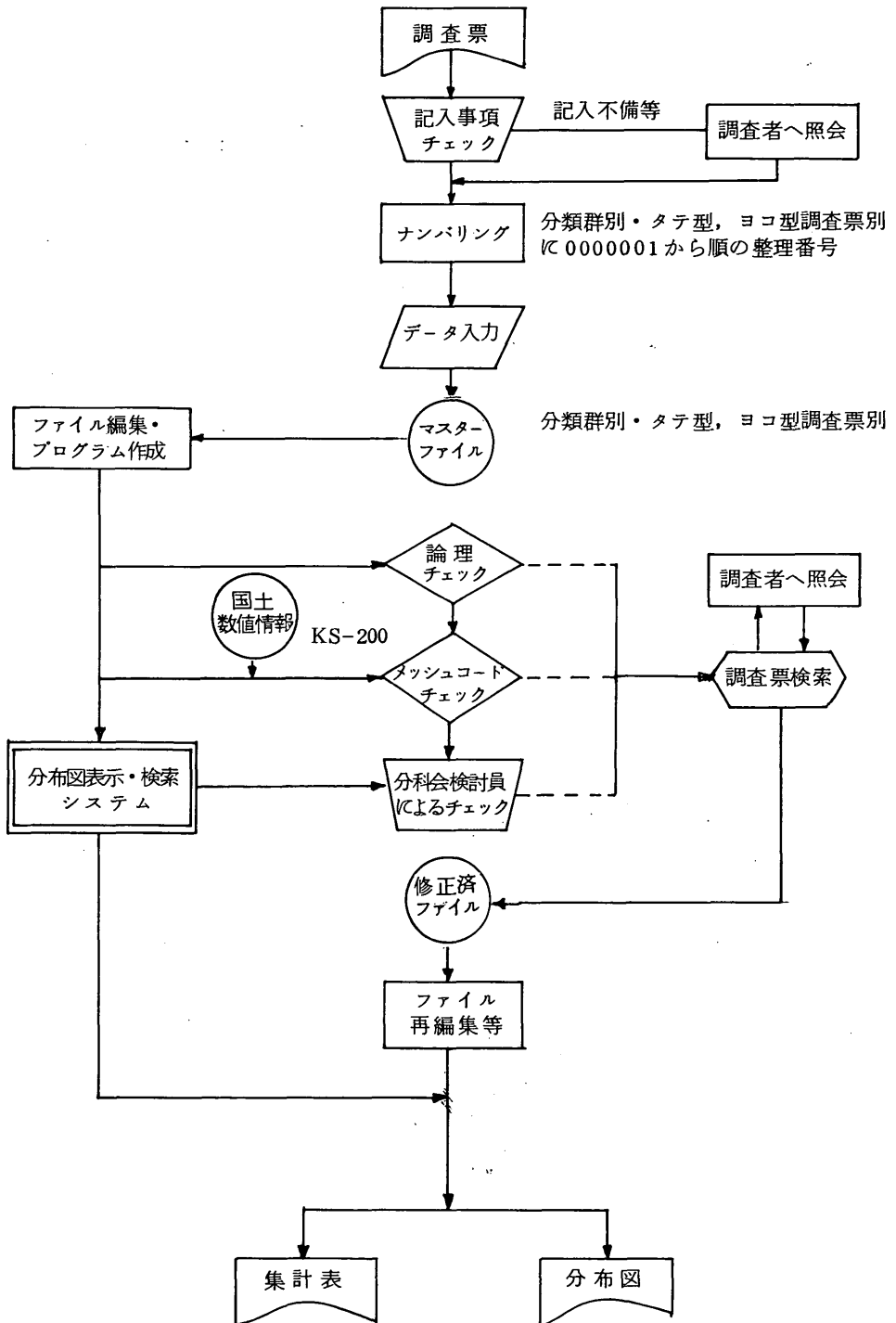
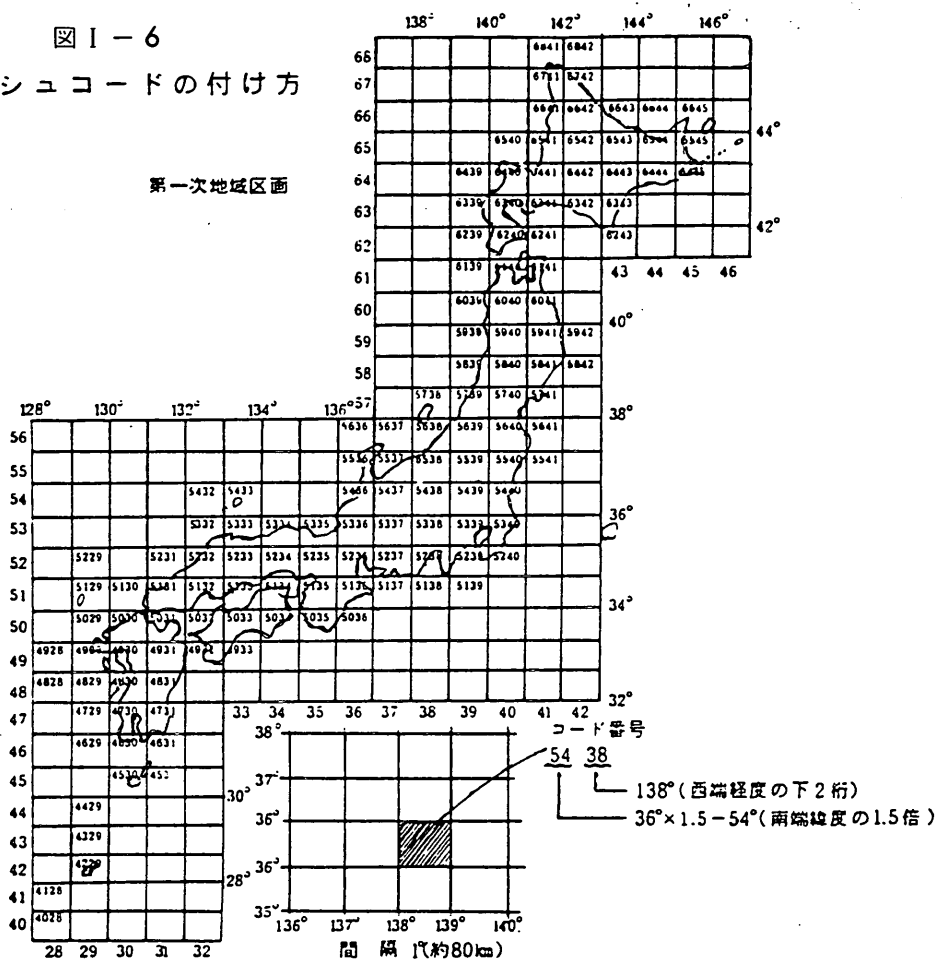
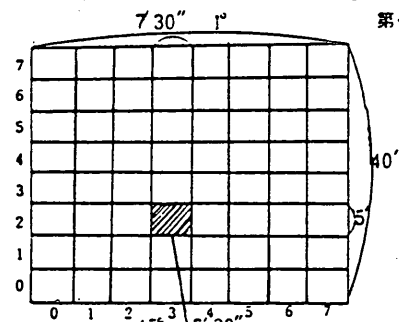


図 I - 6
メッシュコードの付け方



第一次地域区画のコード番号の付け方



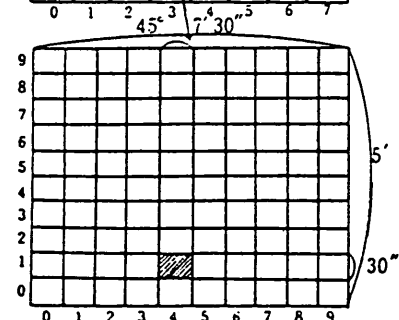
第二次地域区画は、第一次地域区画を8分割したもので、国土地理院 1/25万地形図の1枚に当る。大きさは5' × 7'30"で約10 × 10kmである。

コード番号は、例えばBは

5438 - 23

第二次地域区画のコード番号

第一次地域区画のコード番号

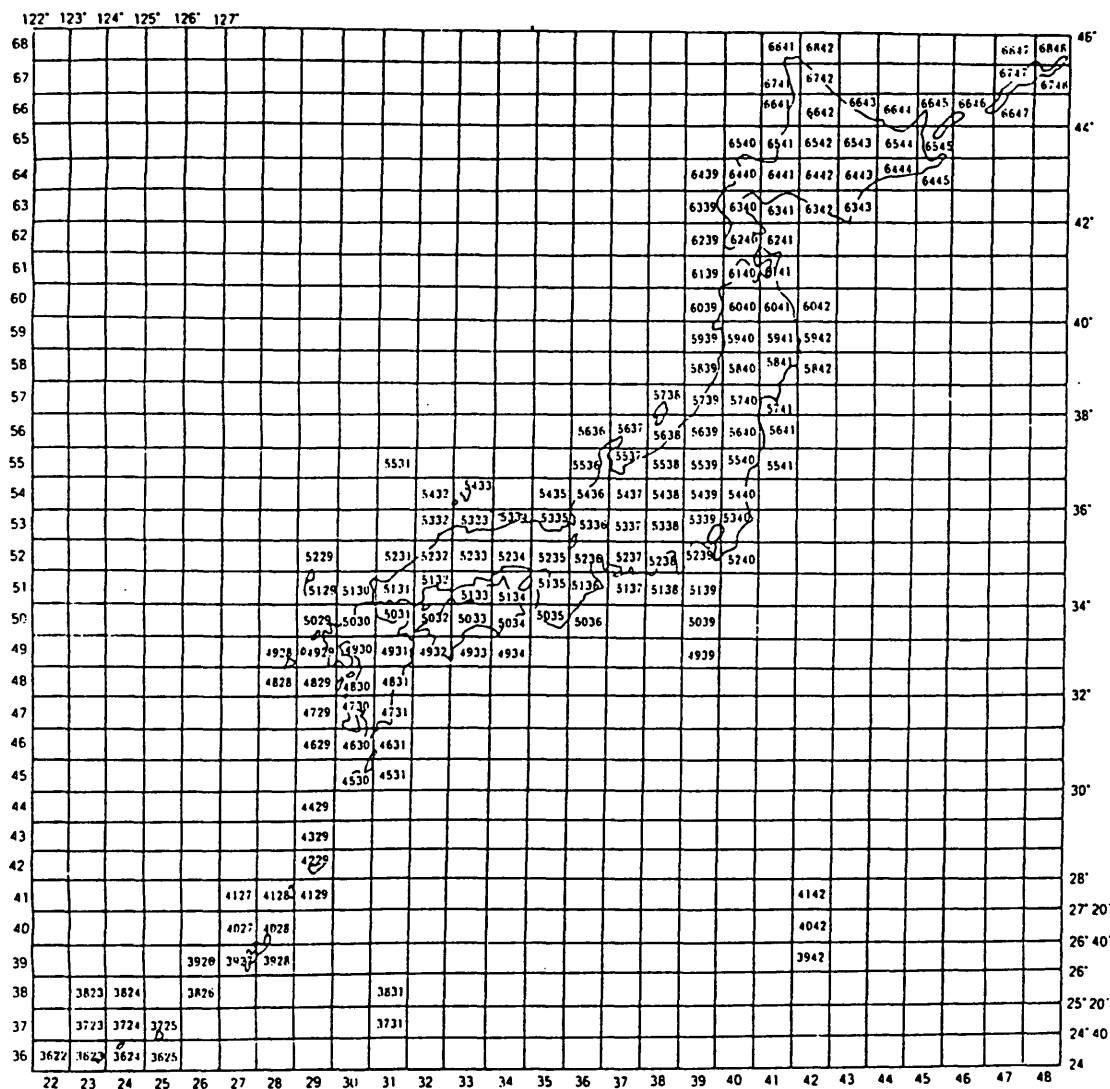


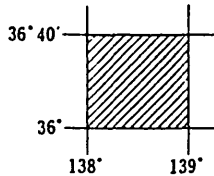
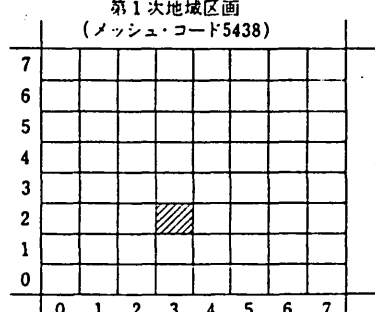
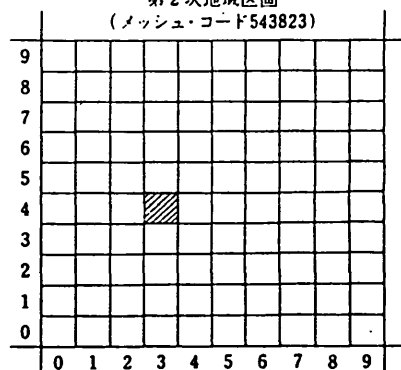
(基準メッシュ、1kmメッシュ)
第二次地域区画を10分割したもので、大きさは30" × 45"で、約1 × 1kmである。
コード番号は、例えばCは

5438 - 23 - 14

一次 二次 三次

第 1 次地域区画图



	メッシュ・コードのけた数	メッシュ・コードの付け方	例
第1次地域区画	4けた	<u>上2けた</u> (南端緯度)×1.5 <u>下2けた</u> (西端経度の下2けた)	〈南端緯度36°, 西端経度138°の場合〉 (上2けた) = $36 \times 1.5 = 54$ (下2けた) = 38 ↓ メッシュ・コードは5438 
第2次地域区画	6けた	<u>上4けた</u> 第1次地域区画のメッシュ・コード <u>5けた目</u> 第1次地域区画の縦の等分区画に南から0～7の番号を付け、これをそれぞれの区画を示す数字とする。 <u>6けた目</u> 第1次地域区画の横の等分区画に西から0～7の番号を付け、これをそれぞれの区画を示す数字とする。	▨の地域のメッシュ・コードは543823 第1次地域区画 (メッシュ・コード5438) 
基準地域メッシュ (第3次地域区画)	8けた	<u>上6けた</u> 第2次地域区画のメッシュ・コード <u>7けた目</u> 第2次地域区画の縦の等分区画に南から0～9の番号を付け、これをそれぞれの区画を示す数字とする。 <u>8けた目</u> 第2次地域区画の横の等分区画に西から0～9の番号を付け、これをそれぞれの区画を示す数字とする。	▨の地域のメッシュ・コードは54382343 第2次地域区画 (メッシュ・コード543823) 

(3) 分類群別の調査状況

分類群別の調査状況を表 I - 1 に示す。

表 I - 1 分類群別調査状況

分 類 群	(1) 調査対象 種 数	(2) 報告のあった 種 数	(3) 延べ報告件数 (分布情報総数)	(4) 延べ報告 メッシュ数 (3次メッシュ)	(5) 報 告 メッシュ数 (2次メッシュ)	(6) 調査員数
哺 乳 類	129	107	3,997	3,330	508	41
鳥 類	538	321	216,678	183,236	2,401	1,619
両生類・爬虫類	144	126	8,164	7,002	1,152	59
淡水魚類	195	158	20,161	14,109	1,058	40
昆 虫 類						
ト ン ボ 類	203	169	19,203	14,980	1,092	57
チ ョ ウ 類	286	258	91,405	70,223	1,966	186
セ ミ 類	32	32	1,581	1,394	388	28
ガ 類	251	227	21,598	14,052	630	59
甲 虫 類	104	55	1,792	1,346	308	27
陸産及び淡水産貝類						109
陸 産 貝 類	647	511	32,825	25,901	1,949	(102)
淡 水 産 貝 類	117	100	5,130	4,405	823	(80)
計	2,646	2,064	422,534	339,978	12,275 (全国 4,730 メッシュ)	2,225

注：()内は参考

注

- (1) 調査対象種数： 各報告書の巻末資料に示された調査対象種（亜種）（コード番号が付されたもの）の数である。
- (2) 報告のあった種数： 本調査の結果、分布図が作成された種（亜種）の数である。
- (3) 延べ報告件数： 各調査票に記載された報告を、「種－調査者－メッシュコード－調査年月」（分布情報総数）という単位で整理して得られた分布情報の総数である。
- (4) 延べ報告メッシュ数： 上記(3)の分布情報から、同一種、同一メッシュにおける報告を統合し、（3次メッシュ）「種－メッシュコード」という単位で整理して得られた数である。
（各報告書Ⅱ－2「集計表」に示された「種別・都道府県別集計表」の総合計の数。）

(5) 報告メッシュ数： 当該分類群において、いずれかの種の報告が得られた2次メッシュの数である。
(2次メッシュ)

(各報告書Ⅰ－3，図Ⅰ－7に表示されたメッシュ数。)

(6) 調査員数： 各分類群毎に、報告を寄せられた調査員の数。

(但し、陸産及び淡水産貝類は、重複する調査員が大半を占めるため、まとめて示した。)

3 昆虫（チョウ）類の調査実施状況

(1) 調査対象種

日本産鱗翅目のうちチョウ類の全種（286種）を種レベルで調査の対象とした。

(2) 調査員

分科会検討員より推薦された専門研究者の中から、186名が参加・協力した。

調査員の居住地（都道府県）別人数は、表1-2のとおりである。

表1-2 調査員居住地（都道府県）別人数

北海道	6	東京	5	滋賀	3	香川	2
青森	4	神奈川	11	京都	3	愛媛	4
岩手	5	新潟	4	大阪	8	高知	4
宮城	3	富山	3	兵庫	4	福岡	10
秋田	0	石川	0	奈良	1	佐賀	3
山形	4	福井	1	和歌山	2	長崎	2
福島	2	山梨	2	鳥取	4	熊本	2
茨城	4	長野	10	島根	3	大分	1
栃木	3	岐阜	3	岡山	7	宮崎	2
群馬	6	静岡	5	広島	4	鹿児島	3
埼玉	7	愛知	5	山口	3	沖縄	6
千葉	3	三重	8	徳島	1		
計							186

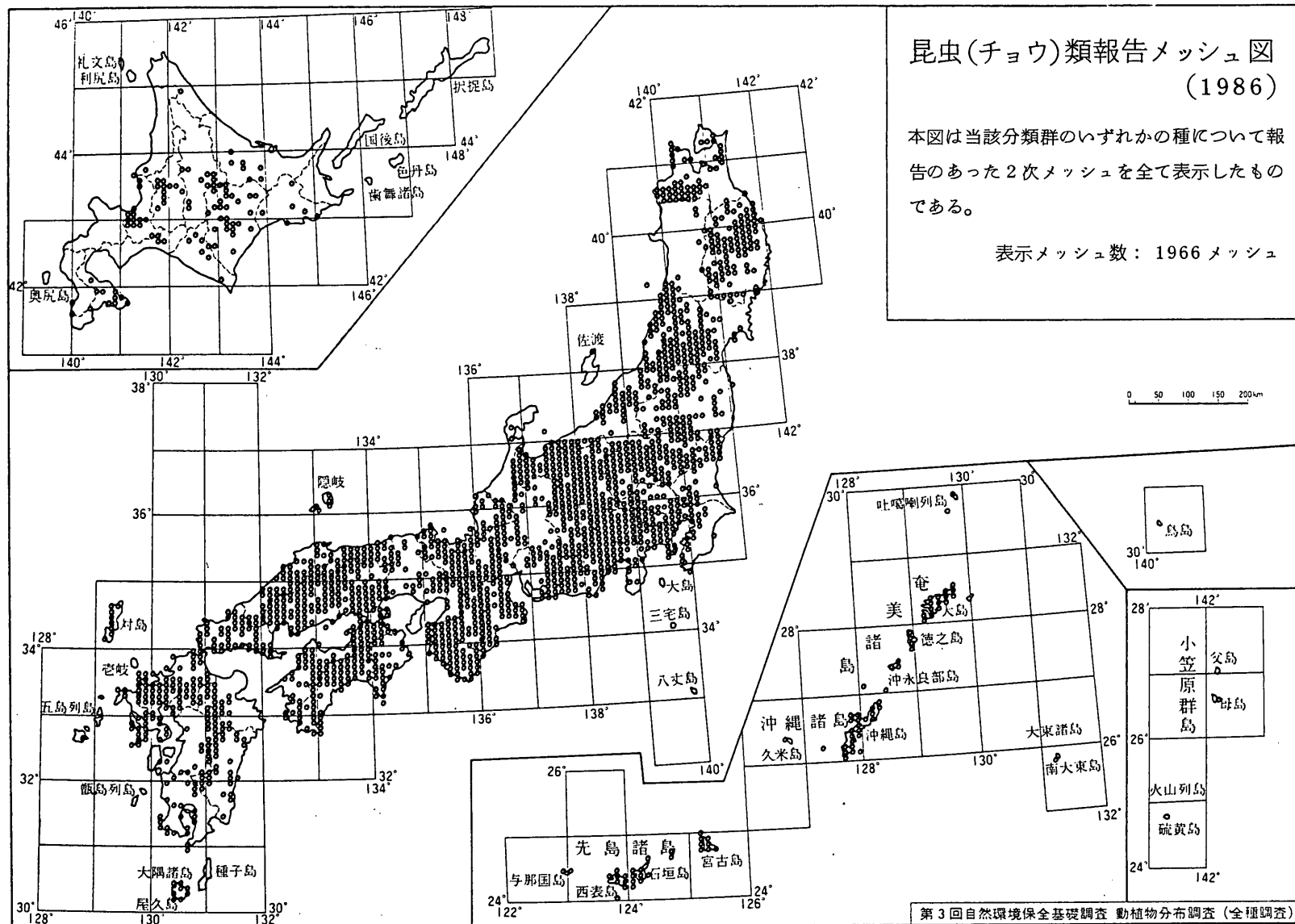
(3) 調査状況

① 全国の調査状況

チョウ類に係る調査状況は表1-3のとおりである。

また、当該分類群のいずれかの種について報告のあった2次メッシュを全て表示したものを図1-7に示す。

図 1-7



② 分布図データの年代別状況

分布図に表示されたデータの調査年代別の内訳は表Ⅰ－４のとおりである。但し、この表では、全報告データのうち、同一種、同一２次メッシュの報告については、最新のデータをもって代表させている。

表Ⅰ－４ 分布図データの年代別状況

昭和 20 年以前	19	0.0 %
昭和 20 年代	59	0.1
昭和 30 年代	460	1.2
昭和 40 - 44 年	363	0.9
昭和 45 - 49 年	706	1.8
昭和 50 - 54 年	3,299	8.3
昭和 55 年以降	34,856	87.5
調査年代無記入	71	0.2
合 計	39,833	100.0

II 調查結果

第 1. 分 布 図

調査対象種のうち、原則として、1 件でも報告のあった種・亜種について分布図を作成した。
配列は、巻末資料「調査対象種一覧表」に示された調査対象種・亜種の順である。

- 注(1) 分布図の表示単位は、2 次メッシュ (1 / 25,000 地形図 1 枚分の区画に相当する。およそ 10 km × 10 km) である。
- (2) ○印は、当該種が生息するという報告のあった 2 次メッシュの中心の位置を示すものであり、必ずしも分布地の中心を示すものではないことに留意されたい。

〔分布図上のコメント類型区分について〕

それぞれの分布図の種名・学名及びメッシュ数欄の下には、「序」及び「Ⅰ 調査方法 (ページ) 」でも触れたとおり、類型化された短いコメントを表示してある。これは、今回調査の結果が、必ずしも全ての調査対象種について、専門家の知見に照らして従来から知られている分布パターンを十分表わしているわけではないことから、分布図の誤まった解釈、不適切な引用を避けるために、各分科会検討員により、当該分布図が、どの程度従来から知られている分布パターンを表現できているかについて類型区分を行ったものである。

類型区分の種類と、その意味する内容は下記のとおりである。

1. 「分布パターンを表わしている」

従来から知られている当該種の分布パターンをほぼ表わす情報が収集されたもの。なお、広域分布種については、必ずしも稠密な報告が寄せられたか否かを判定基準とはせず、全体の輪隔が把握されたものは、この類型に含めた。

2. 「やや情報不足」

従来から知られている当該種の分布パターンをかなり表わしてはいるが、一部の地域からの情報が欠けているなど、完全に表わしたとはいえず、今後なお情報空白地域の解消に努める必要があるもの。

3. 「情報不足」

広域分布種であるにも拘らず、限られた地域からの情報しか得られなかったもの。

あるいは、模式産地等重要な分布地又はその周辺地域からの情報がないなど、当該種の分布を物語る上で極めて不十分な情報しか得られなかったもの。

4. 以上のほか、従来から知られている自然分布地とは異なる地域からの情報が得られており、その原因が明らかまたは推定できるものについては、下記のとおり類型化したコメントを用いた。

「国内における移殖」（淡水魚類、両生類・爬虫類）

「国外からの移殖」（淡水魚類、両生類・爬虫類、哺乳類）

「迷鳥」（鳥類）

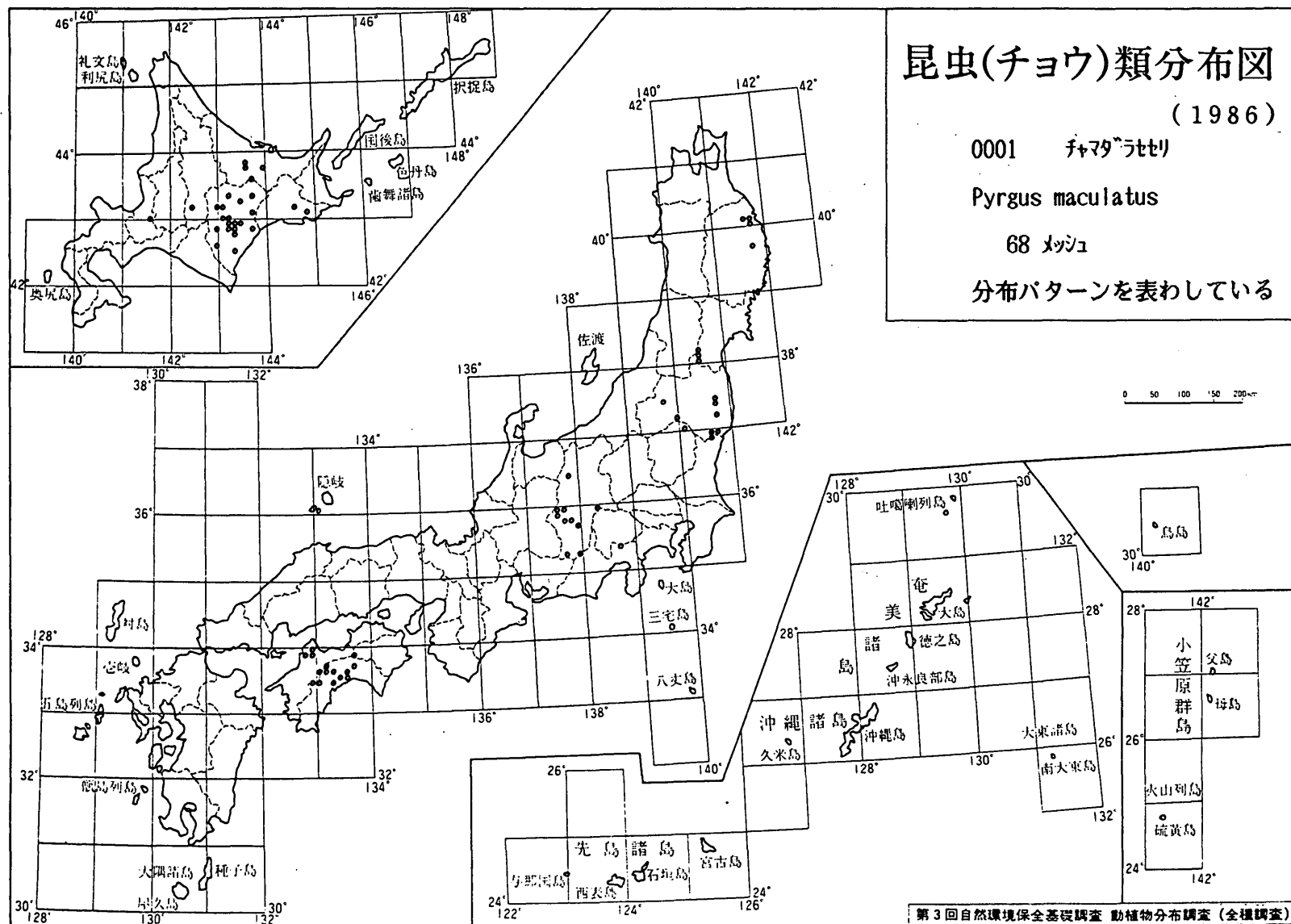
「夏鳥・旅鳥の越冬と思われる」（「」）

「野生化飼養鳥類」（「」）

「家畜・ペット等が野生化したもの」（哺乳類）

「増殖・放獣されたもの」（「」）

5. この他にも、特に注意を要するものについては個別に短いコメントを付した。



昆虫(チョウ)類分布図

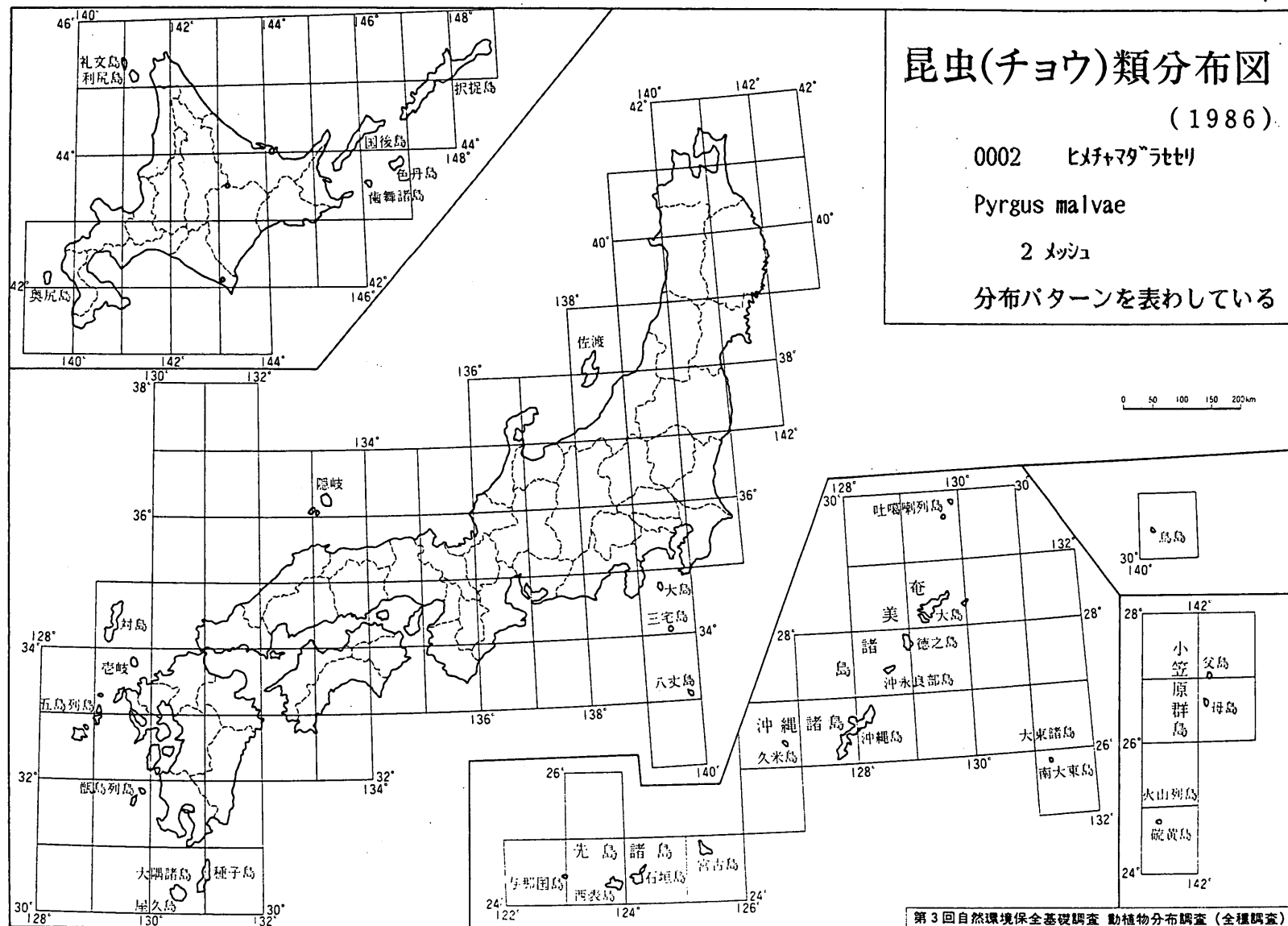
(1986)

0002 ヒメチマダラセリ

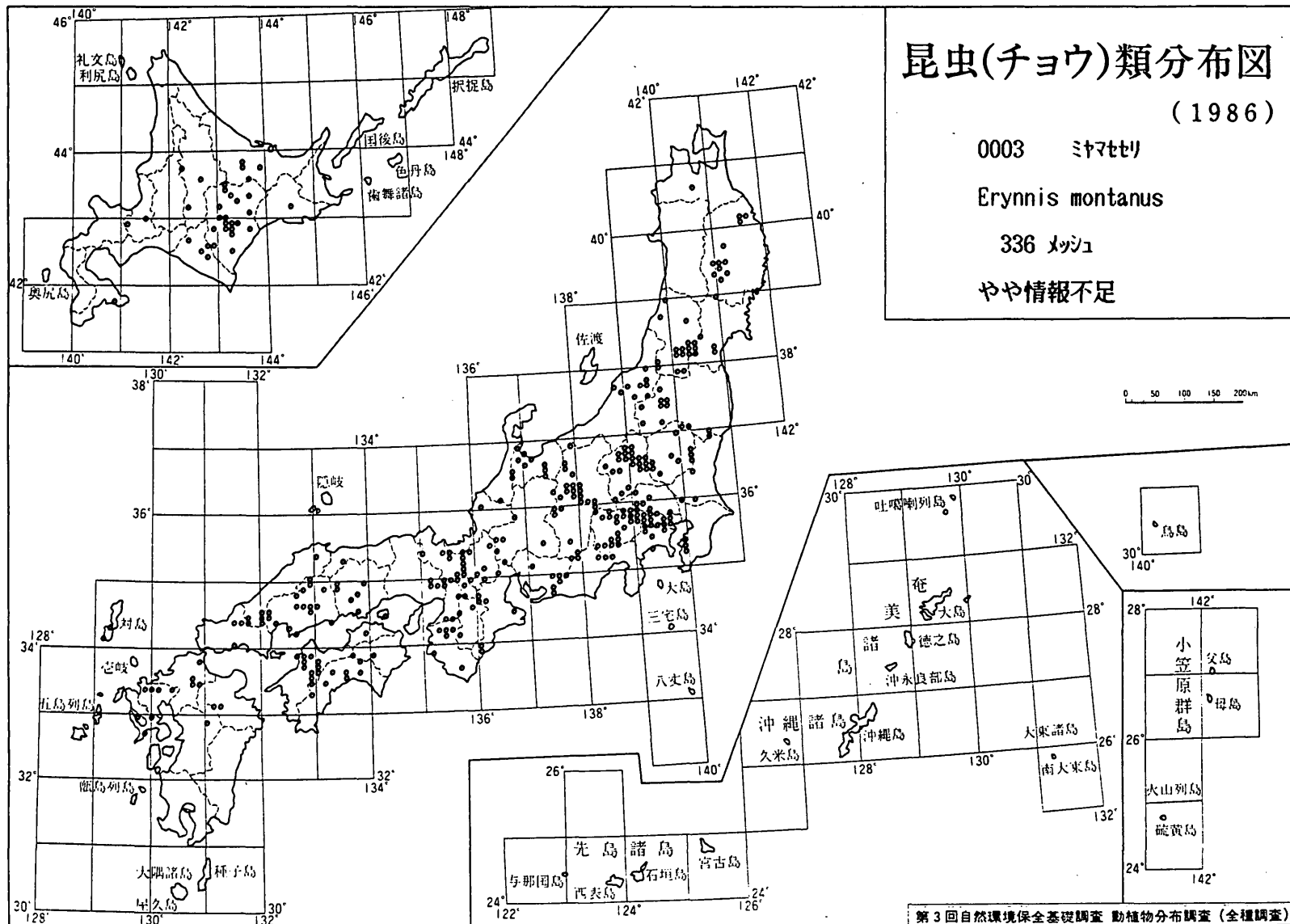
Pyrgus malvae

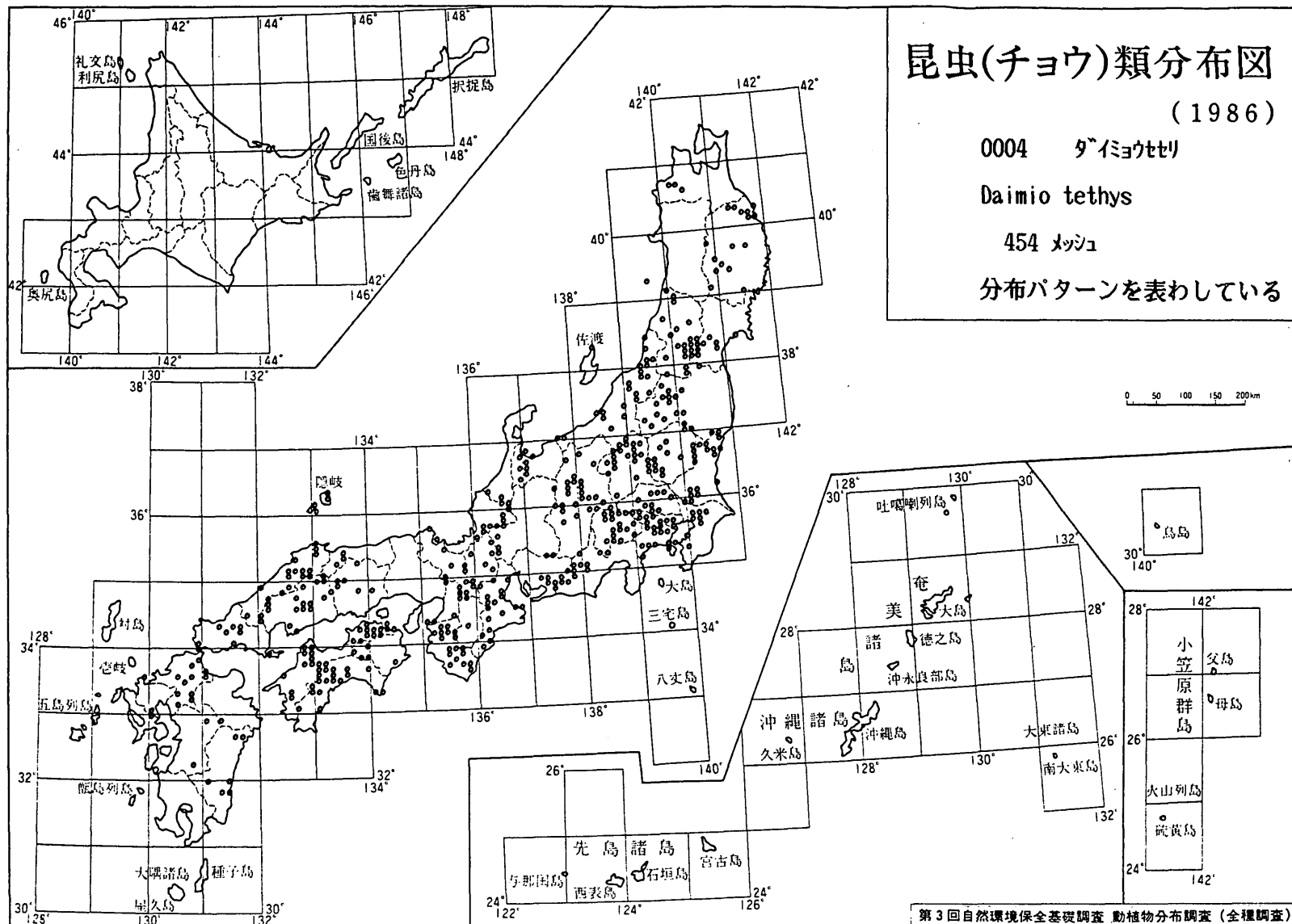
2 メッシュ

分布パターンを表わしている



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査(全種調査)





昆虫(チョウ)類分布図

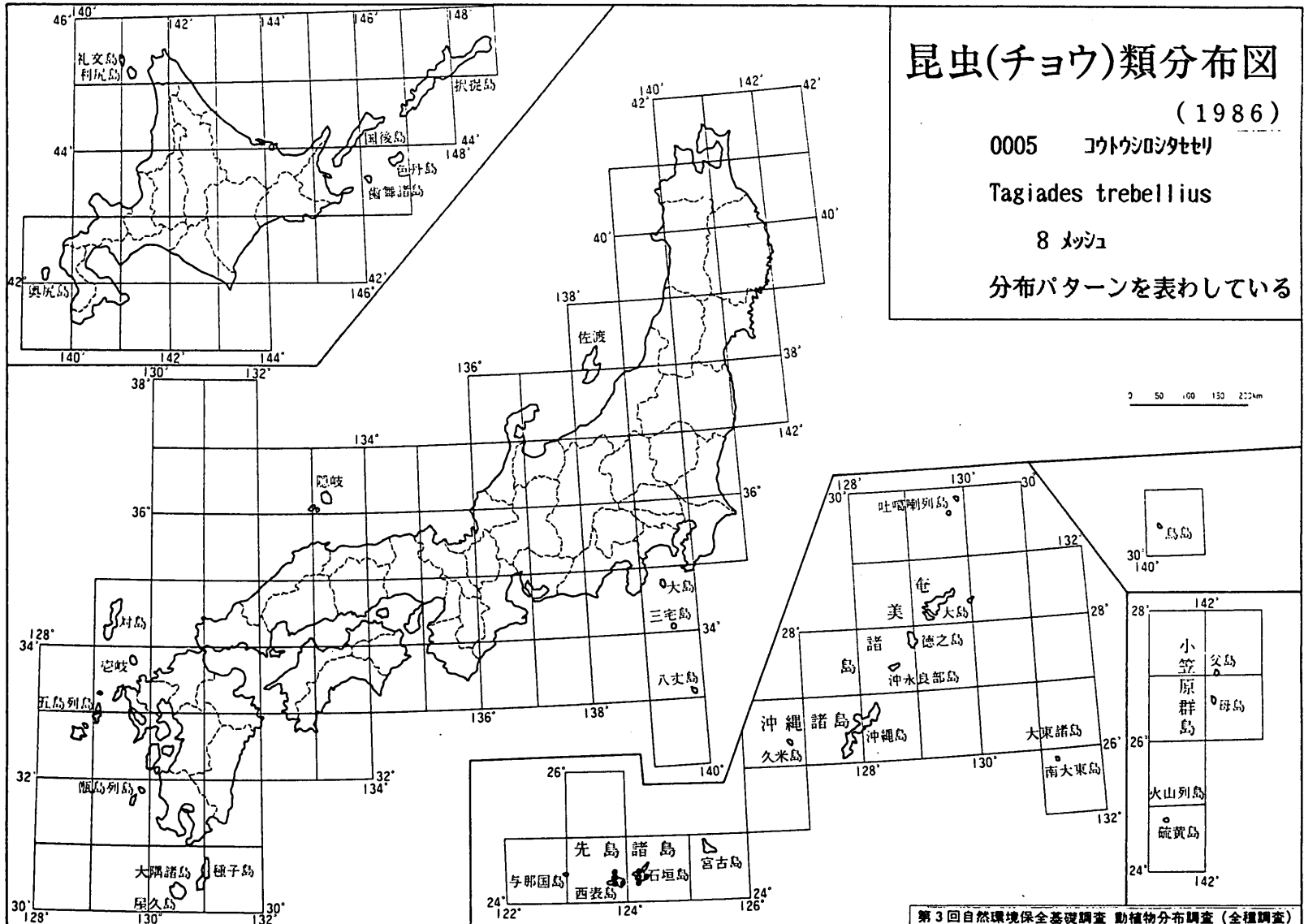
(1986)

0005 コウシュシタセリ

Tagiades trebellius

8 メッシュ

分布パターンを表わしている



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

昆虫(チョウ)類分布図

(1986)

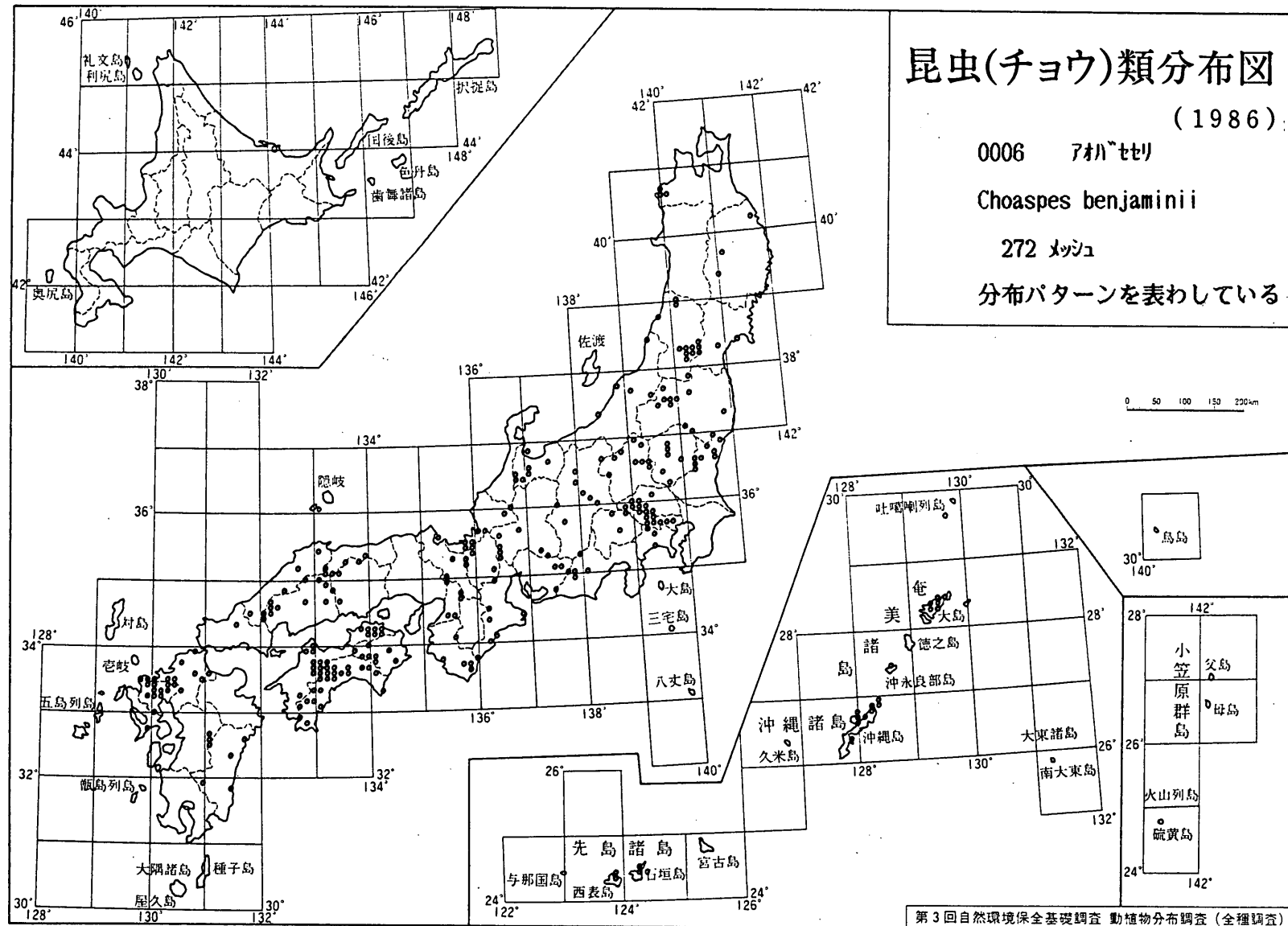
0006 アハセリ

Choaspes benjaminii

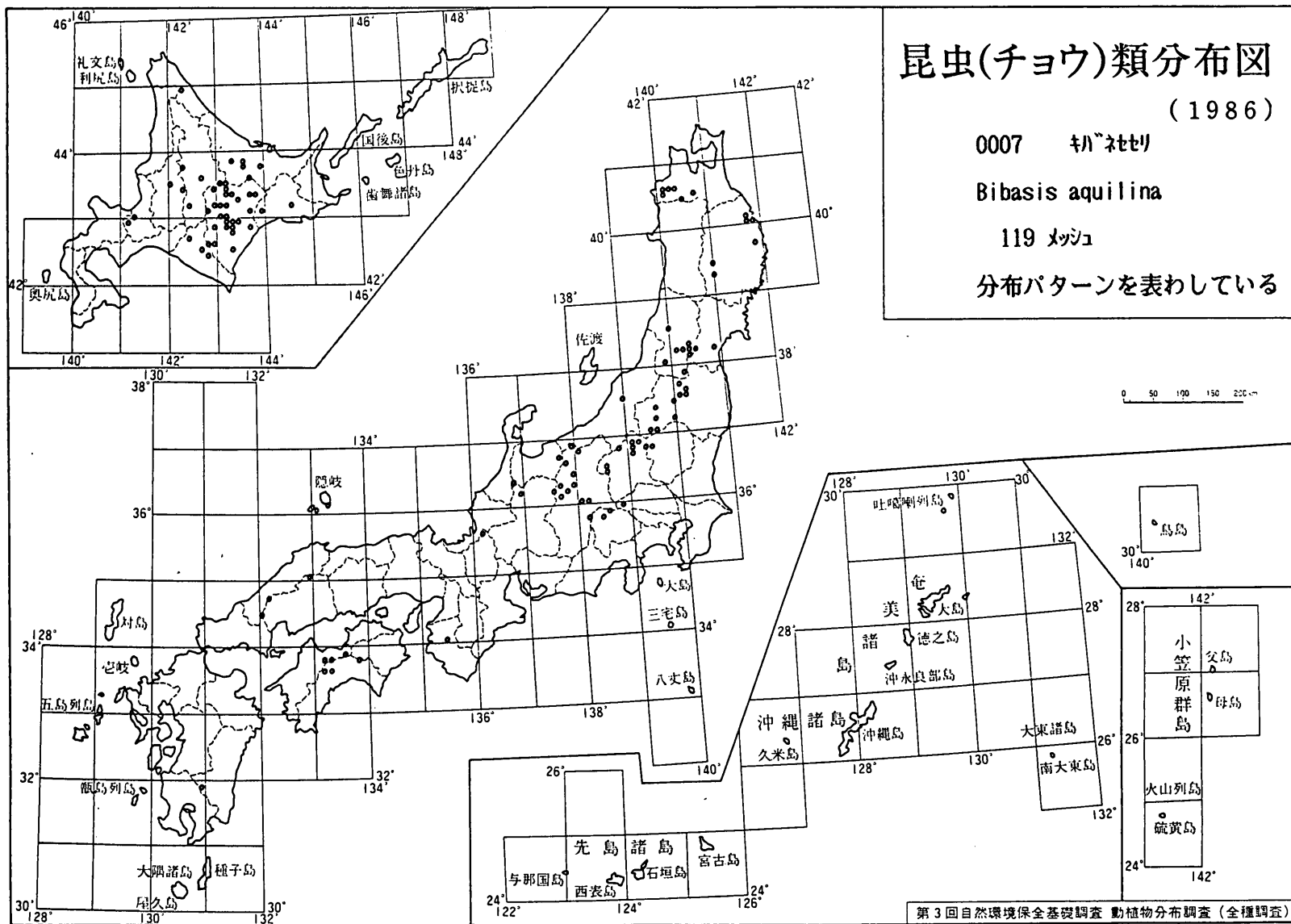
272 マッシュ

分布パターンを表わしている

0 50 100 150 200 km



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)



昆虫(チョウ)類分布図

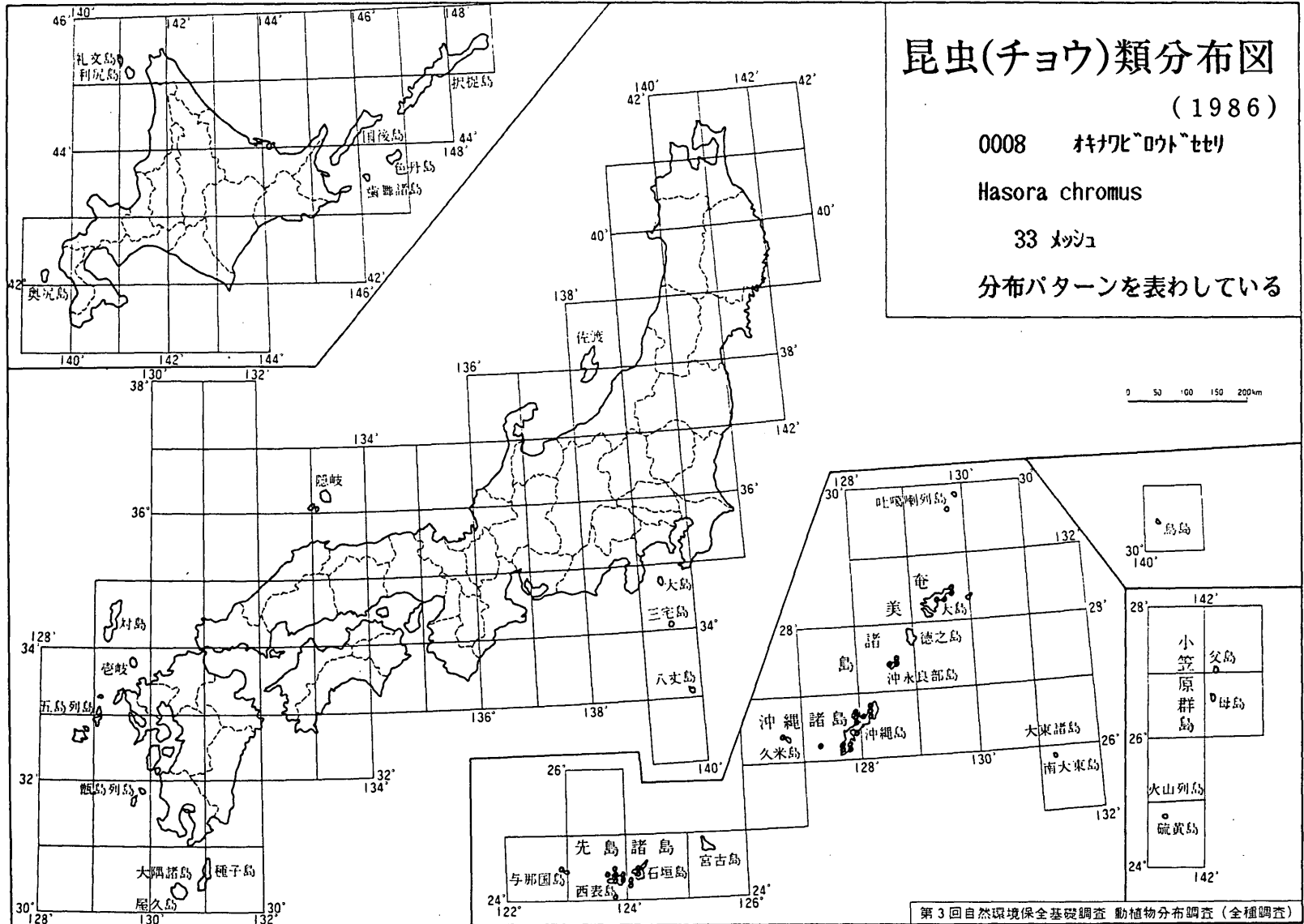
(1986)

0008 オキナワ`ロウ`セリ

Hasora chromus

33 メツシュ

分布パターンを表わしている



昆虫(チョウ)類分布図

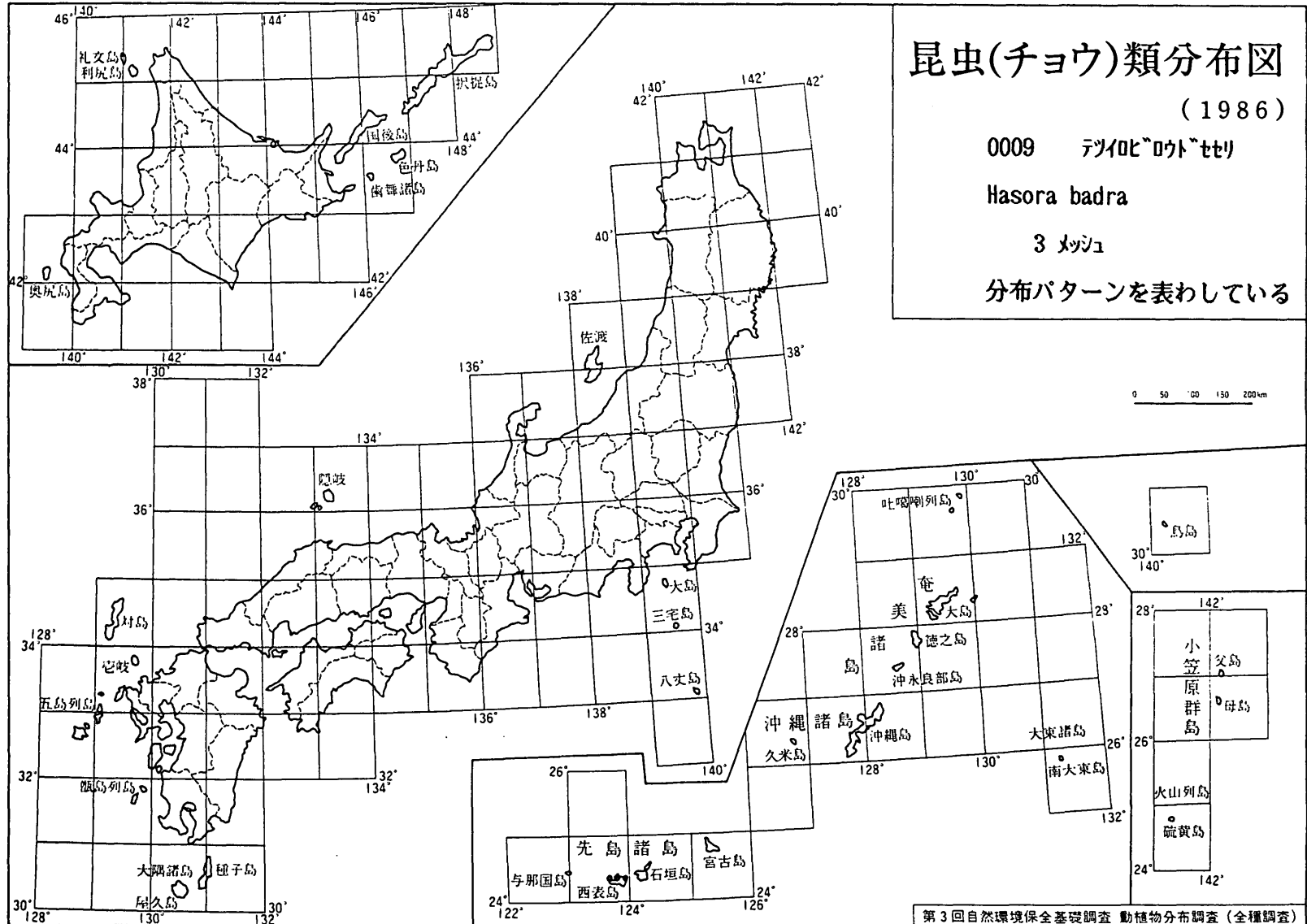
(1986)

0009 ツイビノウトツリ

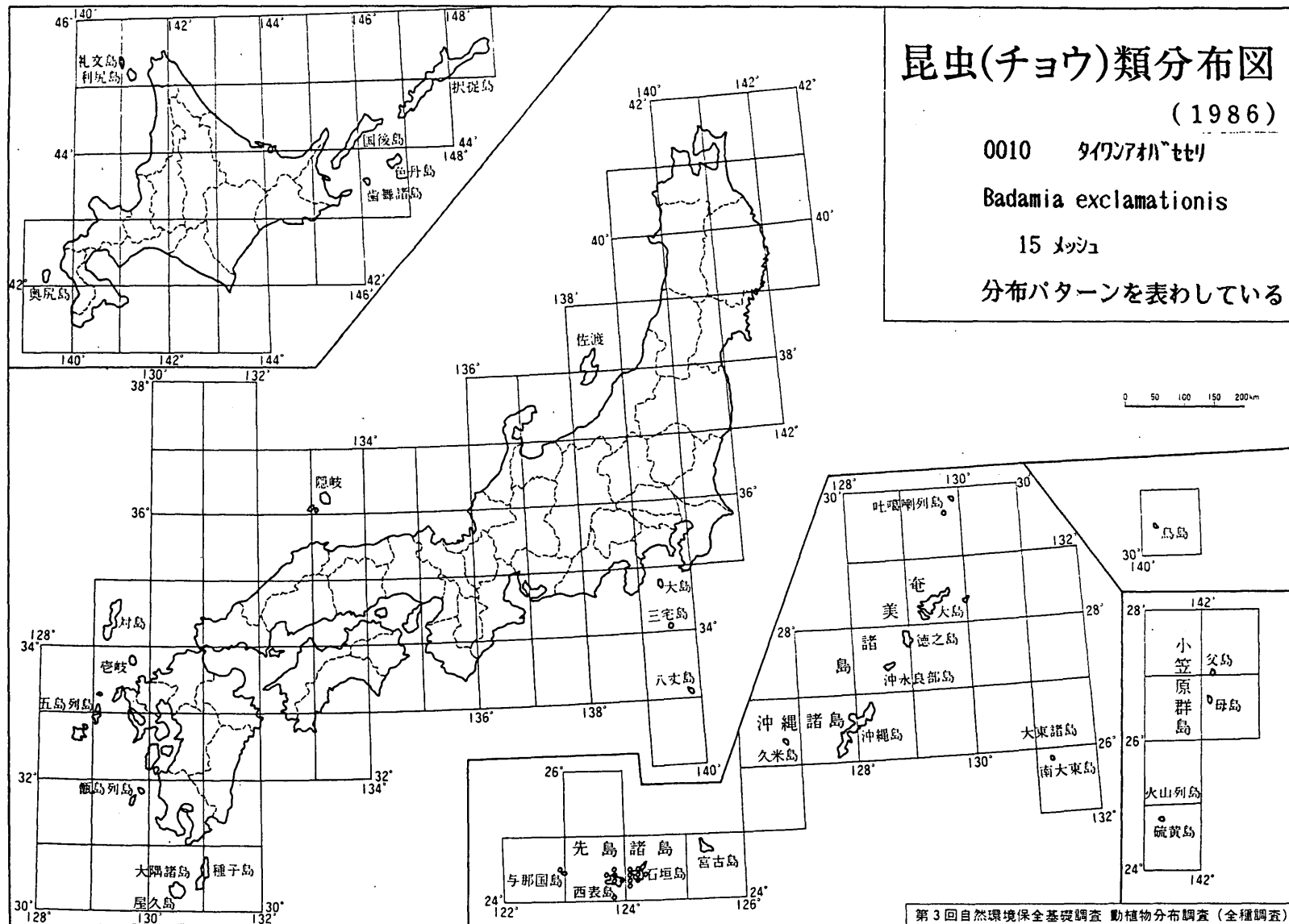
Hasora badra

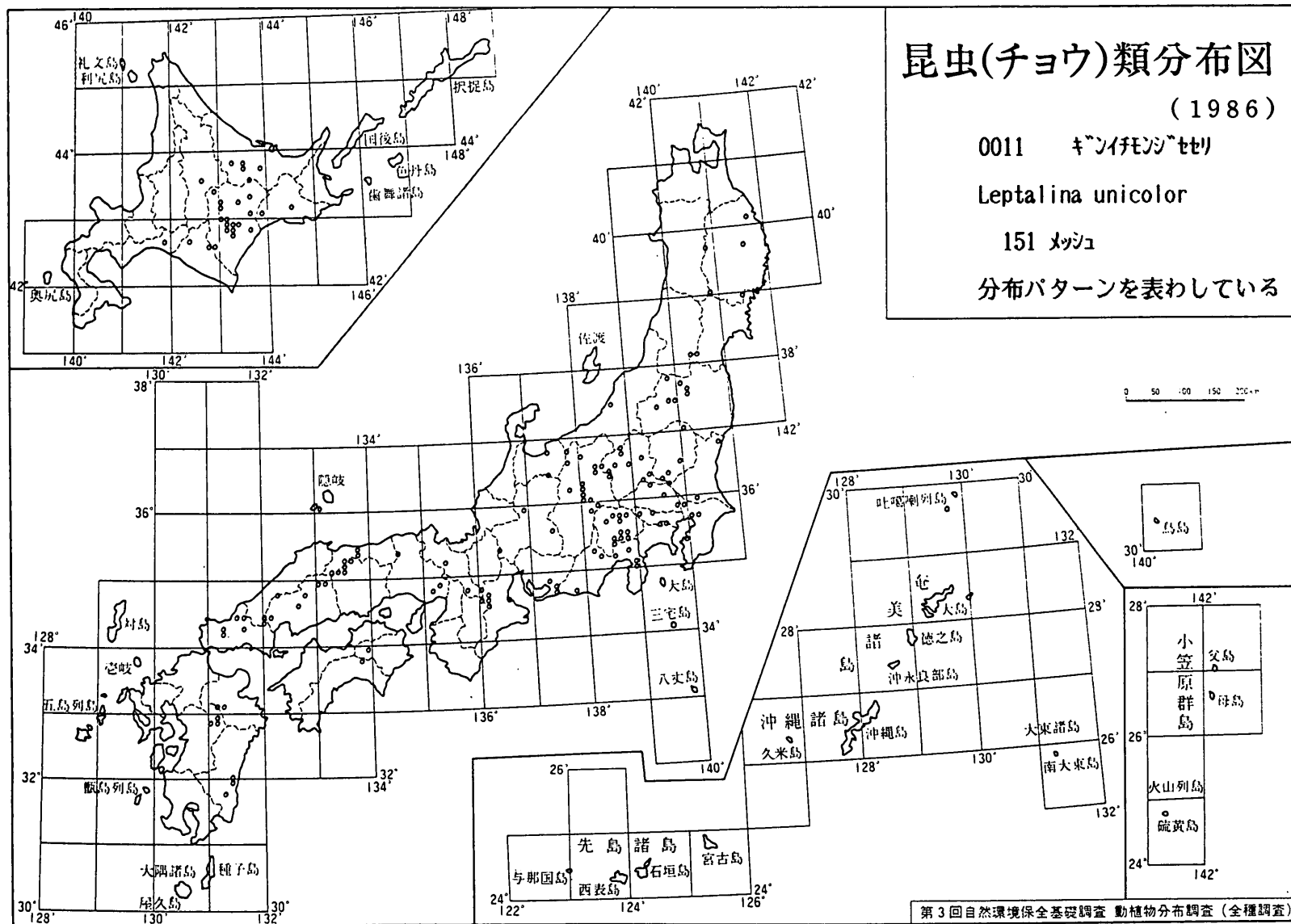
3 メッシュ

分布パターンを表わしている



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)





昆虫(チョウ)類分布図

(1986)

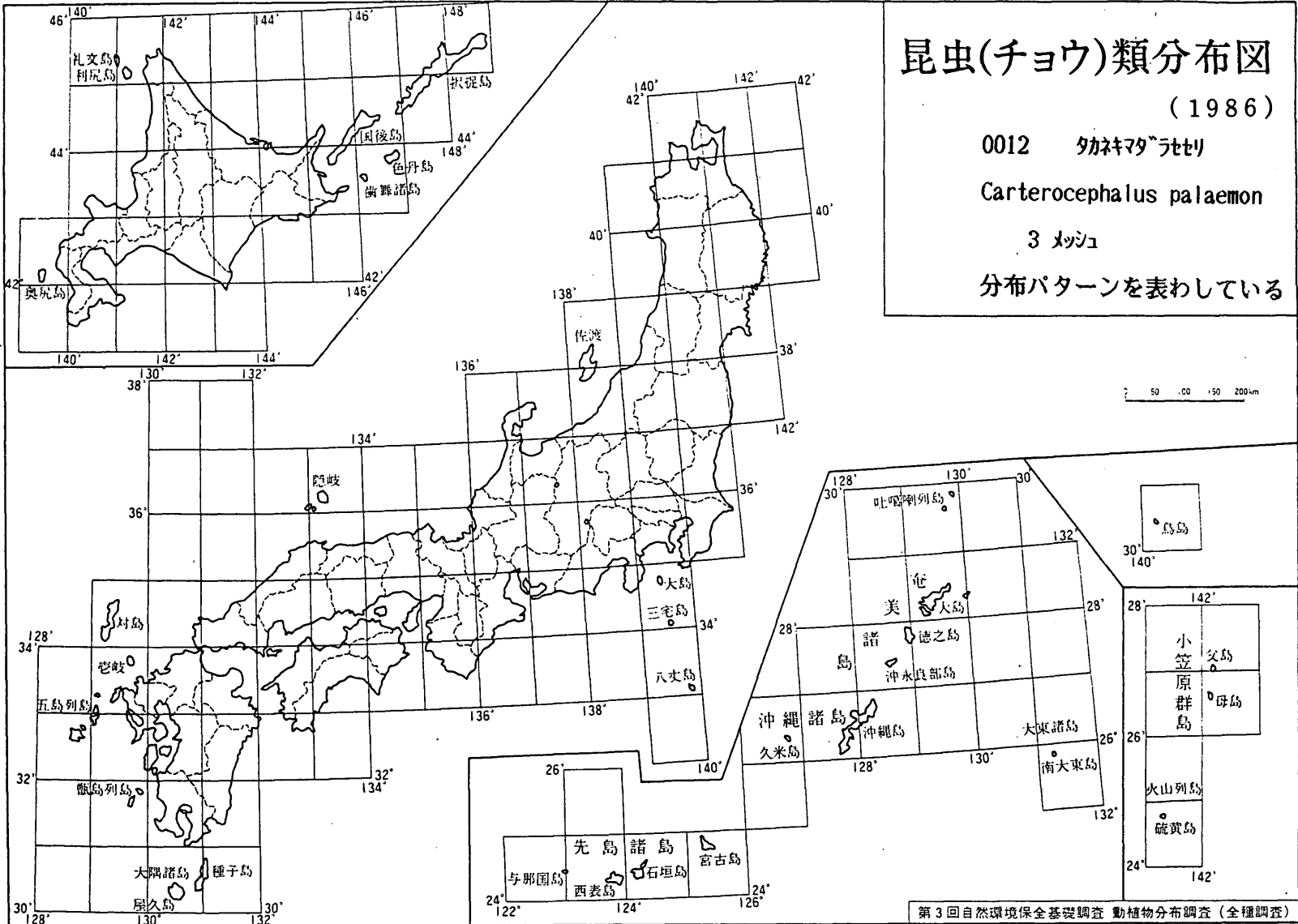
0012 タネキマツラセリ

Carterocephalus palaemon

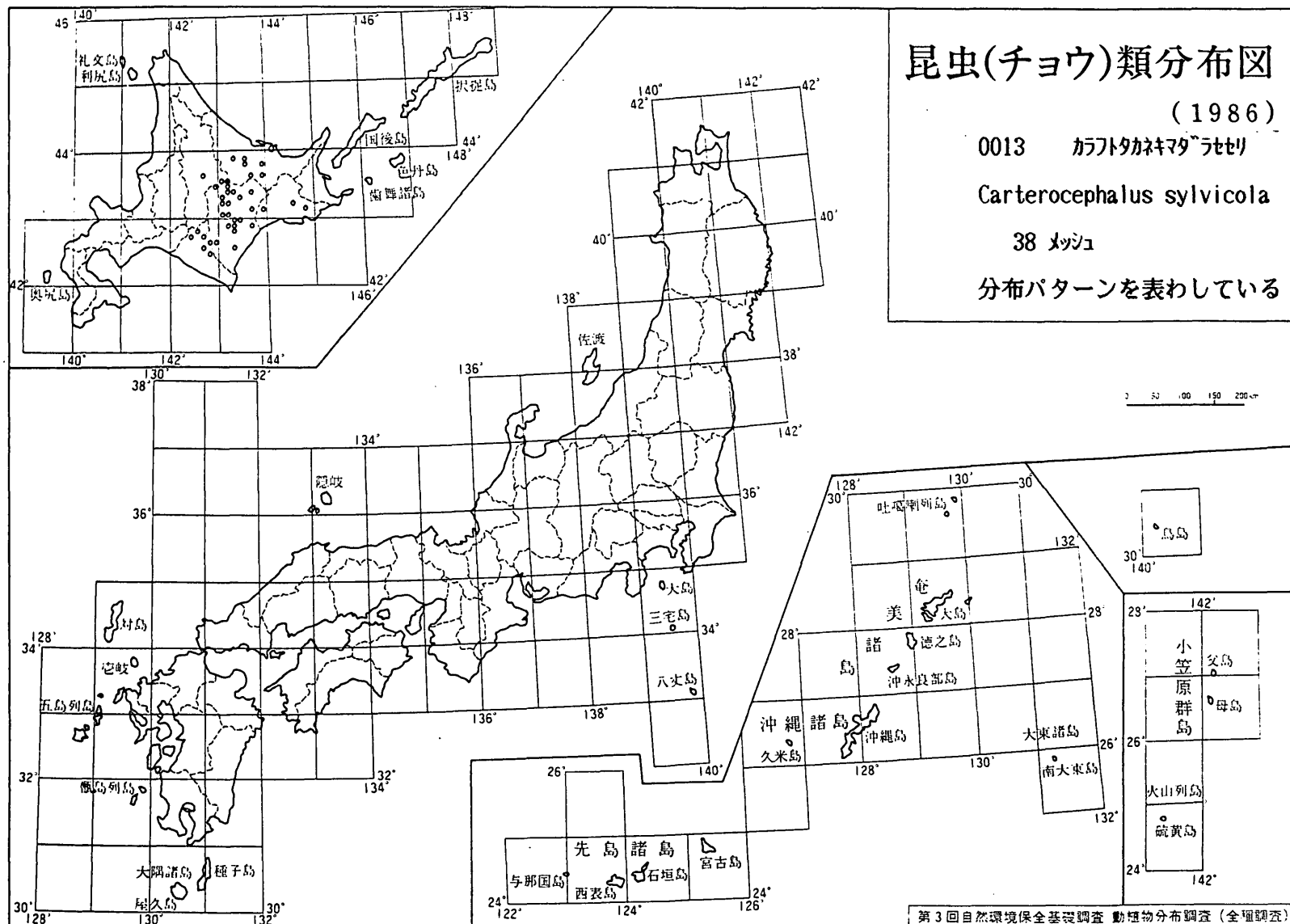
3 メッシュ

分布パターンを表わしている

0 50 100 150 200 km



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)



昆虫(チョウ)類分布図

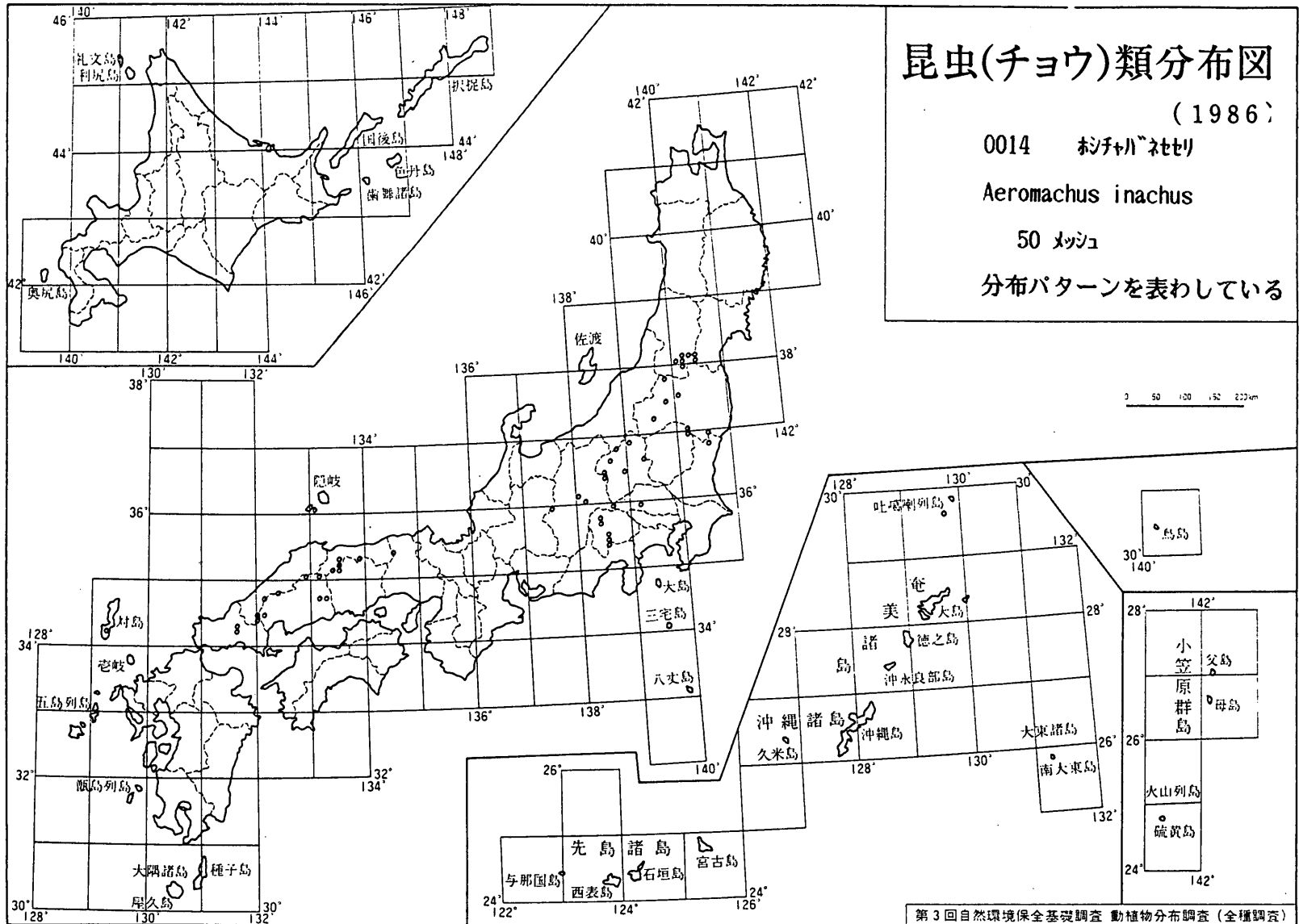
(1986)

0014 ホシチャハネセリ

Aeromachus inachus

50 メッシュ

分布パターンを表わしている



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査(全種調査)

昆虫(チョウ)類分布図

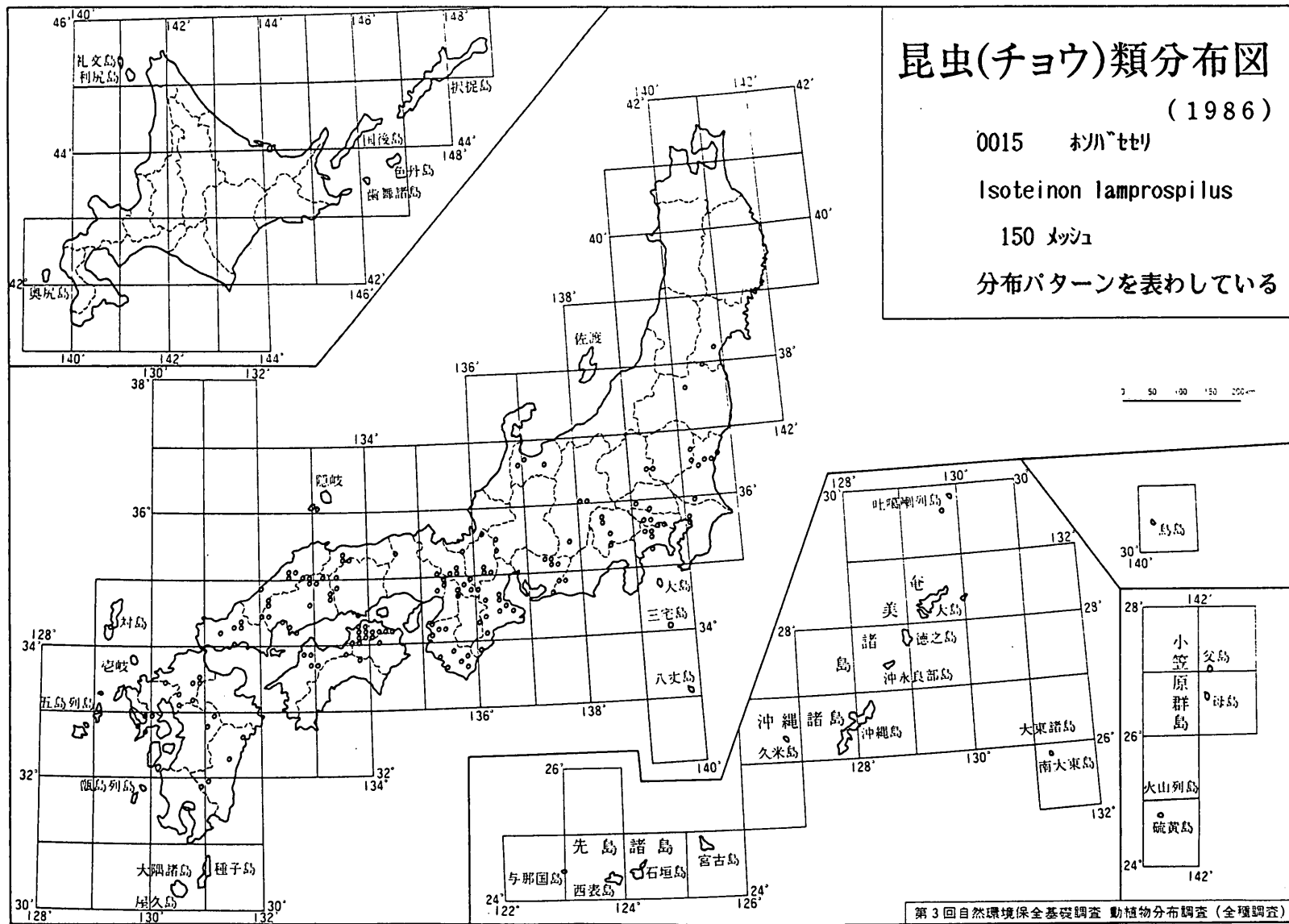
(1986)

0015 おハミセリ

Isoteinon lamprospilus

150 メッシュ

分布パターンを表わしている



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査(全種調査)

昆虫(チョウ)類分布図

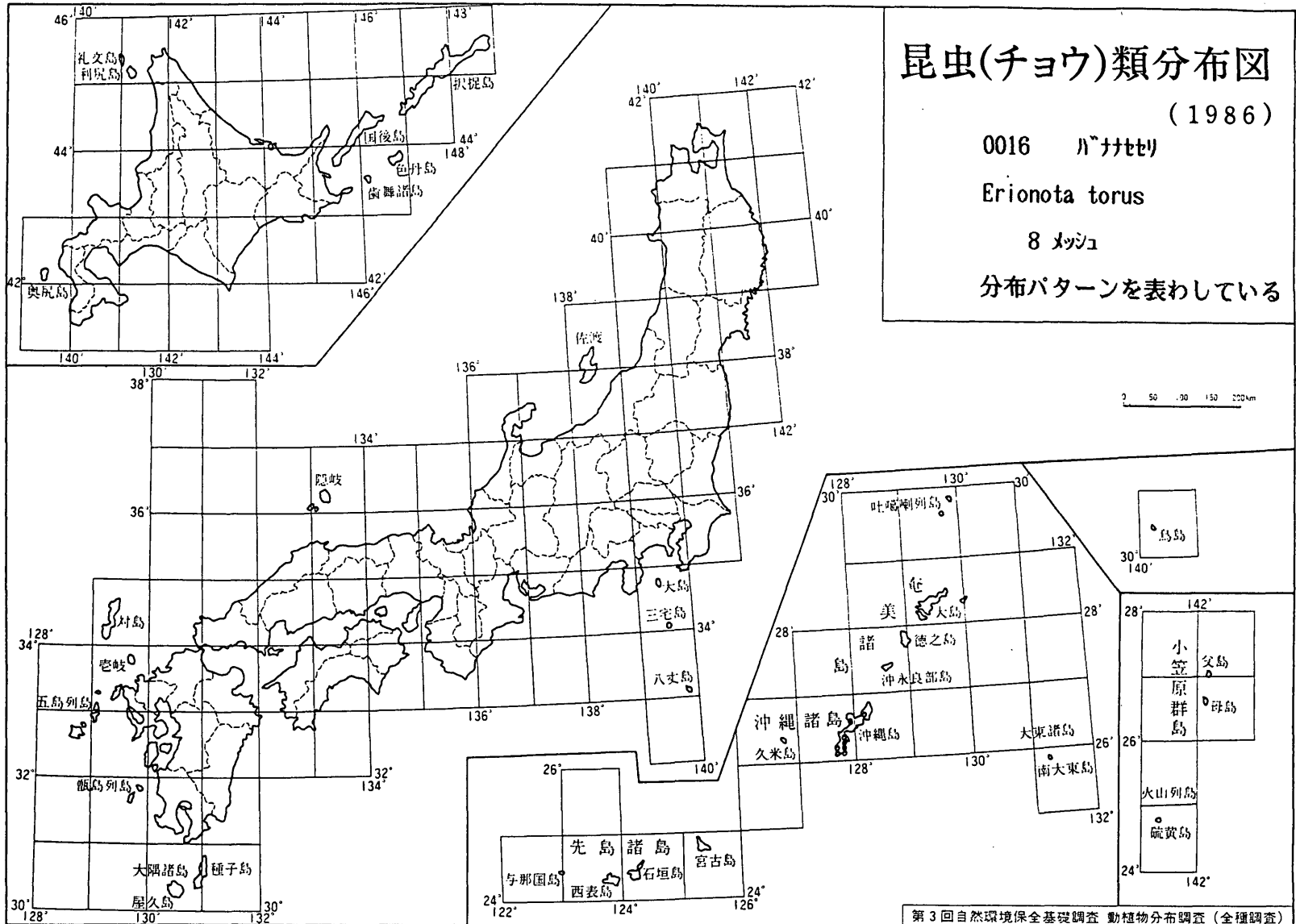
(1986)

0016 ハナナベリ

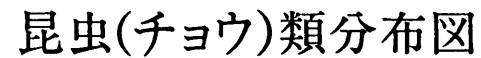
Erionota torus

8 メッシュ

分布パターンを表わしている



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査(全種調査)



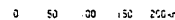
(1 9 8 6)

0017 スジク`ロチャハ`ネセセリ

Thymelicus leoninus

94 メッシュ

分布パターンを表わしている



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

昆虫(チョウ)類分布図

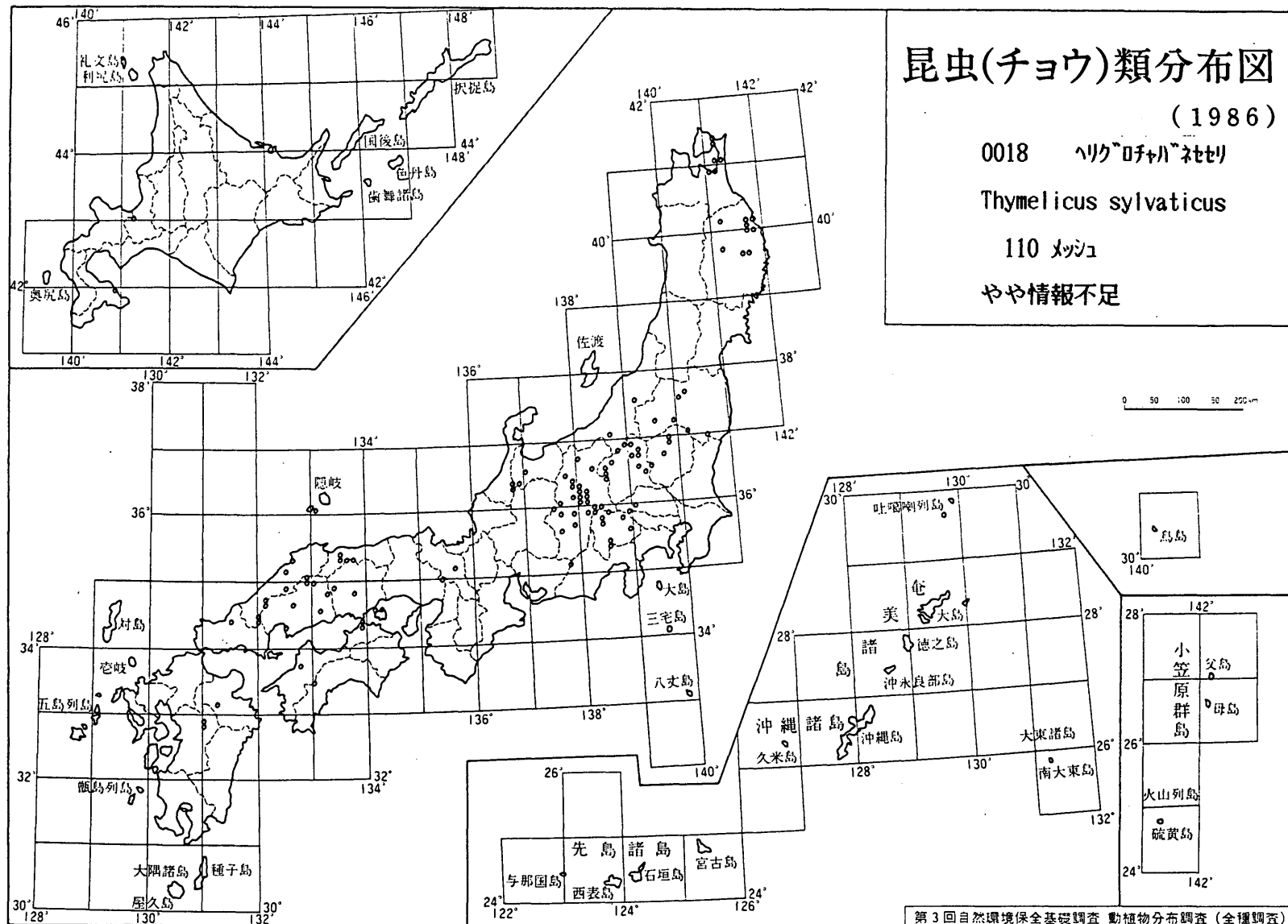
(1986)

0018 ヘルメコチハシ

Thymelicus sylvaticus

110 メッシュ

やや情報不足



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

昆虫(チョウ)類分布図

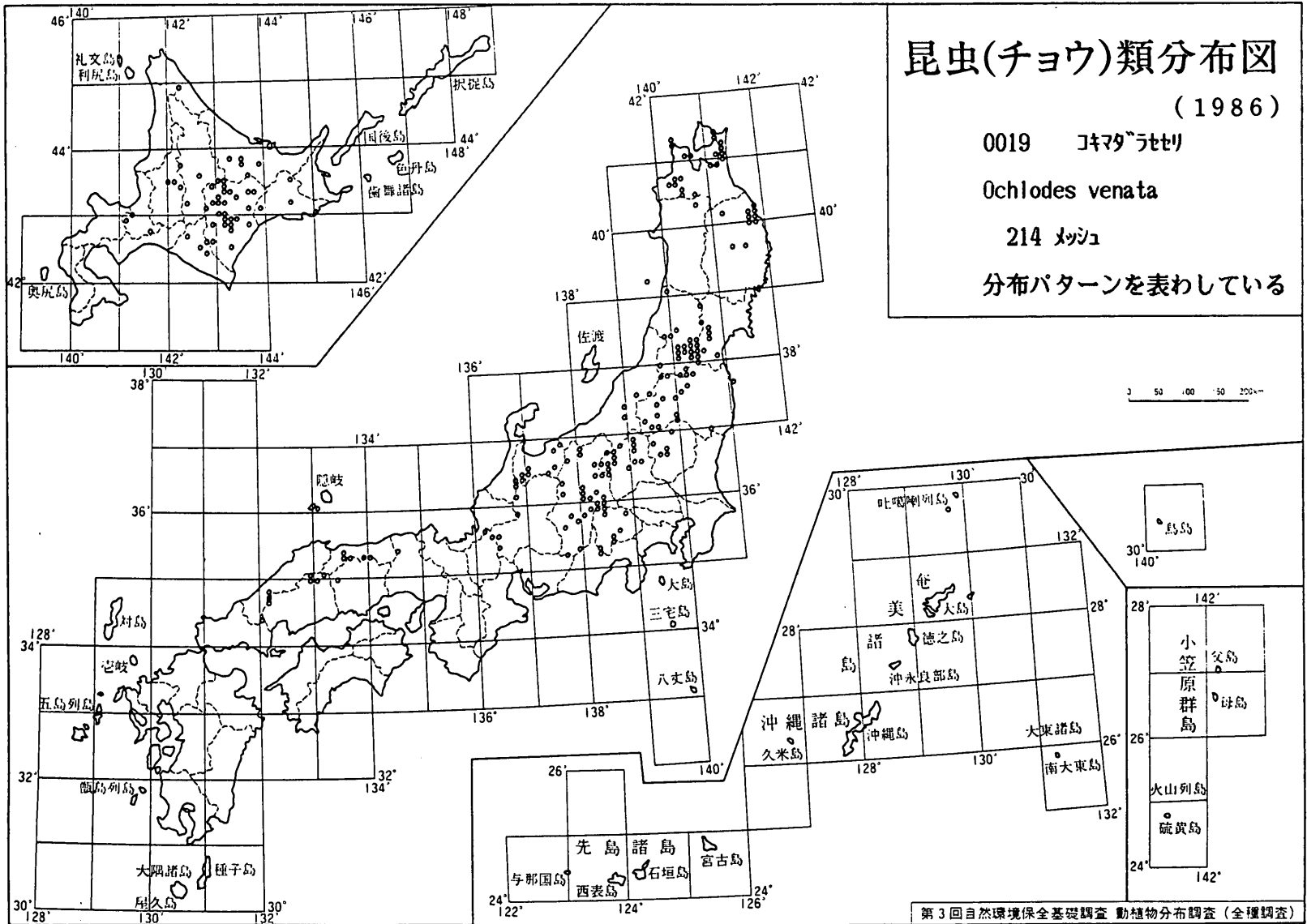
(1986)

0019 コキマダラセリ

Ochlodes venata

214 メジロ

分布パターンを表わしている



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

昆虫(チョウ)類分布図

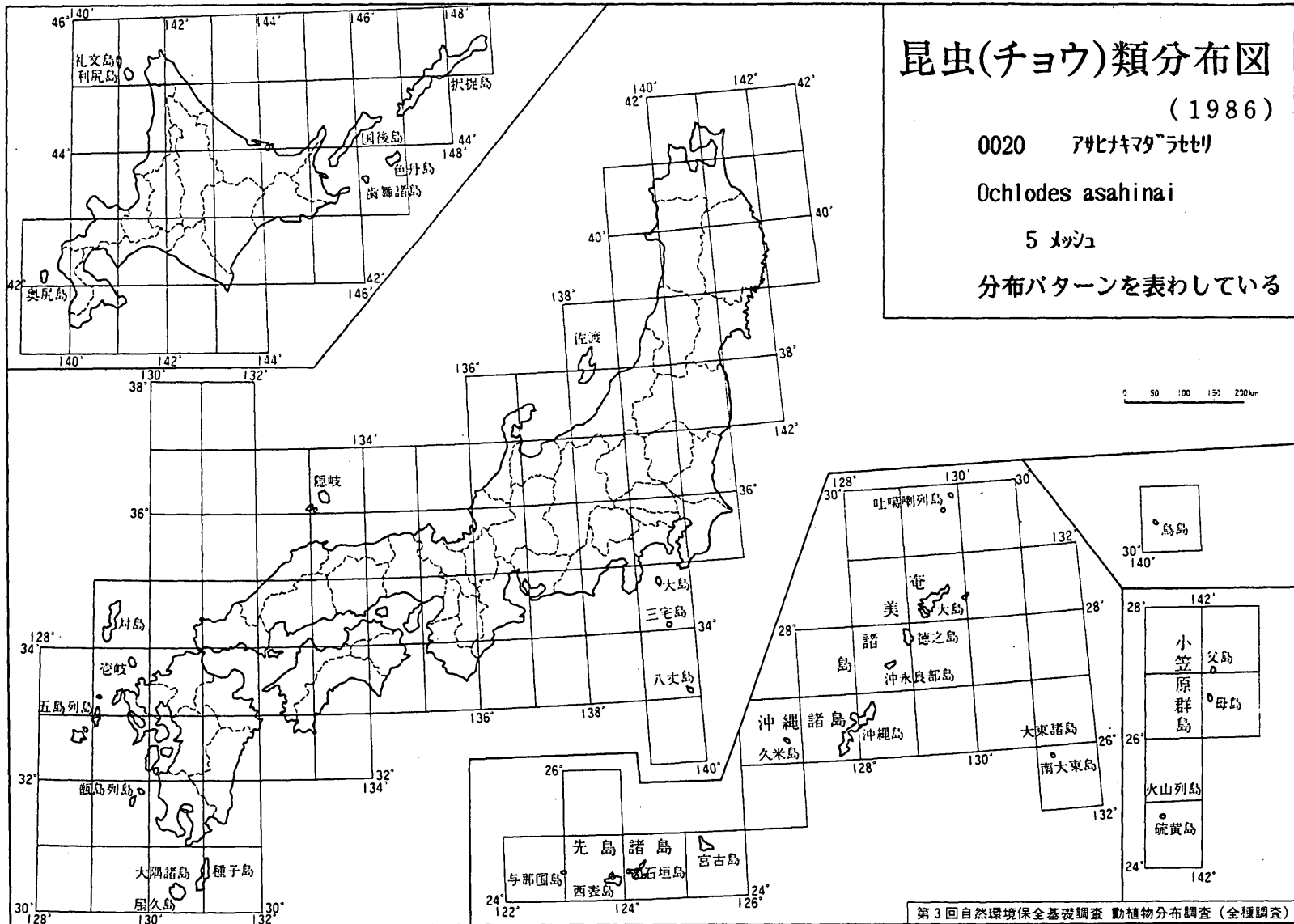
(1986)

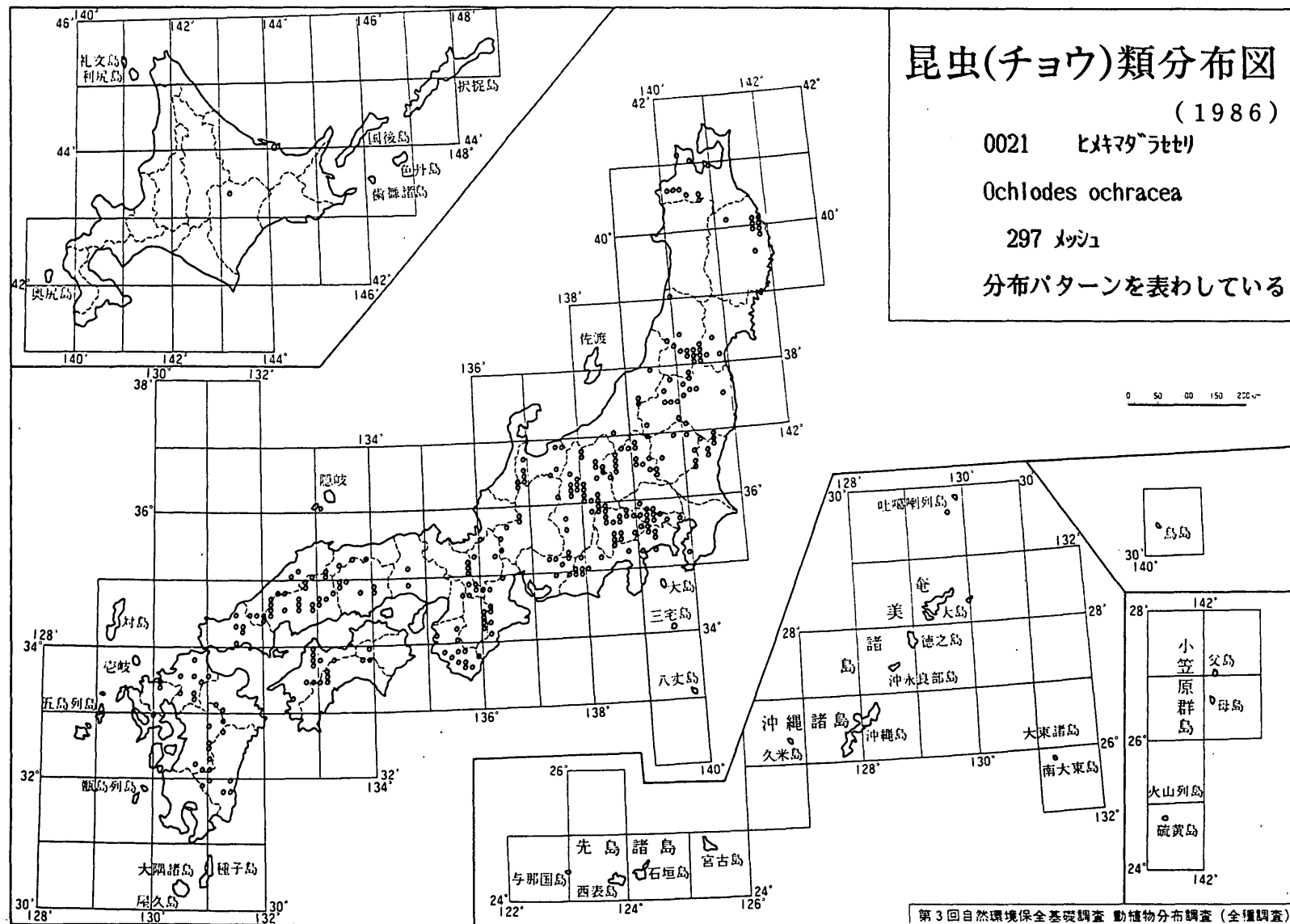
0020 アサヒキマダラセリ

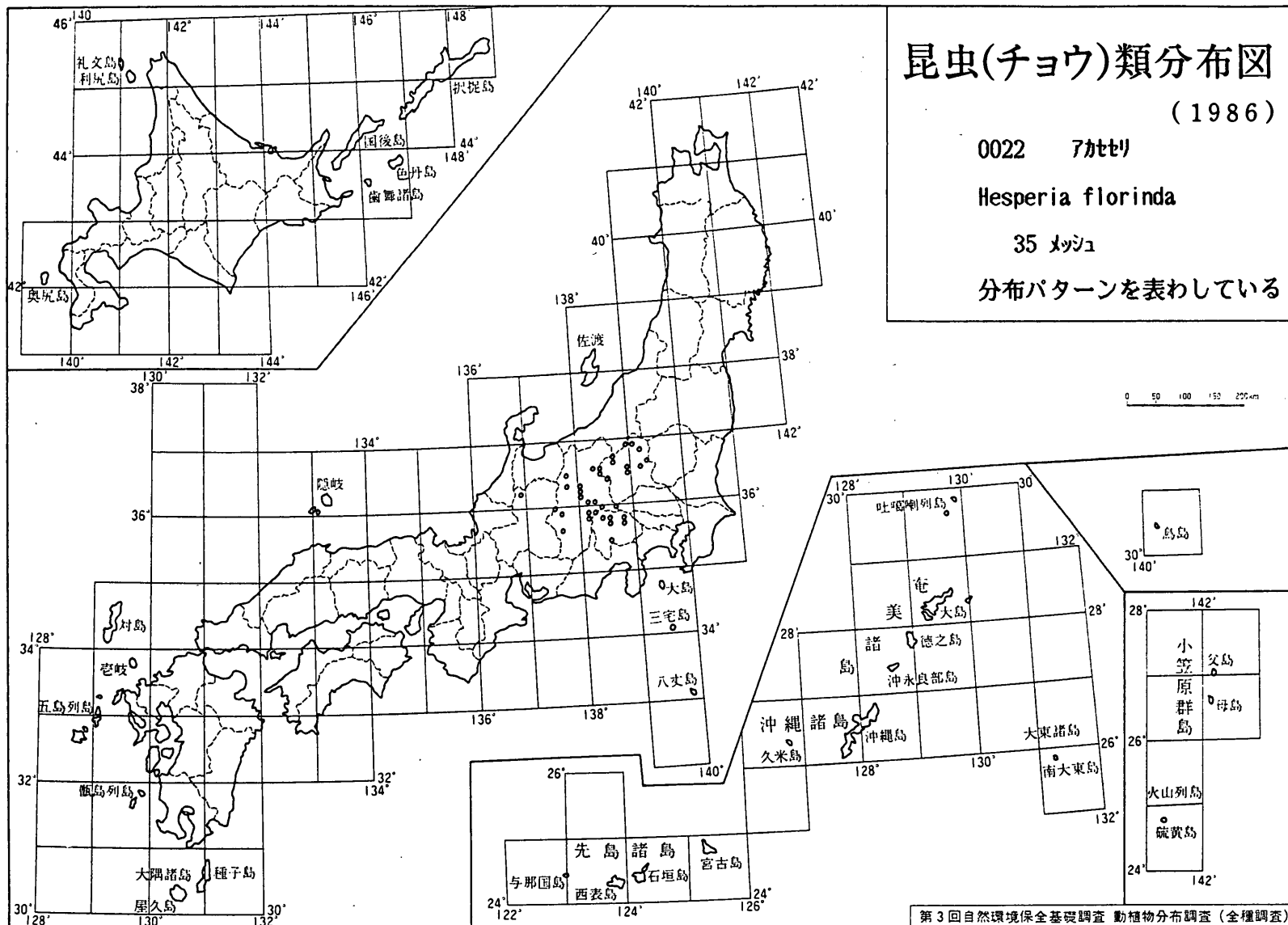
Ochlodes asahinai

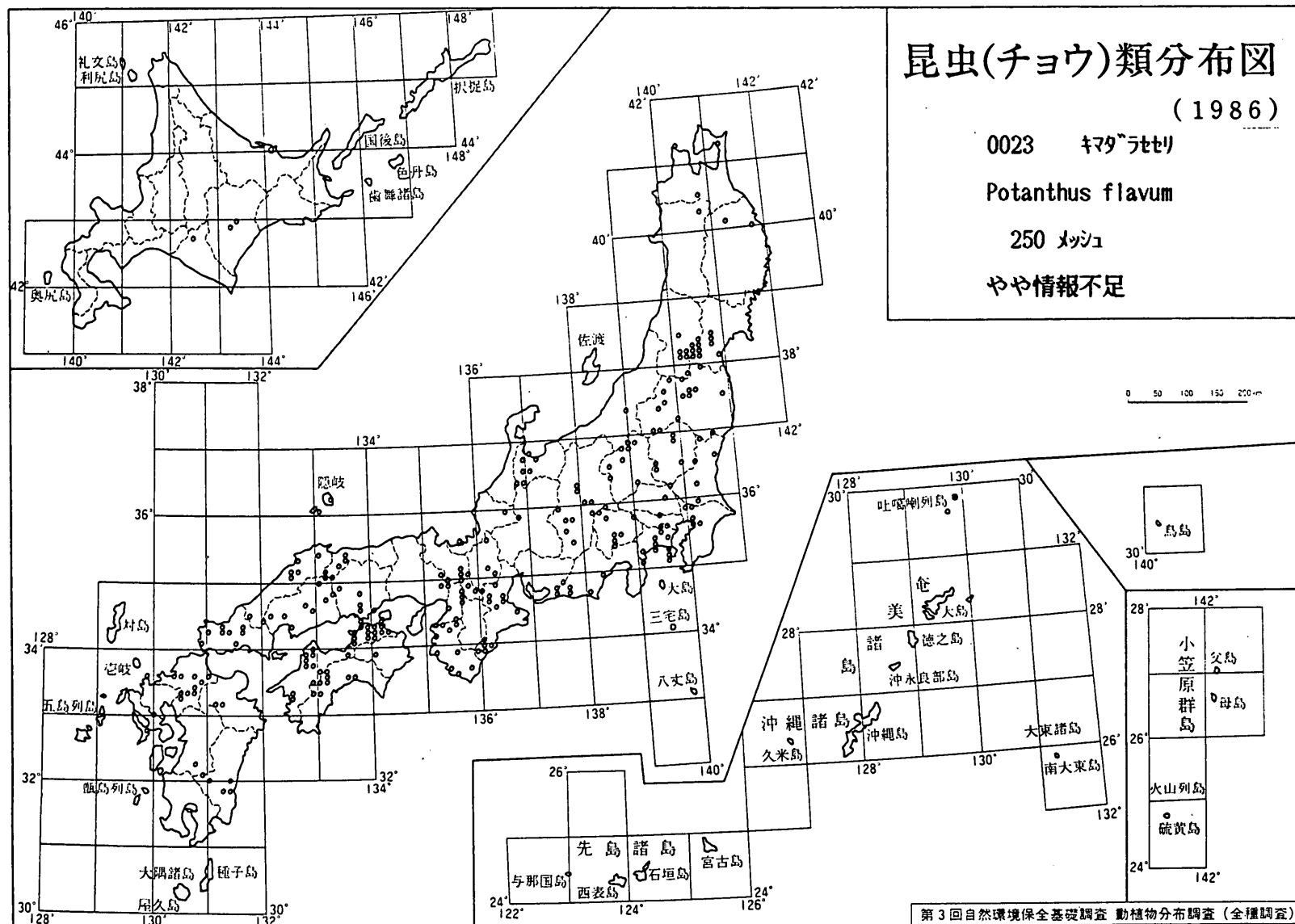
5 メッシュ

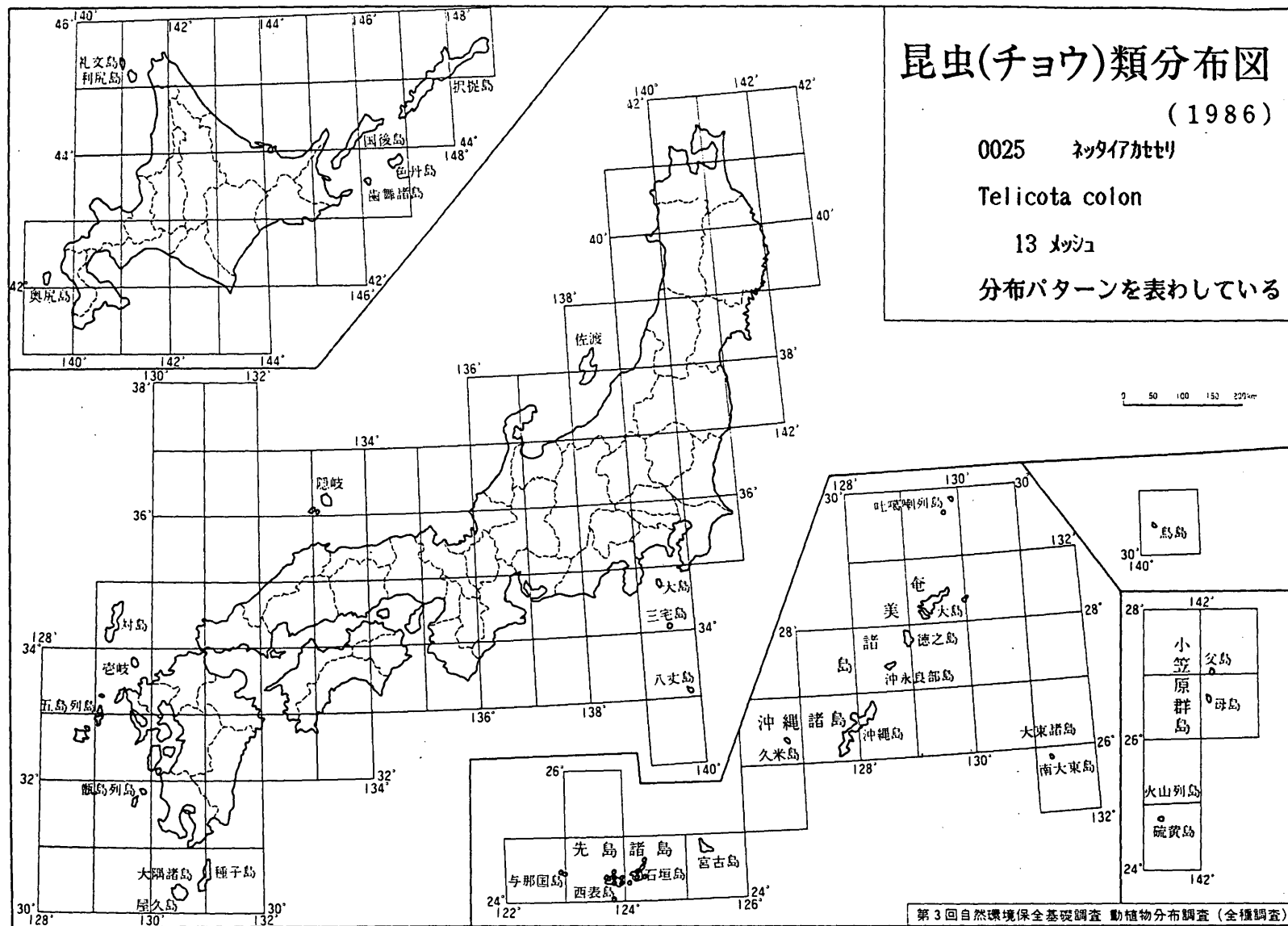
分布パターンを表わしている

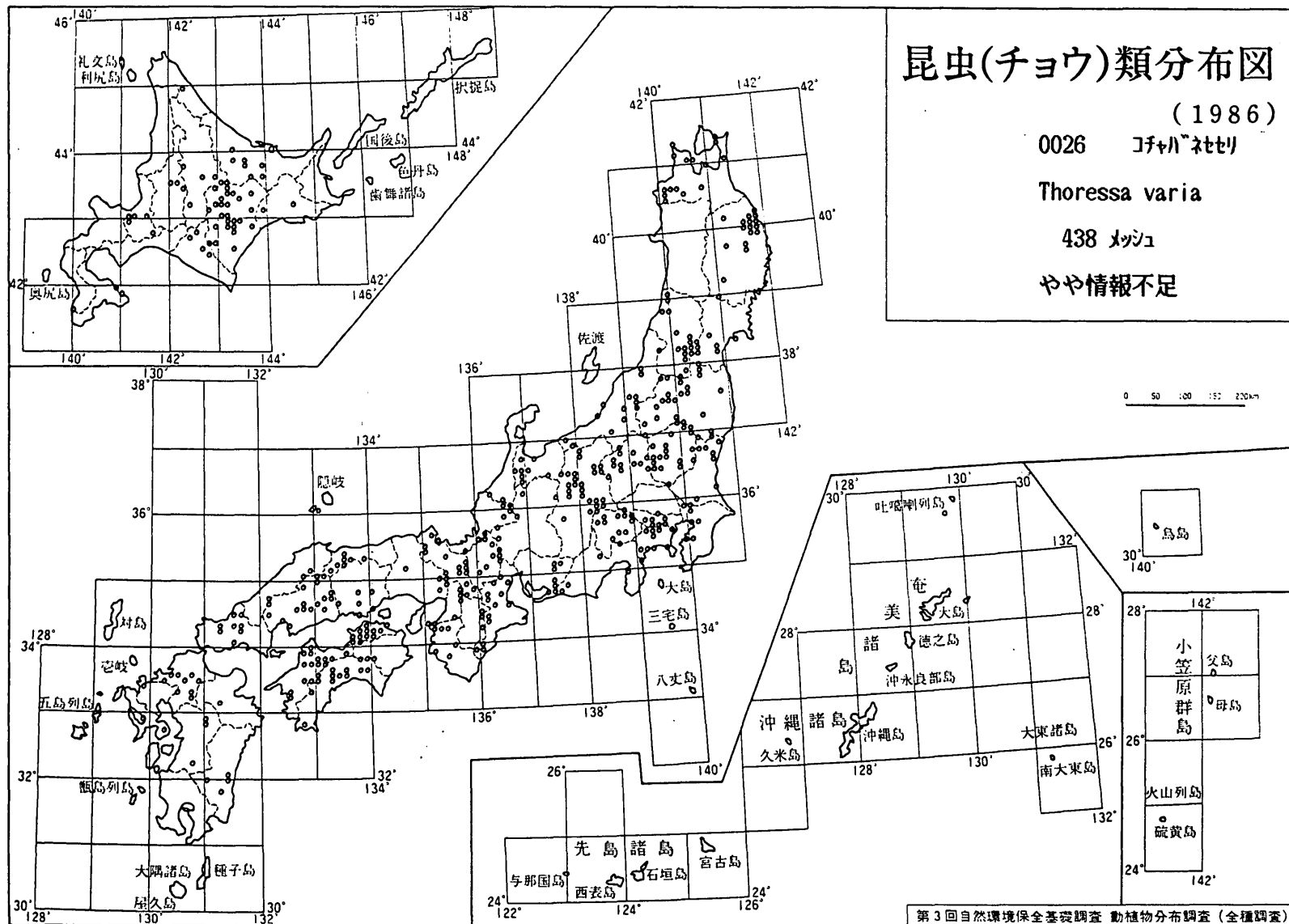












昆虫(チョウ)類分布図

(1986)

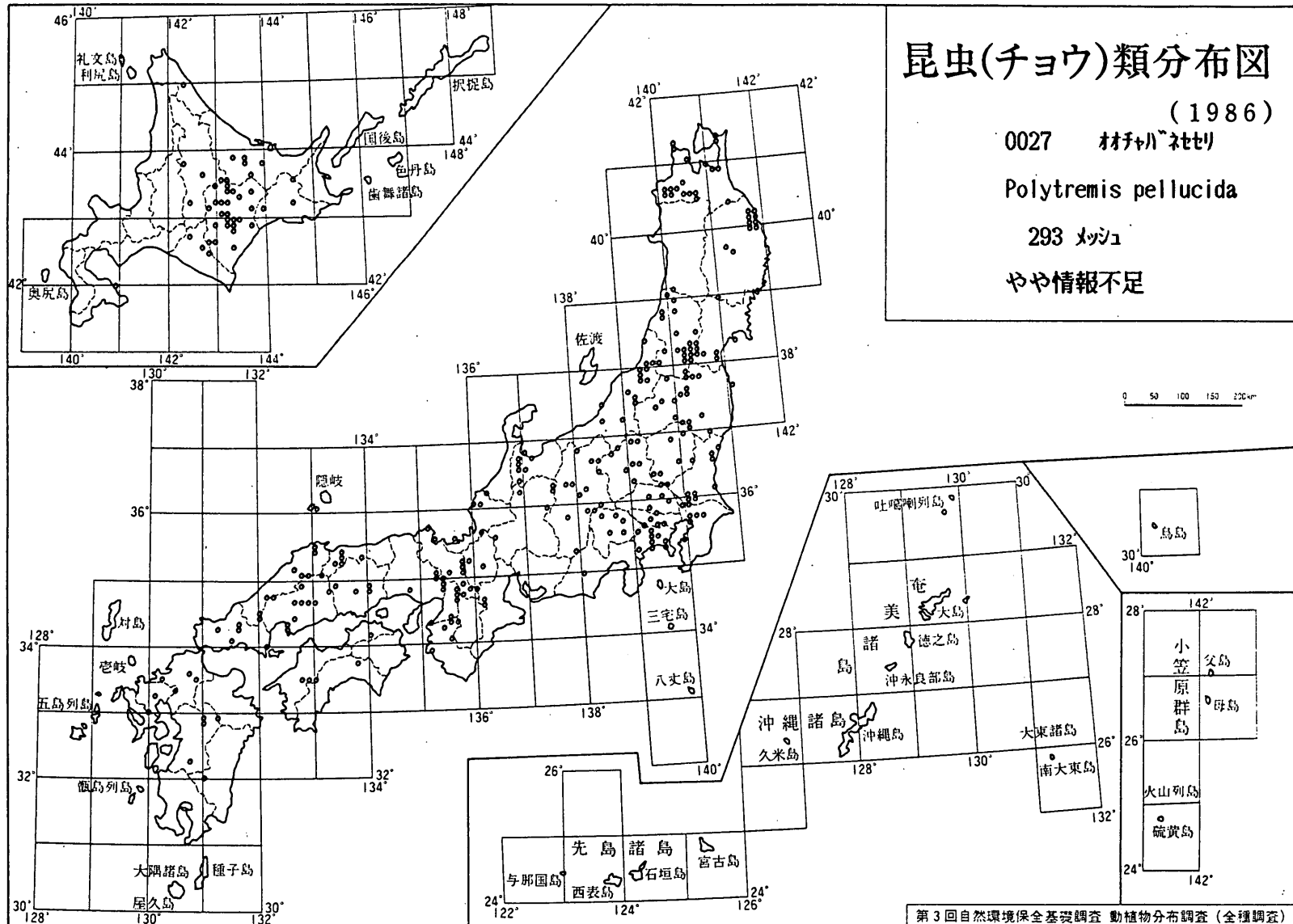
0027 材チハネセリ

Polytremis pellucida

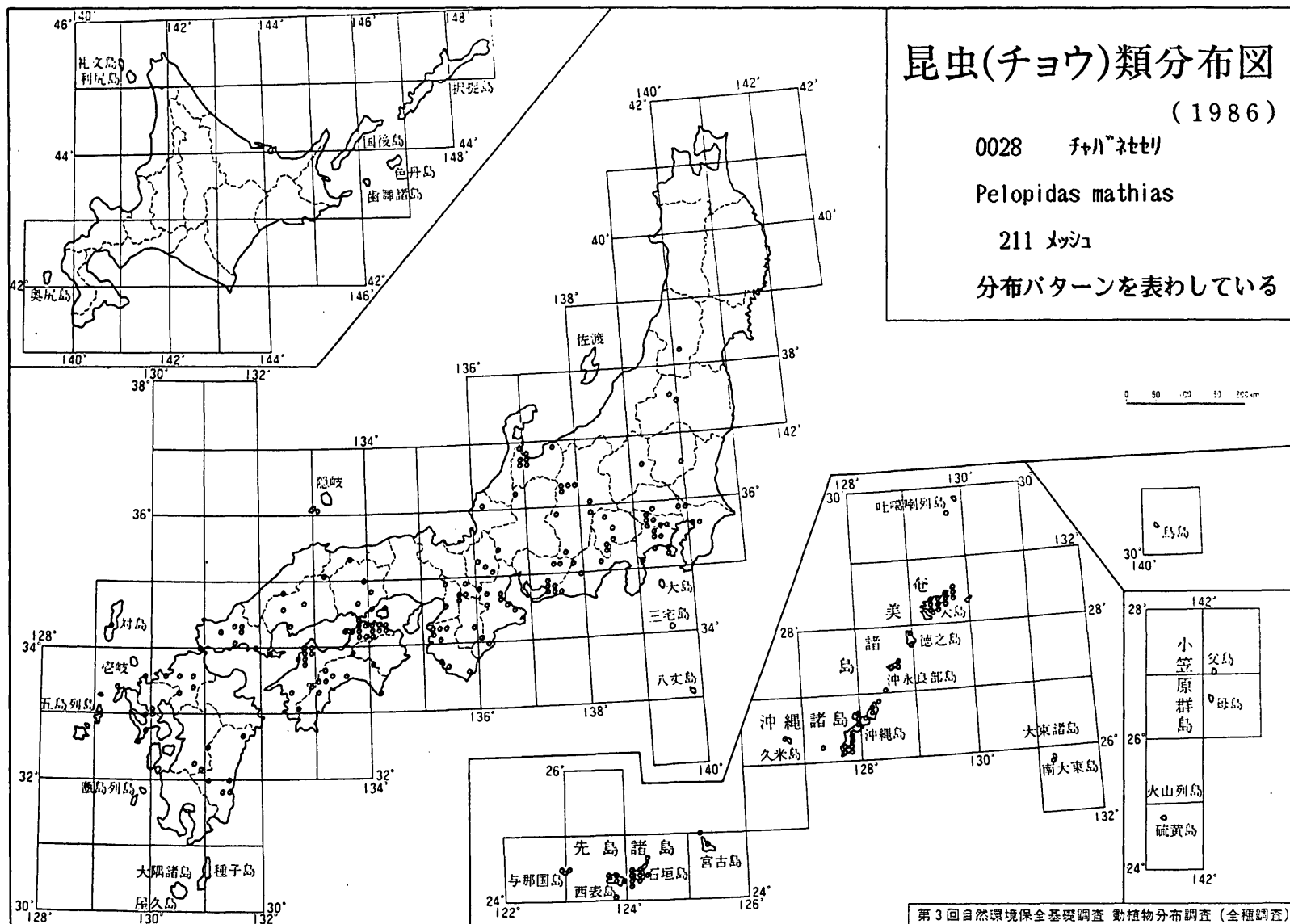
293 メッシュ

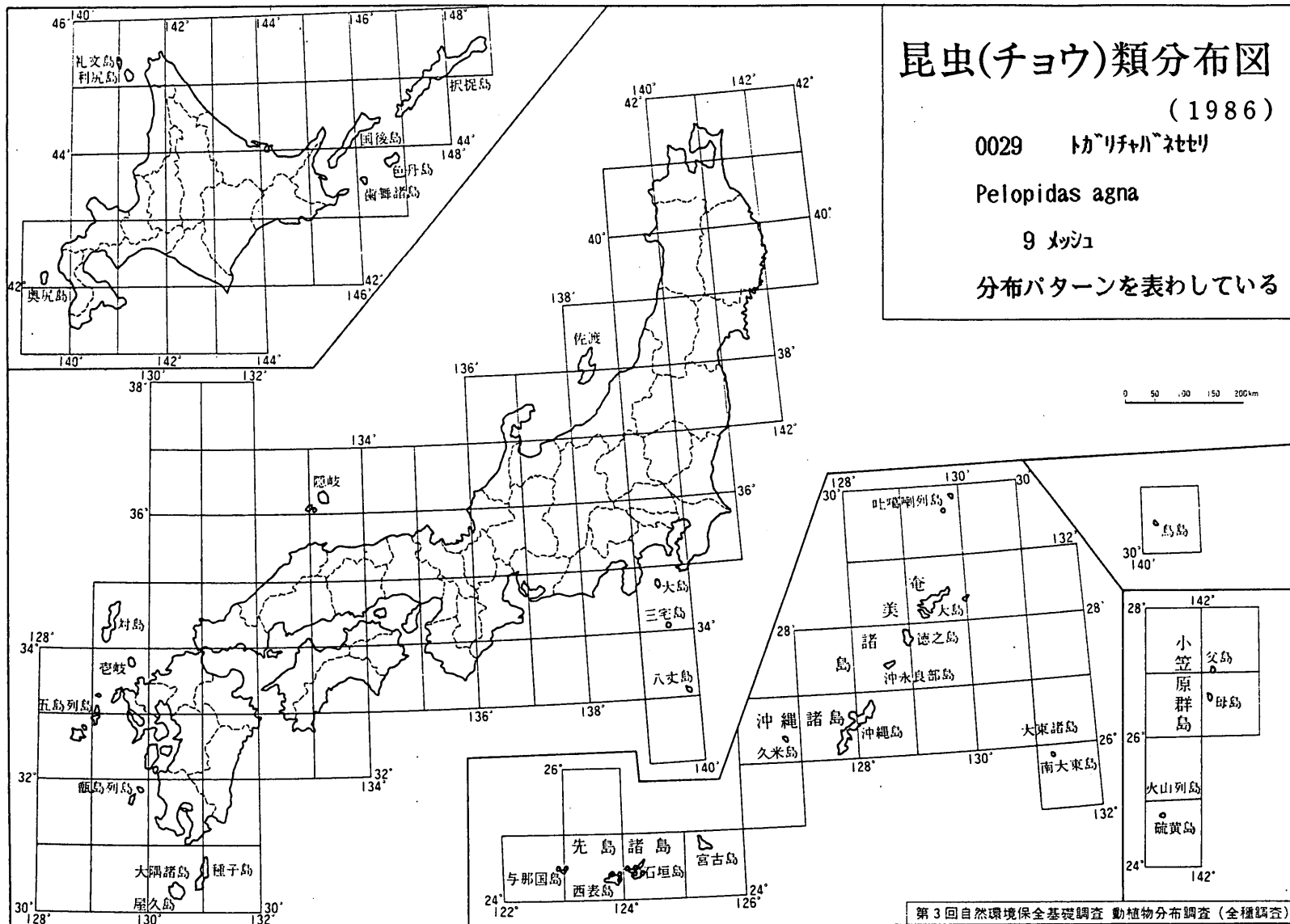
やや情報不足

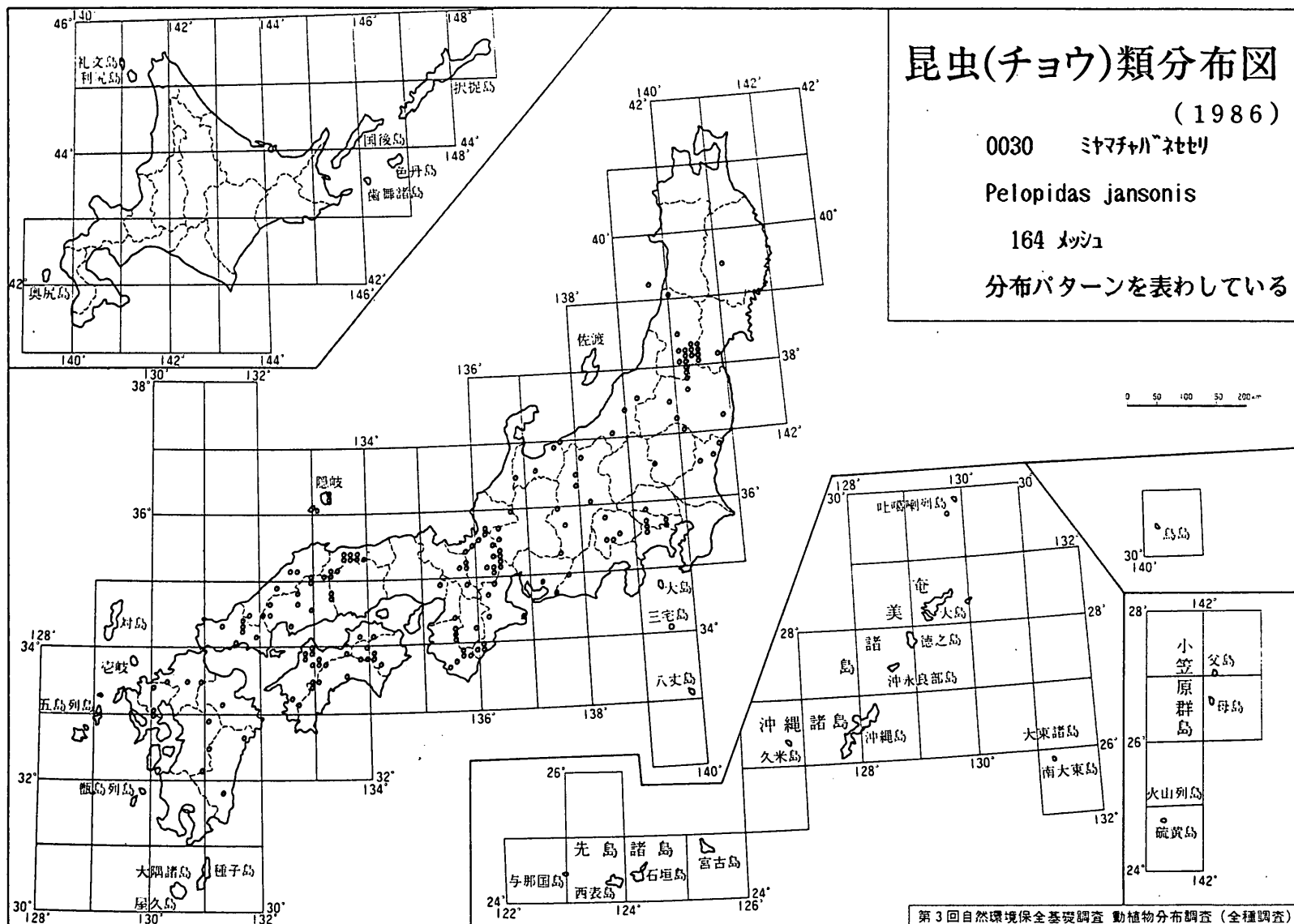
0 50 100 150 200 km

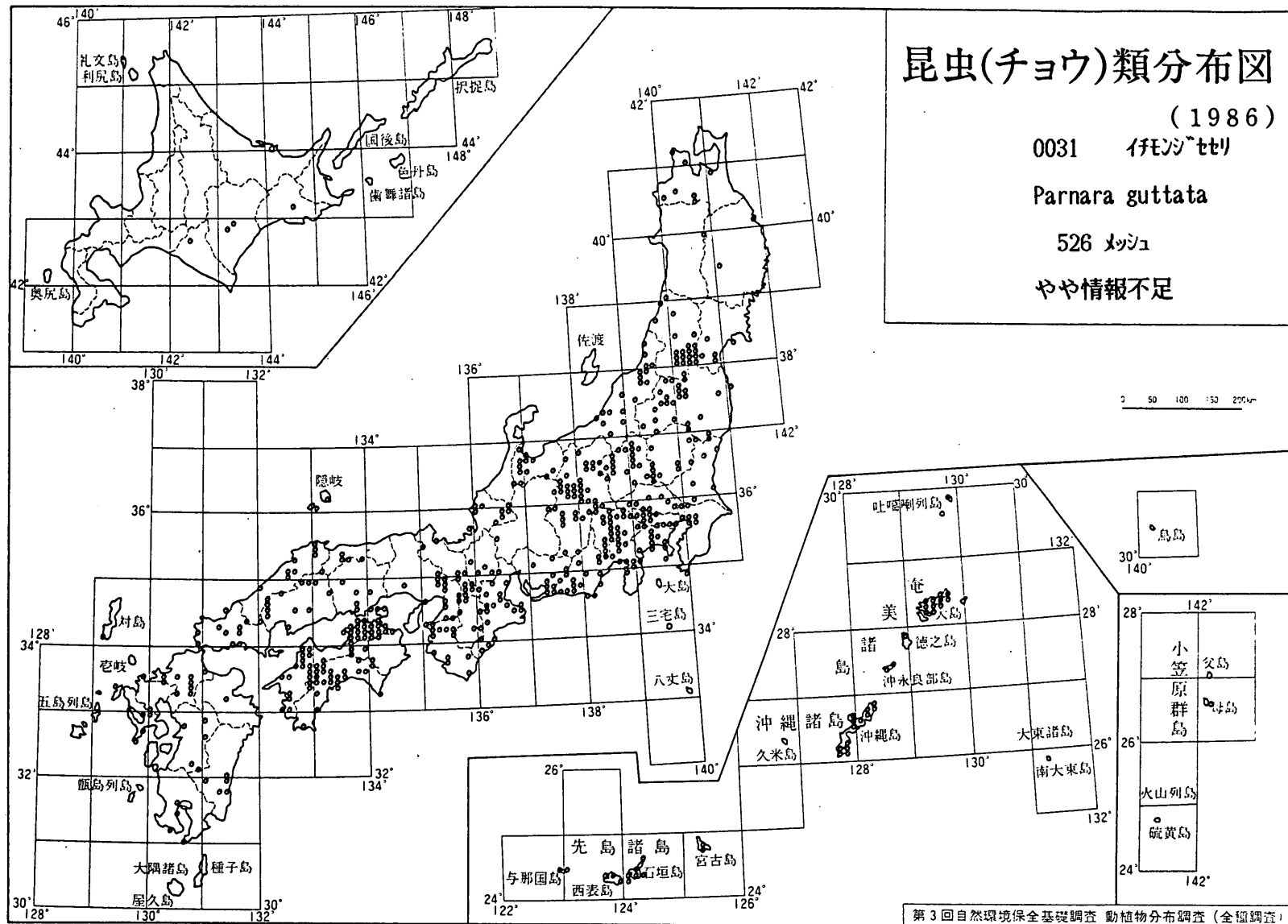


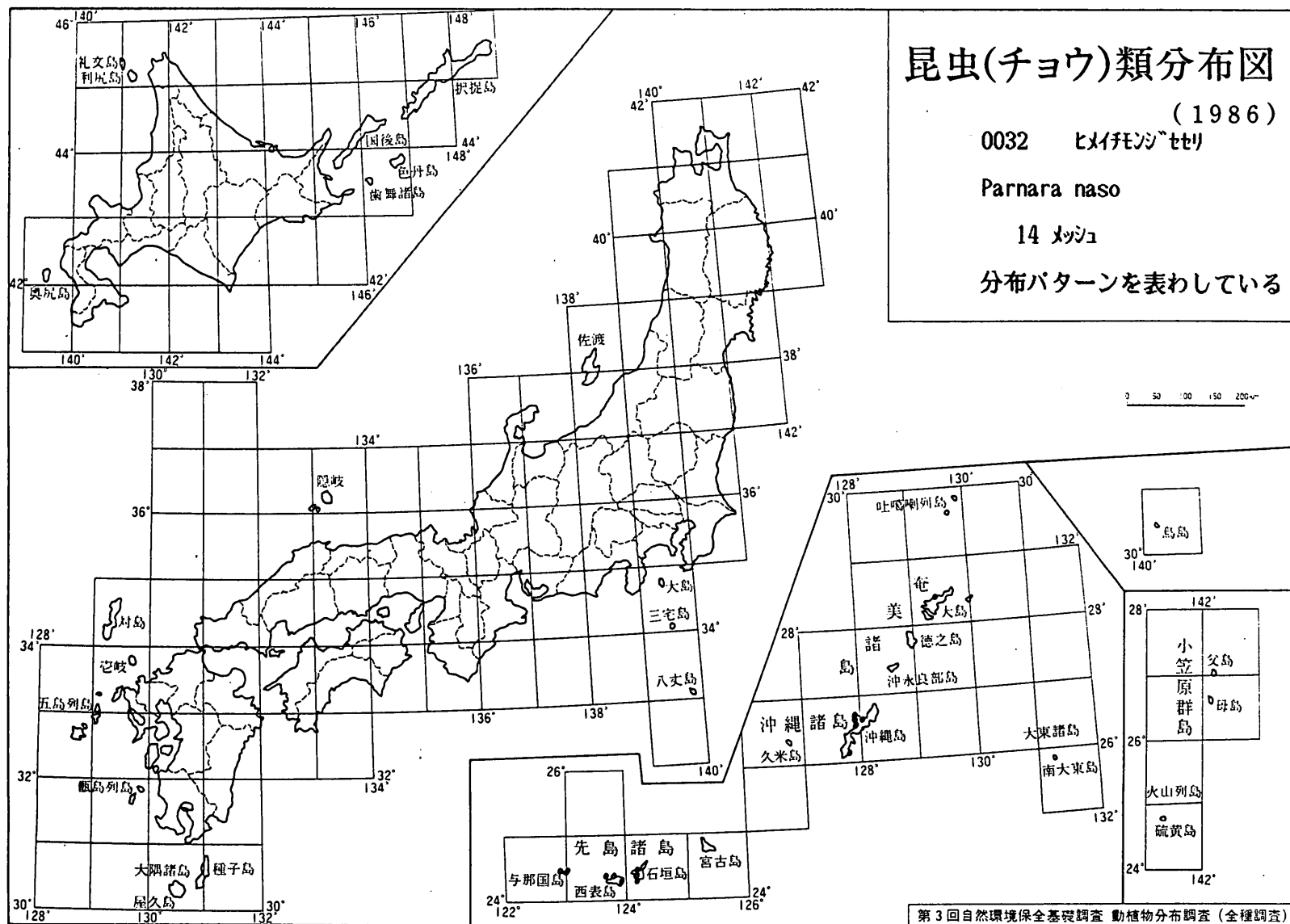
第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

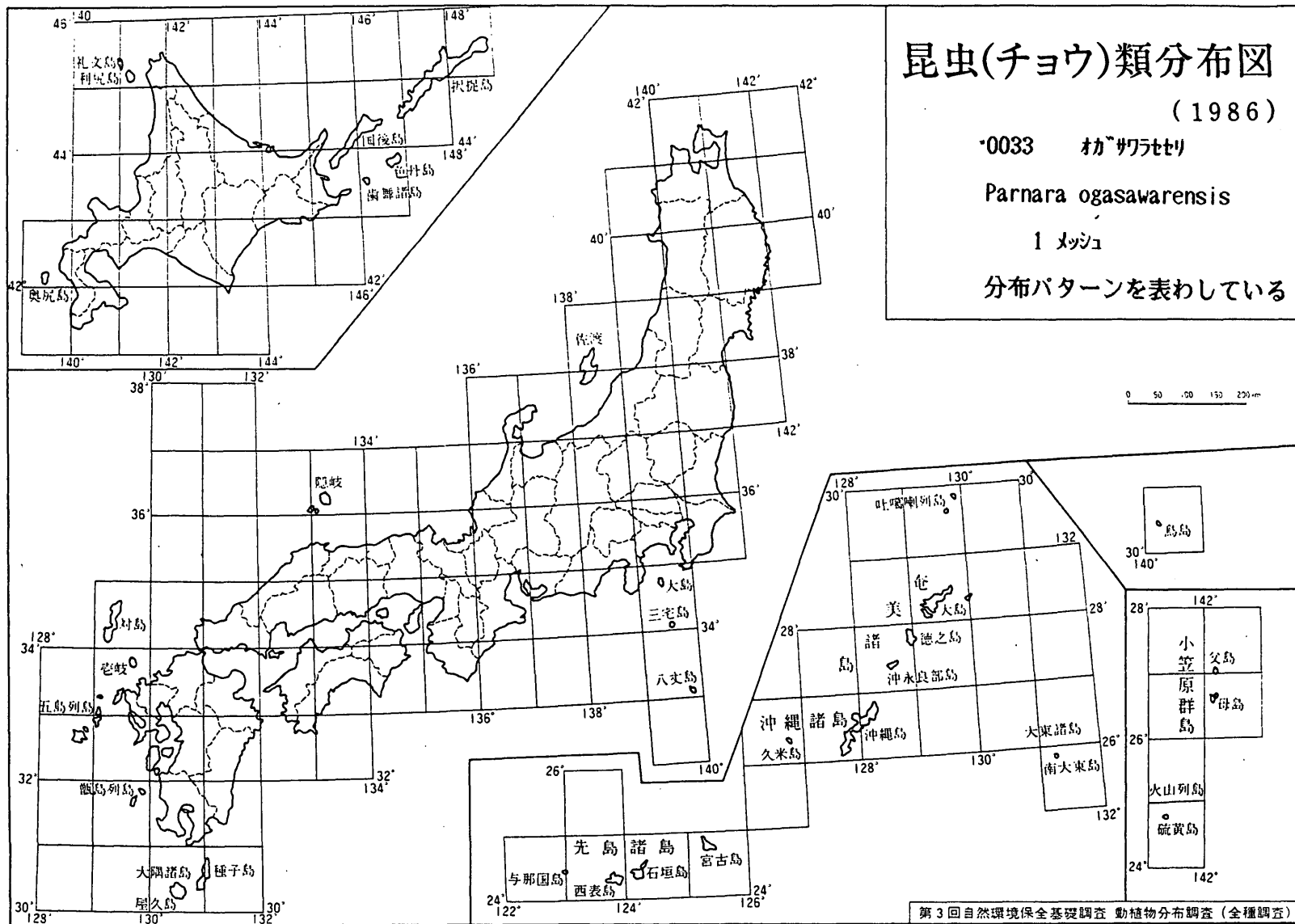


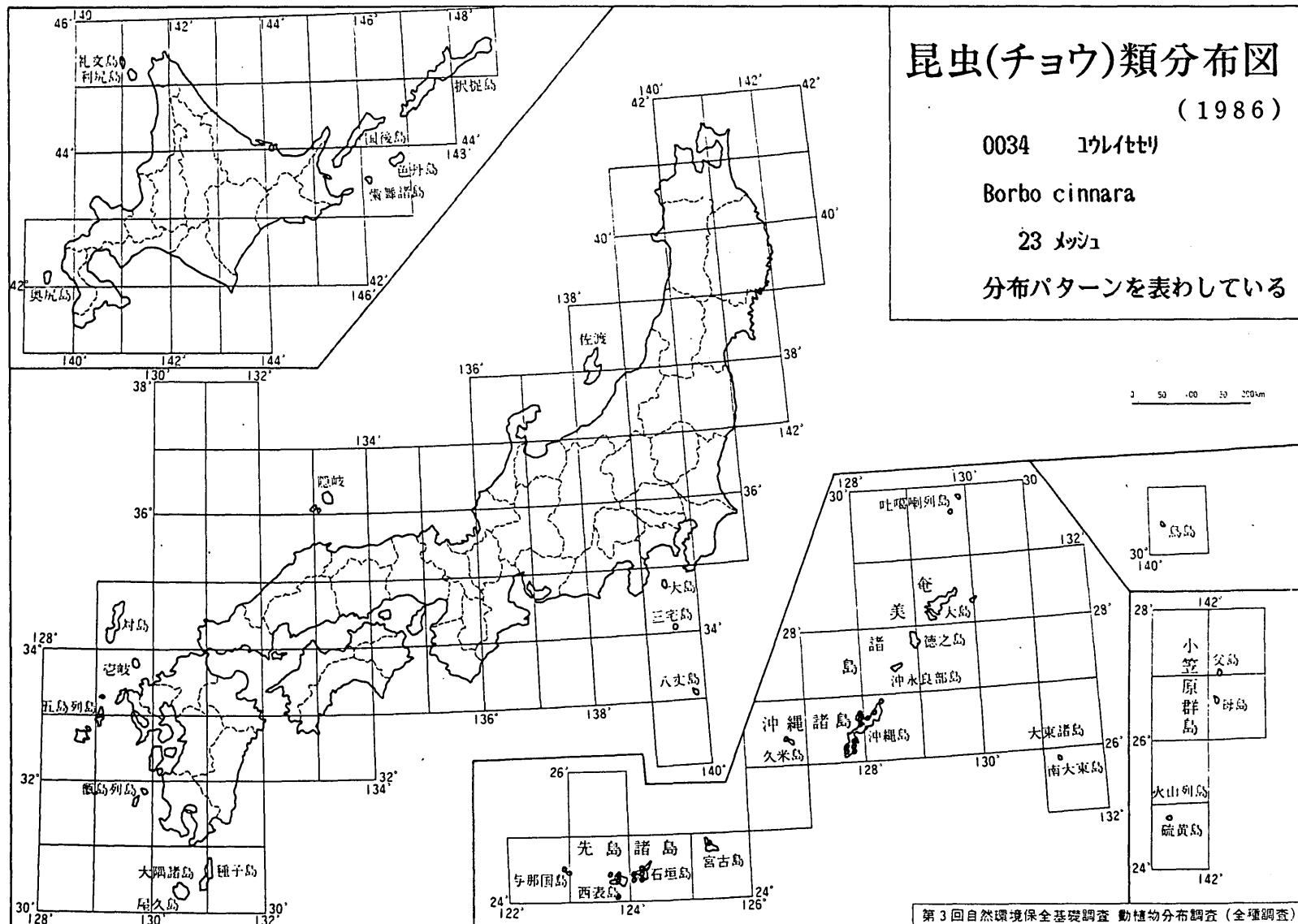


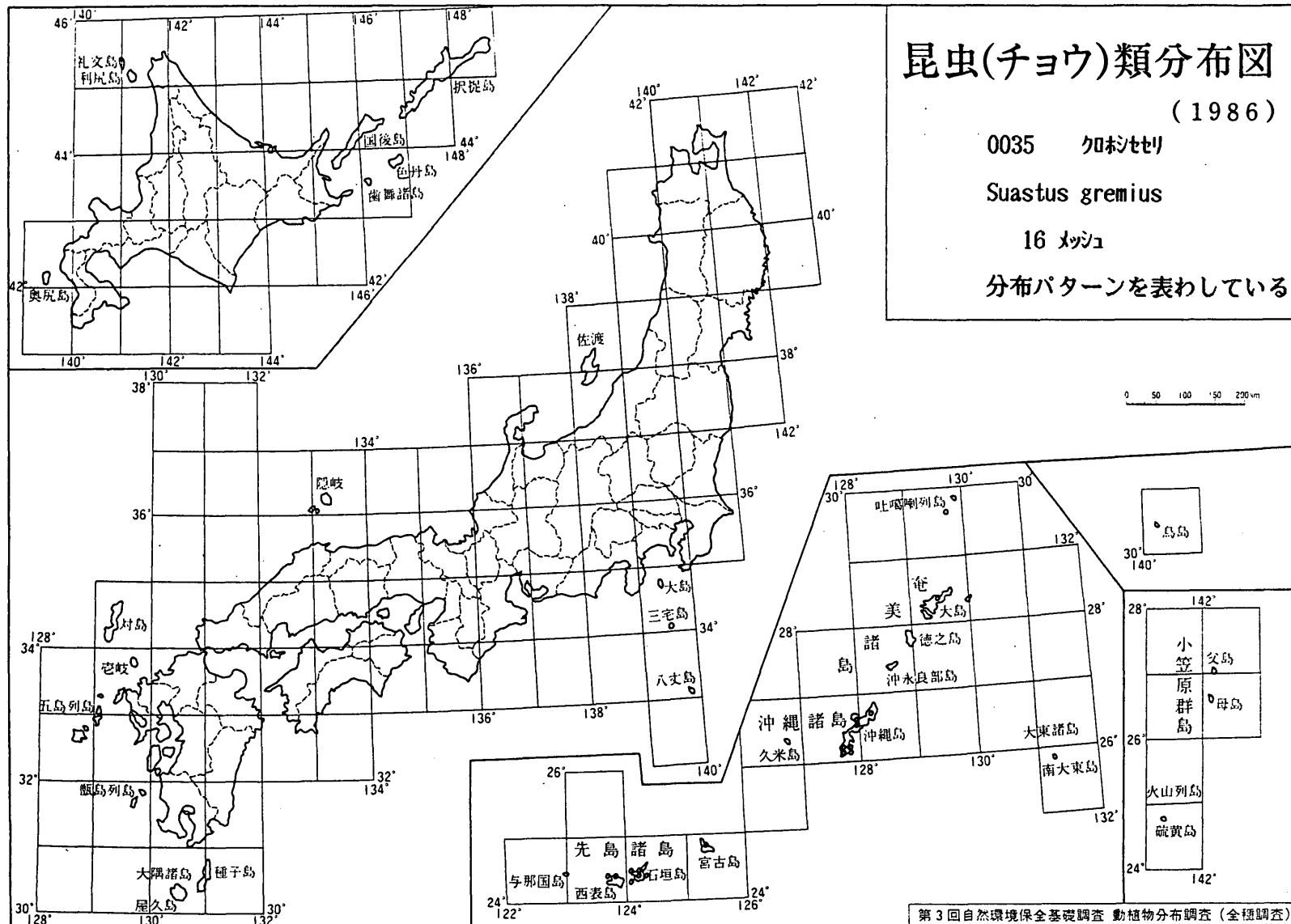


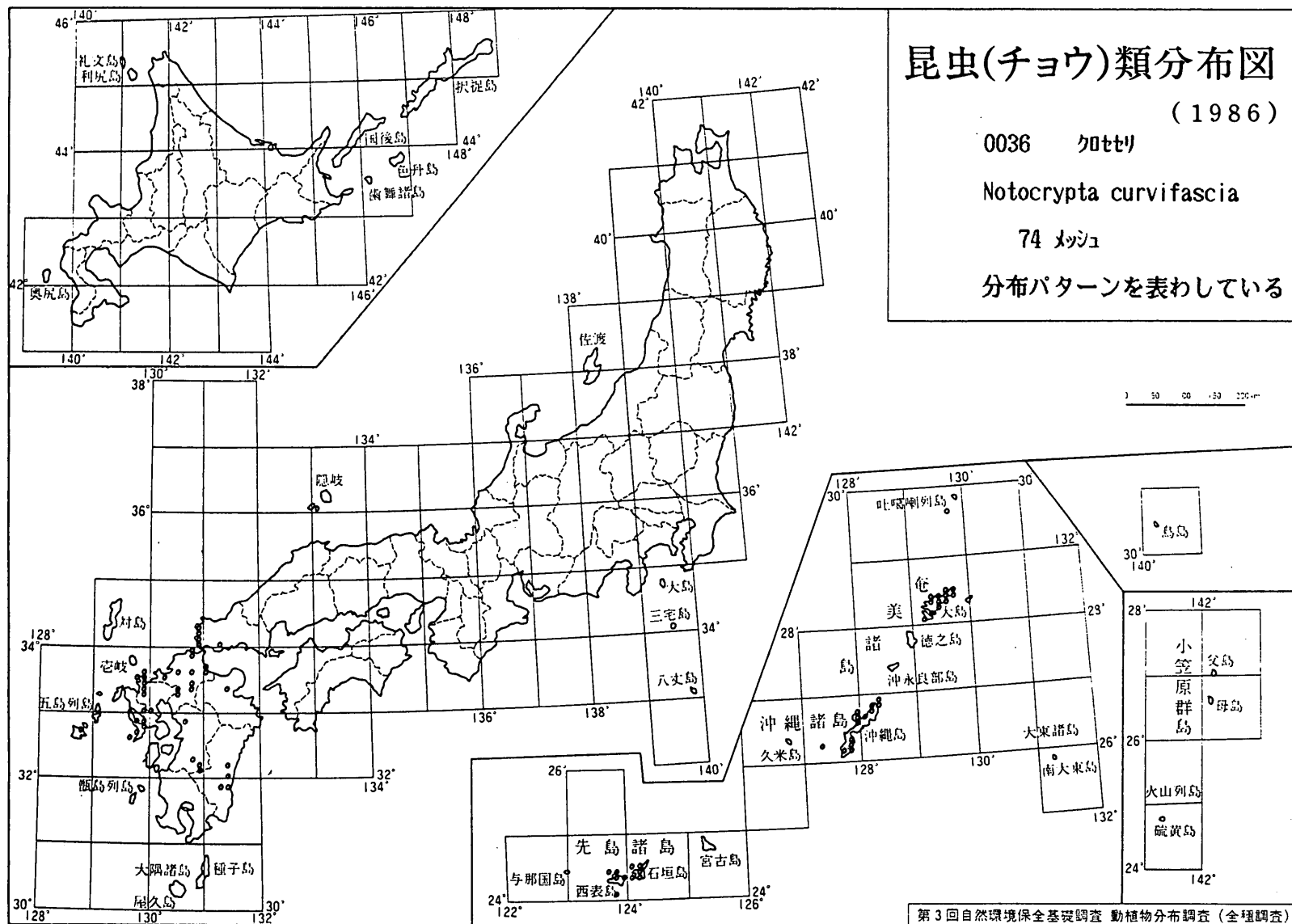












昆虫(チョウ)類分布図

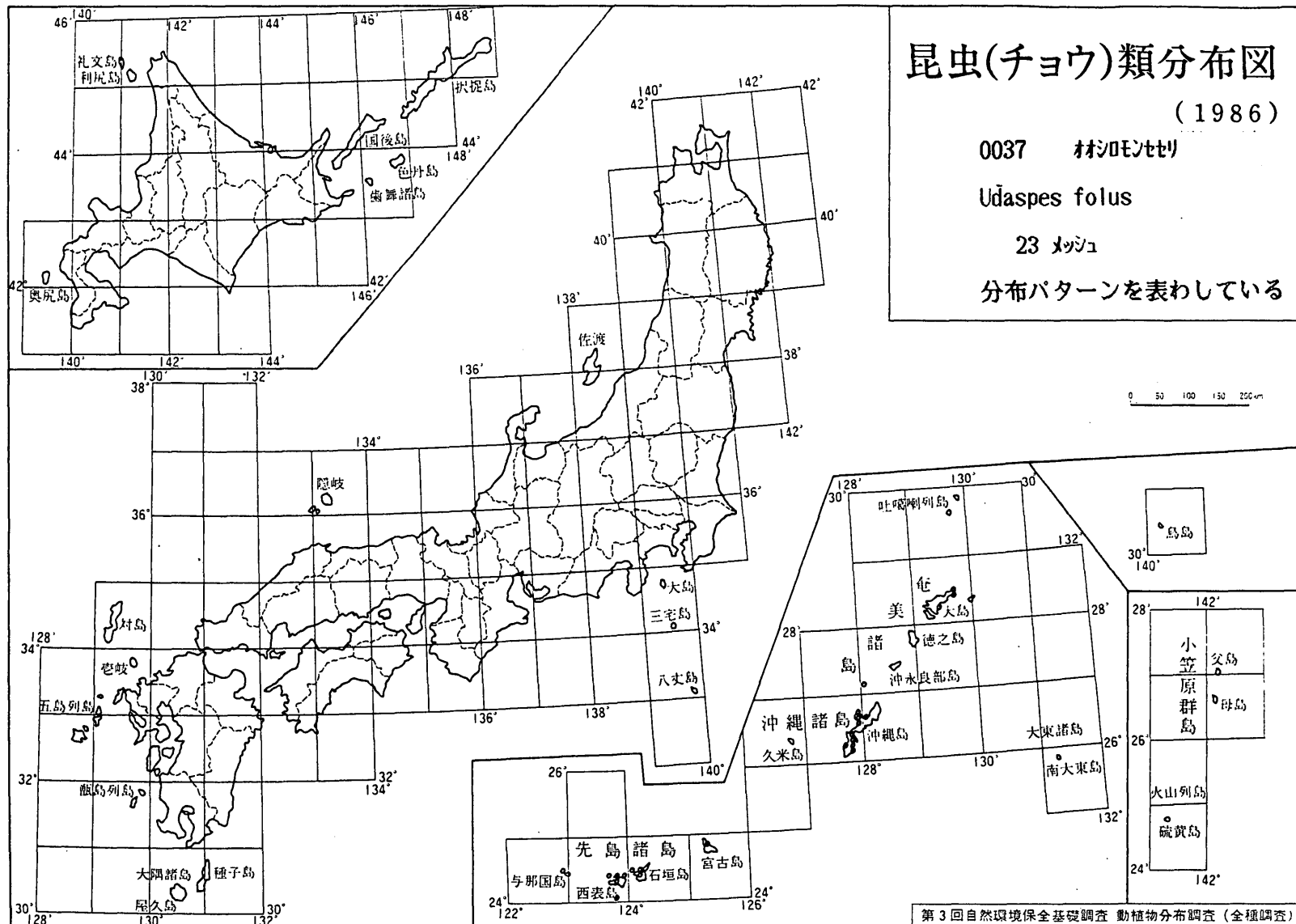
(1986)

0037 材シロモンヒトリ

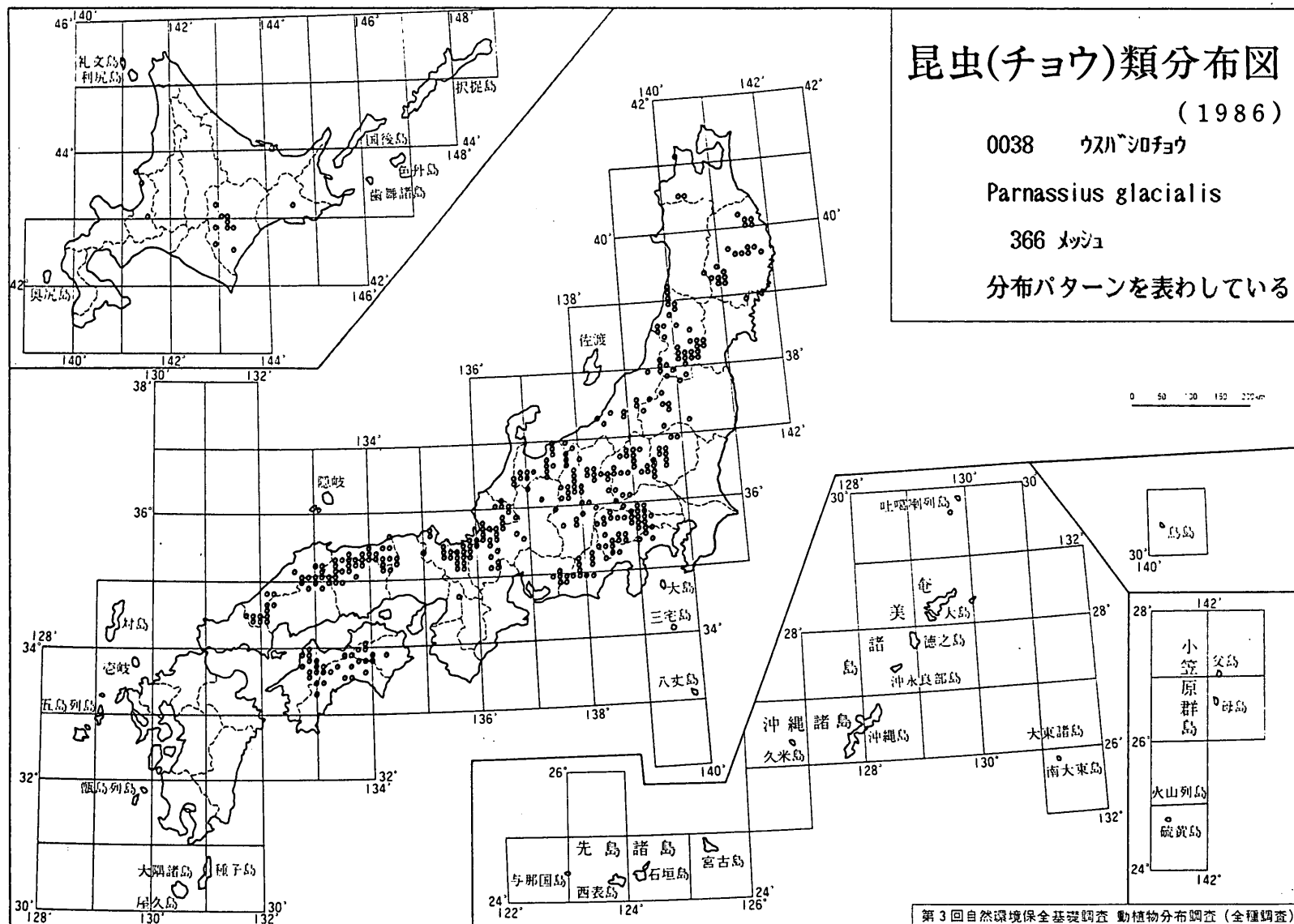
Udaspes folus

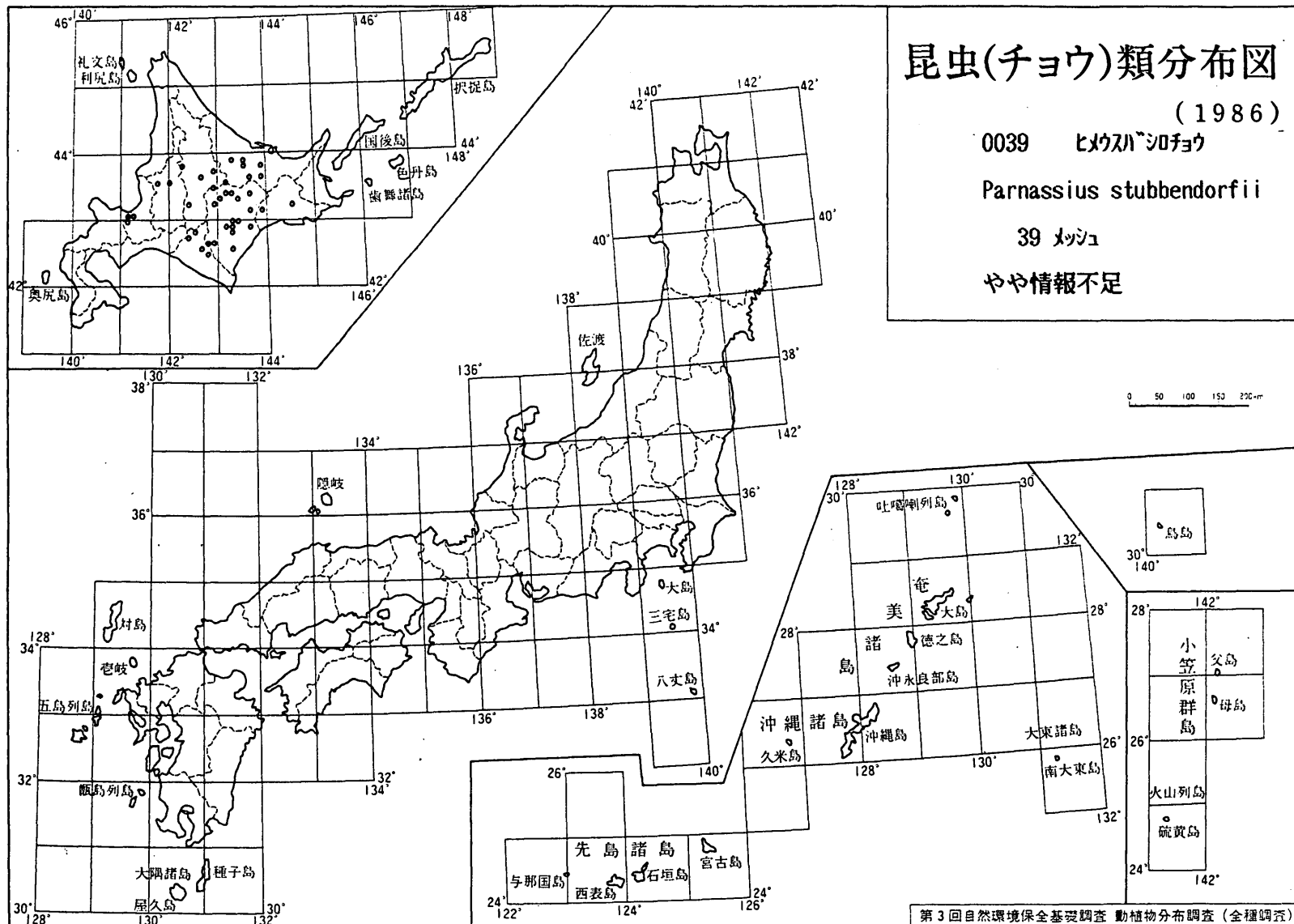
23 メッシュ

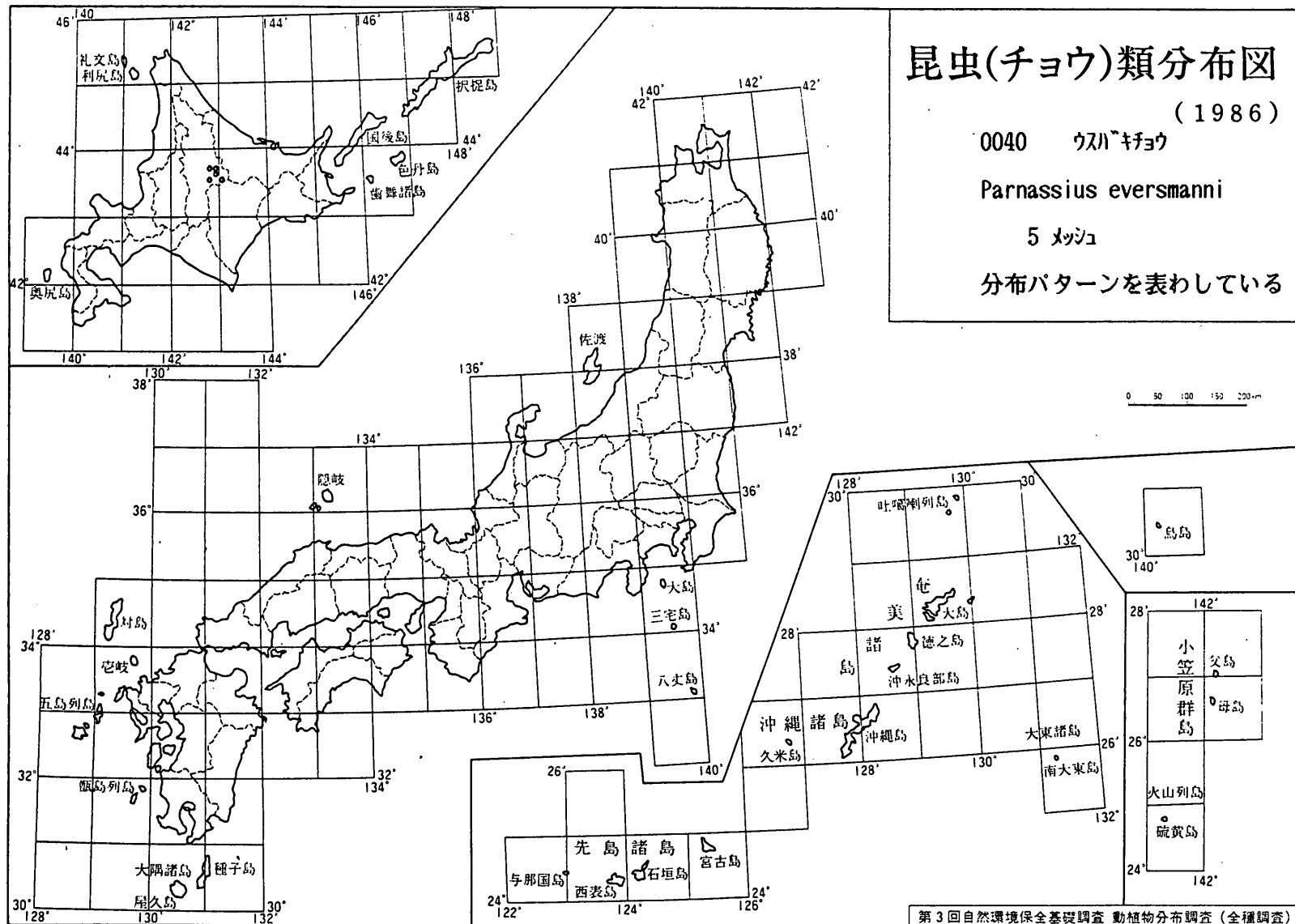
分布パターンを表わしている



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査(全種調査)







昆虫(チョウ)類分布図

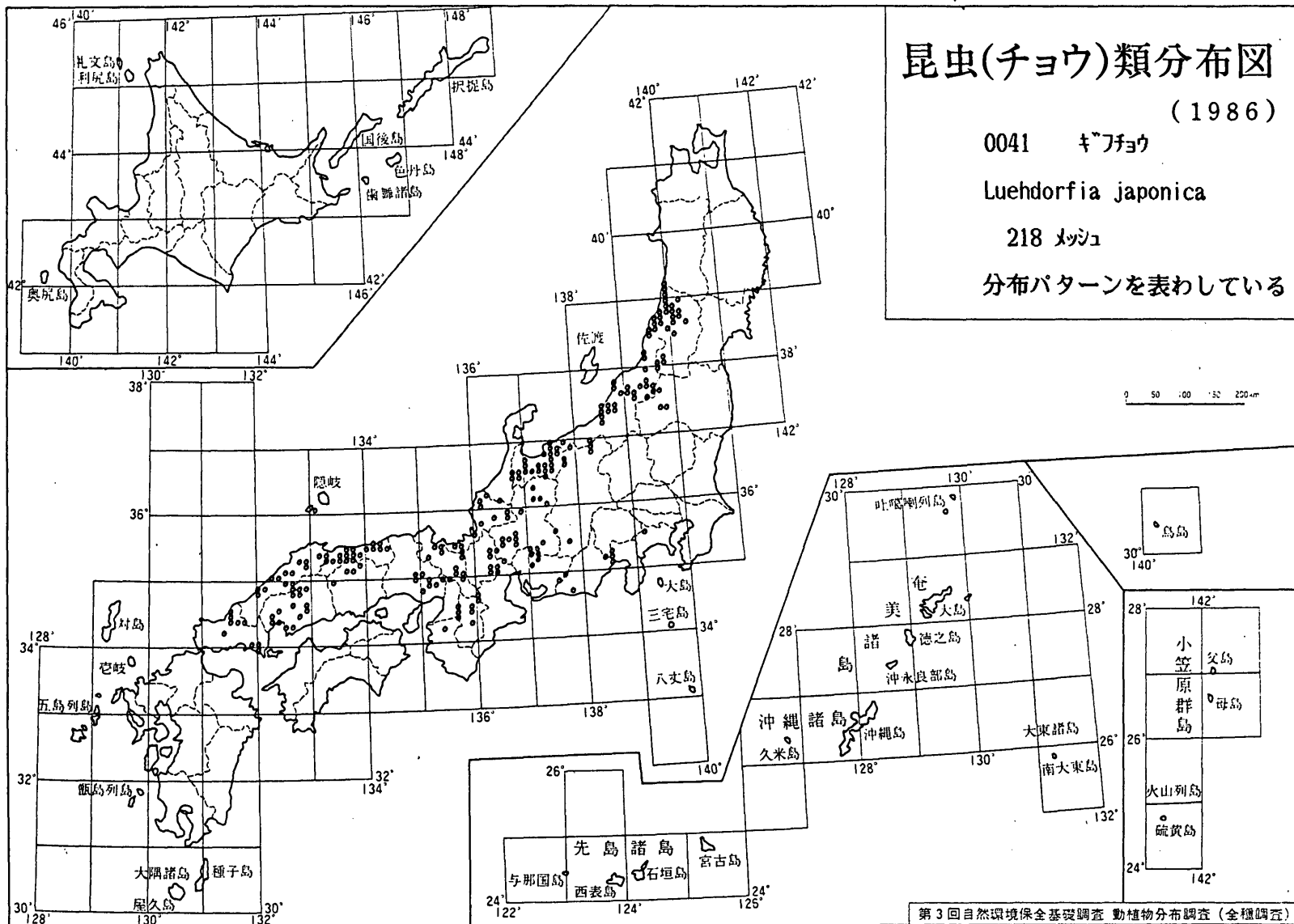
(1986)

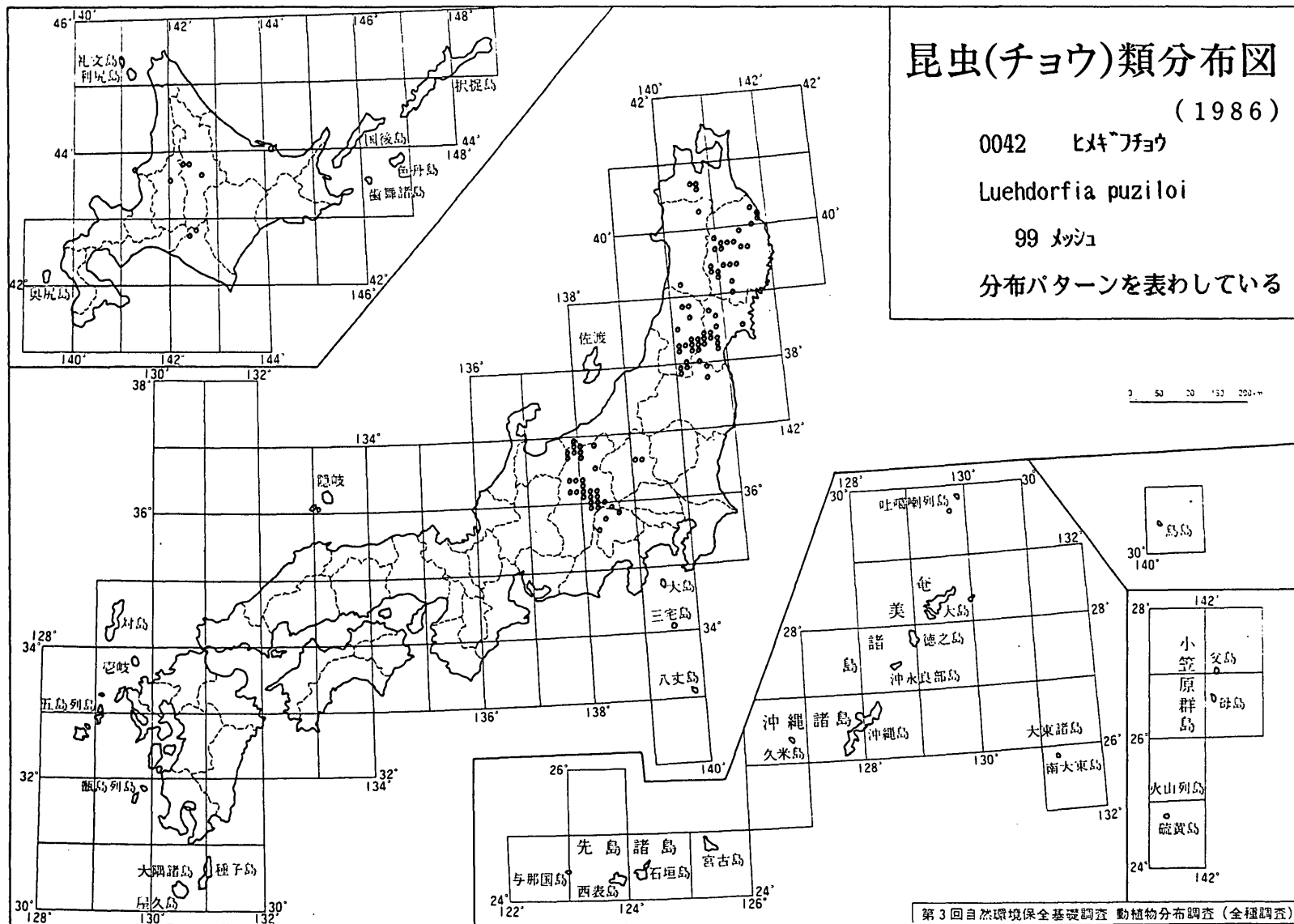
0041 キマダラチョウ

Luehdorfia japonica

218 マスジ

分布パターンを表わしている





昆虫(チョウ)類分布図

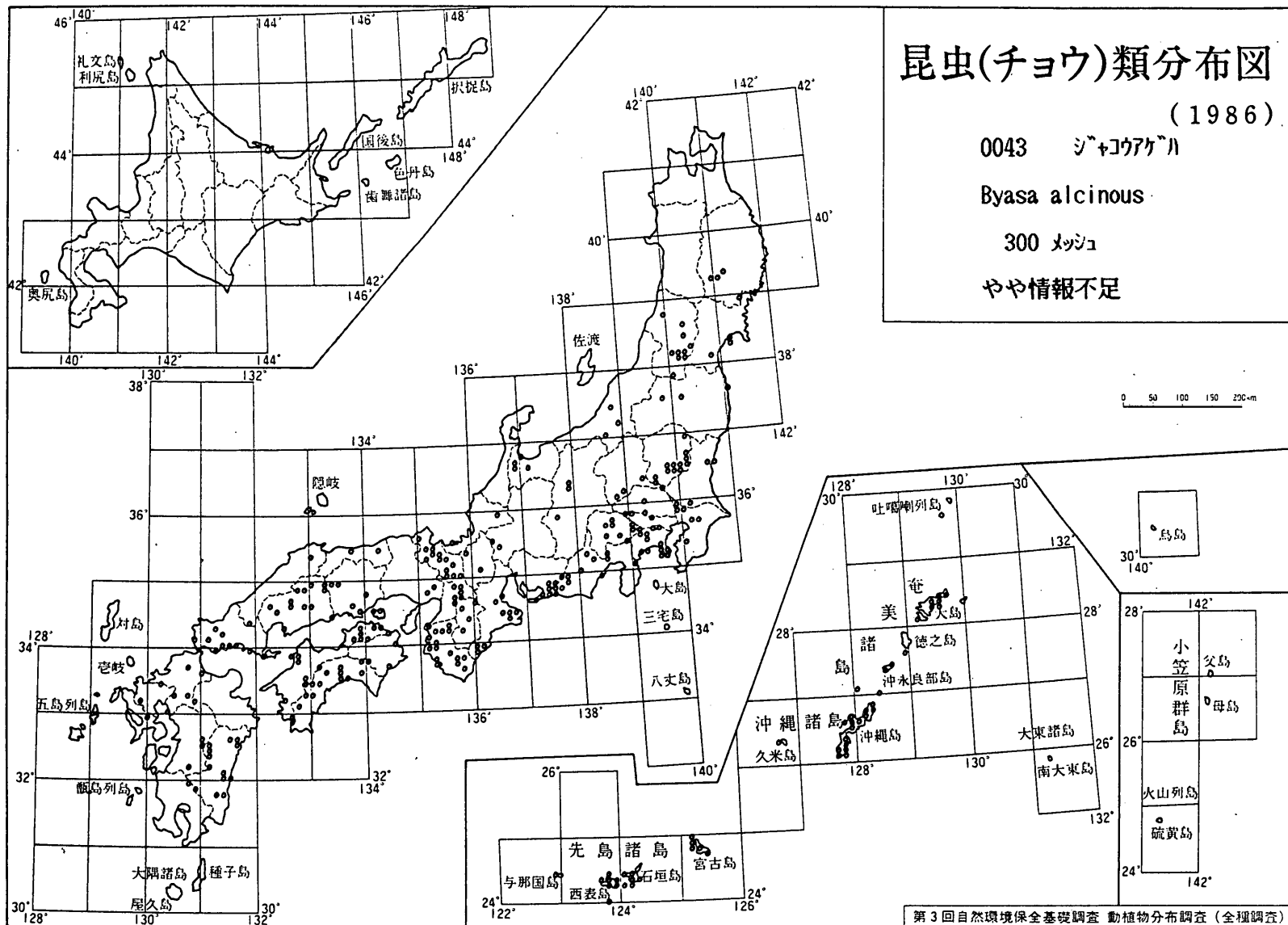
(1986)

0043 ジョウコウアケハ

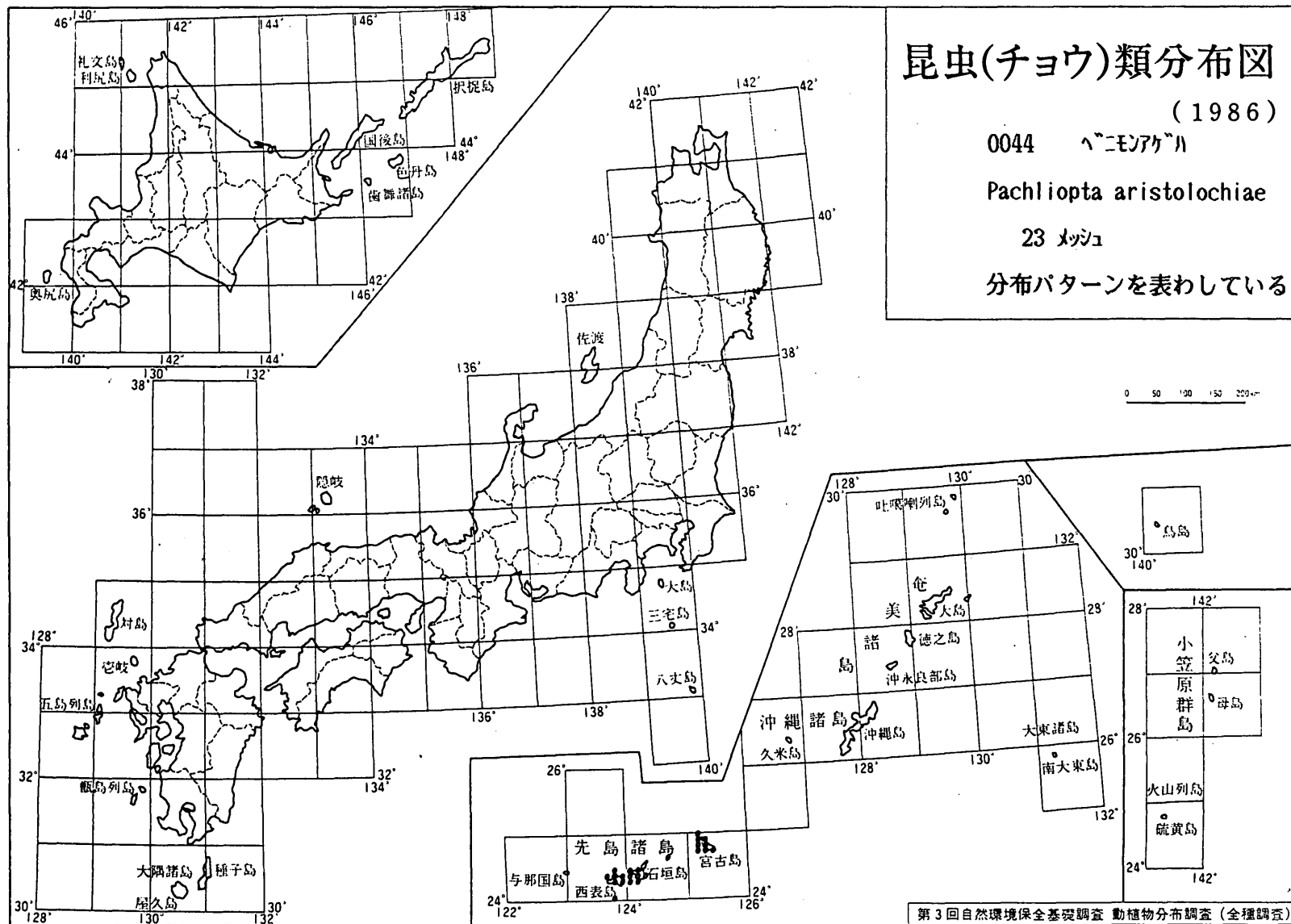
Byasa alcinous

300 メッシュ

やや情報不足



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)



昆虫(チョウ)類分布図

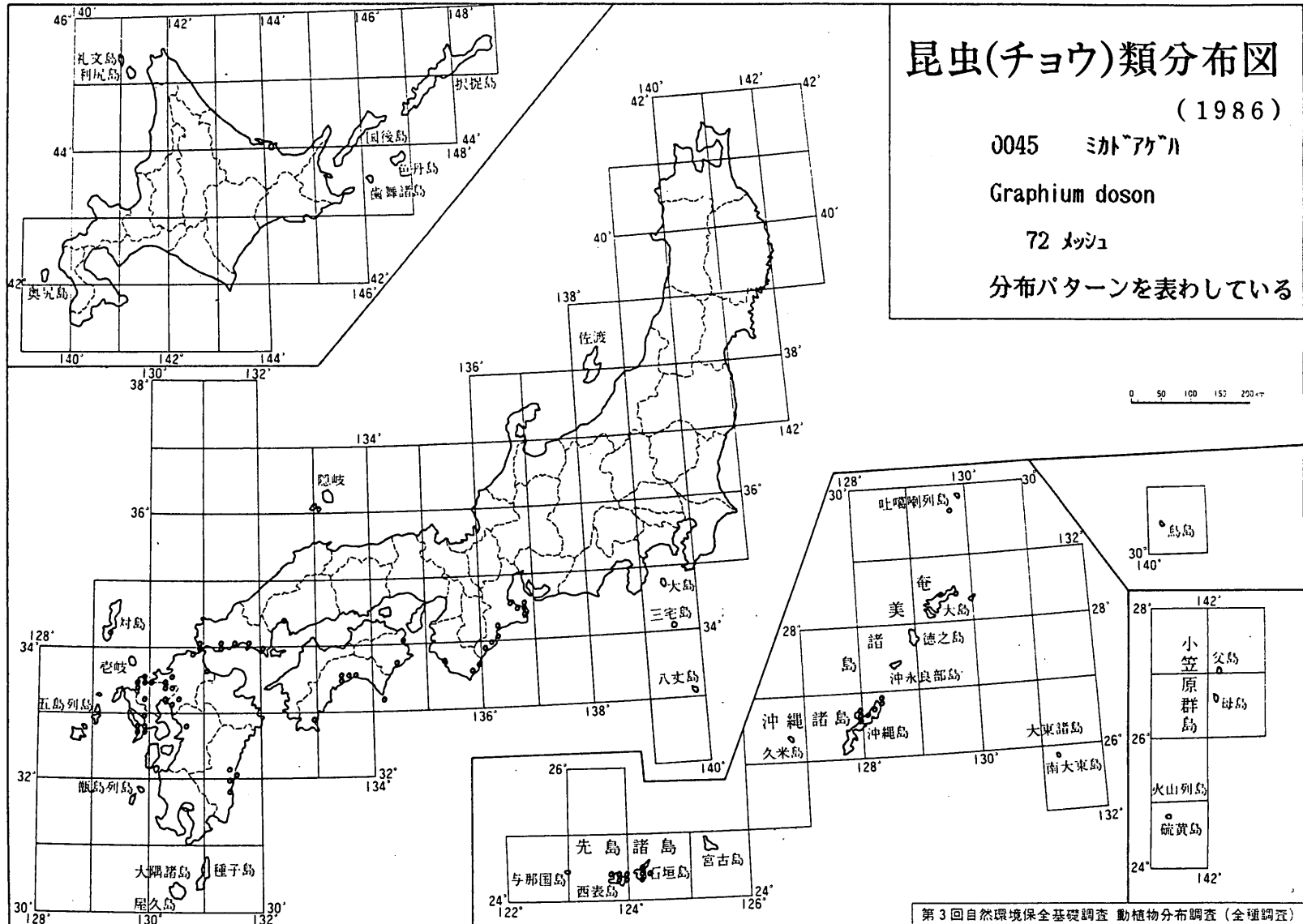
(1986)

0045 ミカトアケハ

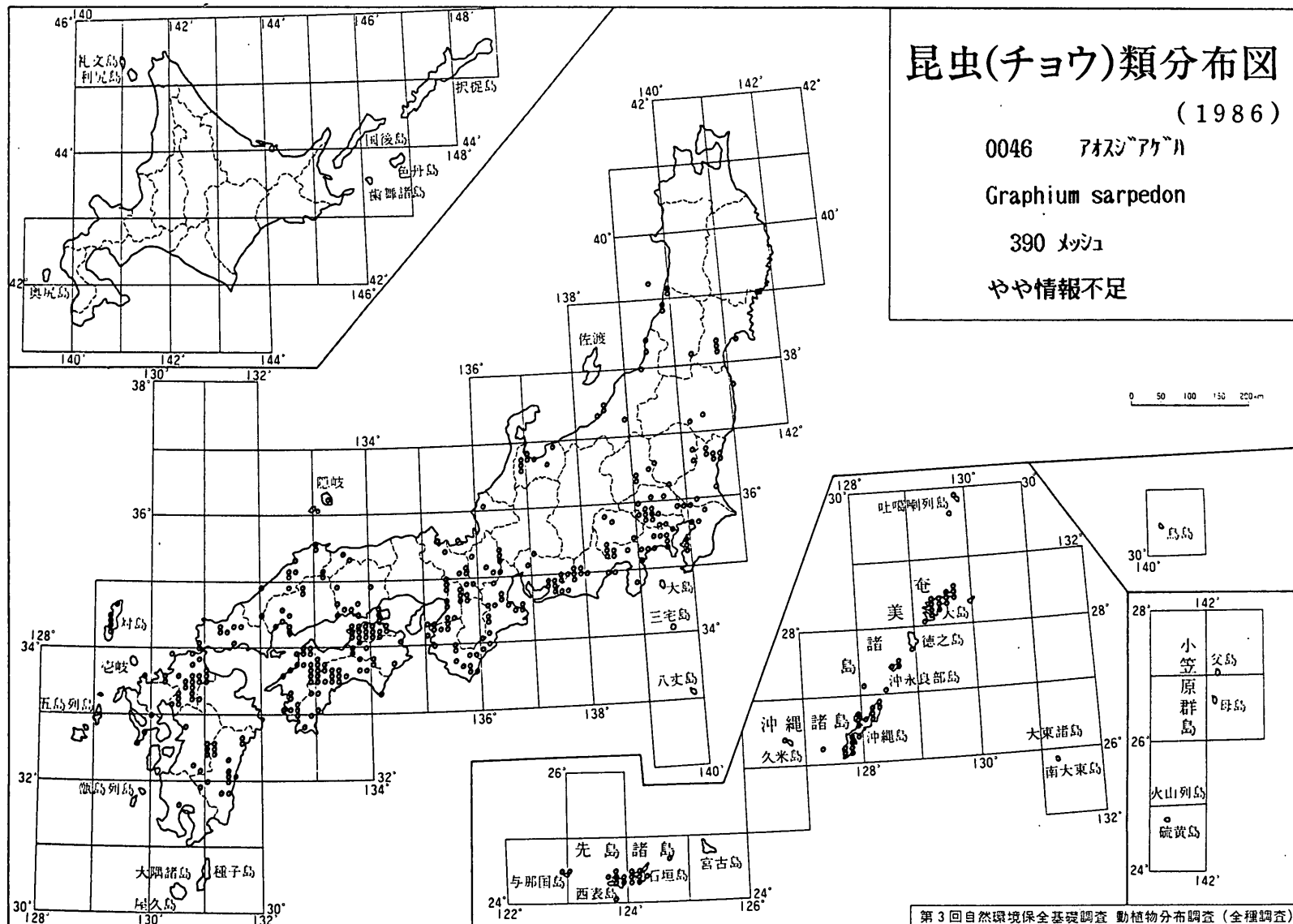
Graphium doson

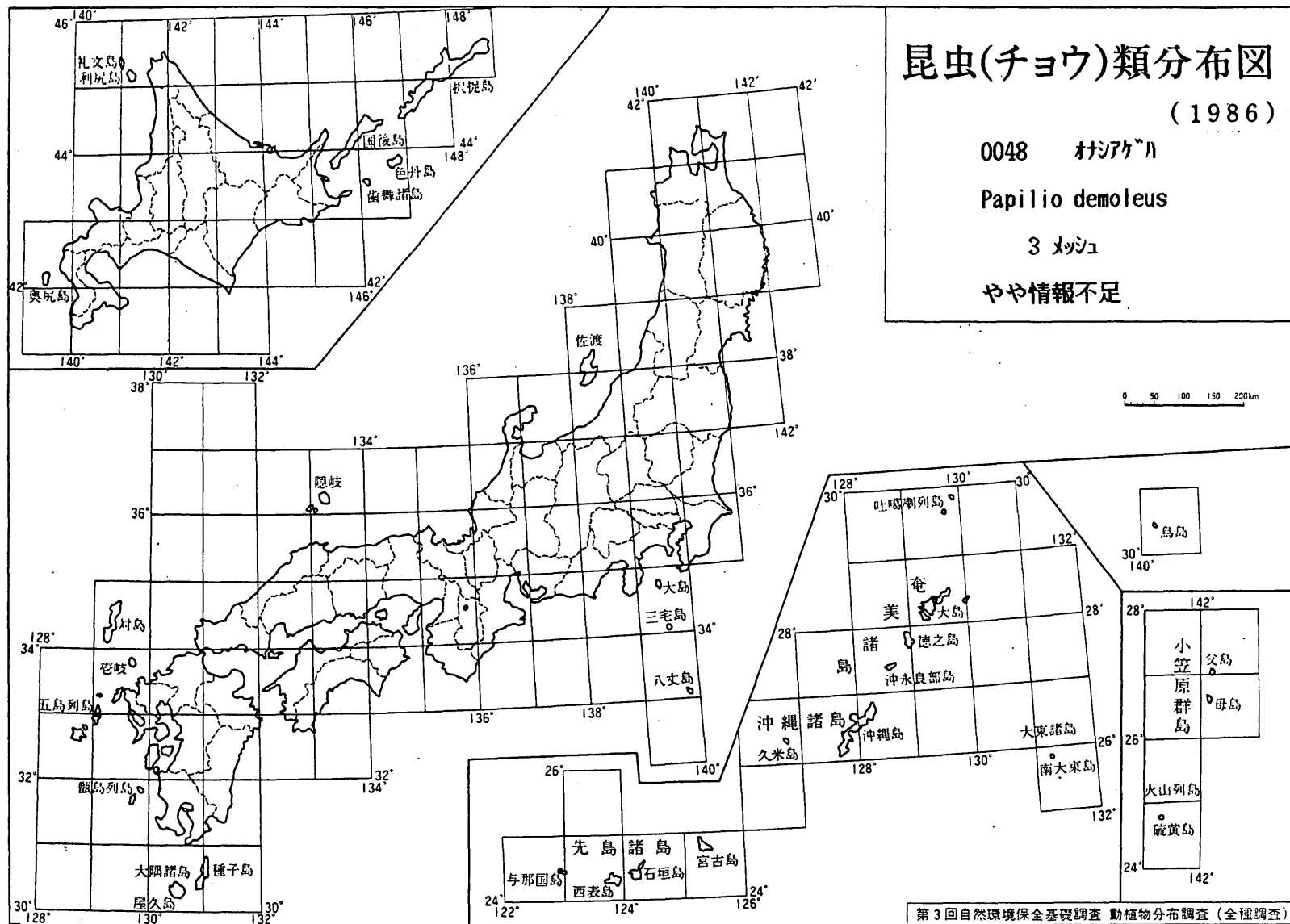
72 メッシュ

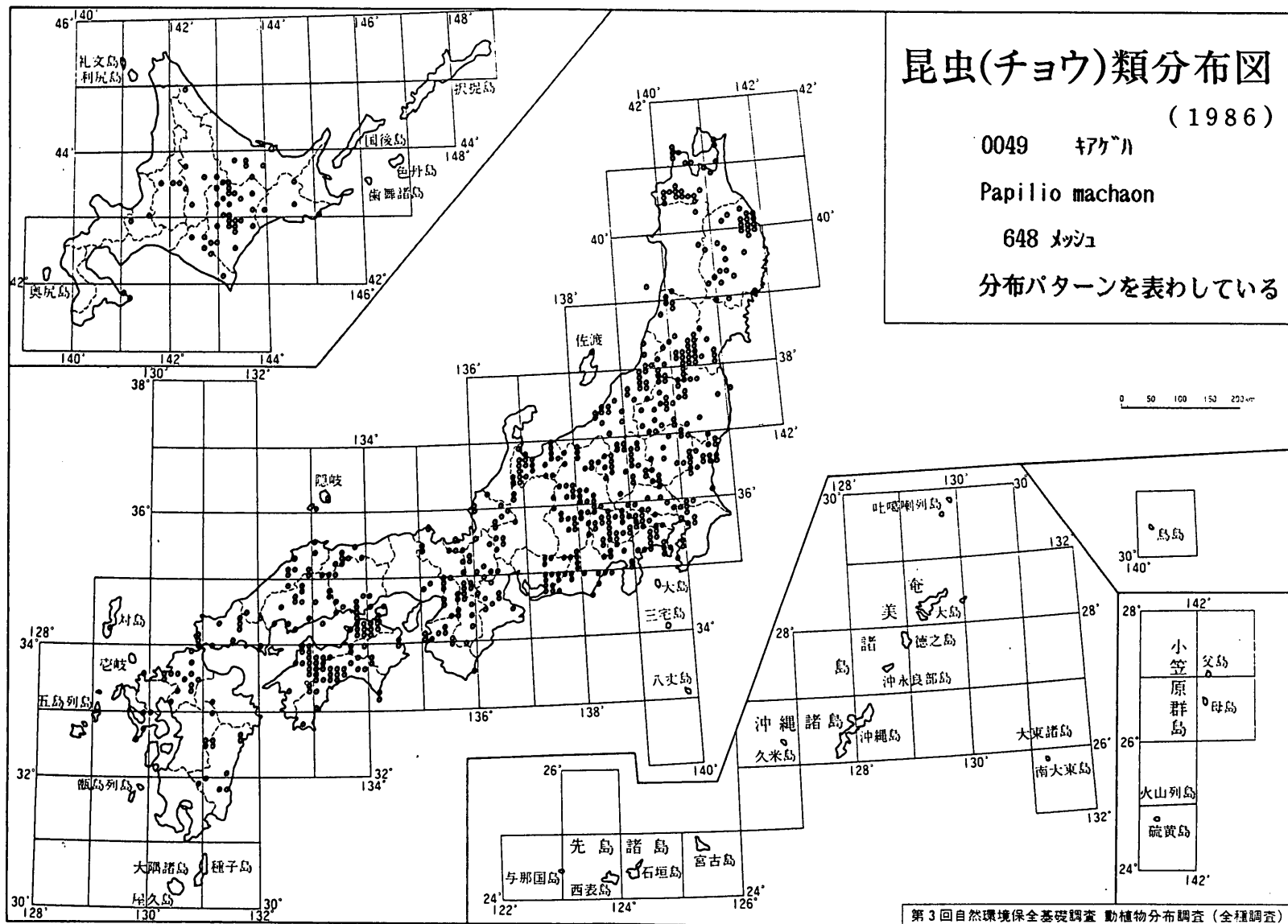
分布パターンを表わしている

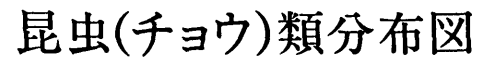


第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査(全種調査)







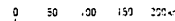


0050 ナミアケ^ハ(アケ^ハ,アケ^ハチヨウ)

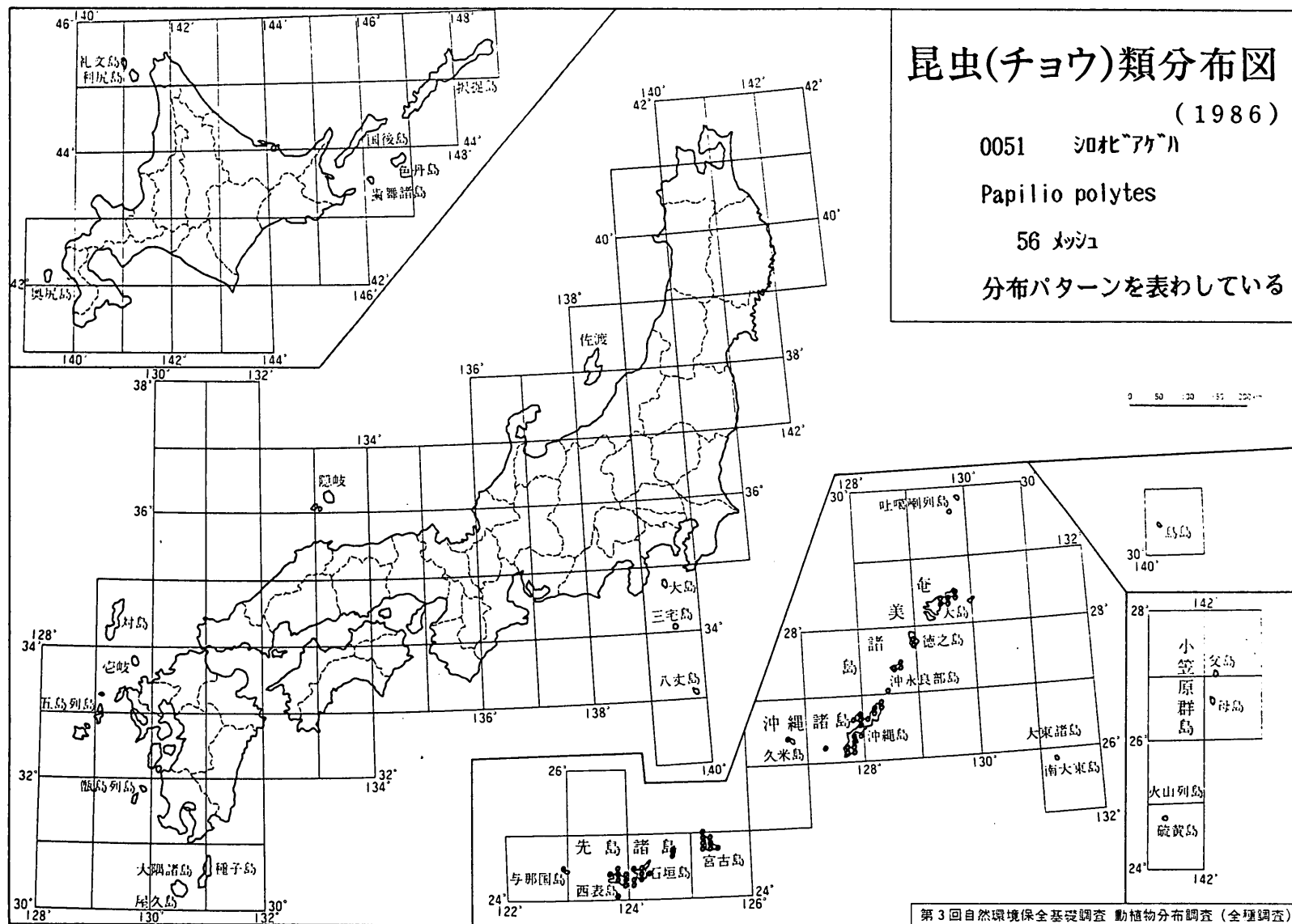
Papilio xuthus

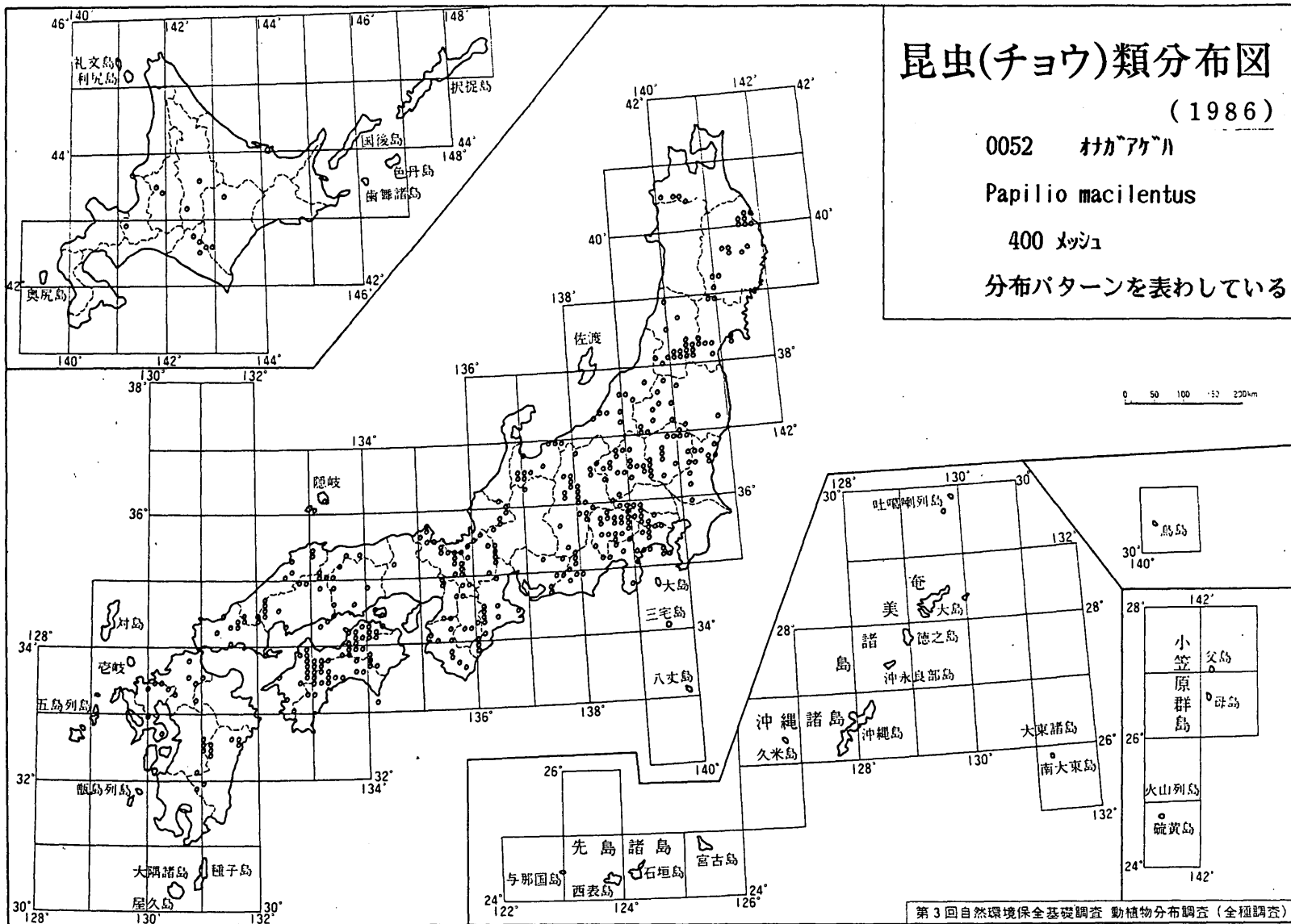
595 メッシュ

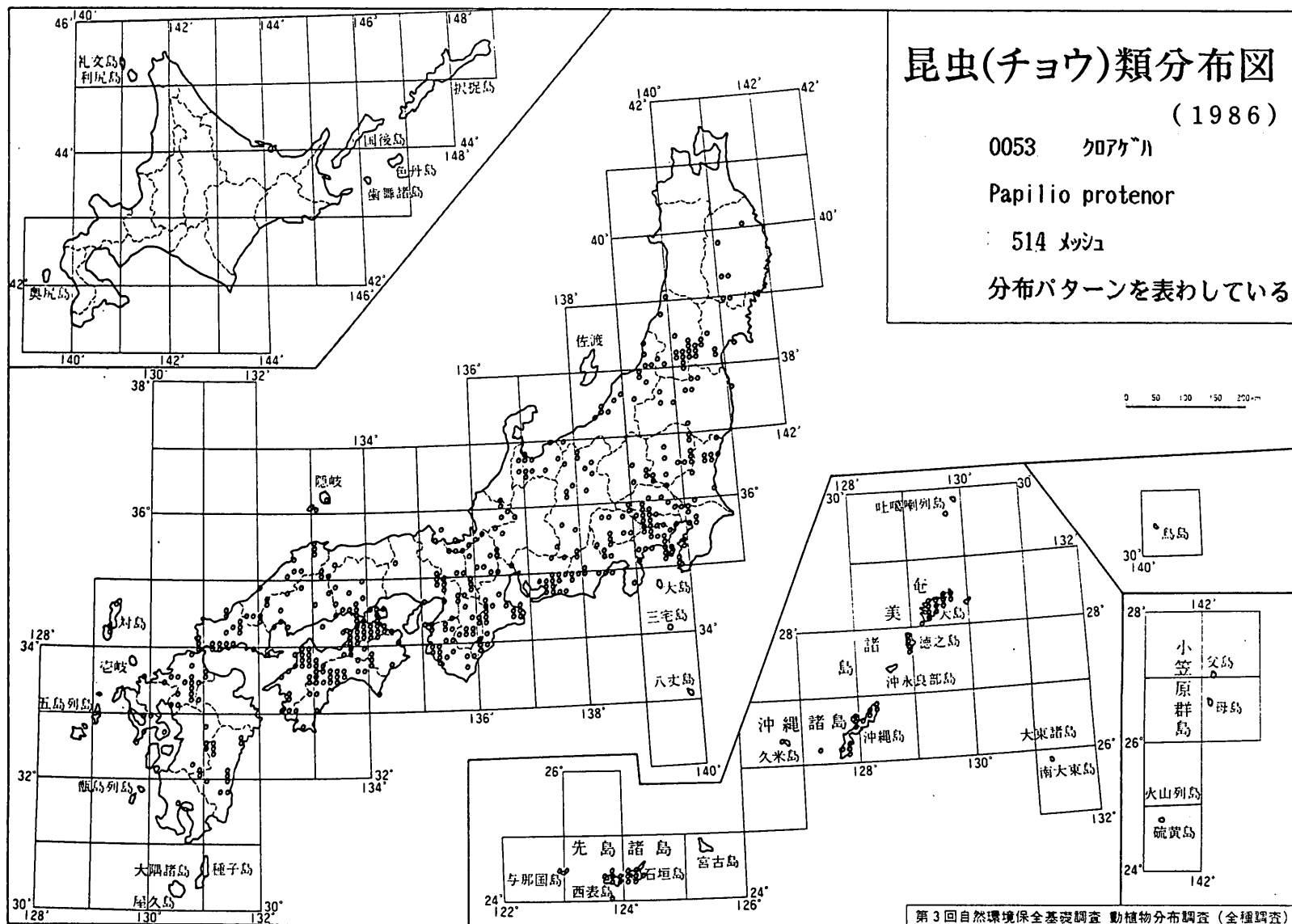
やや情報不足

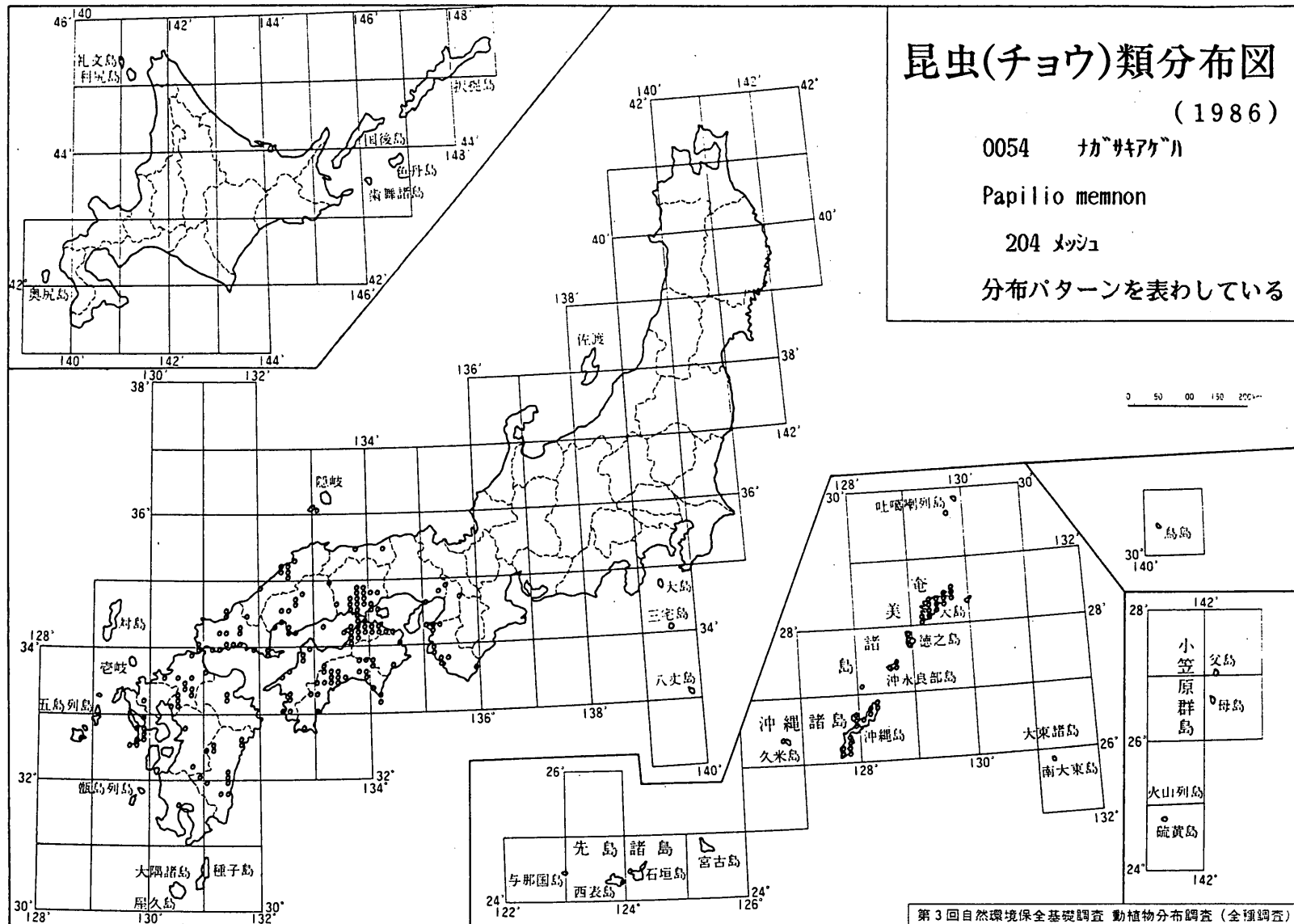


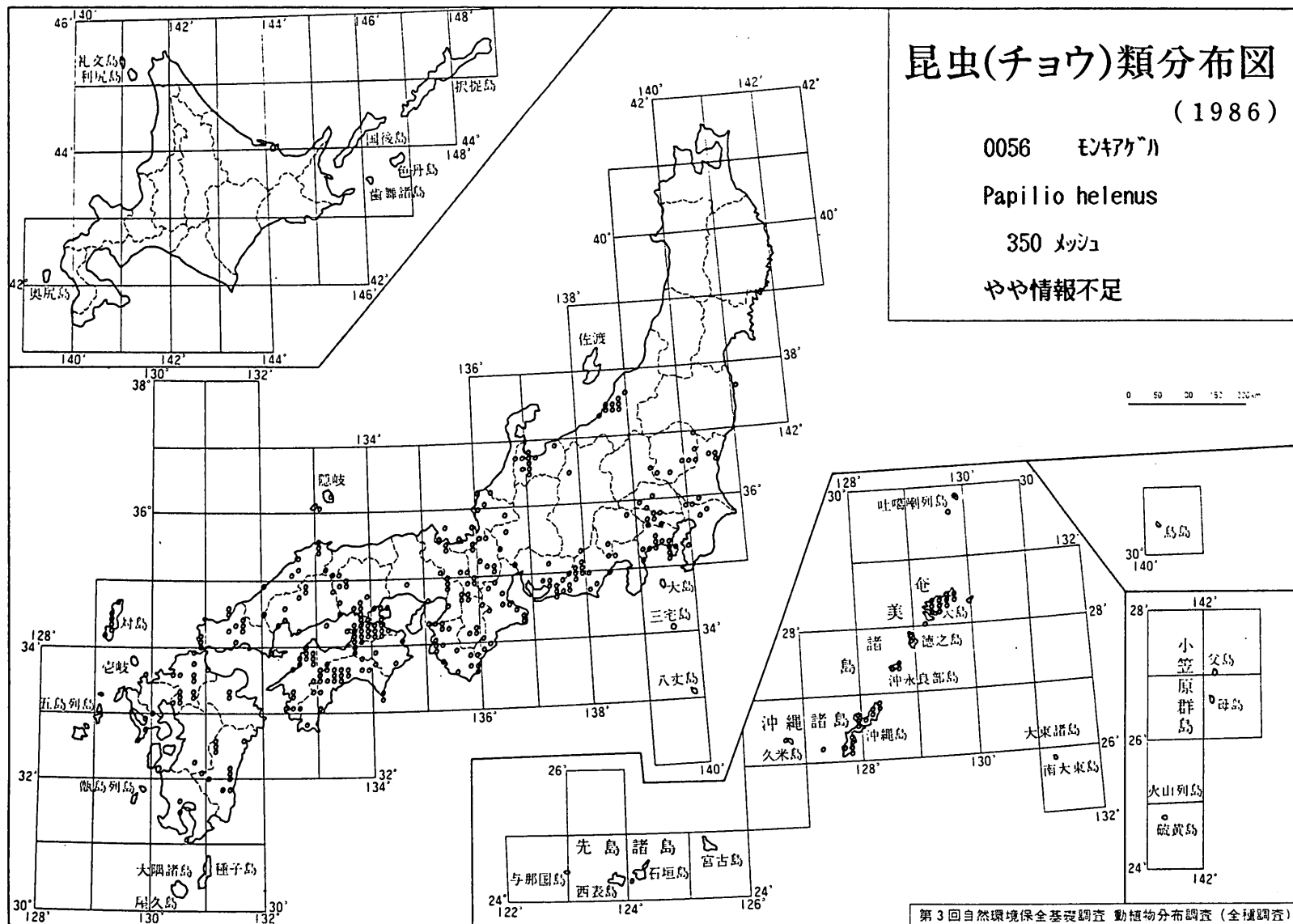
第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査（全種調査）

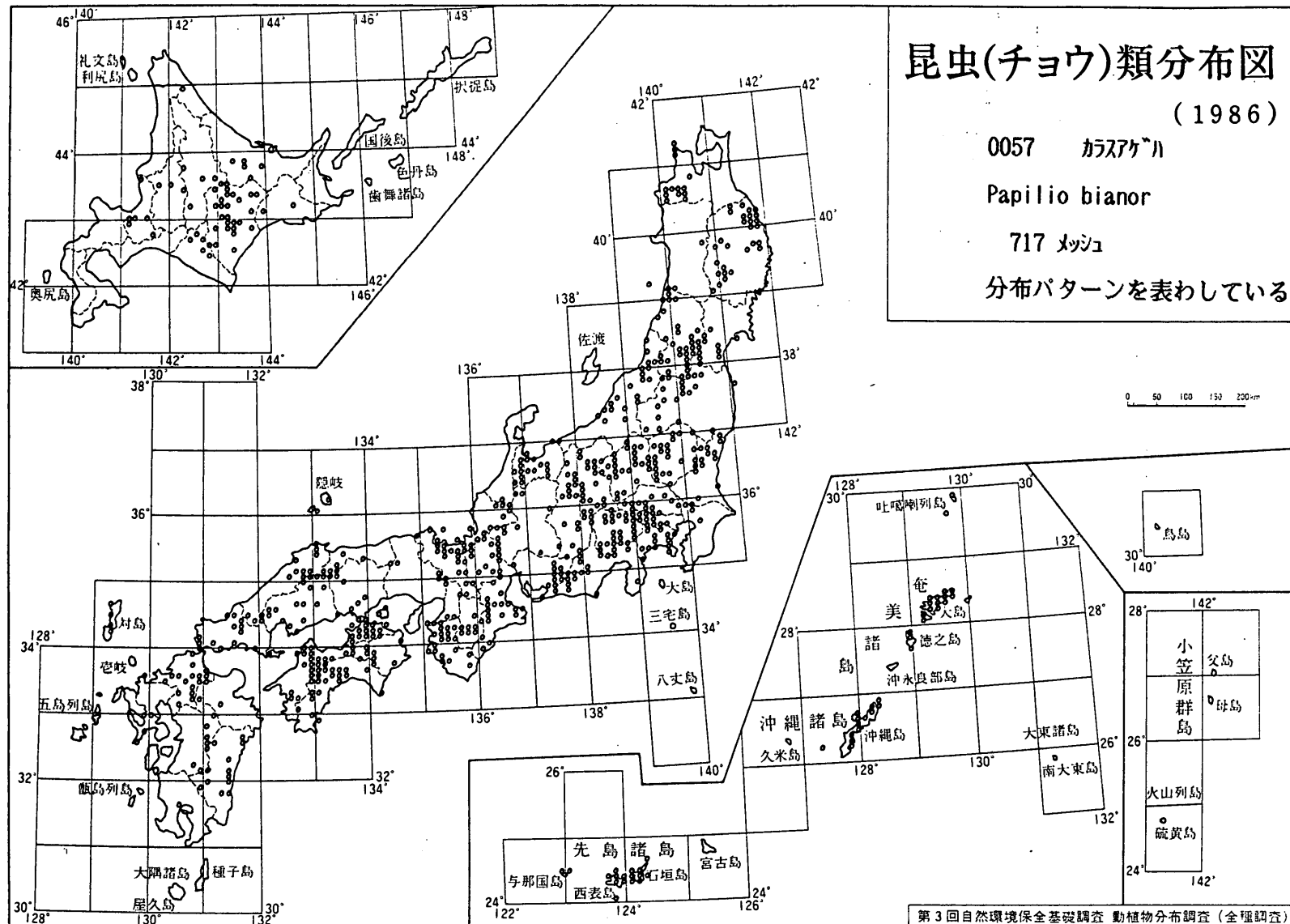


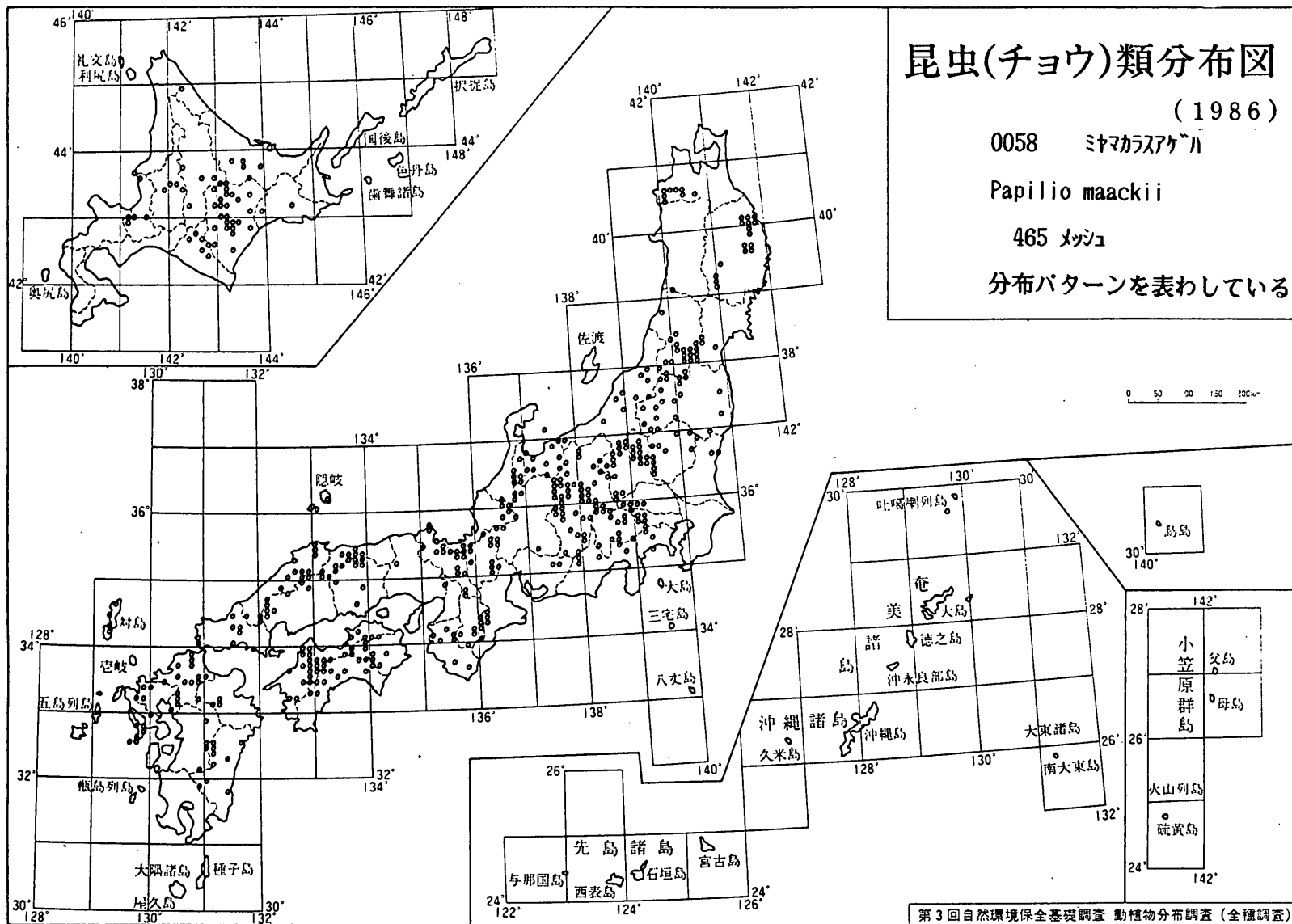












昆虫(チョウ)類分布図

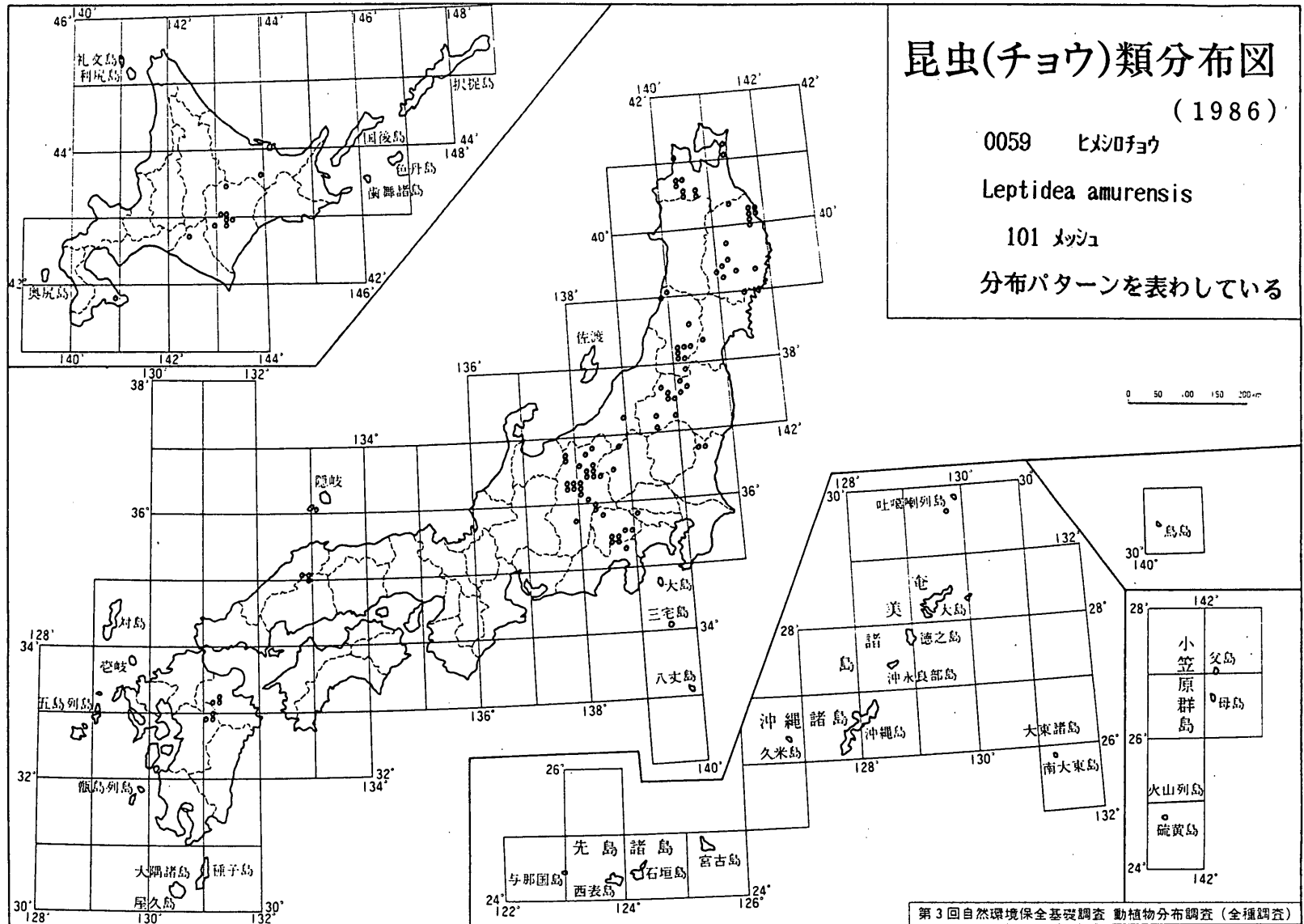
(1986)

0059 ヒメシチョウ

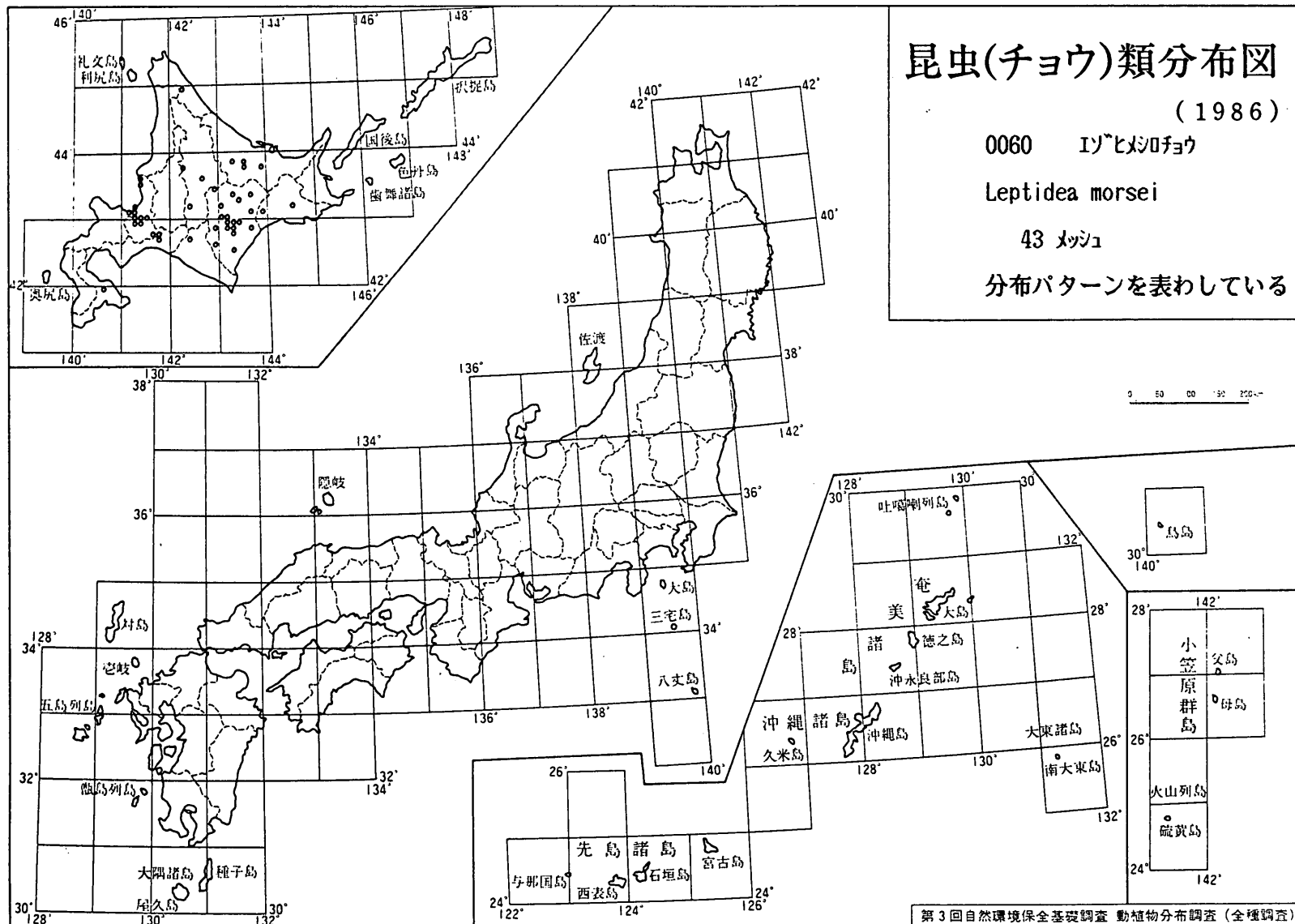
Leptidea amurensis

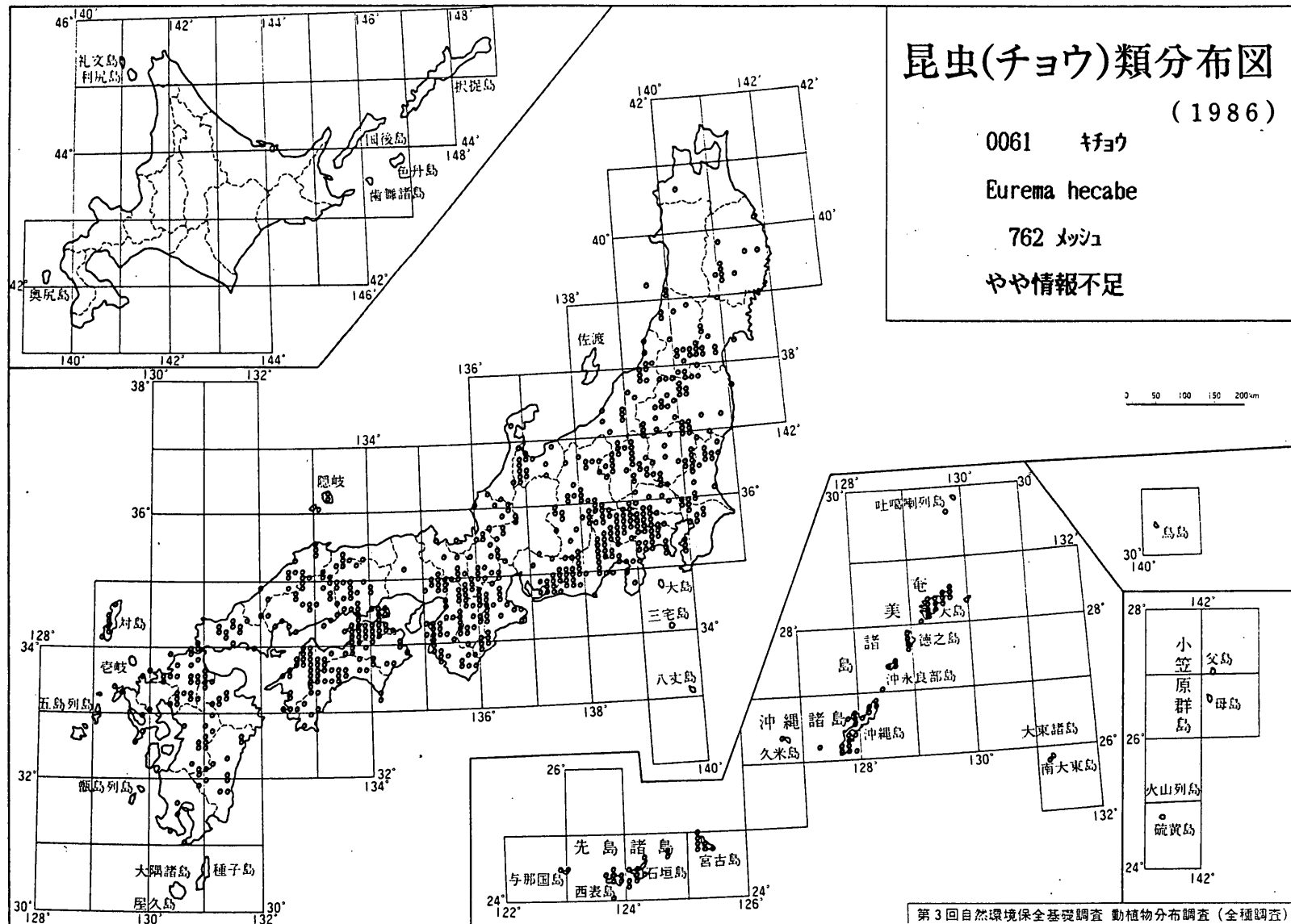
101 メッシュ

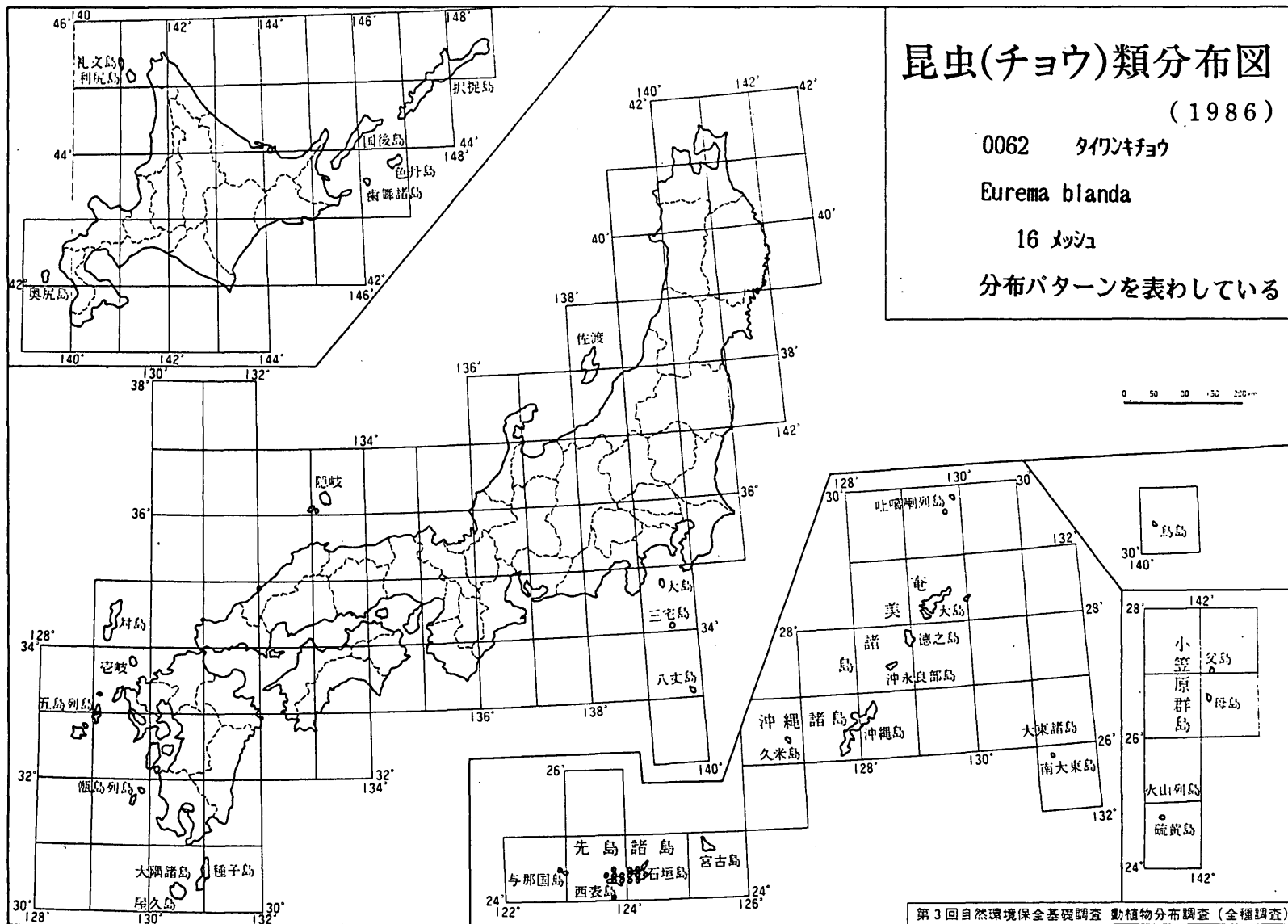
分布パターンを表わしている

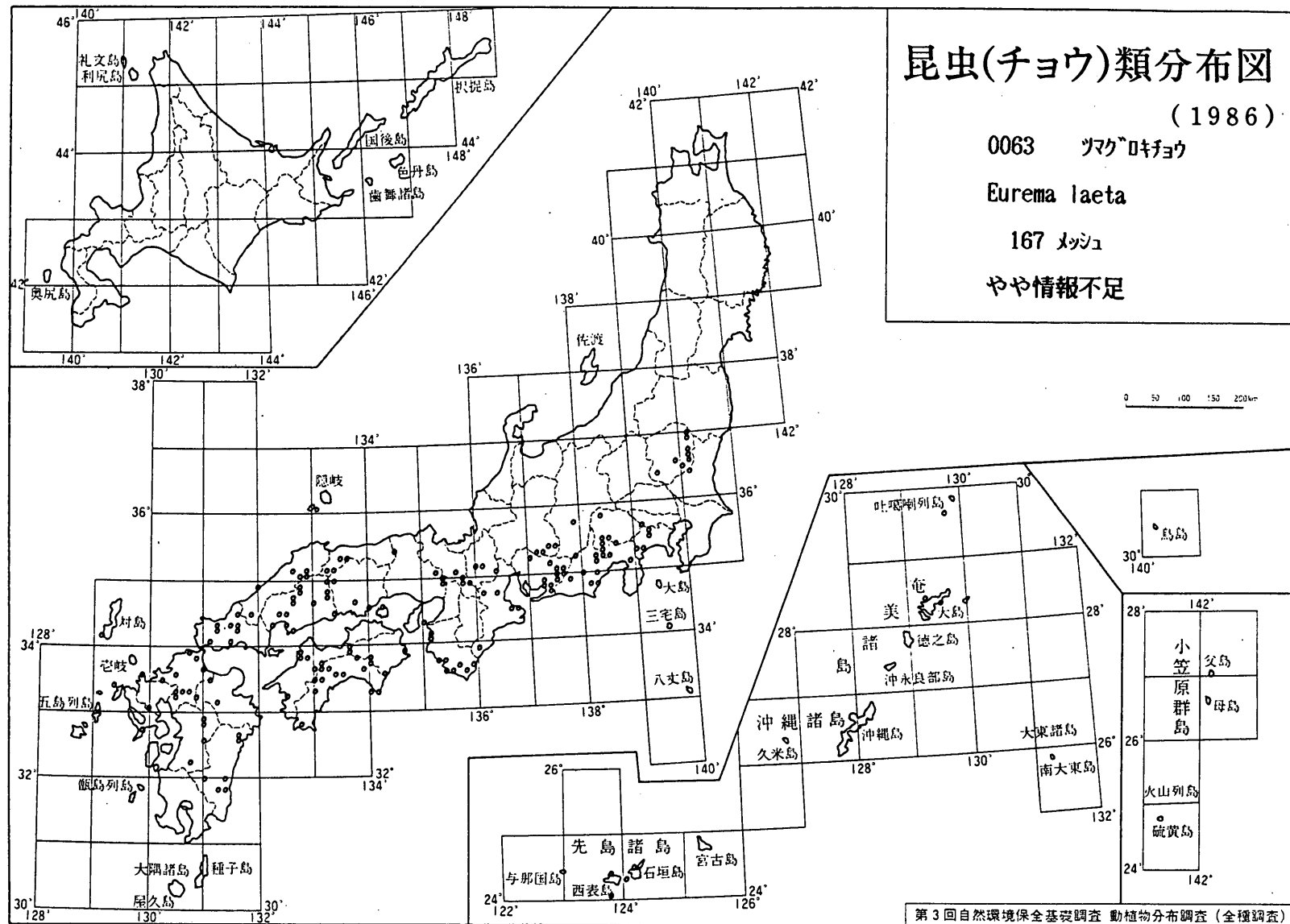


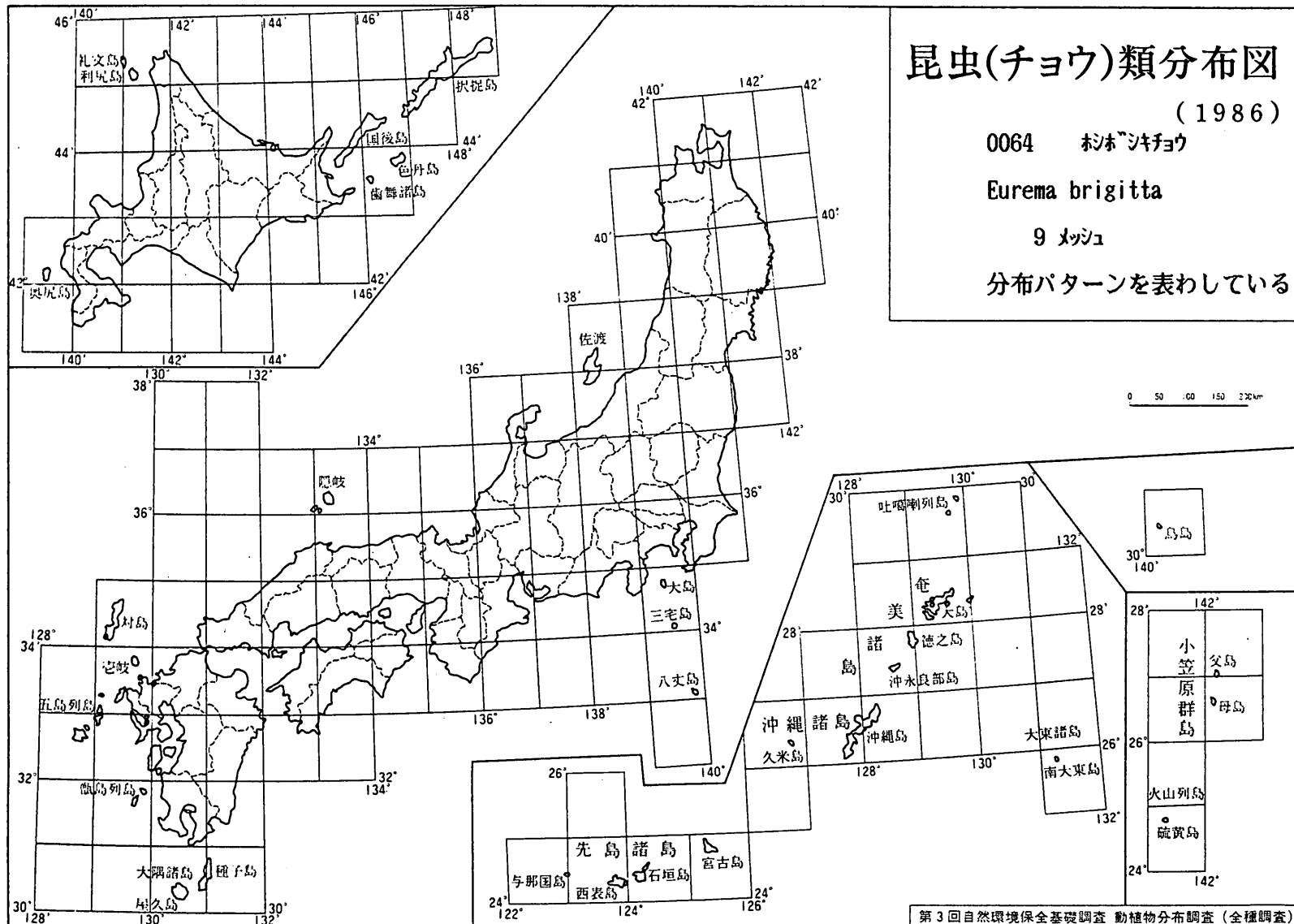
第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

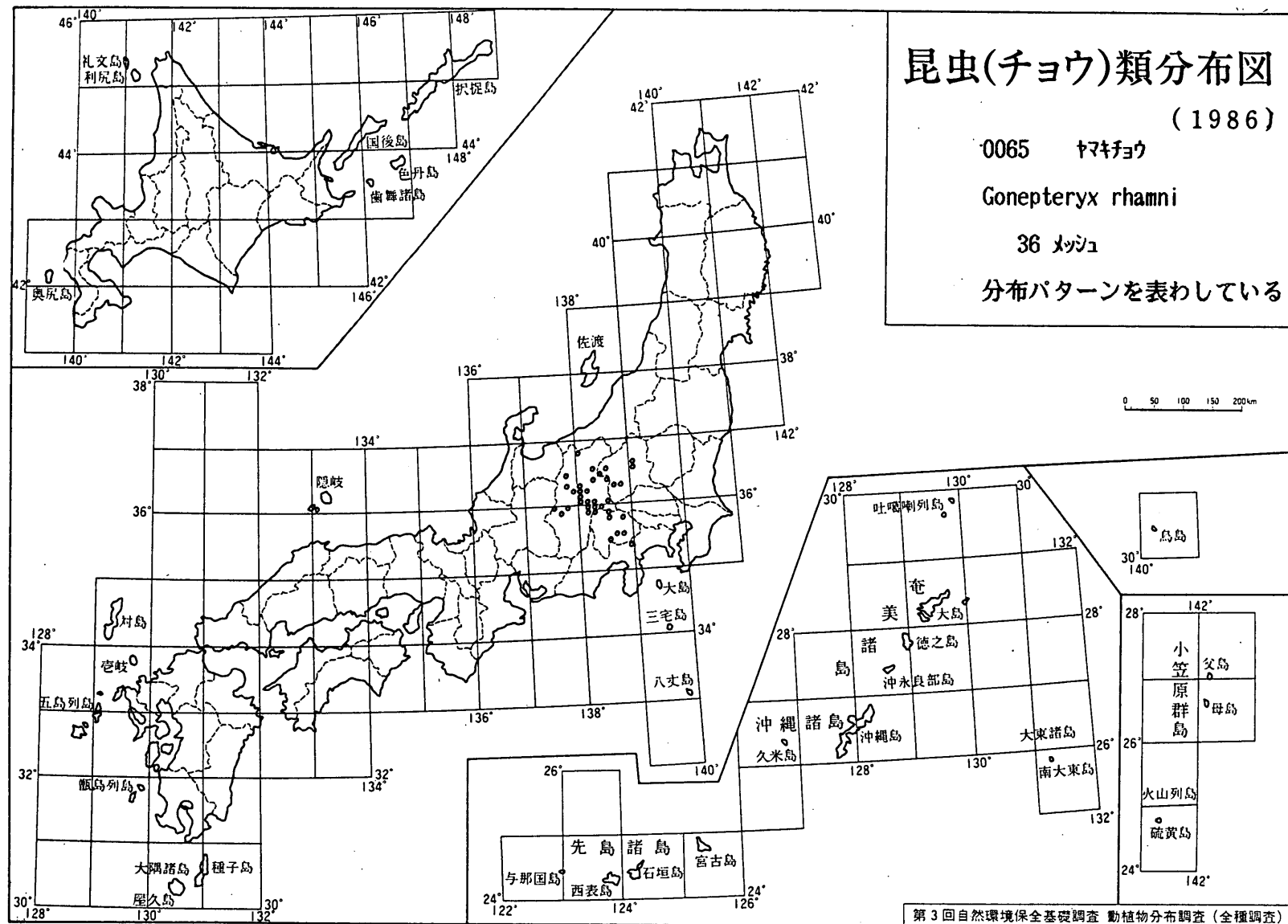


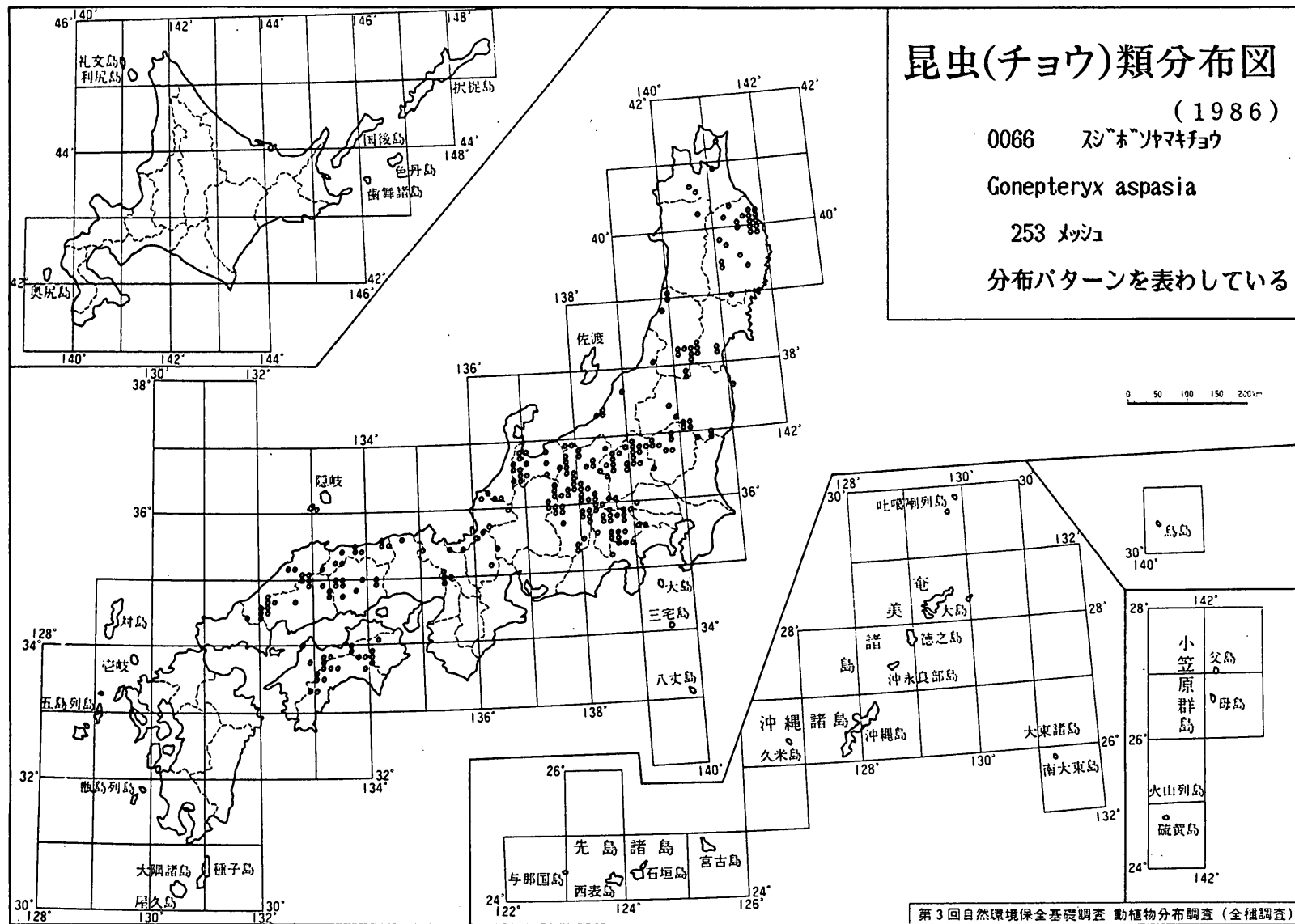


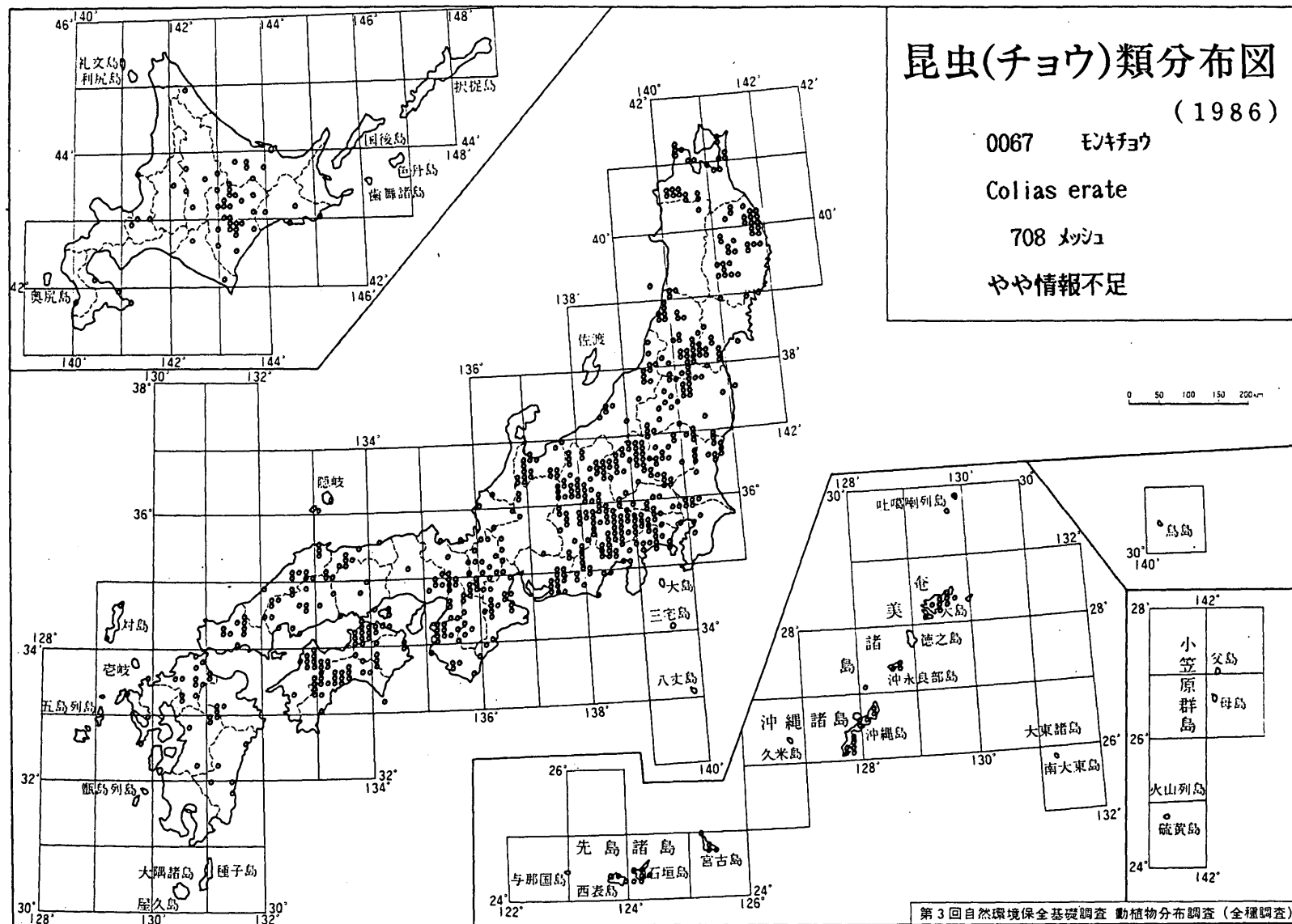


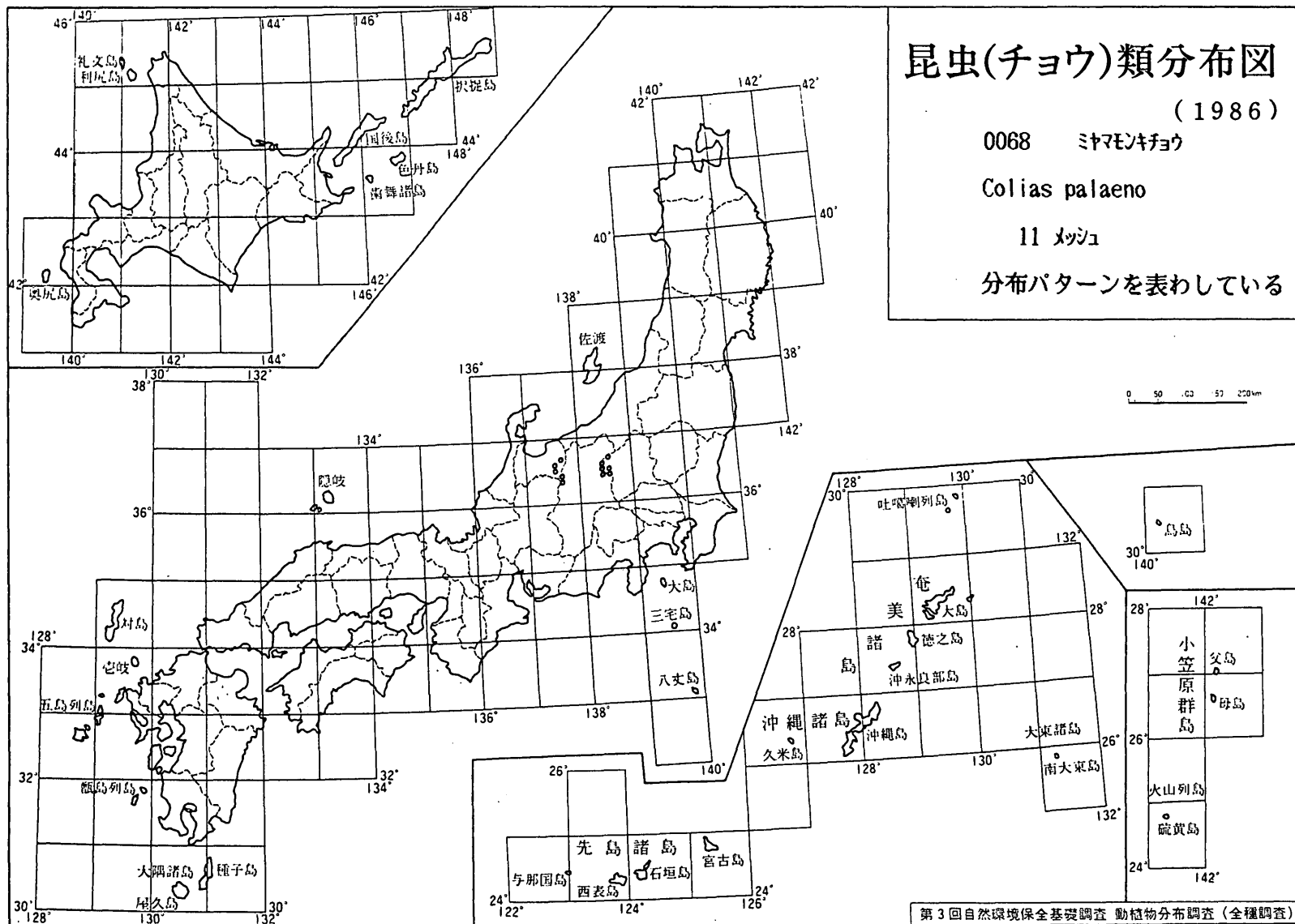












昆虫(チョウ)類分布図

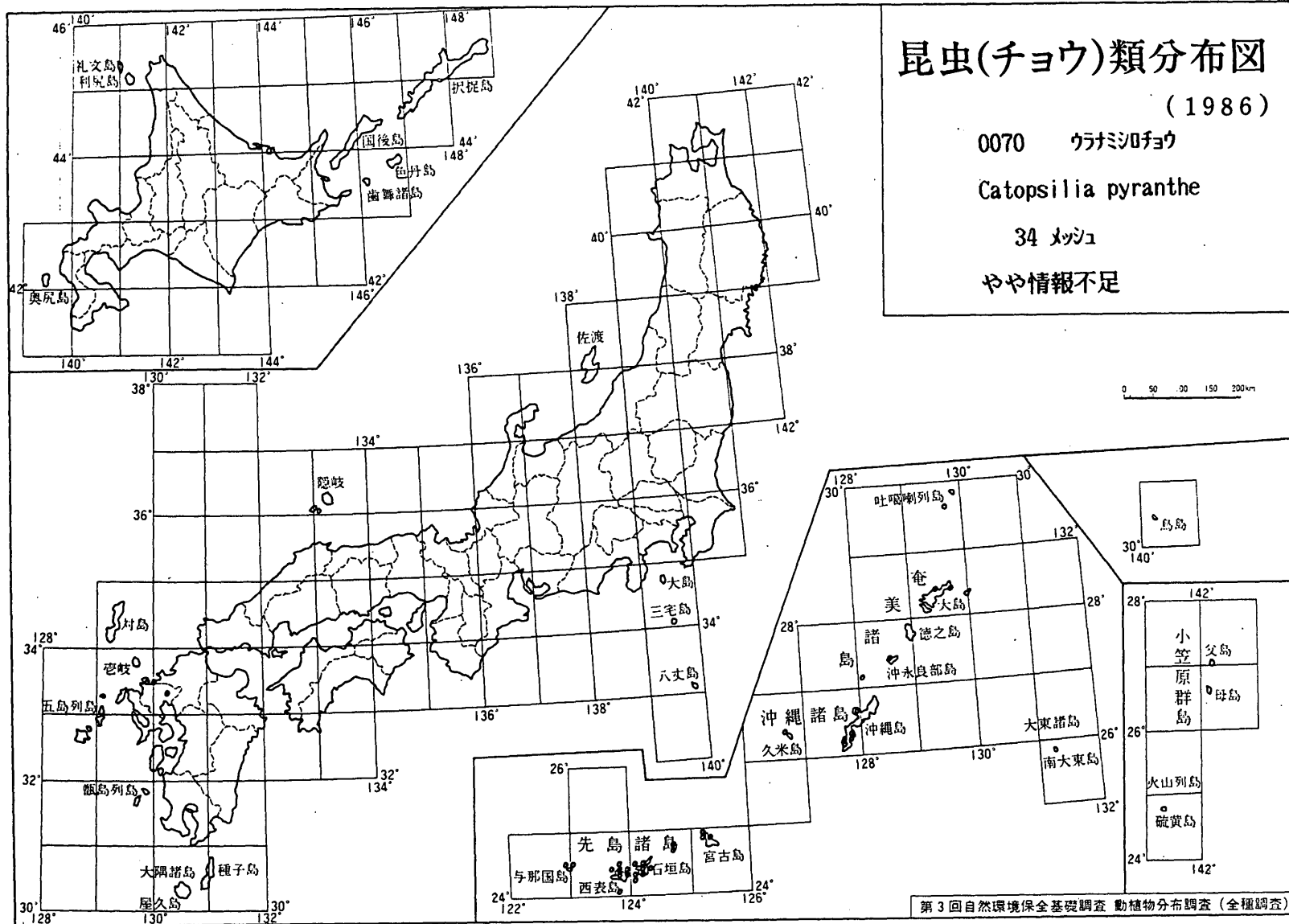
(1986)

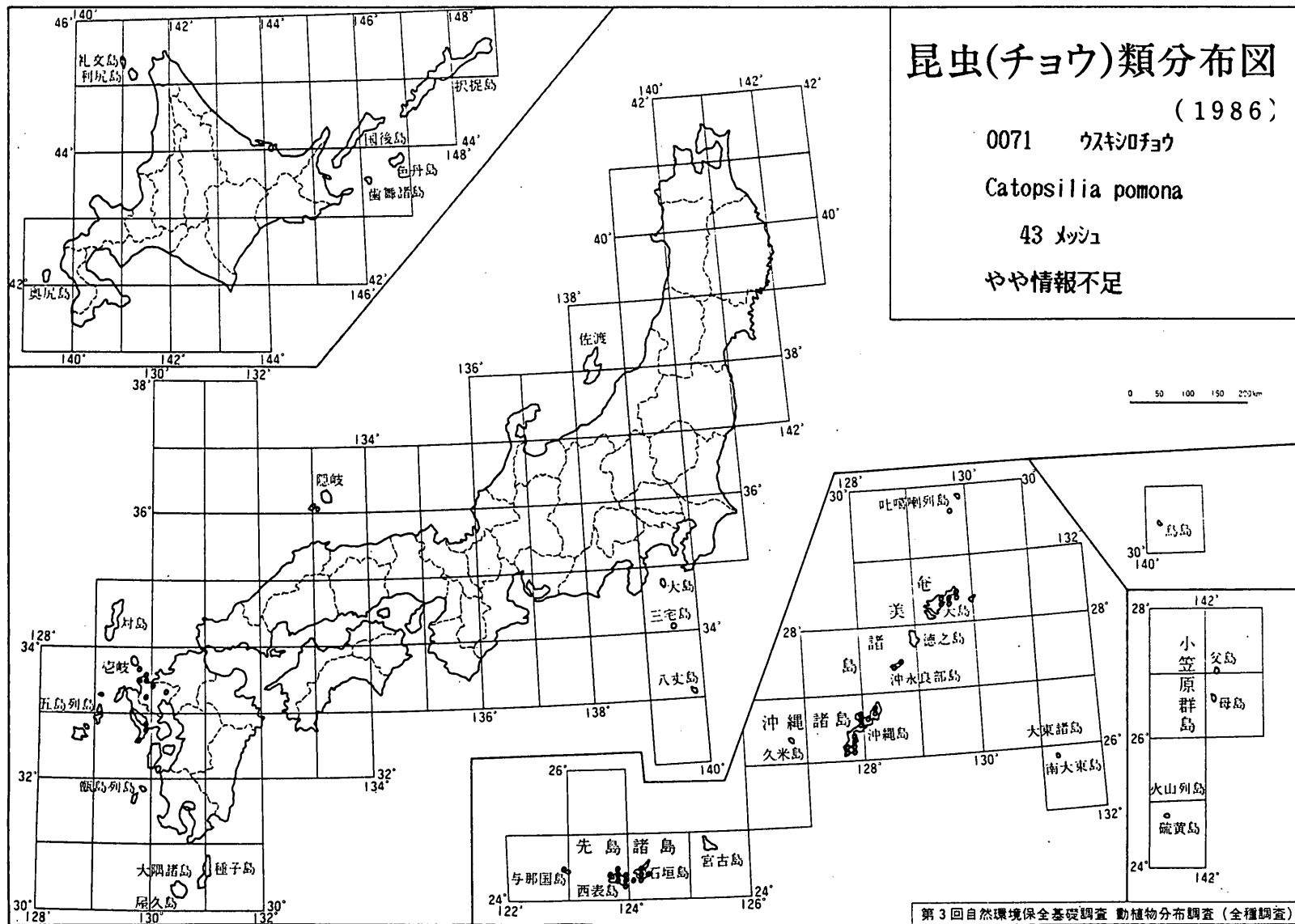
0070 ウラシモチョウ

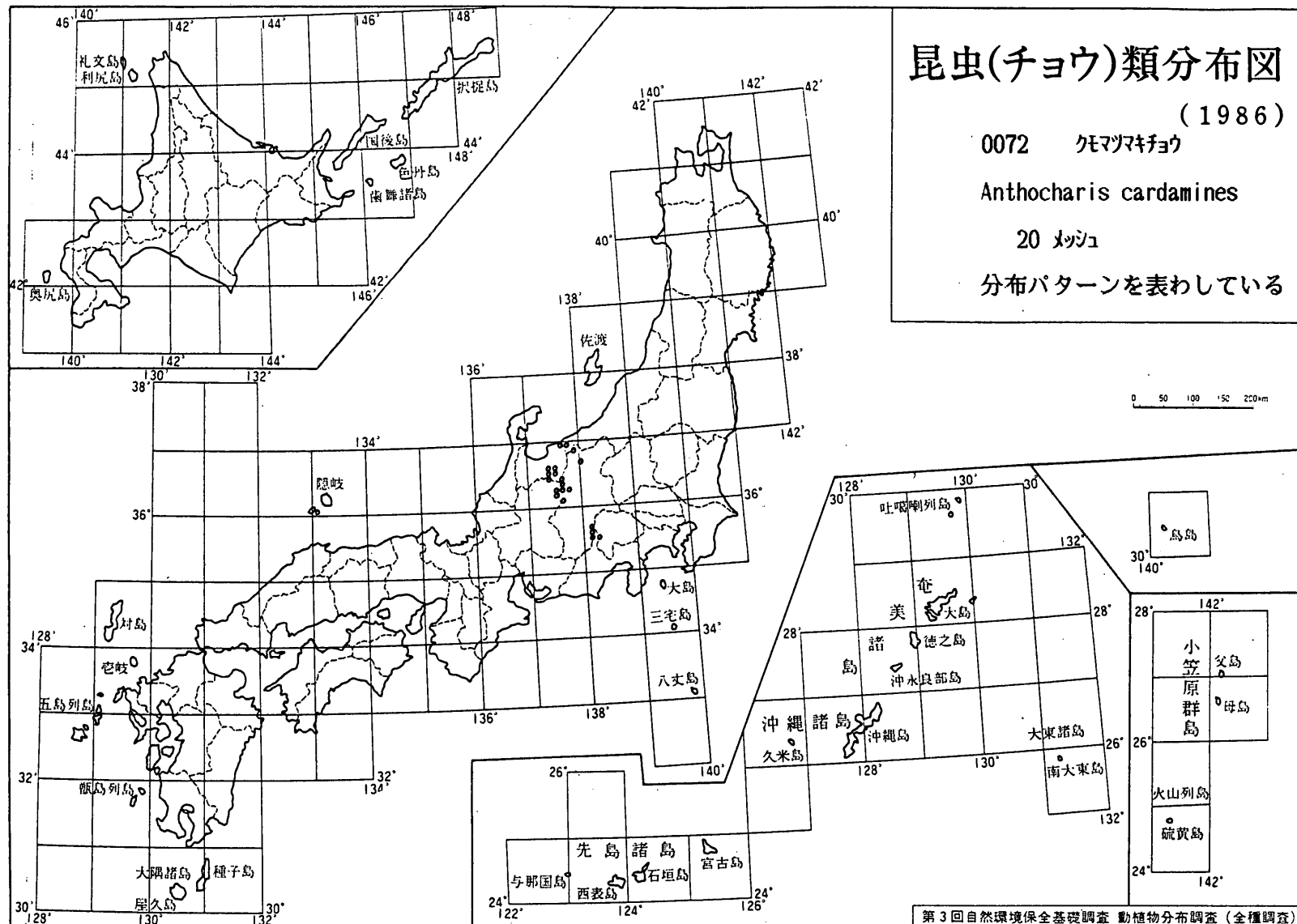
Catopsilia pyranthe

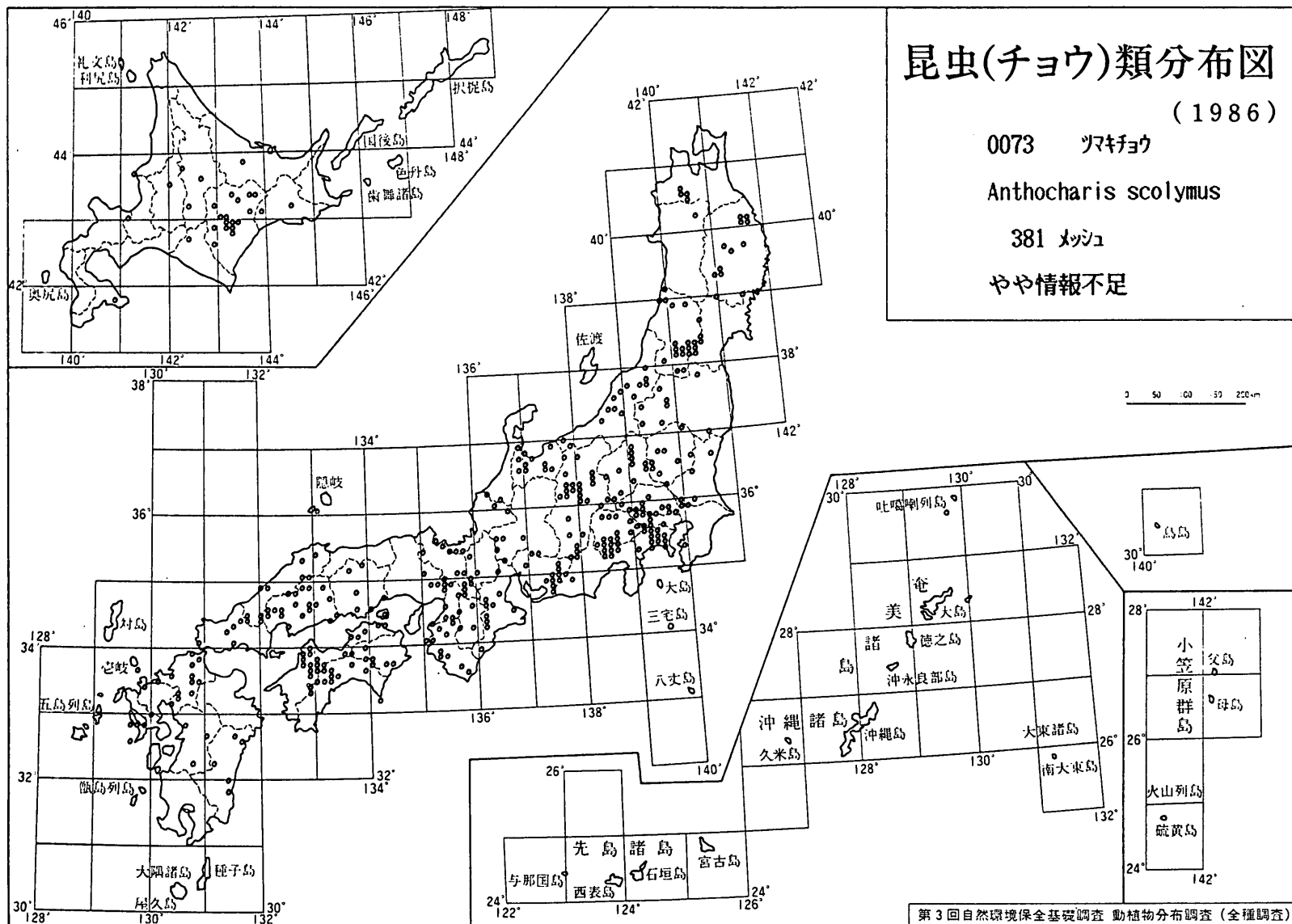
34 メッシュ

やや情報不足









昆虫(チョウ)類分布図

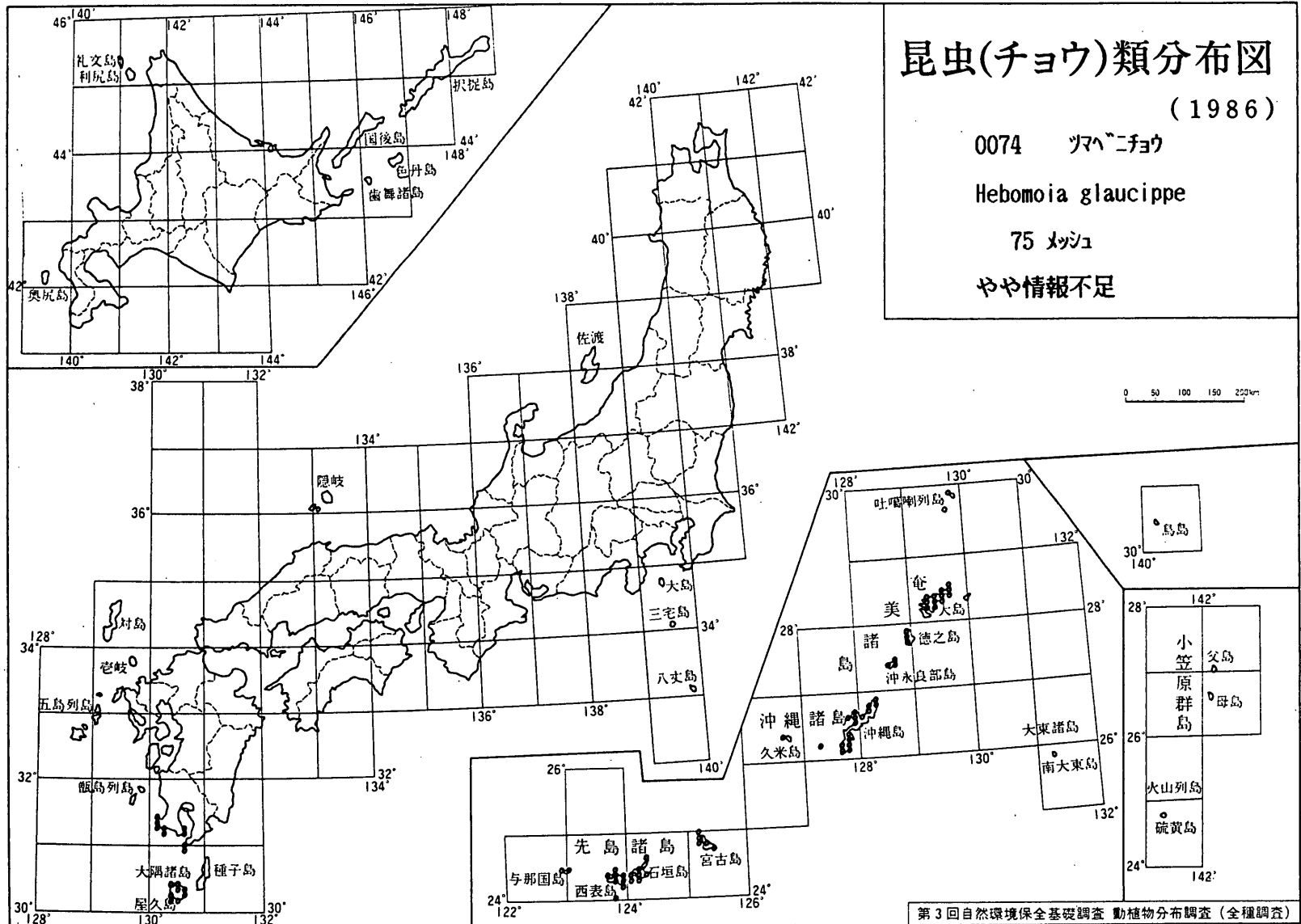
(1986)

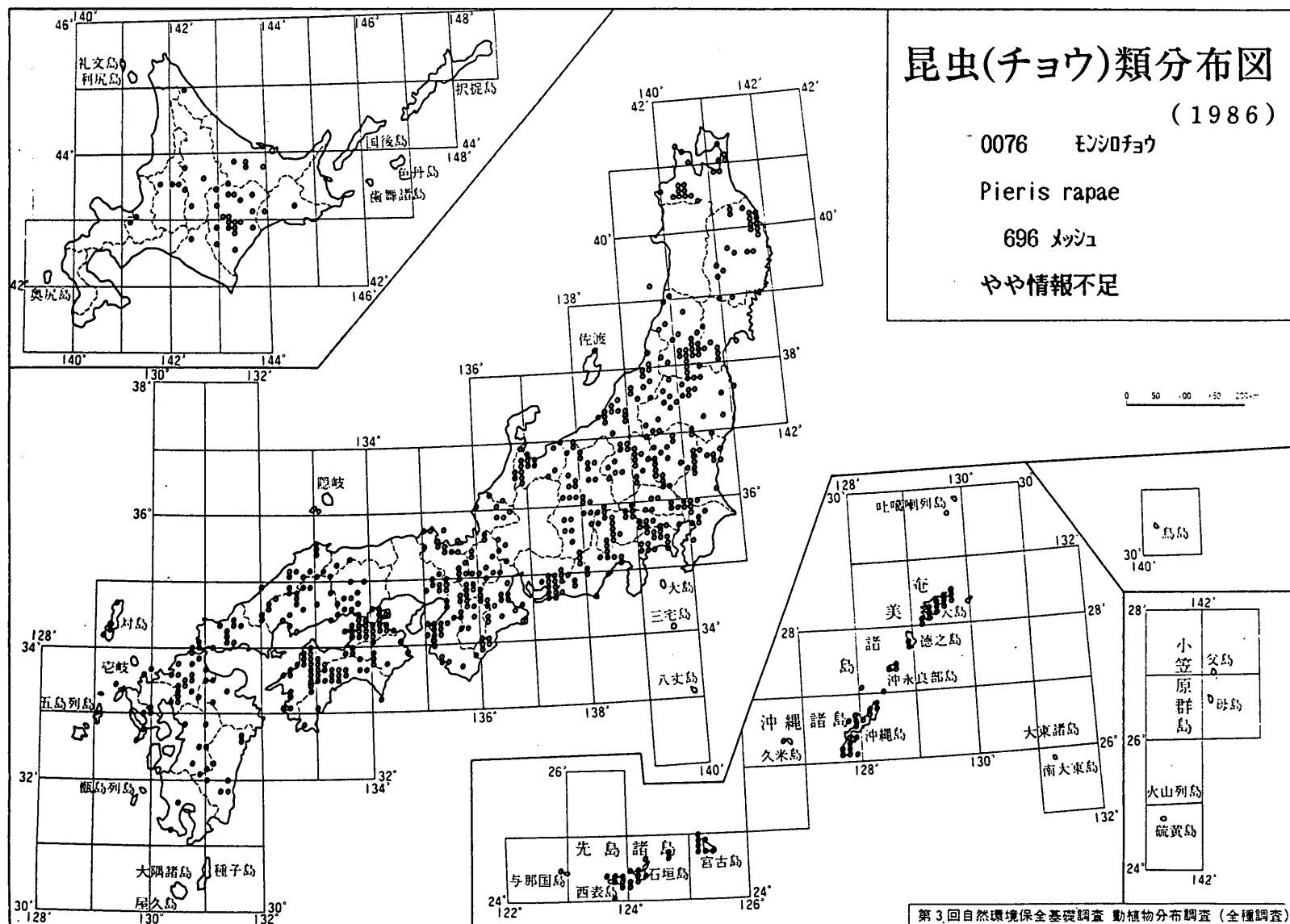
0074 ツマヘニチョウ

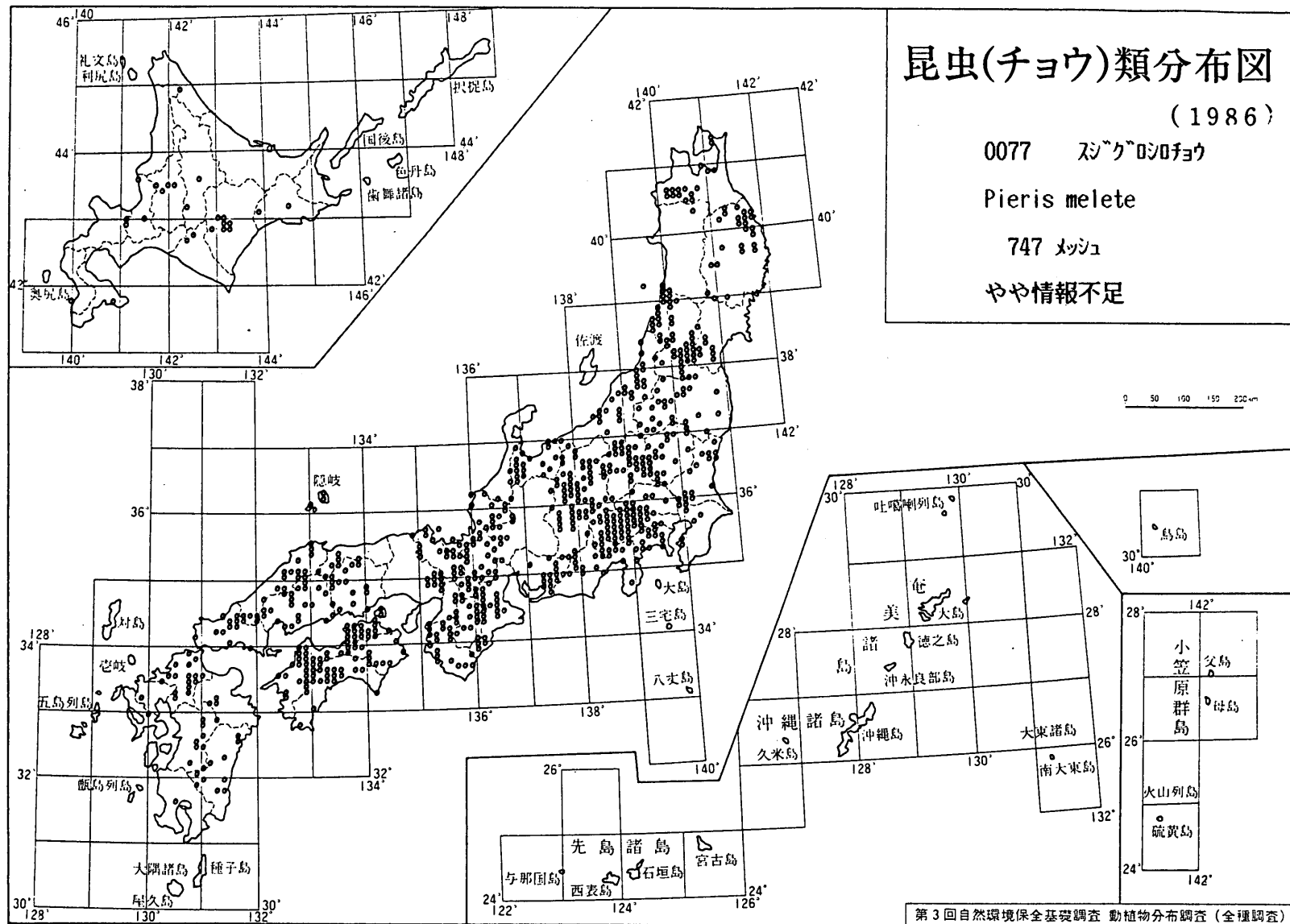
Hebomoia glaucippe

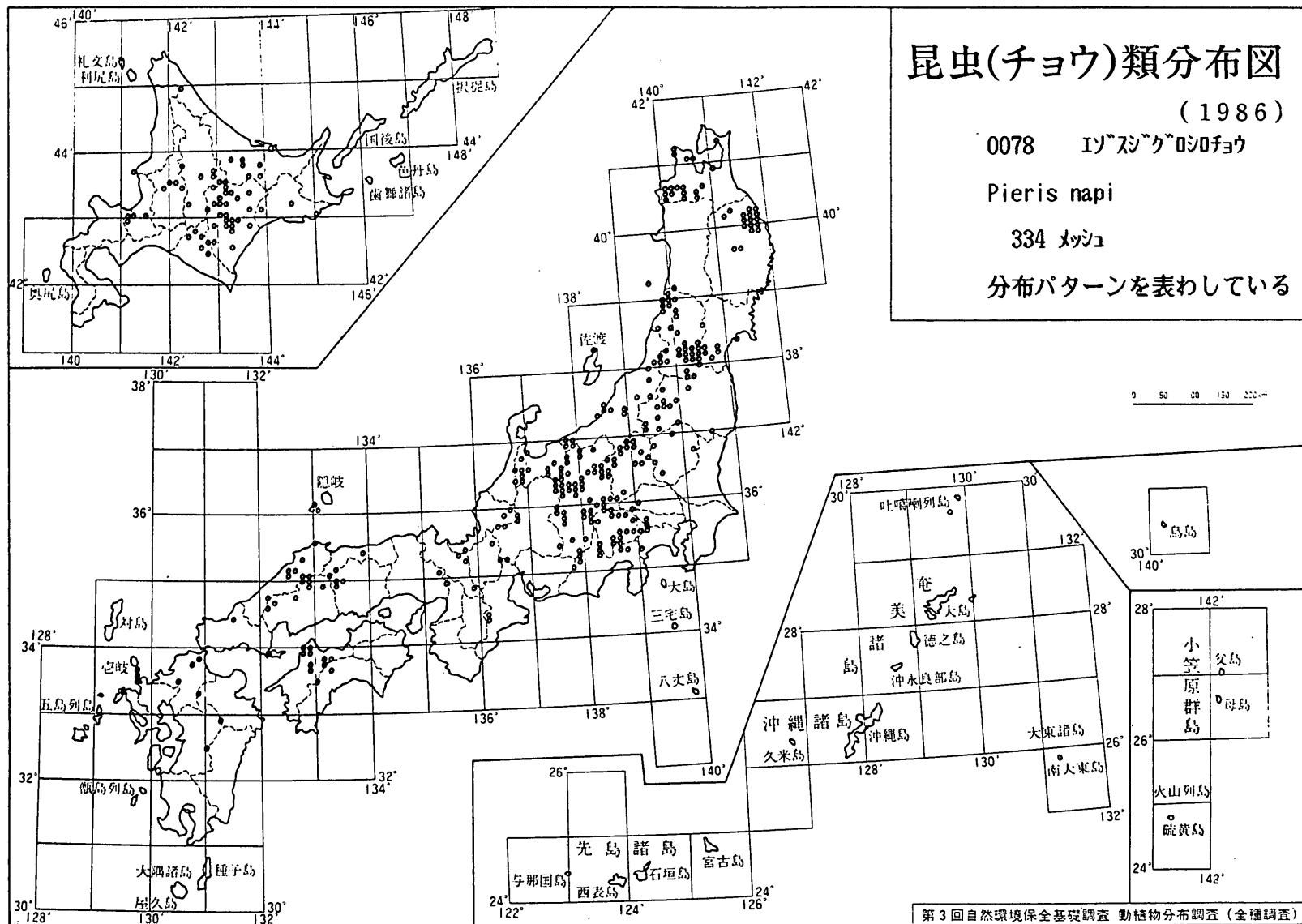
75 マッシュ

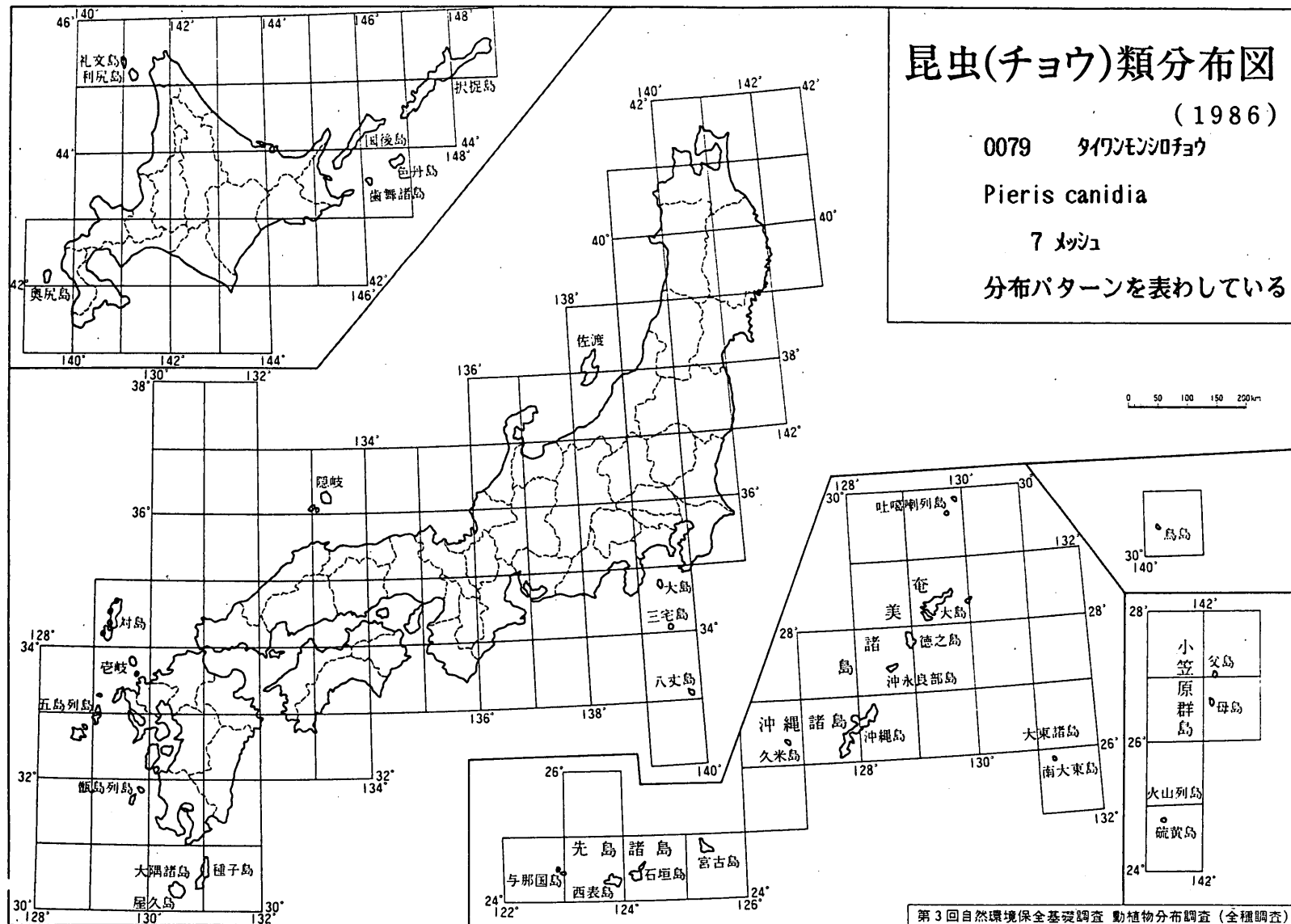
やや情報不足

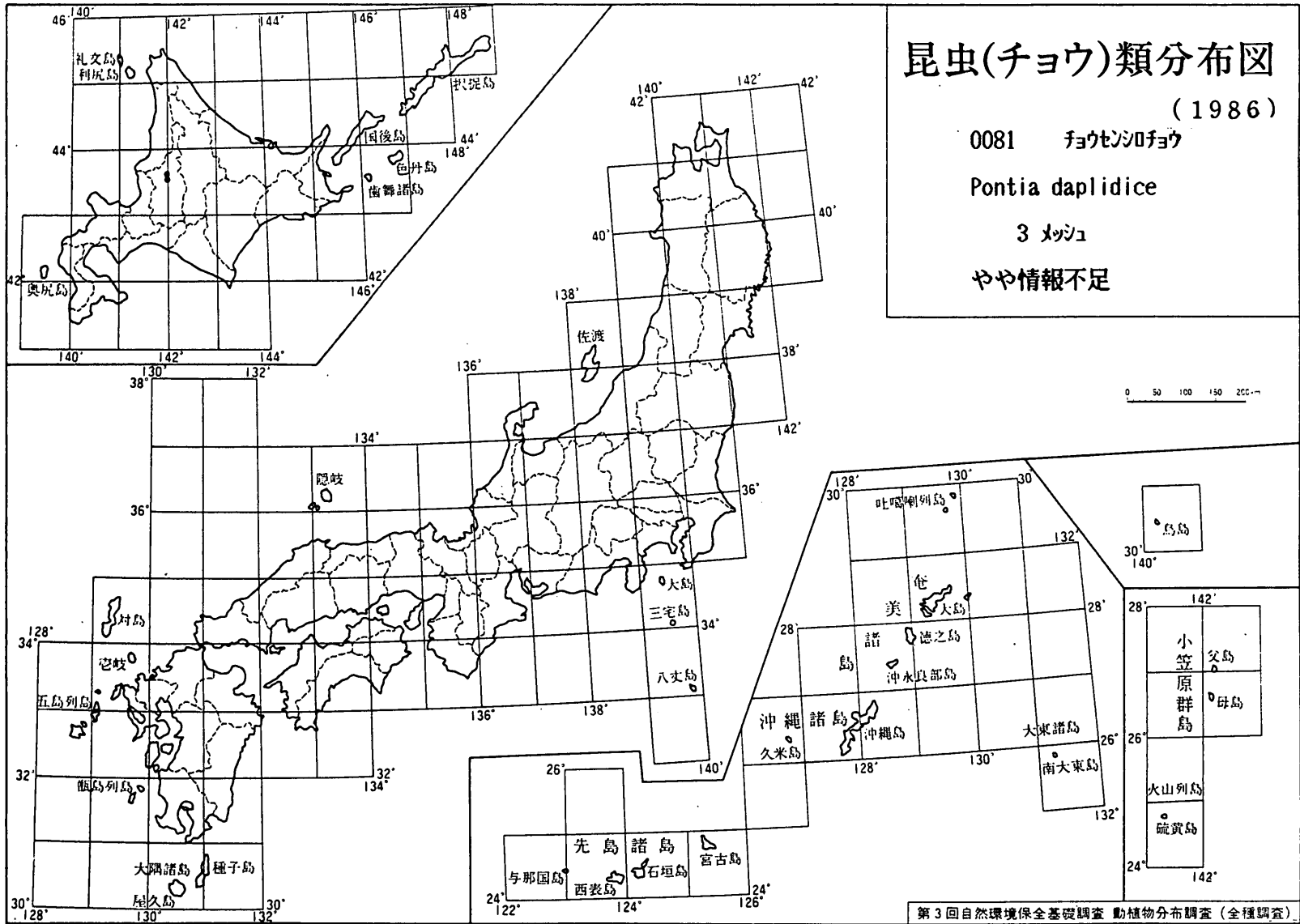


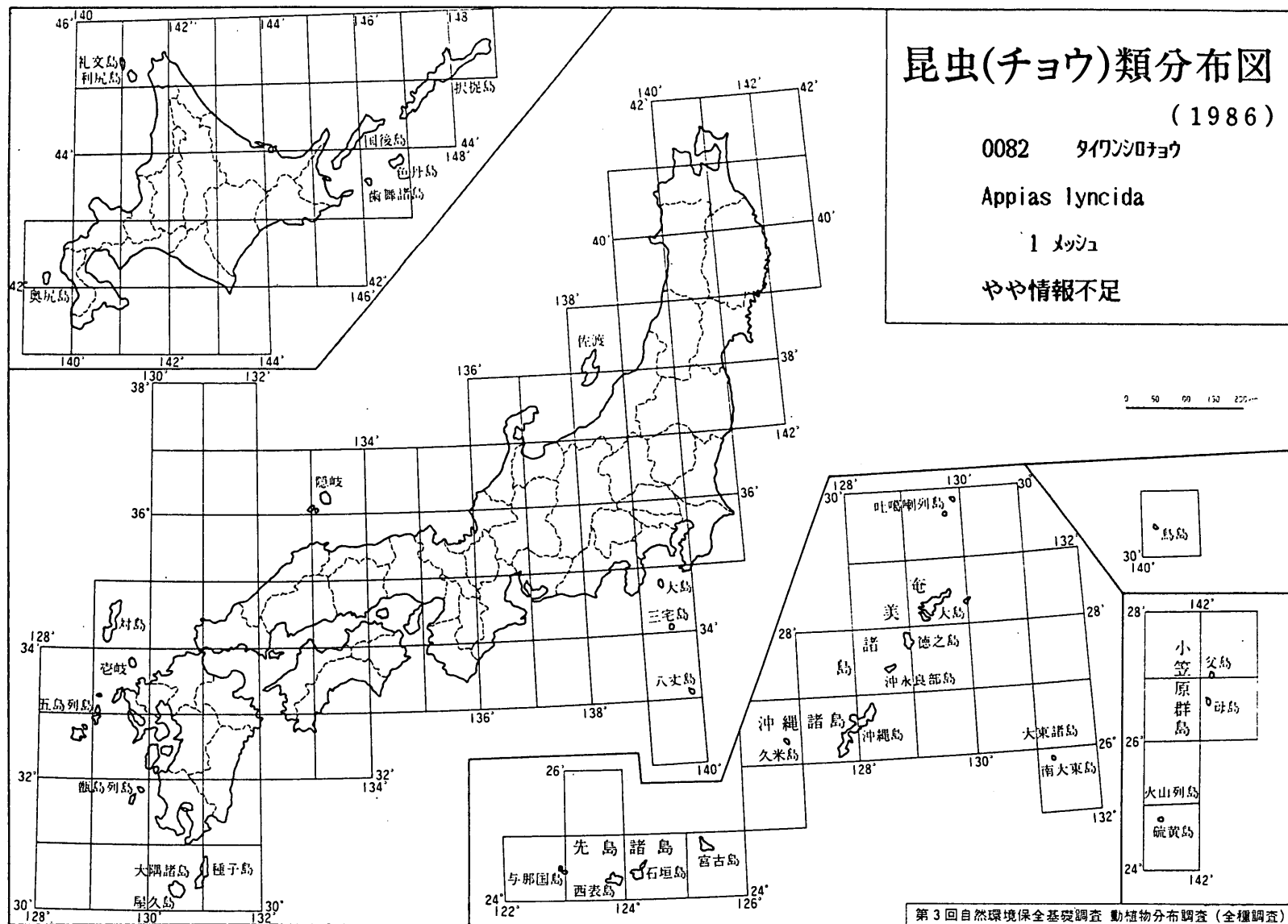


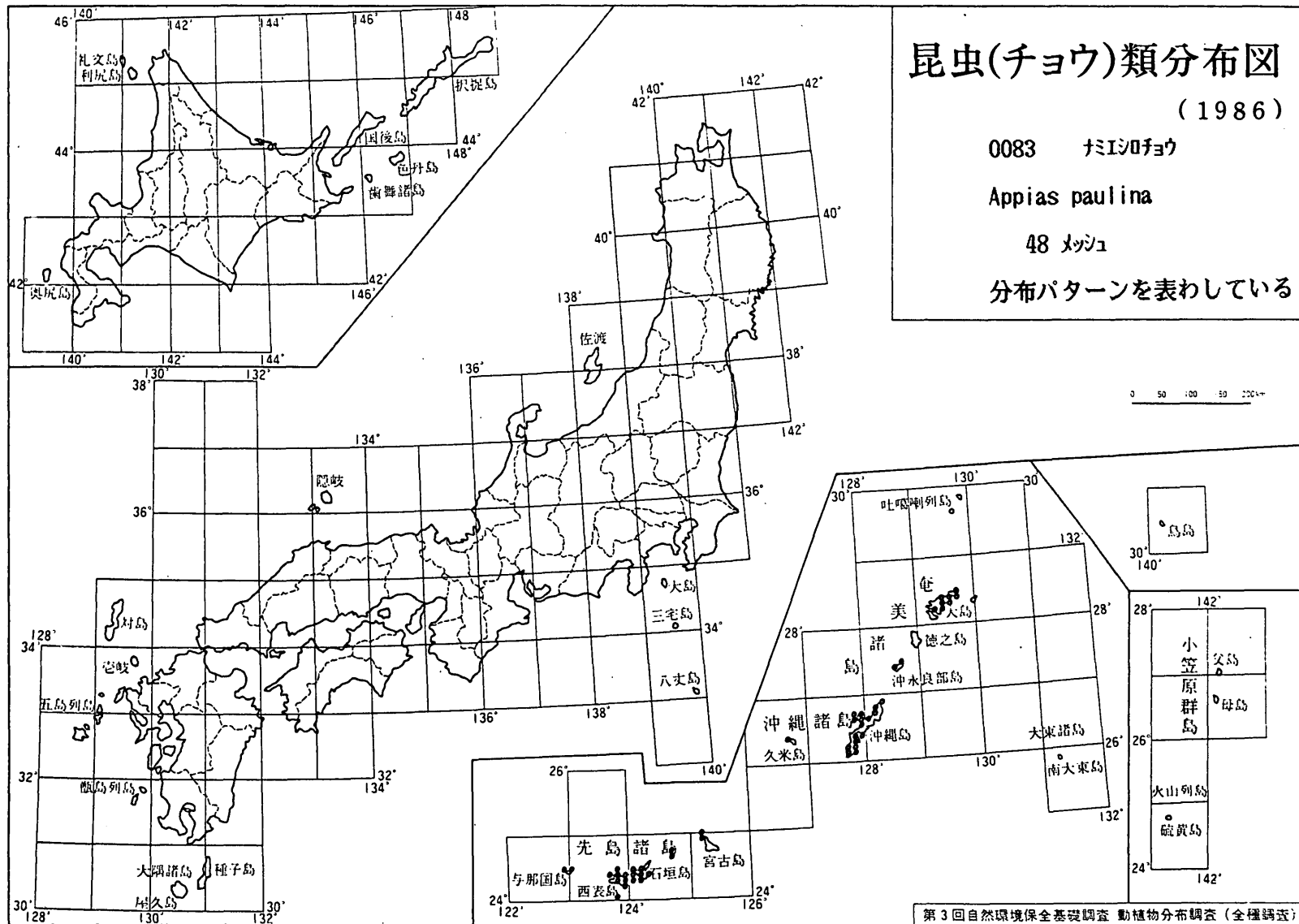


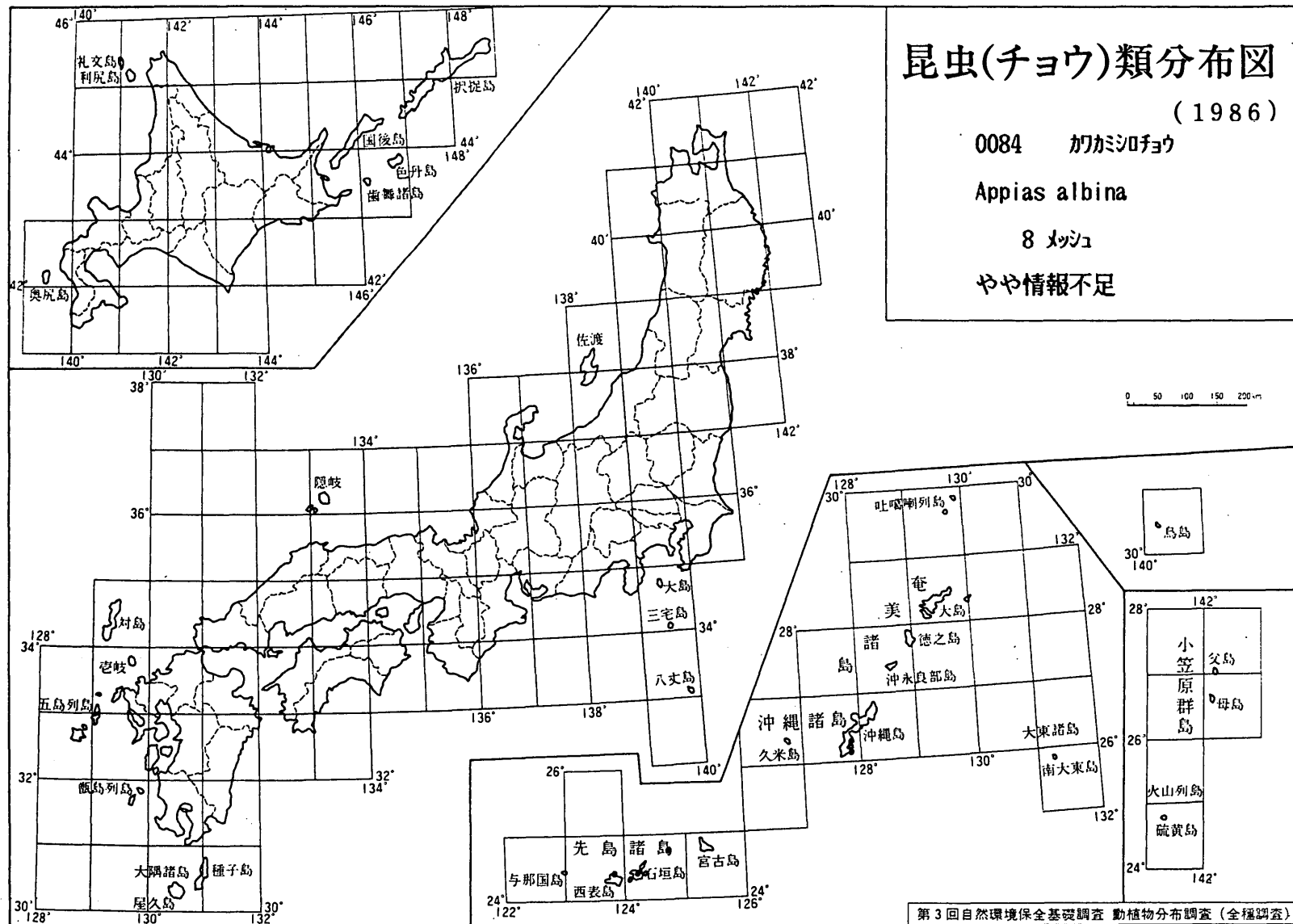


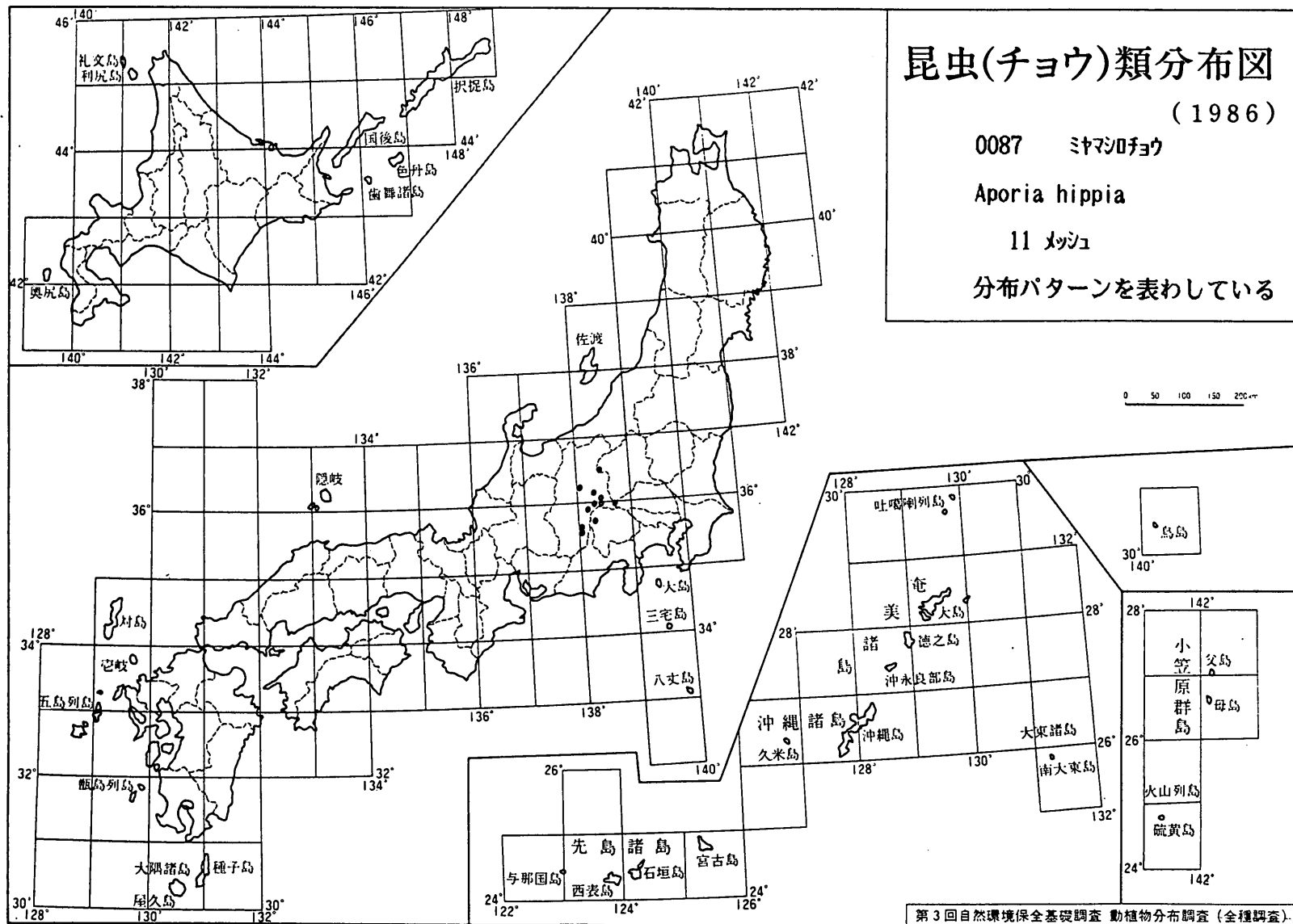


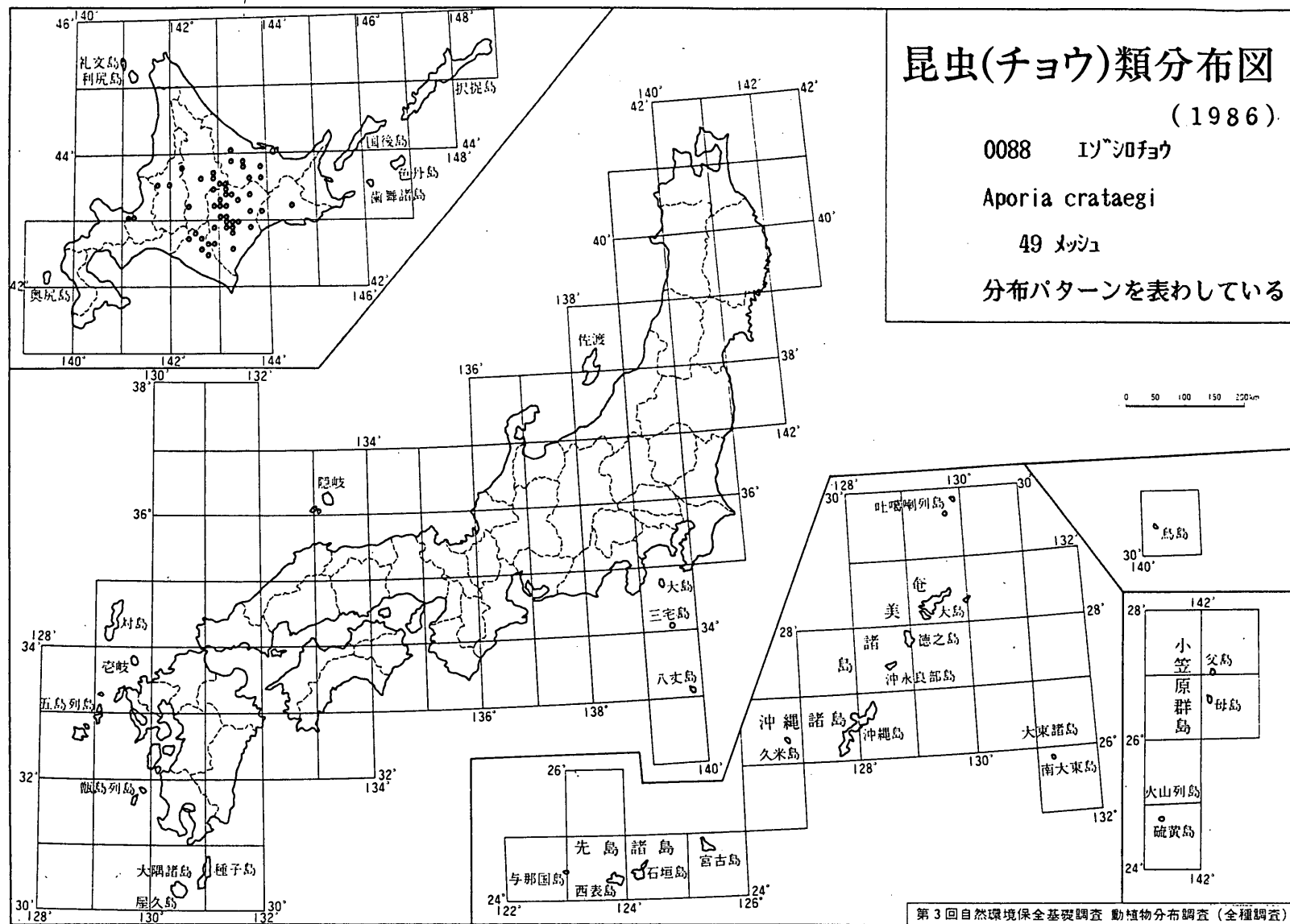


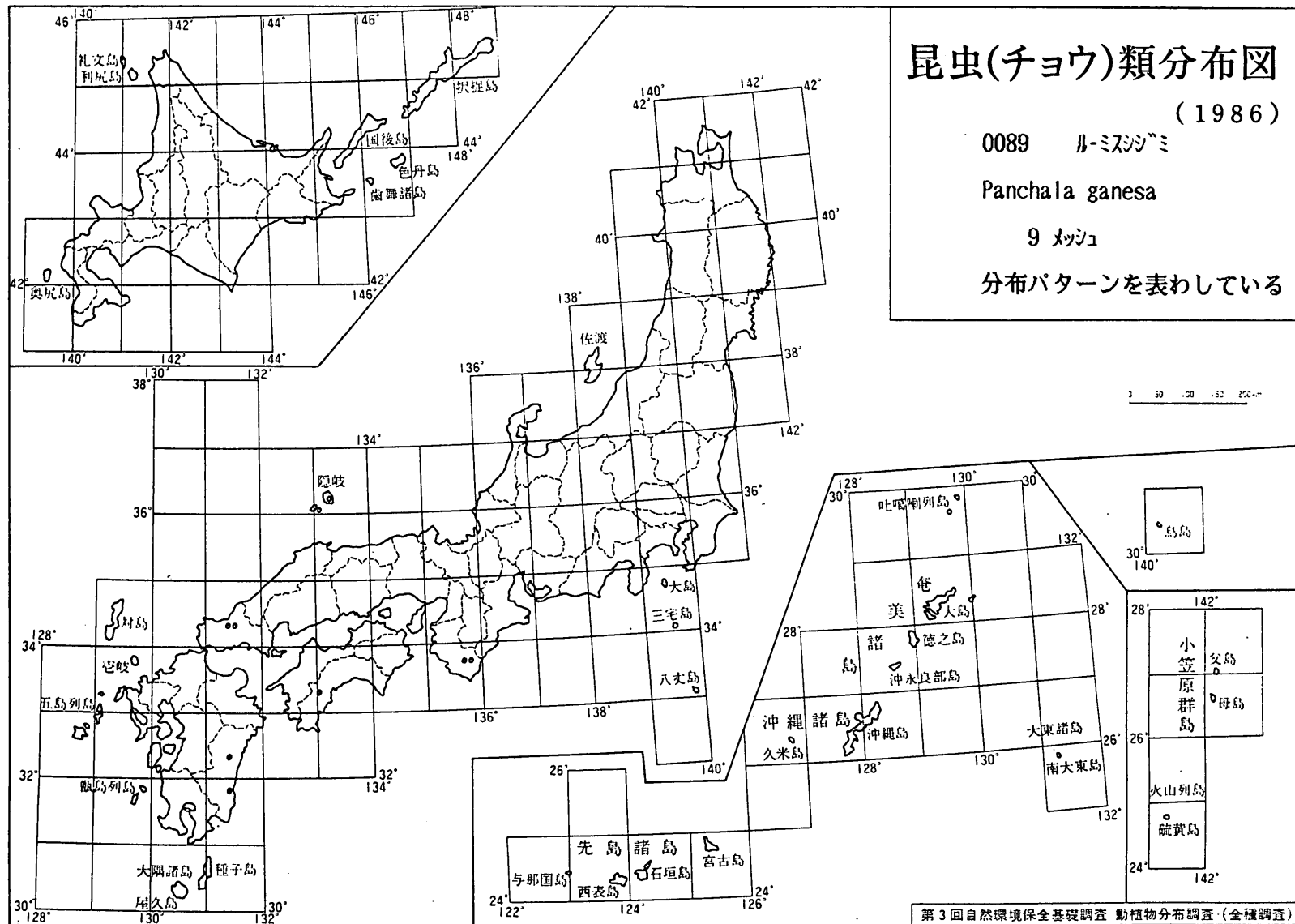


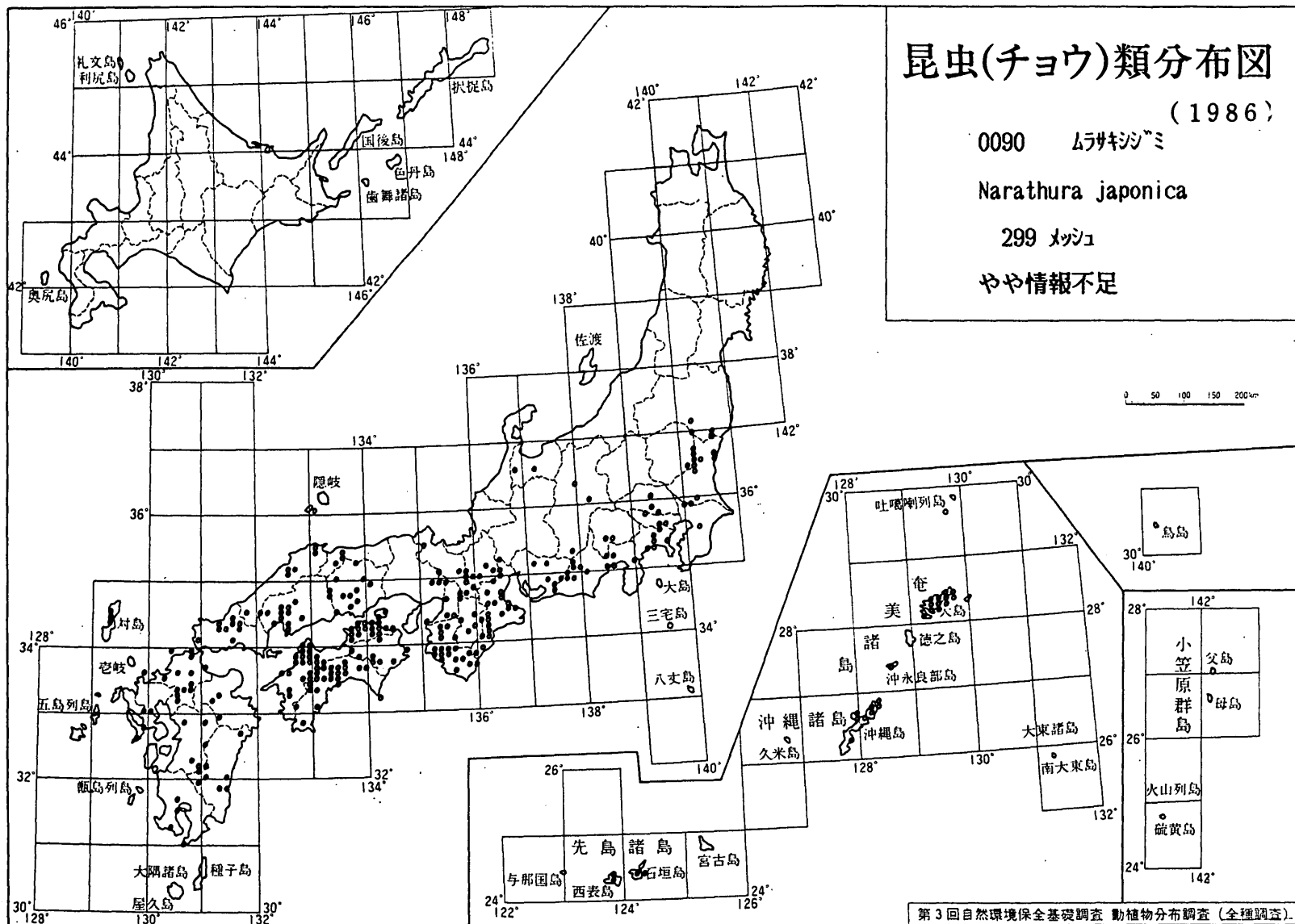












昆虫(チョウ)類分布図

(1986)

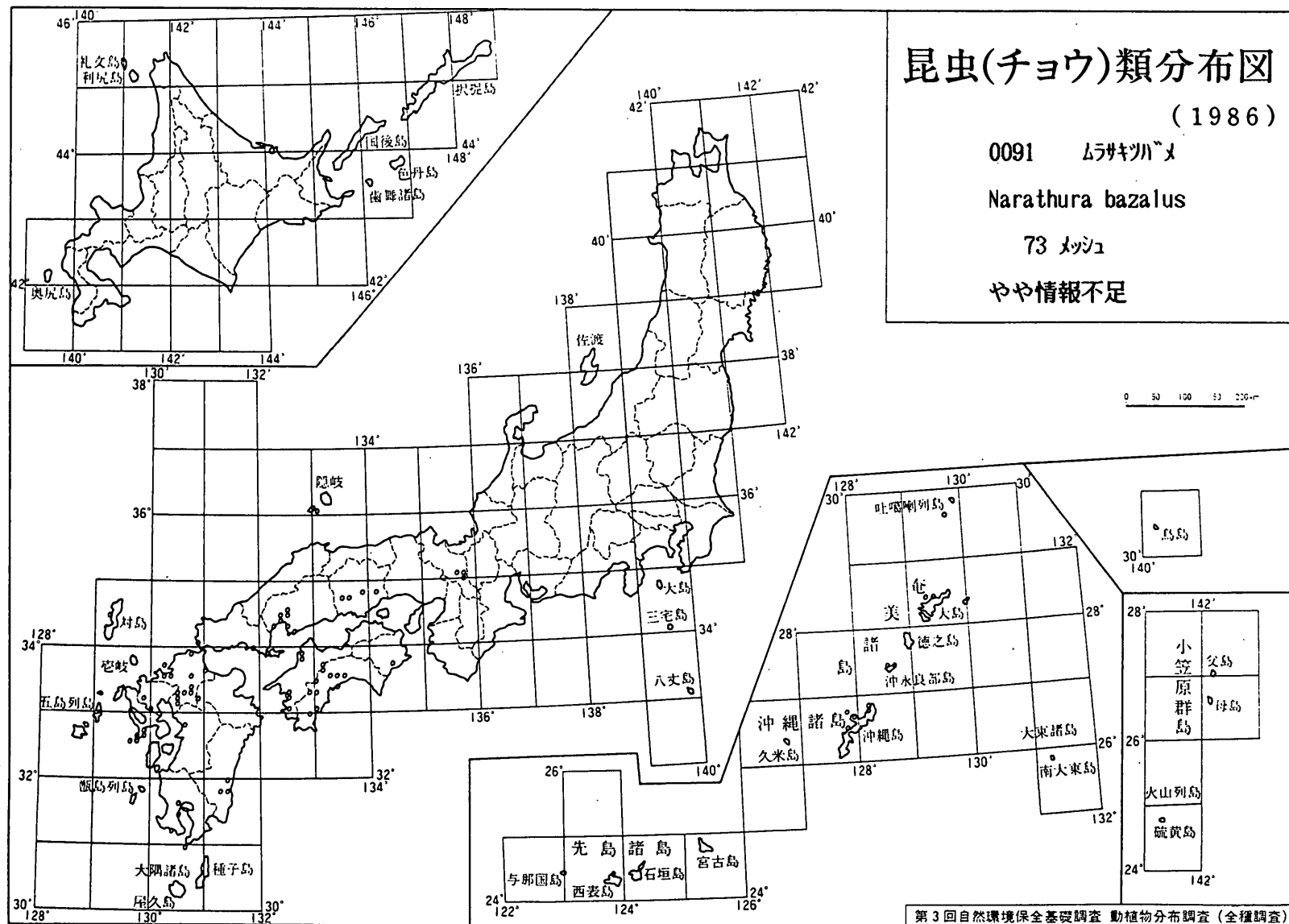
0091 ムラサキツメ

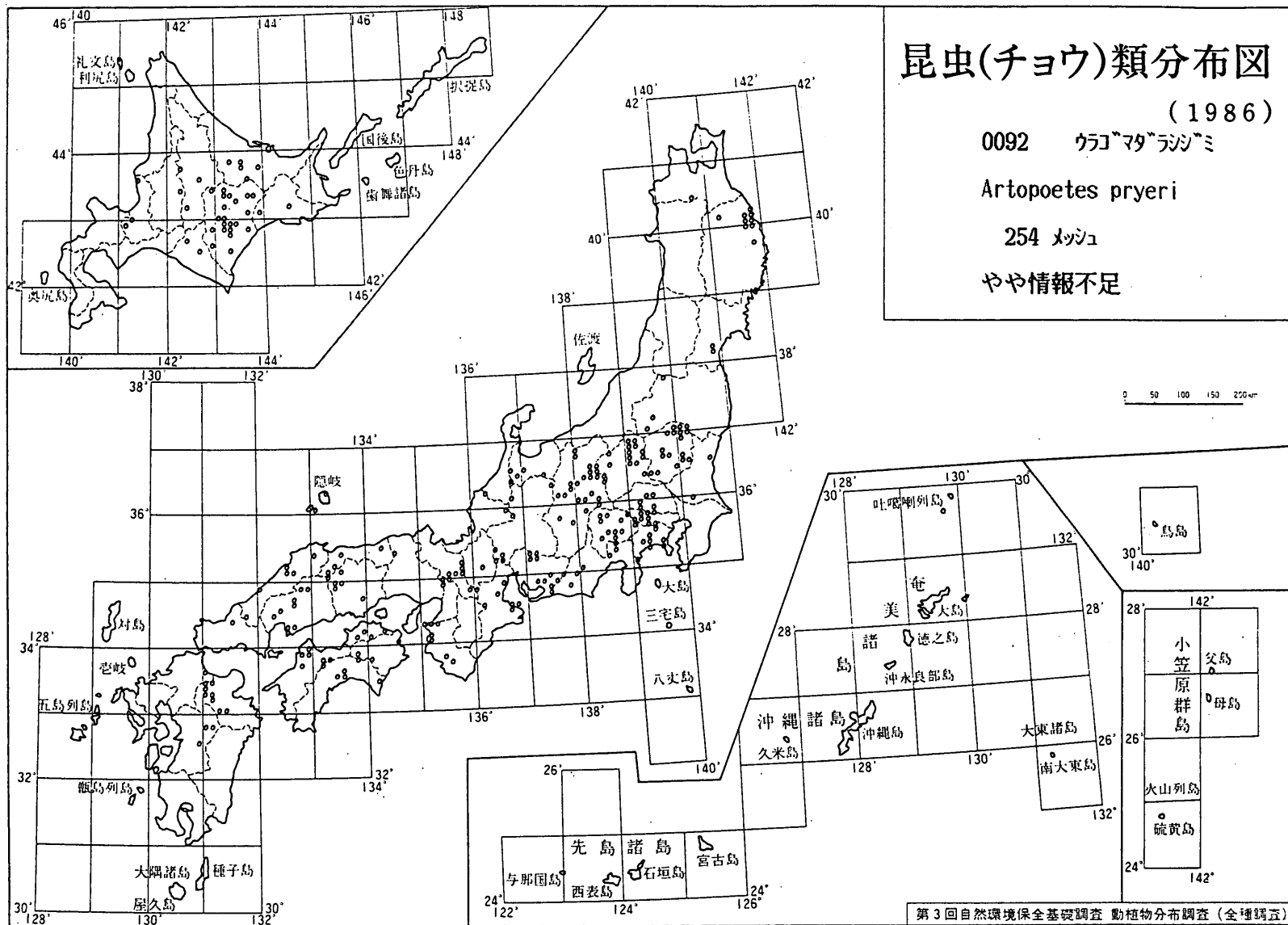
Narathura bazalus

73 メッシュ

やや情報不足

0 50 100 150 200 km





昆虫(チョウ)類分布図

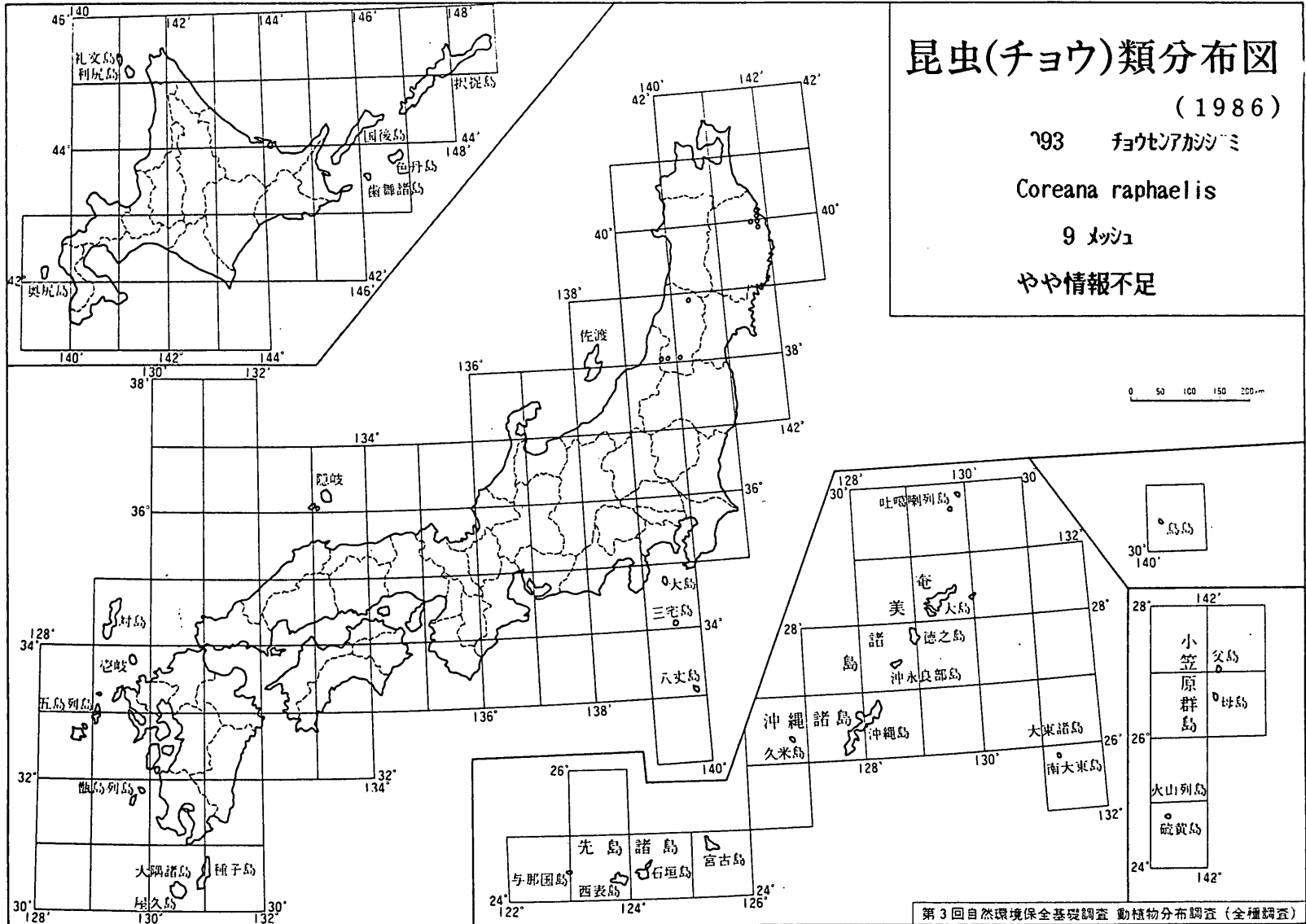
(1986)

93 チョウセンアカシミ

Coreana raphaelis

9 メッシュ

やや情報不足



昆虫(チョウ)類分布図

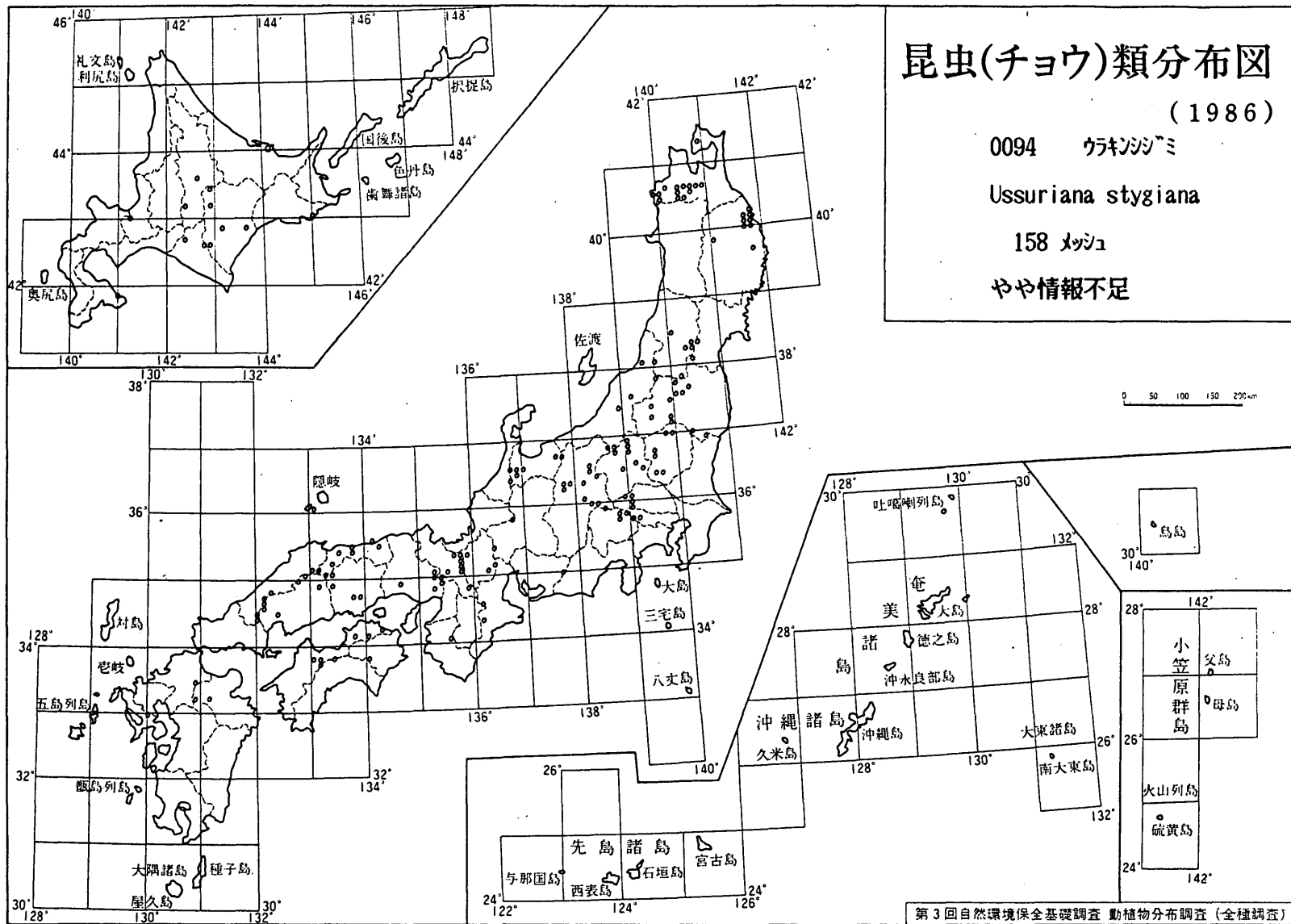
(1986)

0094 ウラキソシミ

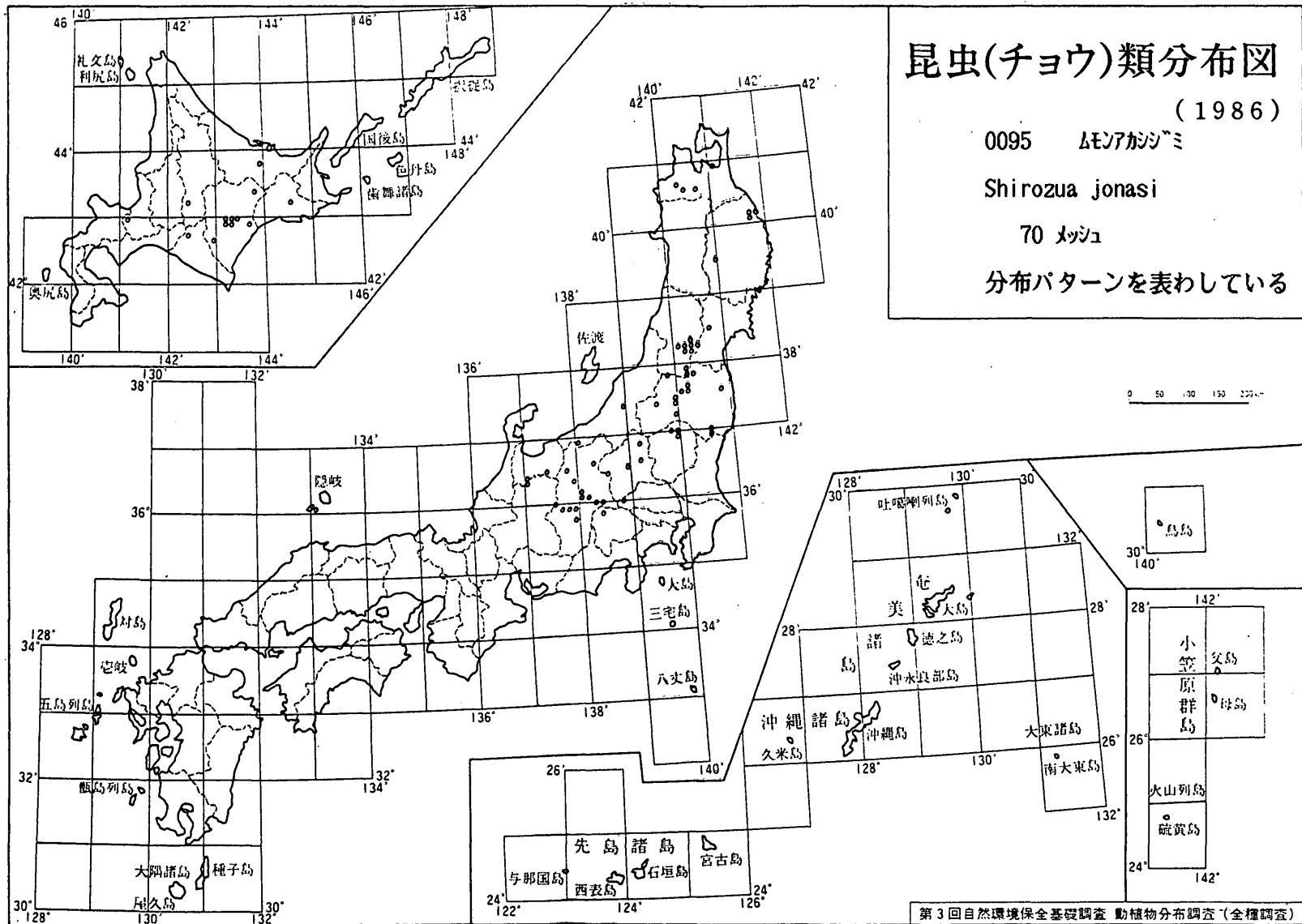
Ussuriana stygiana

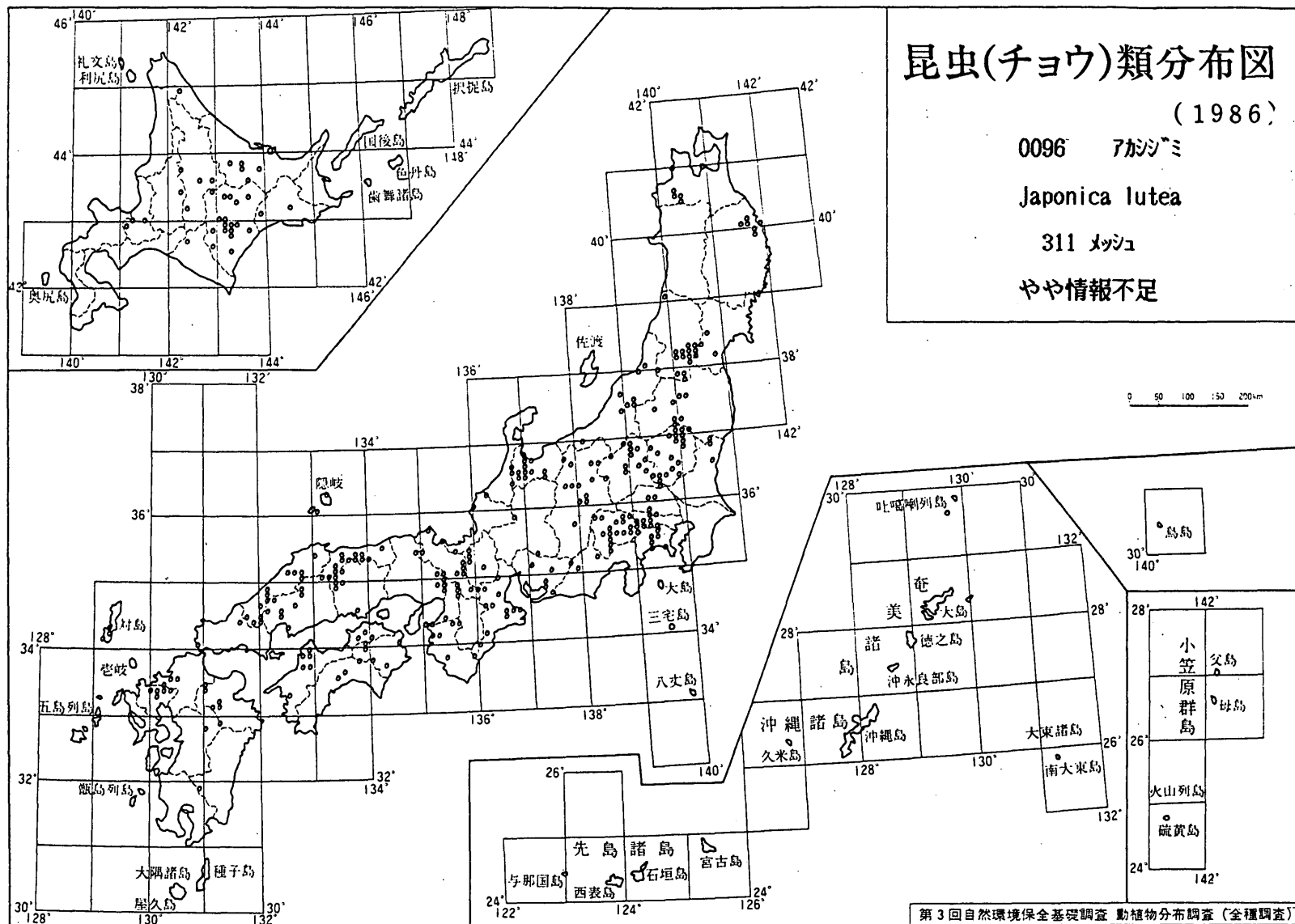
158 マシ

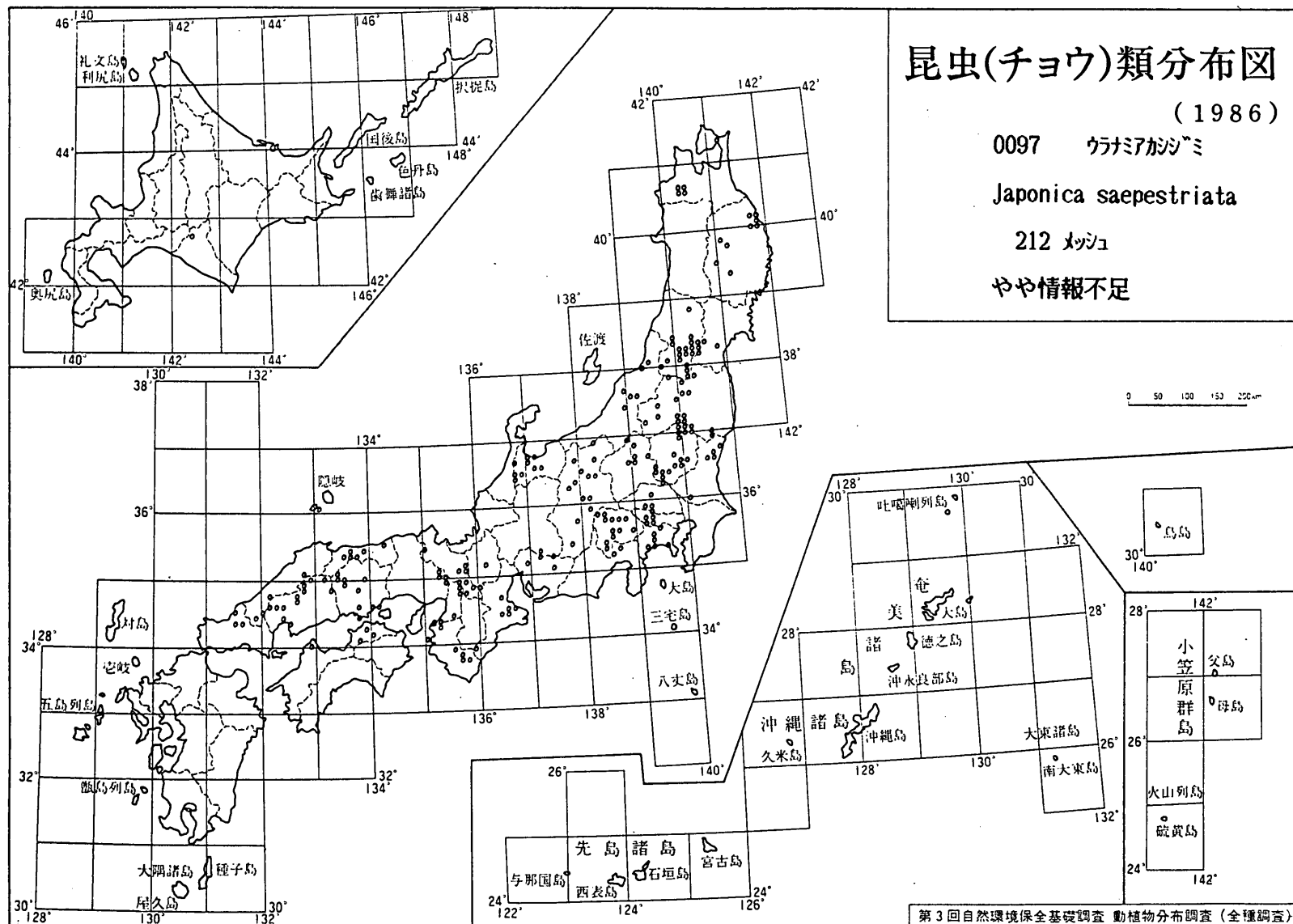
やや情報不足

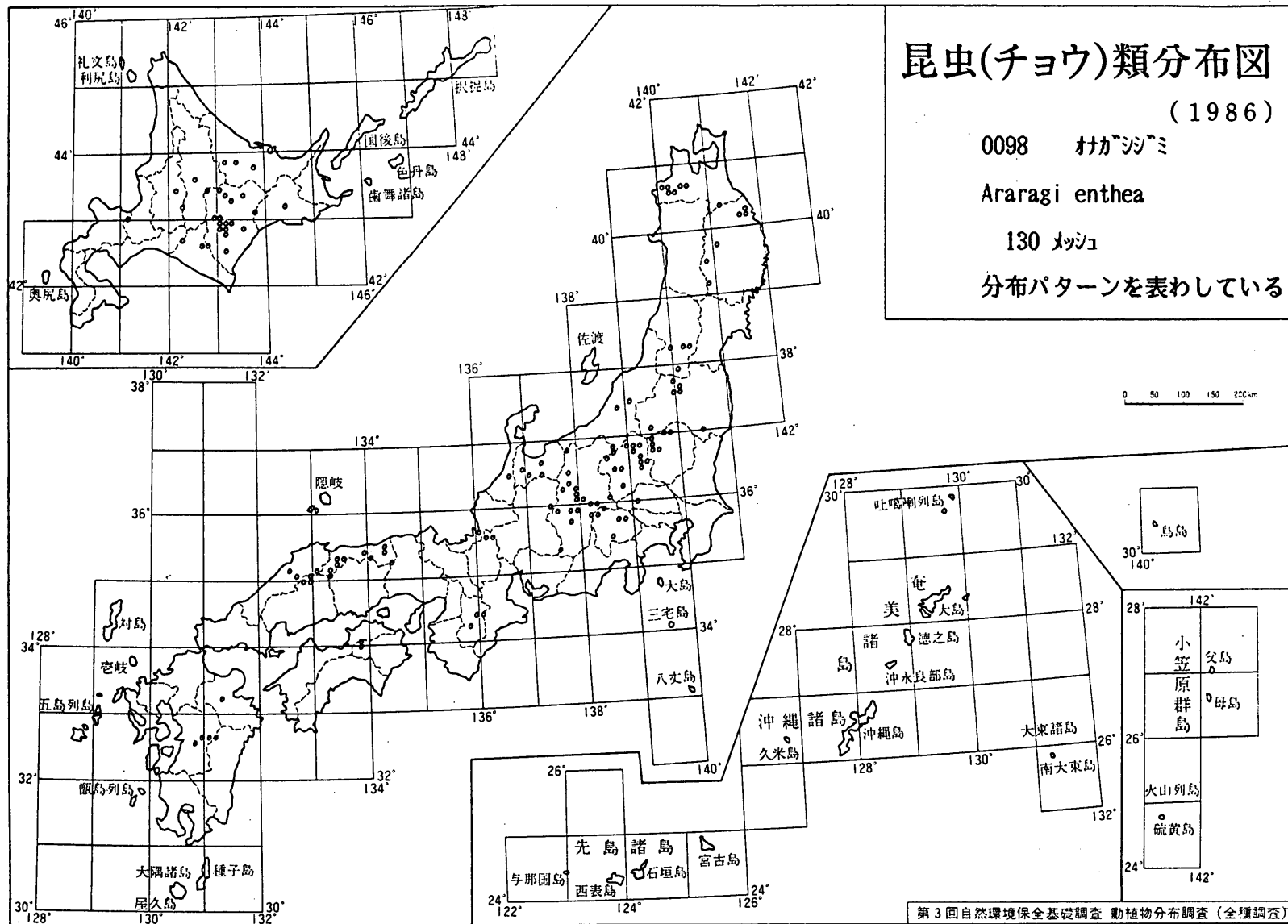


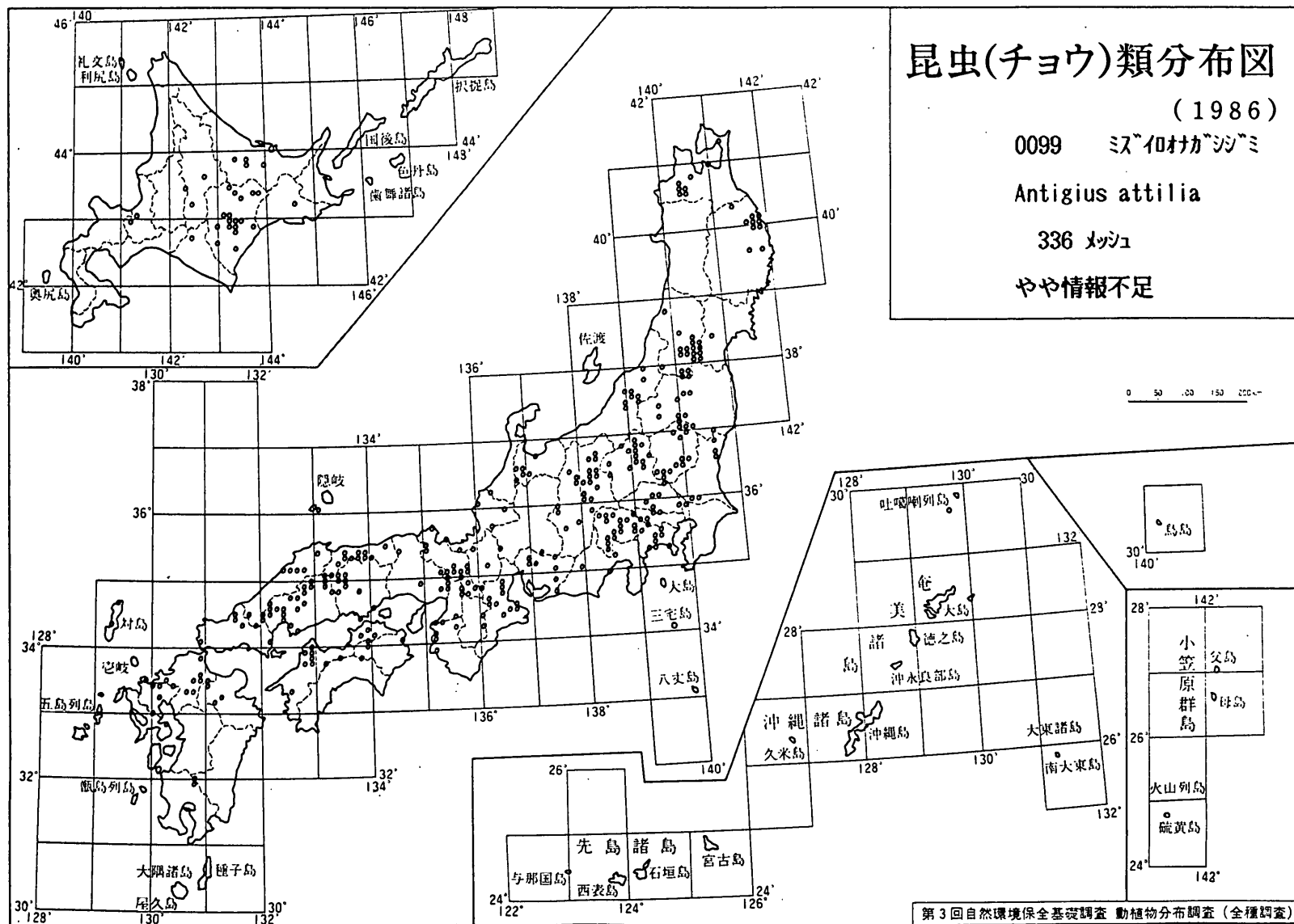
第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

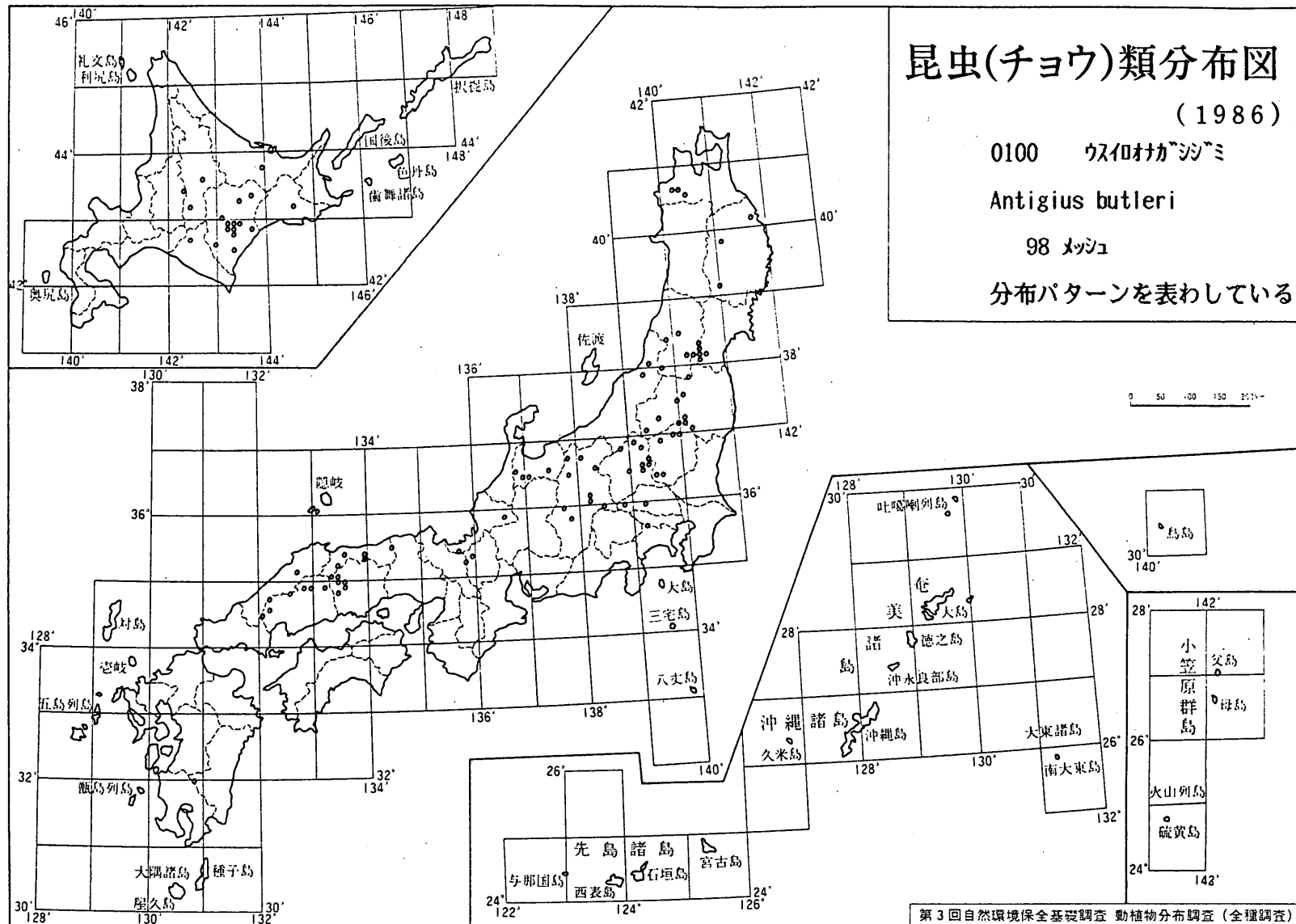


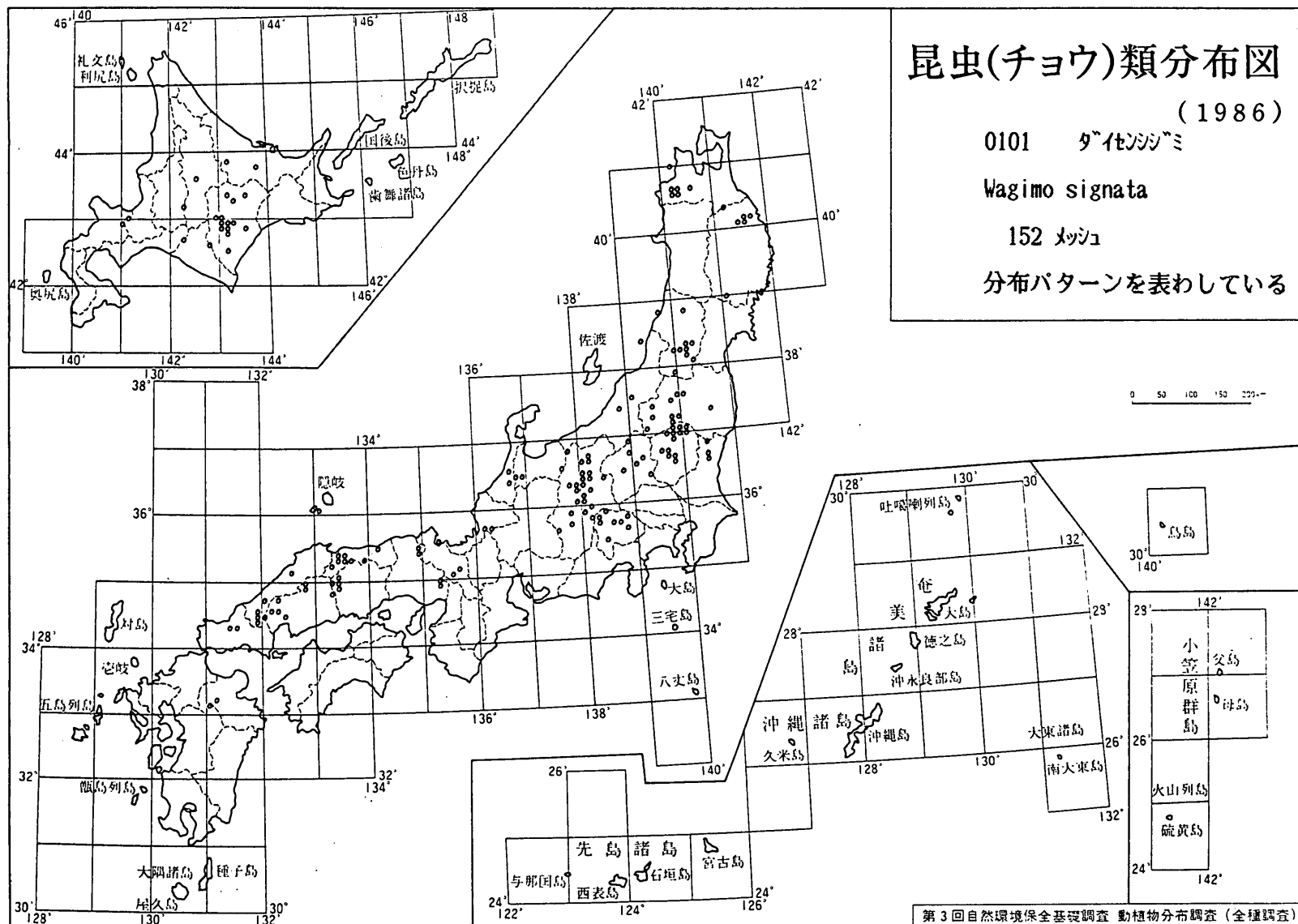












昆虫(チョウ)類分布図

(1986)

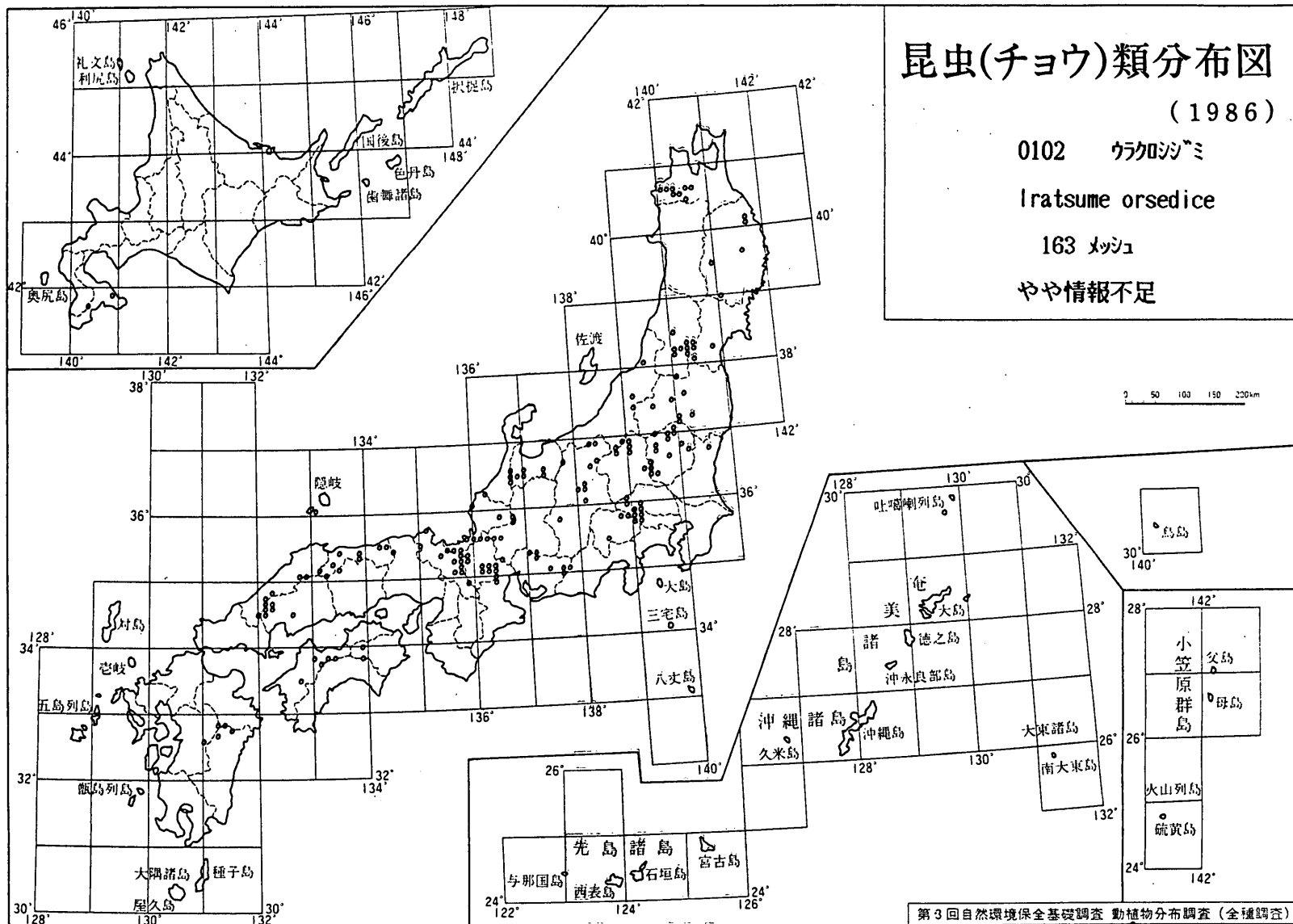
0102 ウラコシジミ

Iratsume orsedice

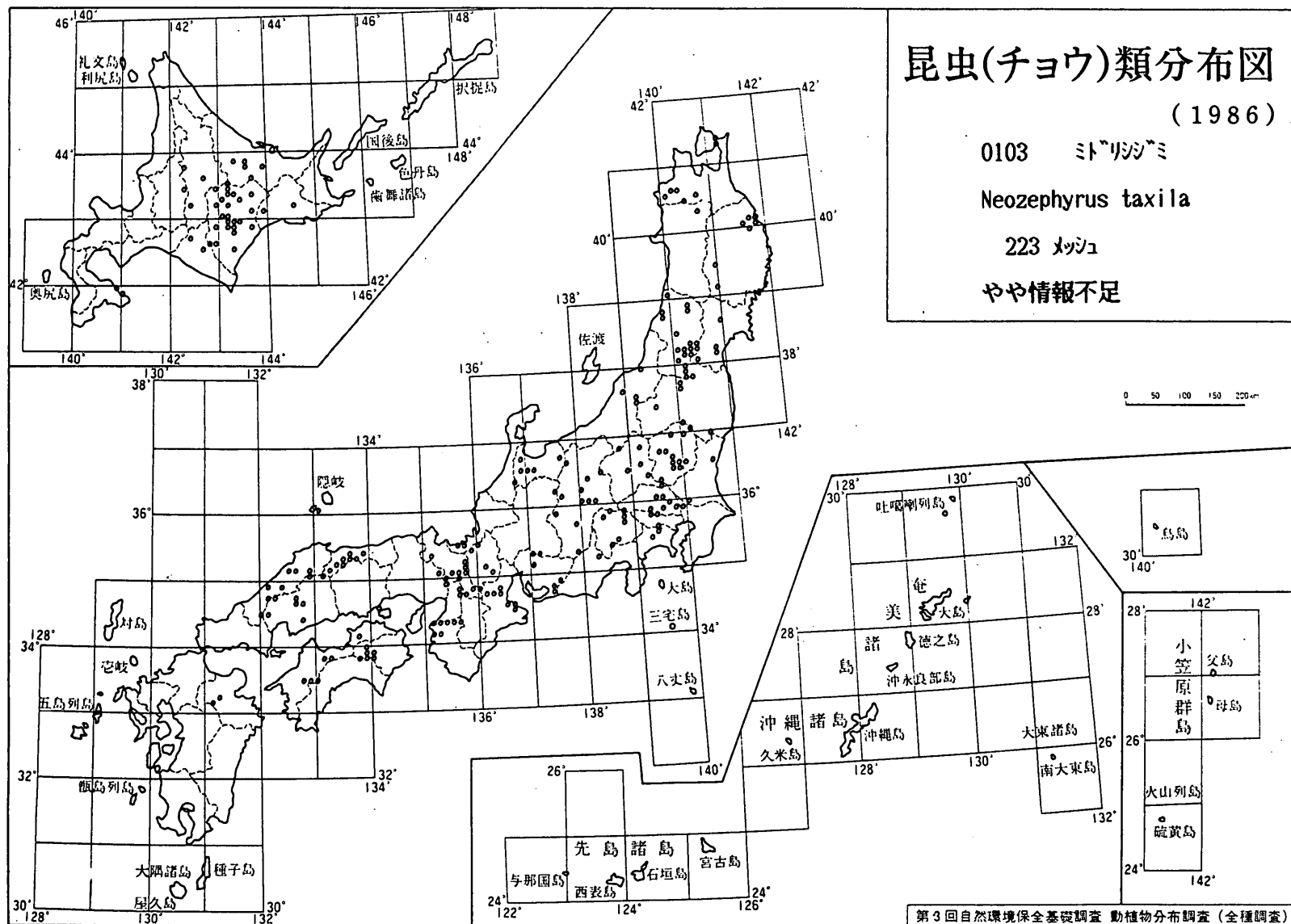
163 ムシユ

やや情報不足

0 50 100 150 200km



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)



昆虫(チョウ)類分布図

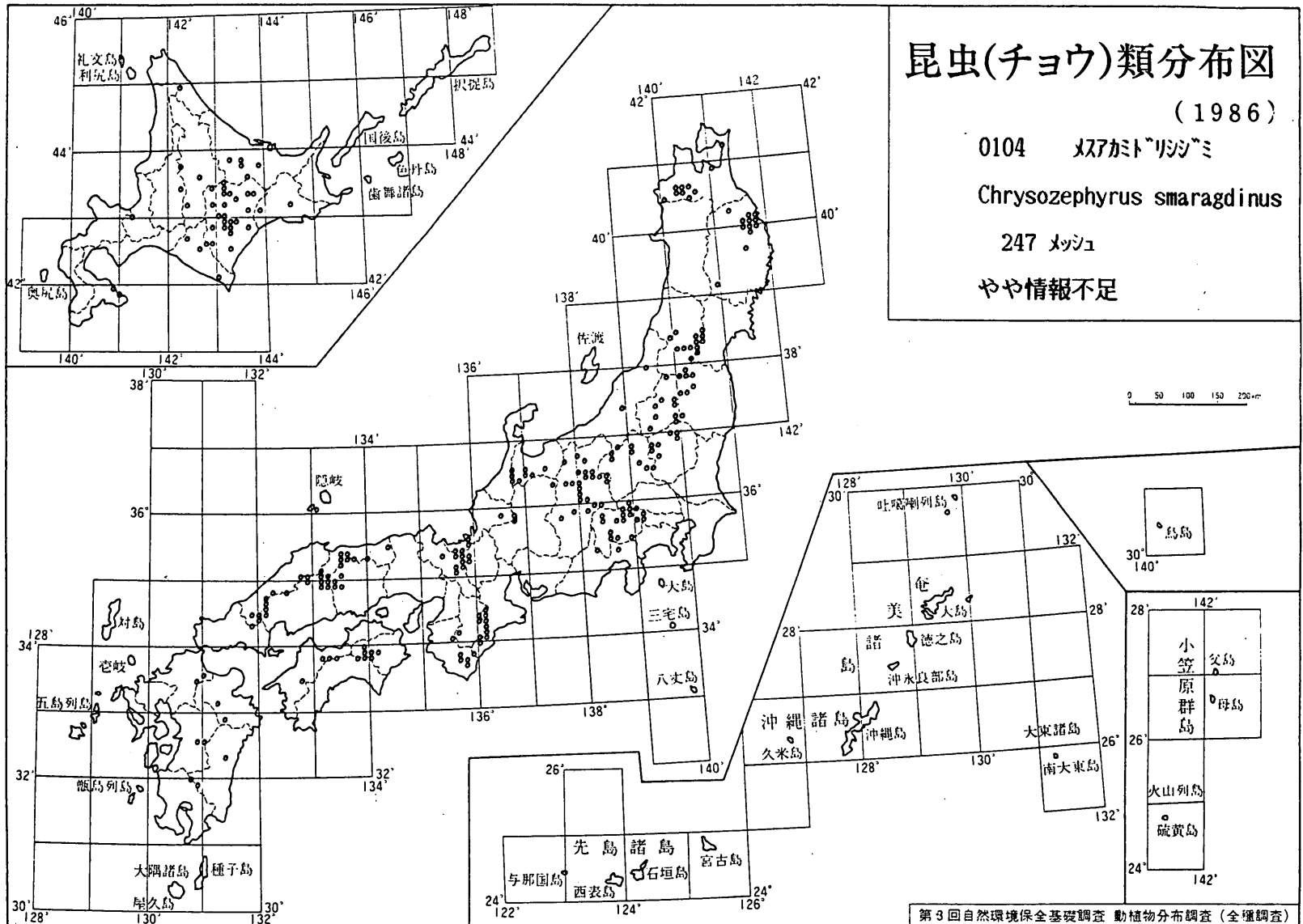
(1986)

0104 ヌアガミトリシジミ

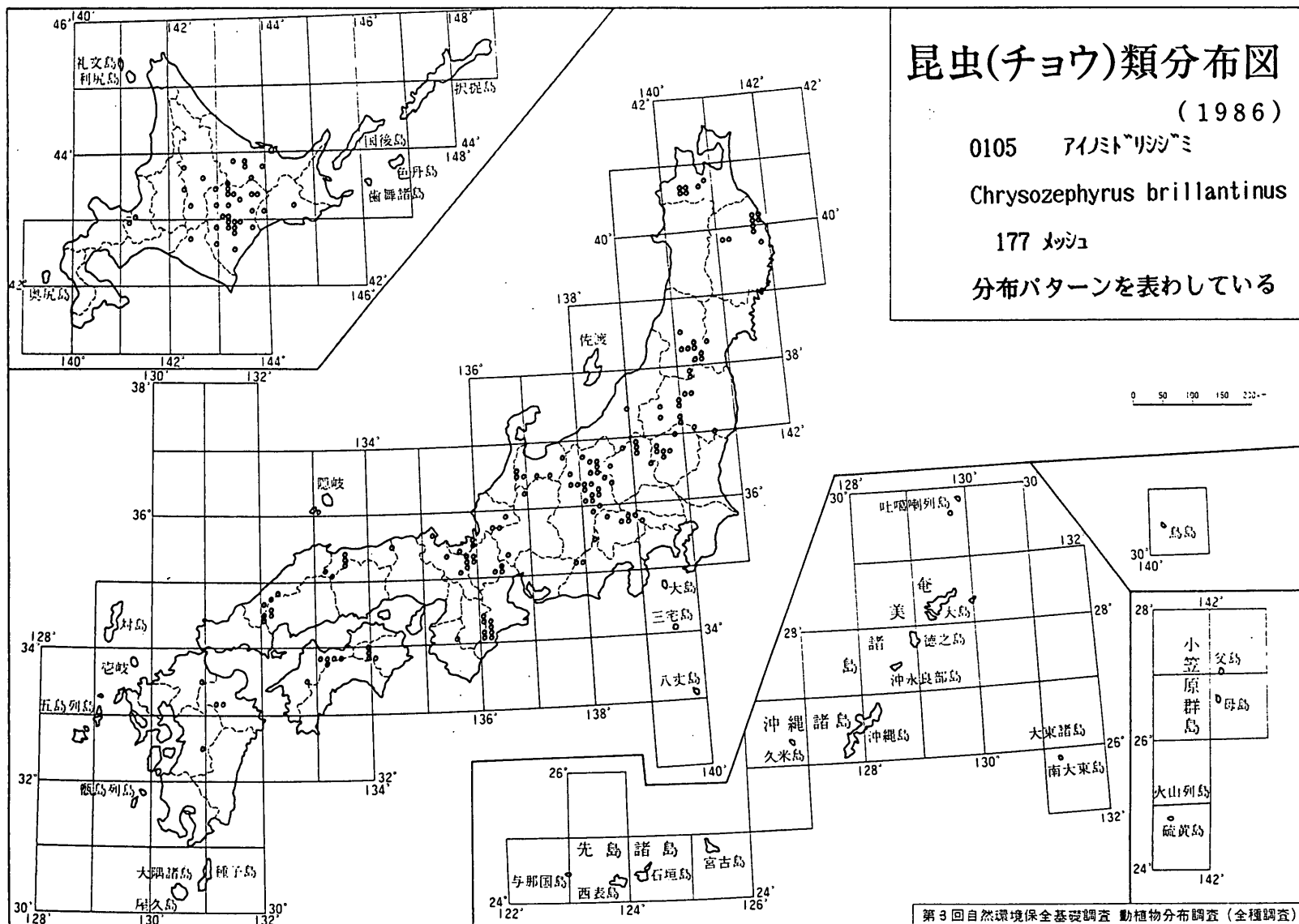
Chrysozephyrus smaragdinus

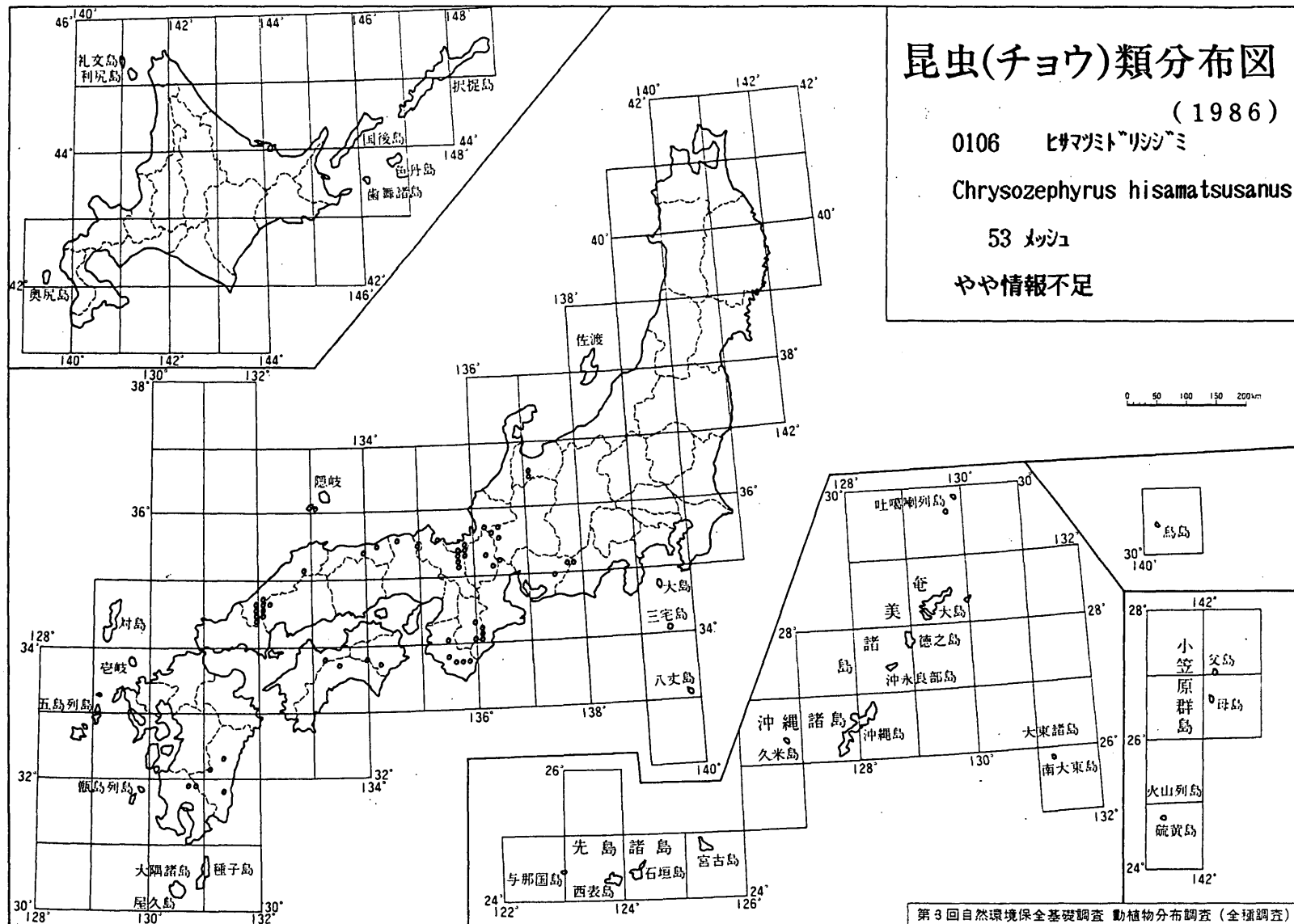
247 メッシュ

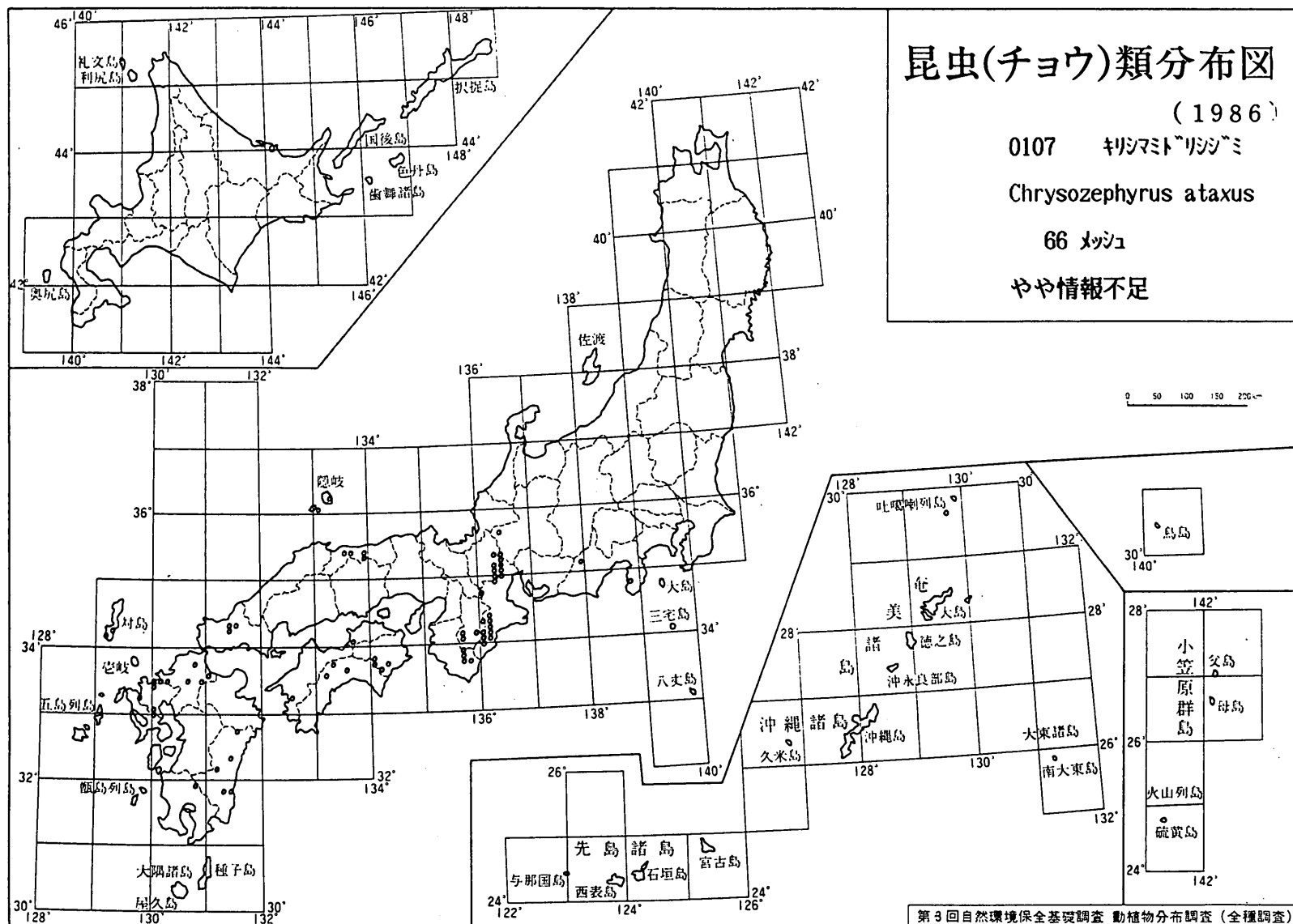
やや情報不足

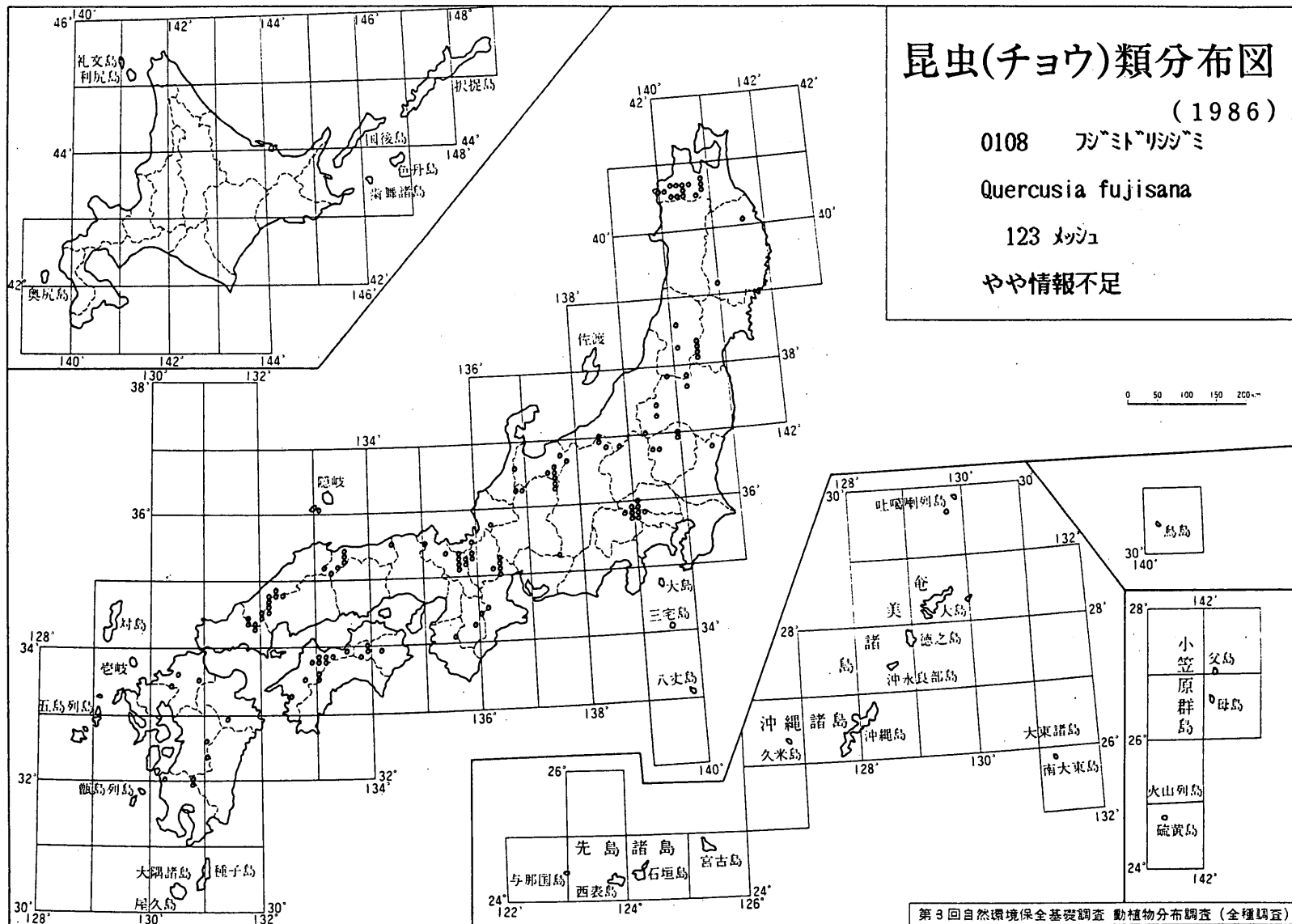


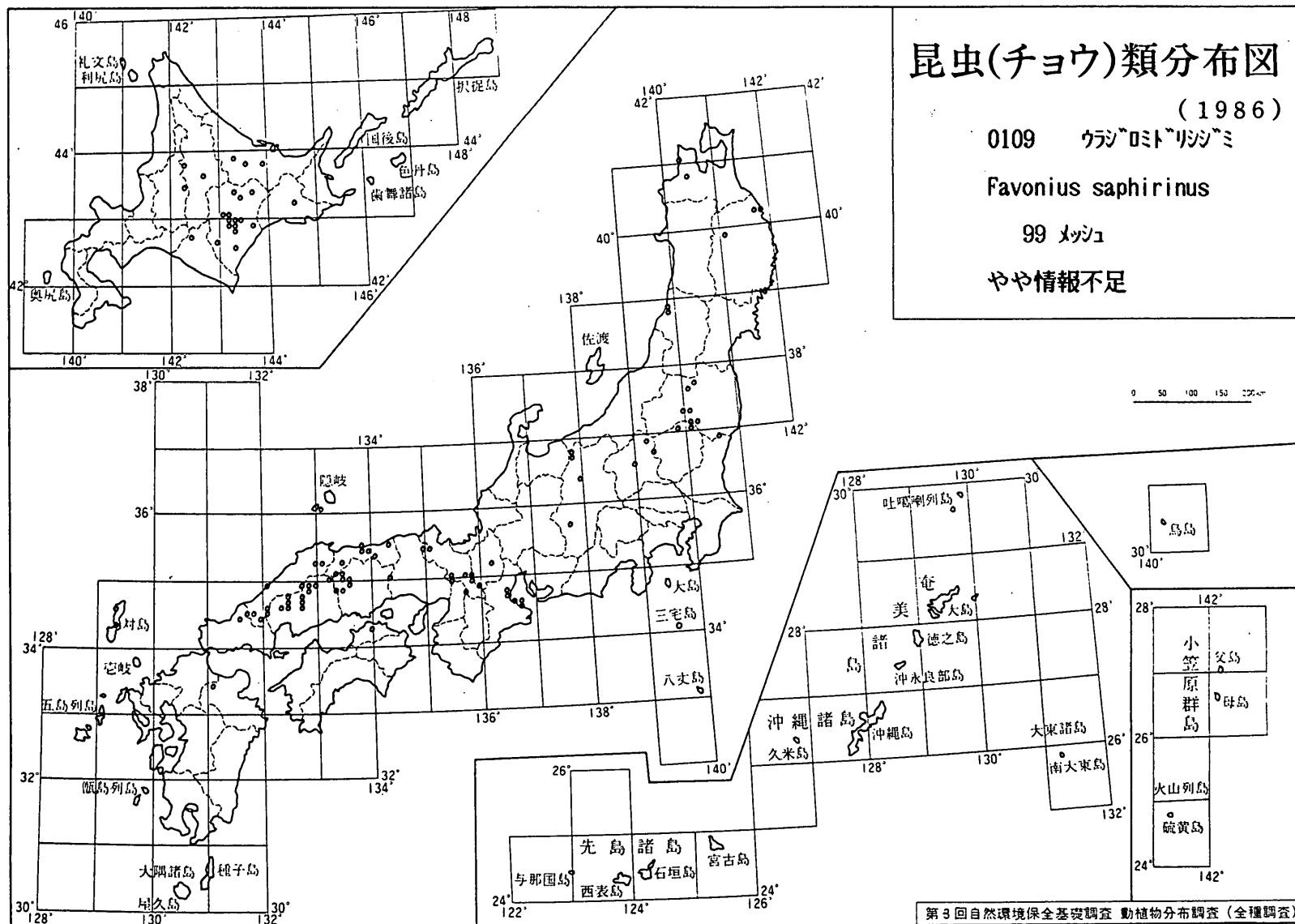
第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

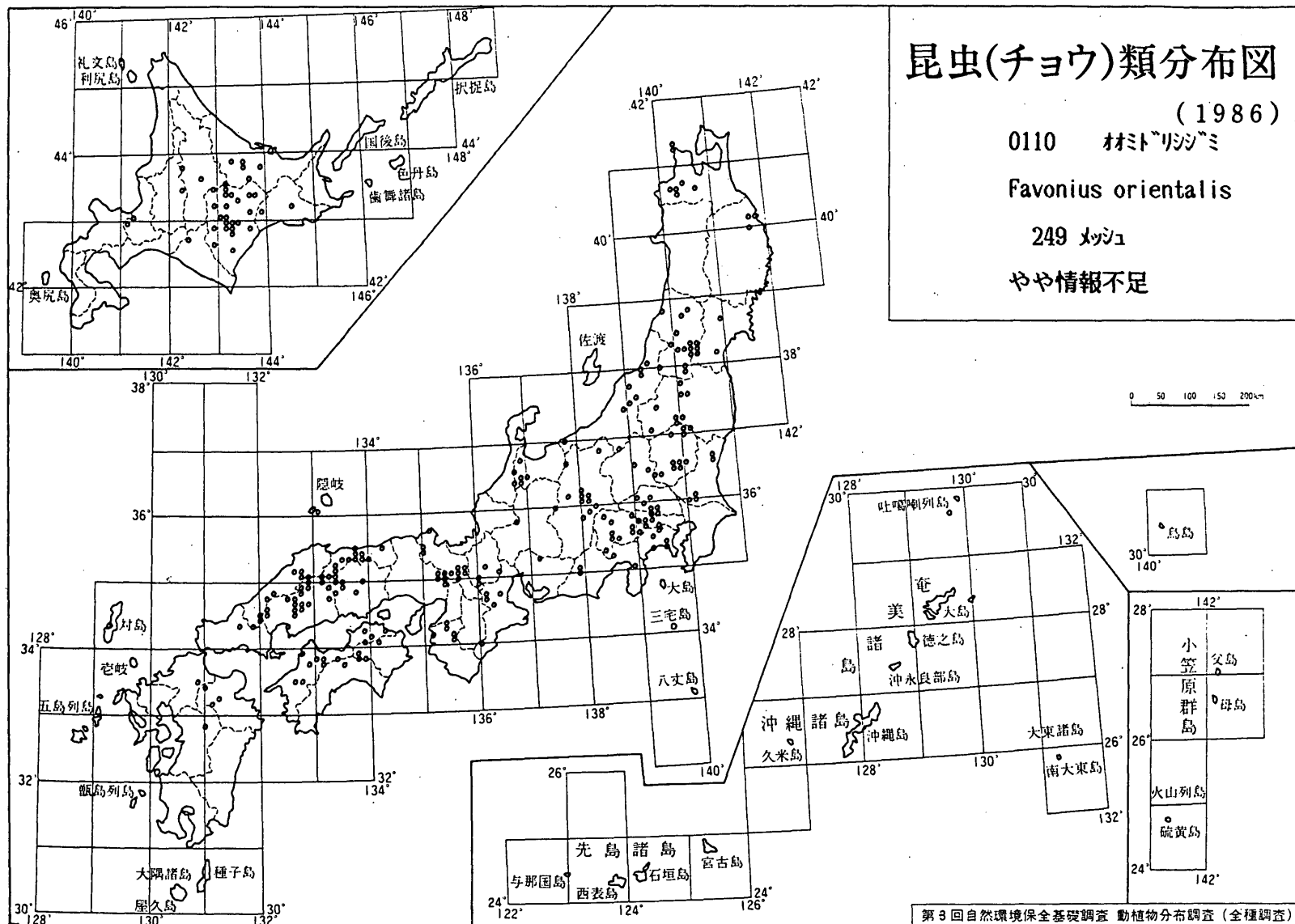


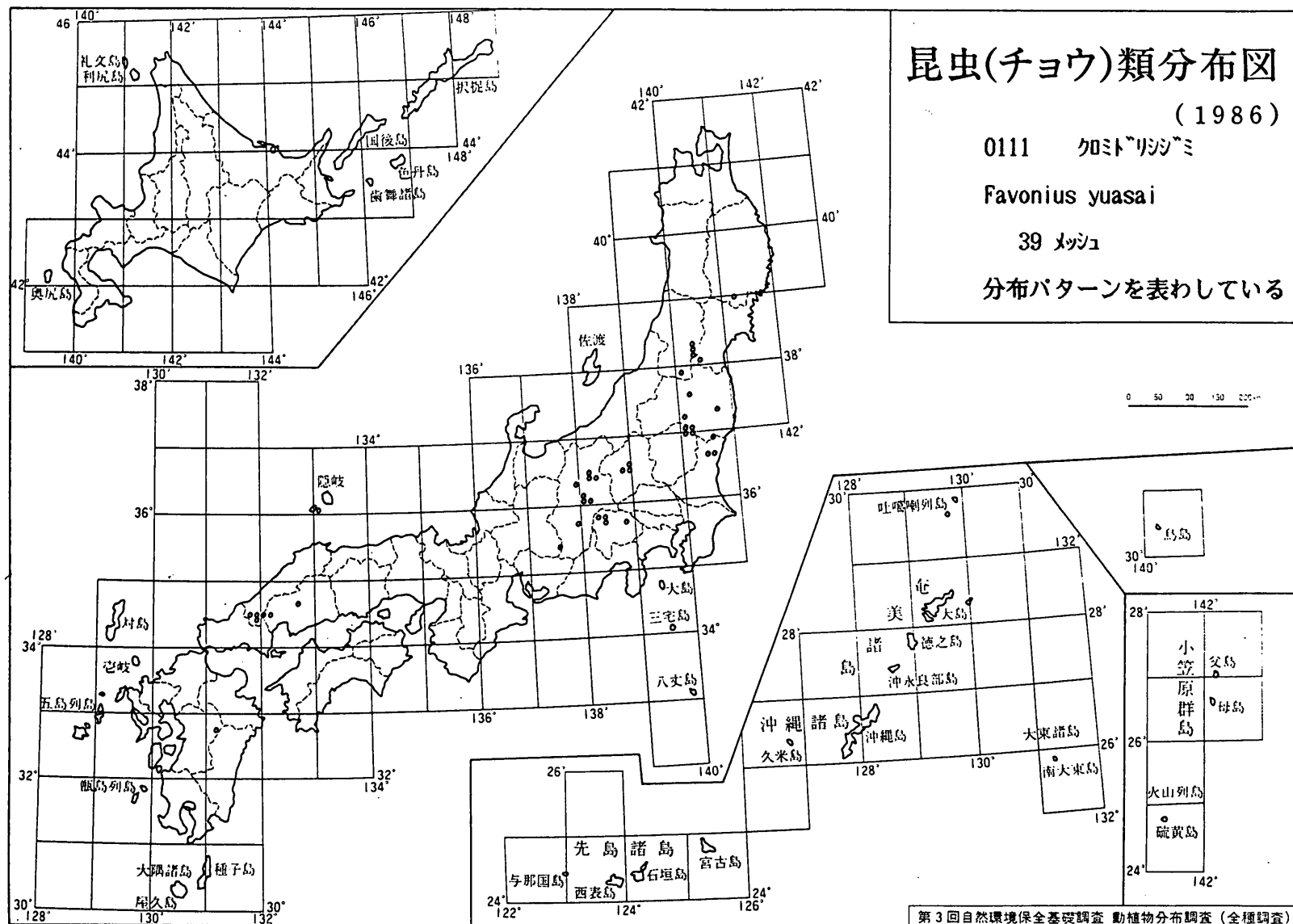












昆虫(チョウ)類分布図

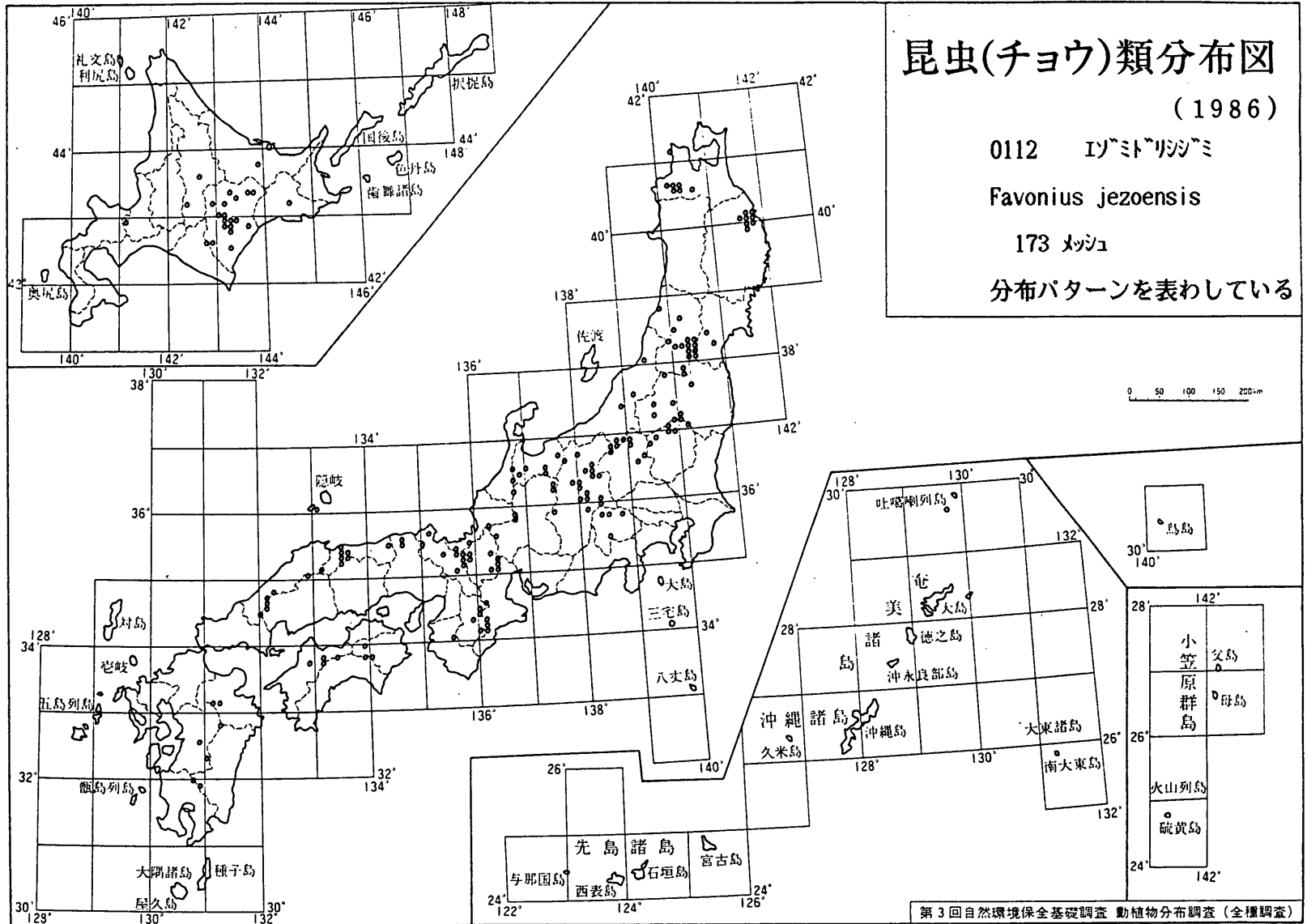
(1986)

0112 イゾミトリシシミ

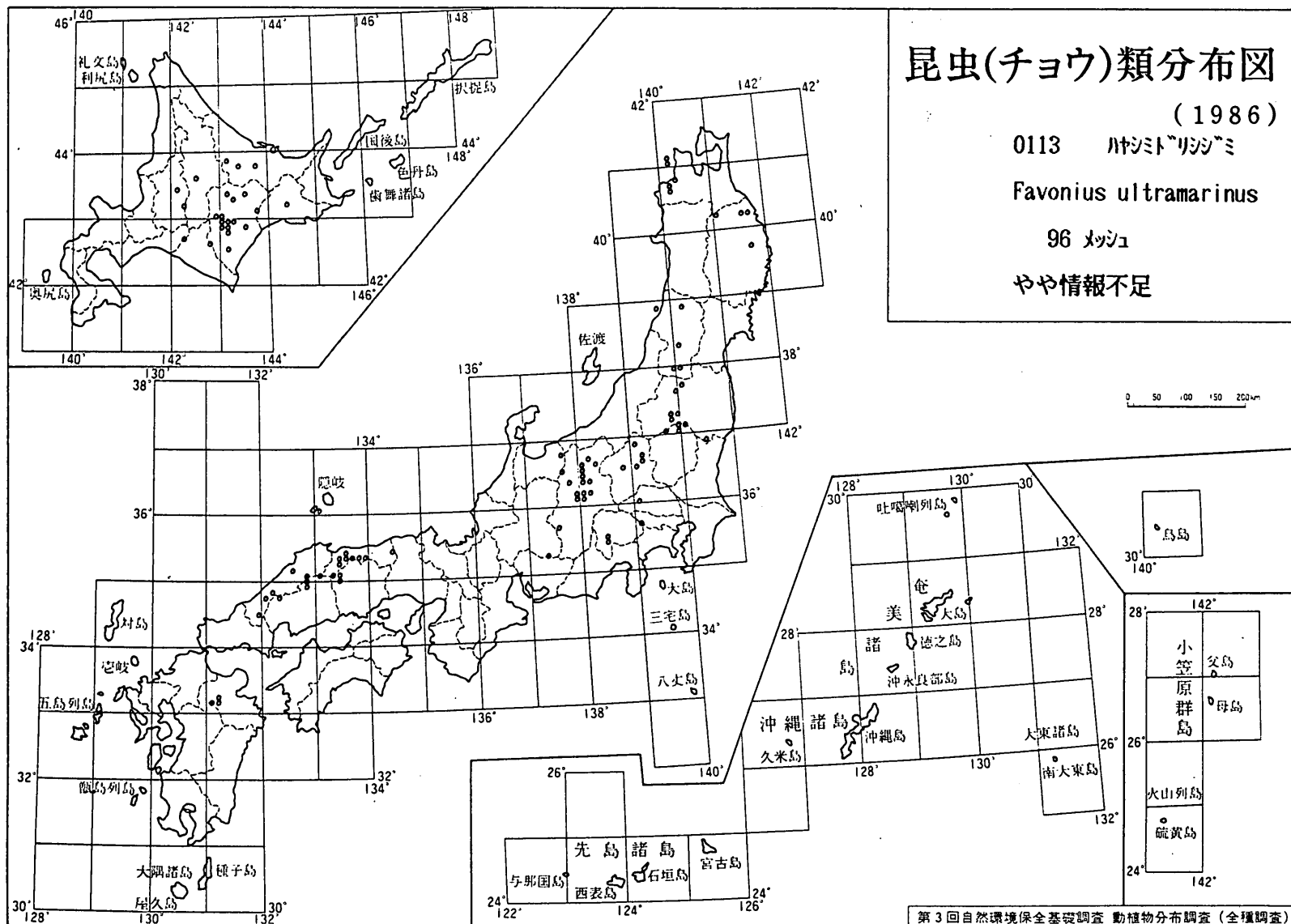
Favonius jezoensis

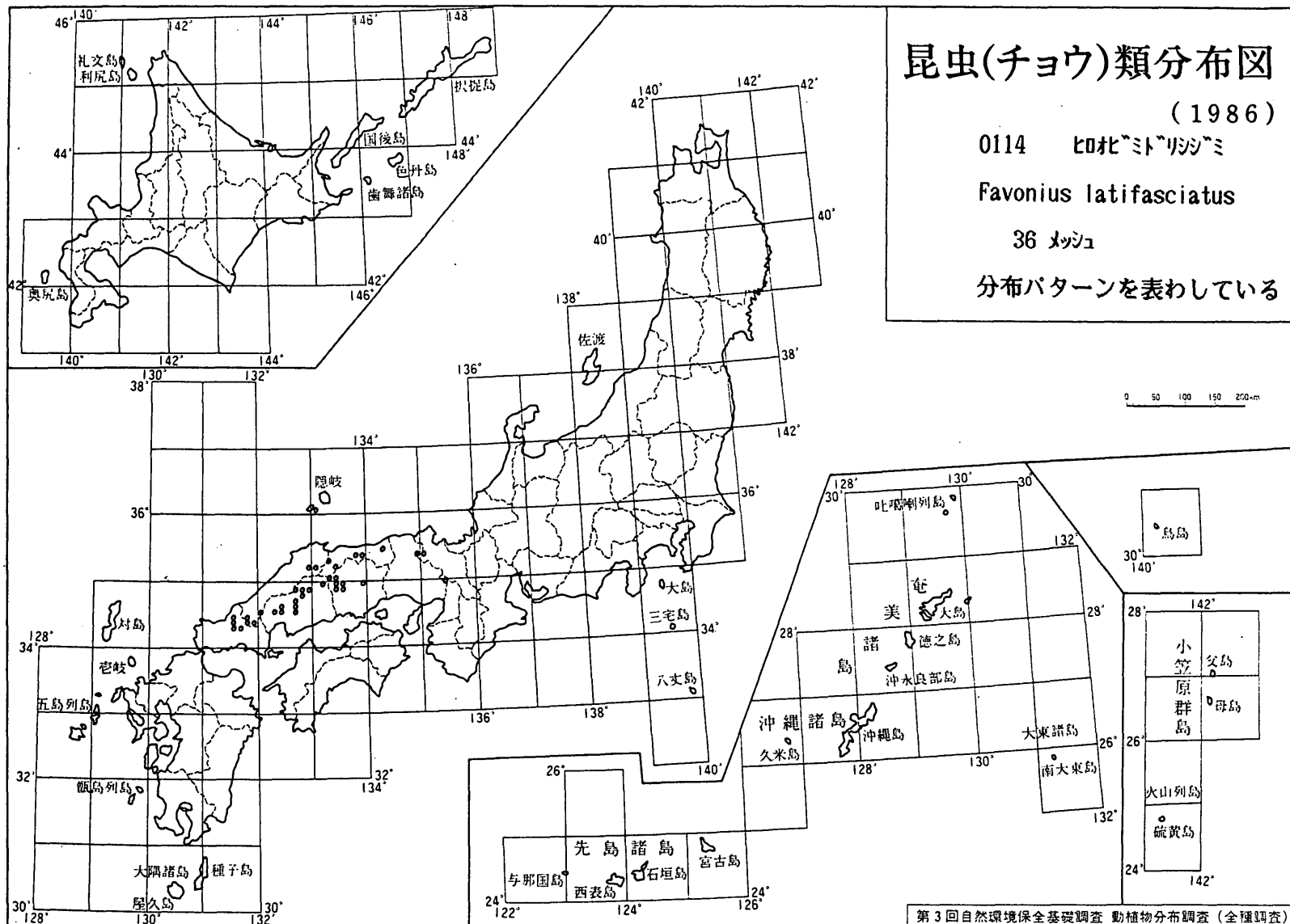
173 メッシュ

分布パターンを表わしている



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)





昆虫(チョウ)類分布図

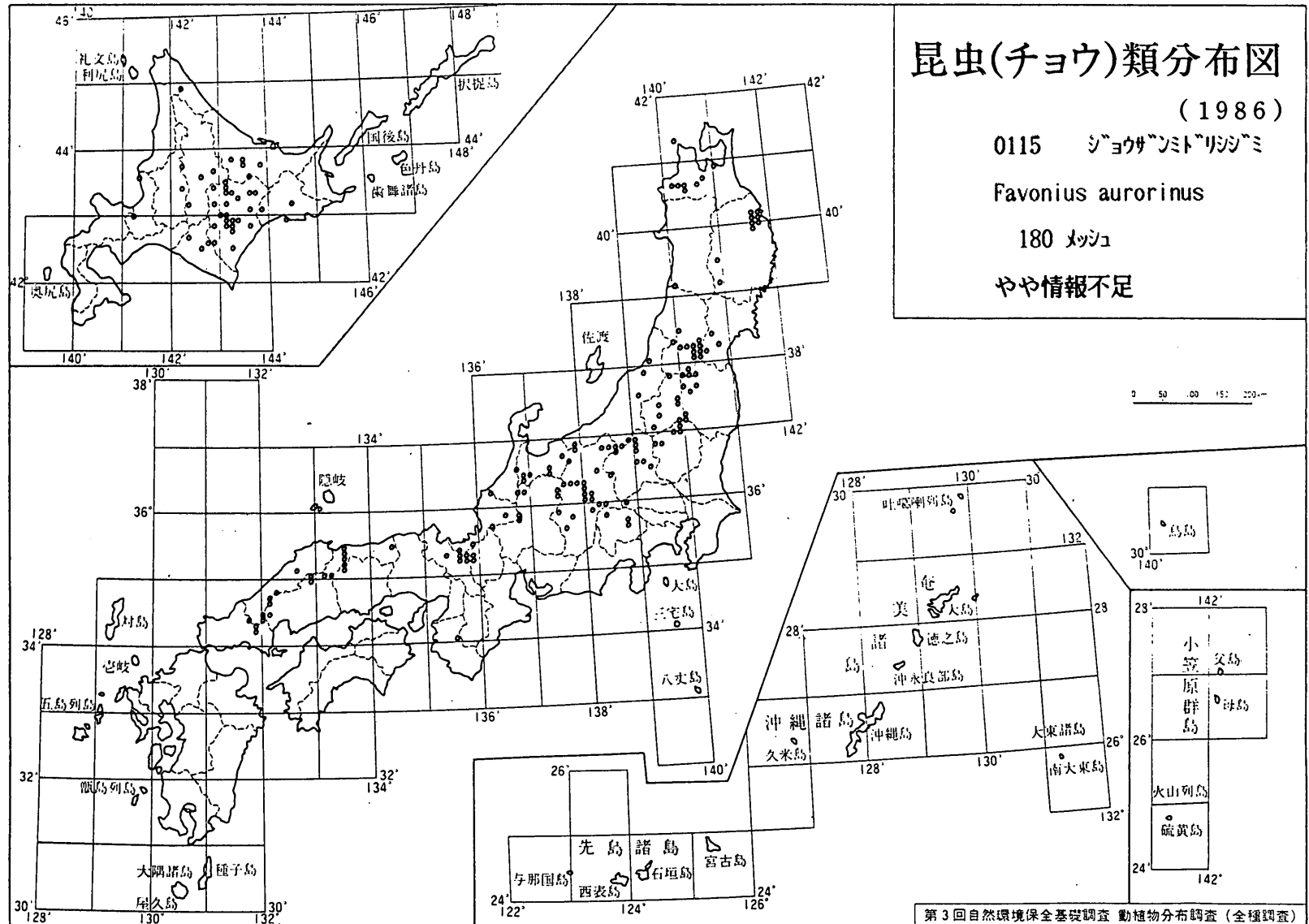
(1 9 8 6)

0115 ショウサソミトリシシミ

Favonius aurorinus

180 メッシュ

やや情報不足



昆虫(チョウ)類分布図

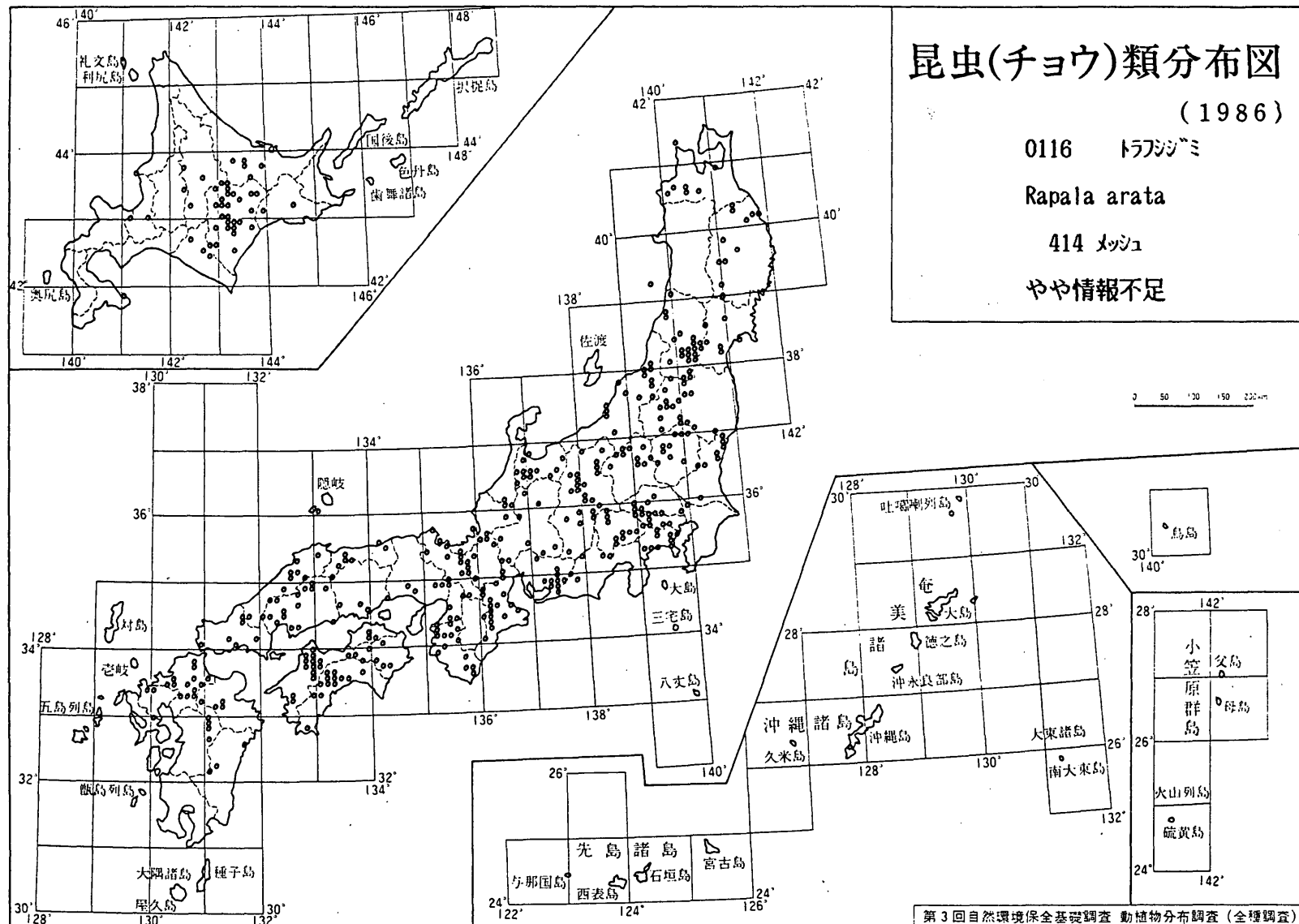
(1986)

0116 トラジシミ

Rapala arata

414 メッシュ

やや情報不足



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

昆虫(チョウ)類分布図

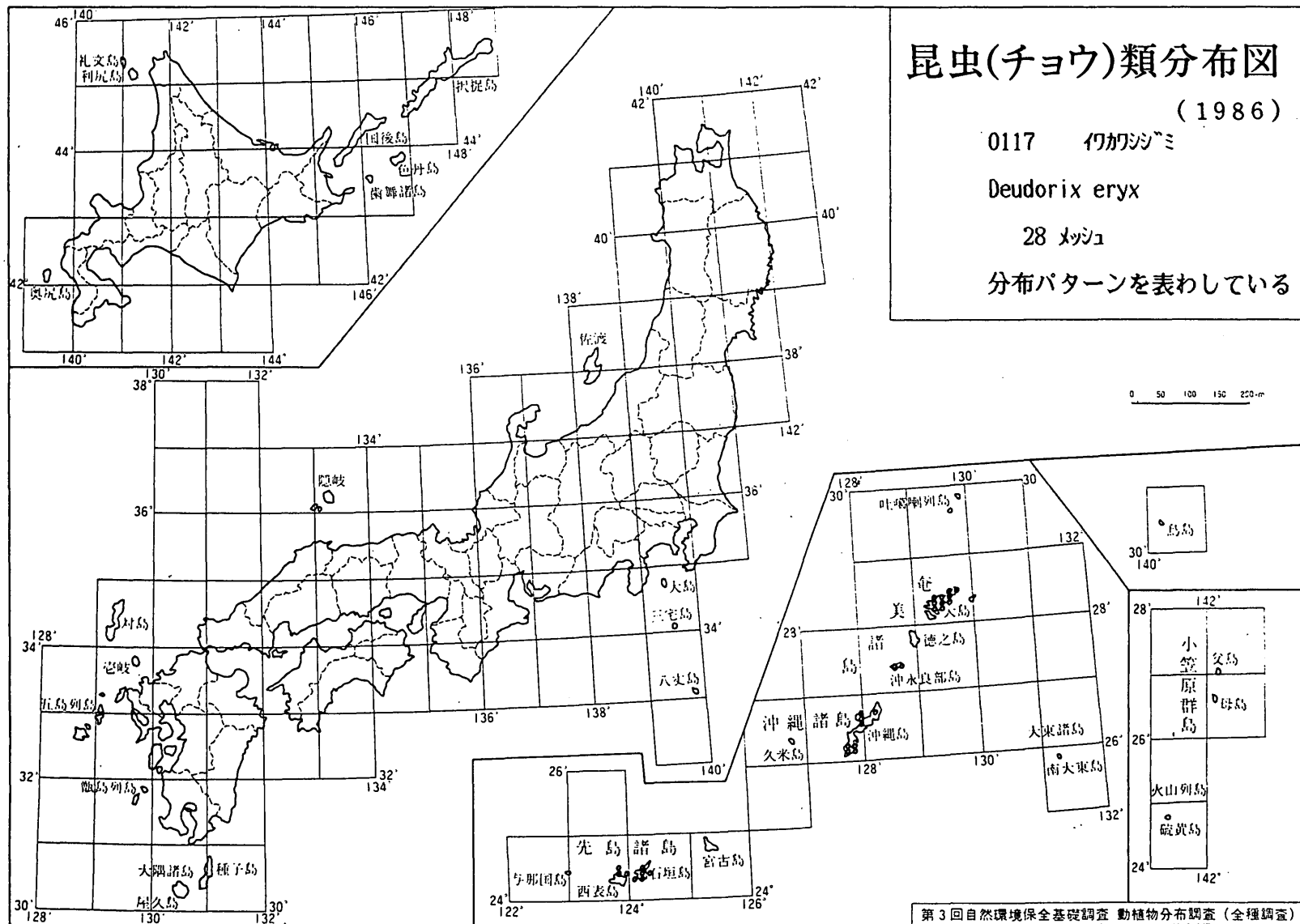
(1986)

0117 イカシシミ

Deudorix eryx

28 メッシュ

分布パターンを表わしている



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

昆虫(チョウ)類分布図

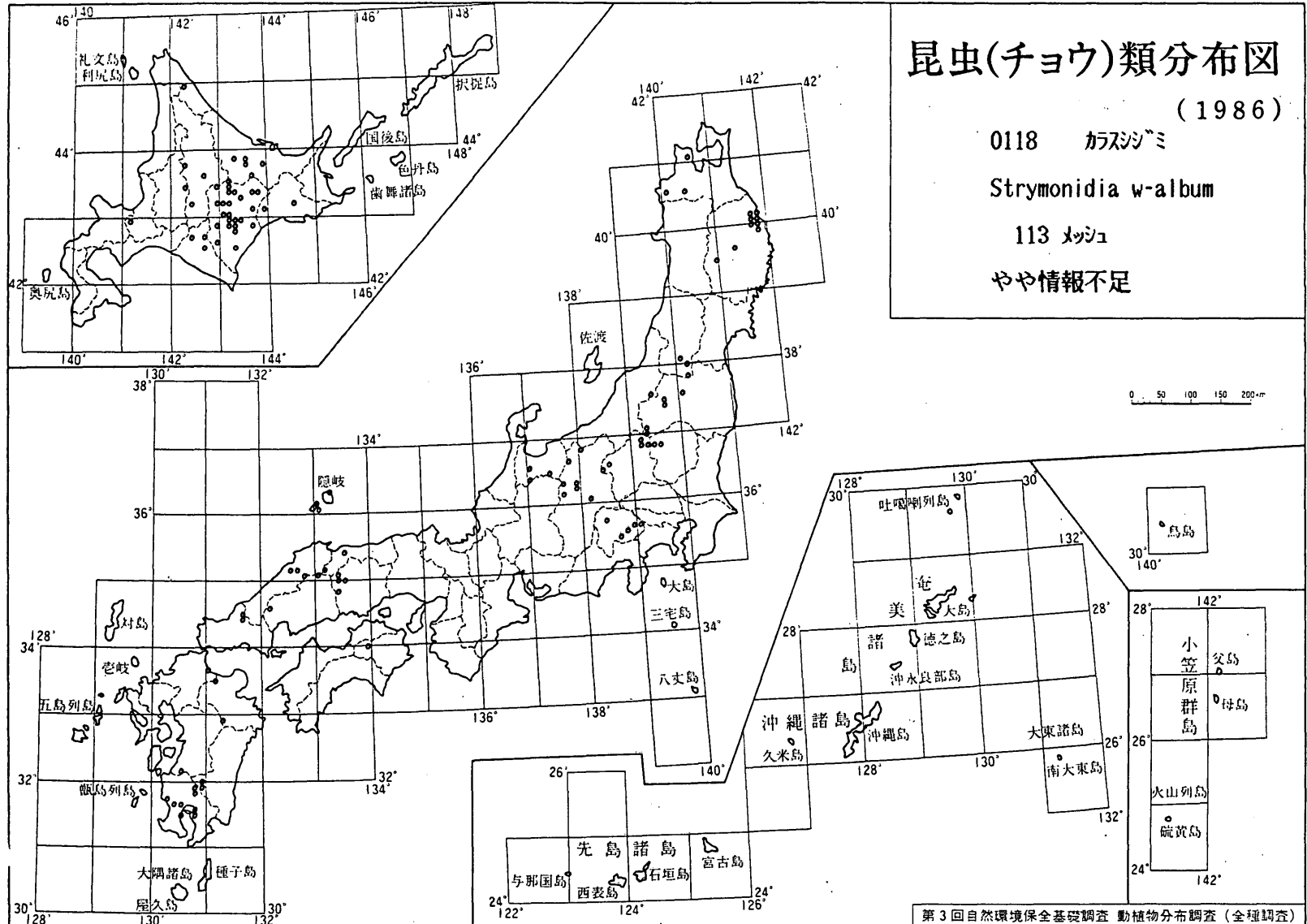
(1986)

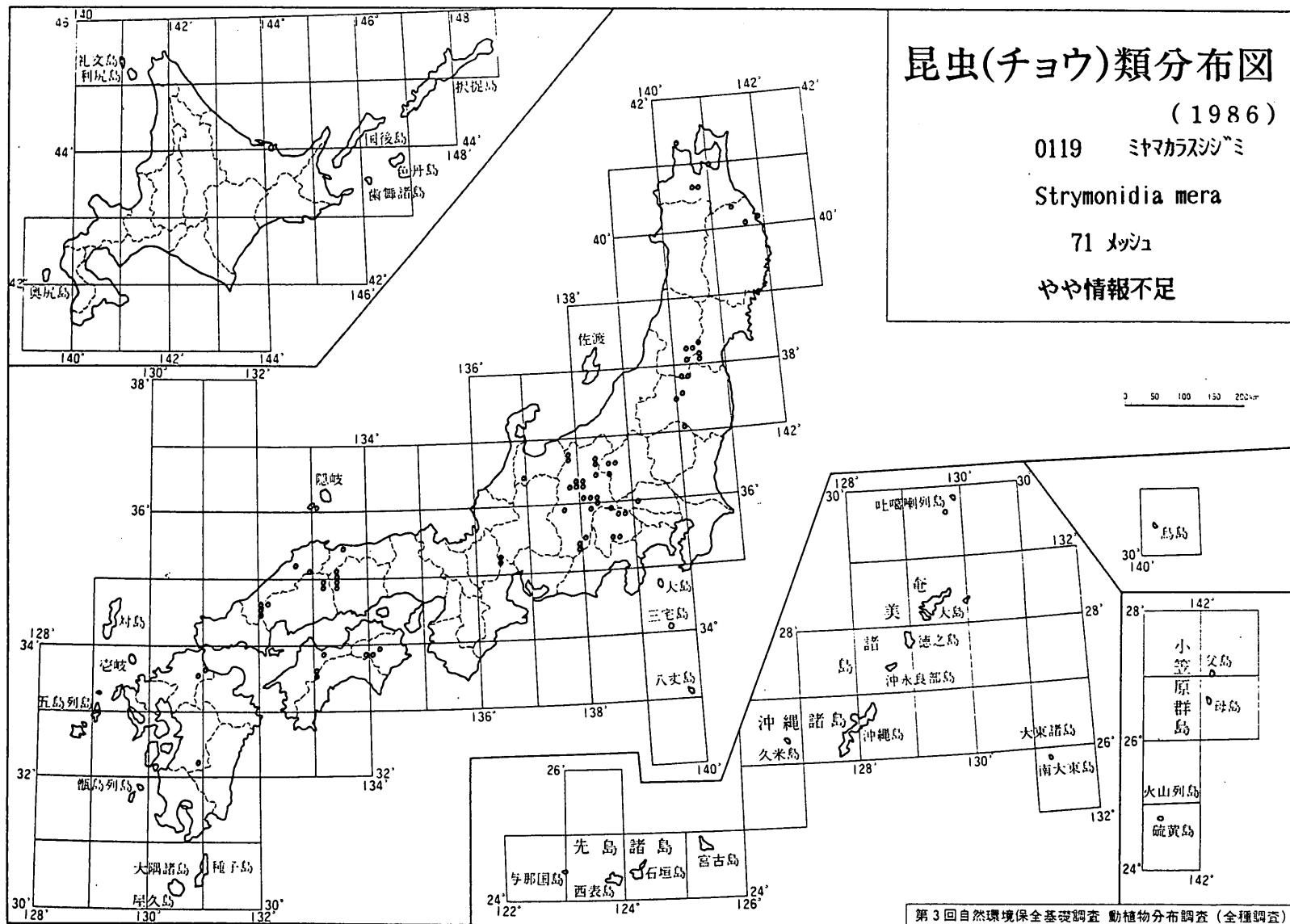
0118 カラスジミ

Strymonidia w-album

113 メッシュ

やや情報不足





昆虫(チョウ)類分布図

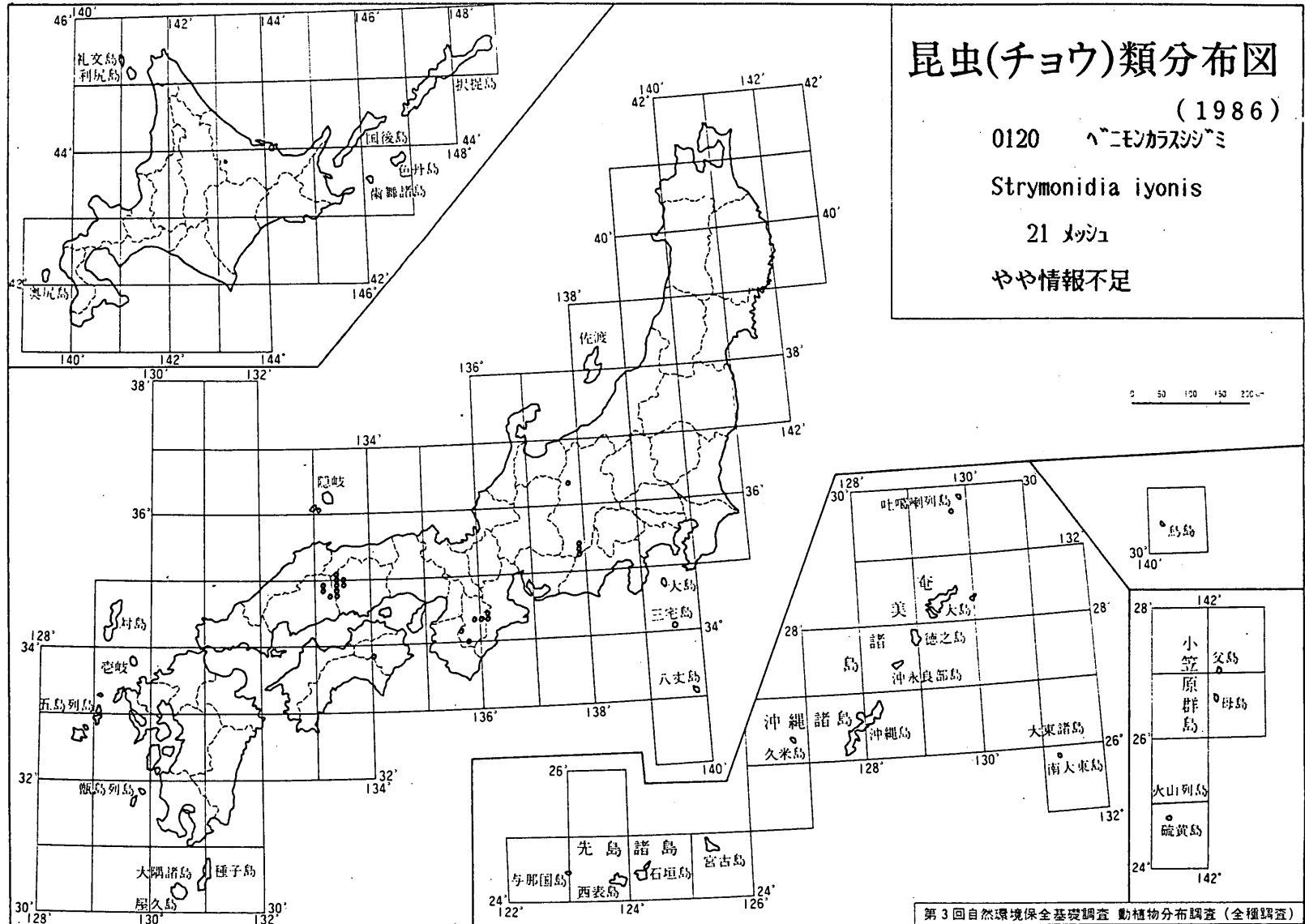
(1986)

0120 ハニモンカスジミ

Strymonidia iyonis

21 メッヅ

やや情報不足



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

昆虫(チョウ)類分布図

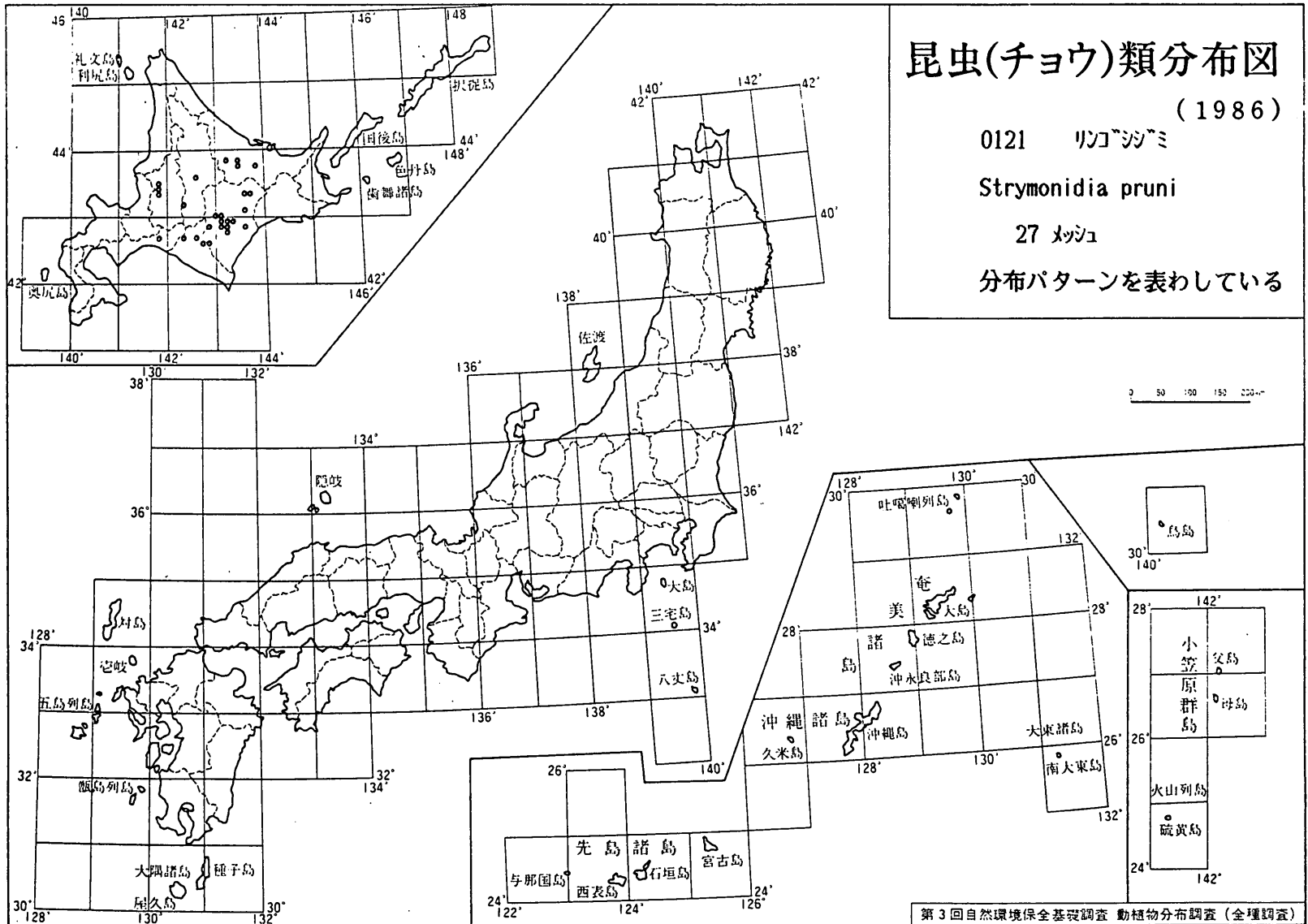
(1986)

0121 リンゴシジミ

Strymonidia pruni

27 メッシュ

分布パターンを表わしている



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

昆虫(チョウ)類分布図

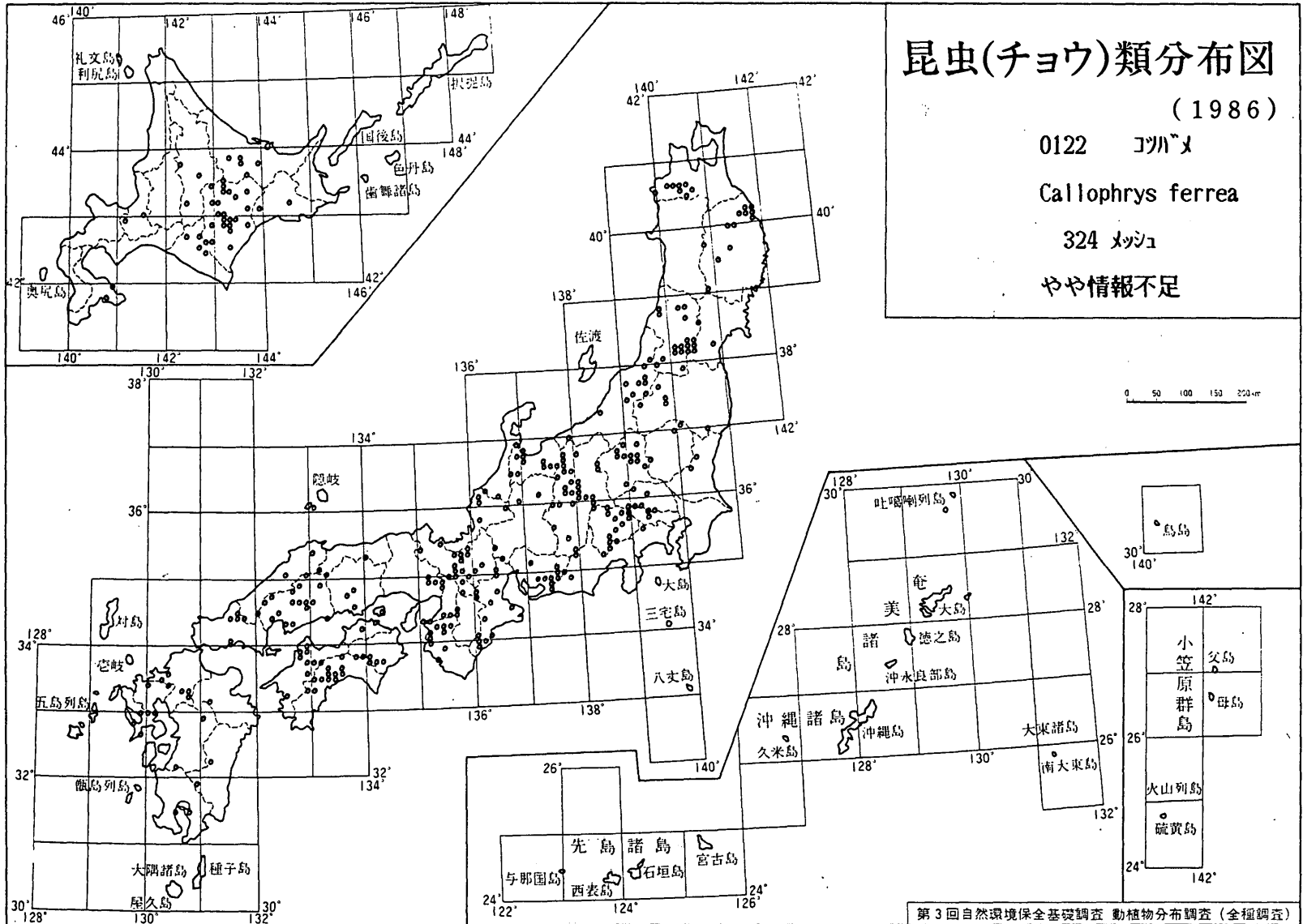
(1986)

0122 コナメ

Callophrys ferrea

324 メジロ

やや情報不足



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

昆虫(チョウ)類分布図

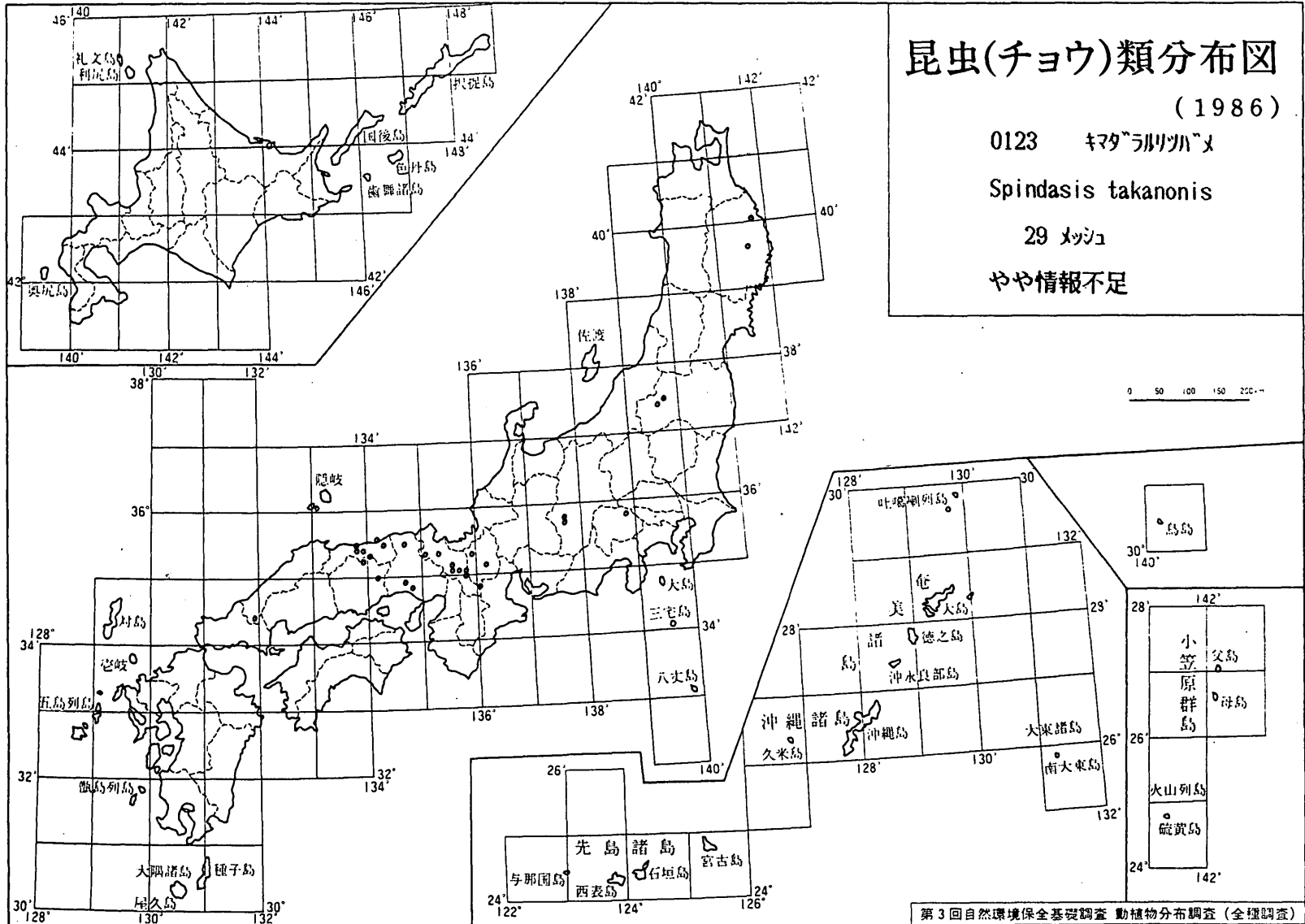
(1986)

0123 キタアラリツカメ

Spindasis takanonis

29 メッシュ

やや情報不足



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

昆虫(チョウ)類分布図

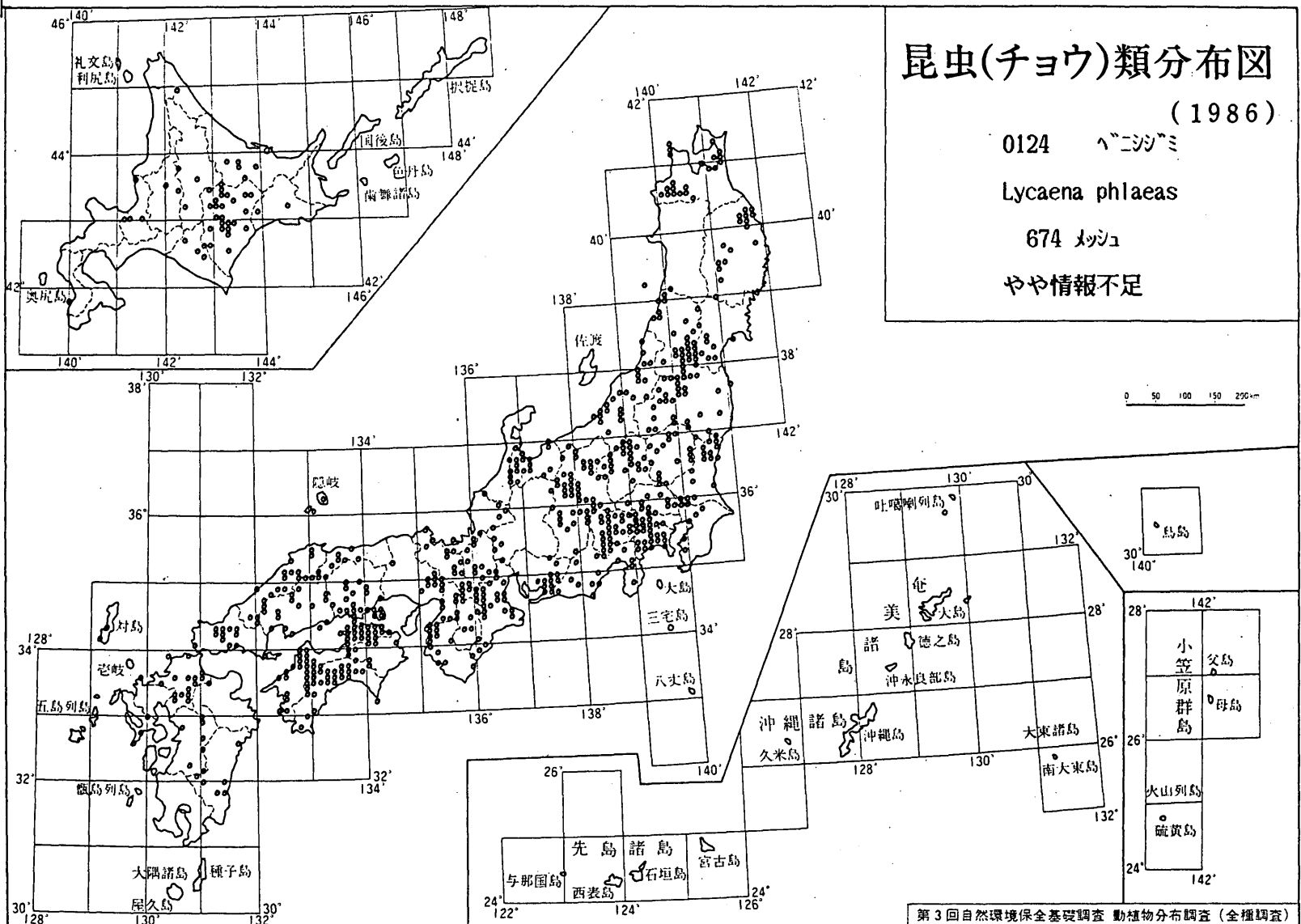
(1986)

0124 ヘニシヅミ

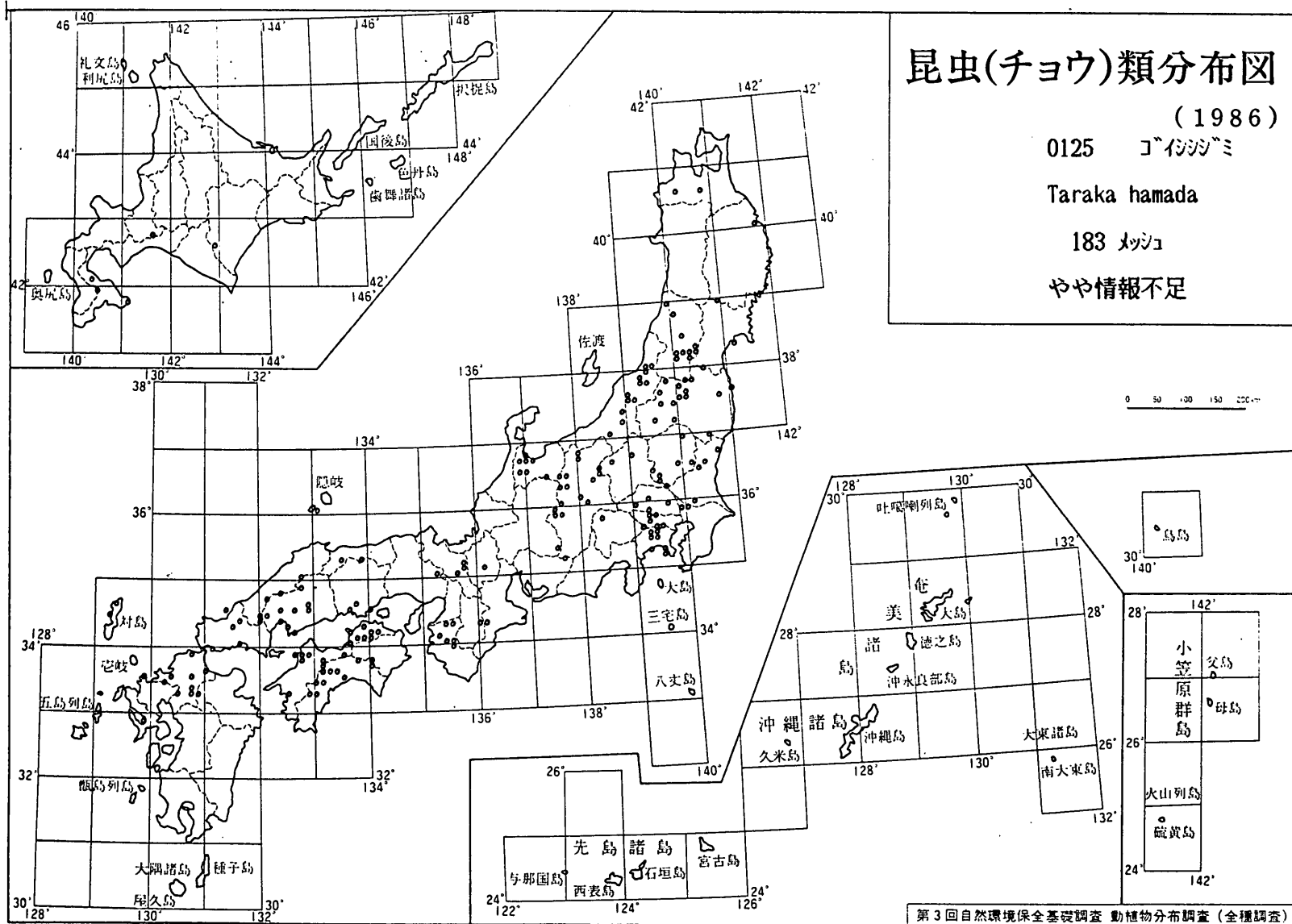
Lycaena phlaeas

674 メンシ

やや情報不足



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査(全種調査)



昆虫(チョウ)類分布図

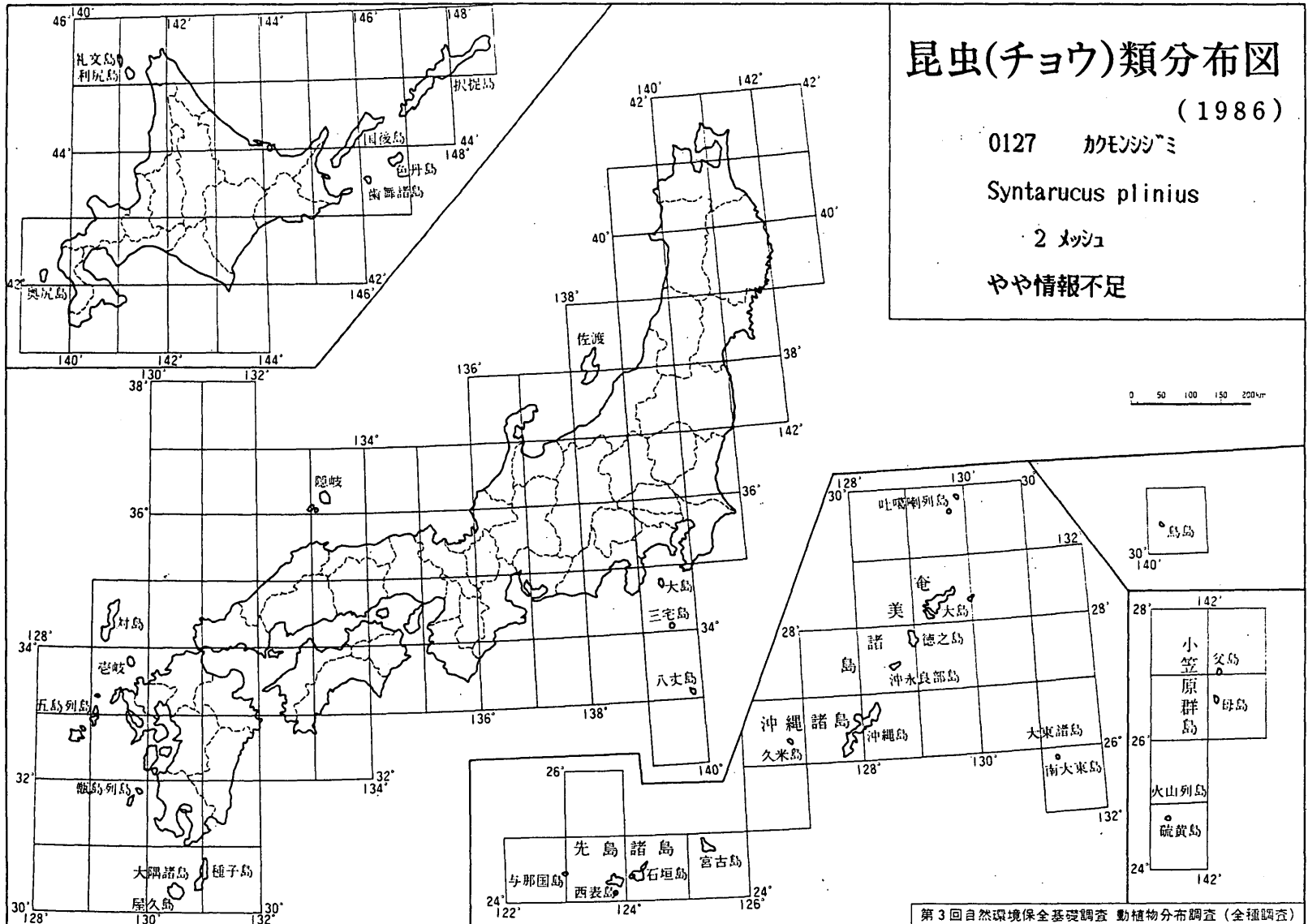
(1986)

0127 カモンジミ

Syntarucus plinius

2 メッシュ

やや情報不足



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

昆虫(チョウ)類分布図

(1986)

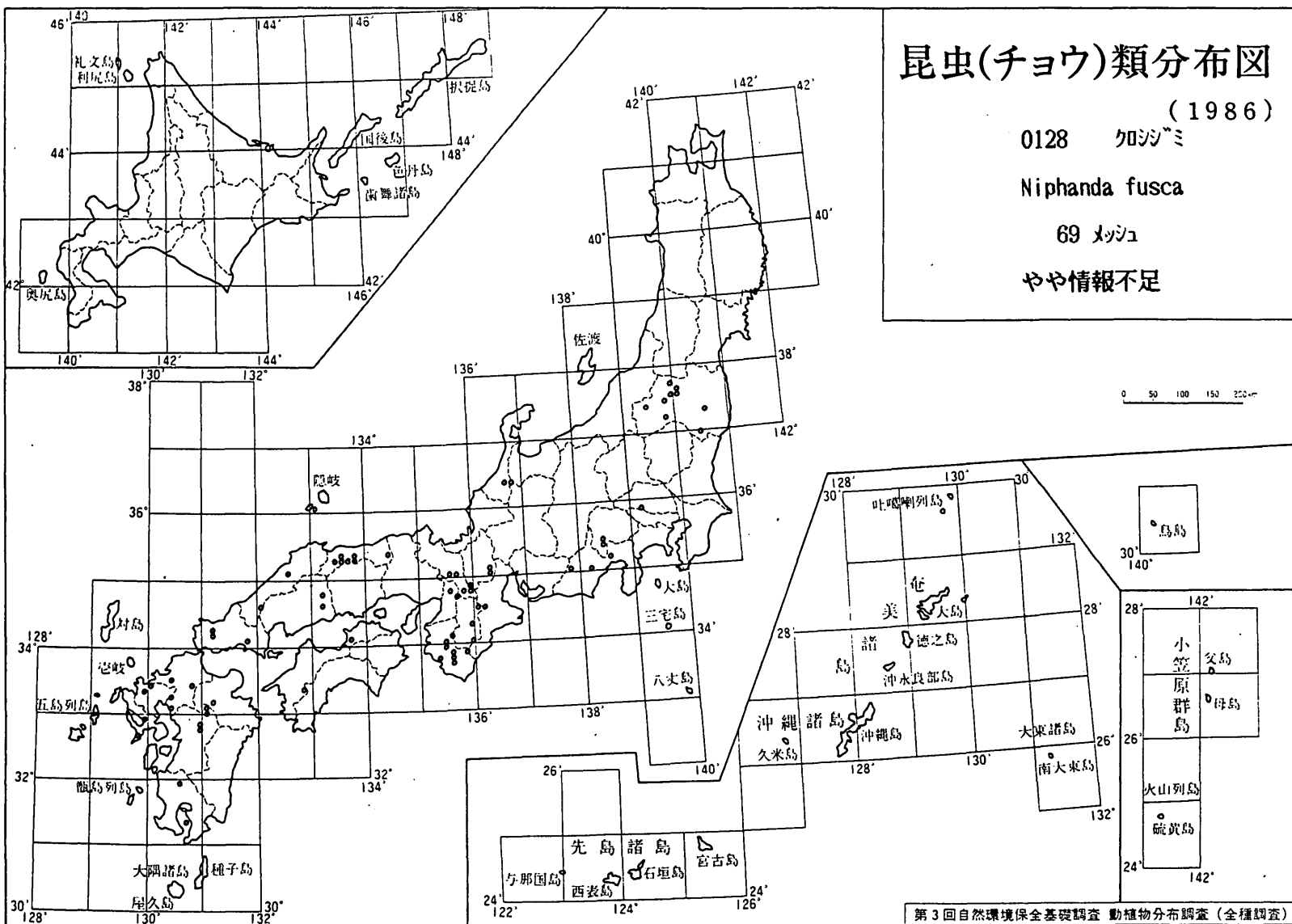
0128 カシミア

Niphandia fusca

69 メジロ

やや情報不足

0 50 100 150 200 km



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

昆虫(チョウ)類分布図

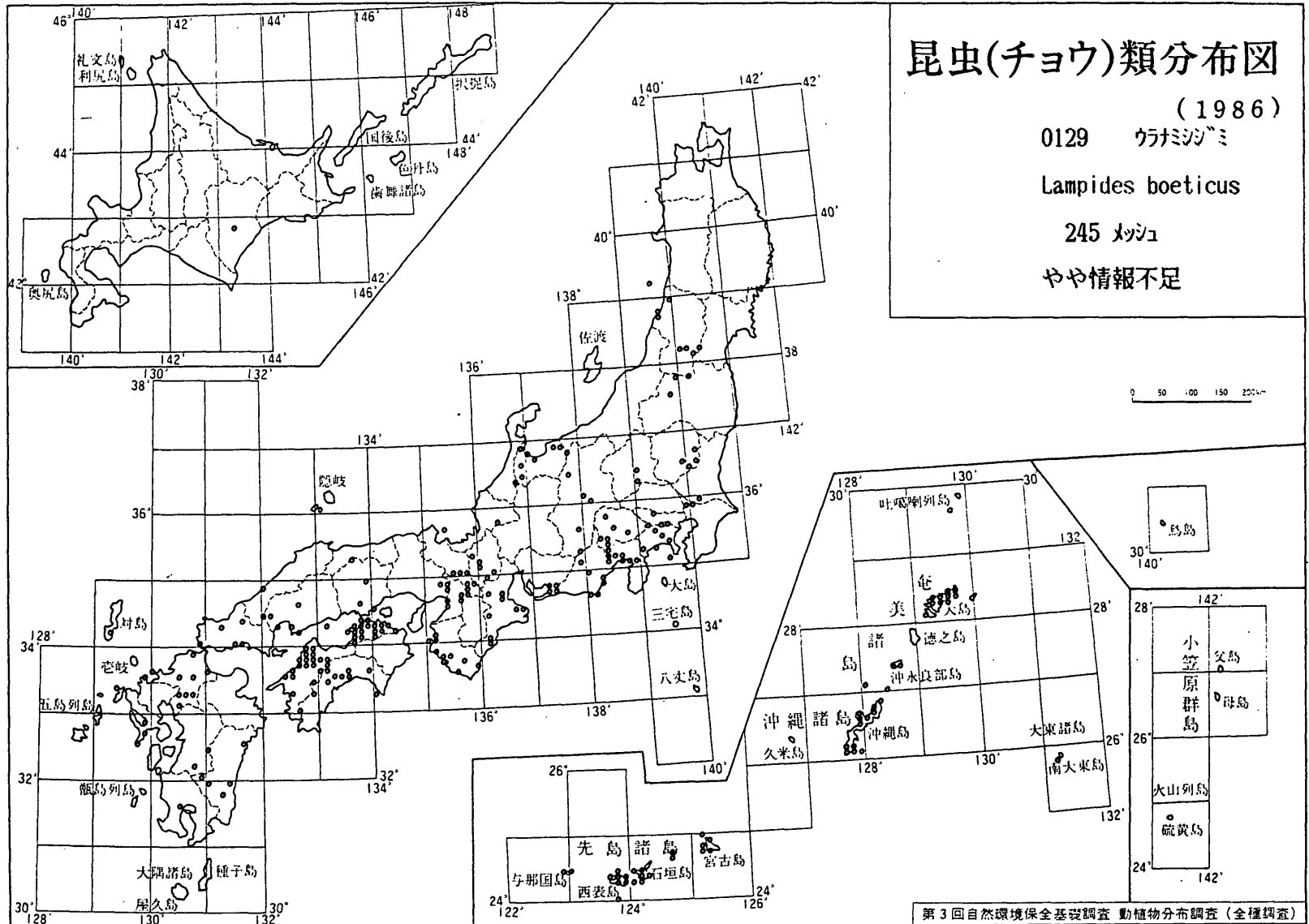
(1986)

0129 ウラミシジミ

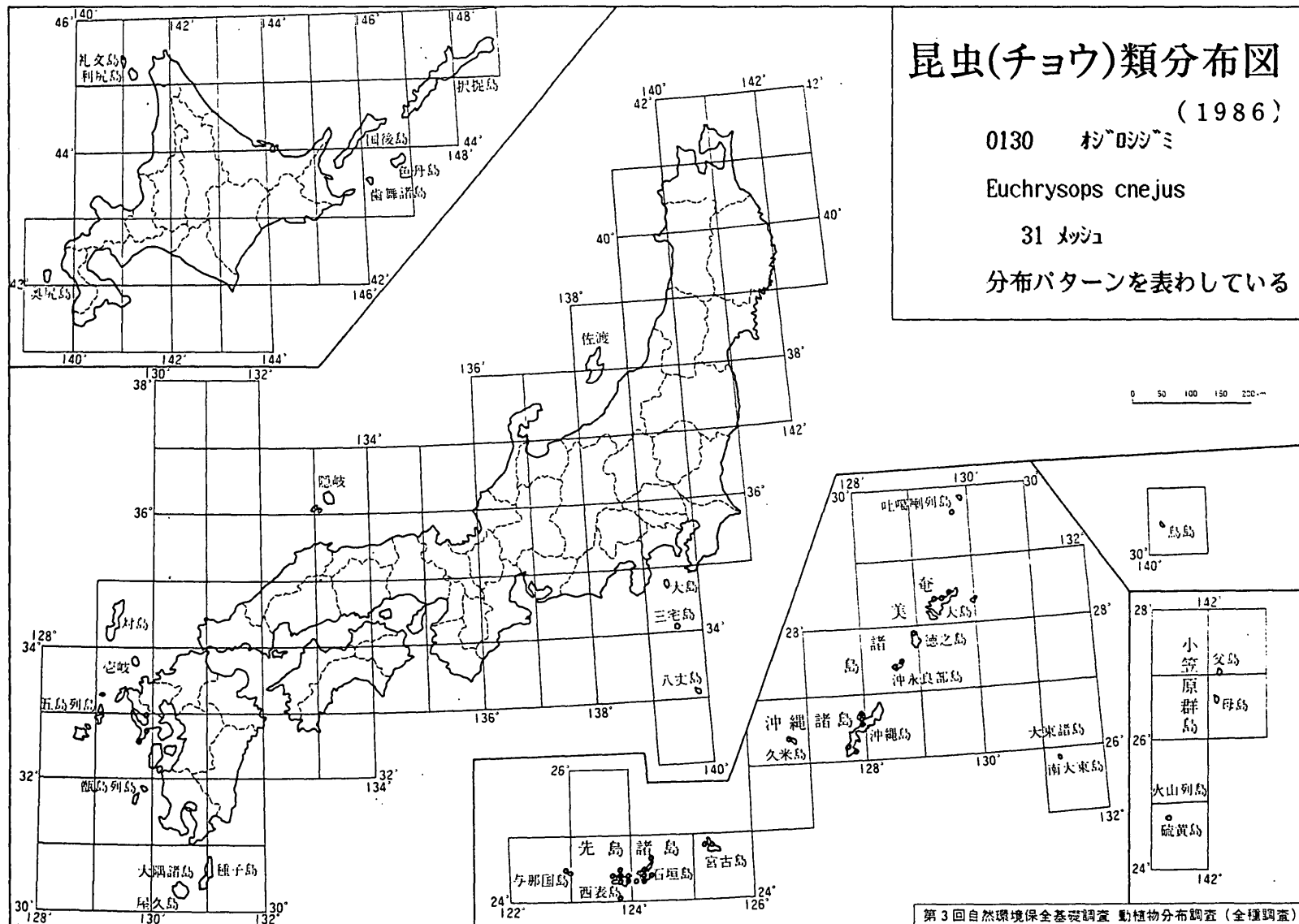
Lampides boeticus

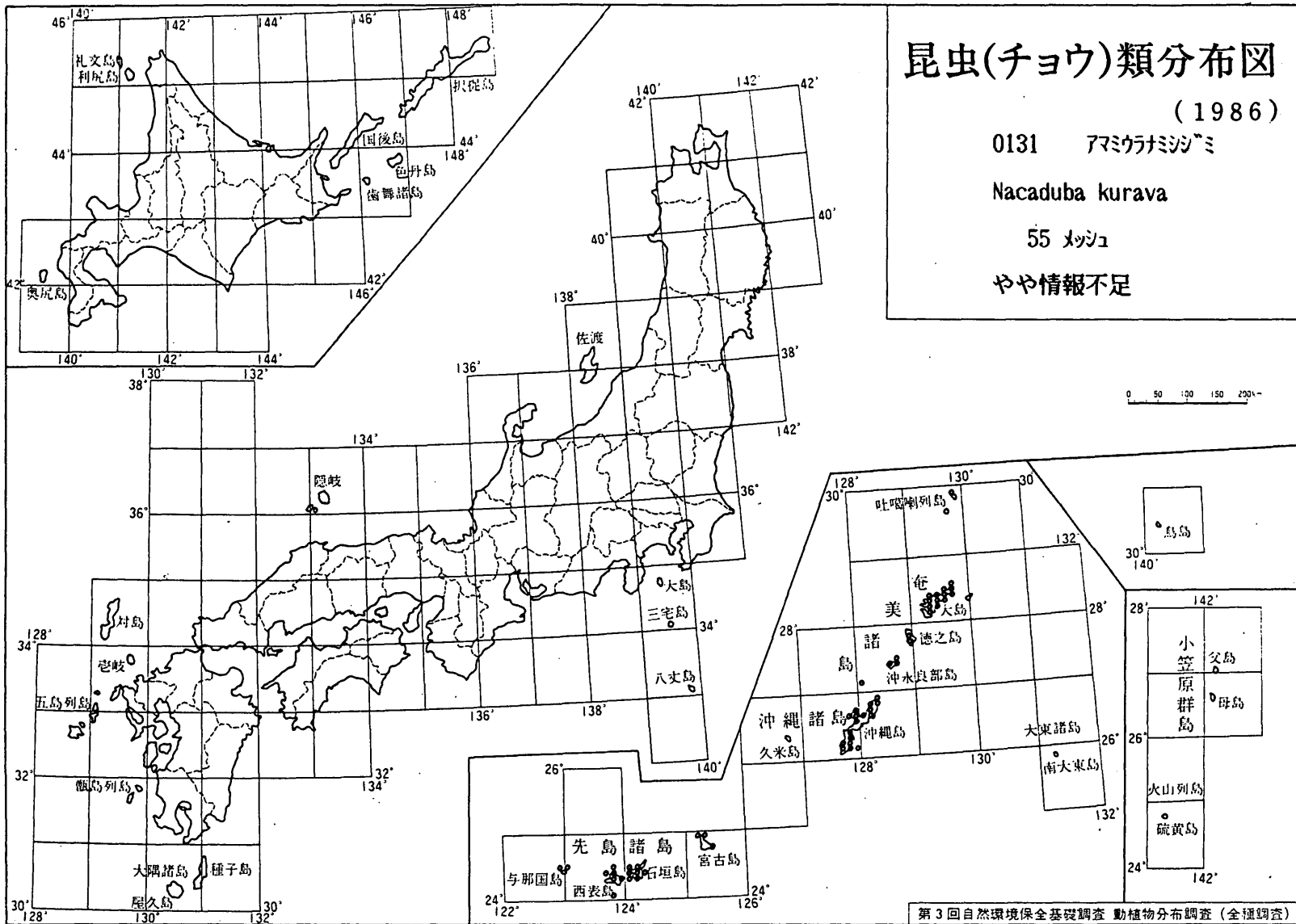
245 メッシュ

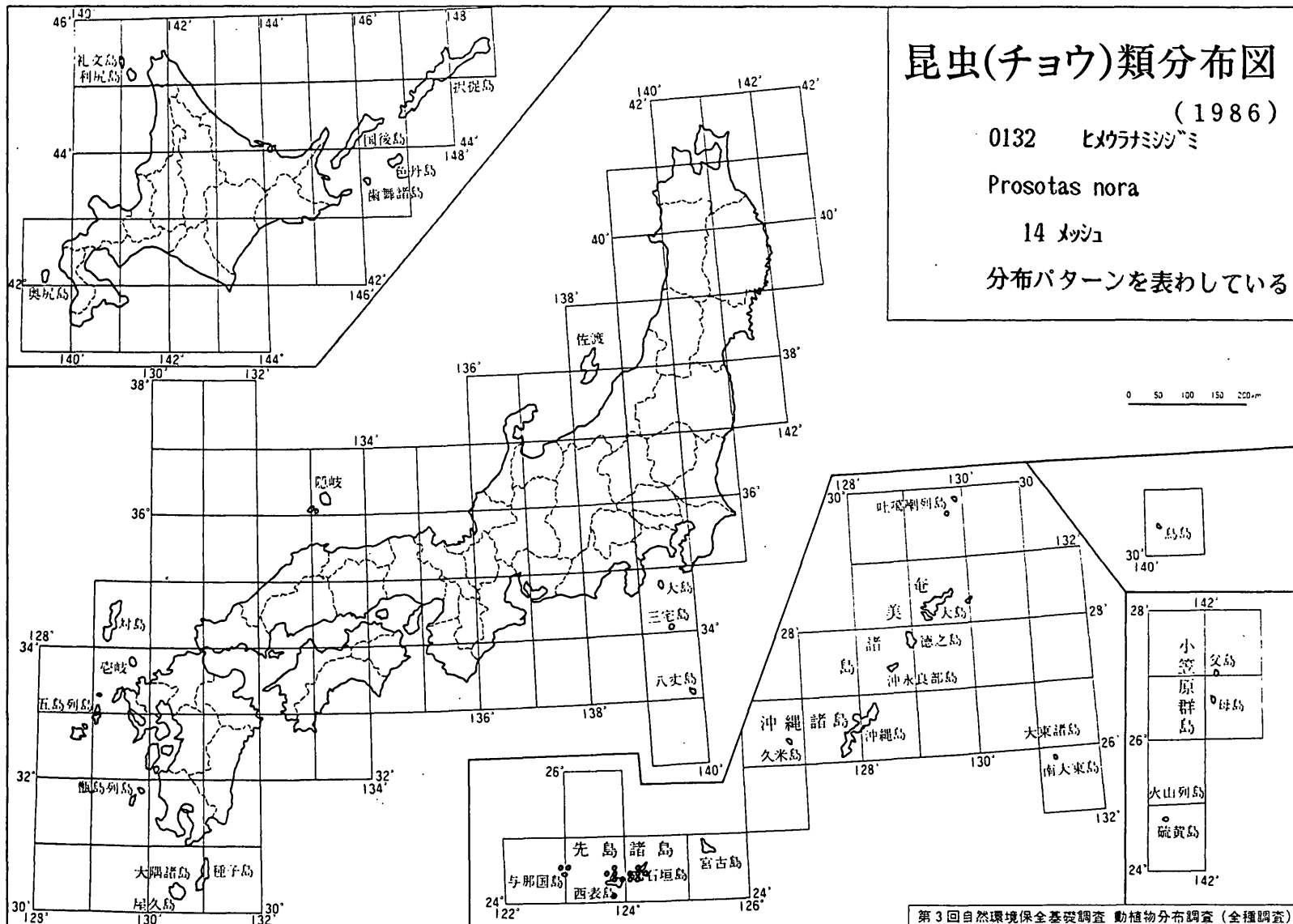
やや情報不足

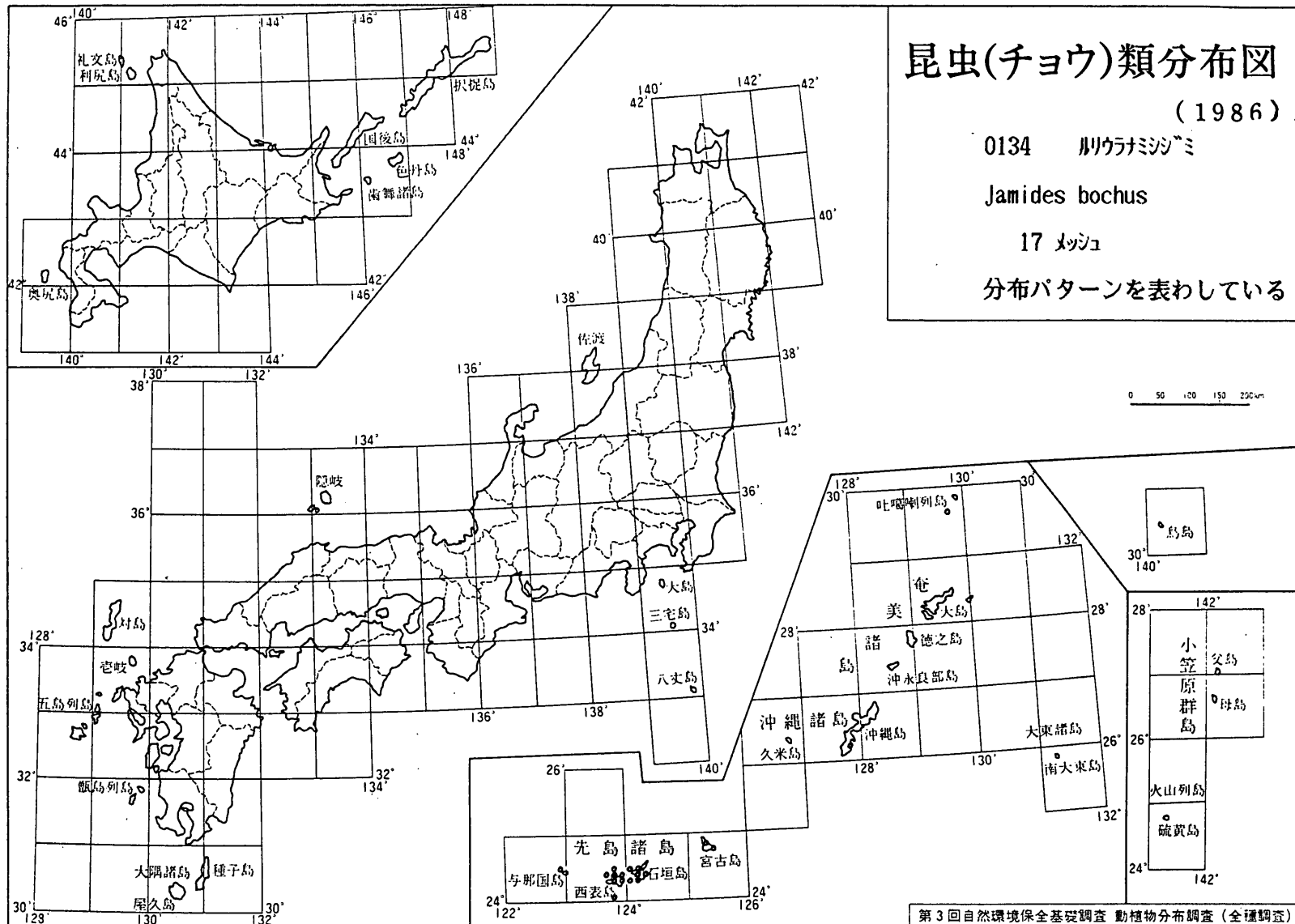


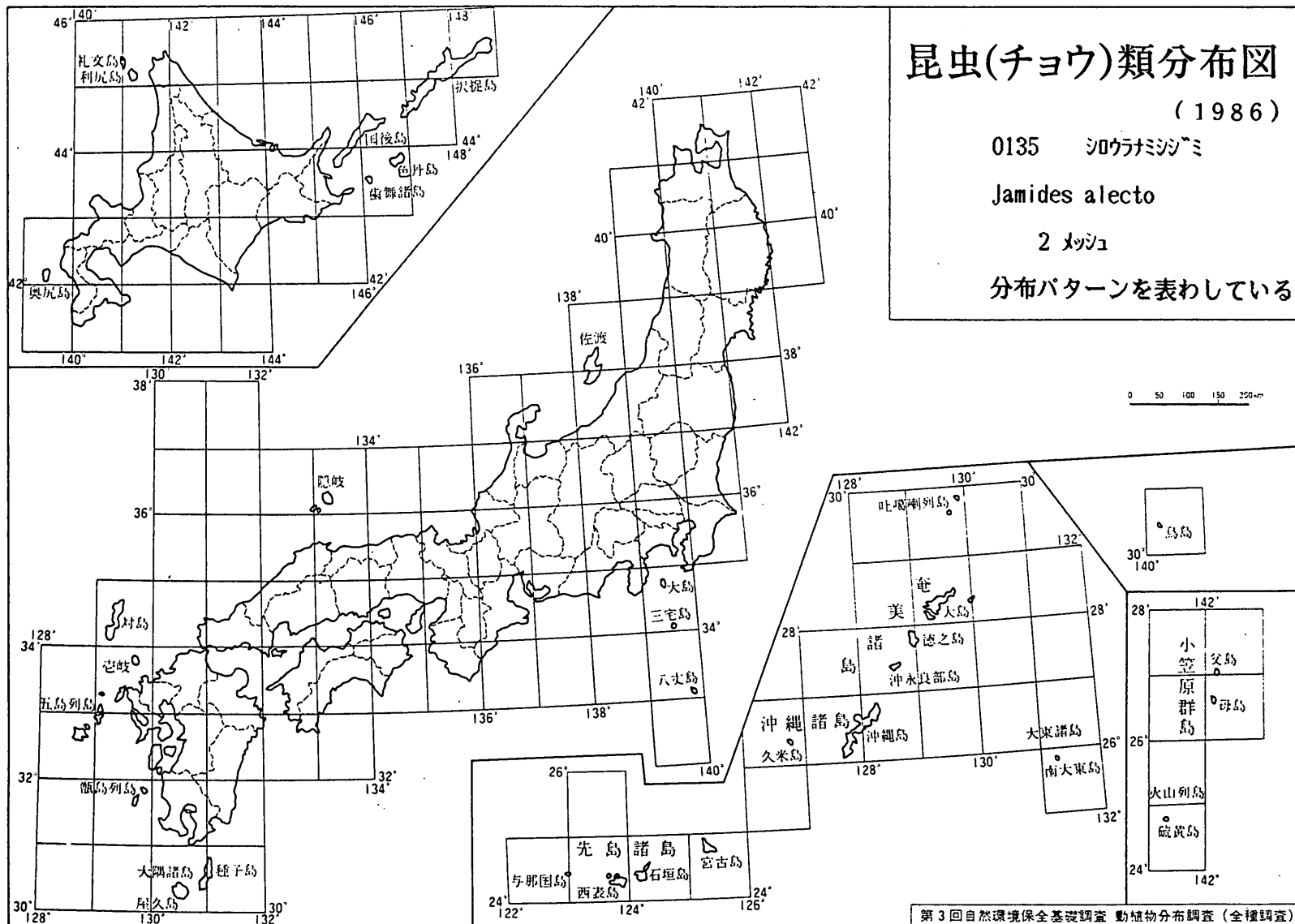
第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)











昆虫(チョウ)類分布図

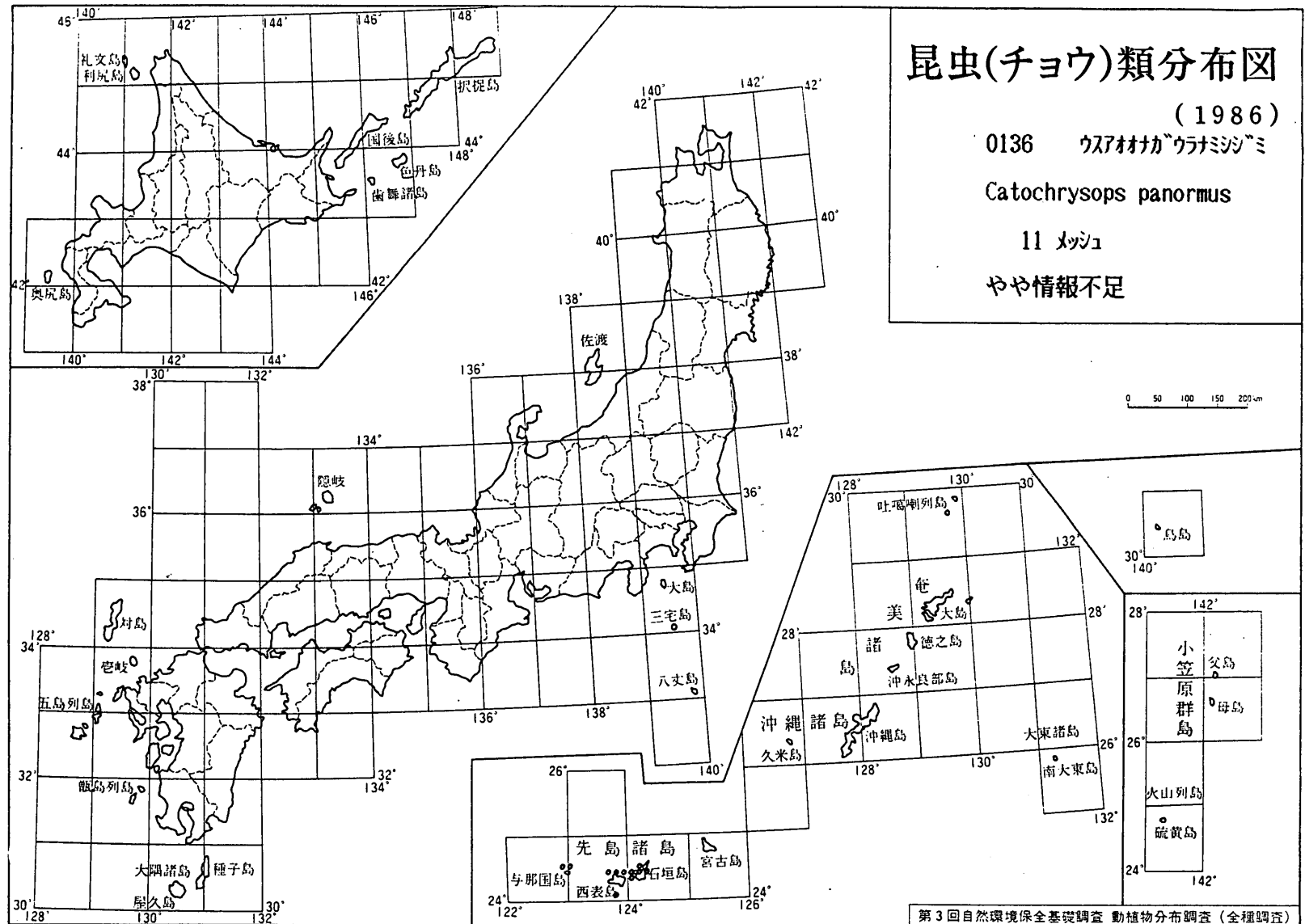
(1986)

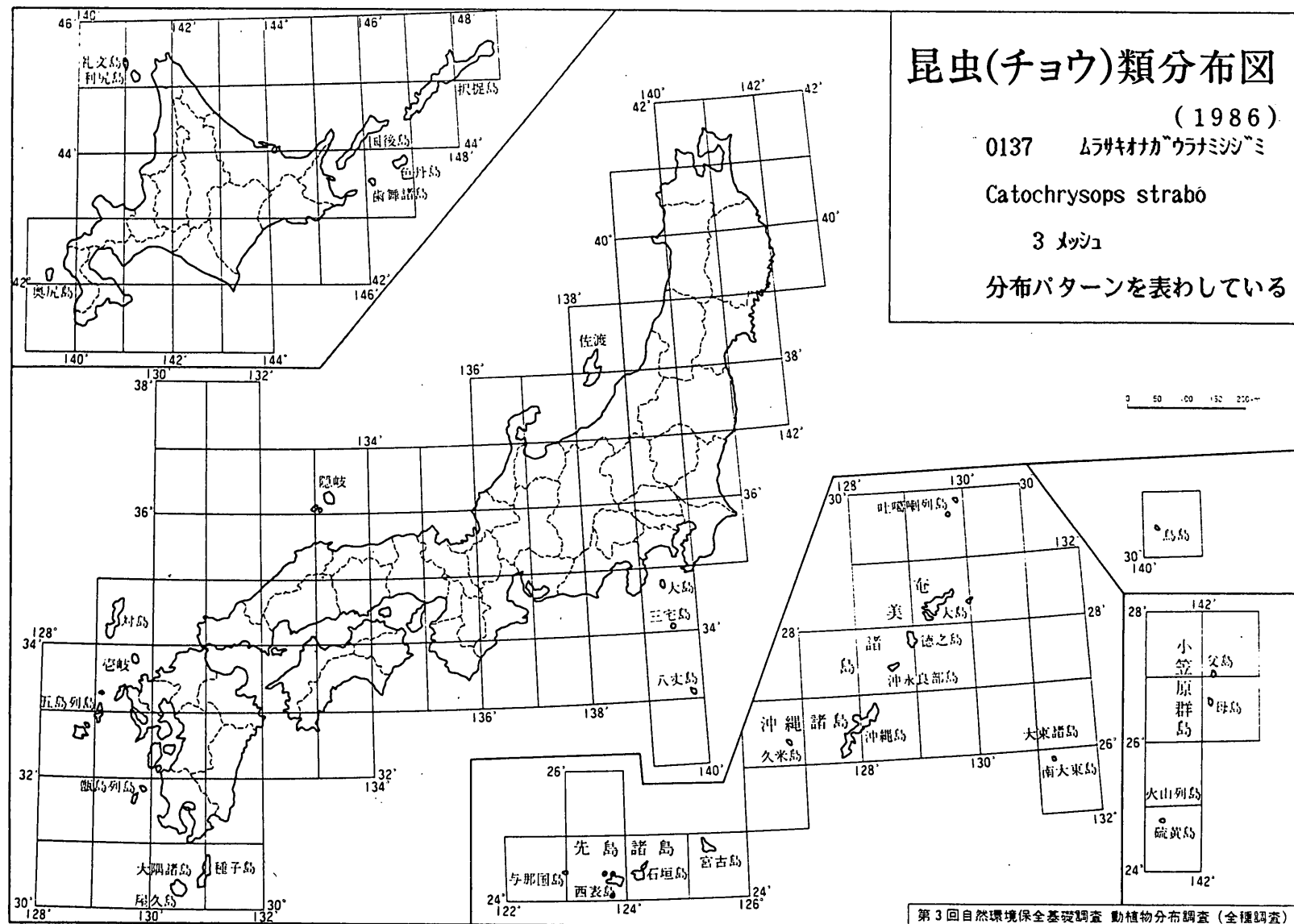
0136 ウスオオカウナミシミ

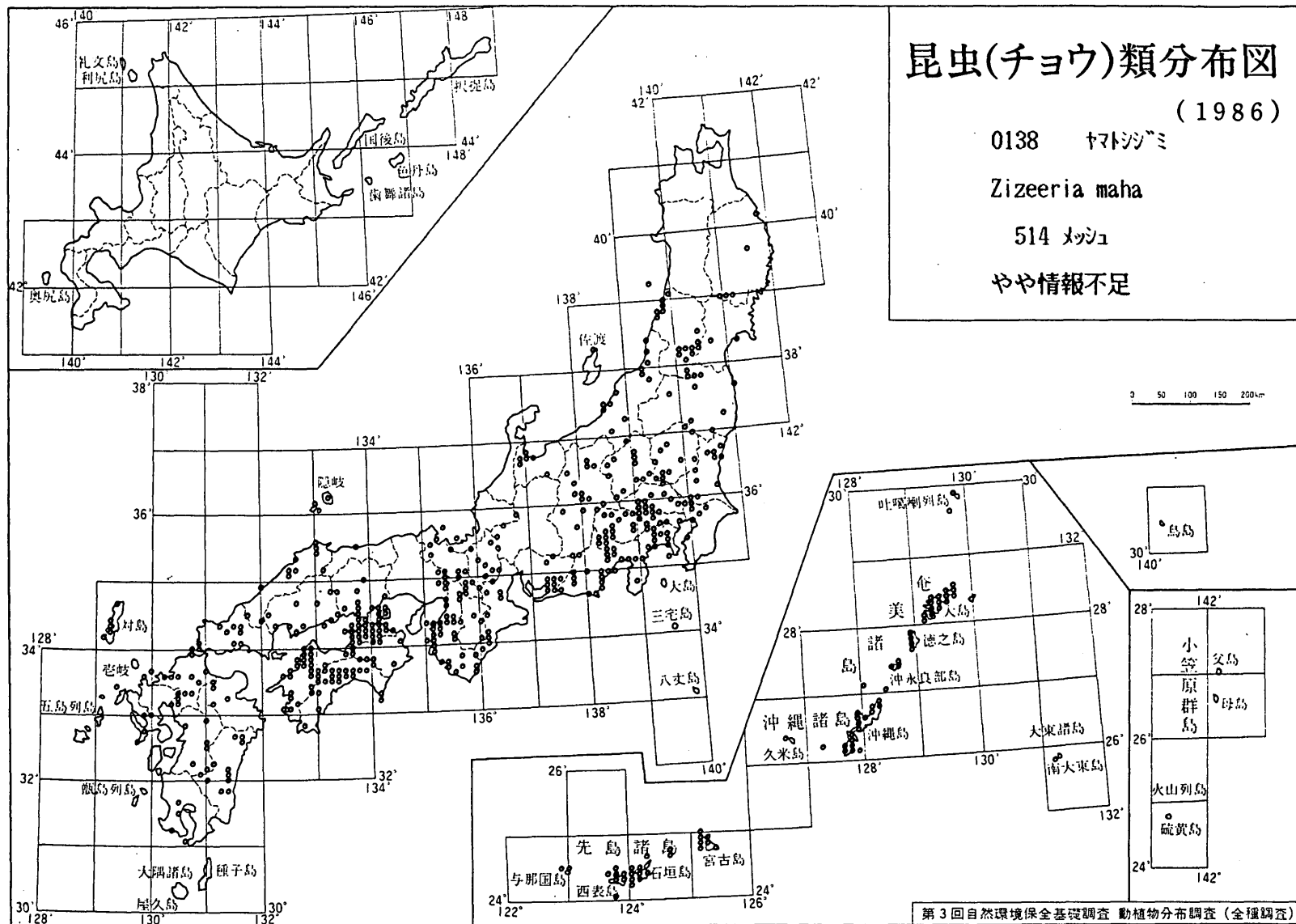
Catochrysops panormus

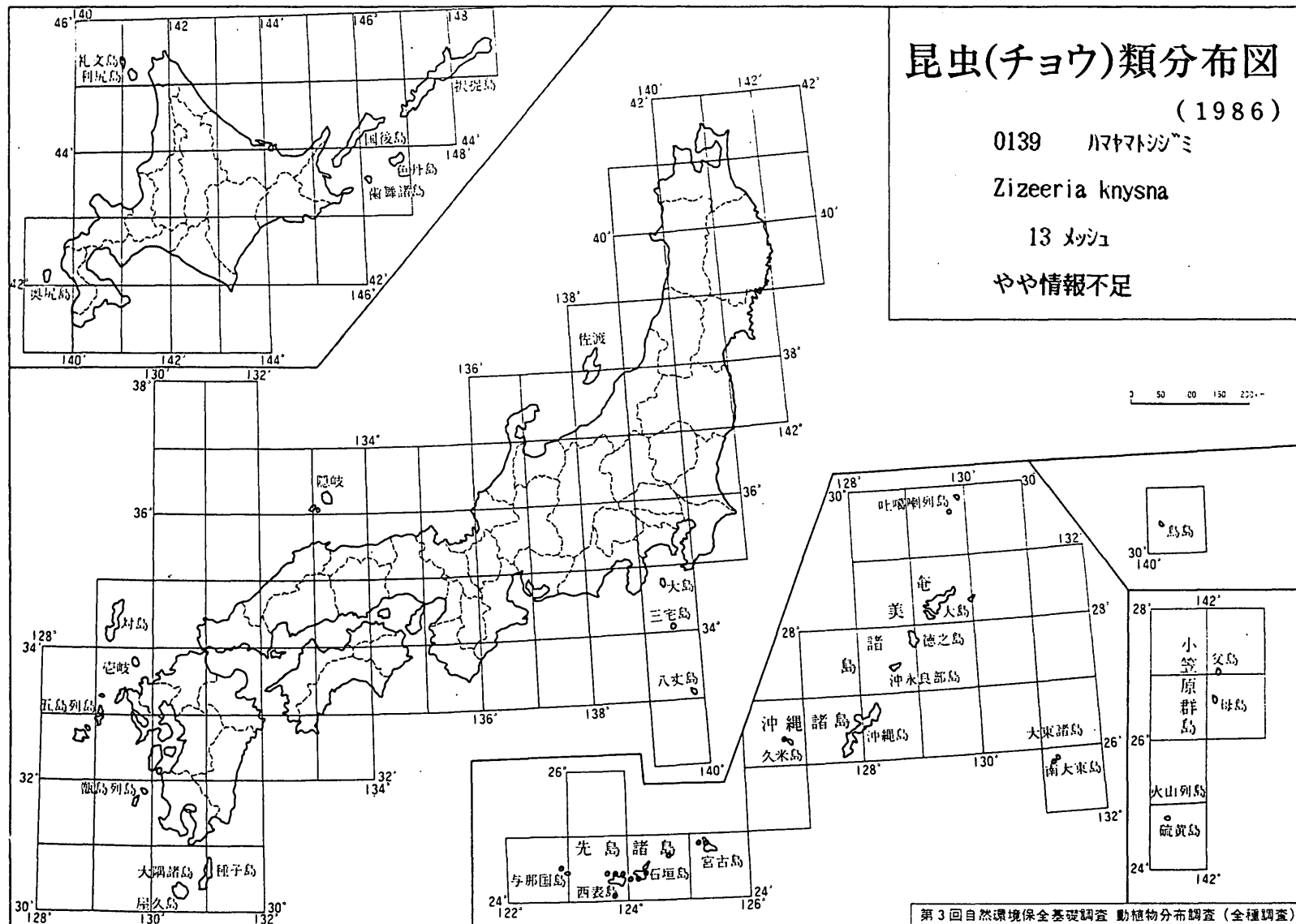
11 メッシュ

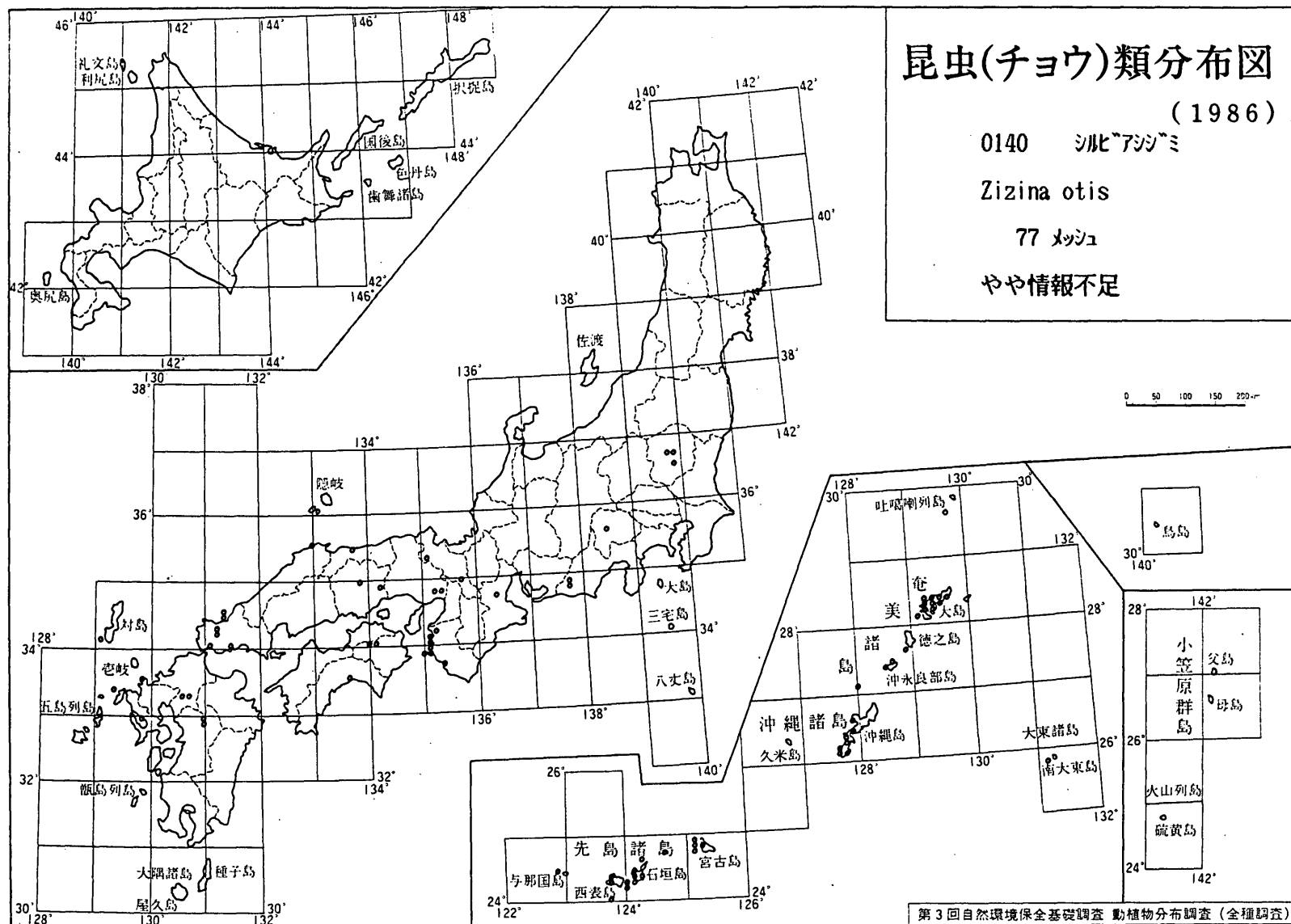
やや情報不足

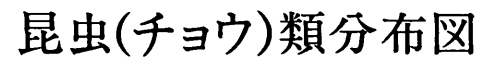










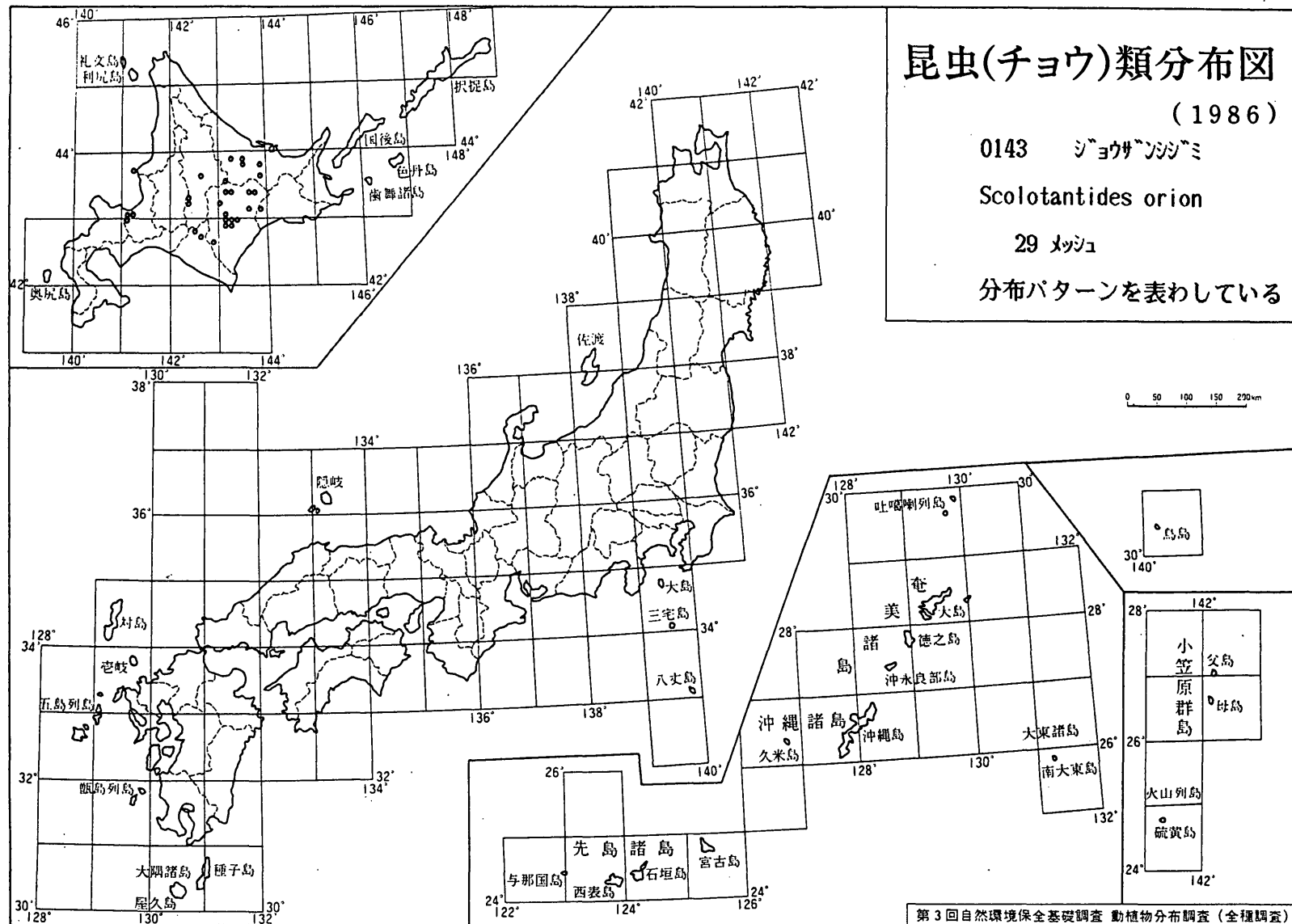


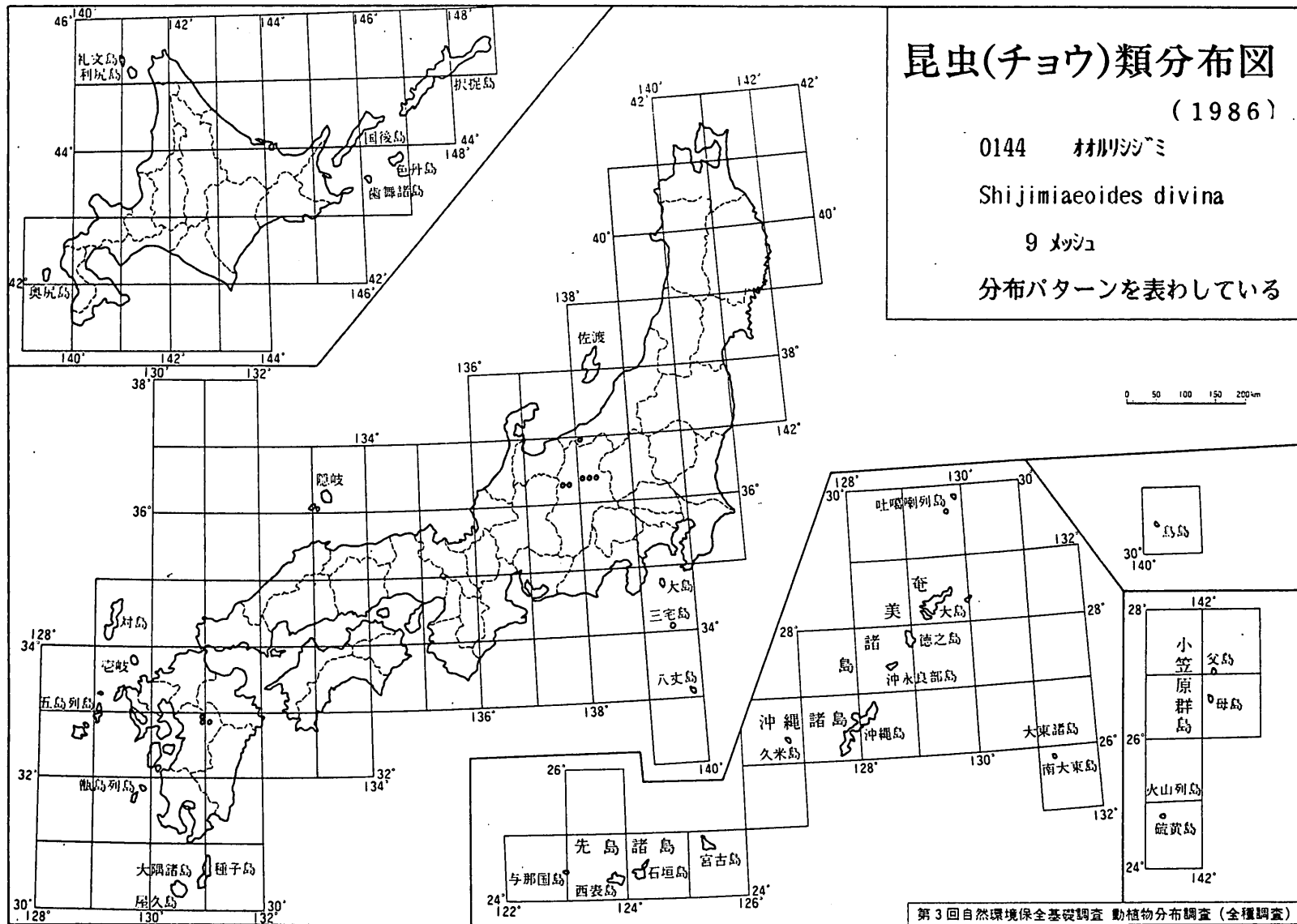
0142 ホリイコシジミ

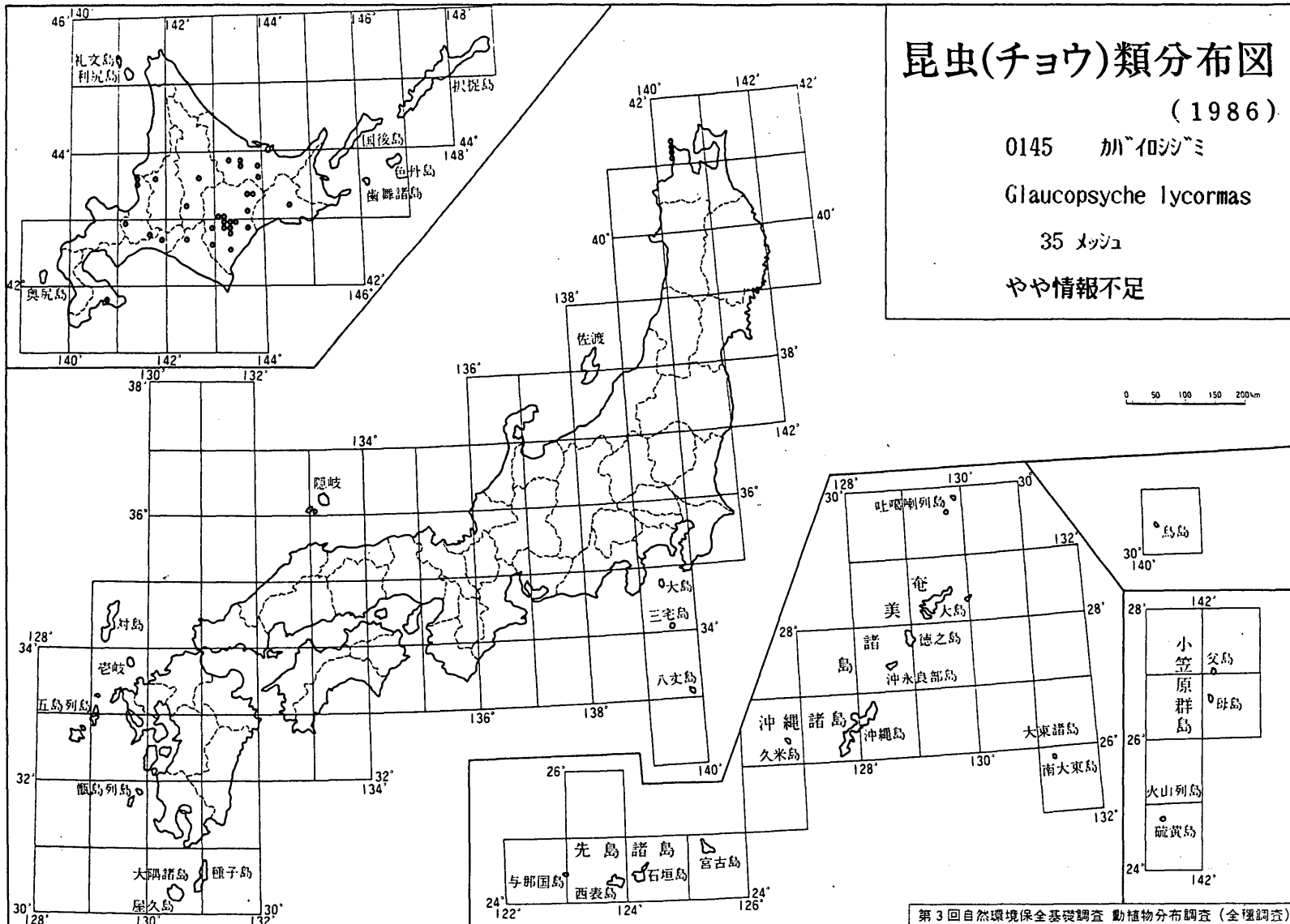
Zizula hylax

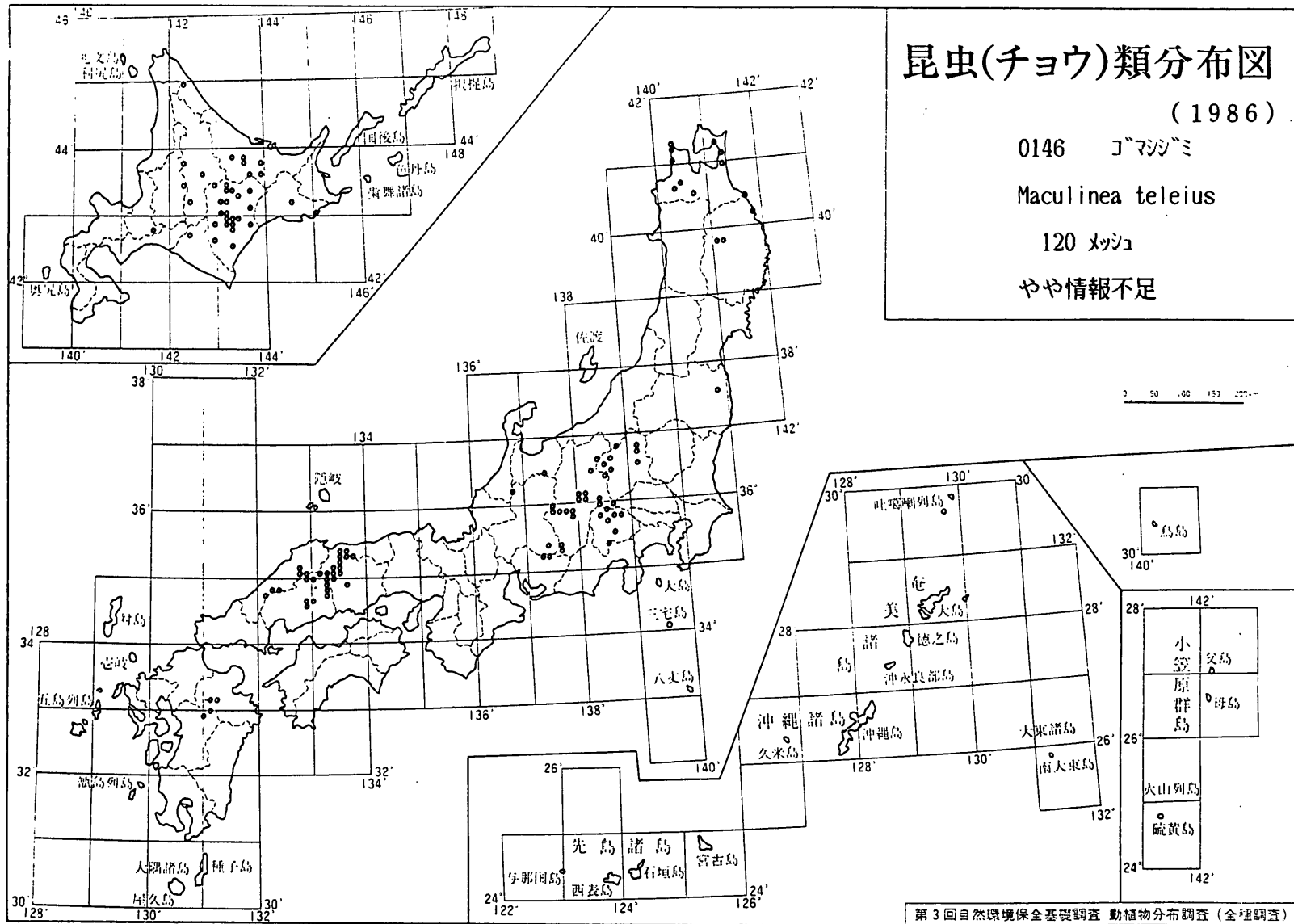
2 メッシュ

分布パターンを表わしている









昆虫(チョウ)類分布図

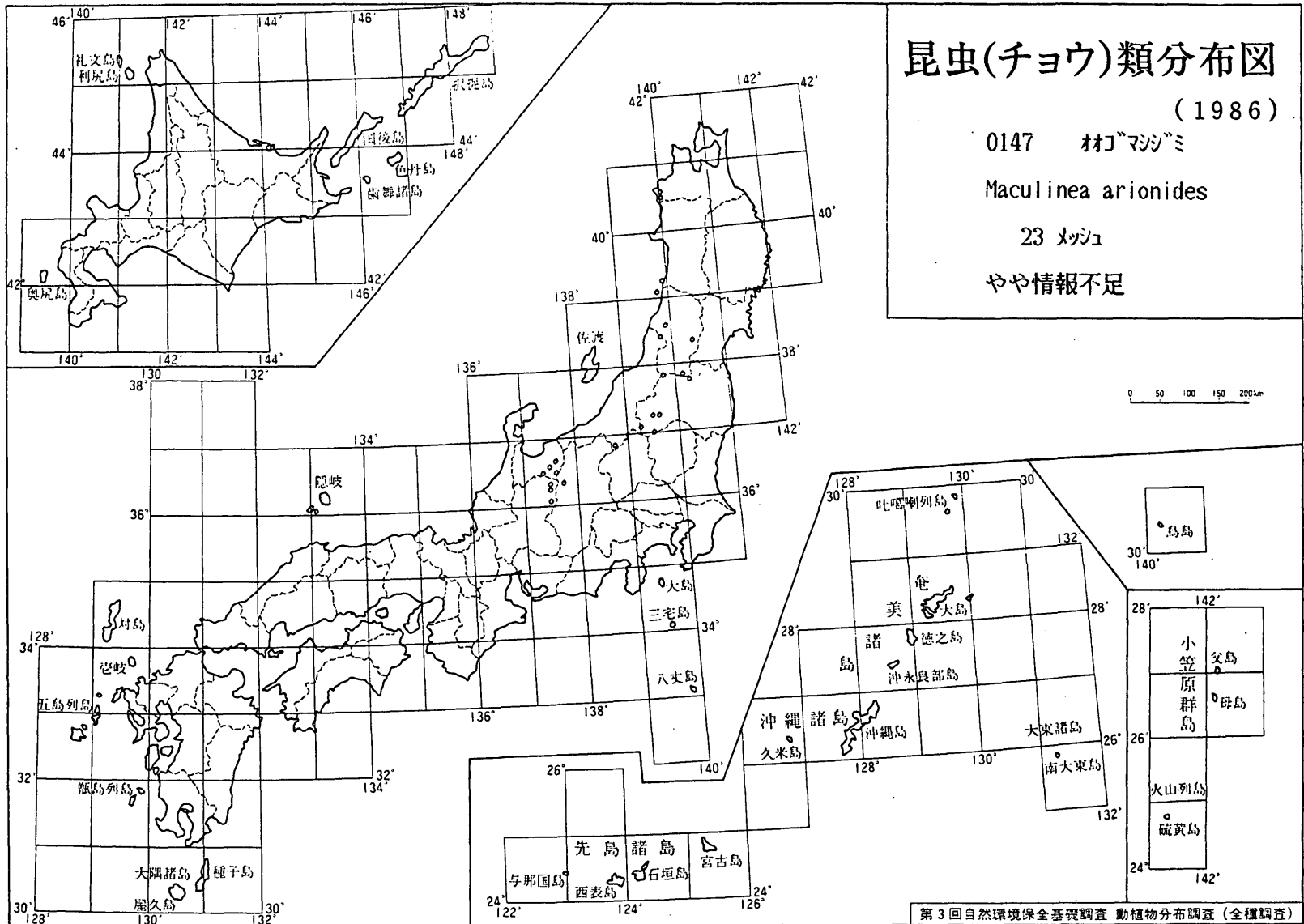
(1986)

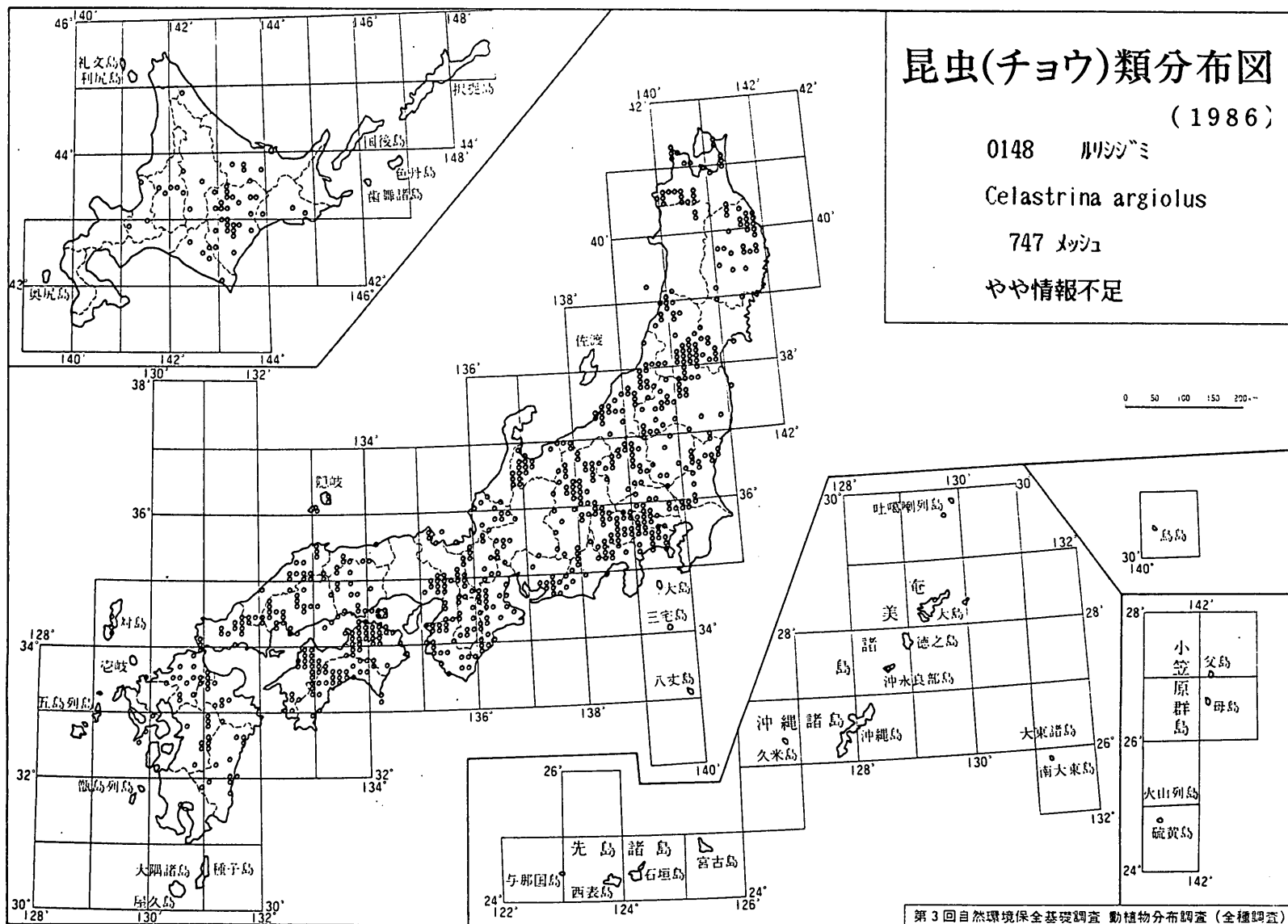
0147 オコノマシシミ

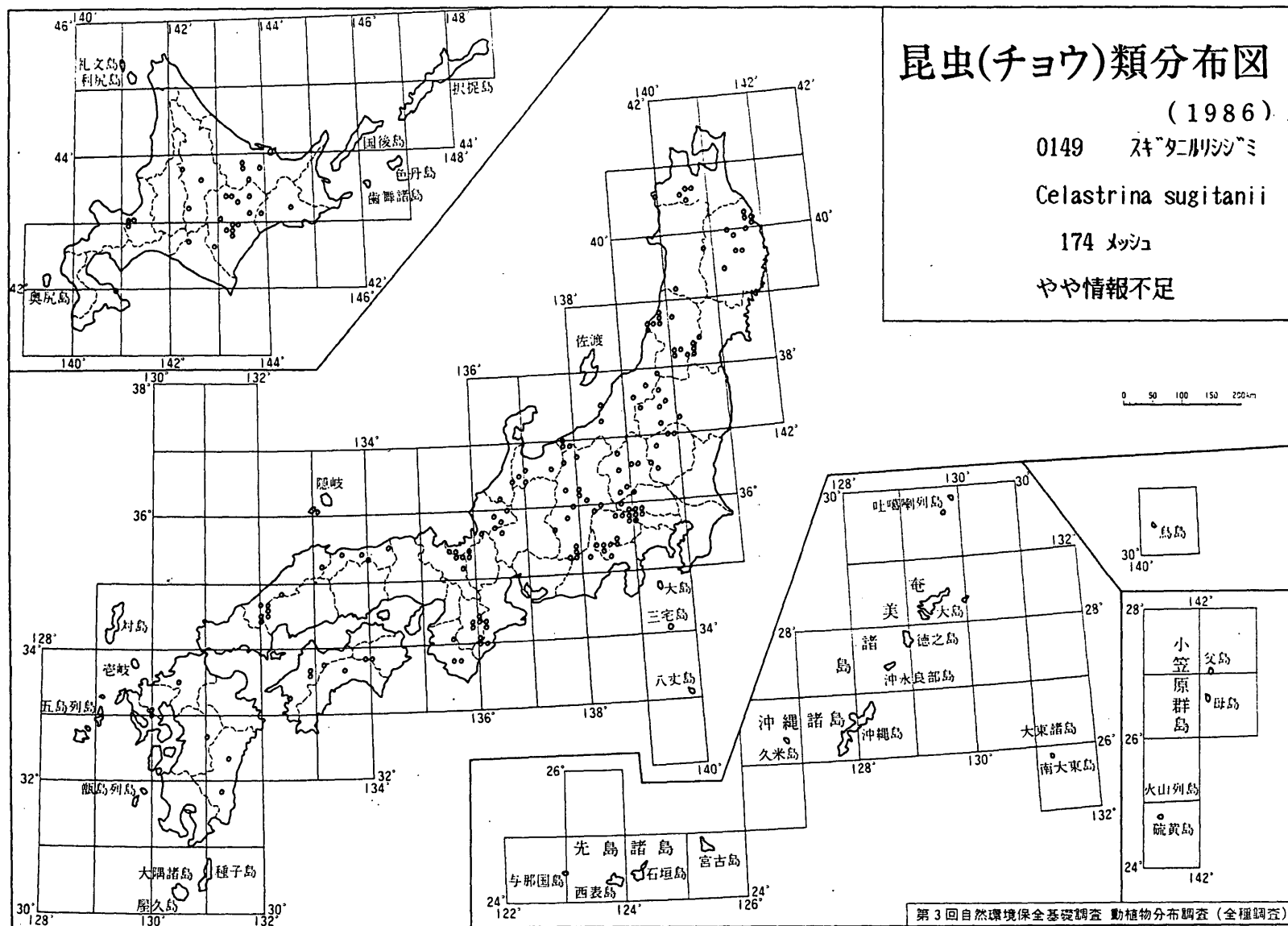
Maculinea arionides

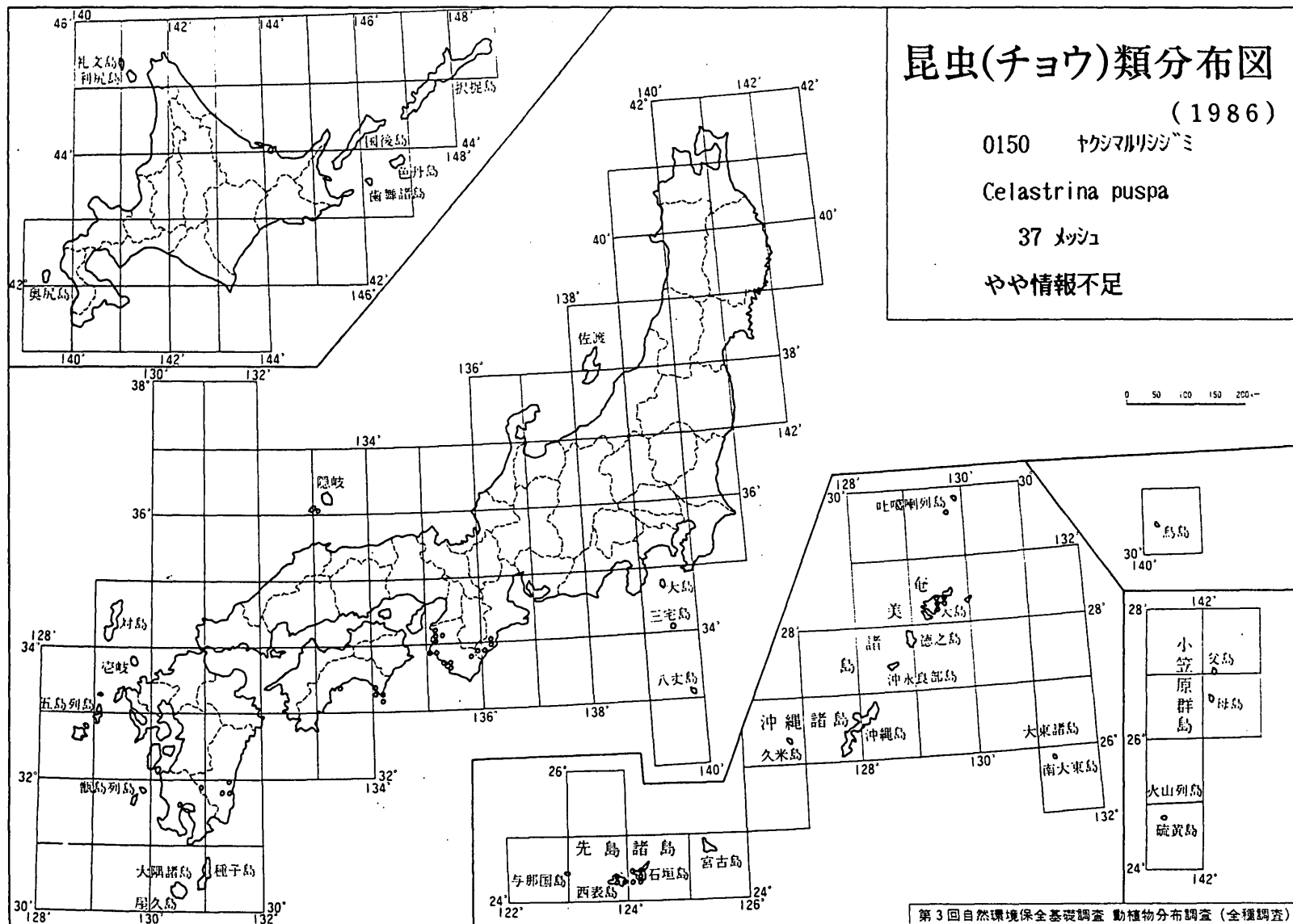
23 メッシュ

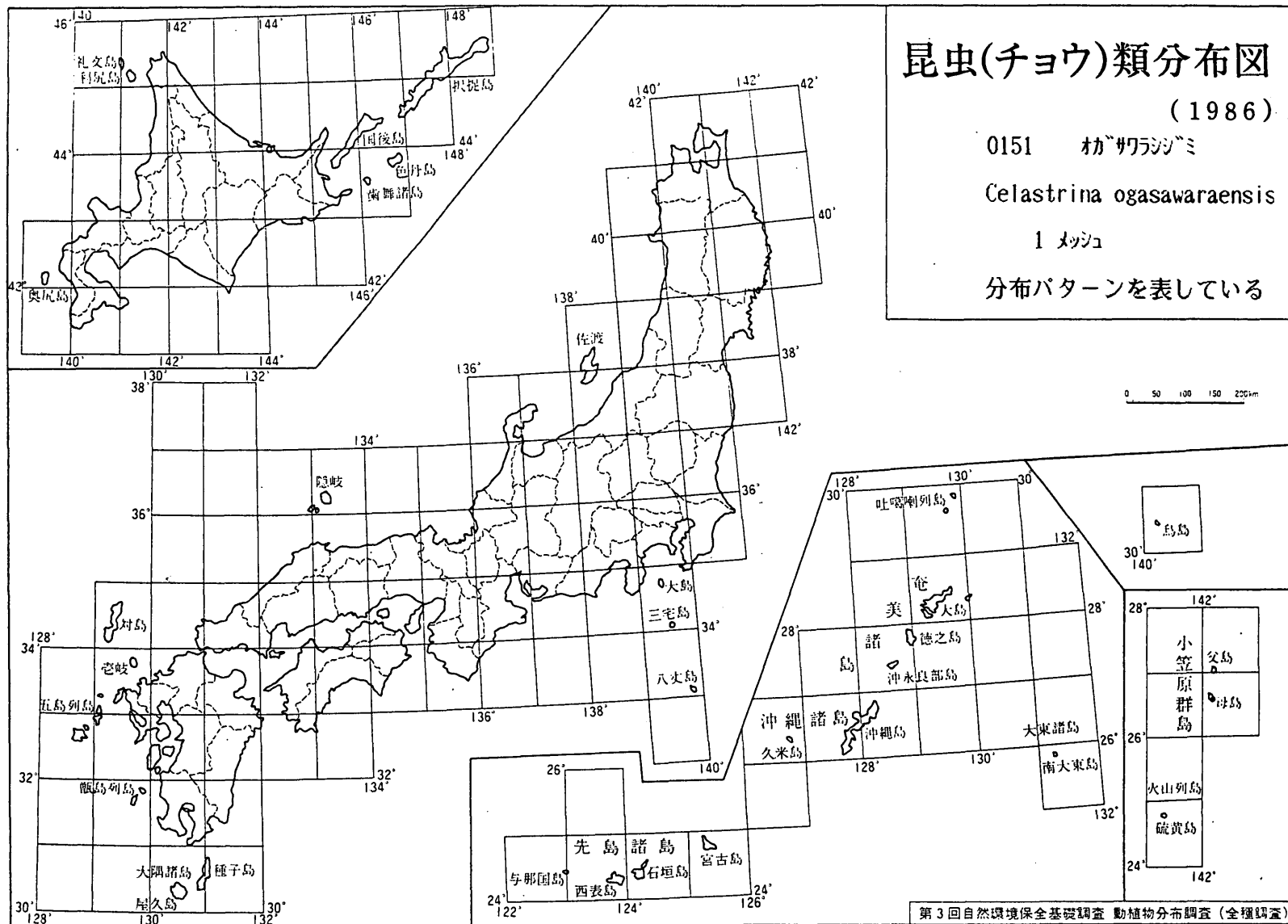
やや情報不足

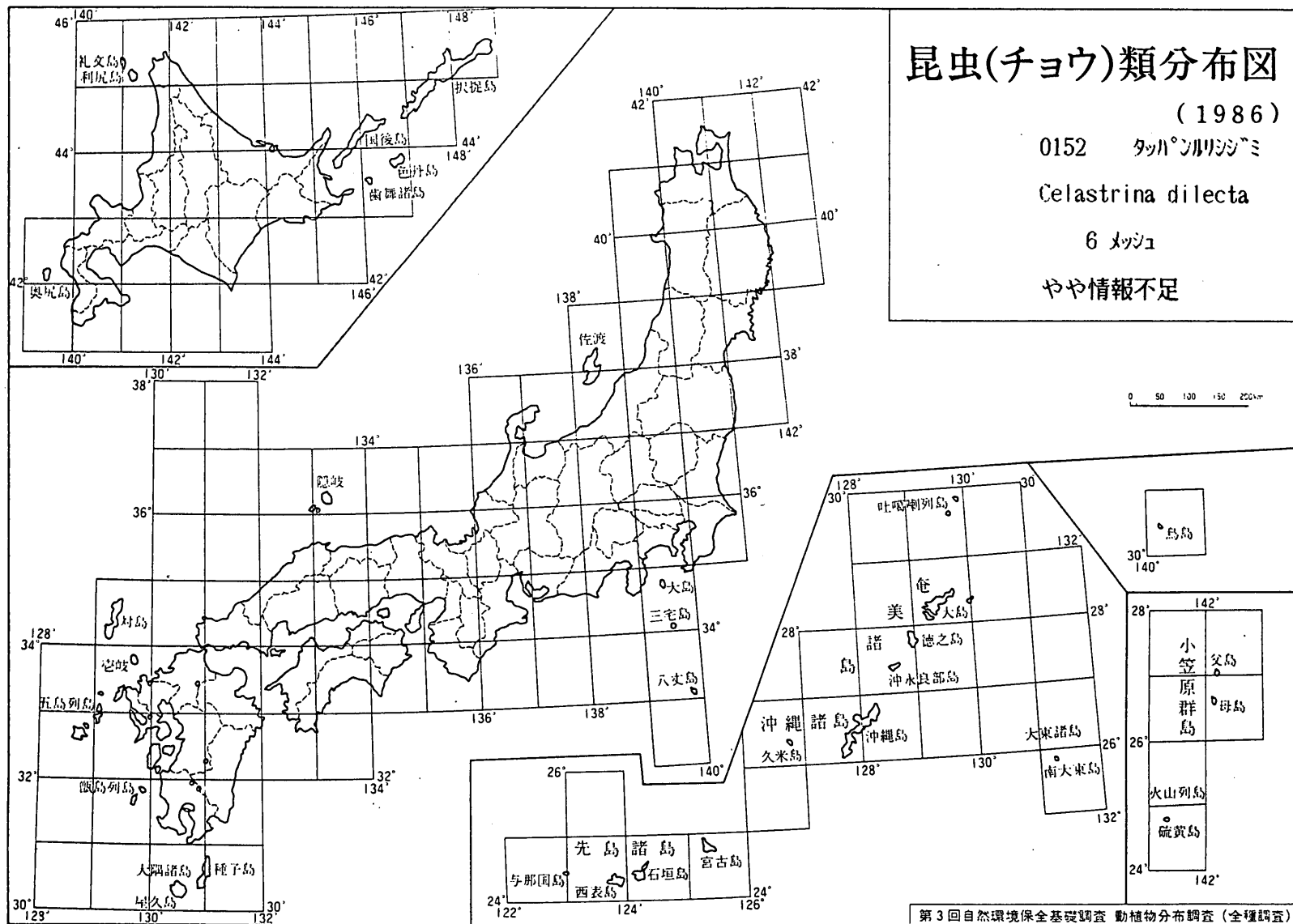












昆虫(チョウ)類分布図

(1986)

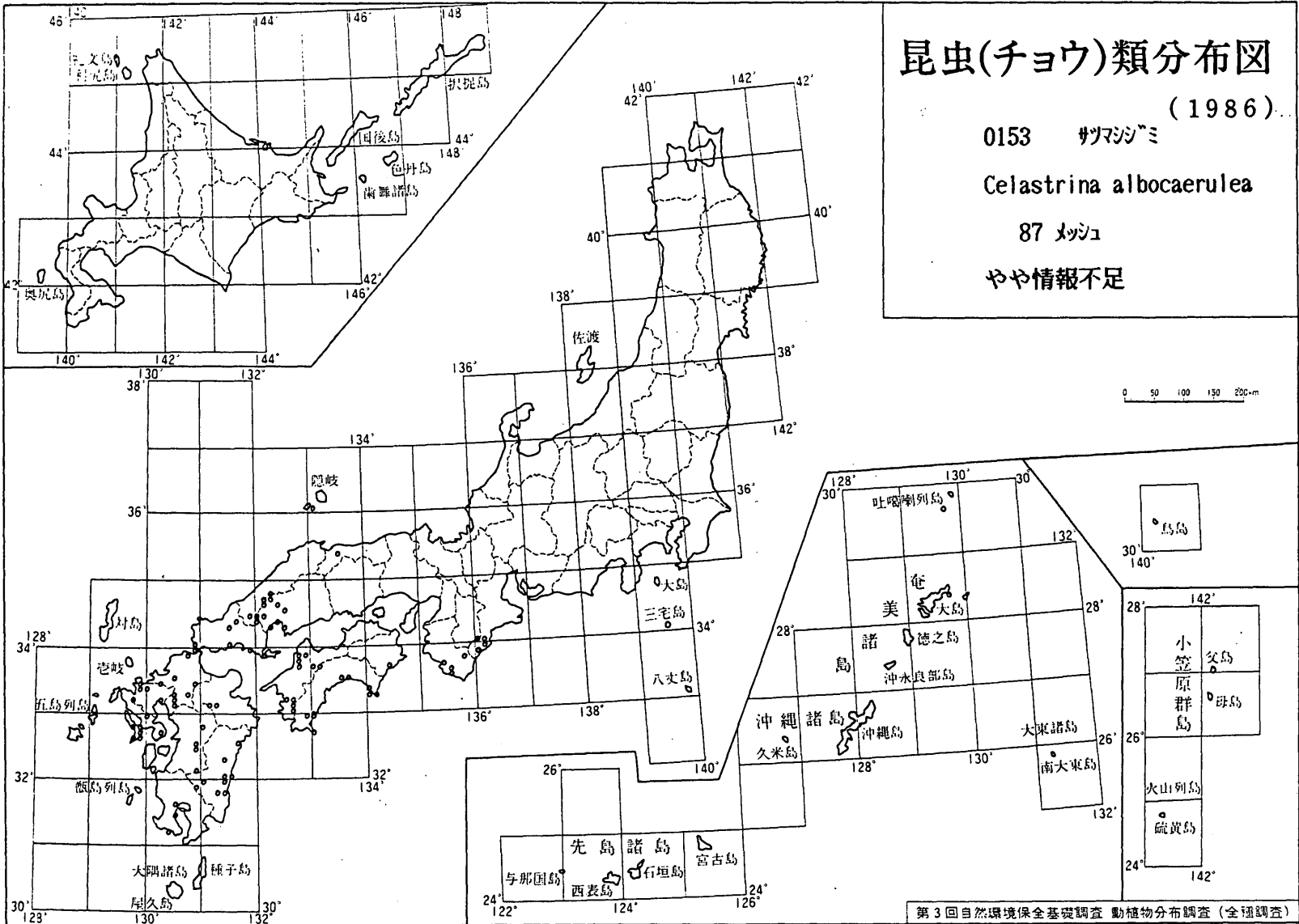
0153 サマシミ

Celastrina albocaerulea

87 メッシュ

やや情報不足

0 50 100 150 200m



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査(全種調査)

昆虫(チョウ)類分布図

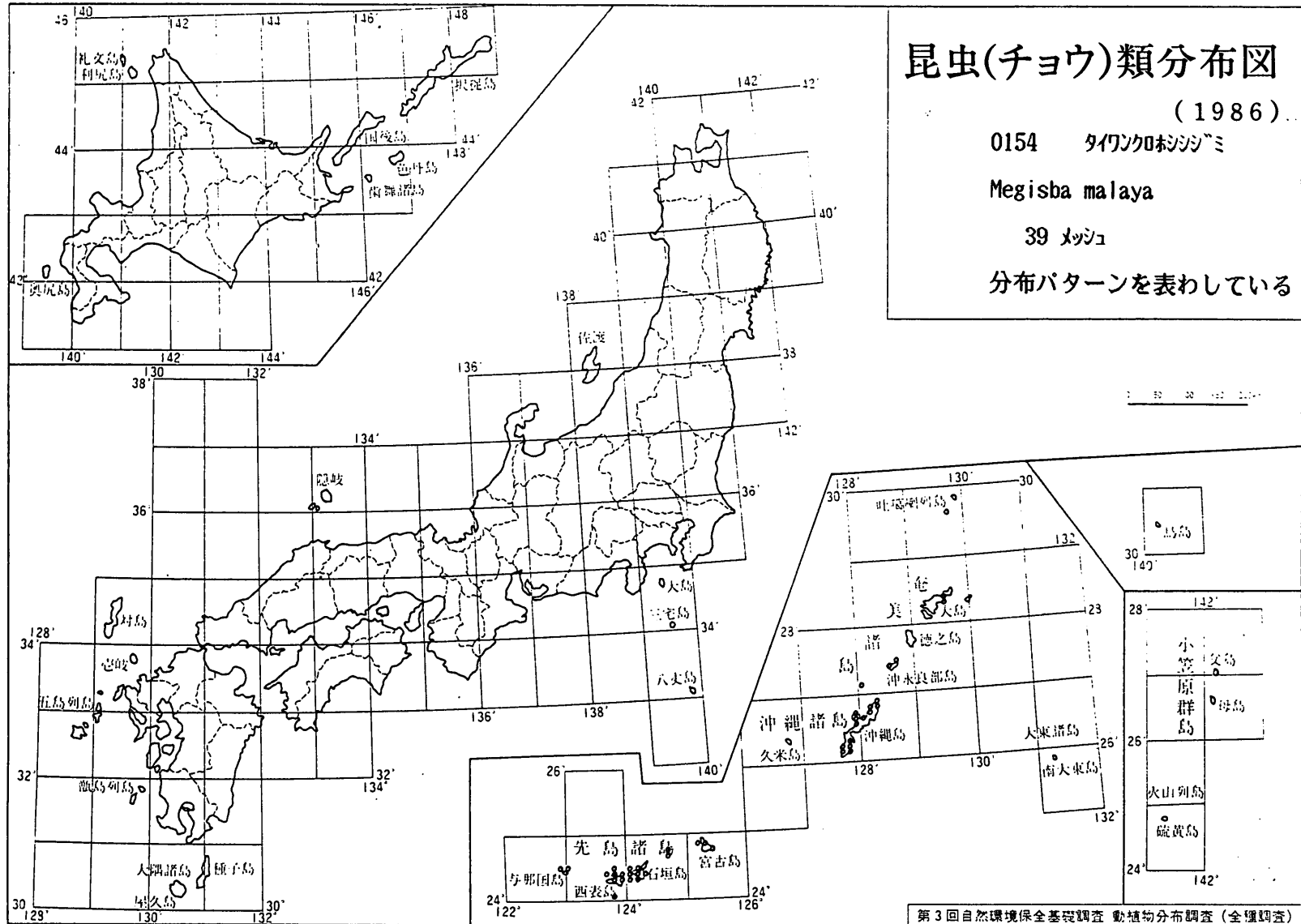
(1986)

0154 タイワンコホシジミ

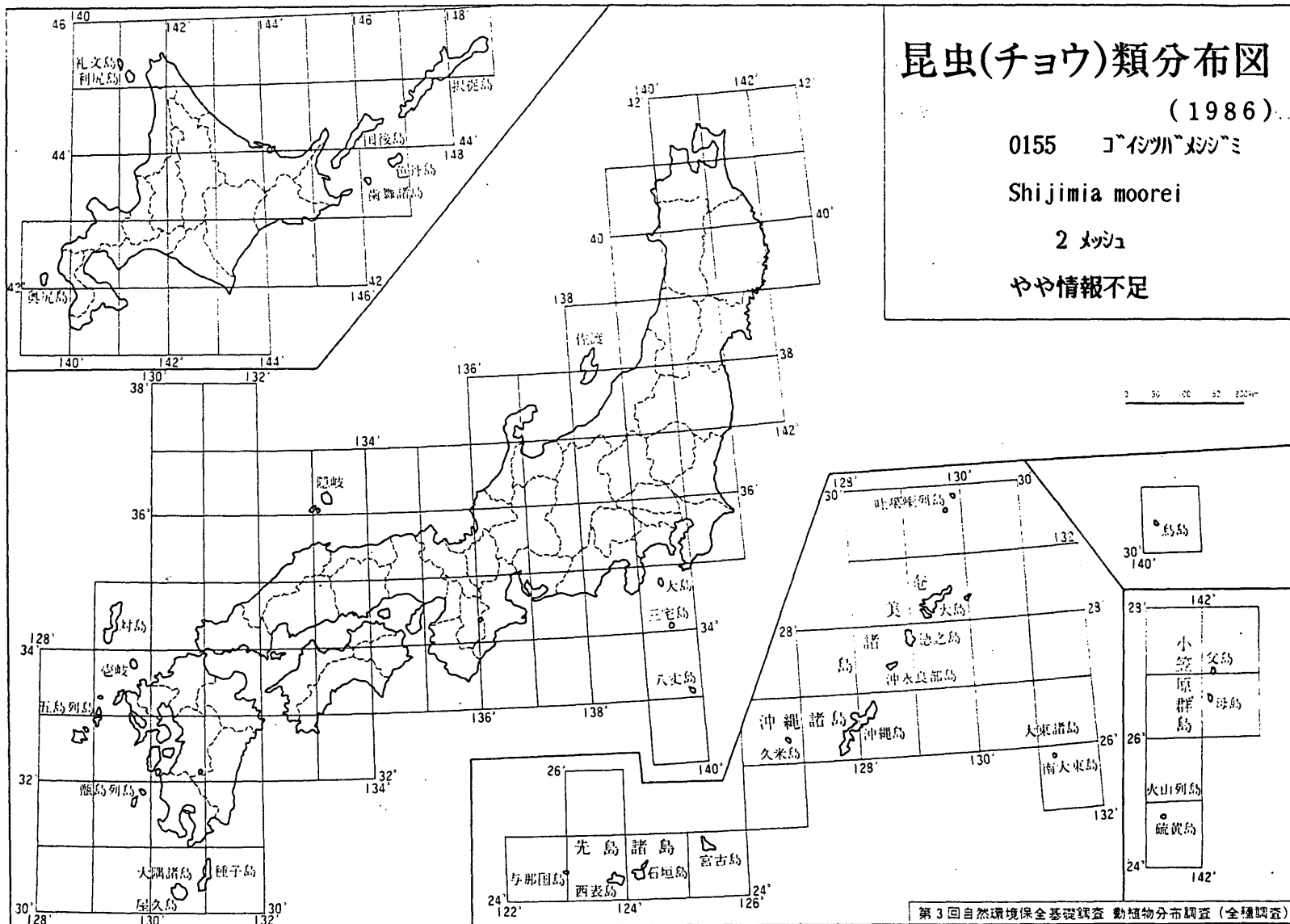
Megisba malaya

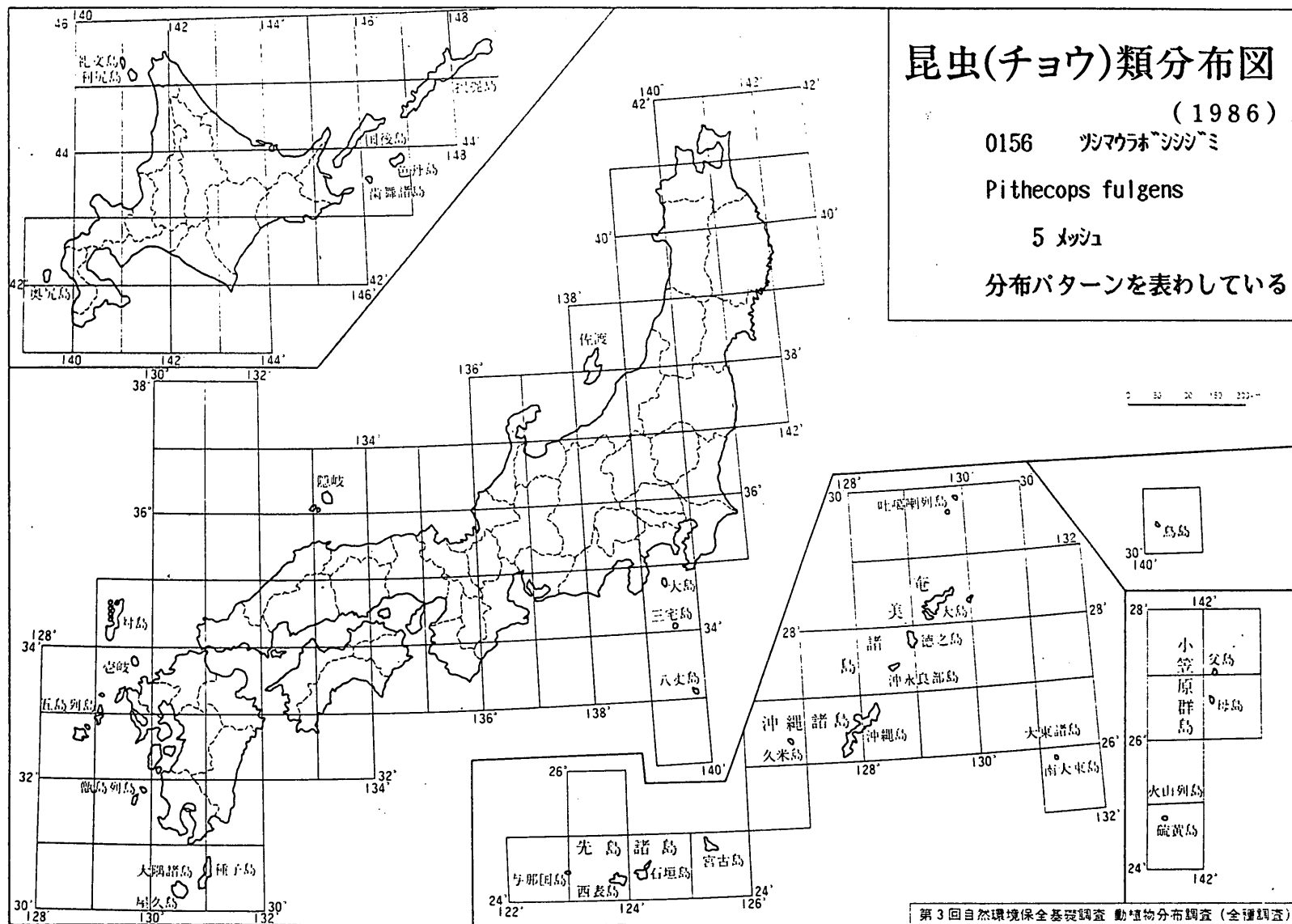
39 メッシュ

分布パターンを表わしている



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)





昆虫(チョウ)類分布図

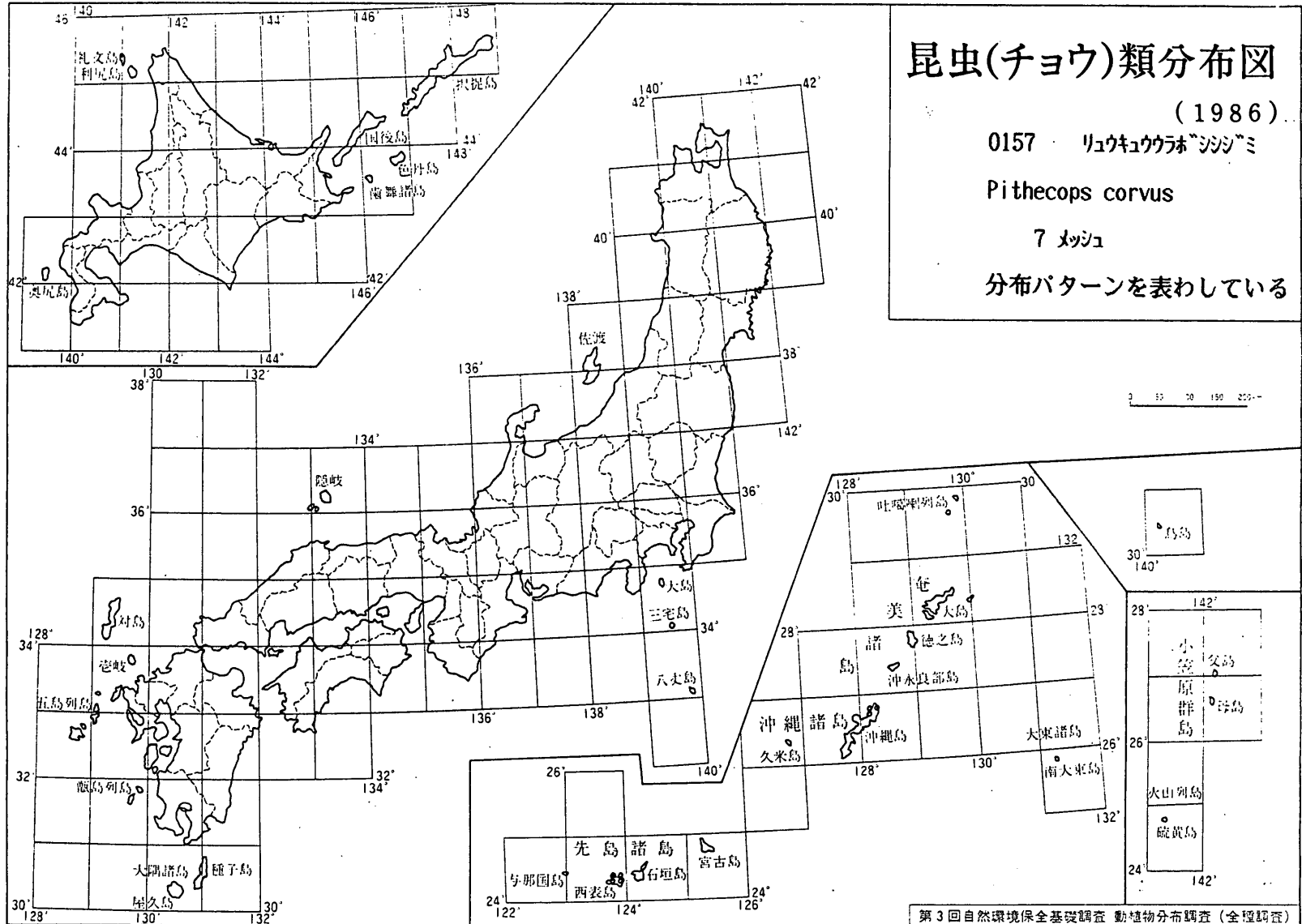
(1986)

0157 リュウキュウカラマツシジミ

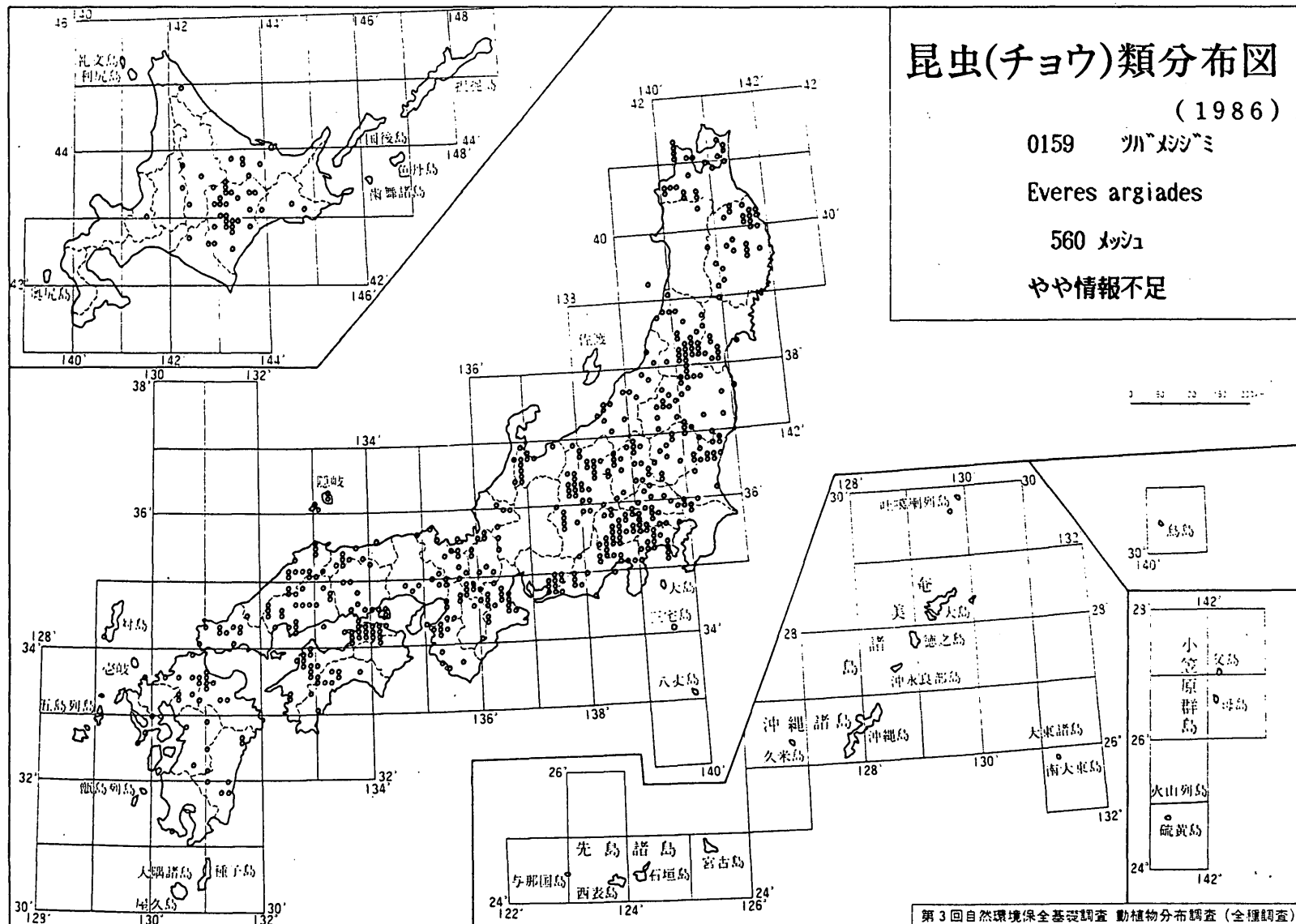
Pithecopus corvus

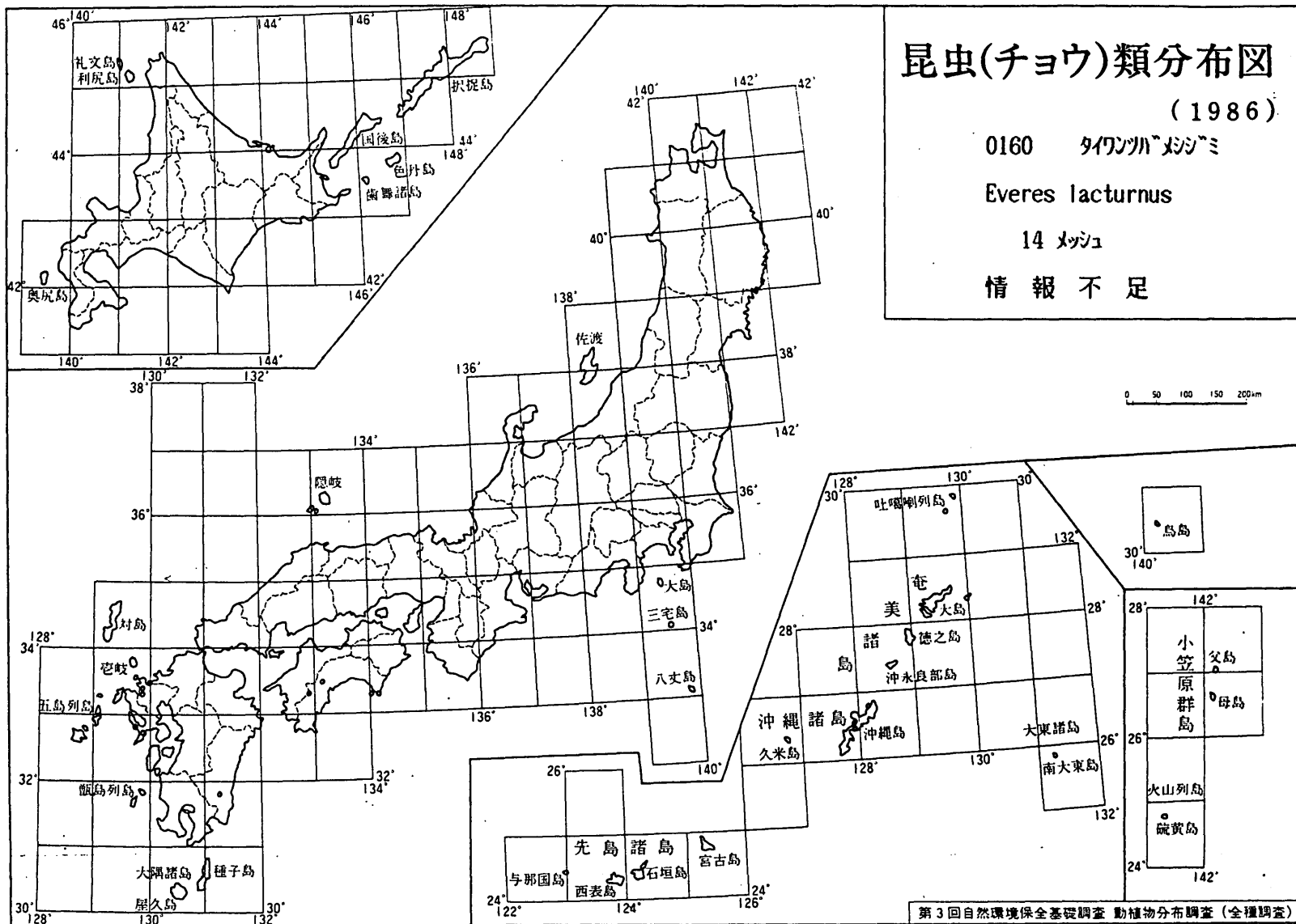
7 メッシュ

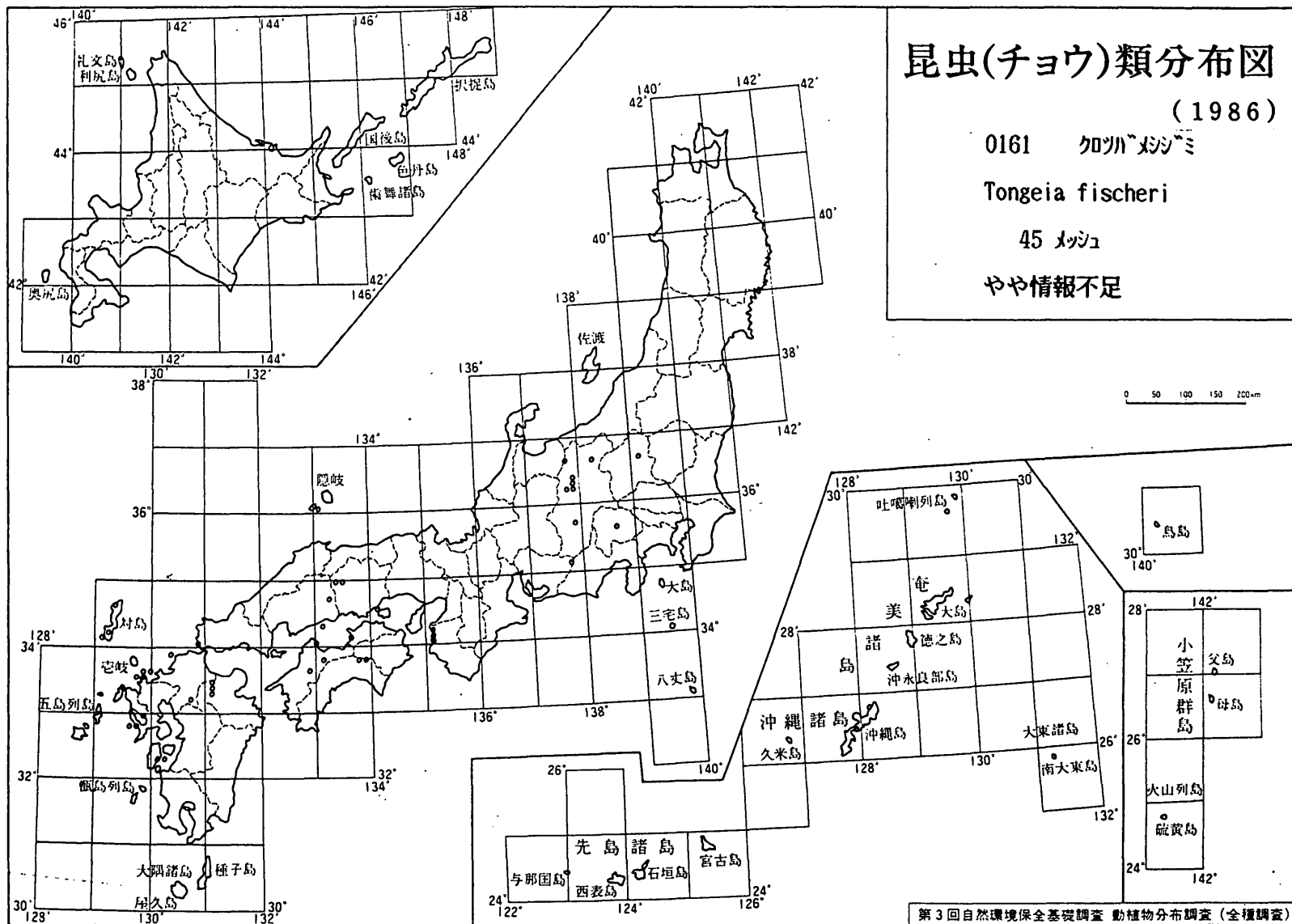
分布パターンを表わしている



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)







昆虫(チョウ)類分布図

(1986)

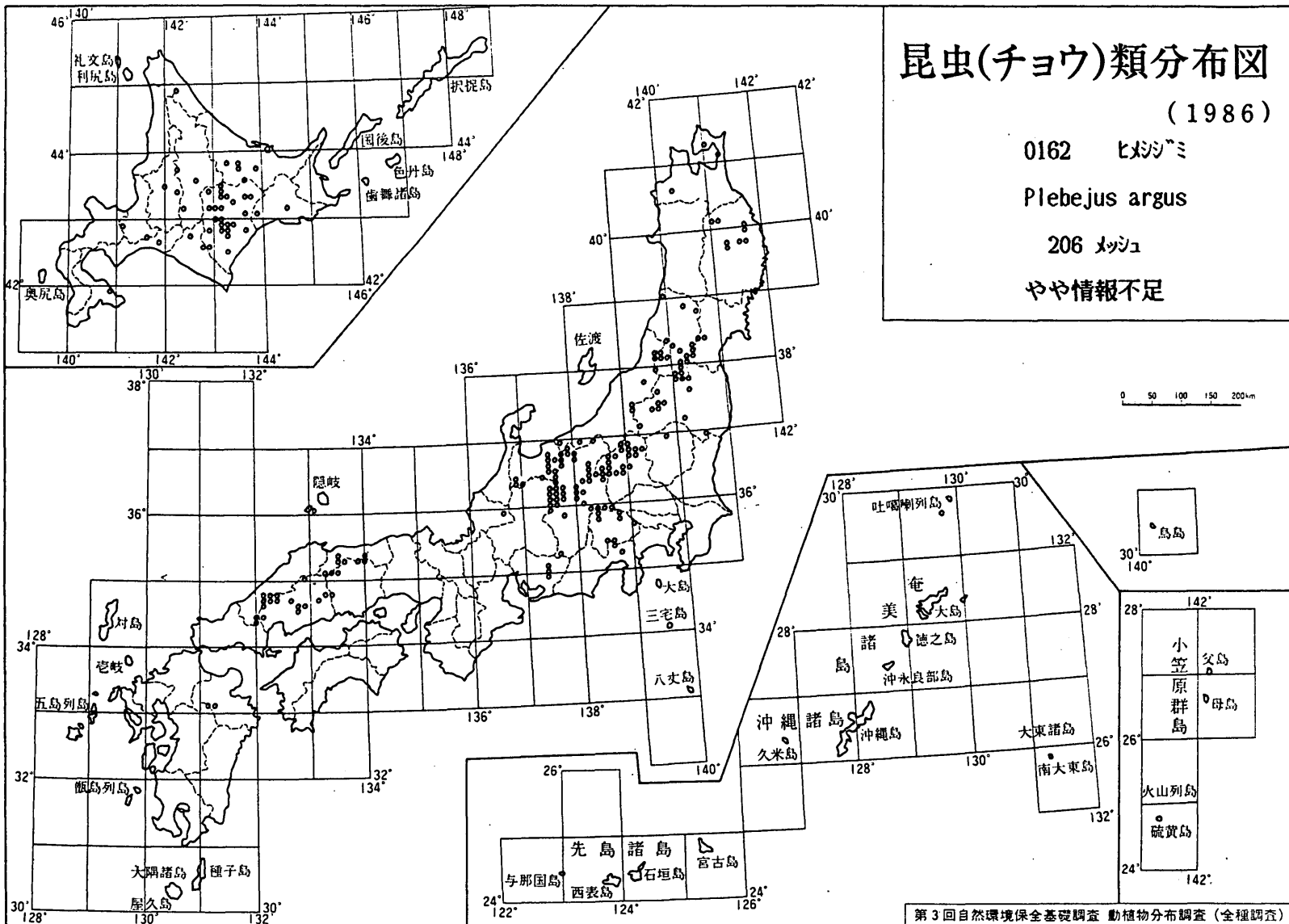
0162 ヒメジミ

Plebejus argus

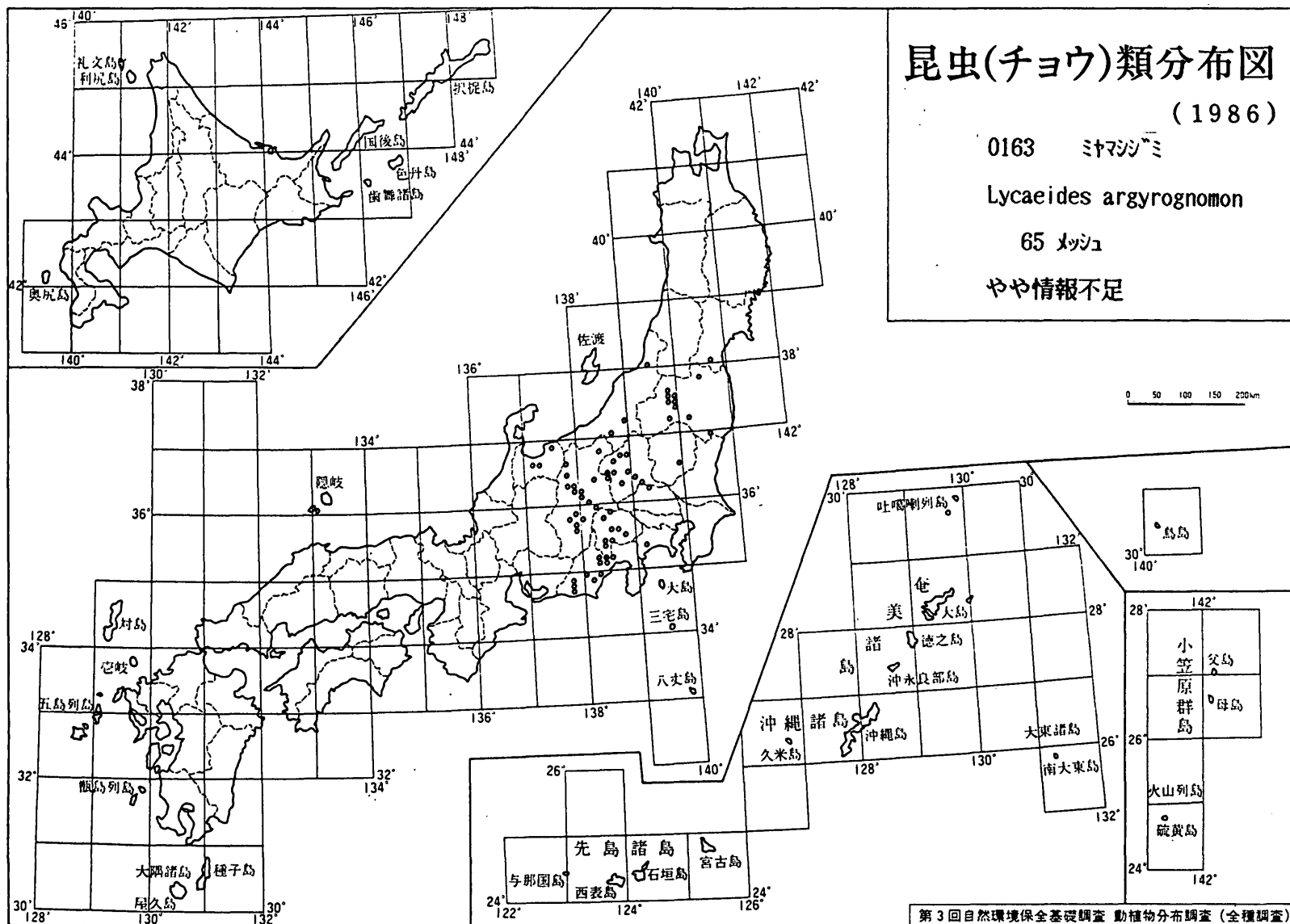
206 メッシュ

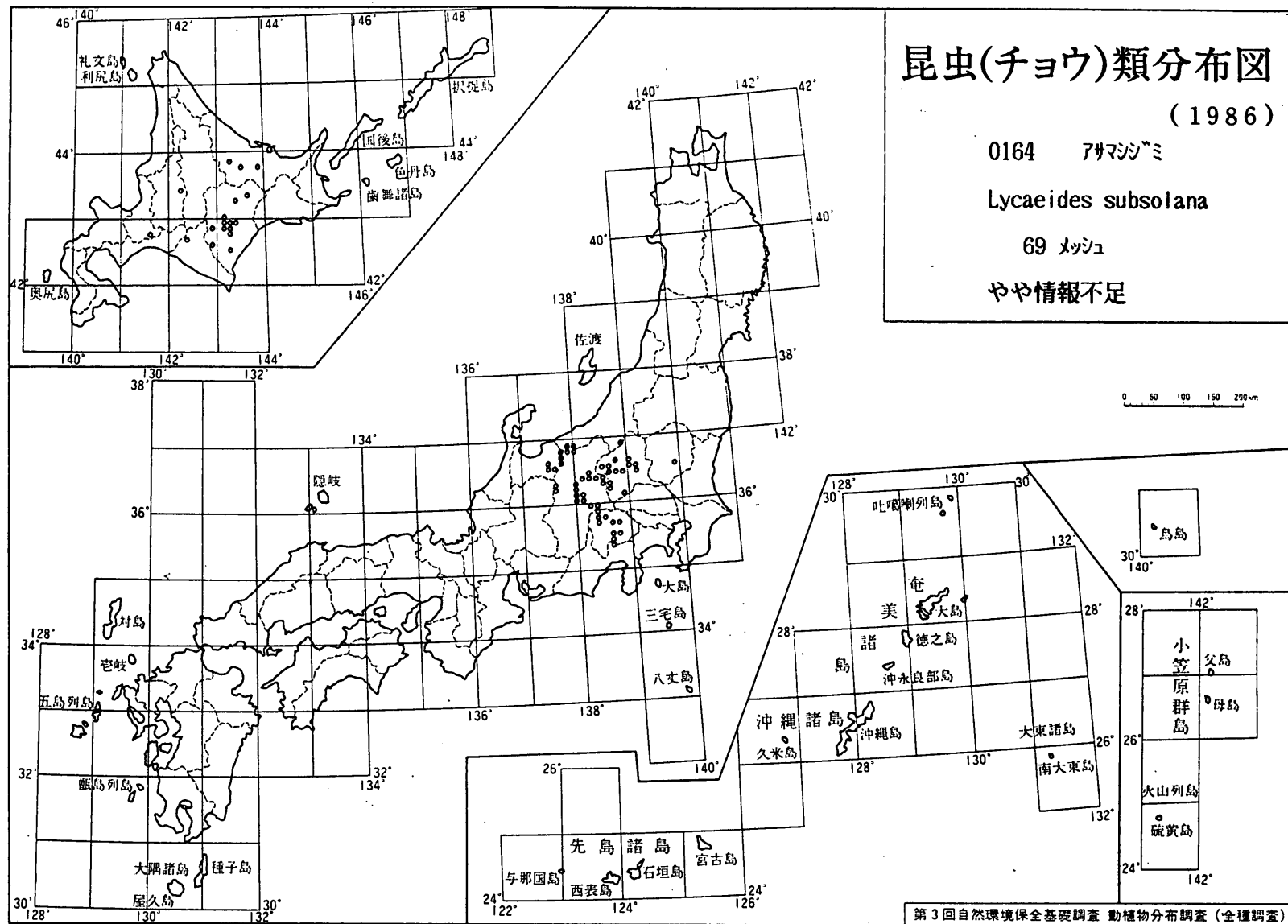
やや情報不足

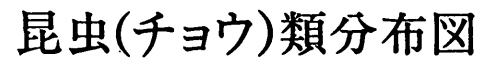
0 50 100 150 200km



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)







(1 9 8 6)

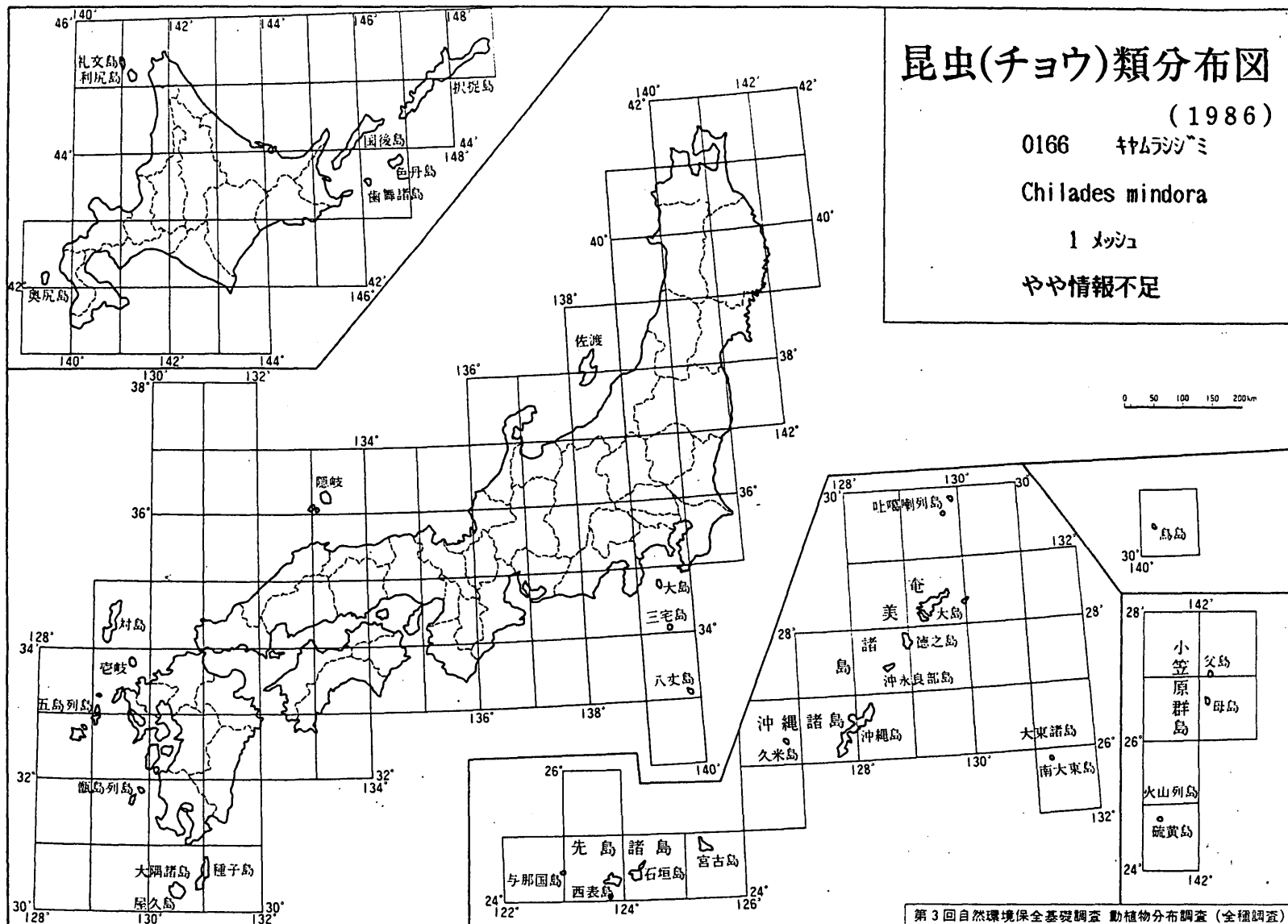
0165 カラフトルリシシミ

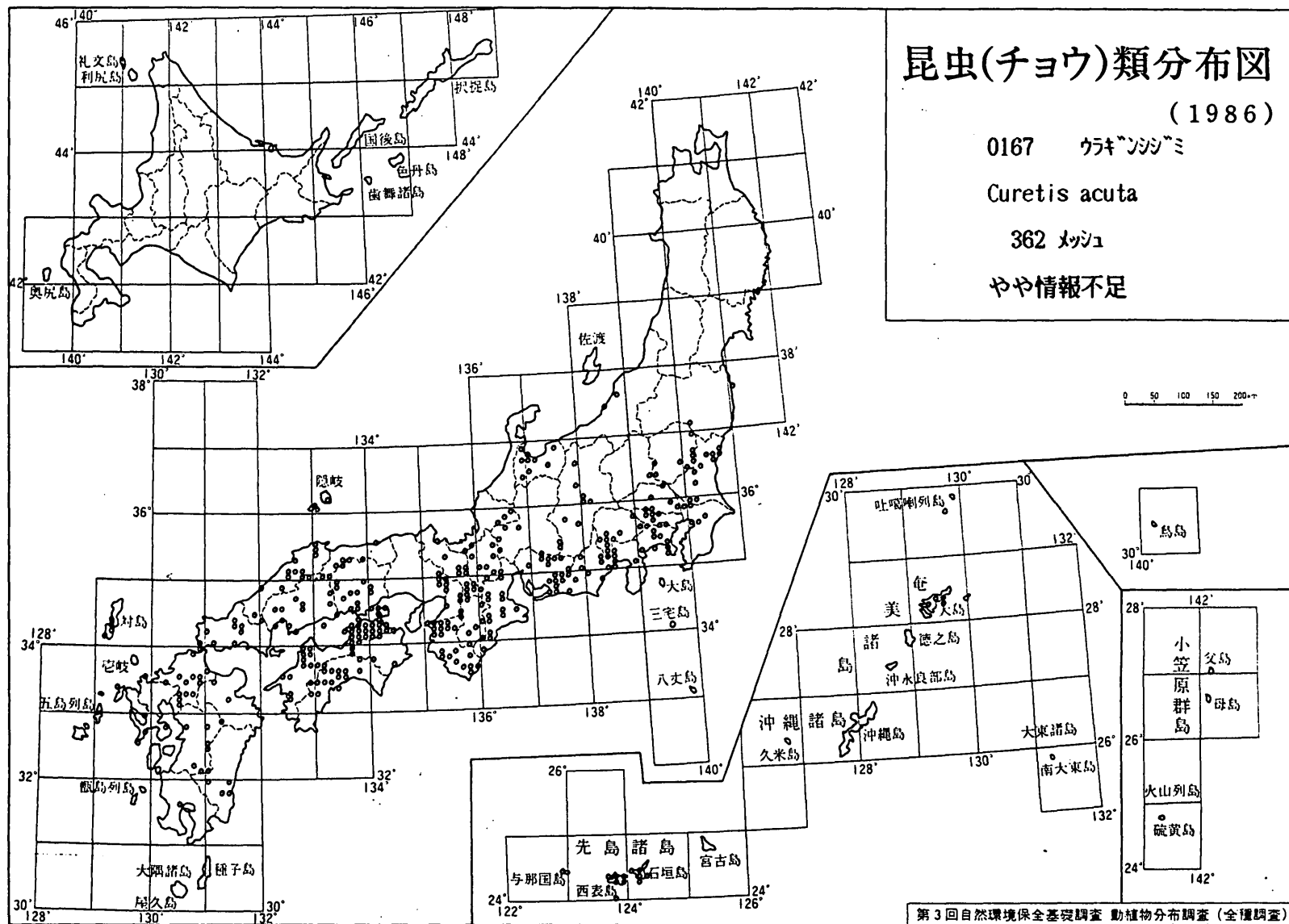
Vacciniina optilete

9 メツシュ

やや情報不足

第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)





昆虫(チョウ)類分布図

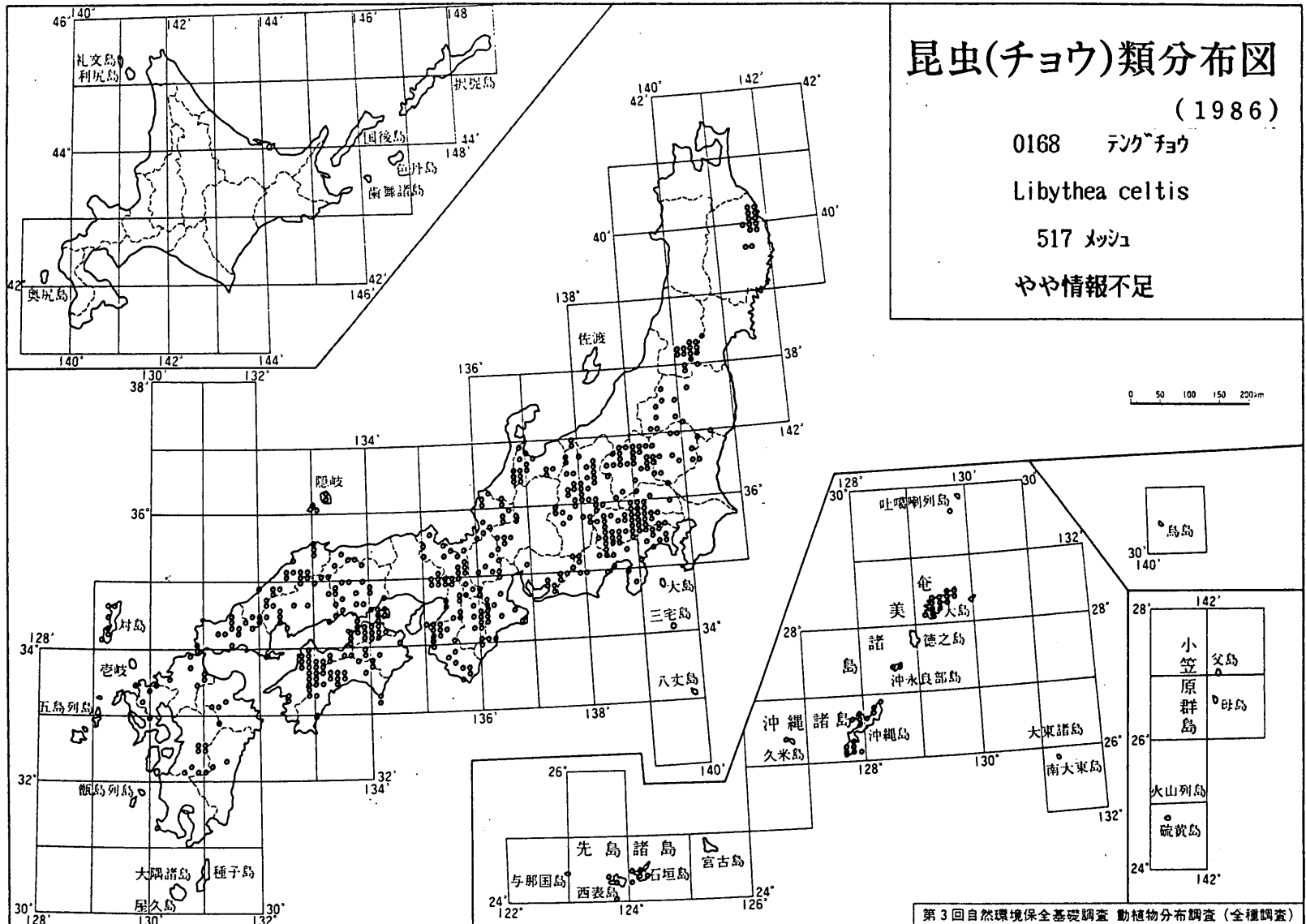
(1986)

0168 テンゲチョウ

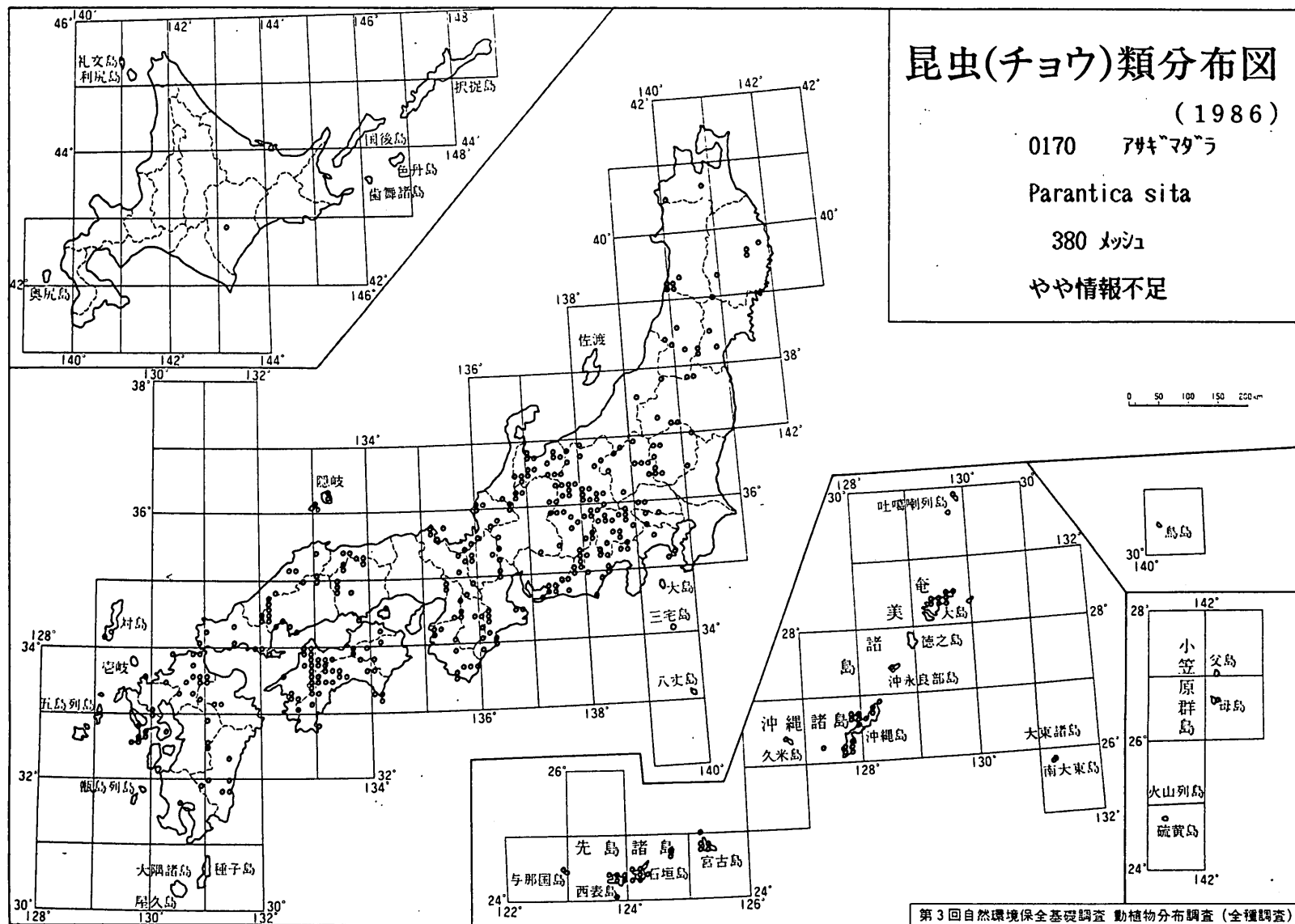
Libythea celtis

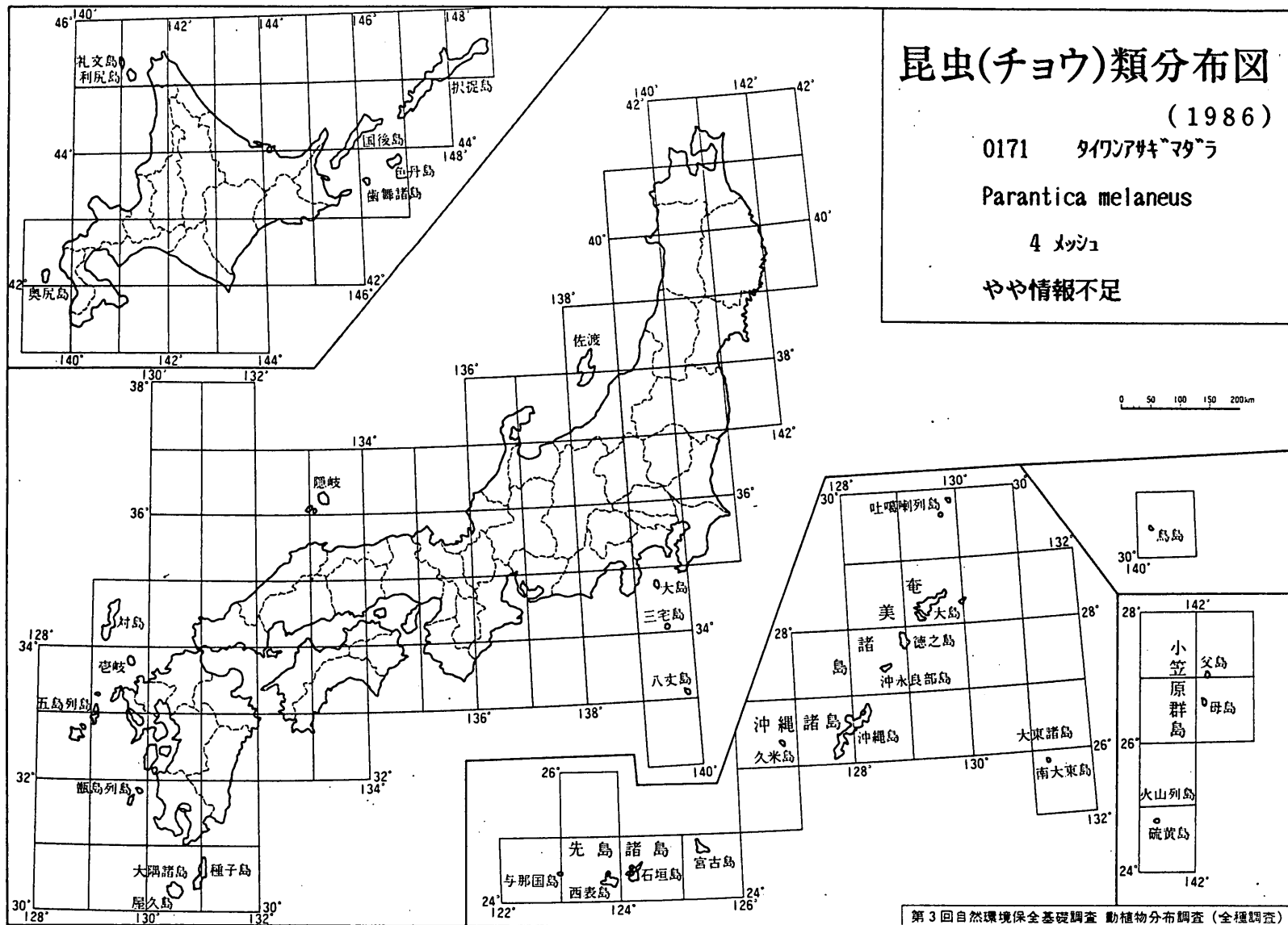
517 メッシュ

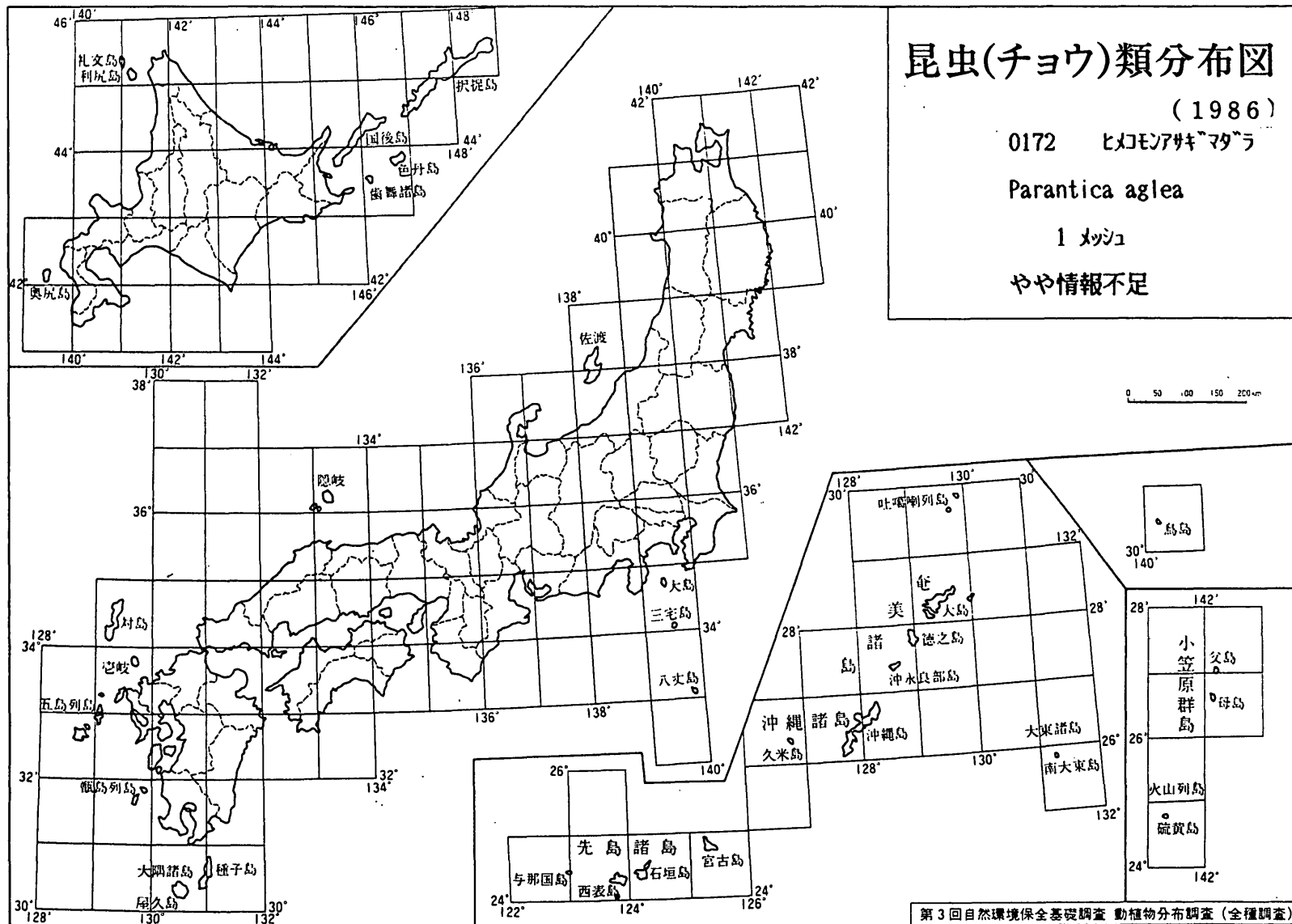
やや情報不足

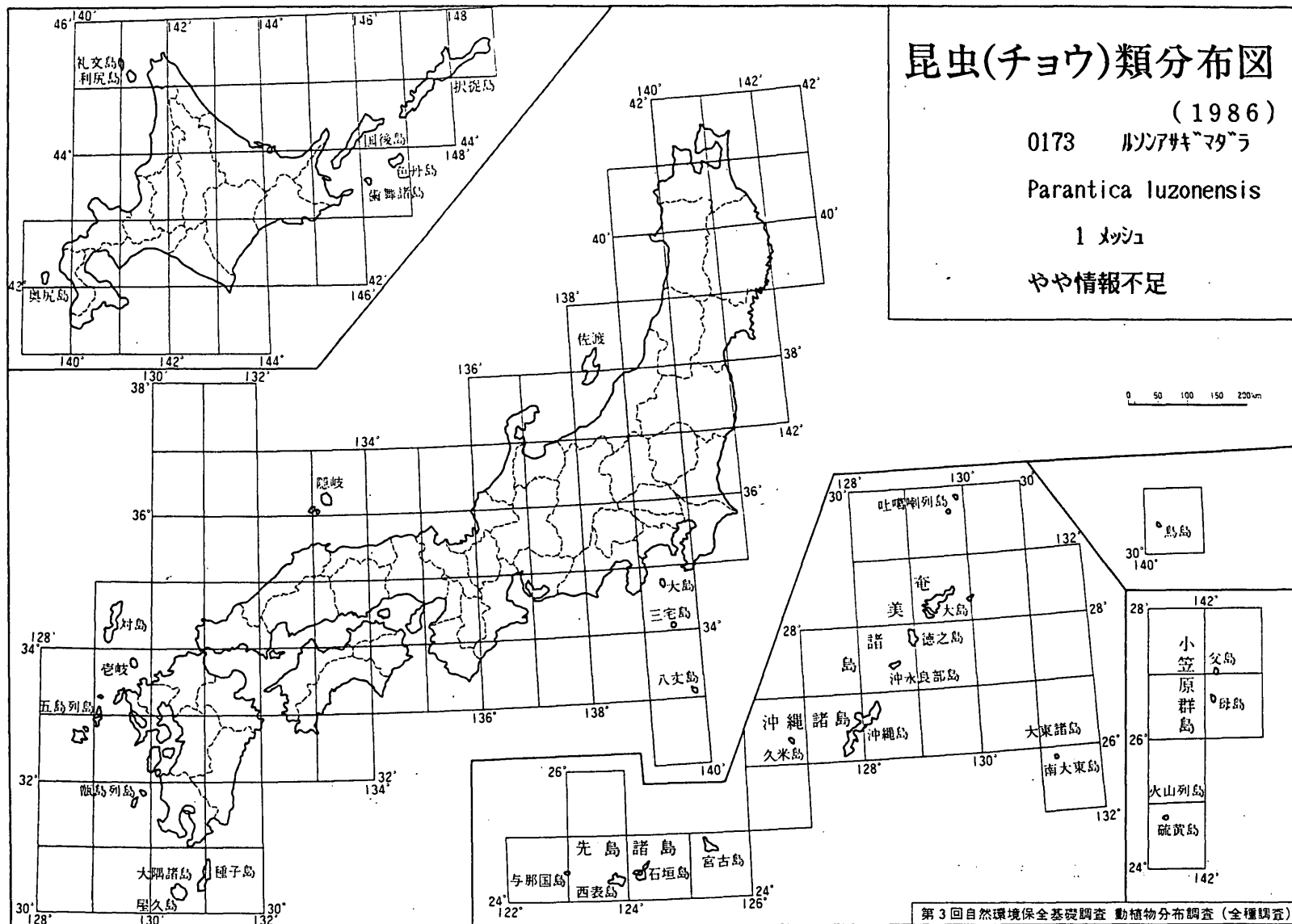


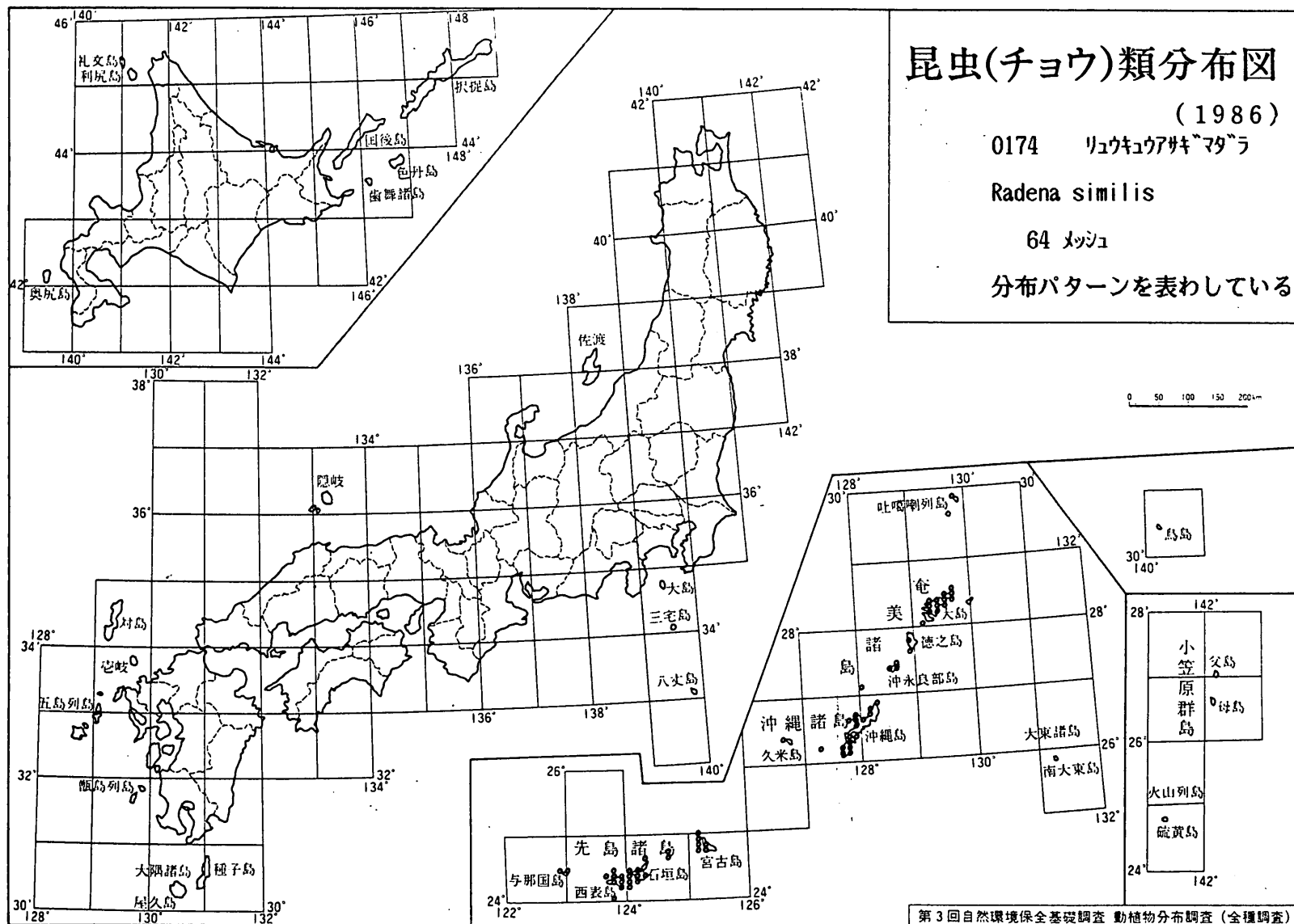
第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

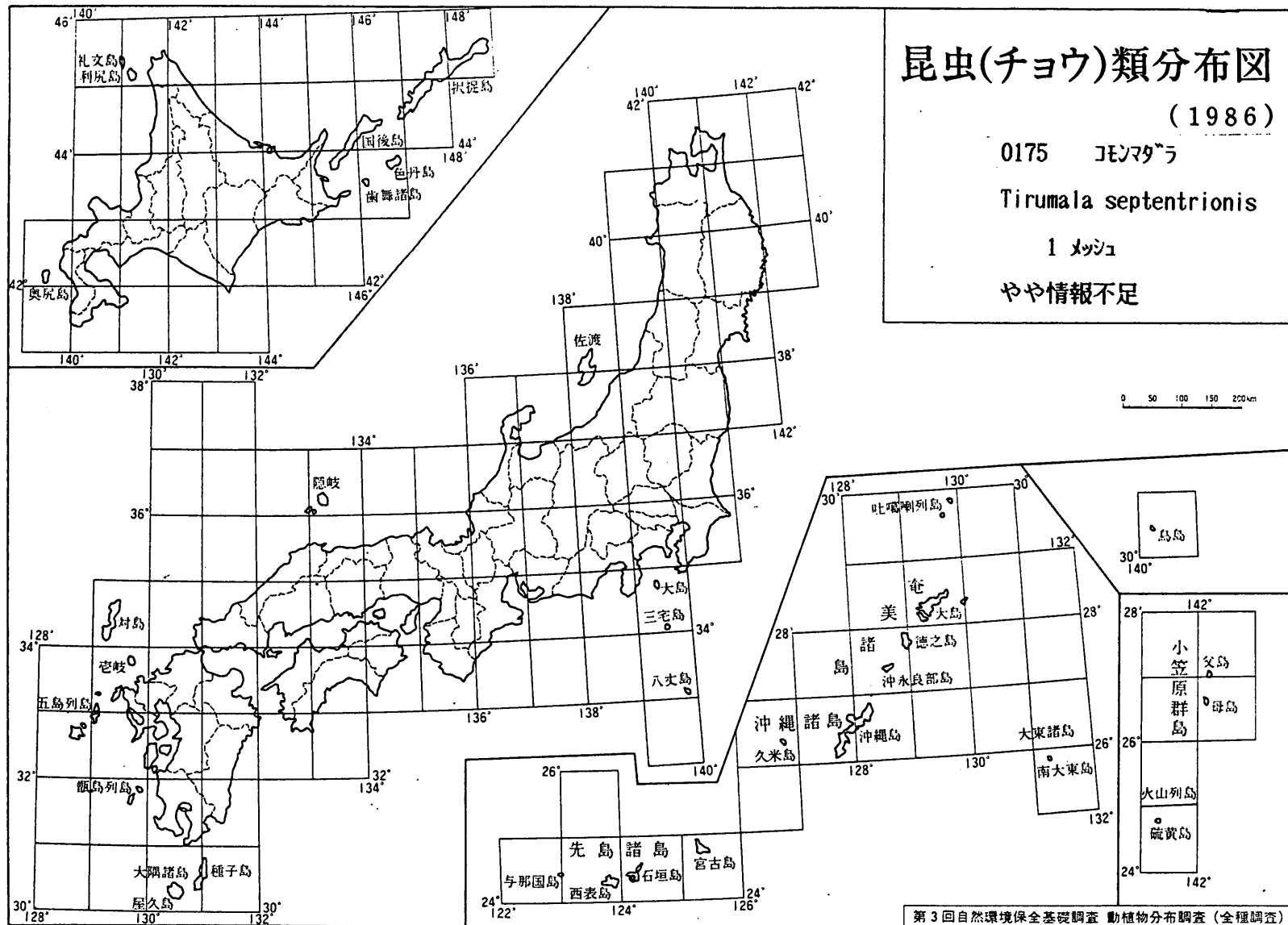


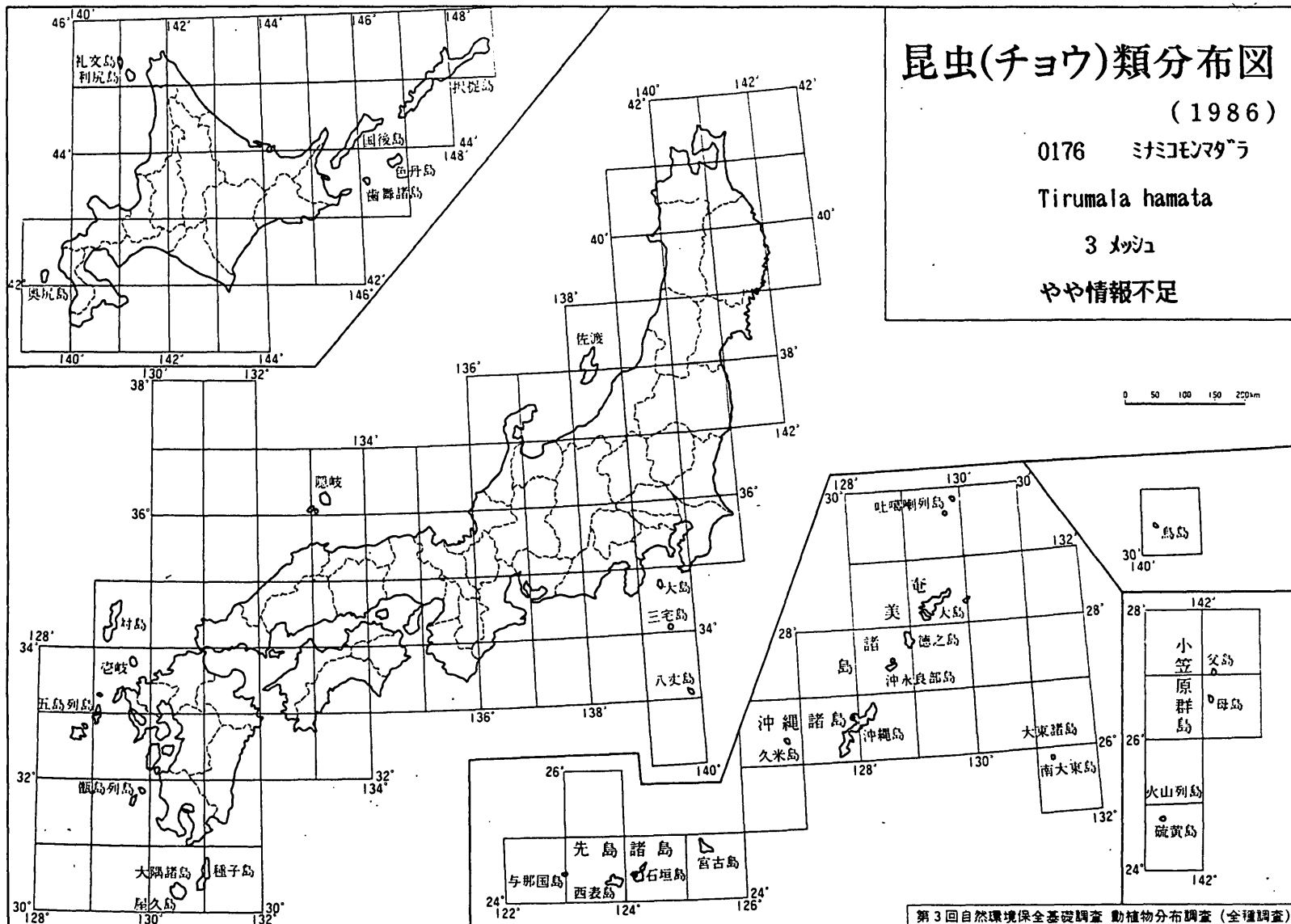


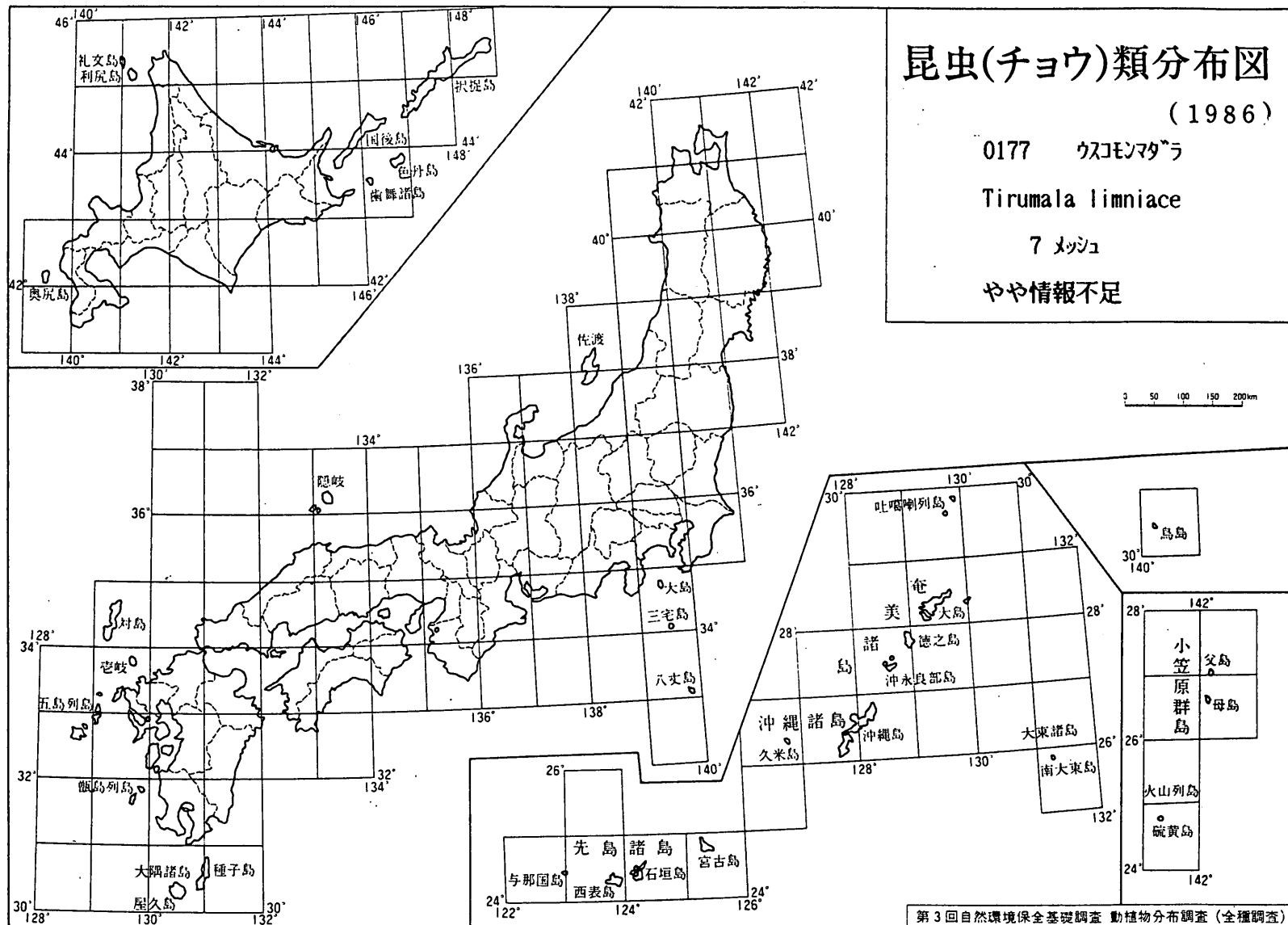


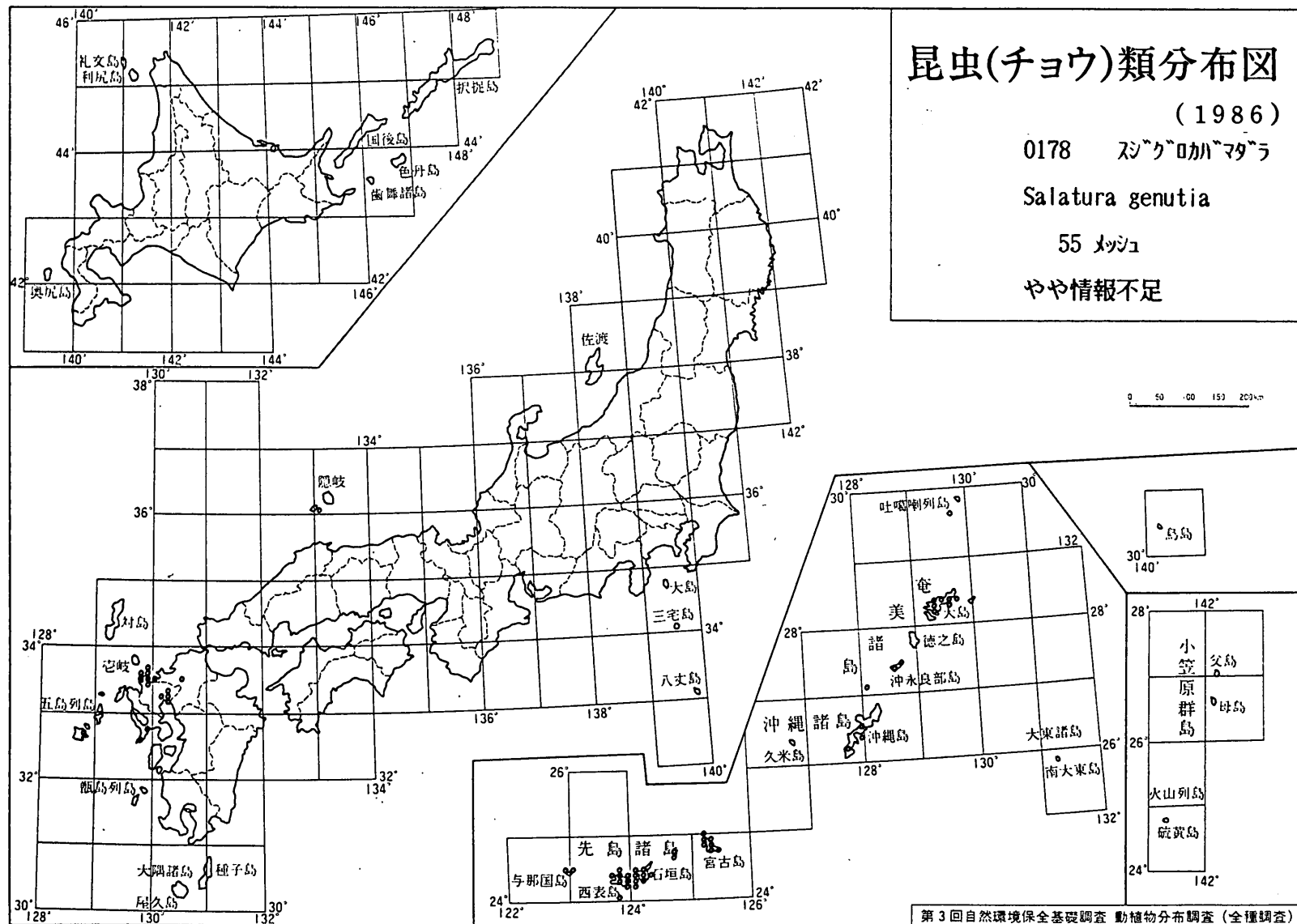


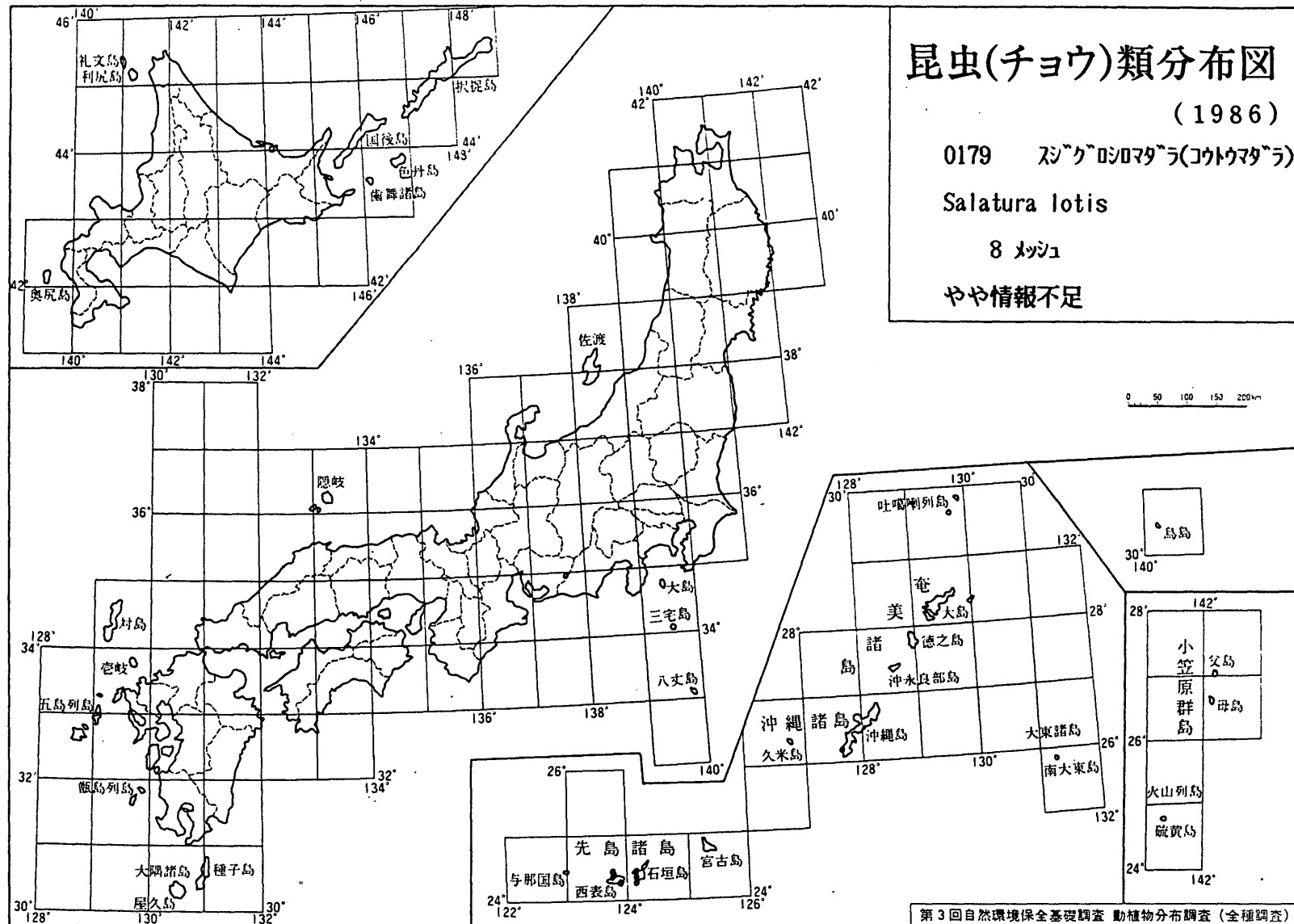


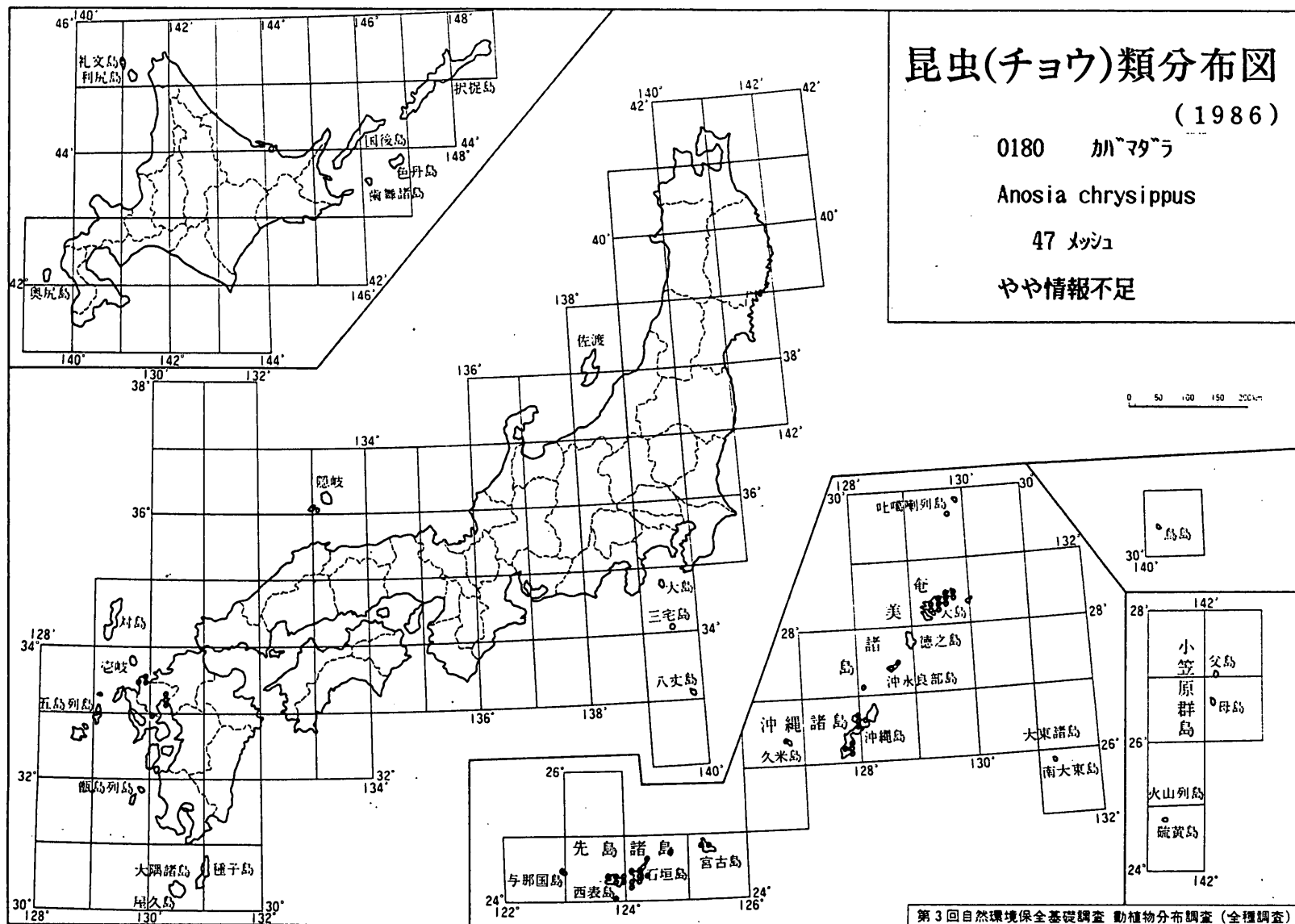


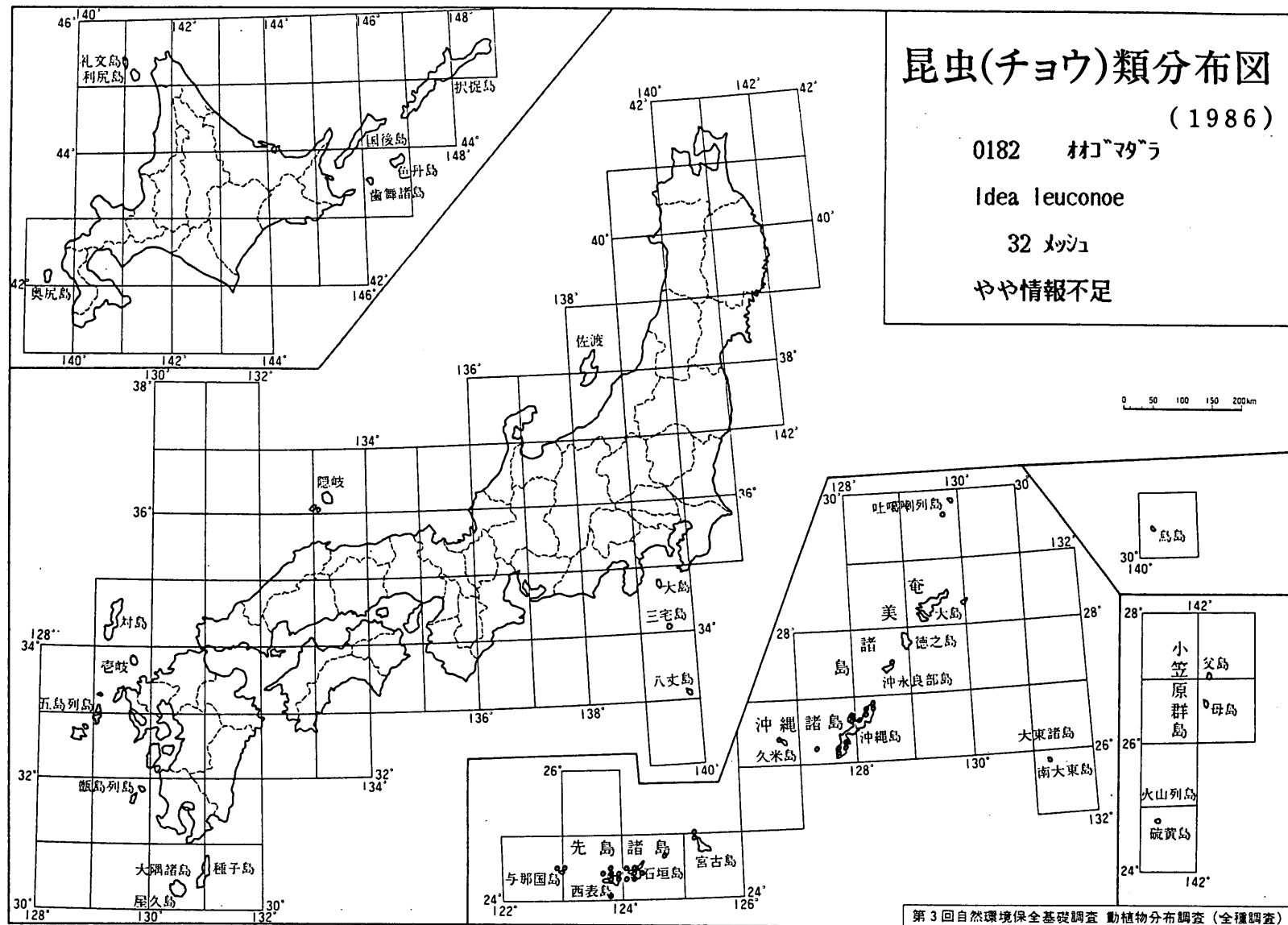


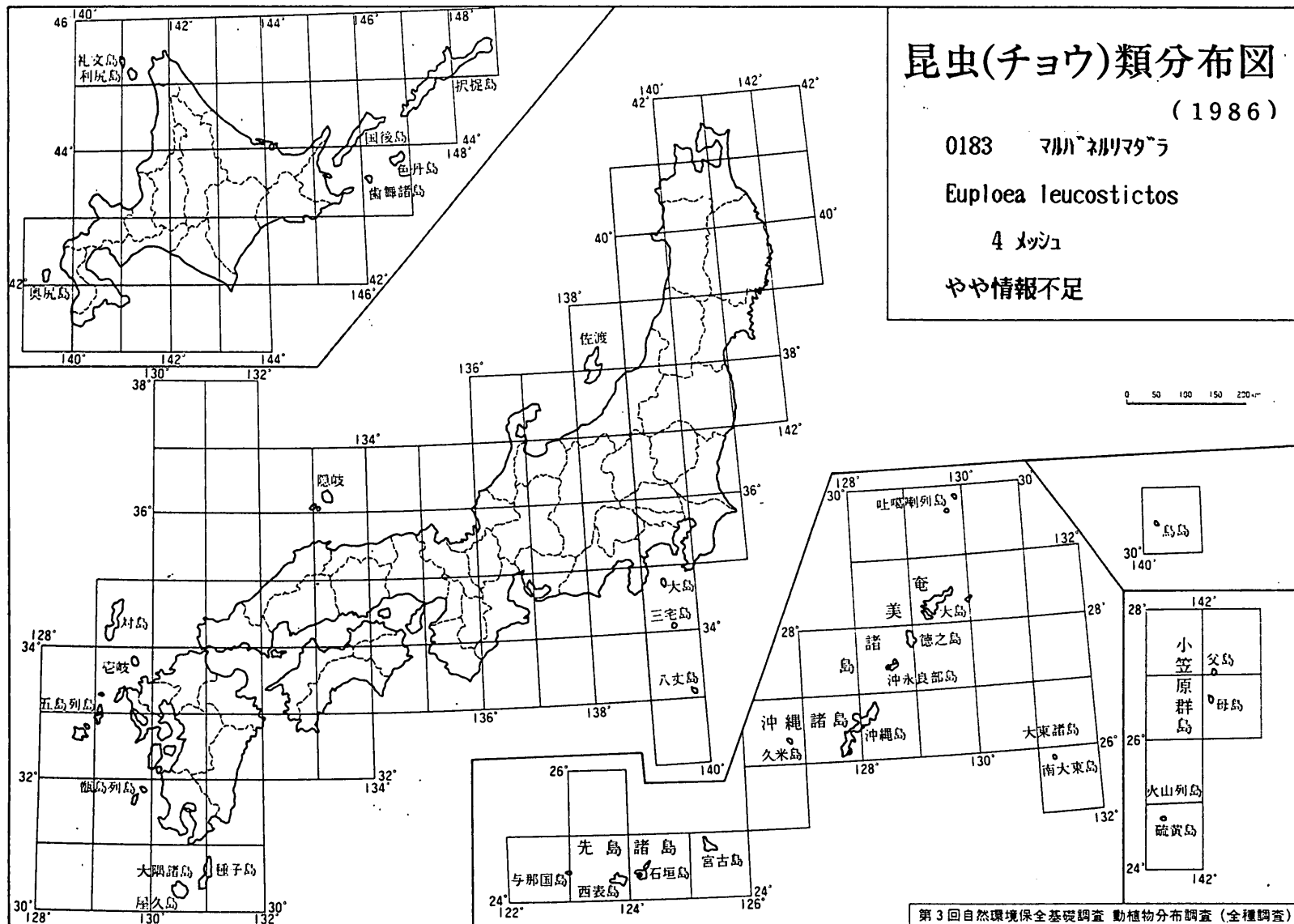


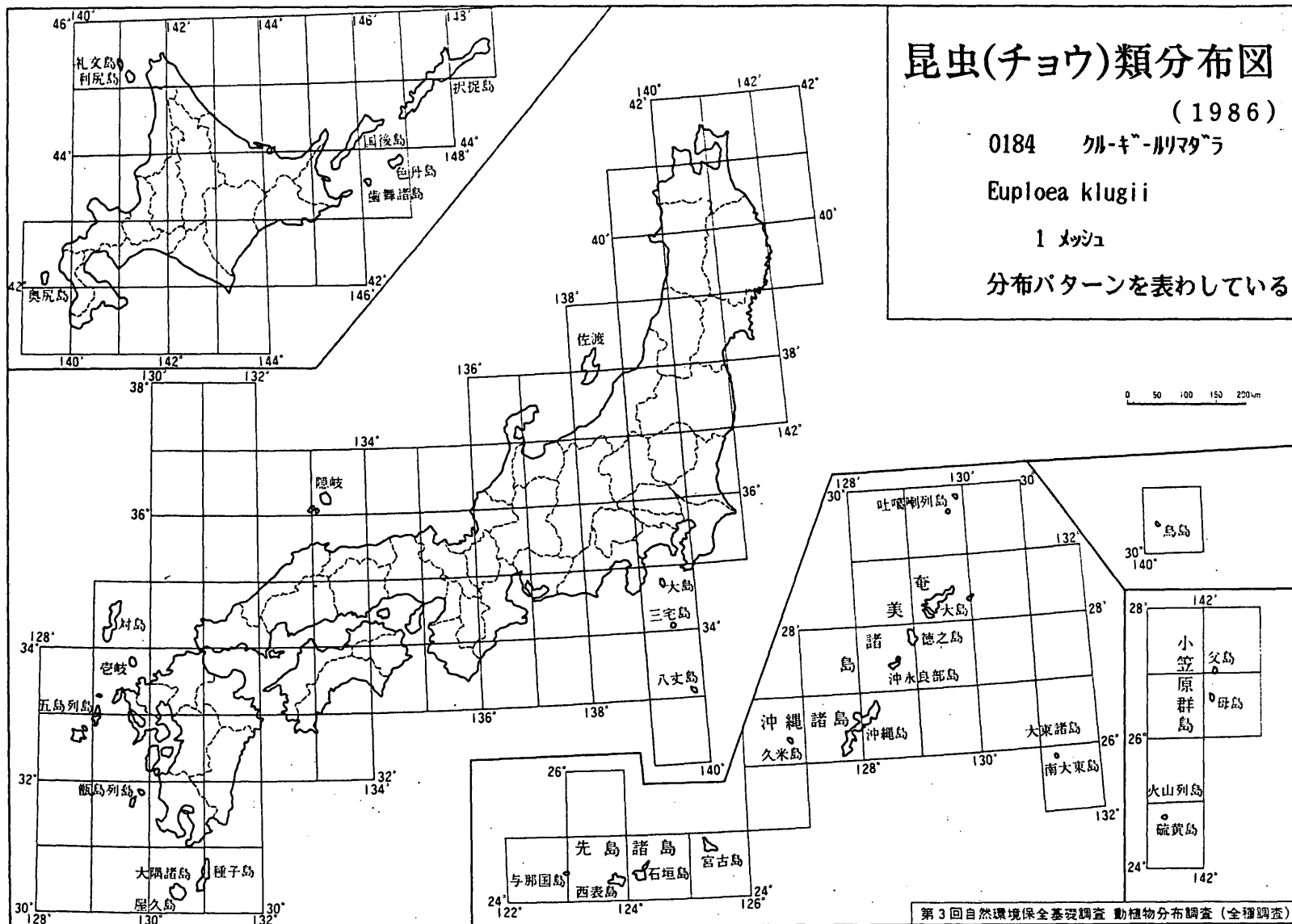


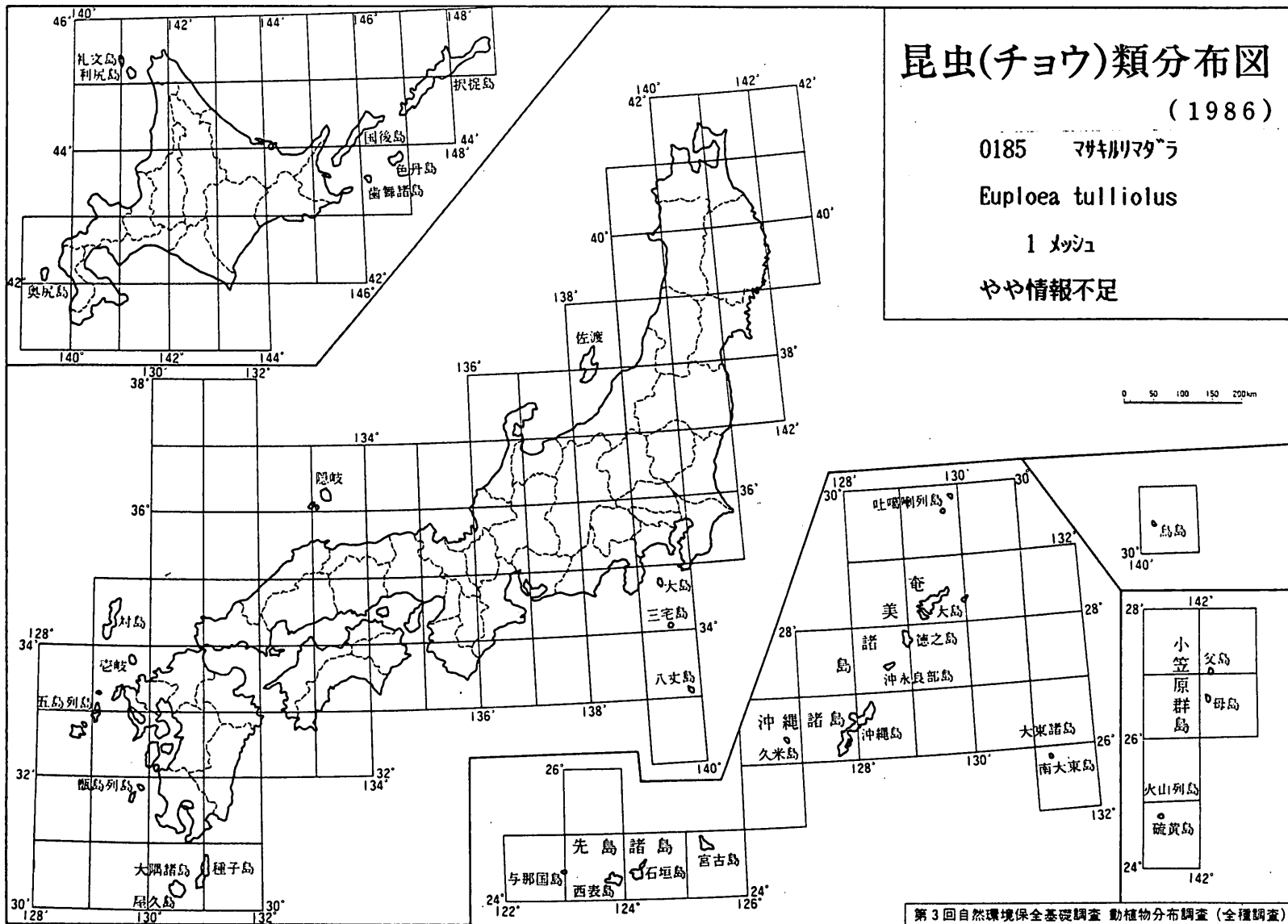


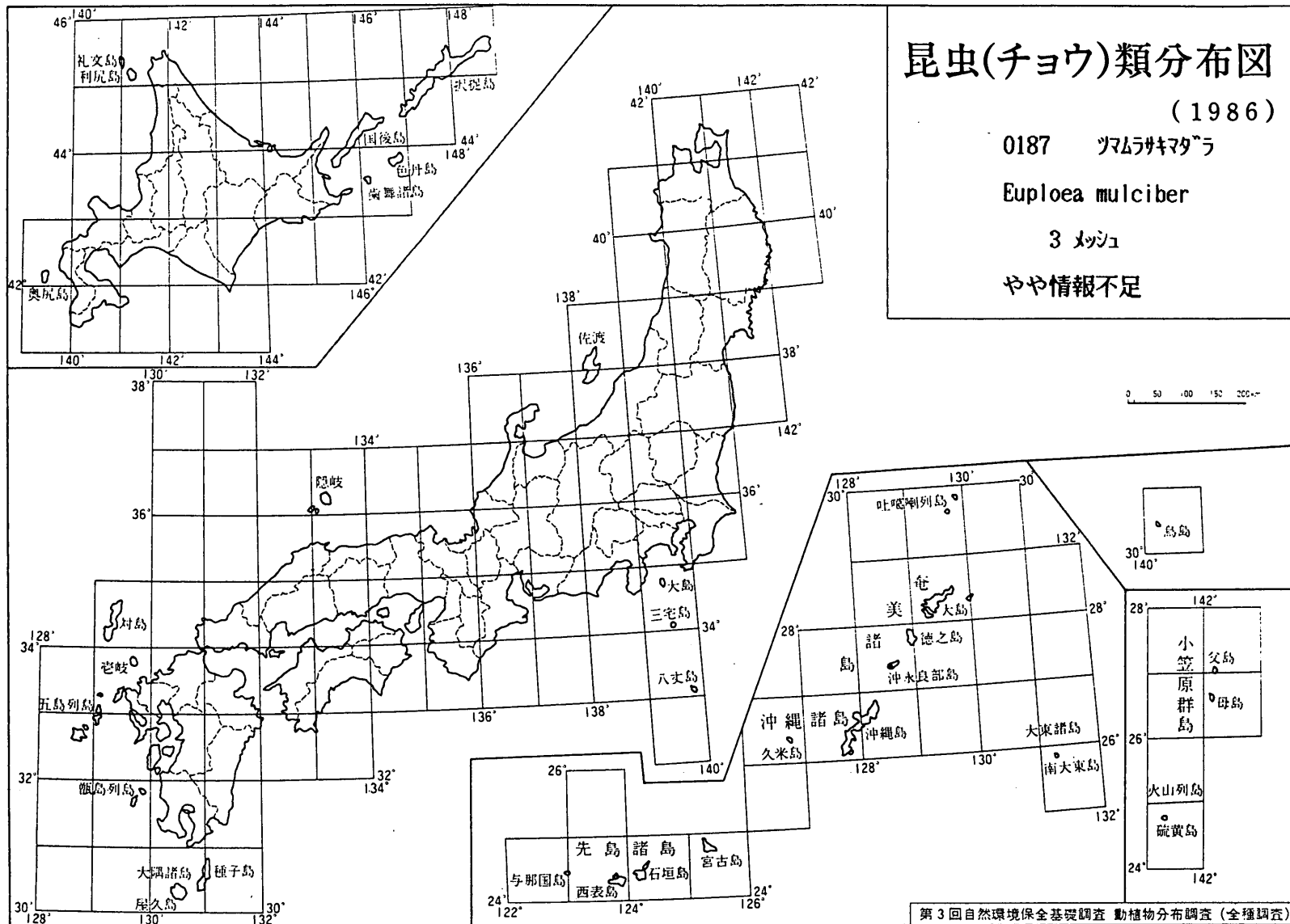


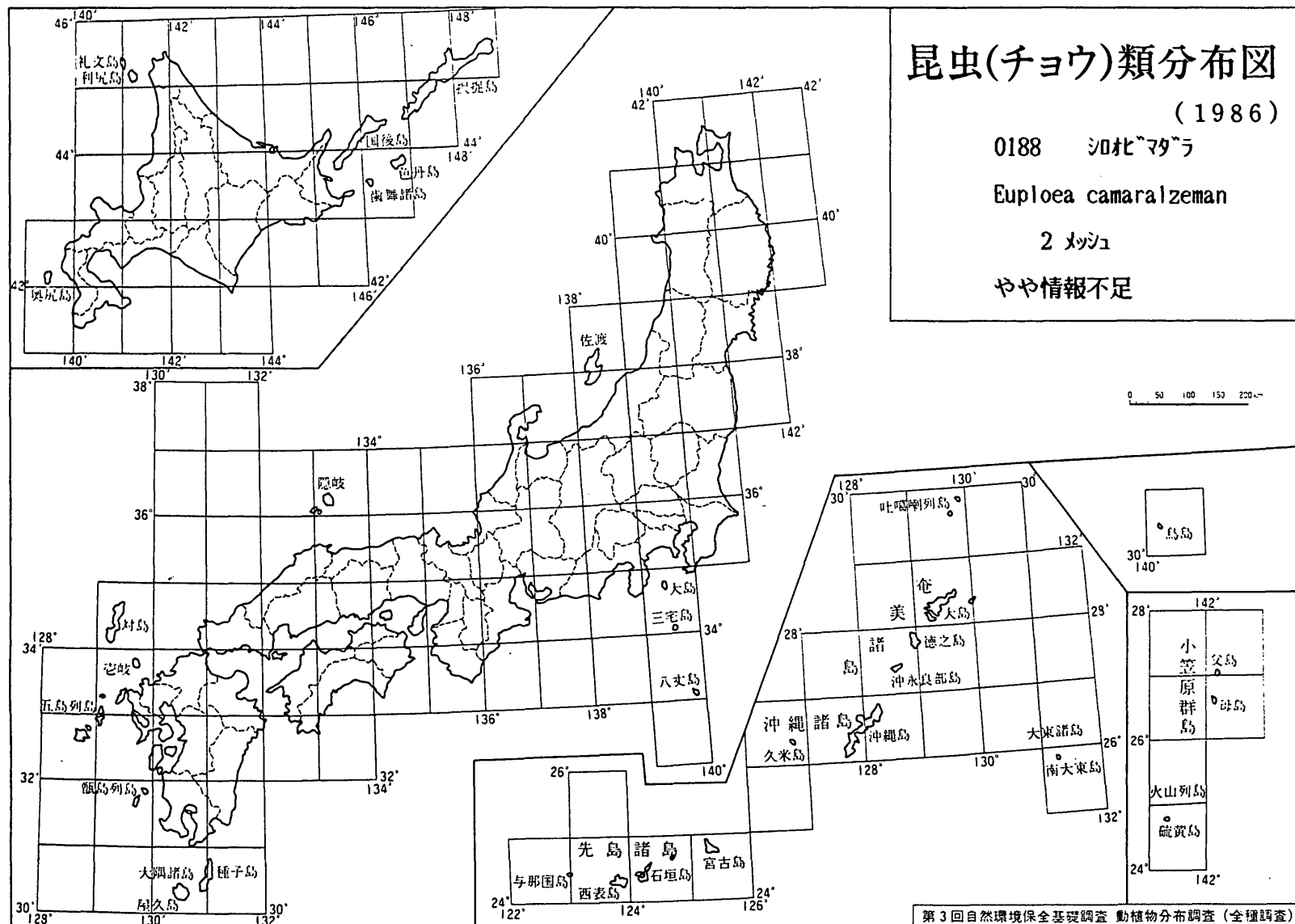


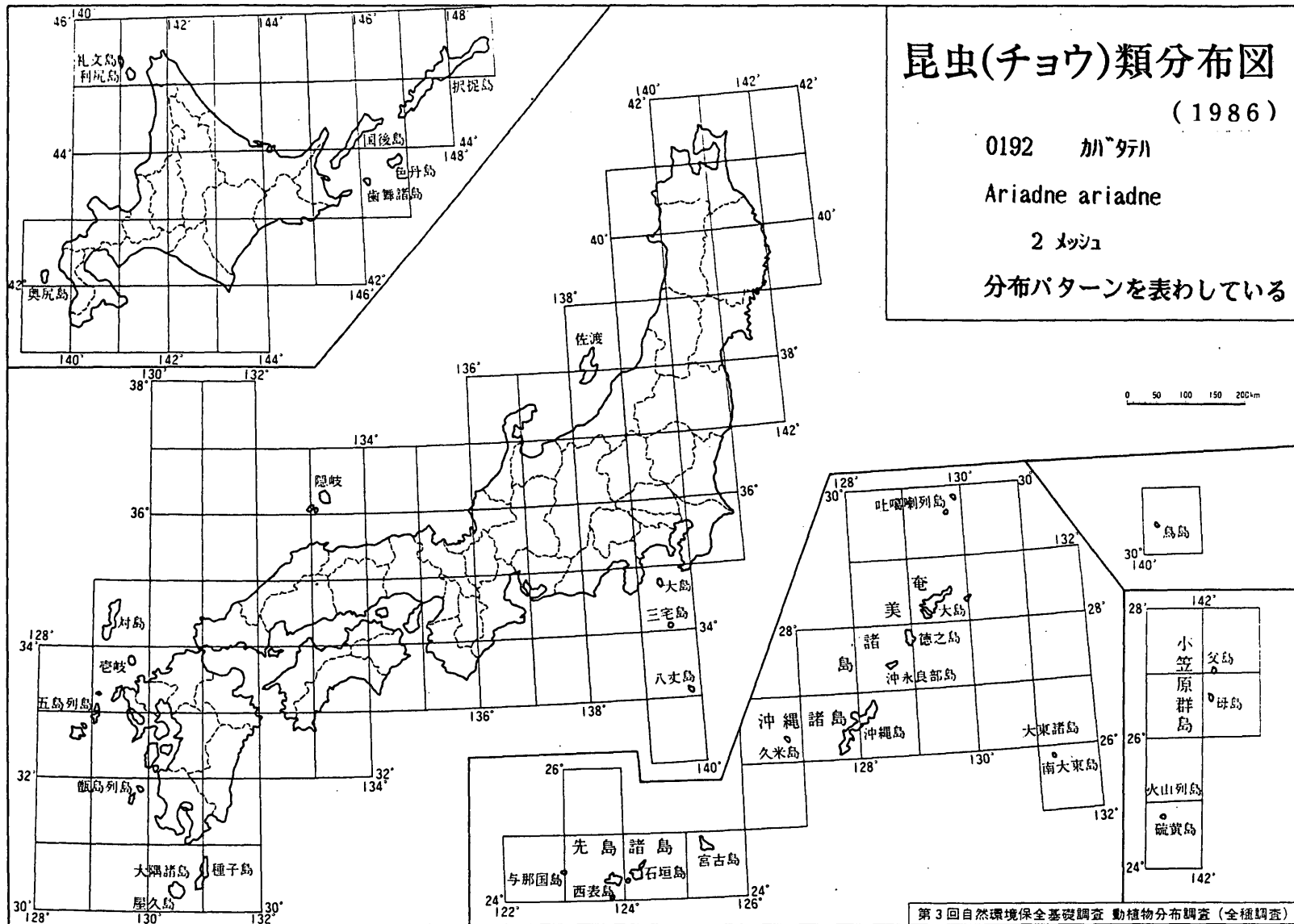


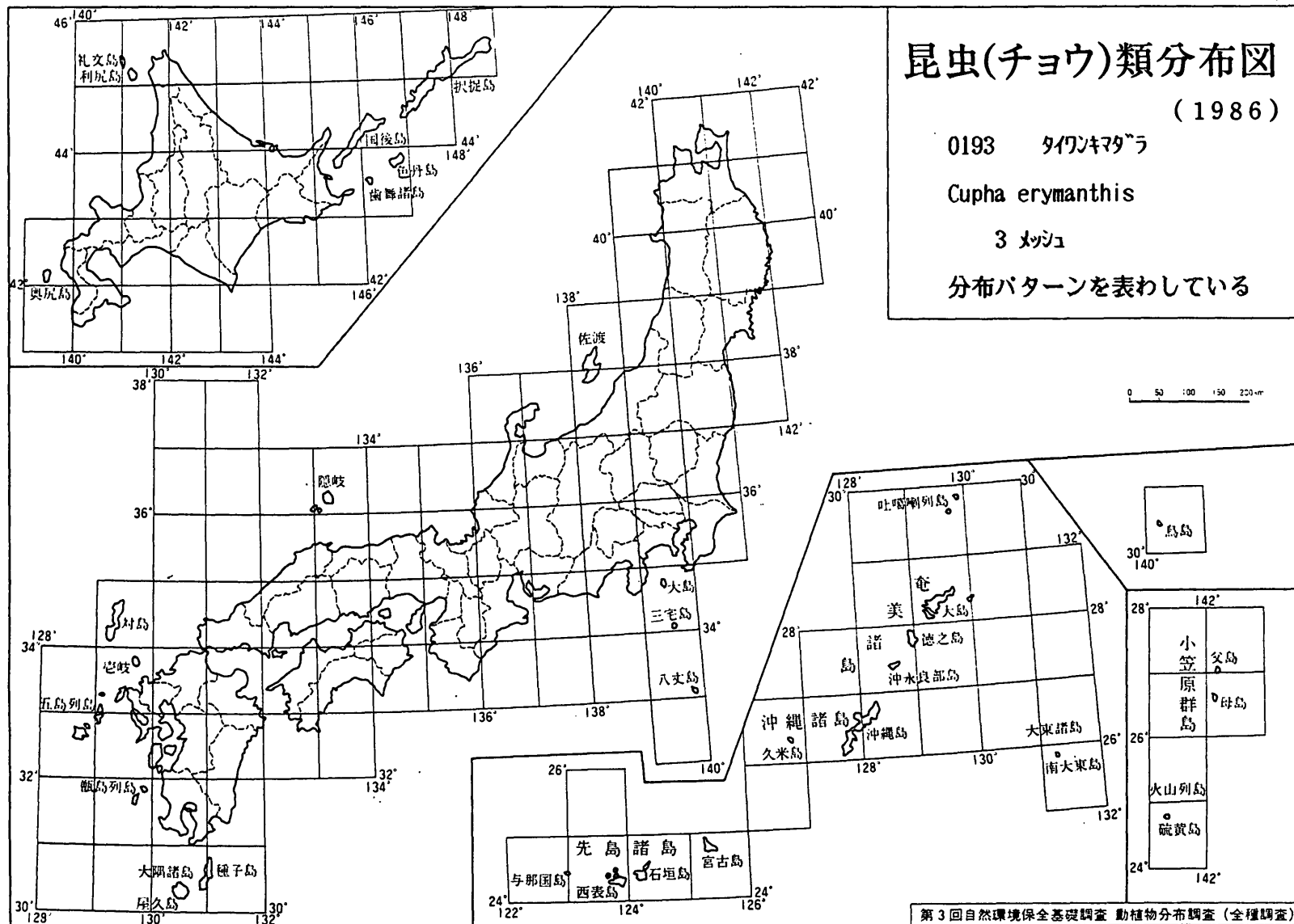












昆虫(チョウ)類分布図

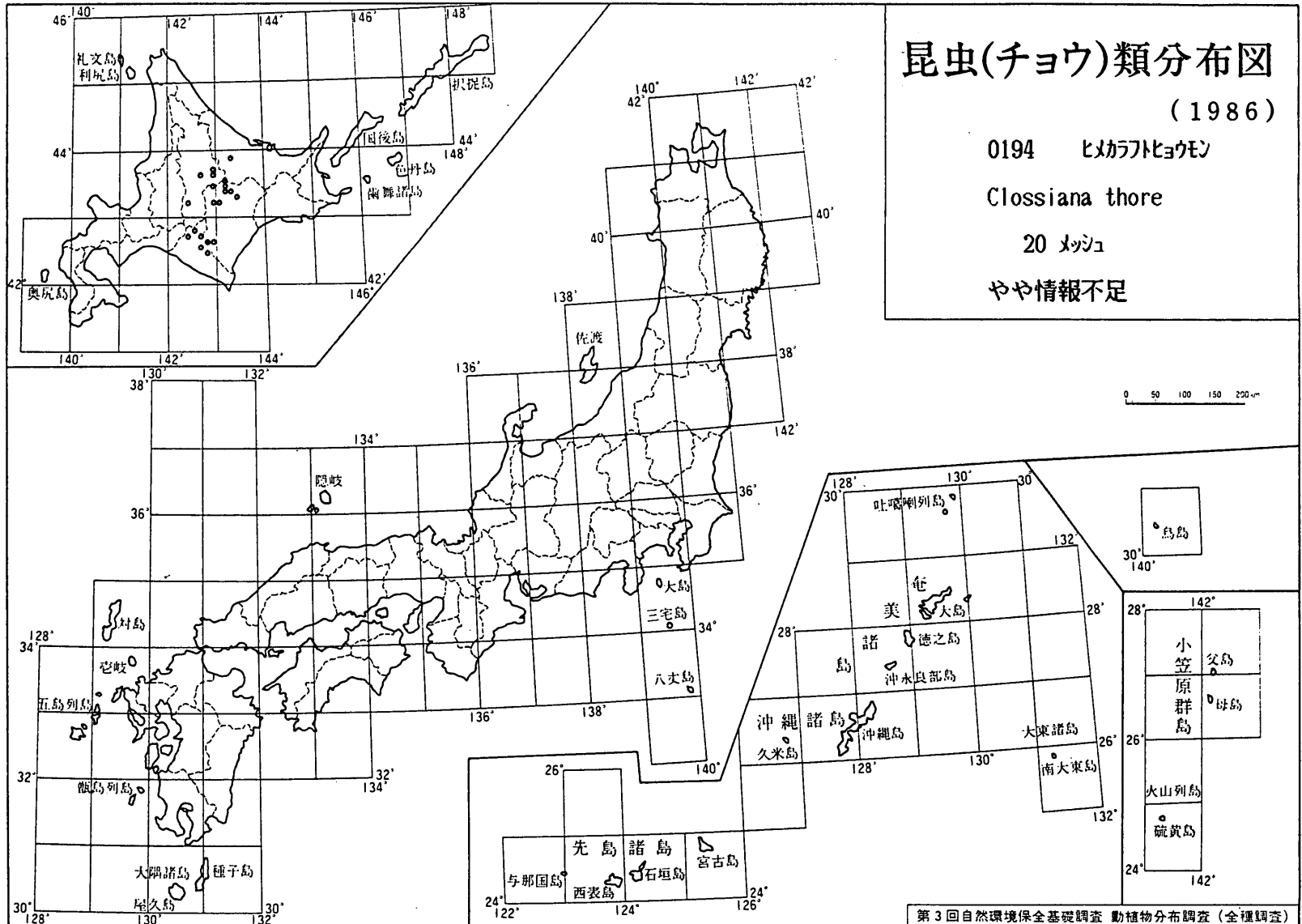
(1986)

0194 ヒメカマフヒョウモン

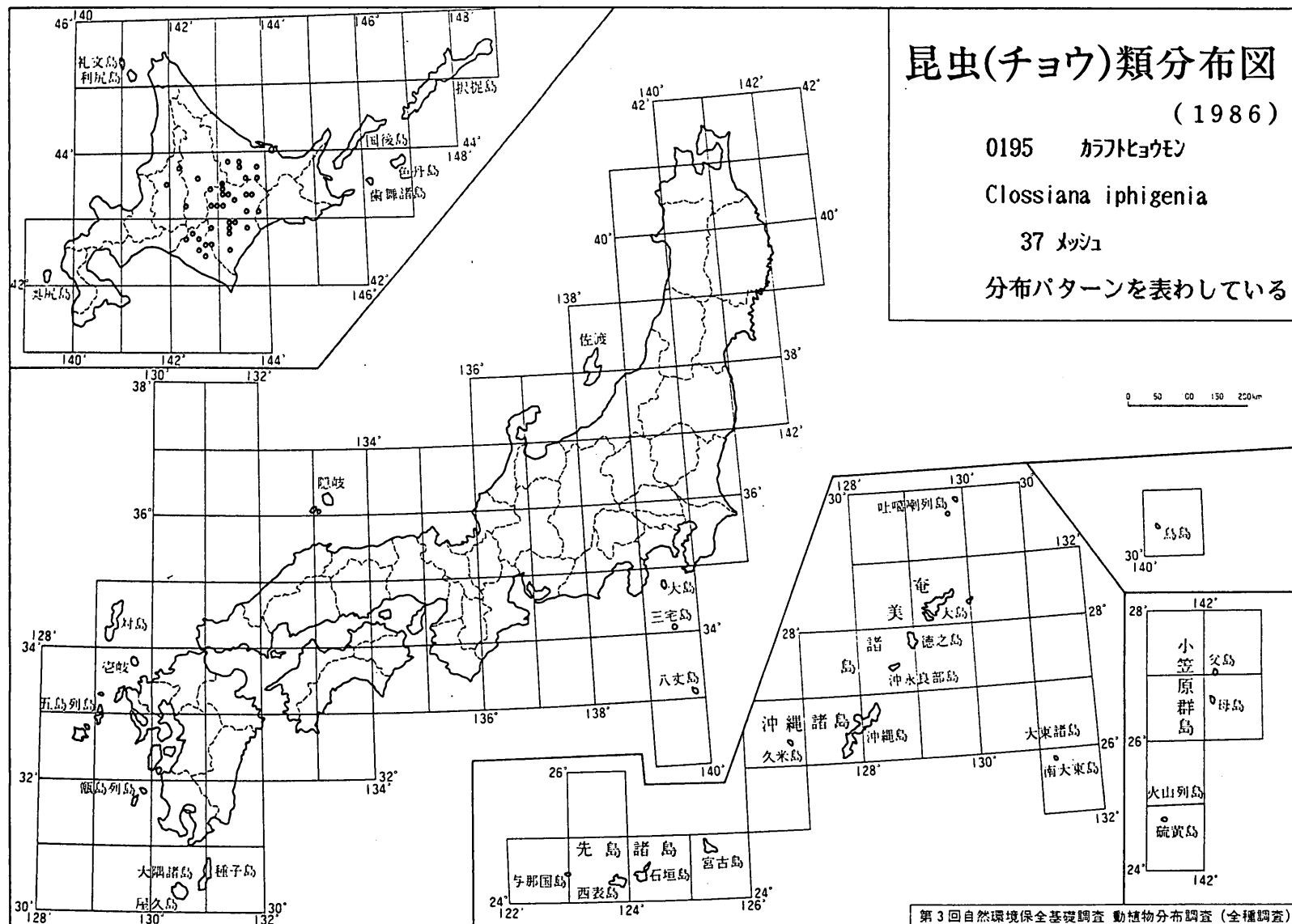
Clossiana thore

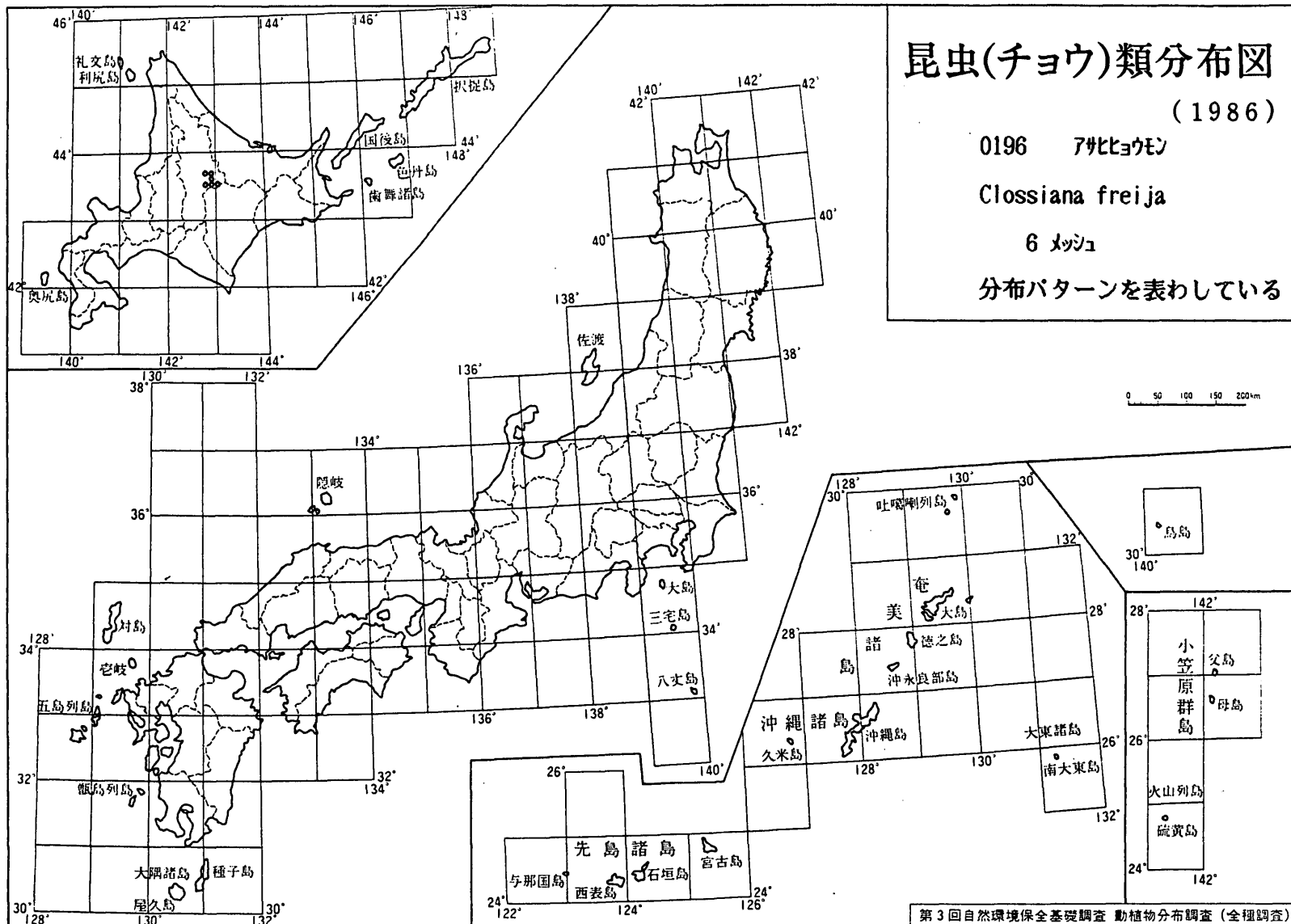
20 メッシュ

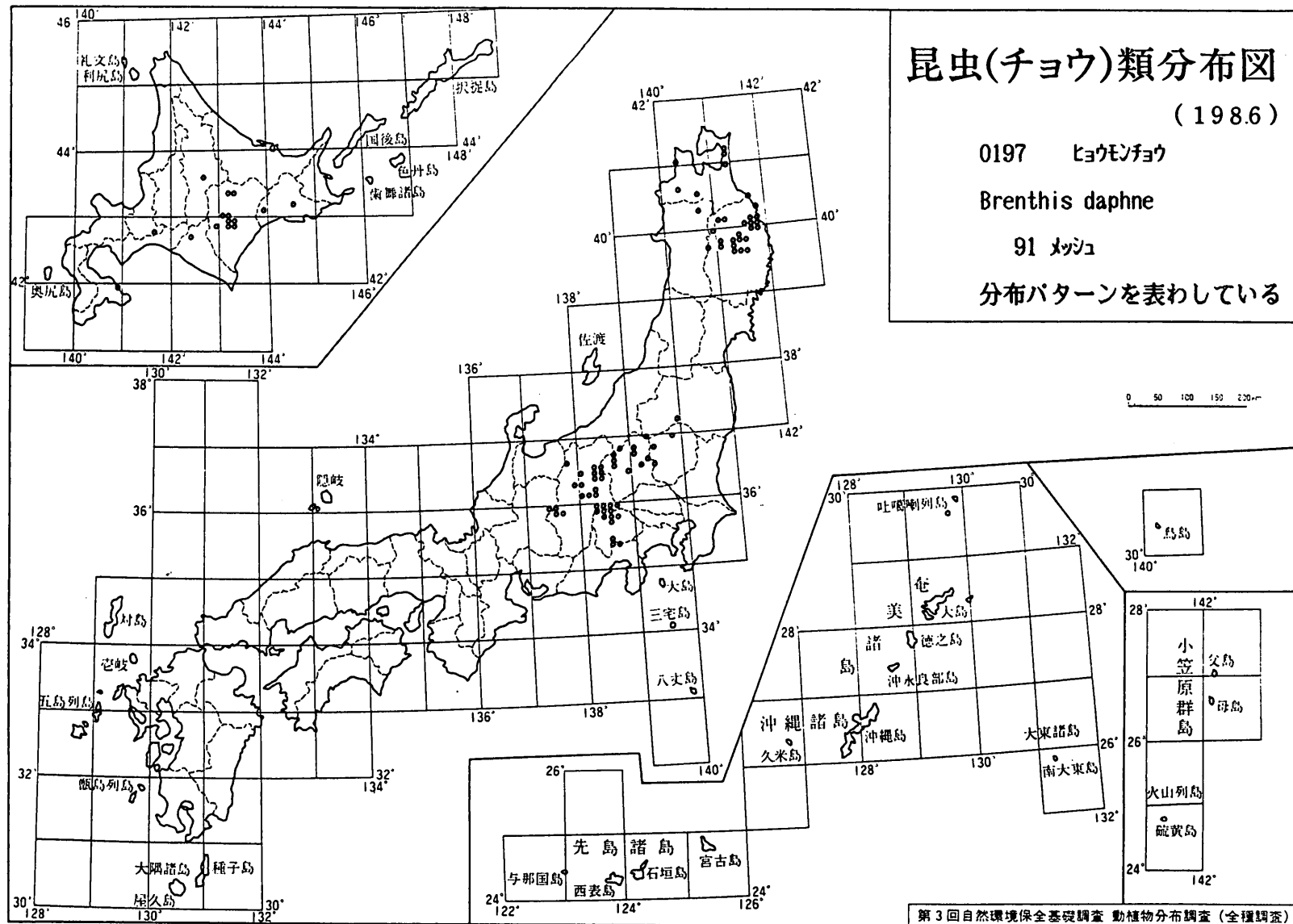
やや情報不足

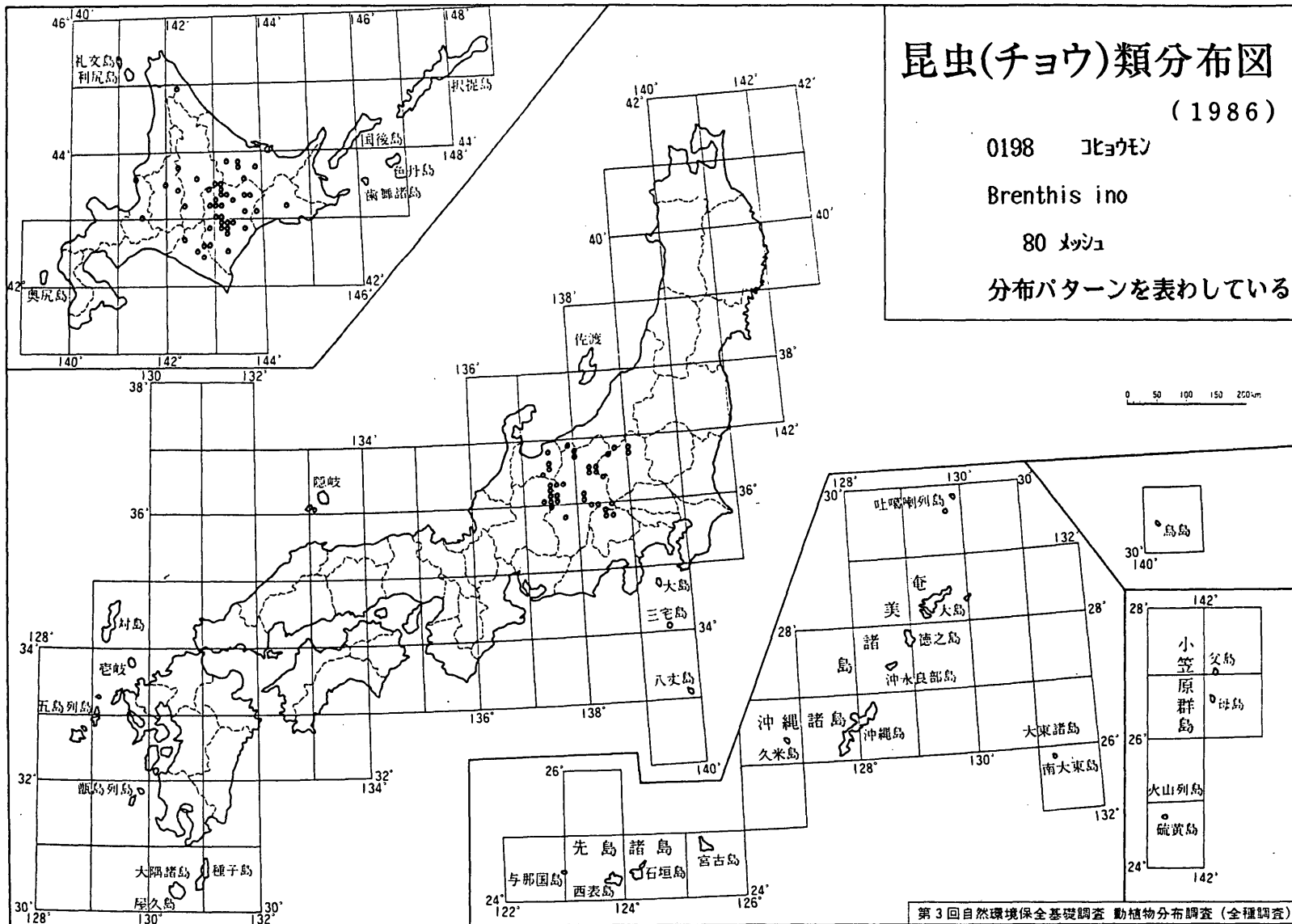


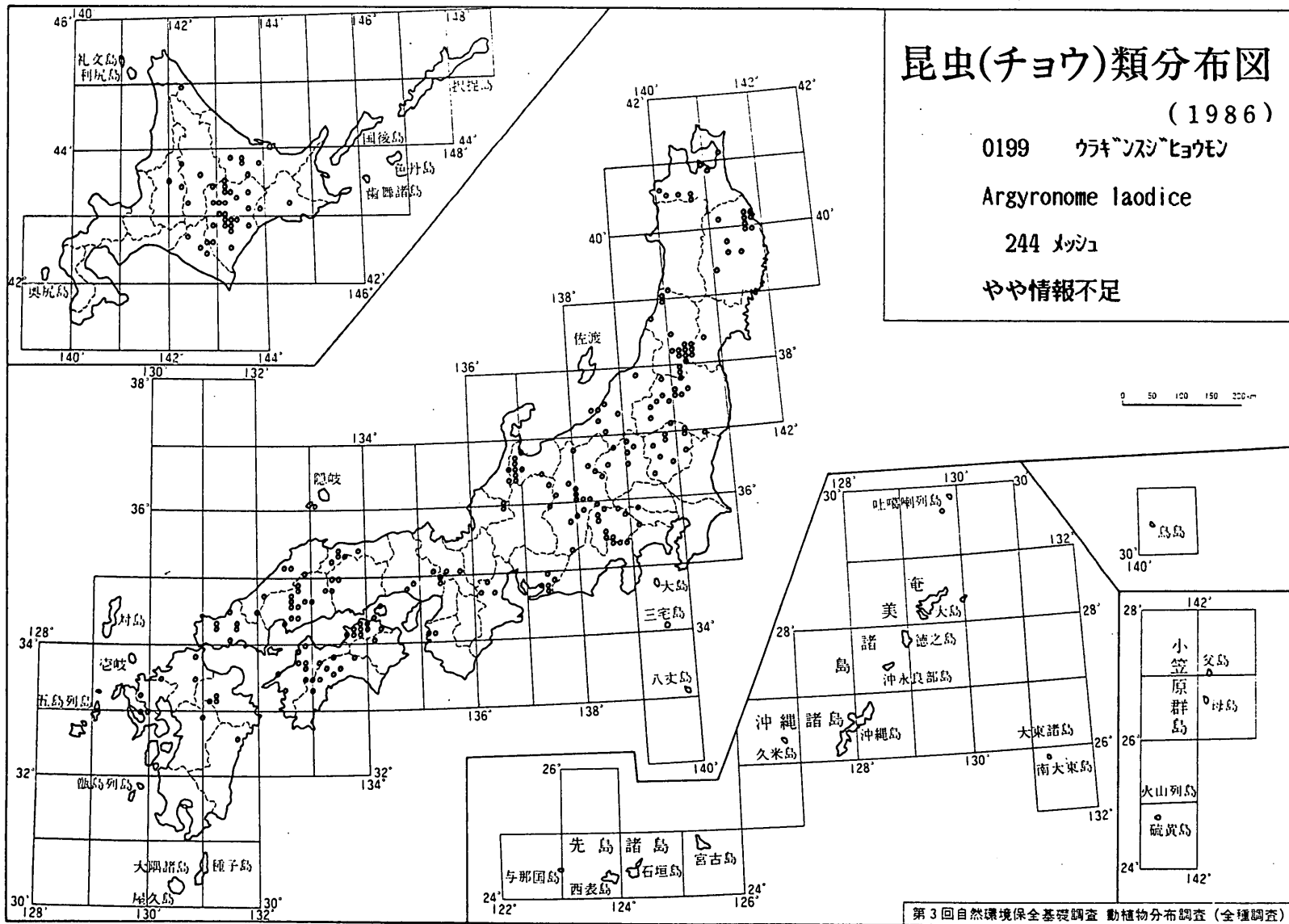
第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

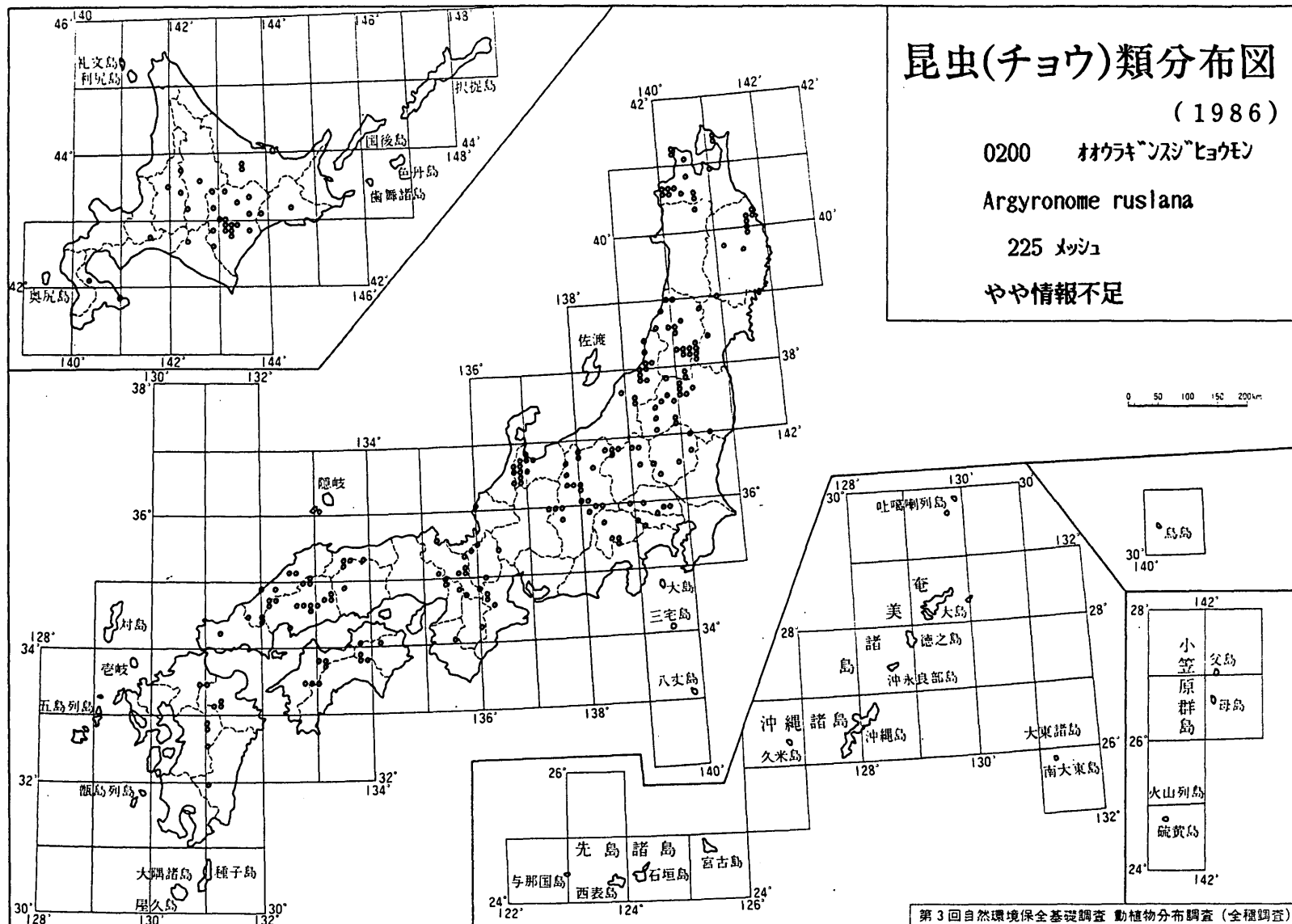


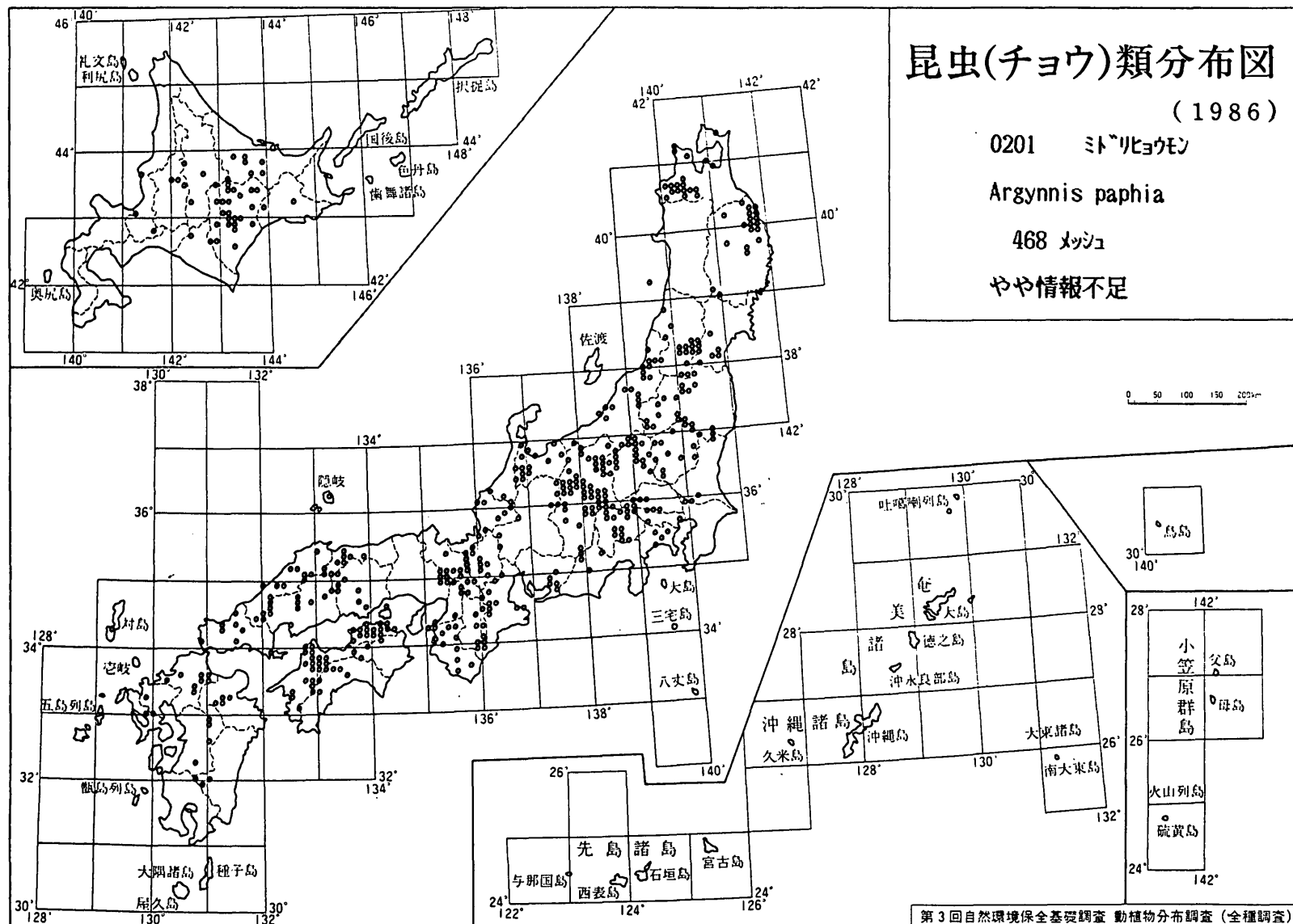


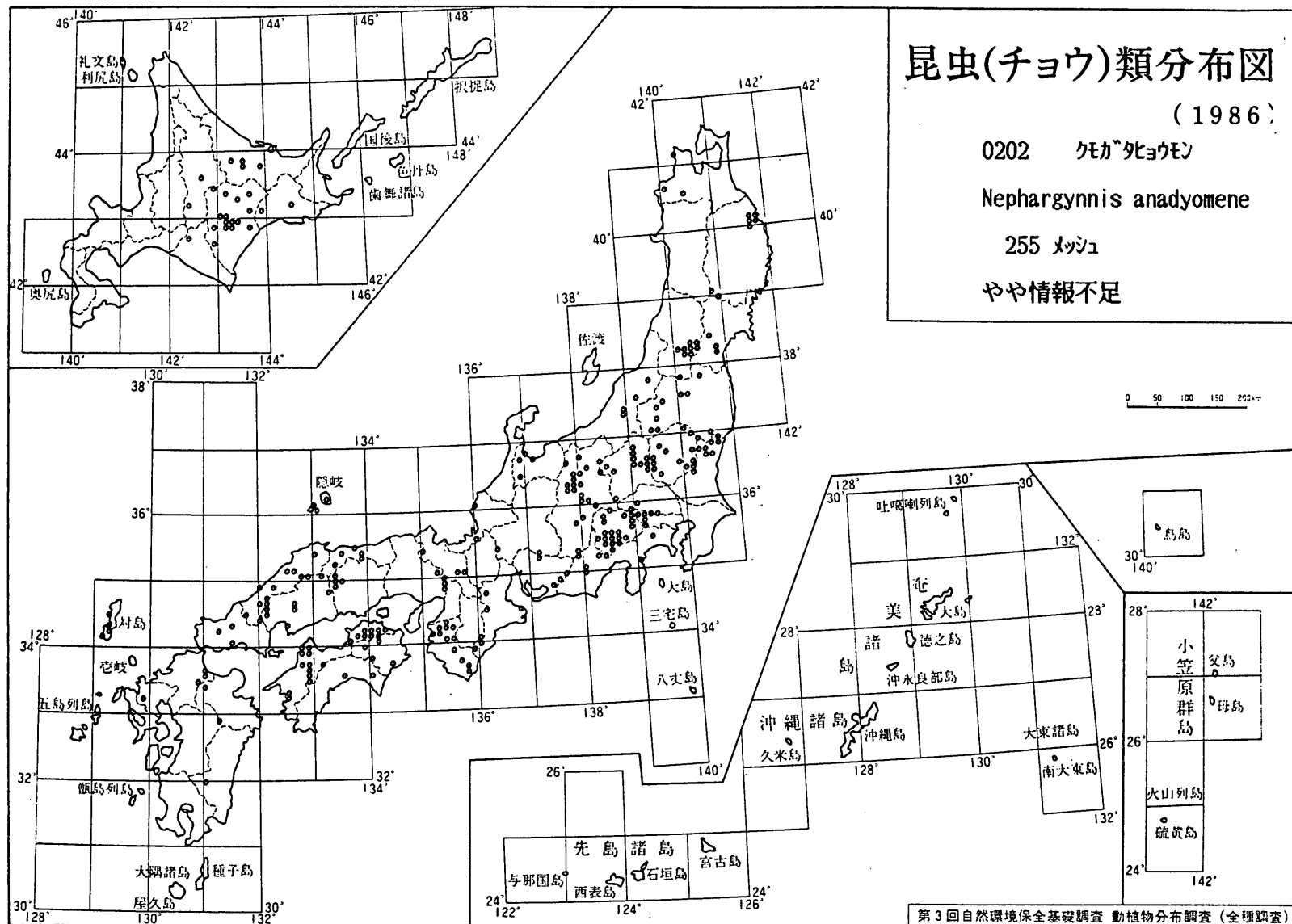


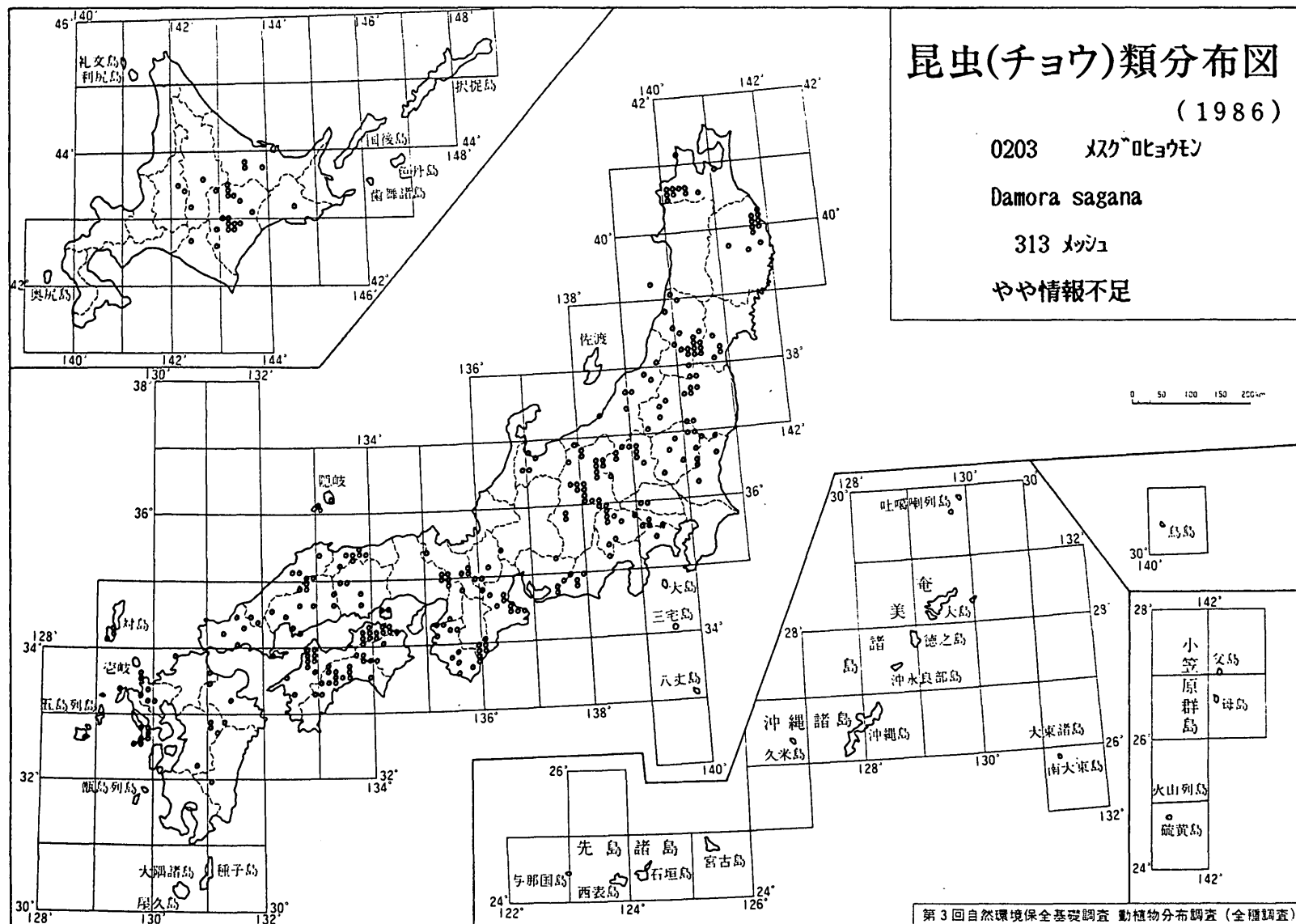


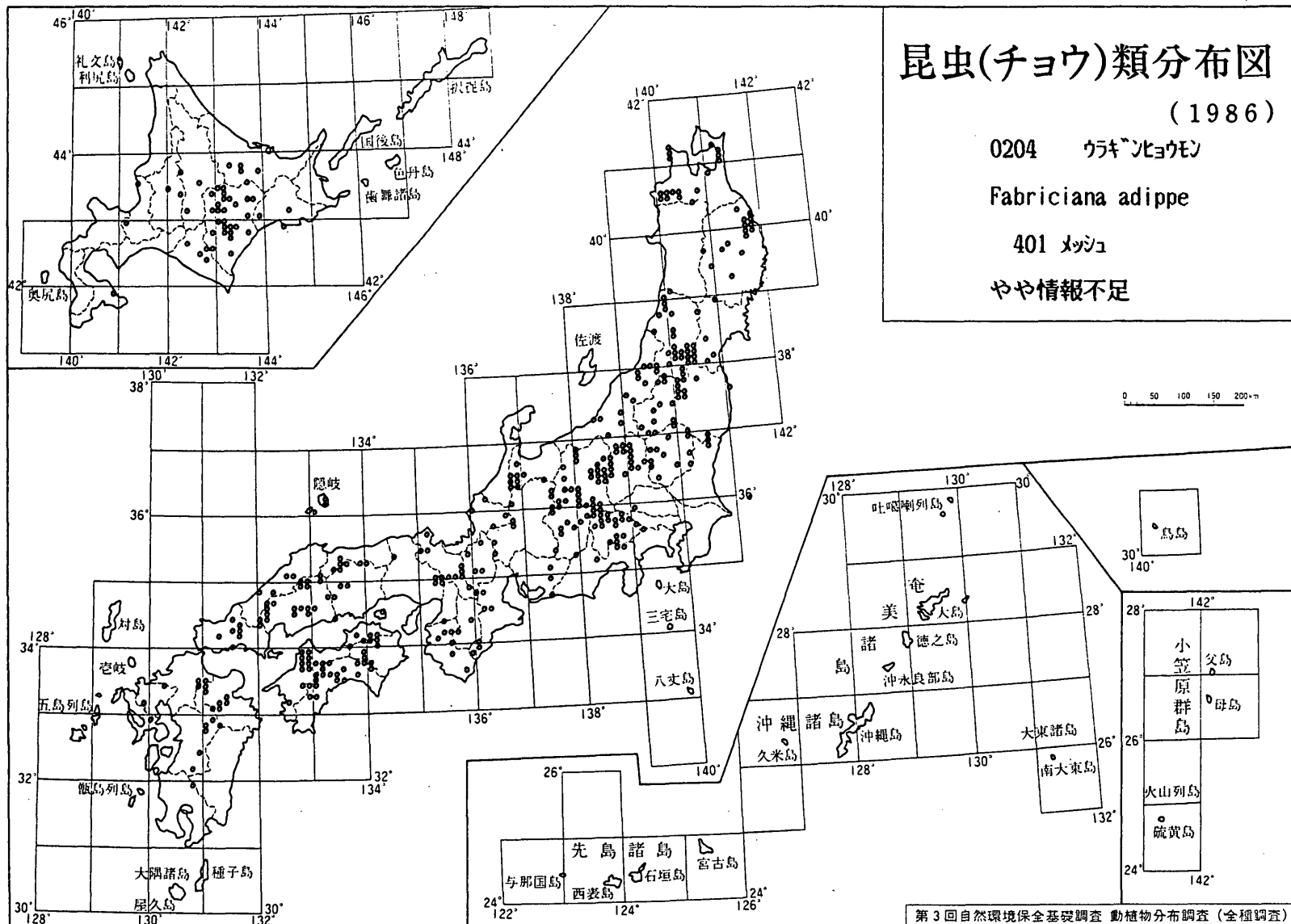


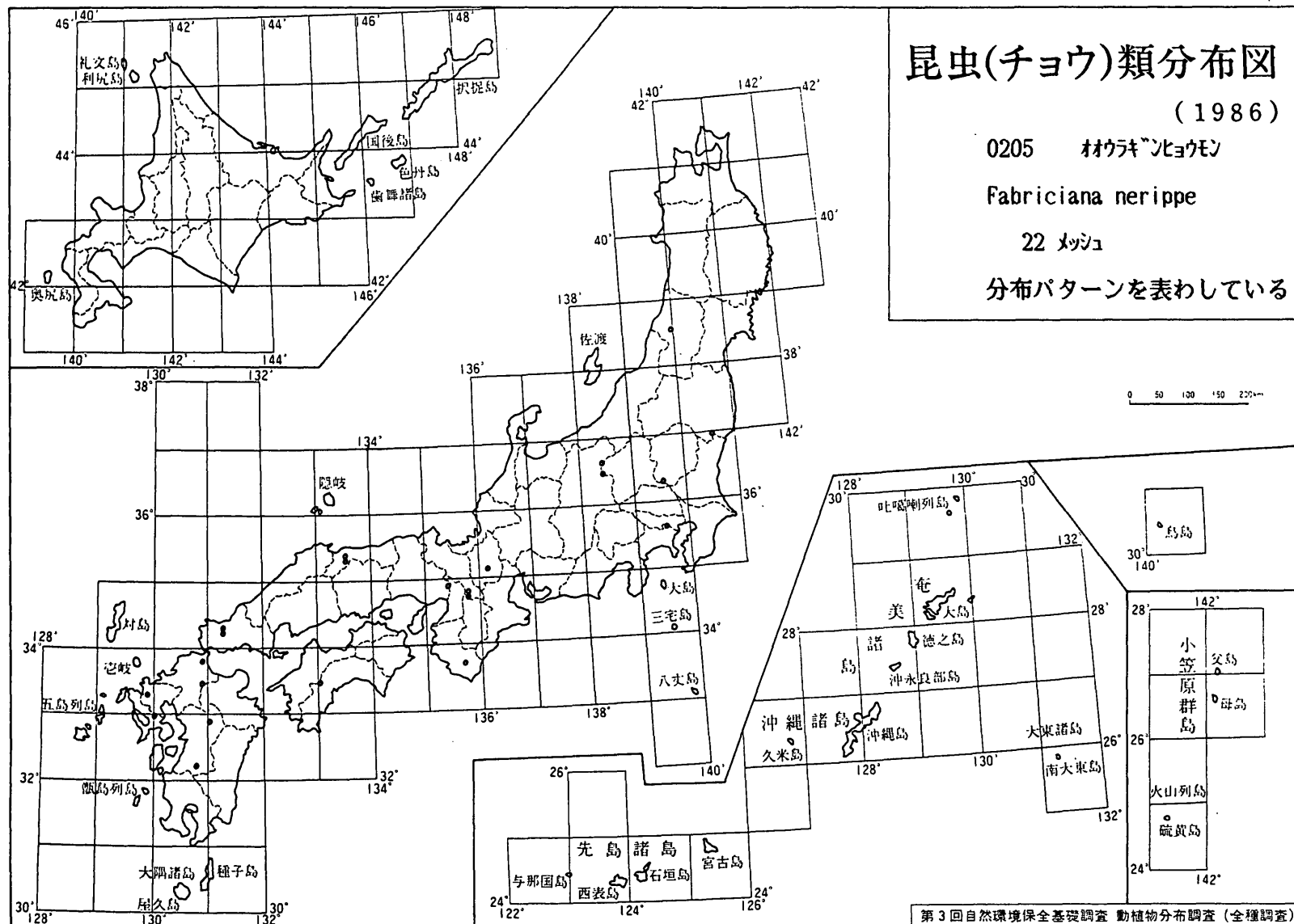


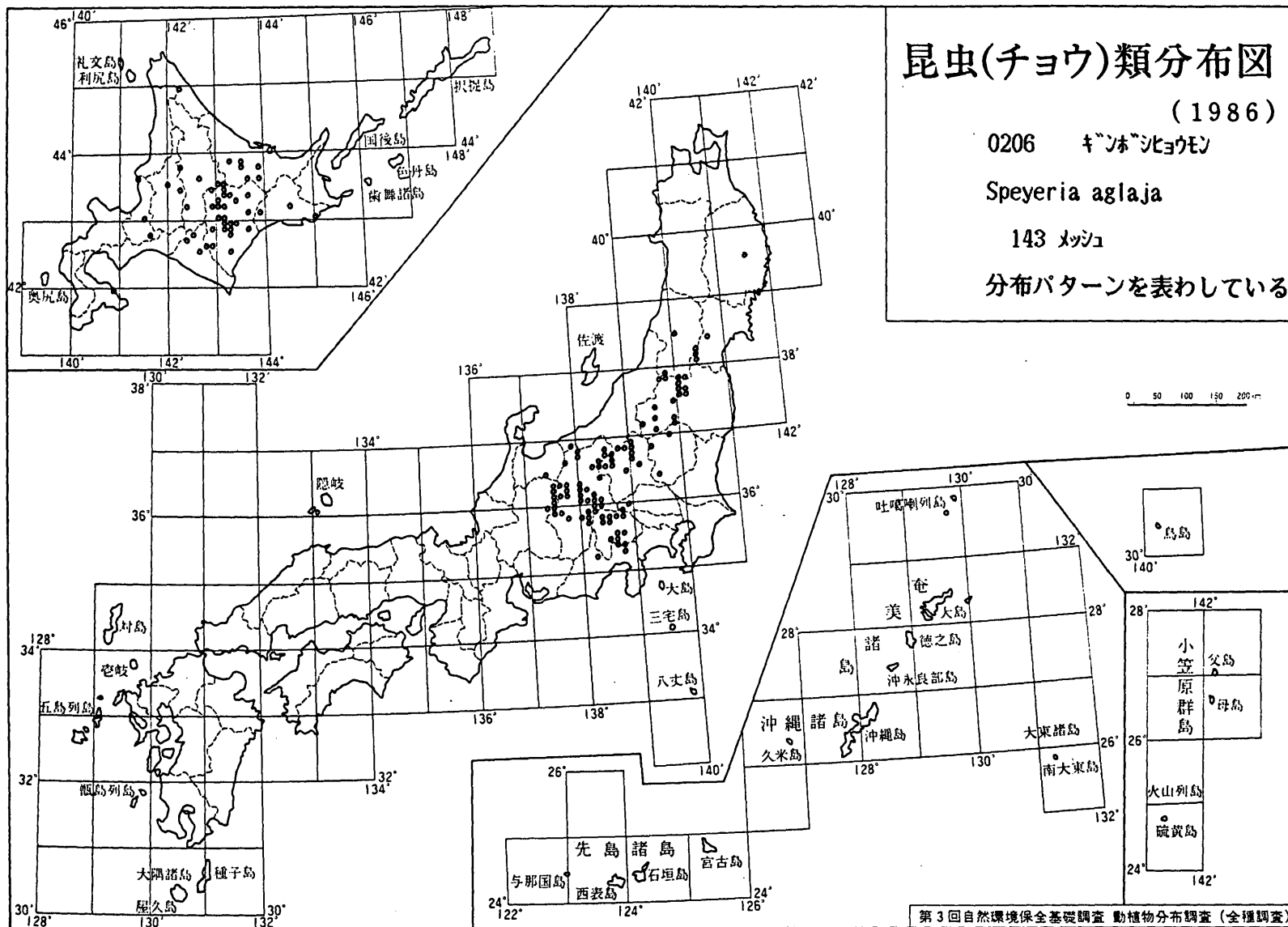


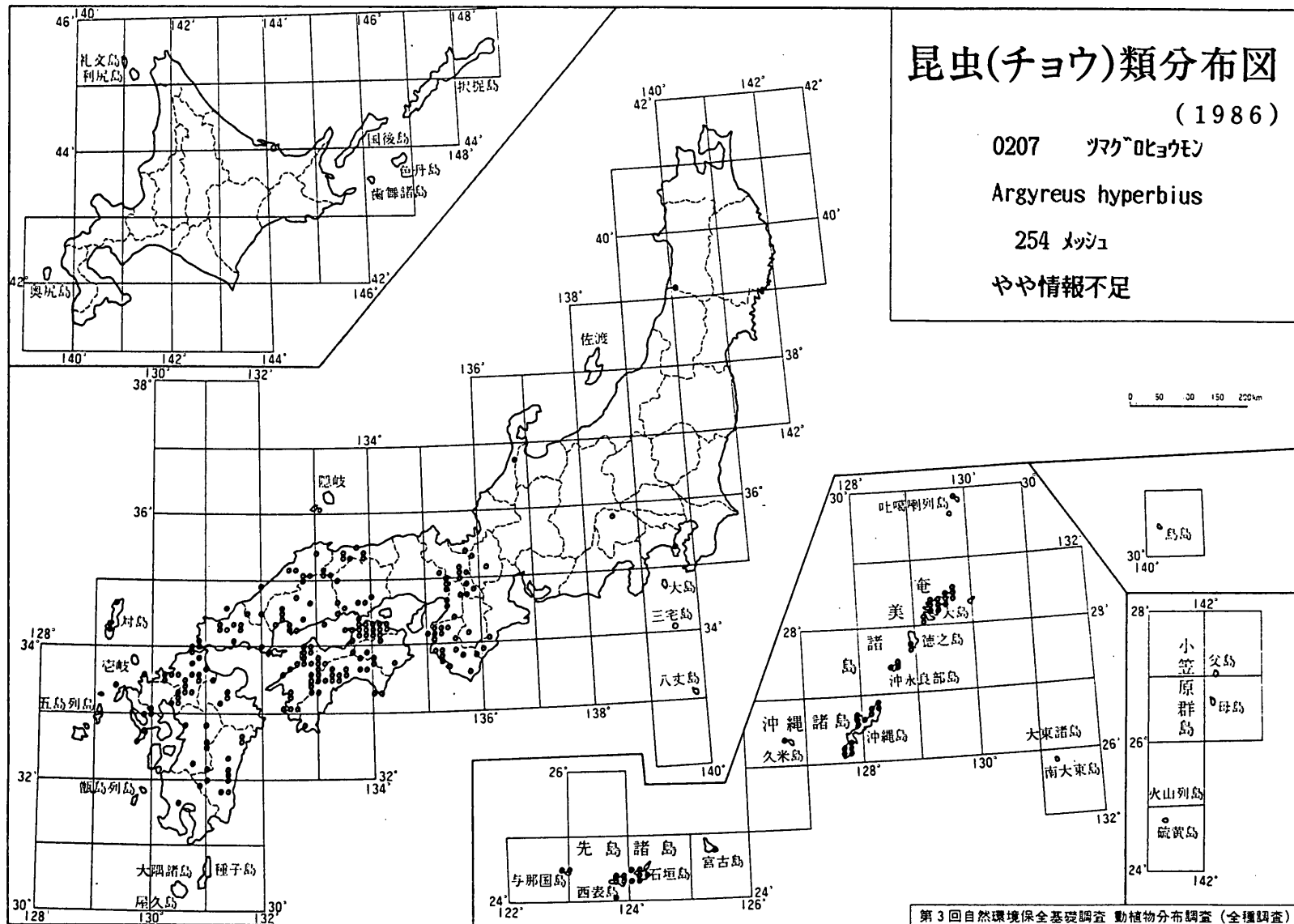


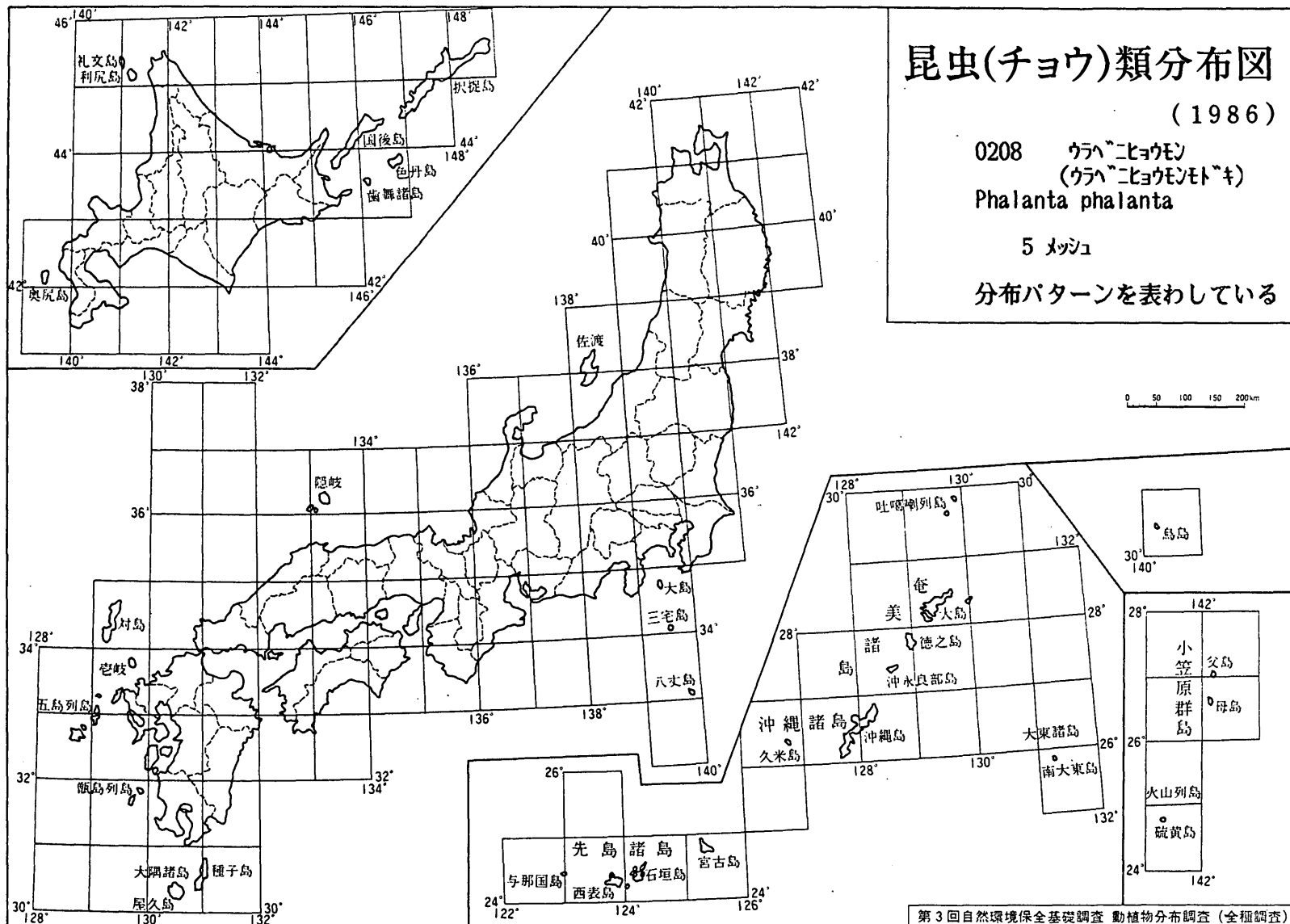


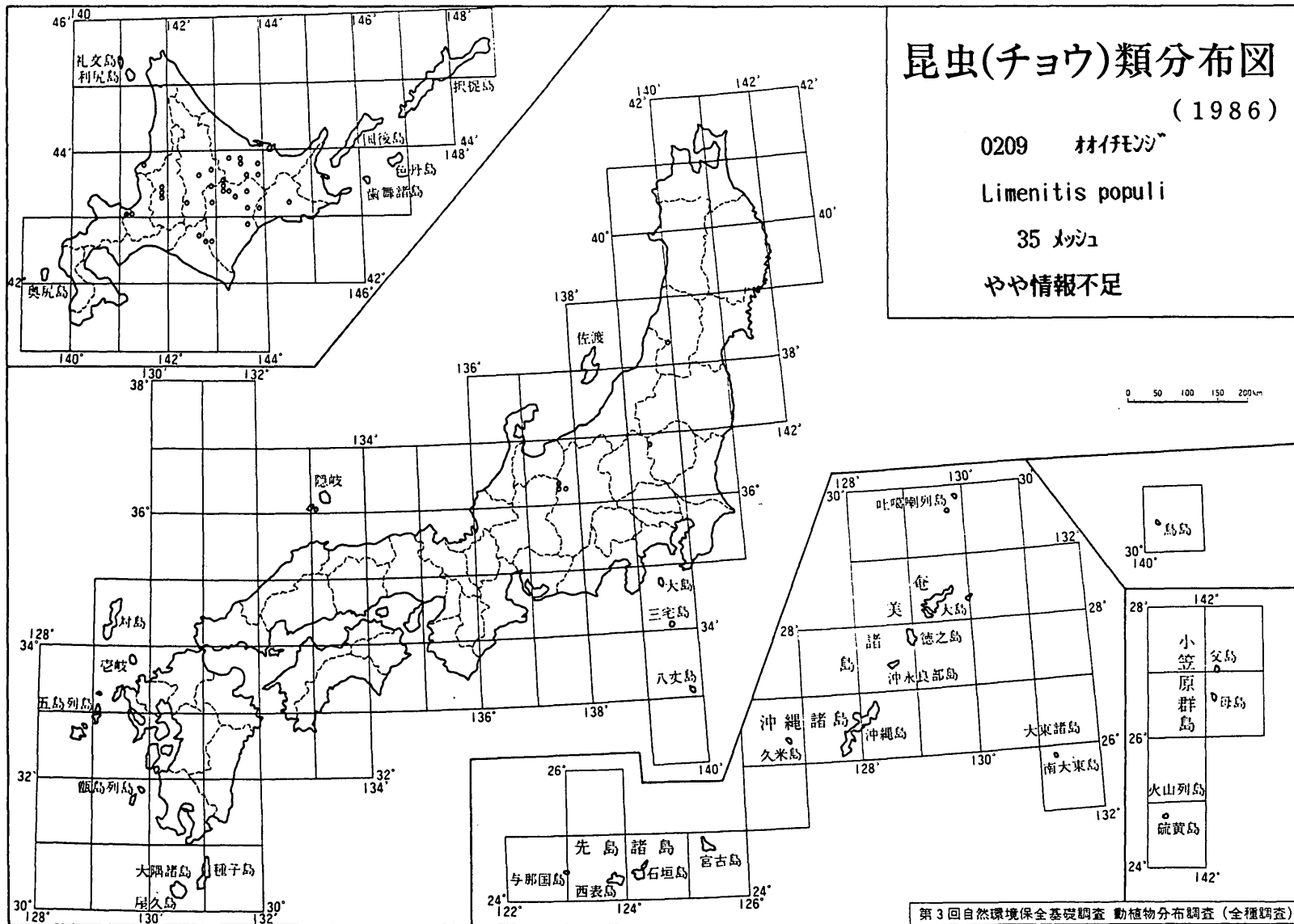


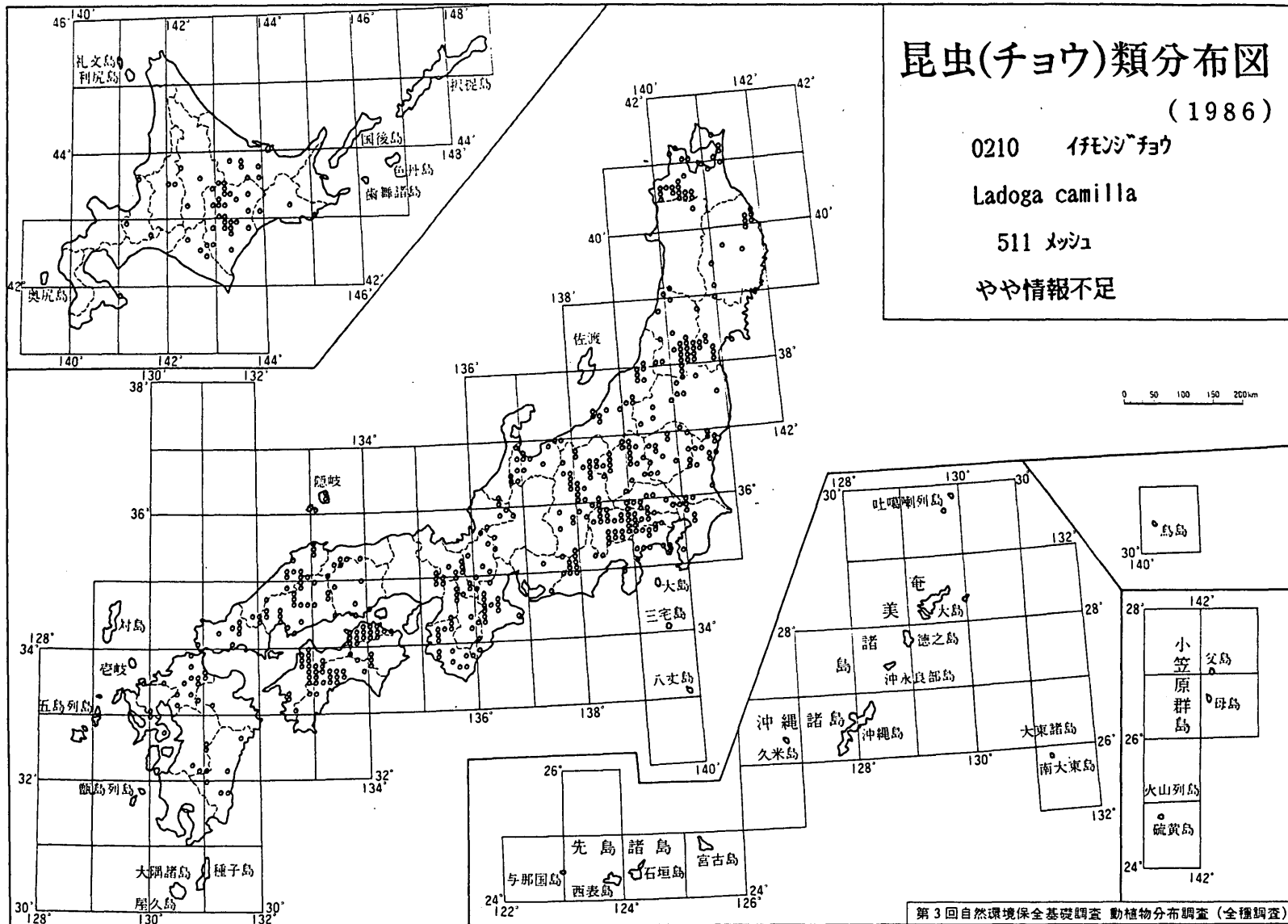


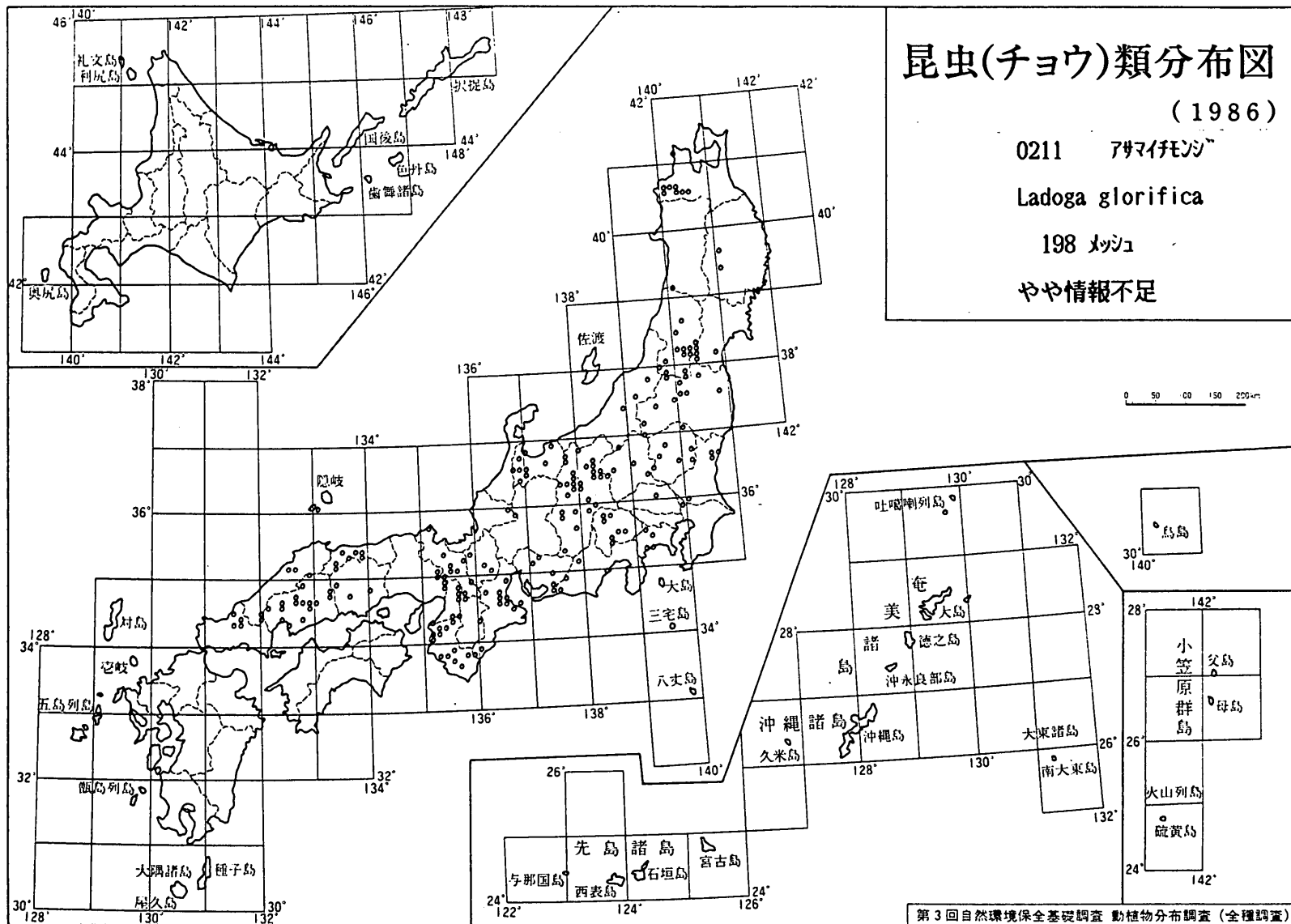


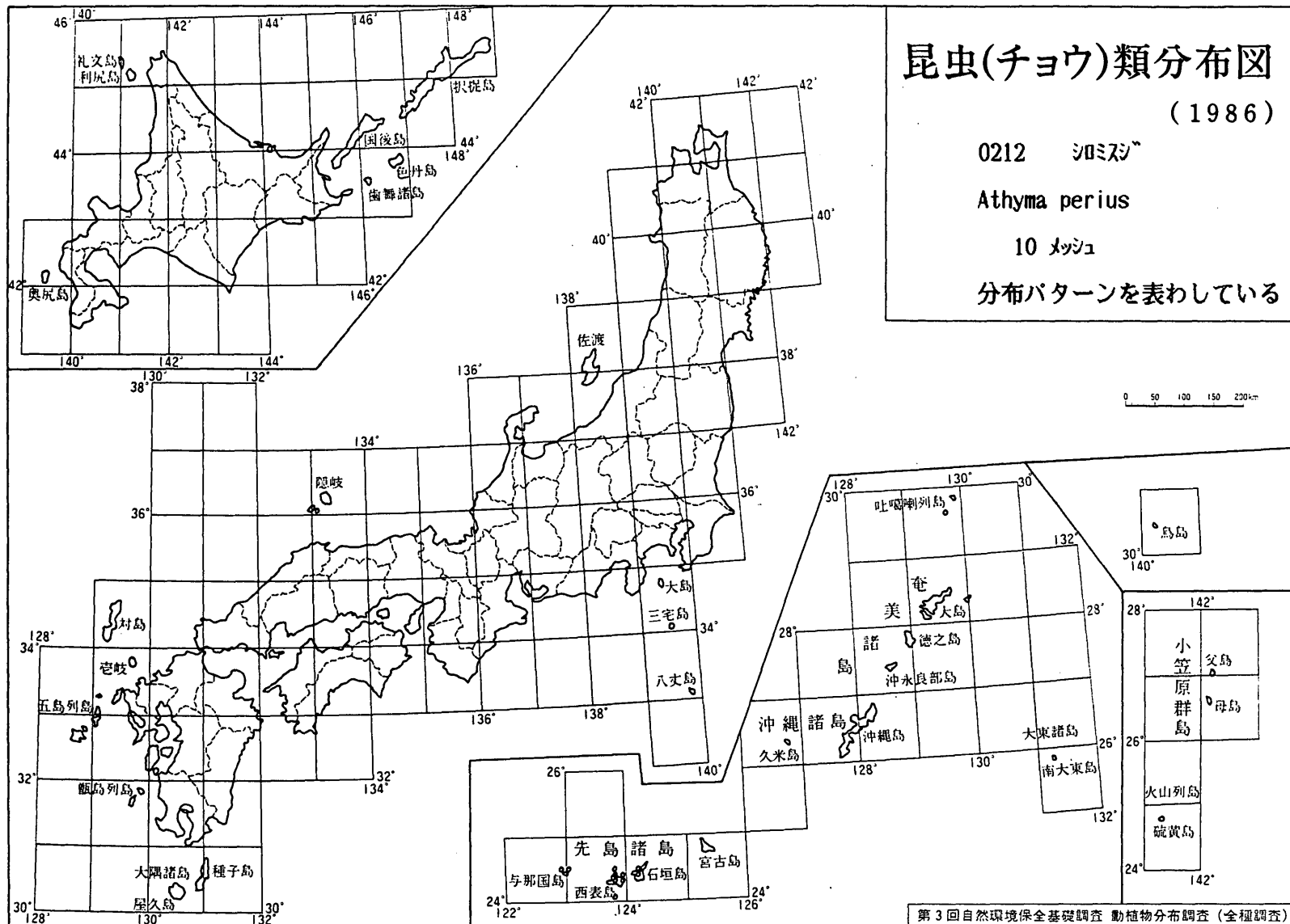


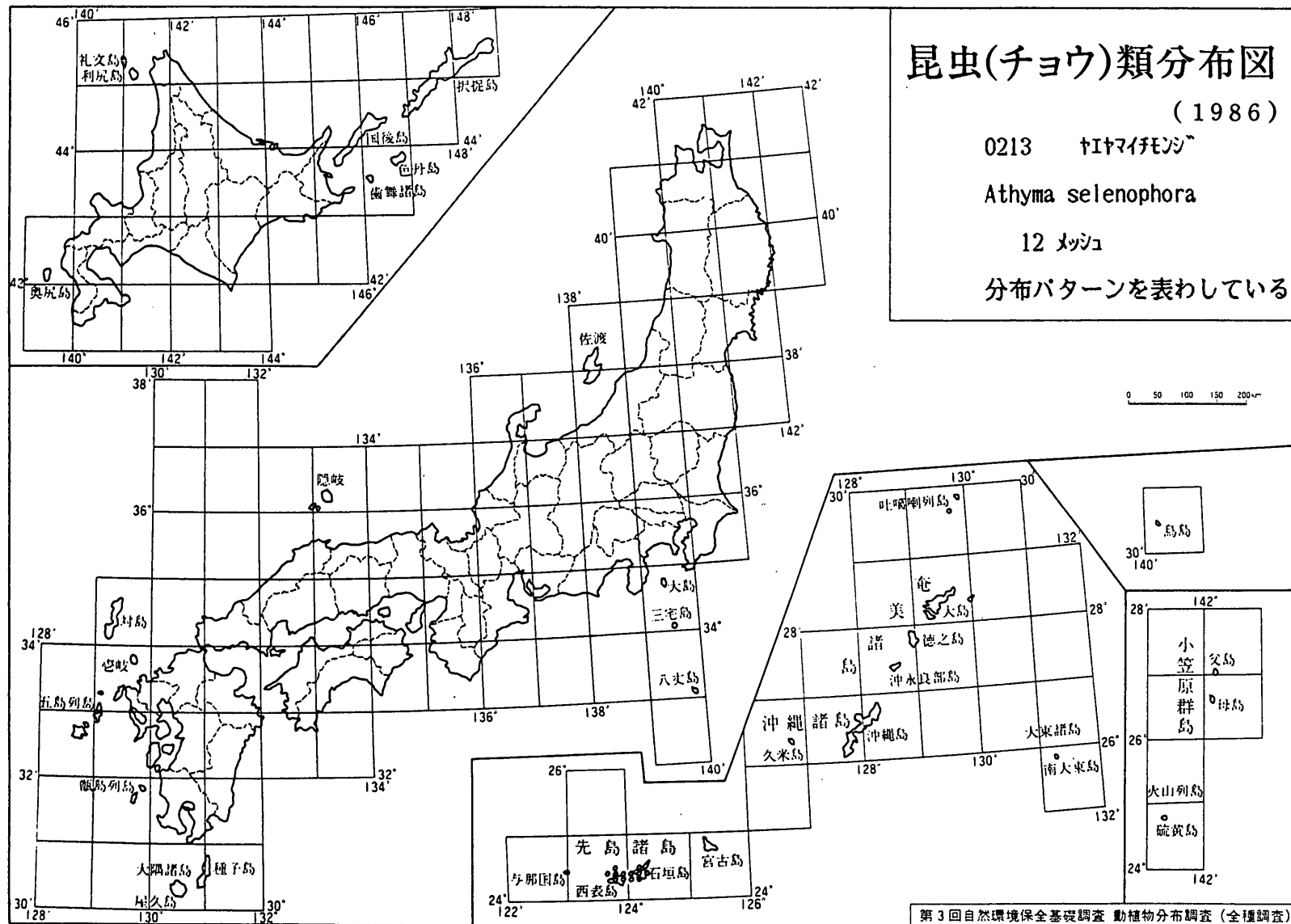












昆虫(チョウ)類分布図

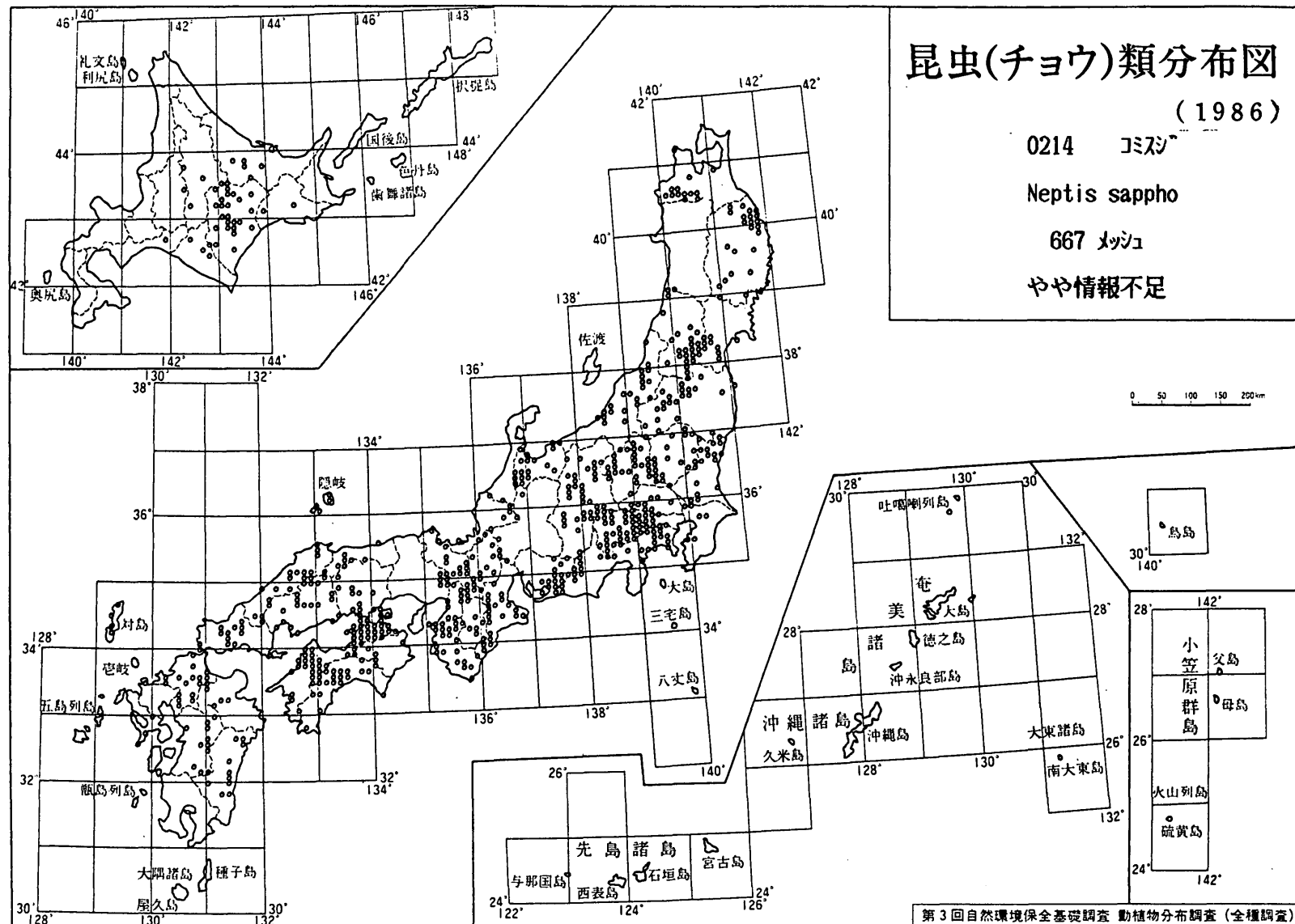
(1986)

0214 コミスジ

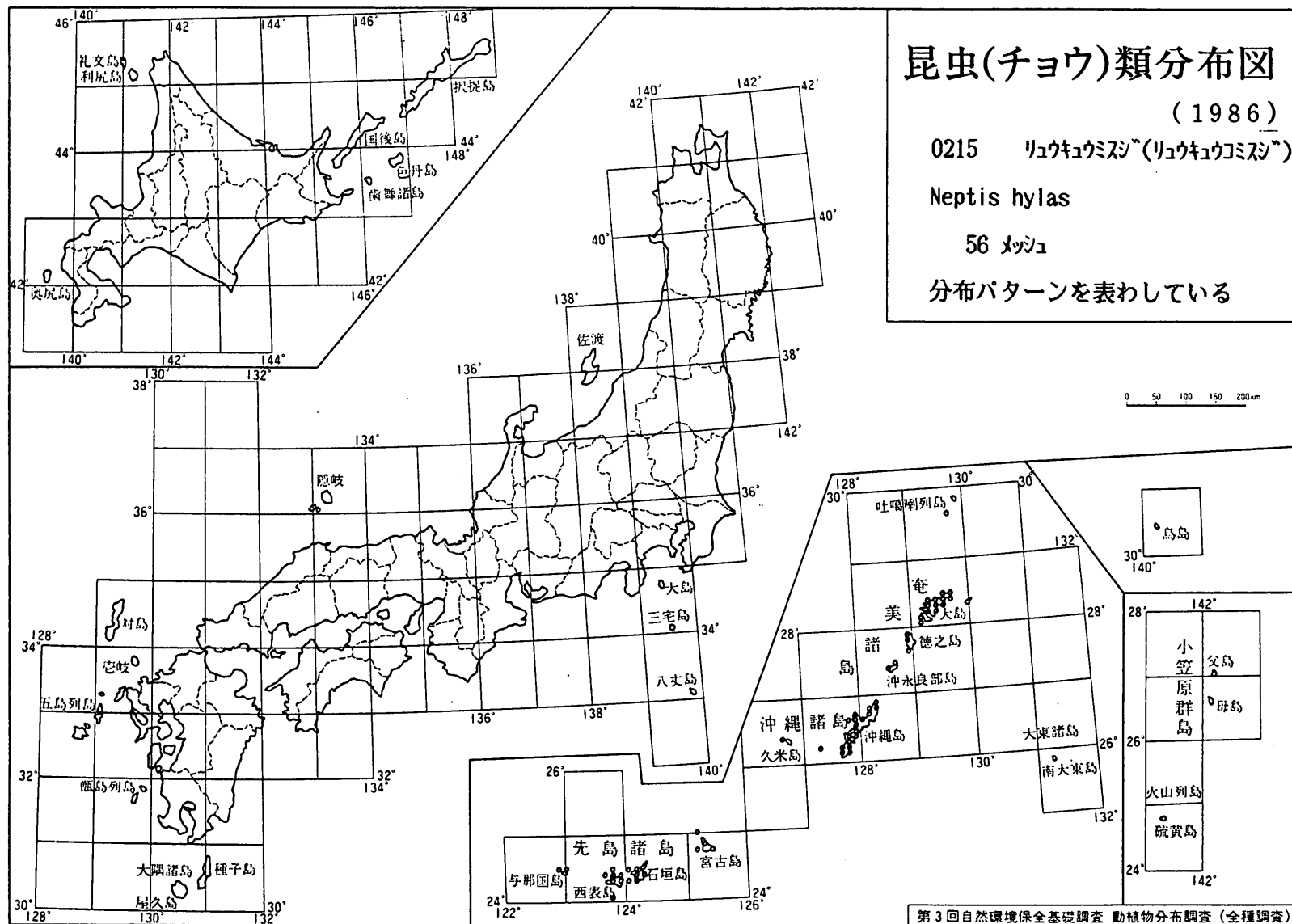
Neptis sappho

667 メッソ

やや情報不足



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)



昆虫(チョウ)類分布図

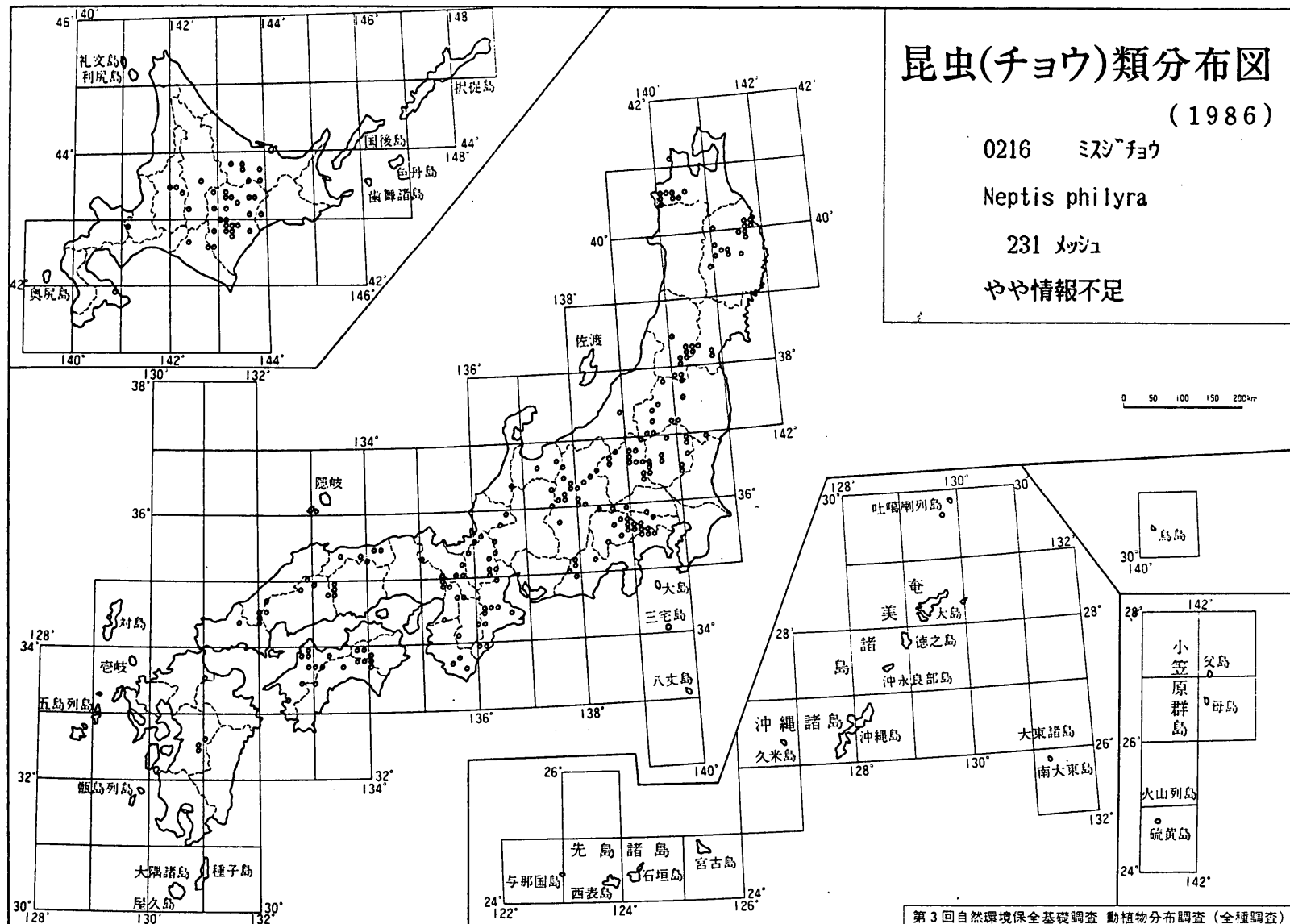
(1986)

0216 ミシチョウ

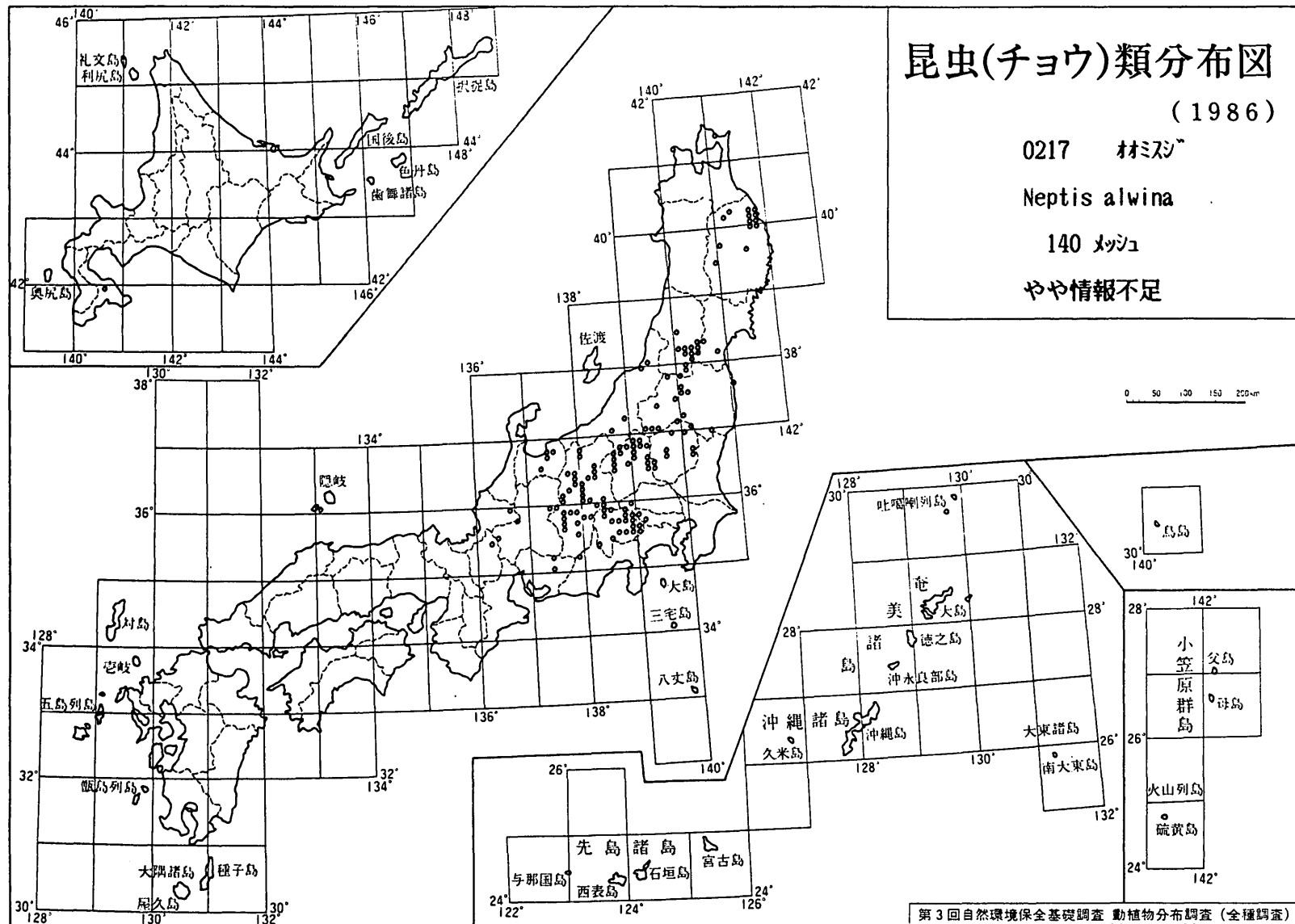
Neptis philyra

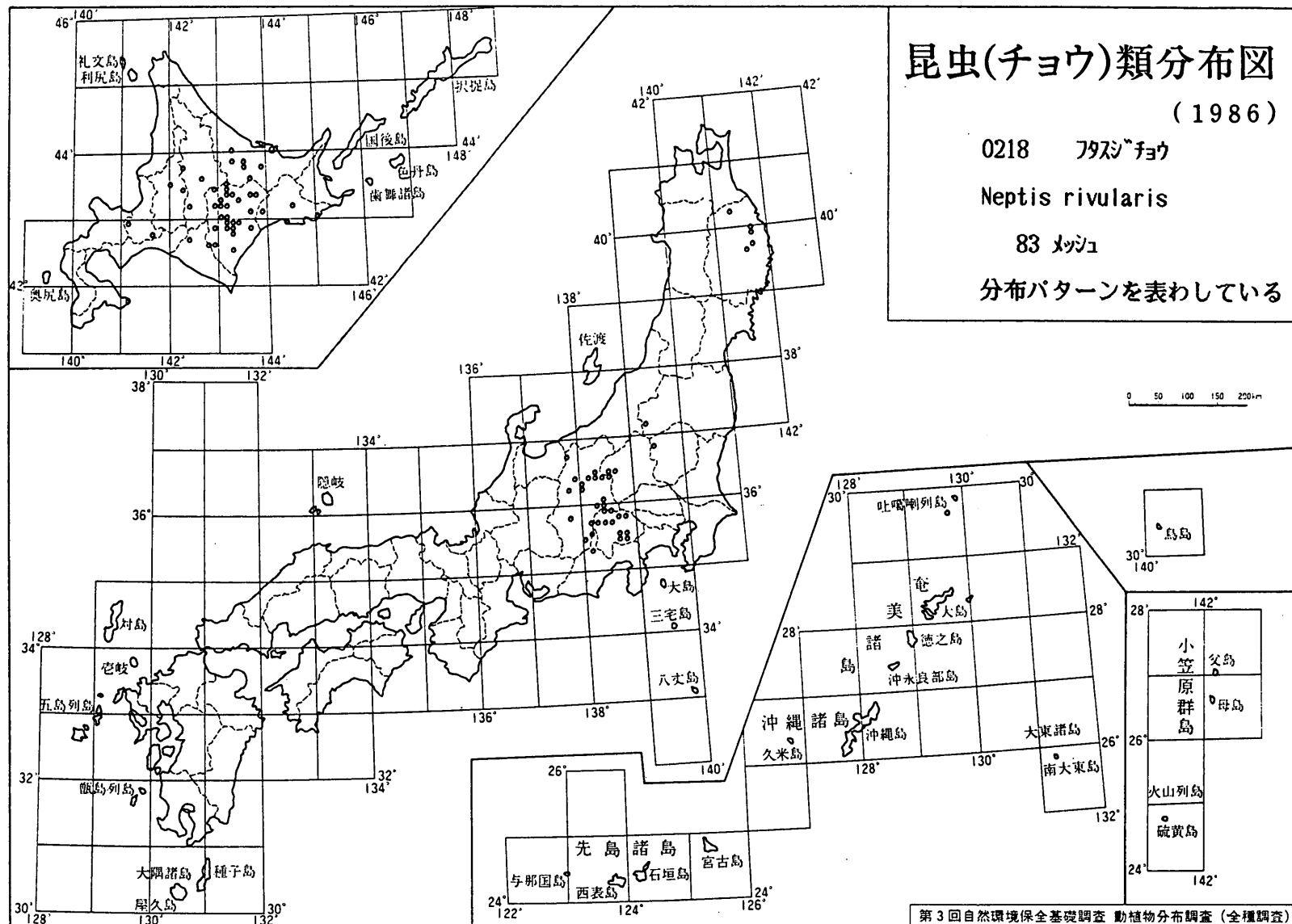
231 メシジロ

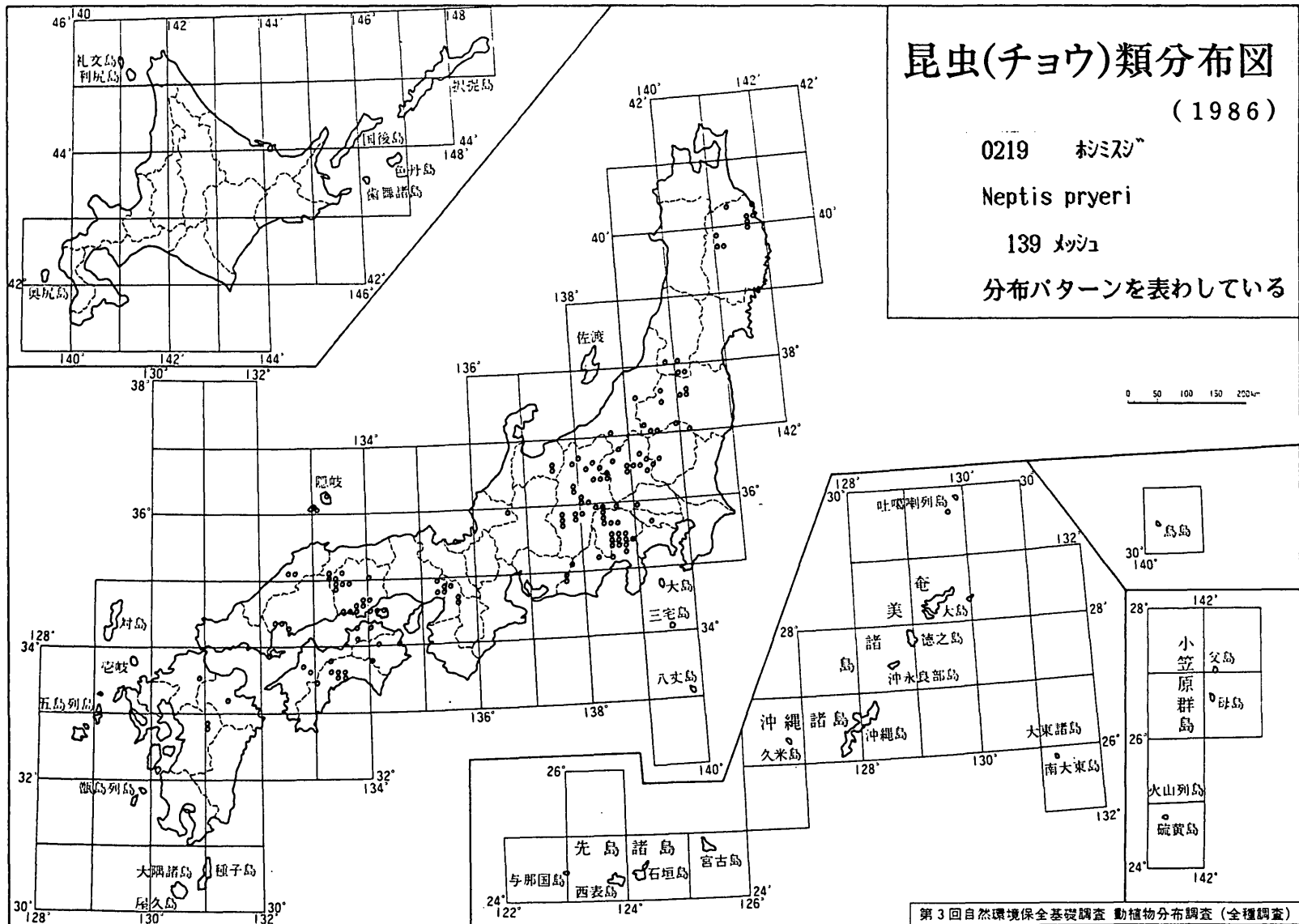
やや情報不足

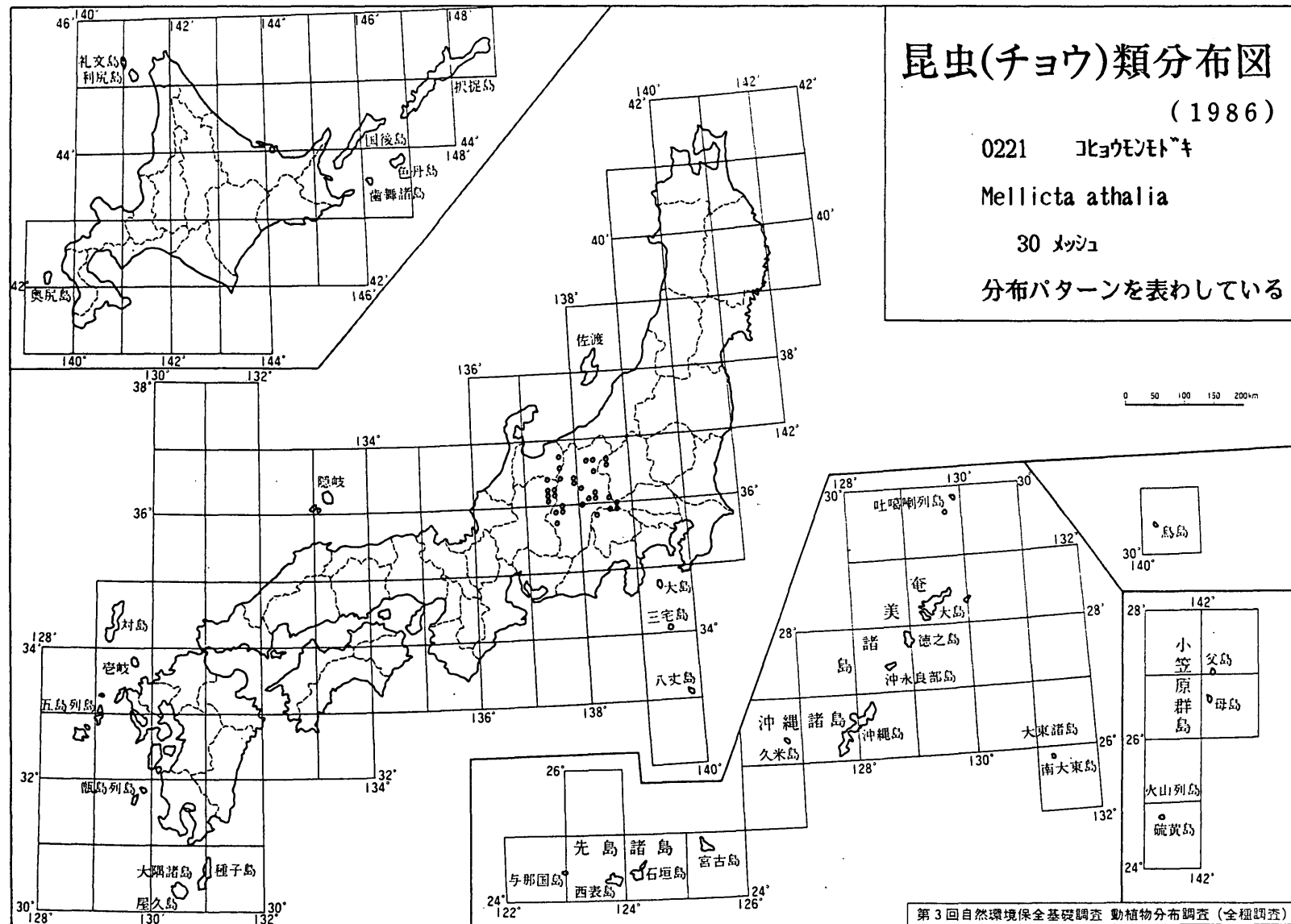


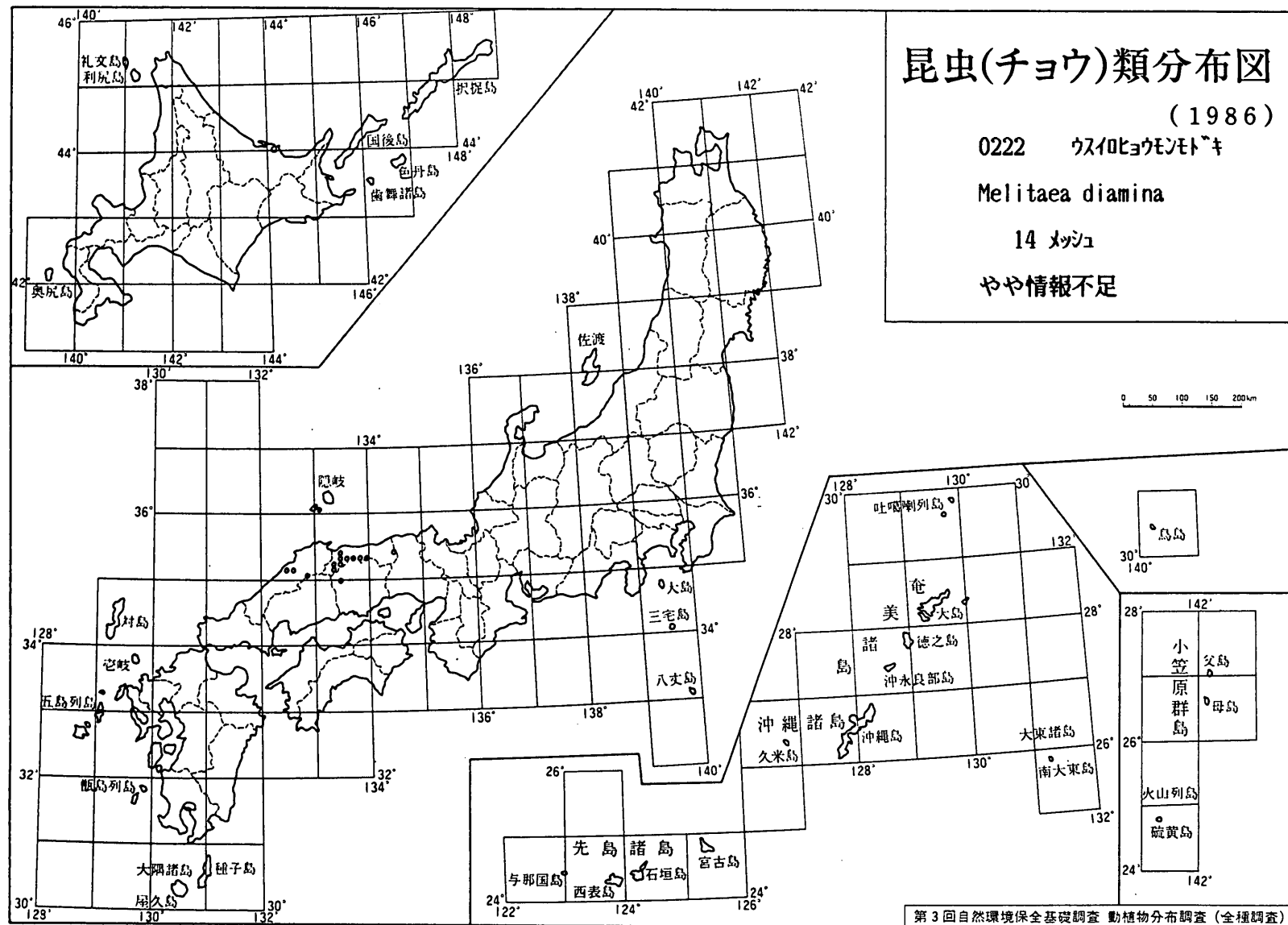
第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

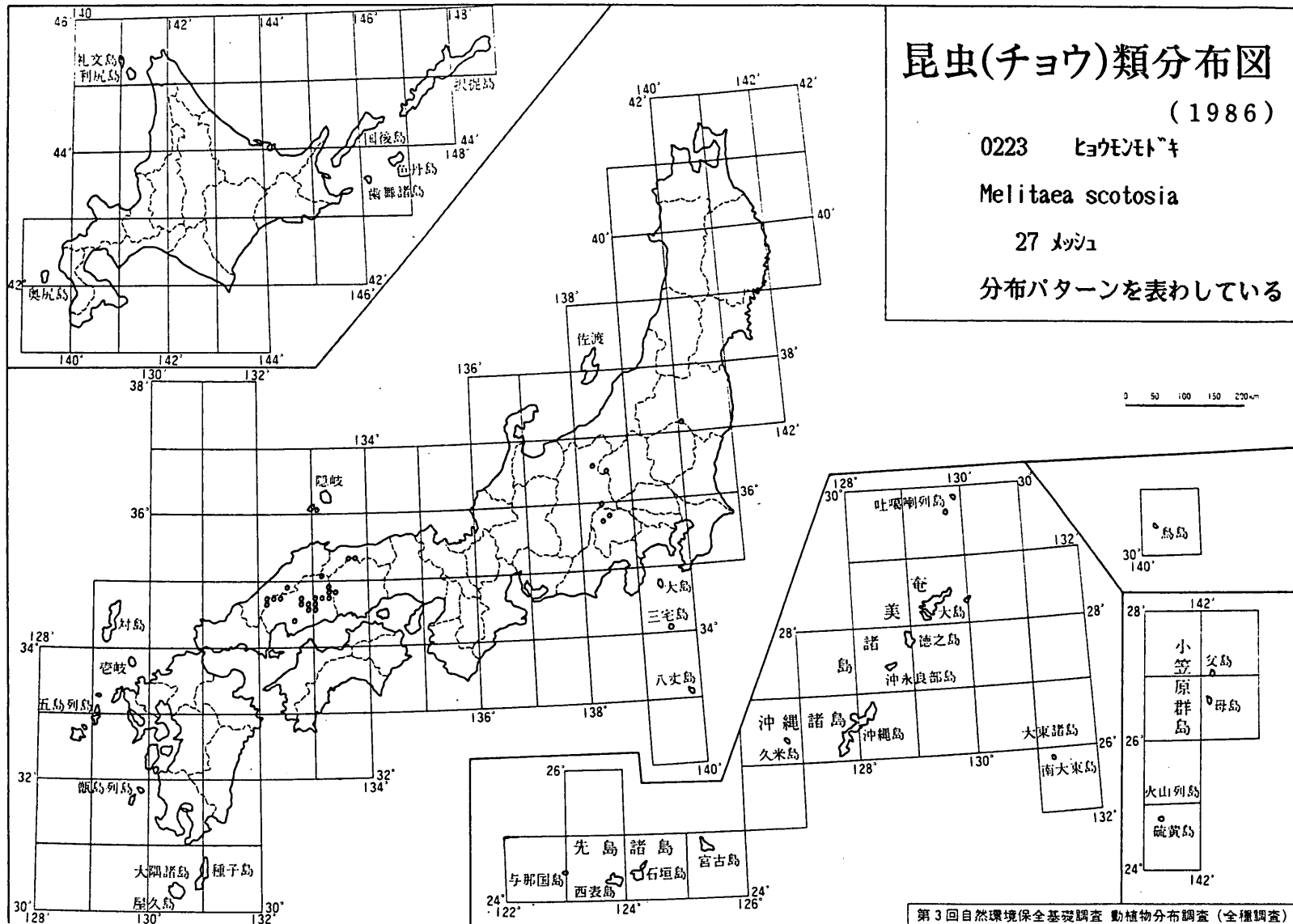


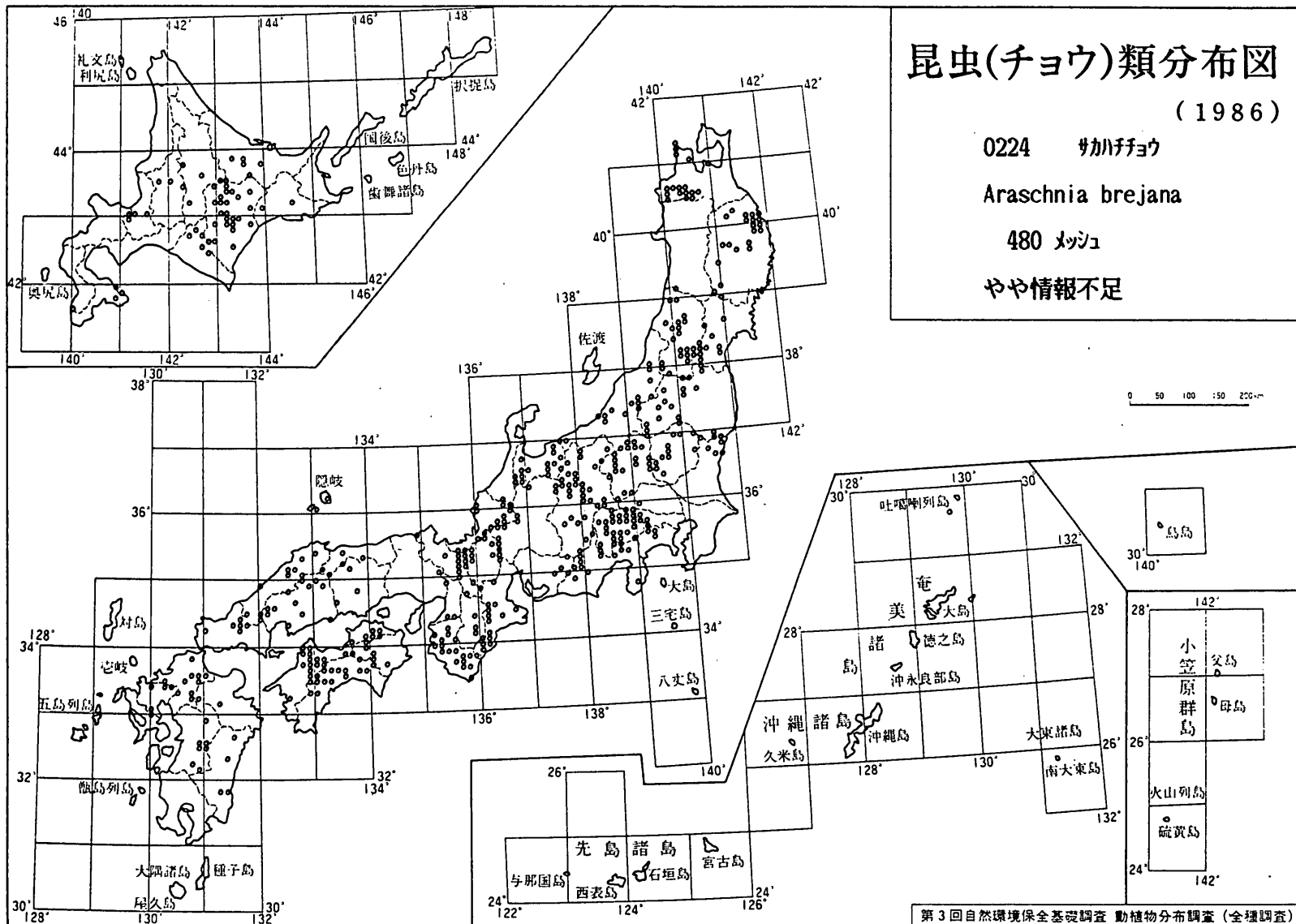












昆虫(チョウ)類分布図

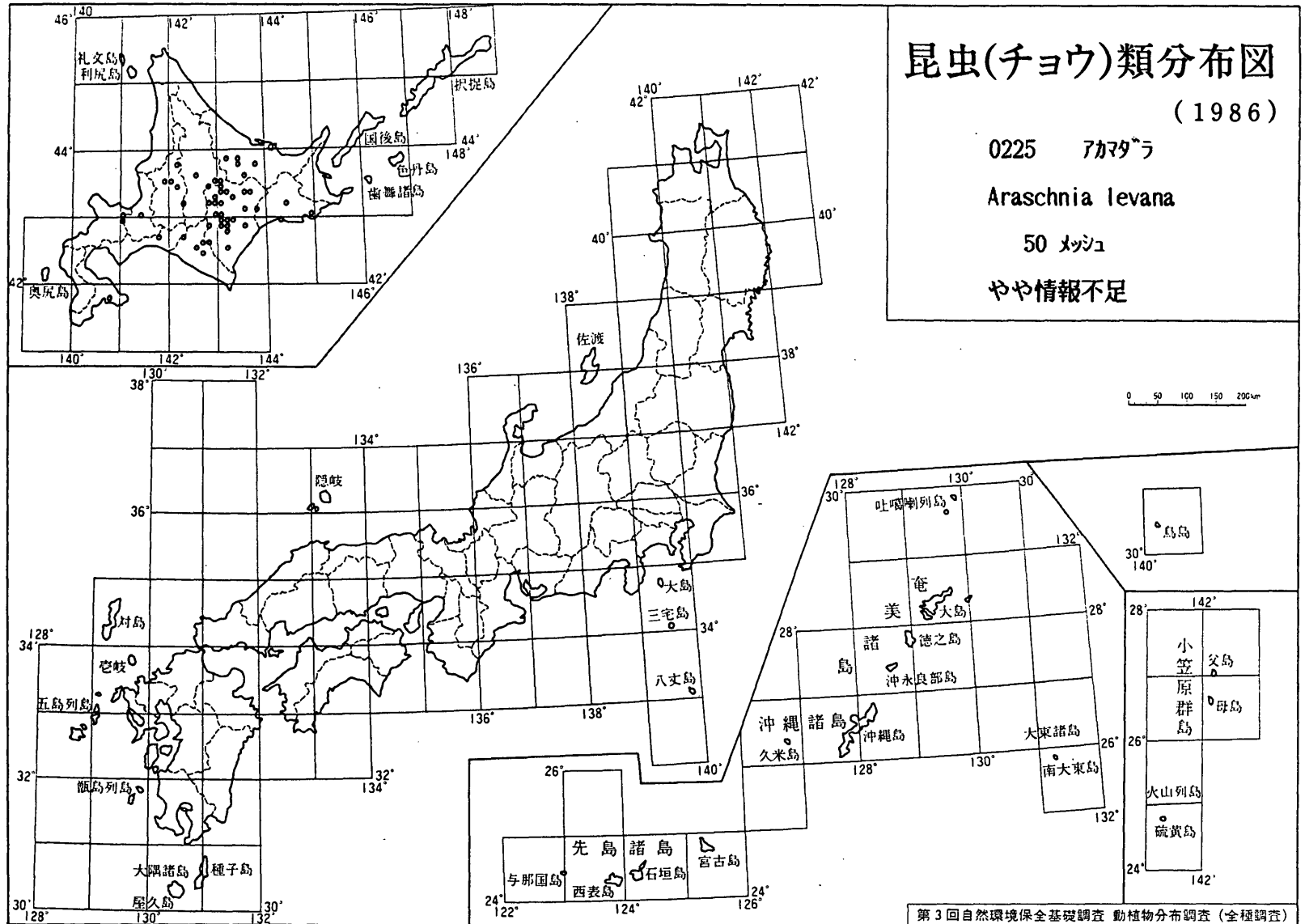
(1986)

0225 アカタマラ

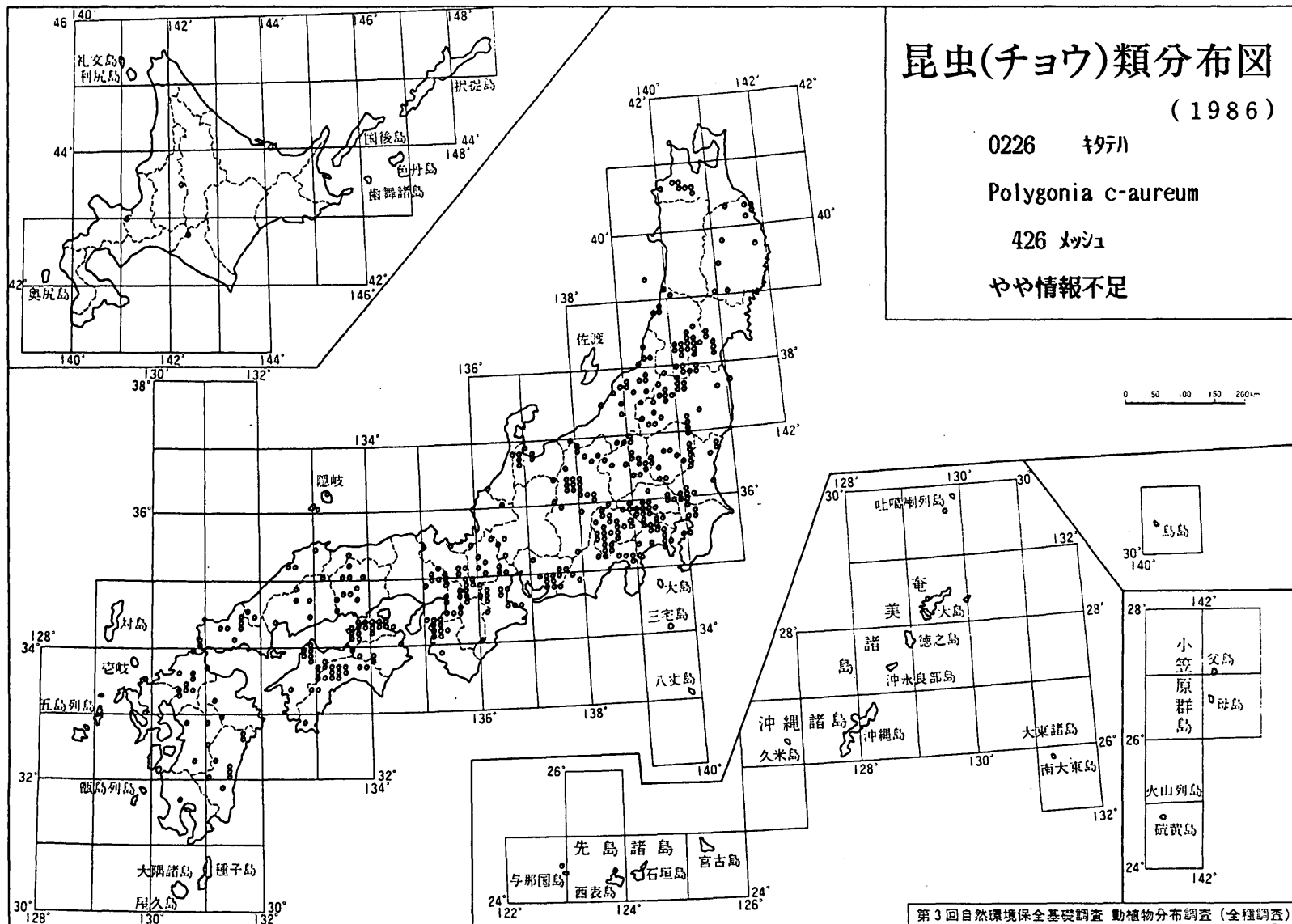
Araschnia levana

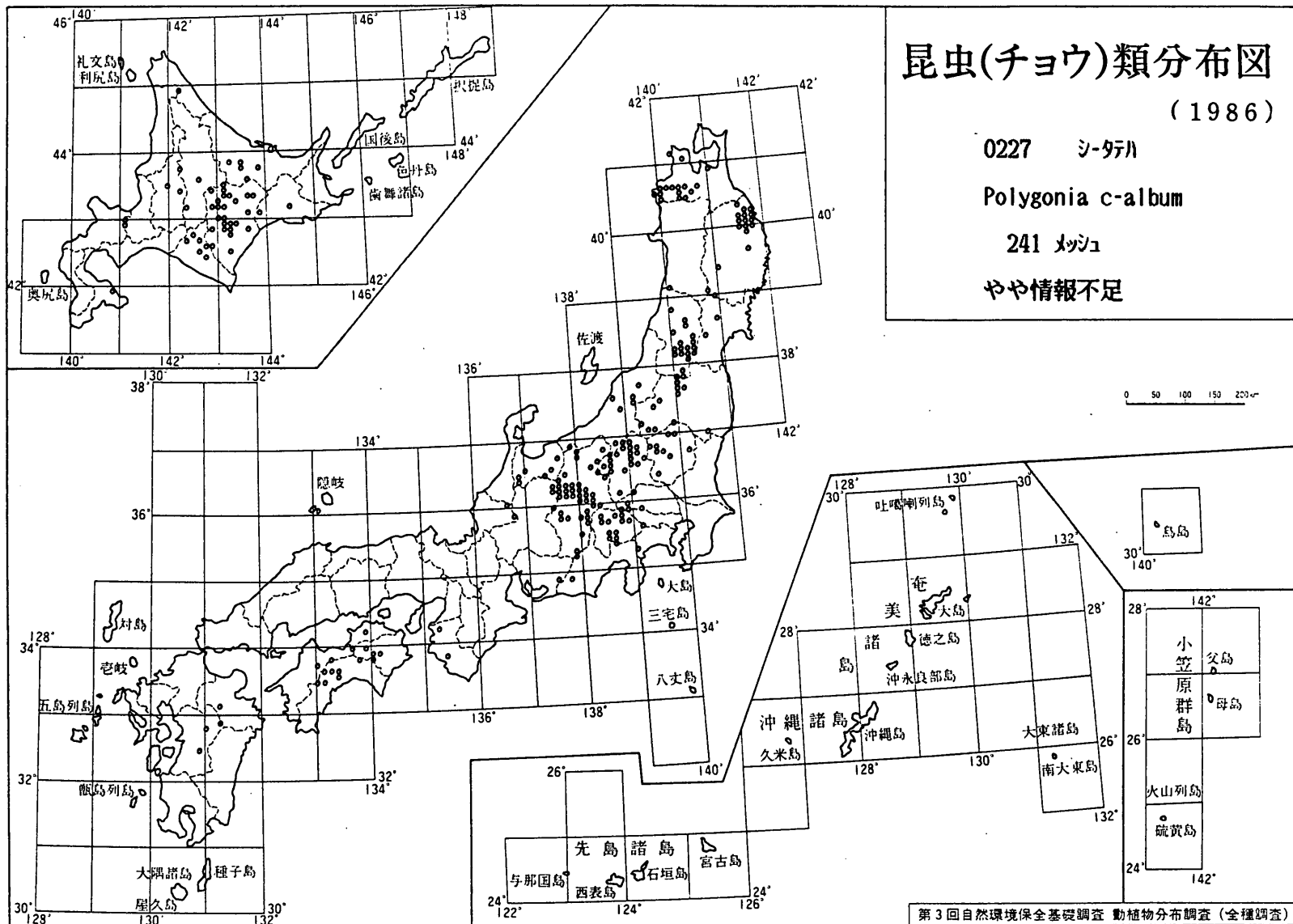
50 メッシュ

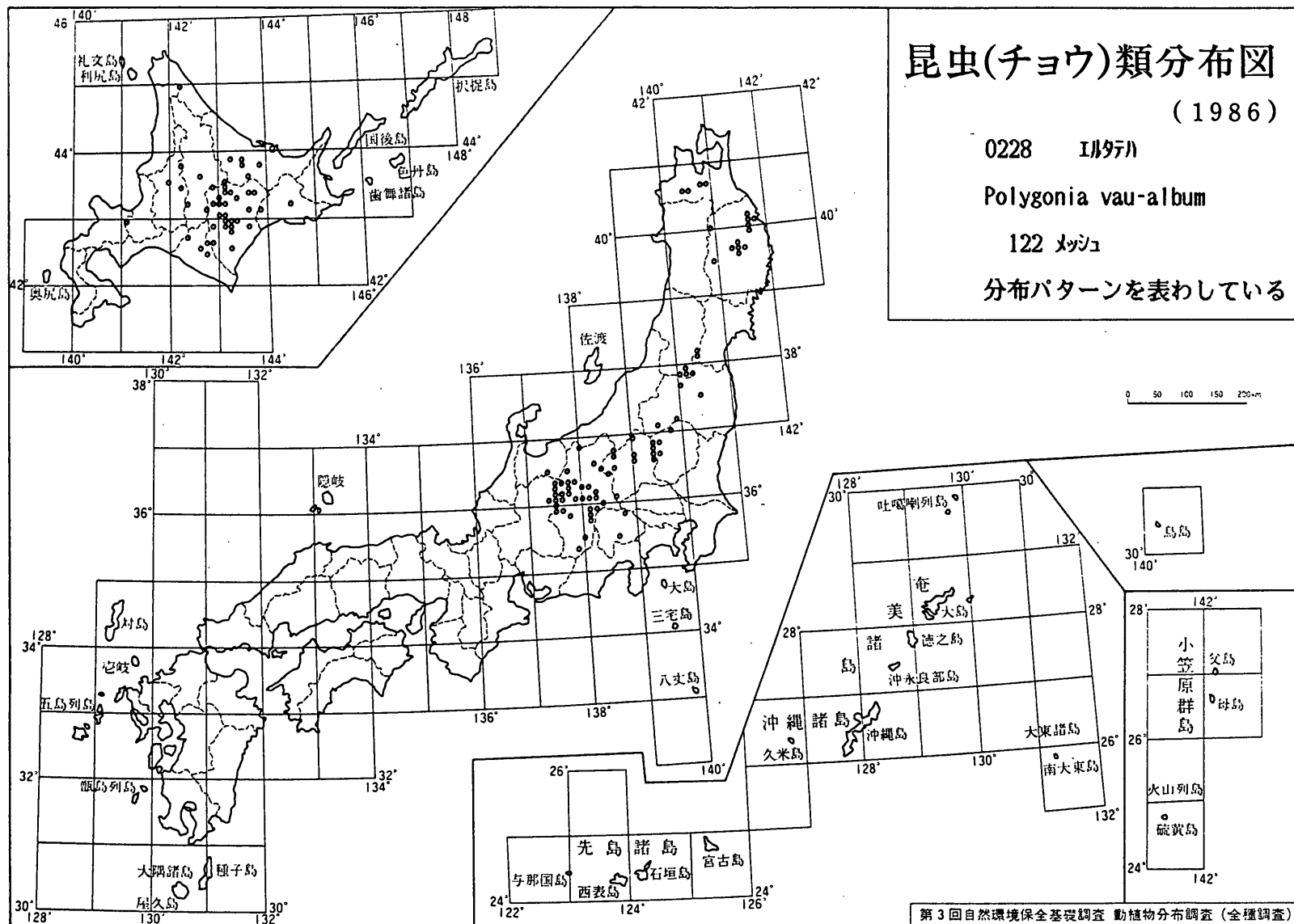
やや情報不足

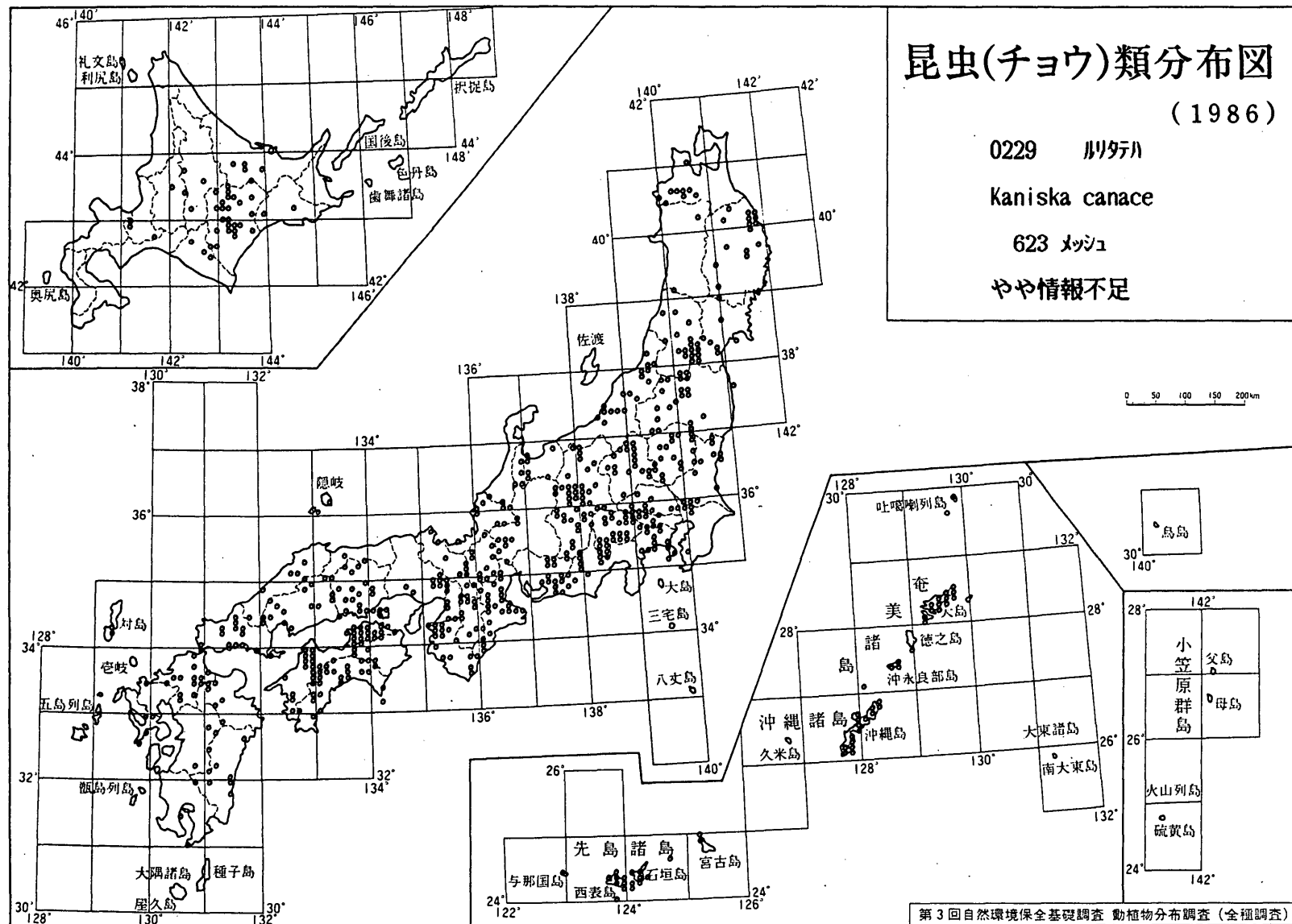


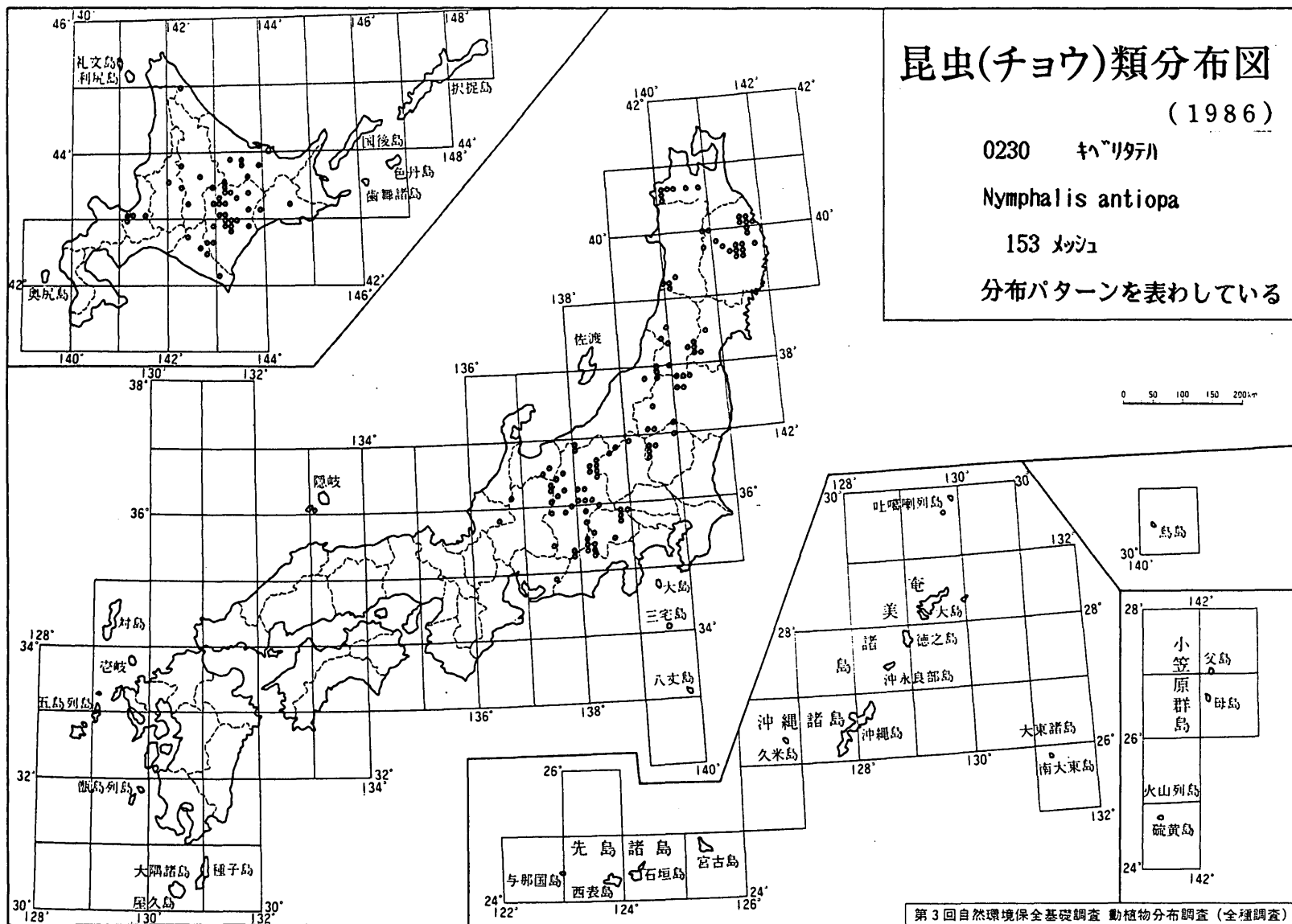
第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査(全種調査)

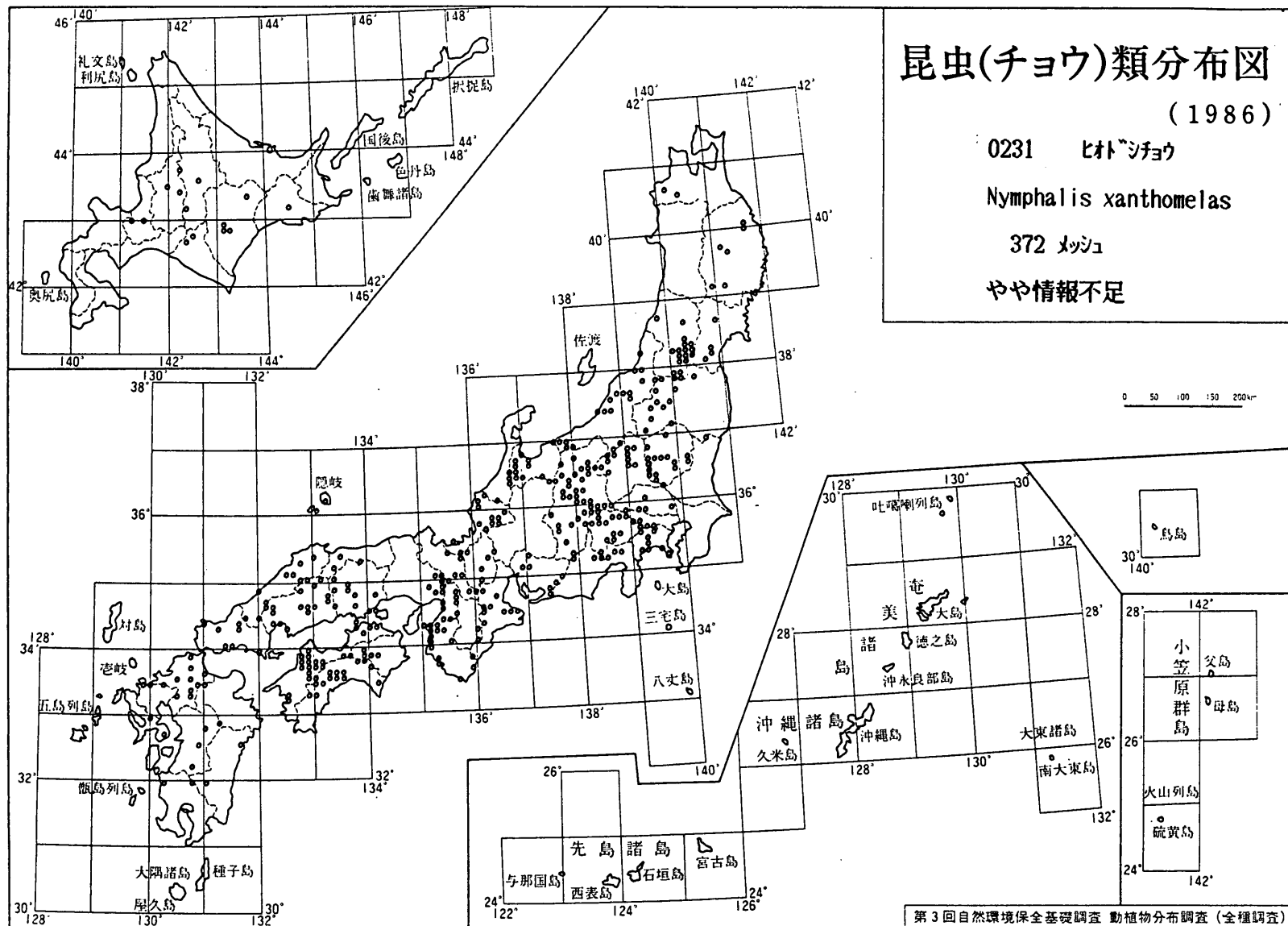


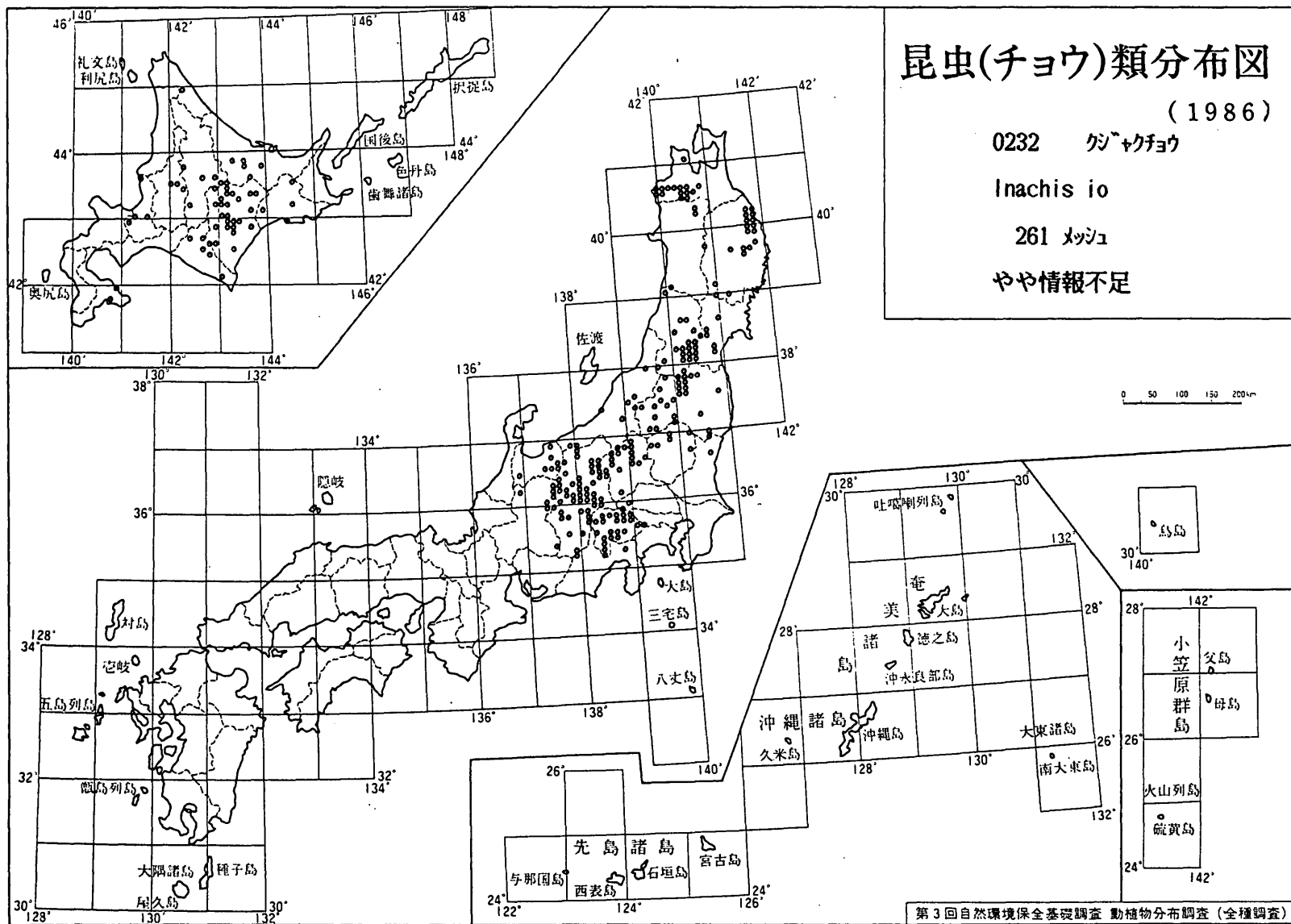












昆虫(チョウ)類分布図

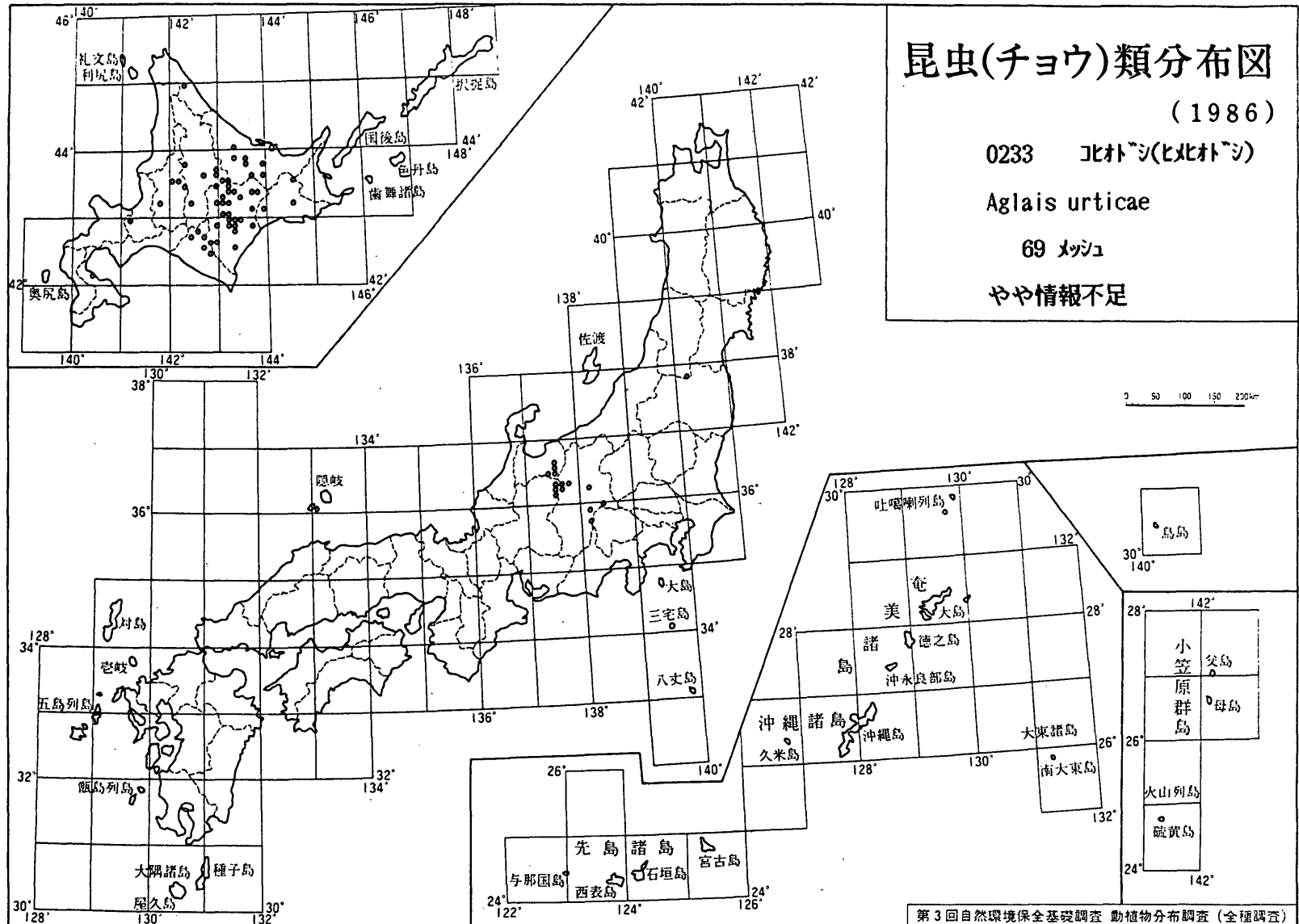
(1986)

0233 コヒトシ(ヒトヒトシ)

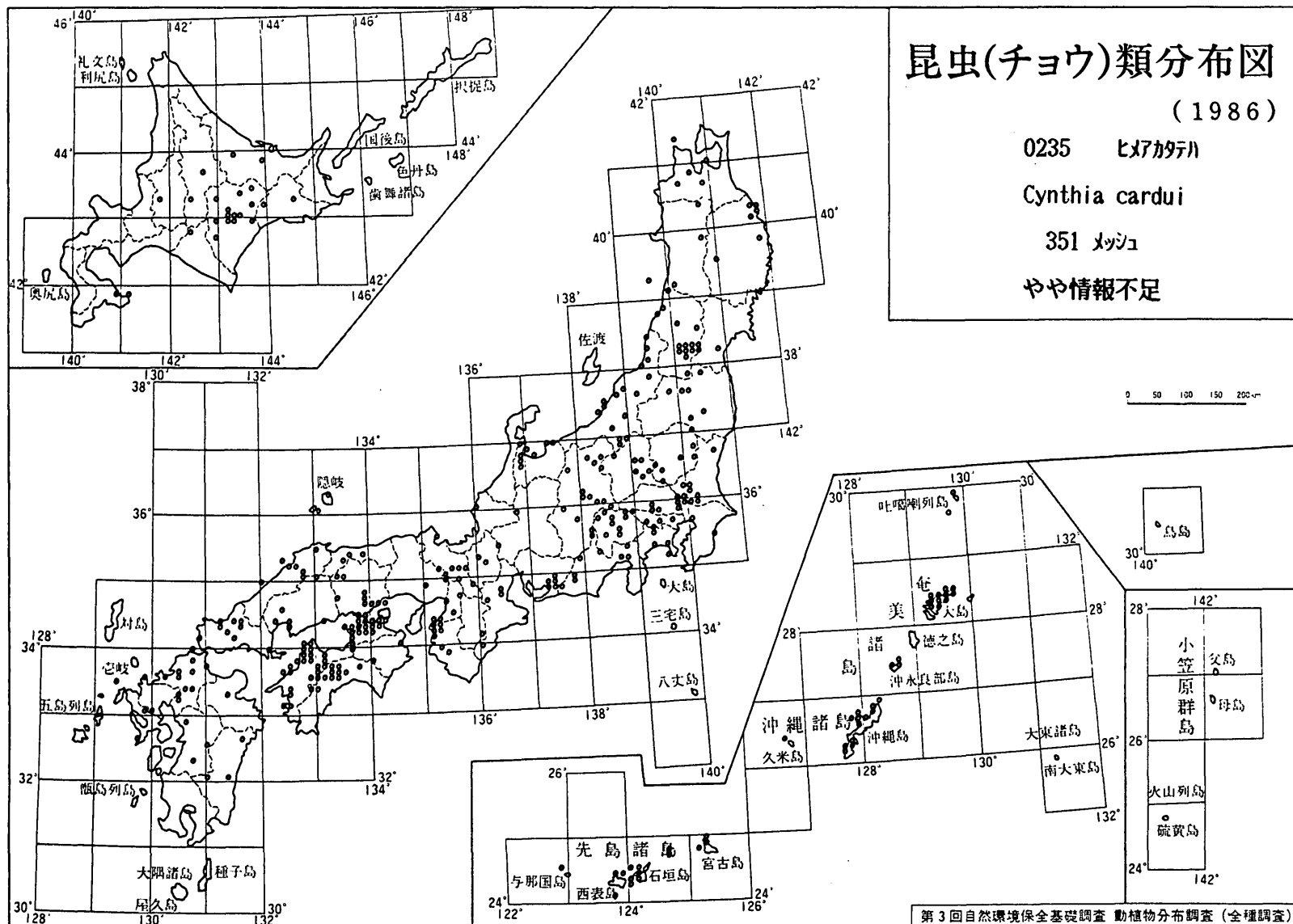
Aglais urticae

69 メッシュ

やや情報不足



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)



昆虫(チョウ)類分布図

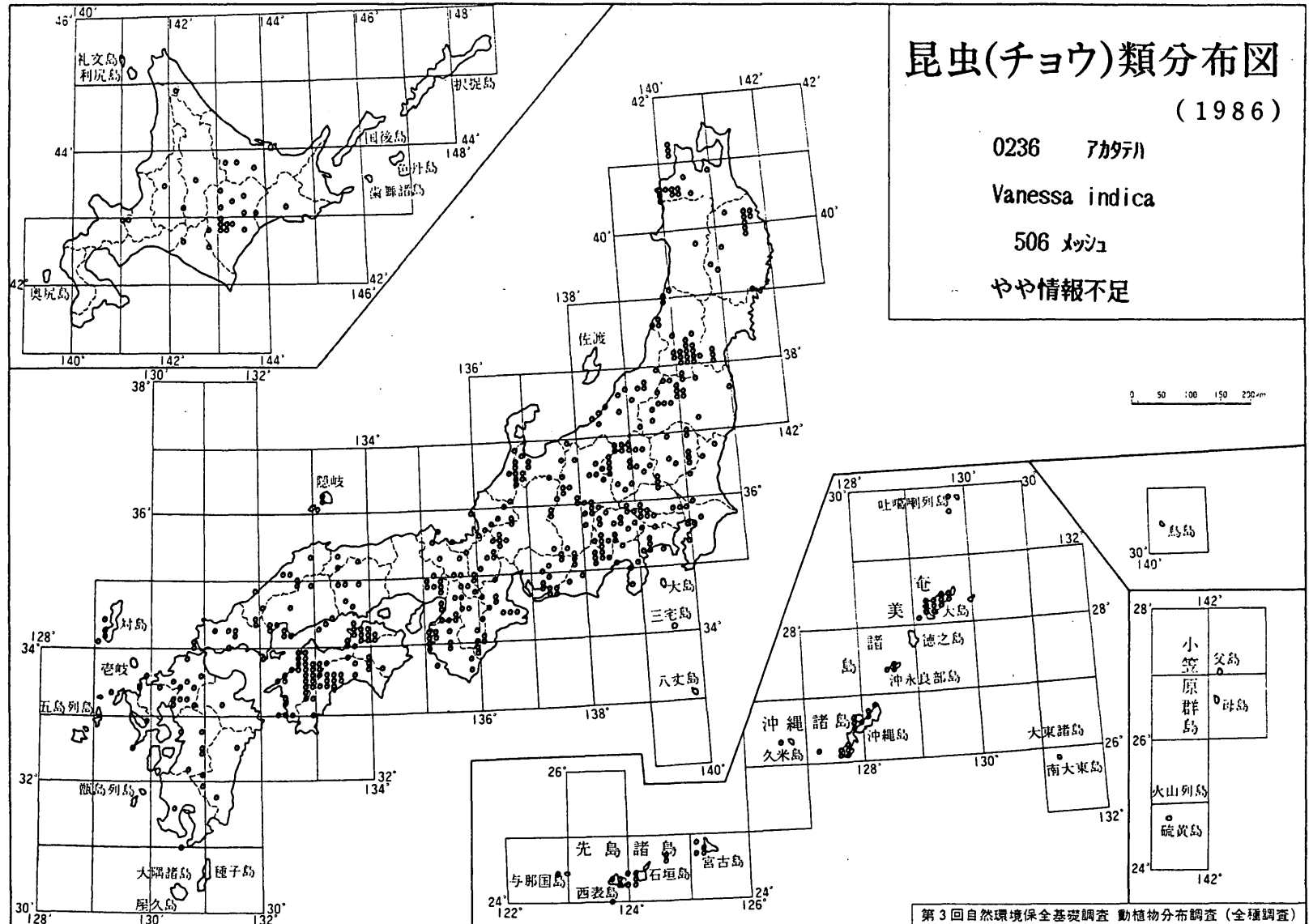
(1986)

0236 アカタテ

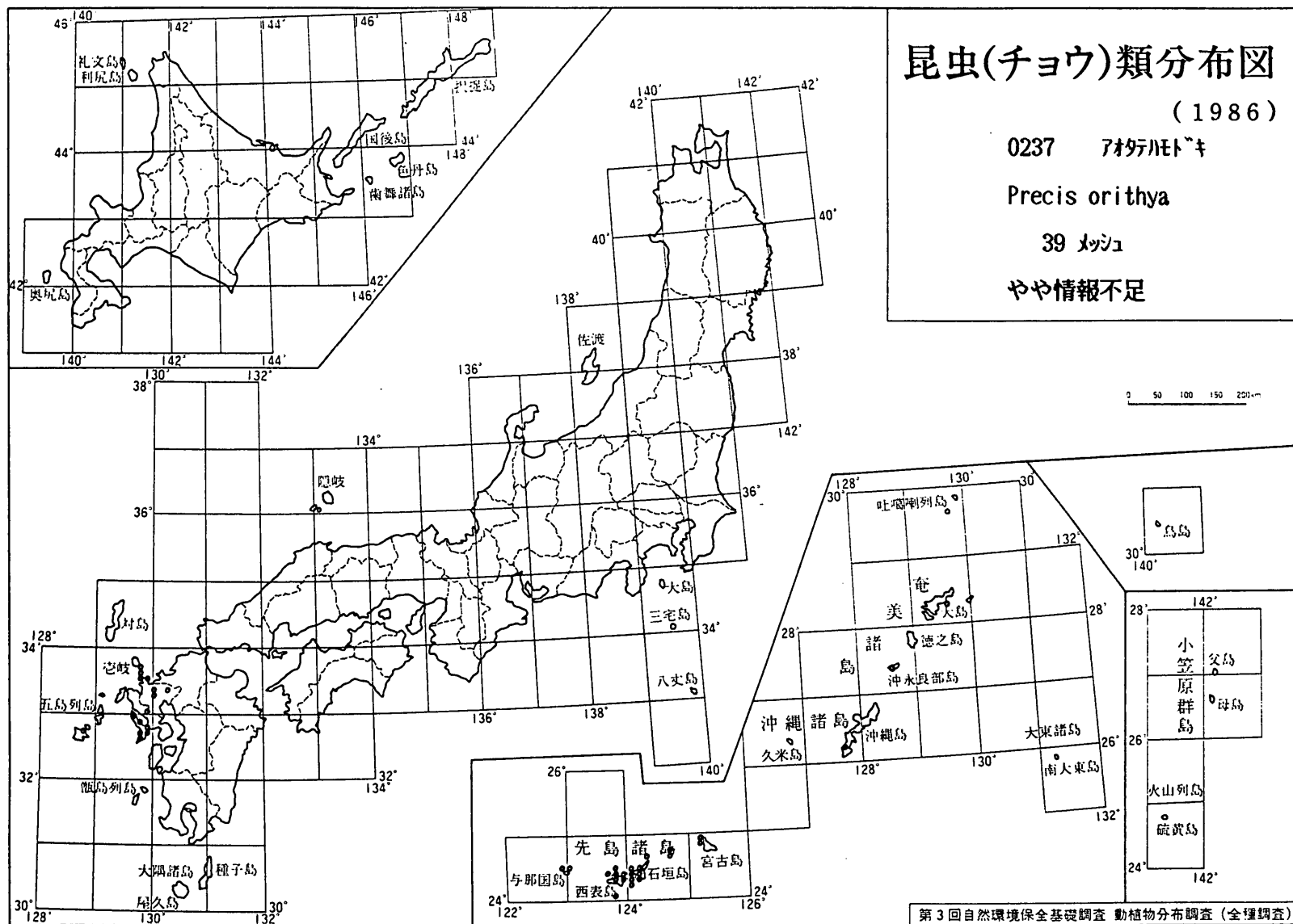
Vanessa indica

506 ムシ

やや情報不足



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)



昆虫(チョウ)類分布図

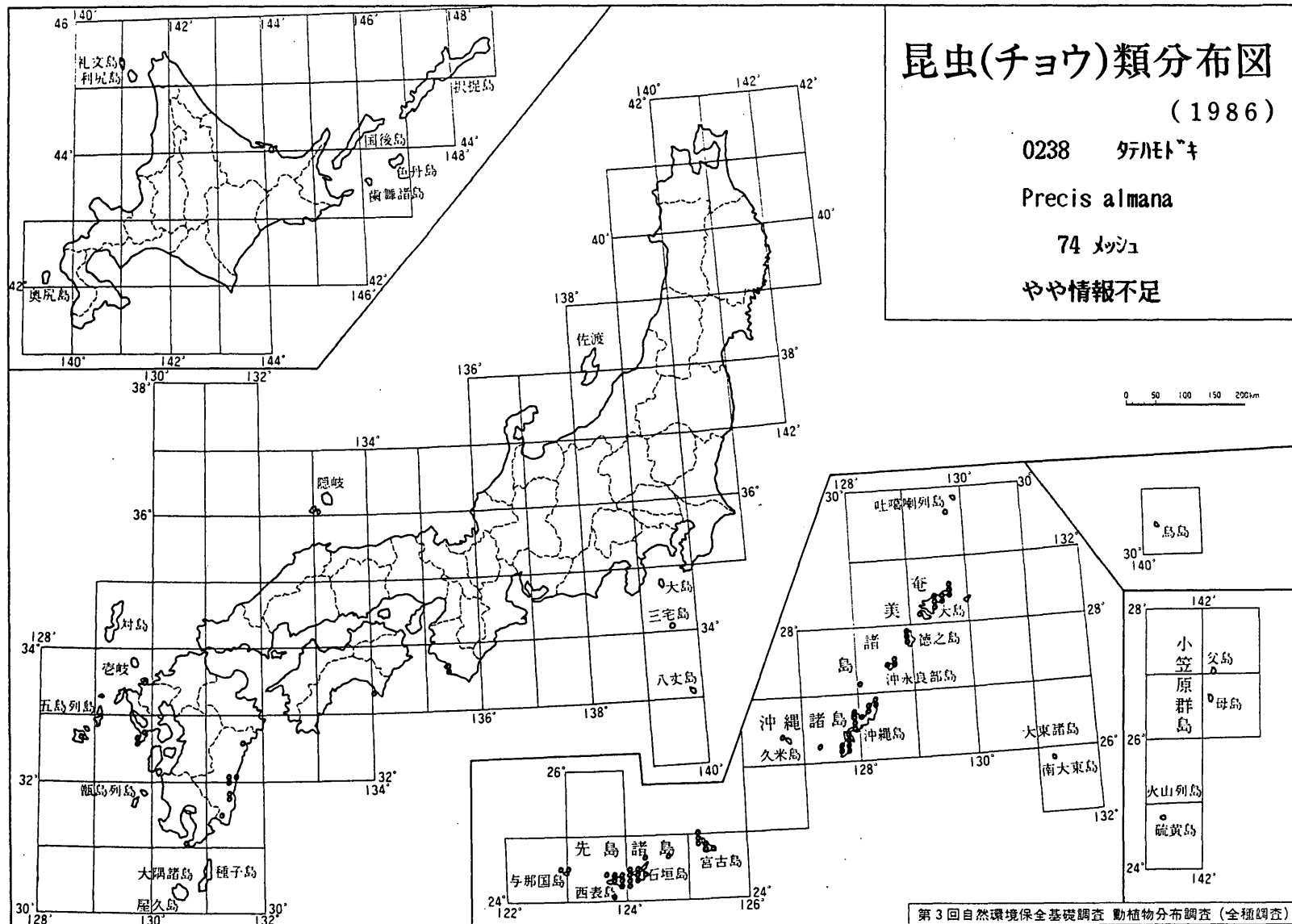
(1986)

0238 タテハトビキ

Precis almana

74 メッシュ

やや情報不足



昆虫(チョウ)類分布図

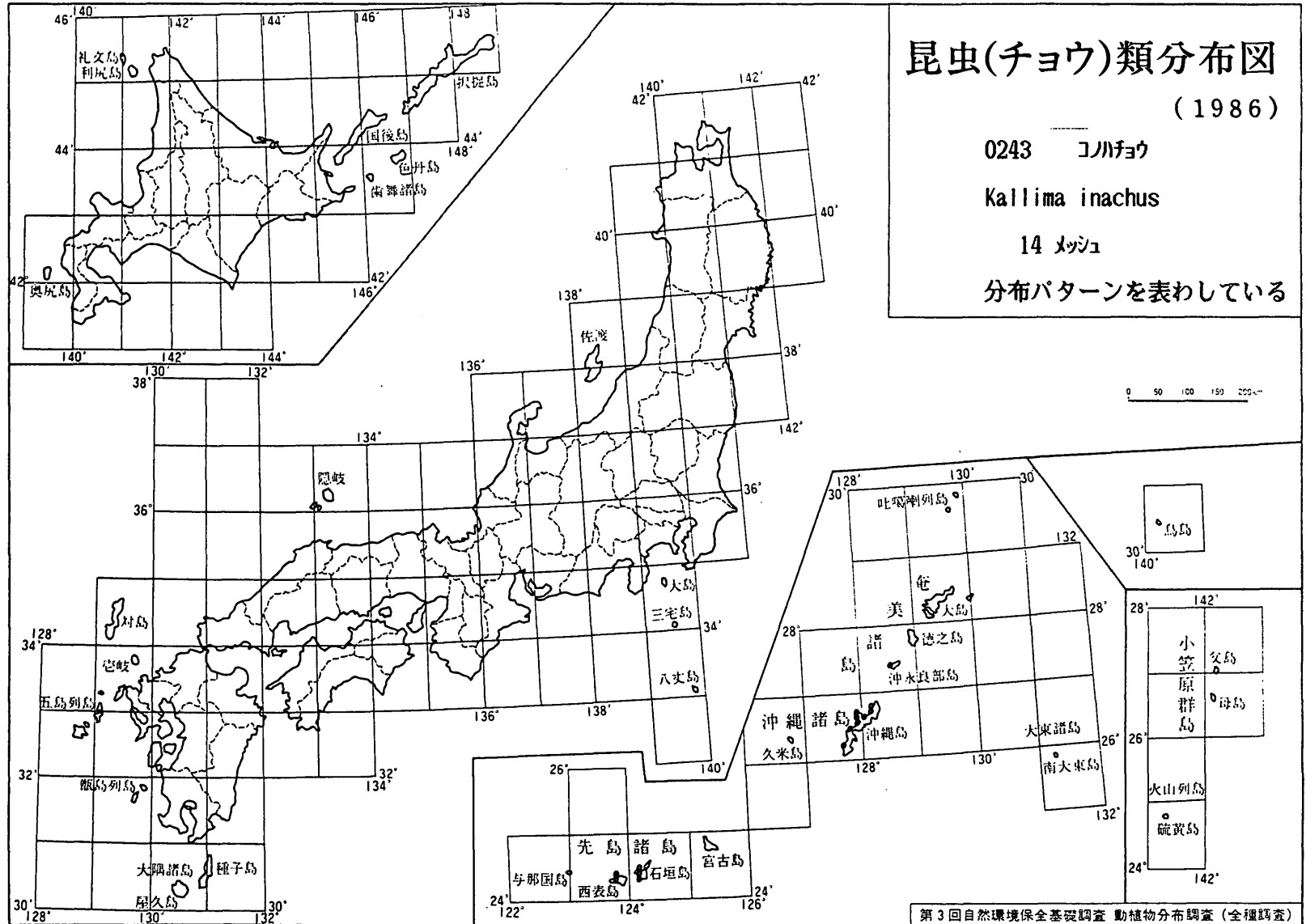
(1986)

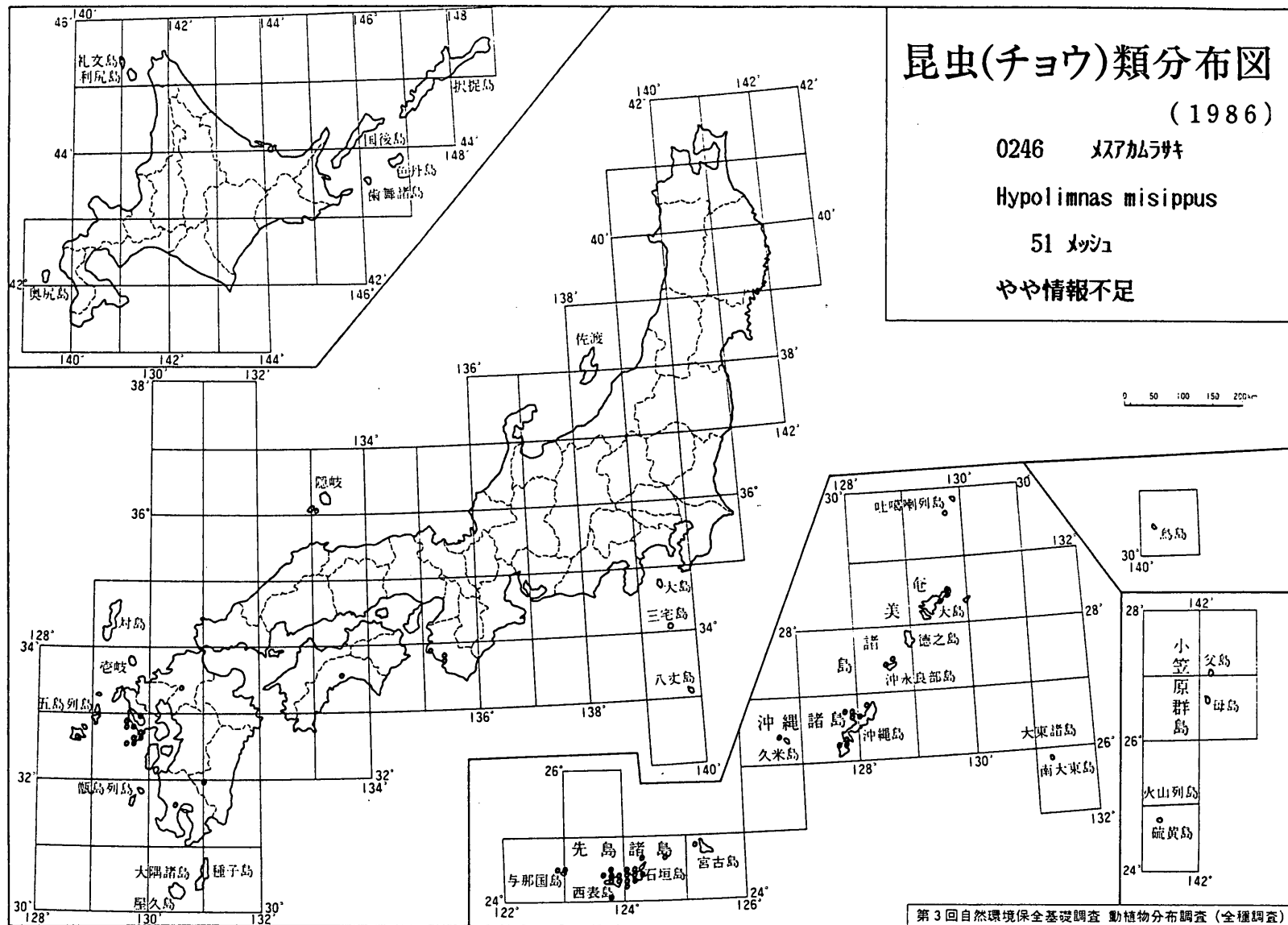
0243 コノチョウ

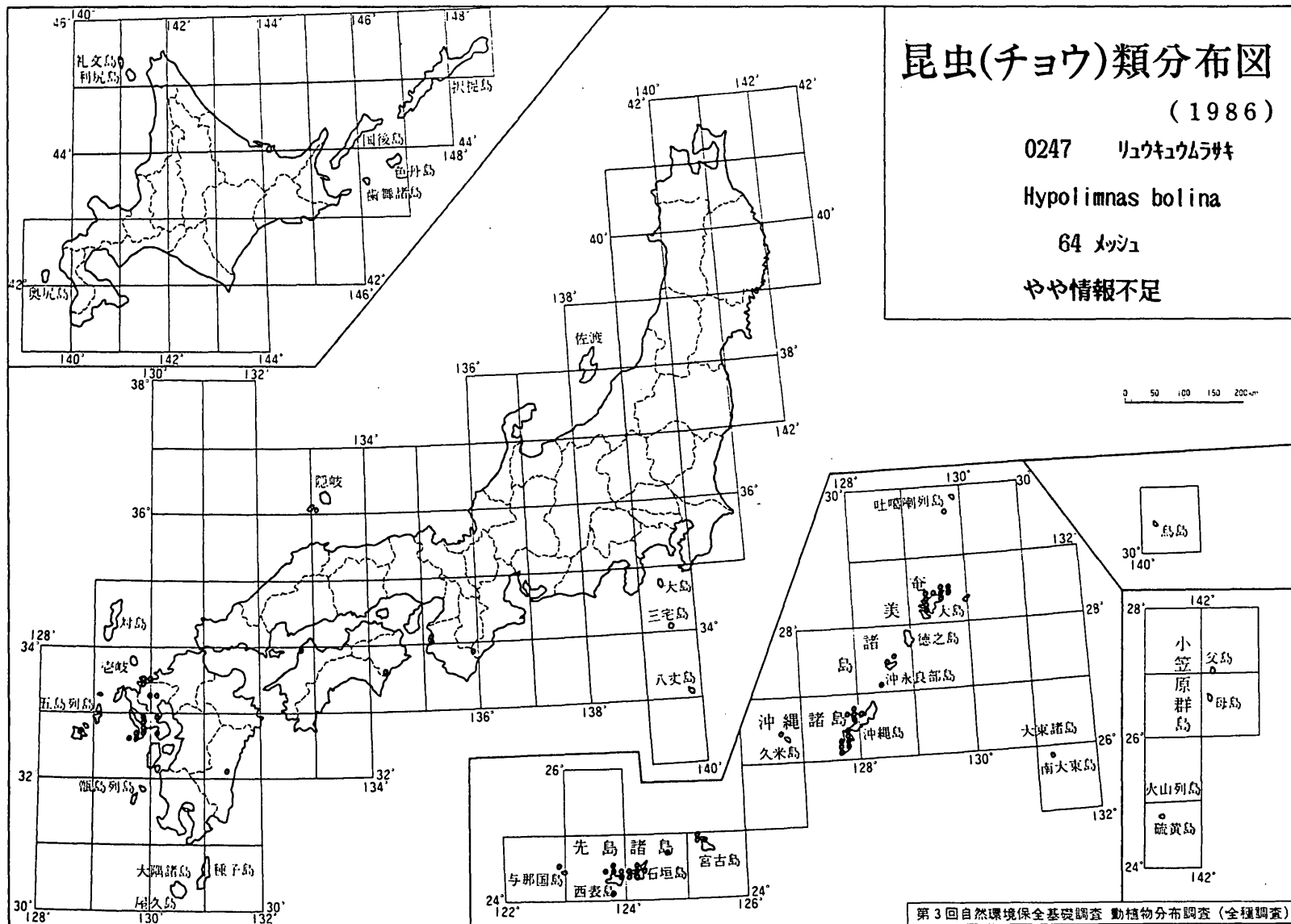
Kallima inachus

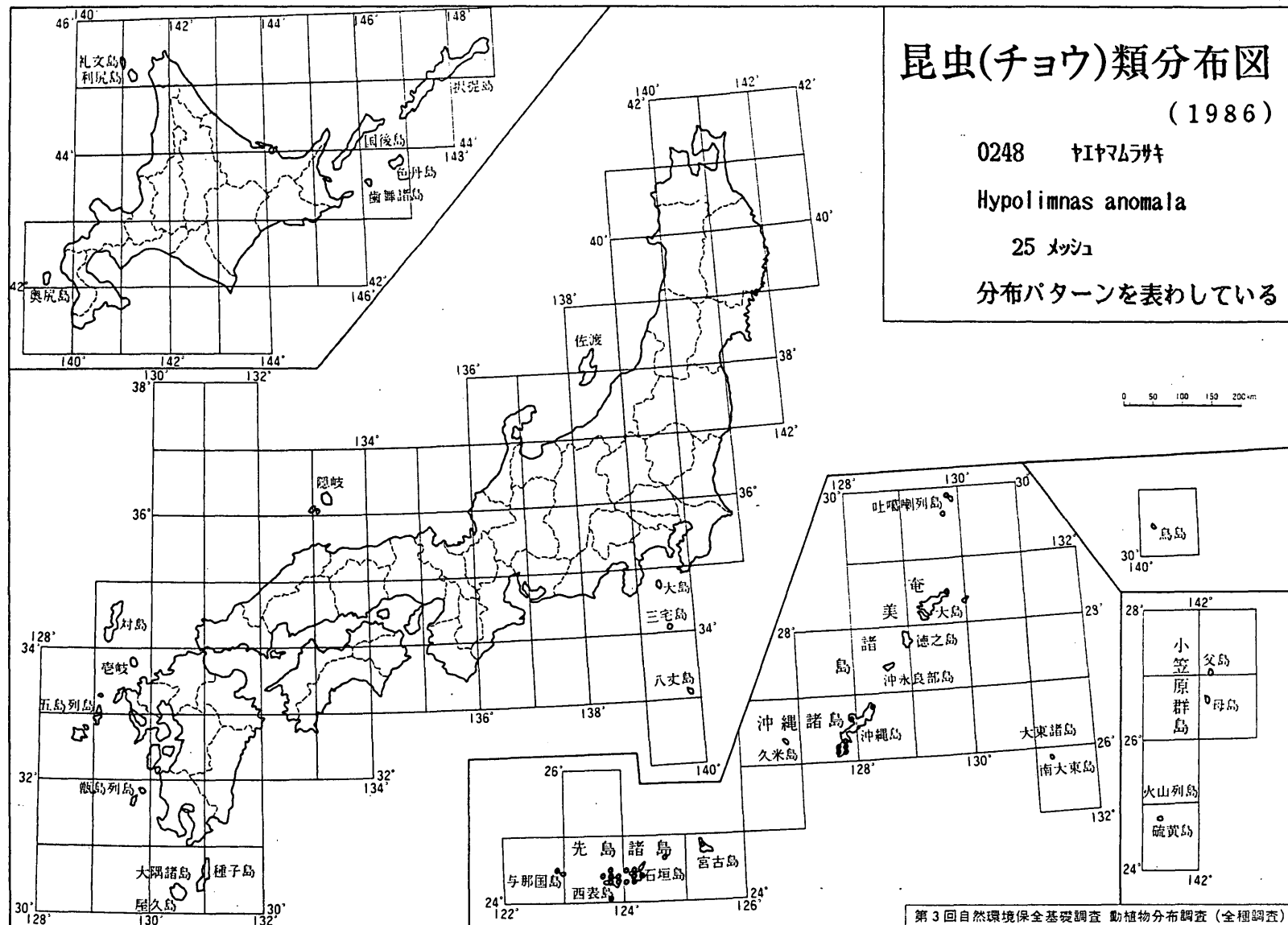
14 メッシュ

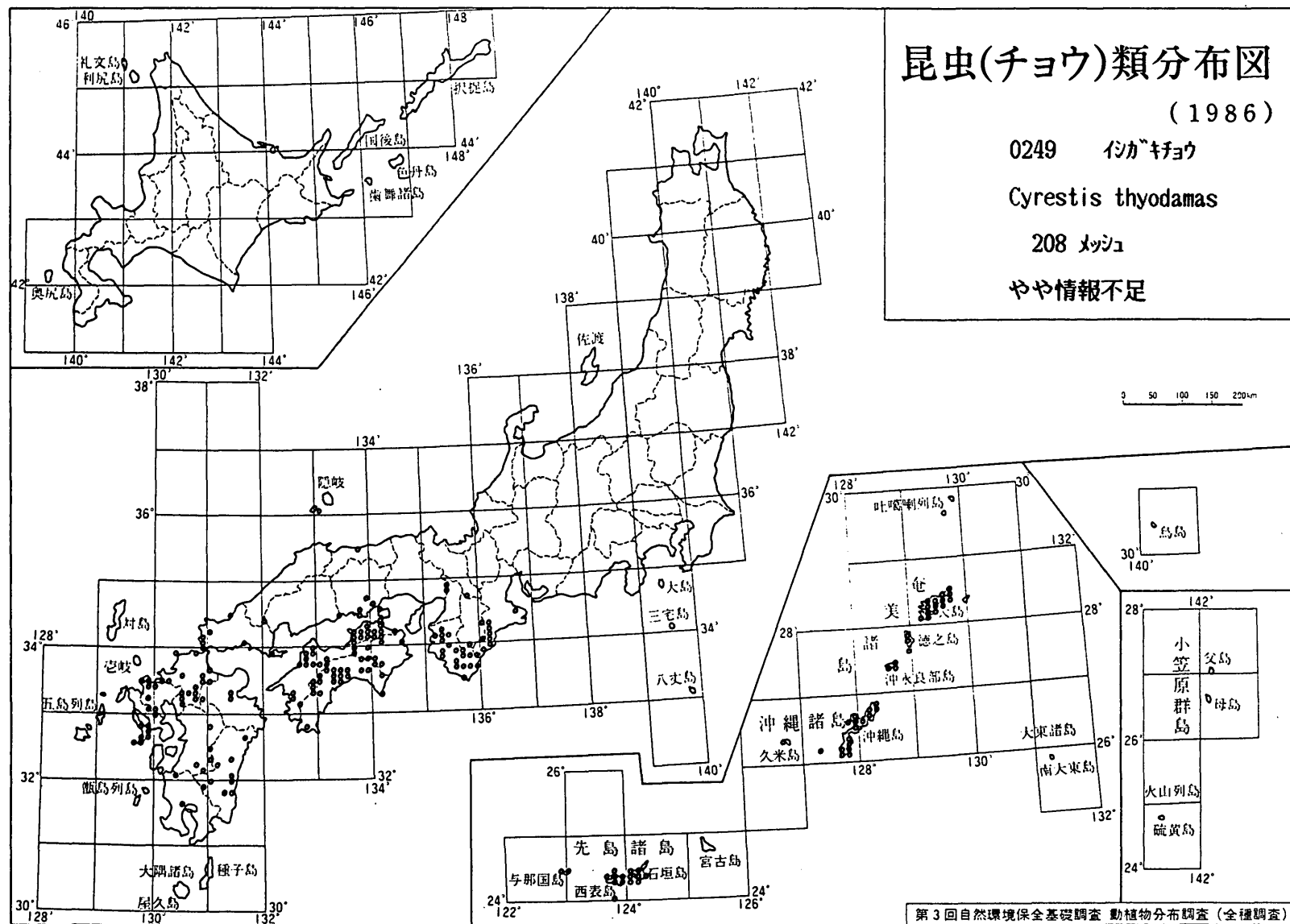
分布パターンを表わしている











昆虫(チョウ)類分布図

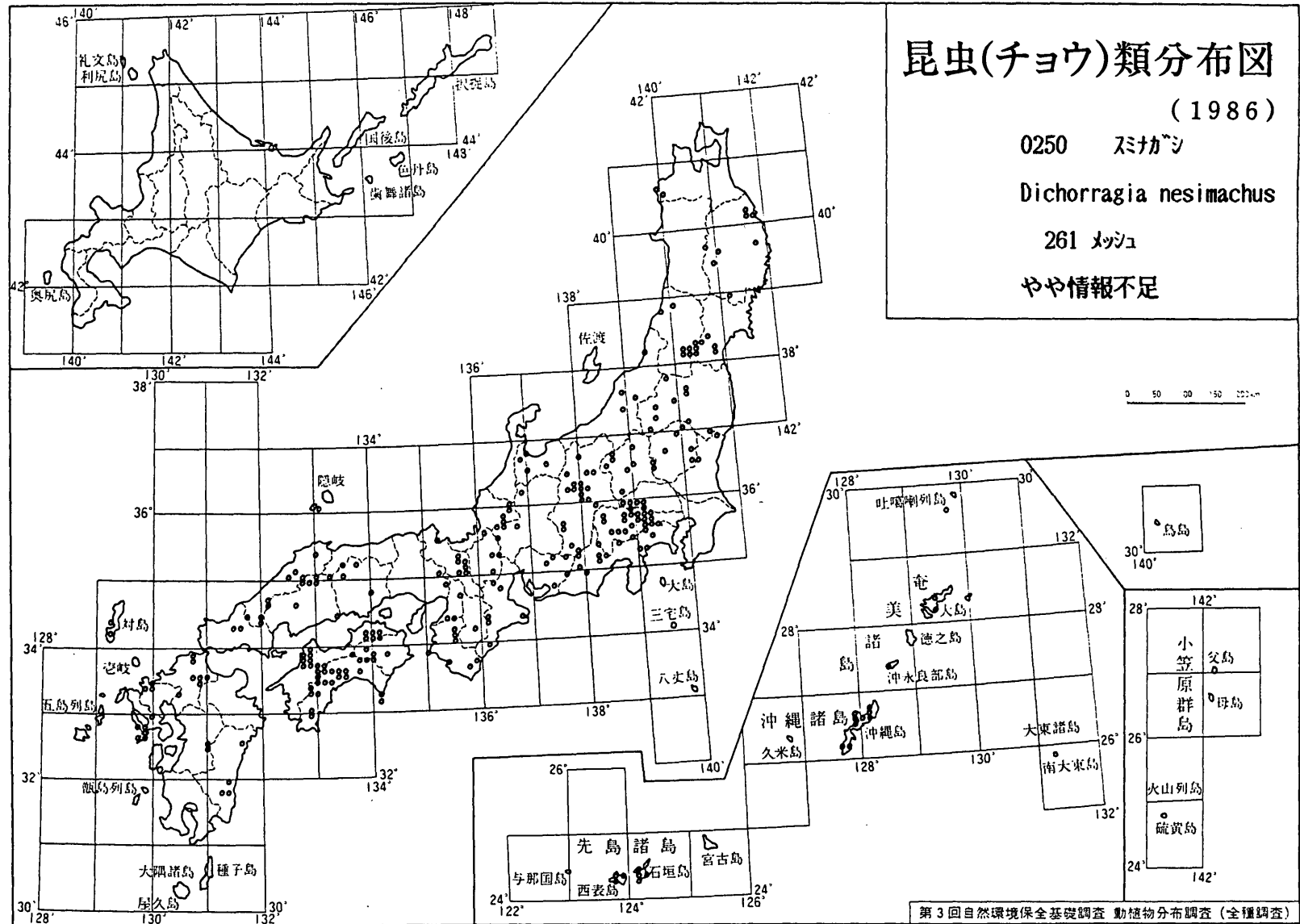
(1986)

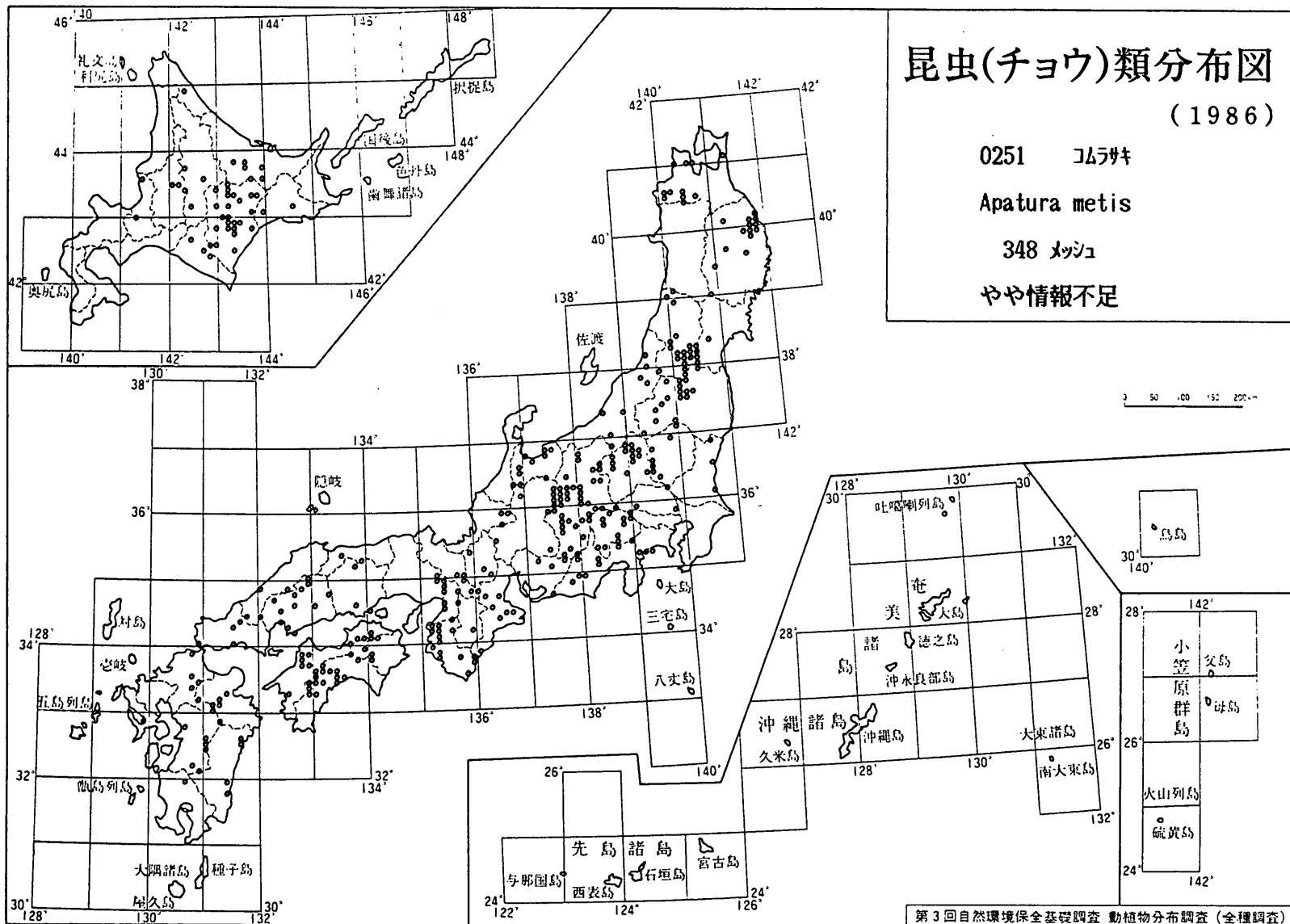
0250 スミカガシ

Dichorragia nesimachus

261 メッシュ

やや情報不足





昆虫(チョウ)類分布図

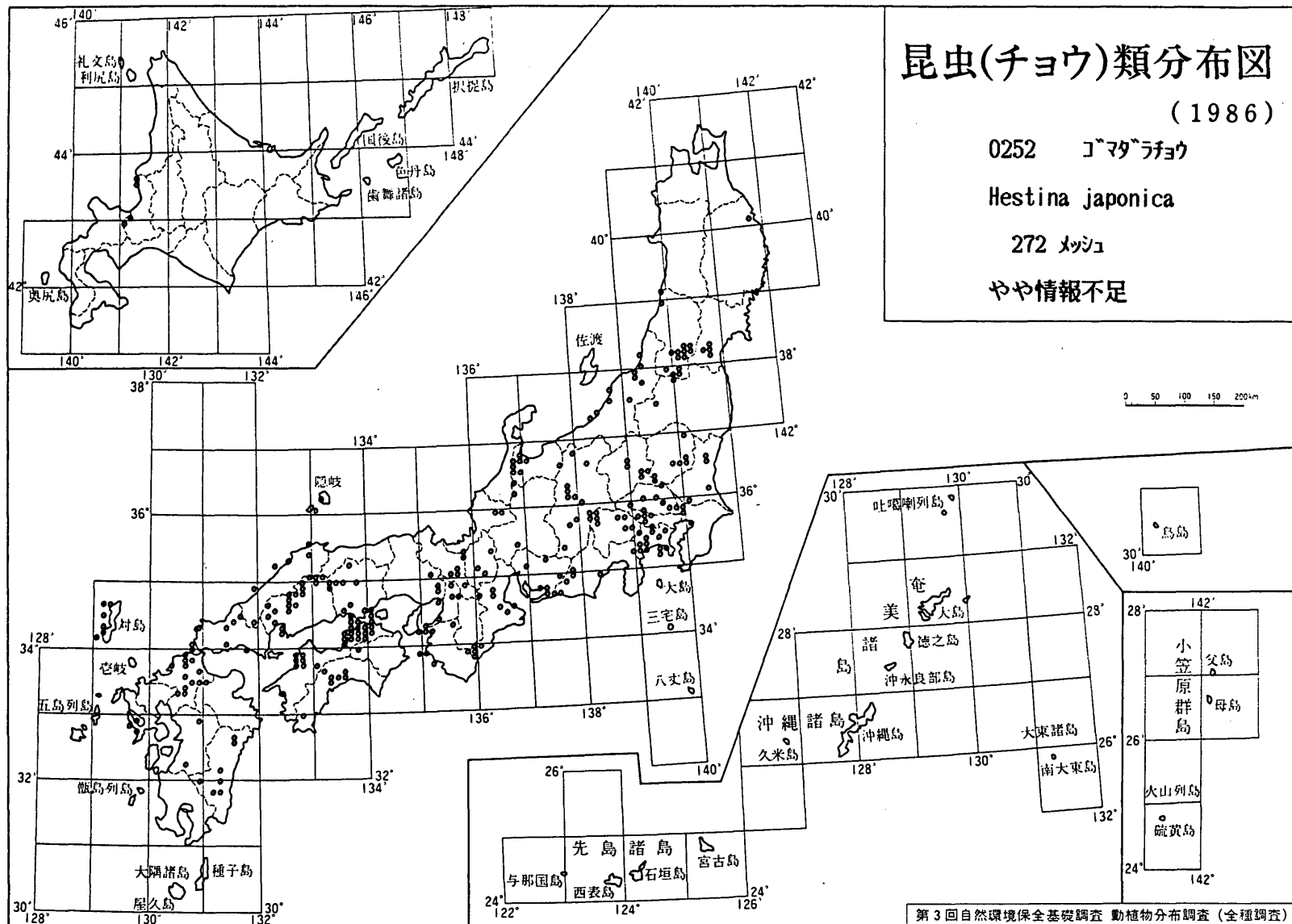
(1986)

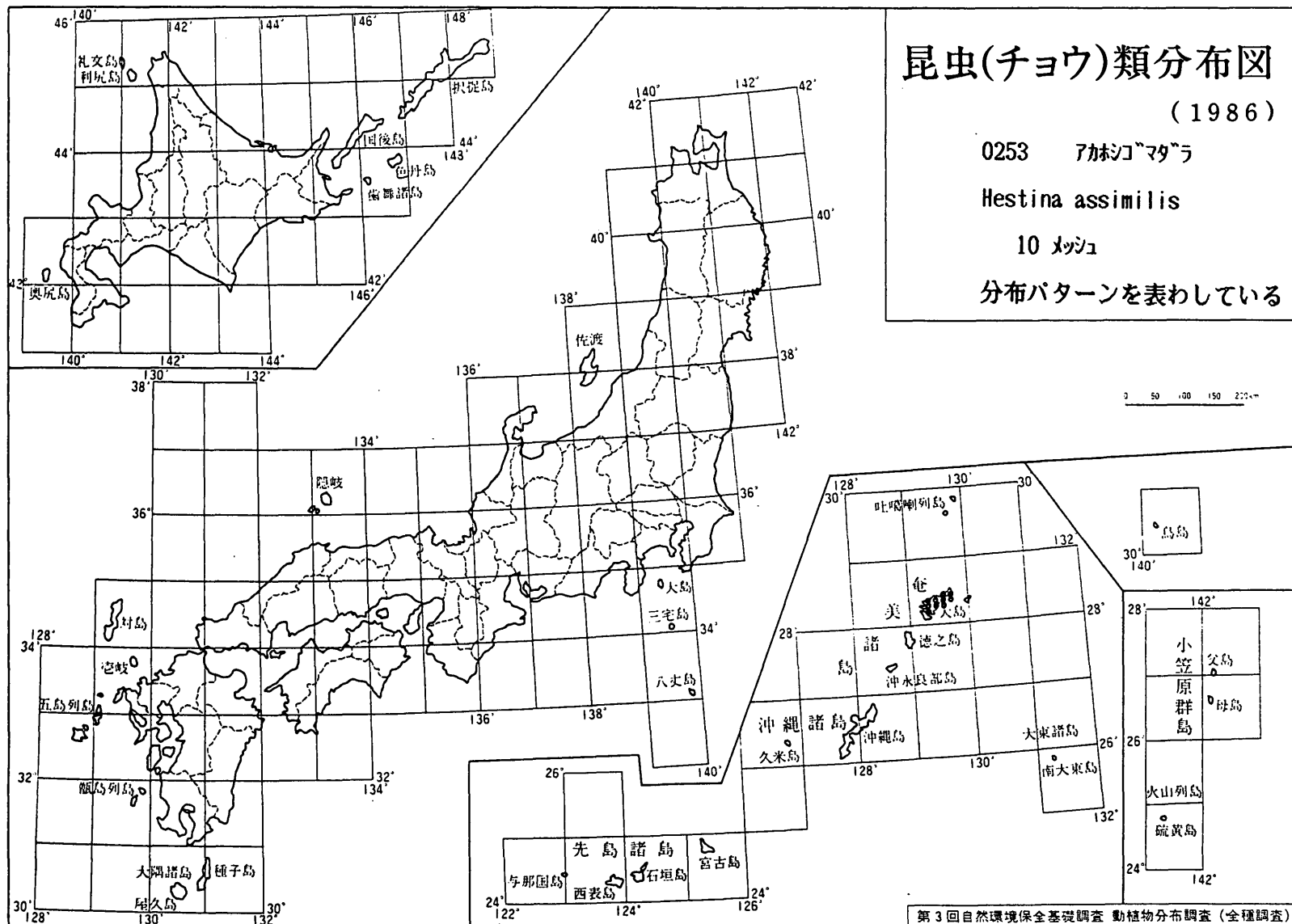
0252 コマダラチョウ

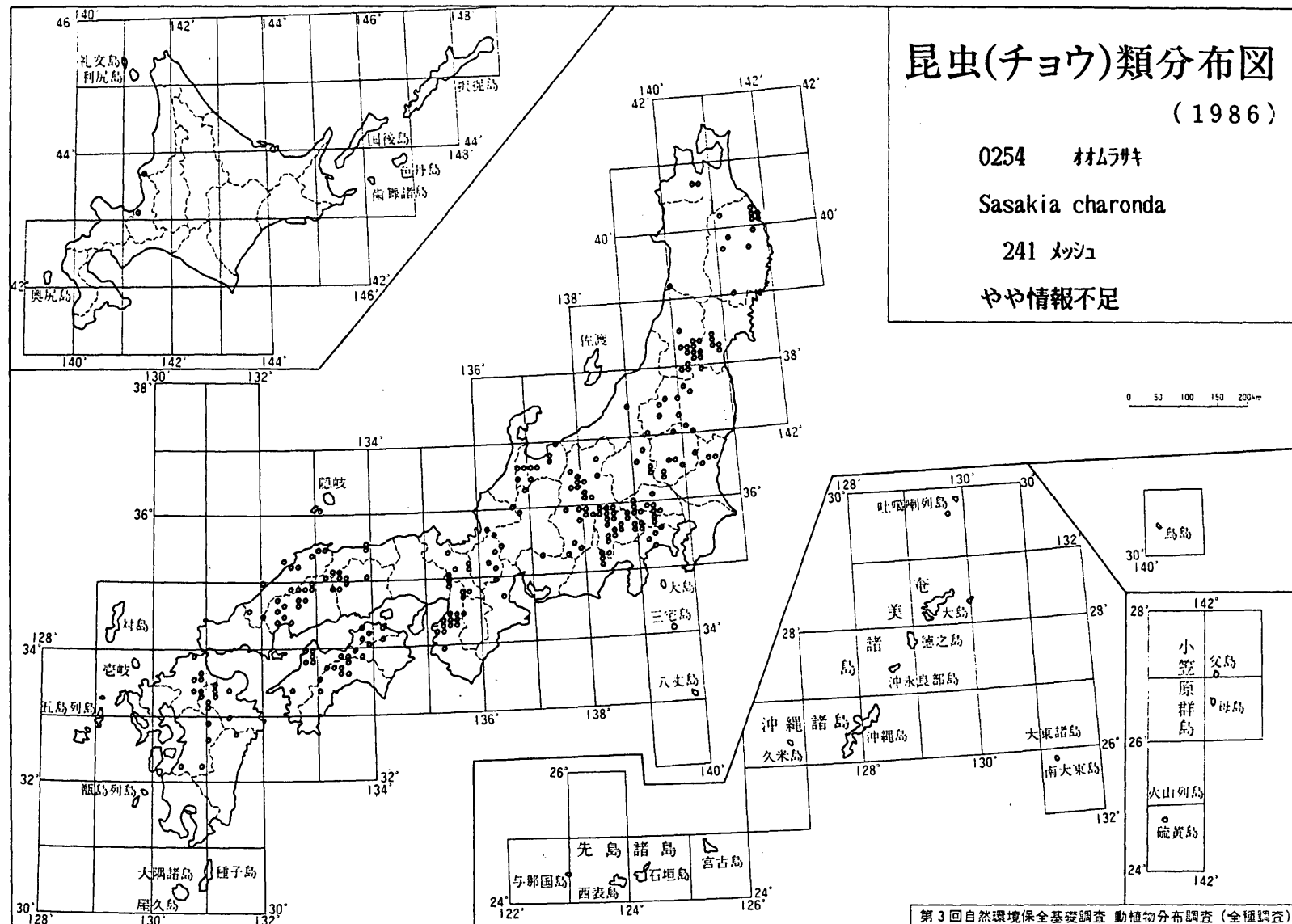
Hestina japonica

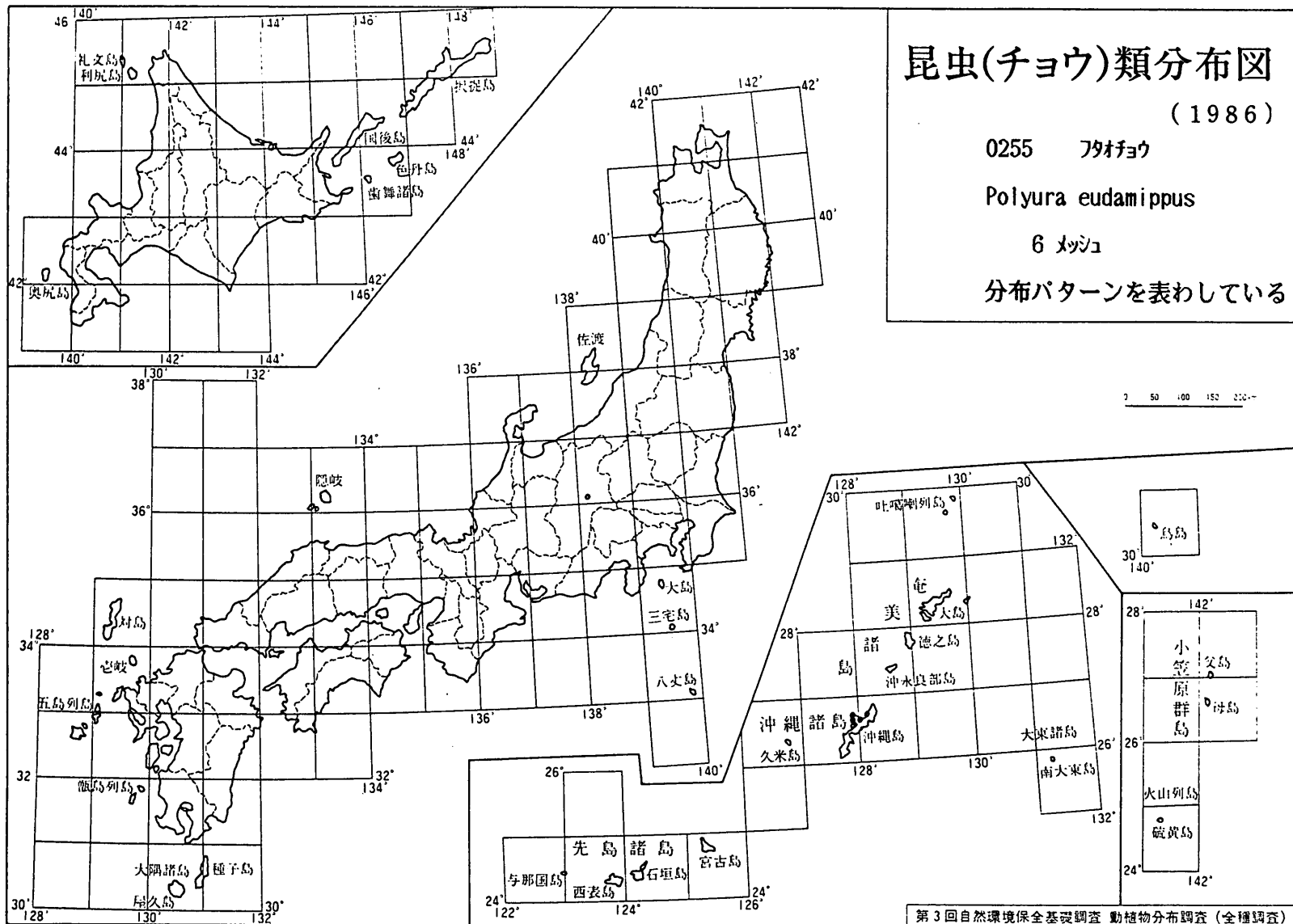
272 メッシュ

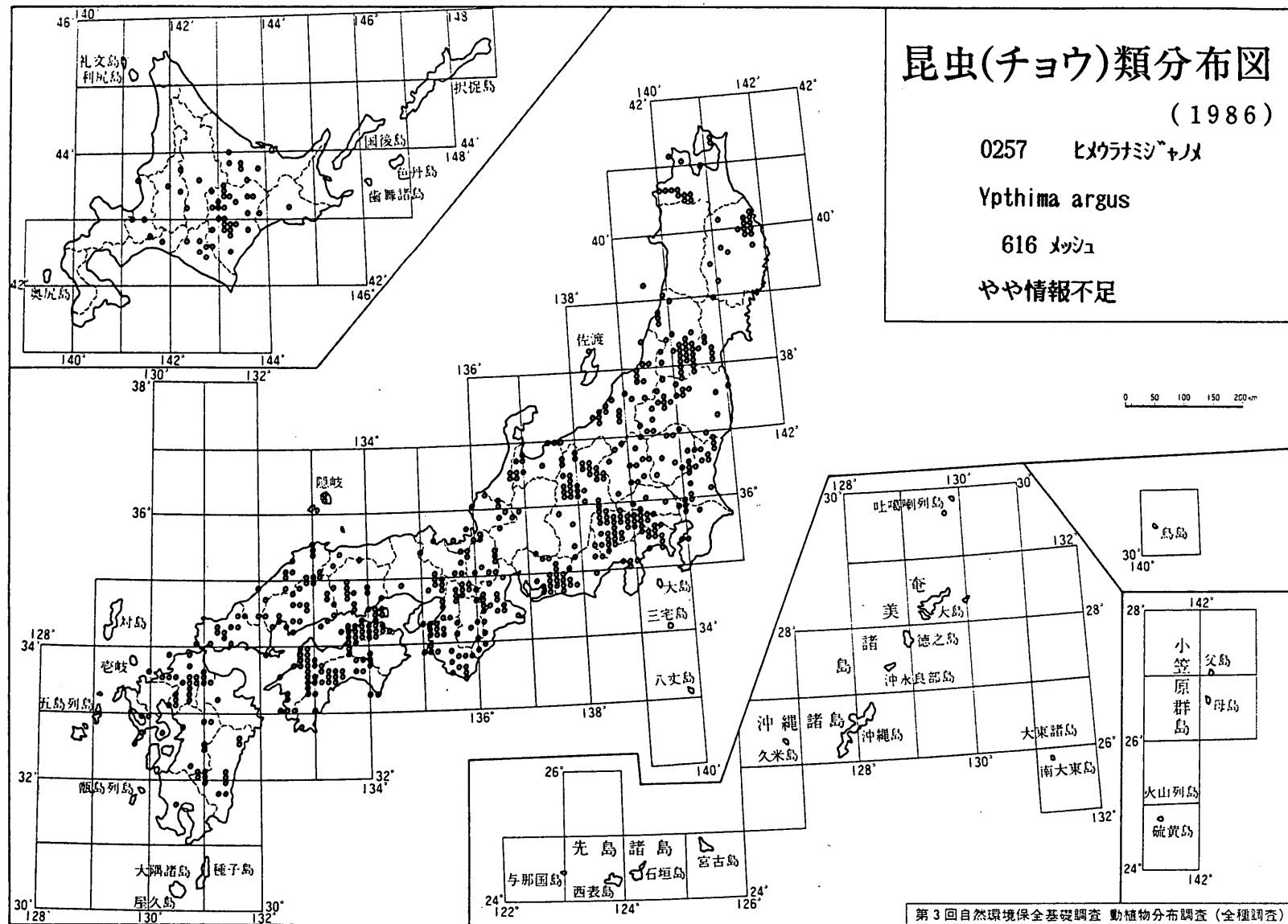
やや情報不足

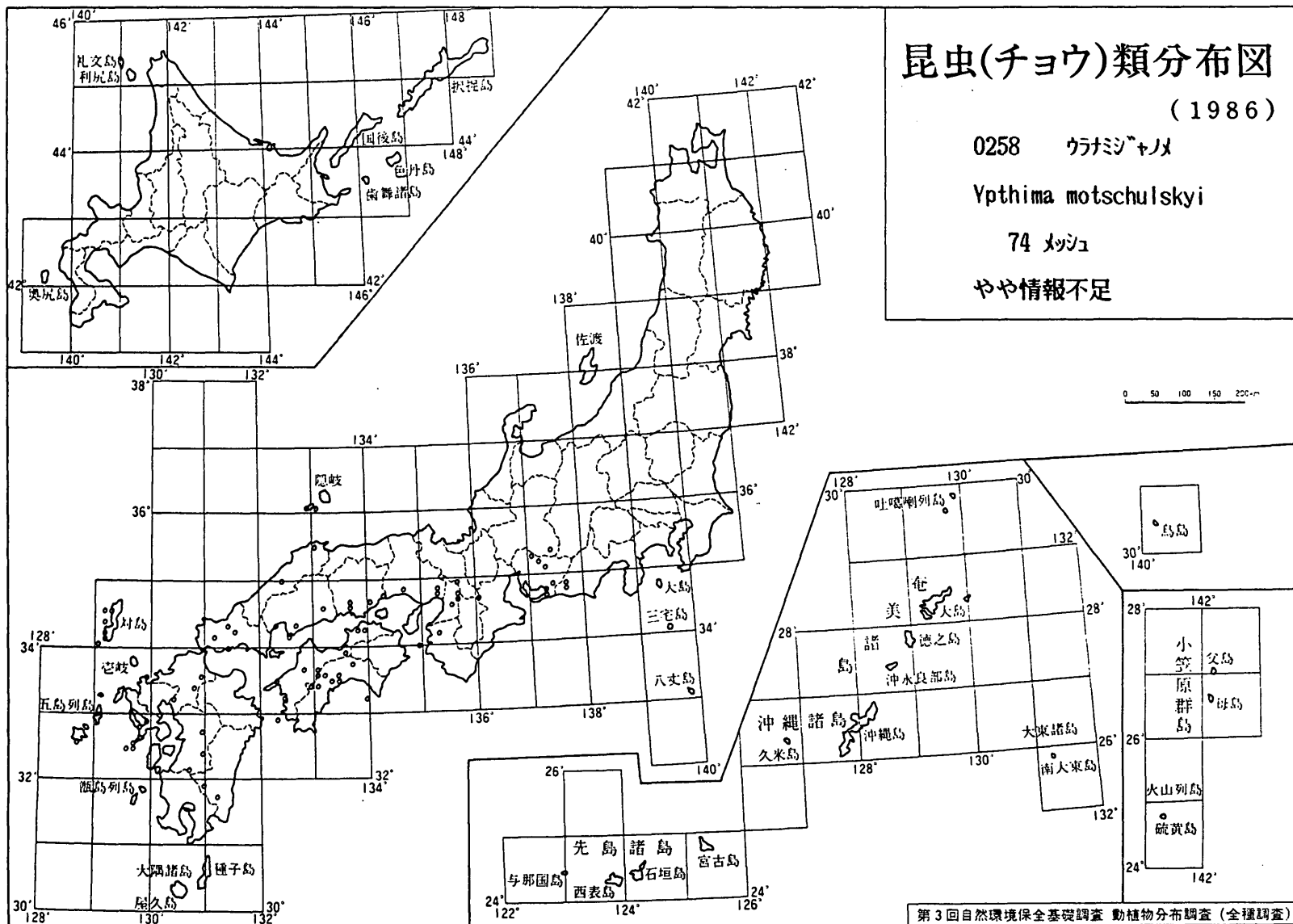


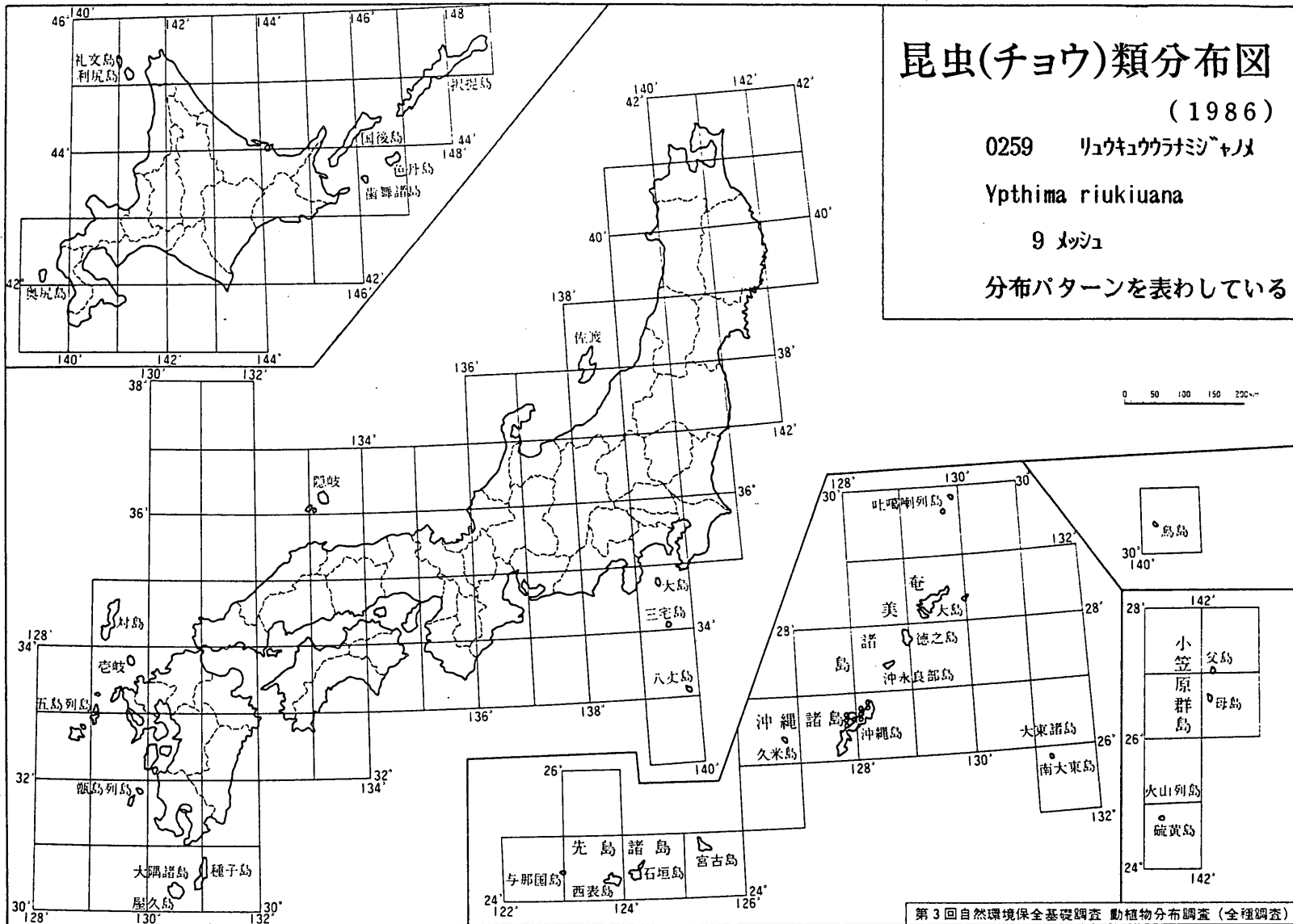


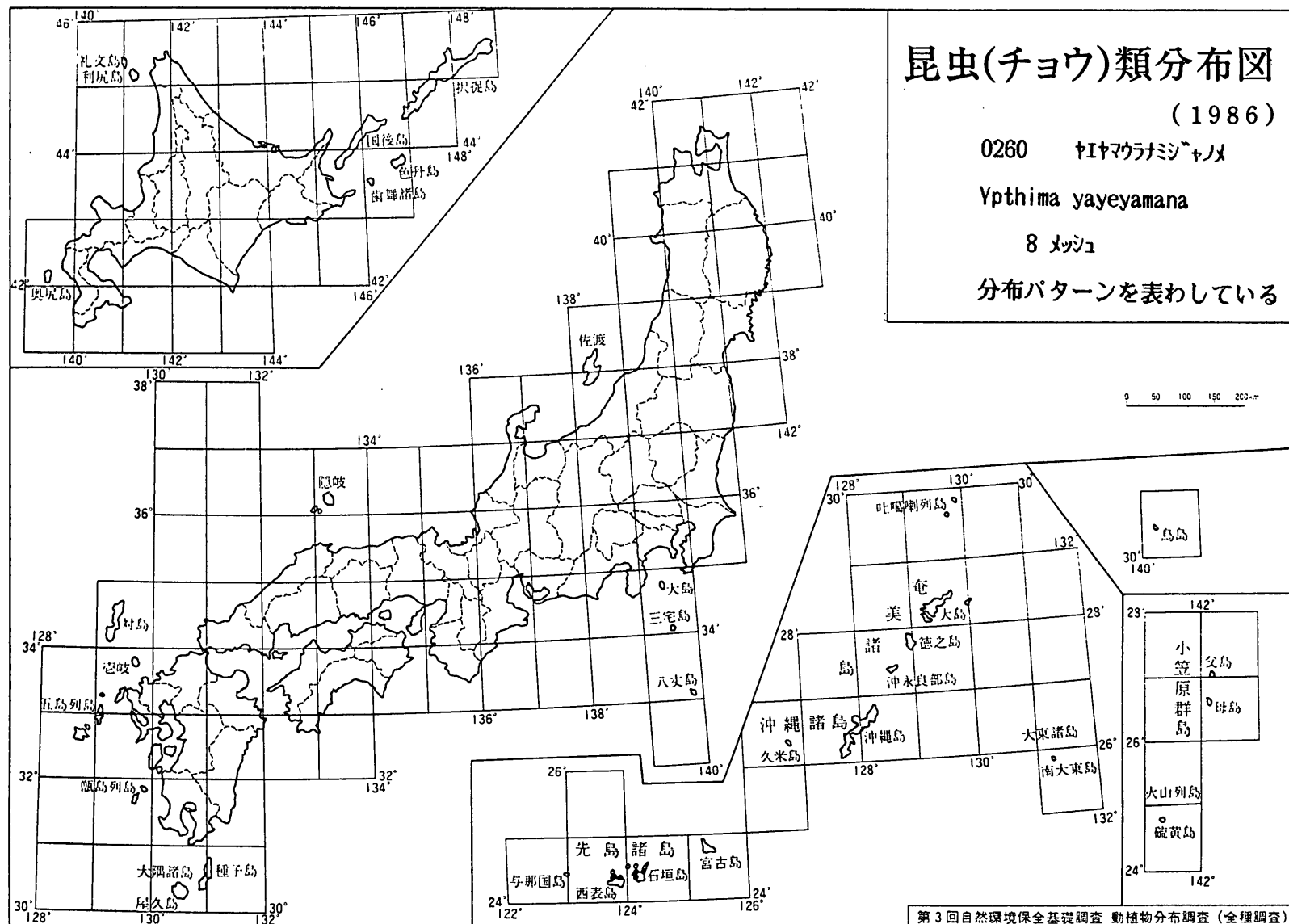


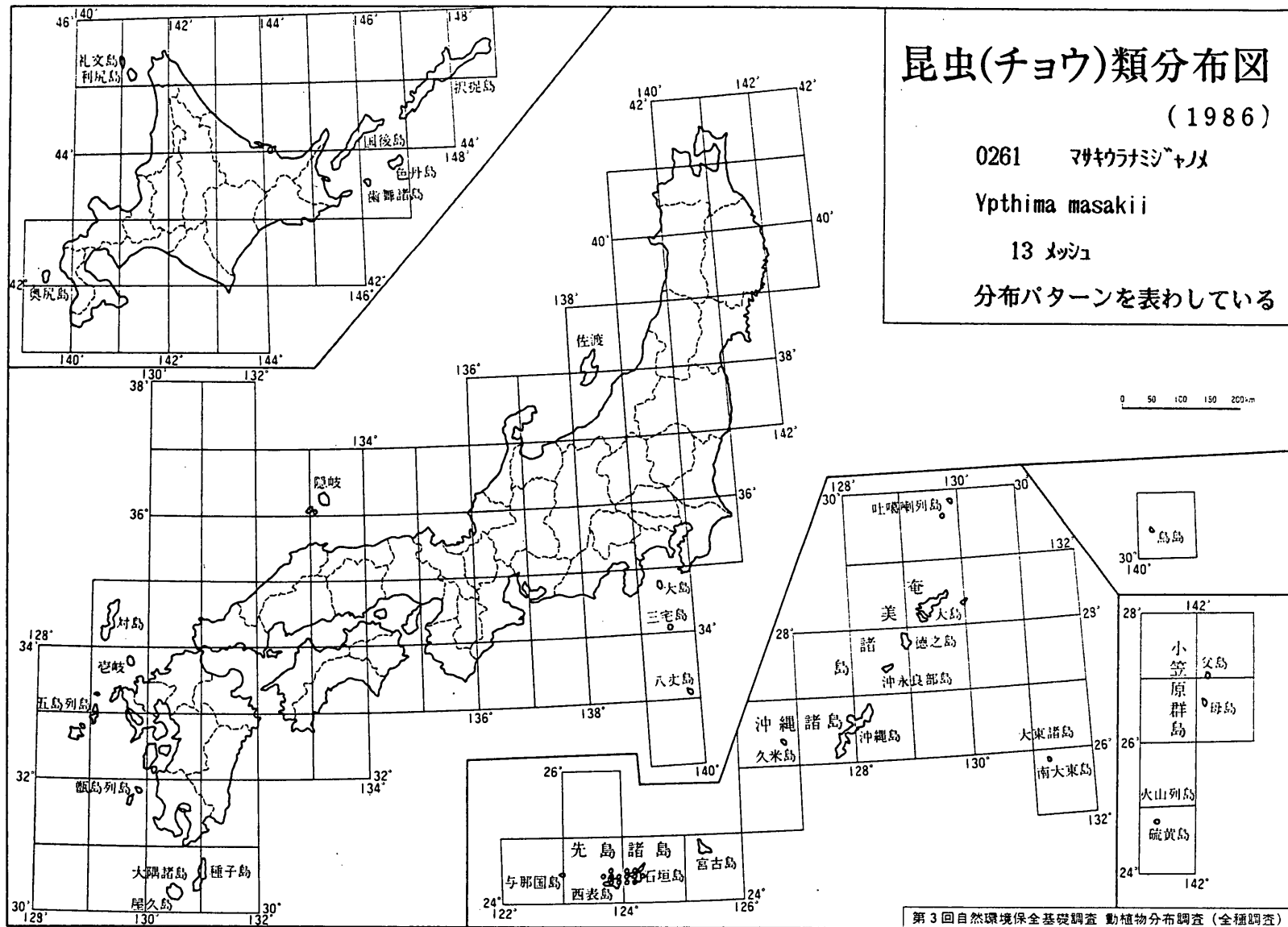


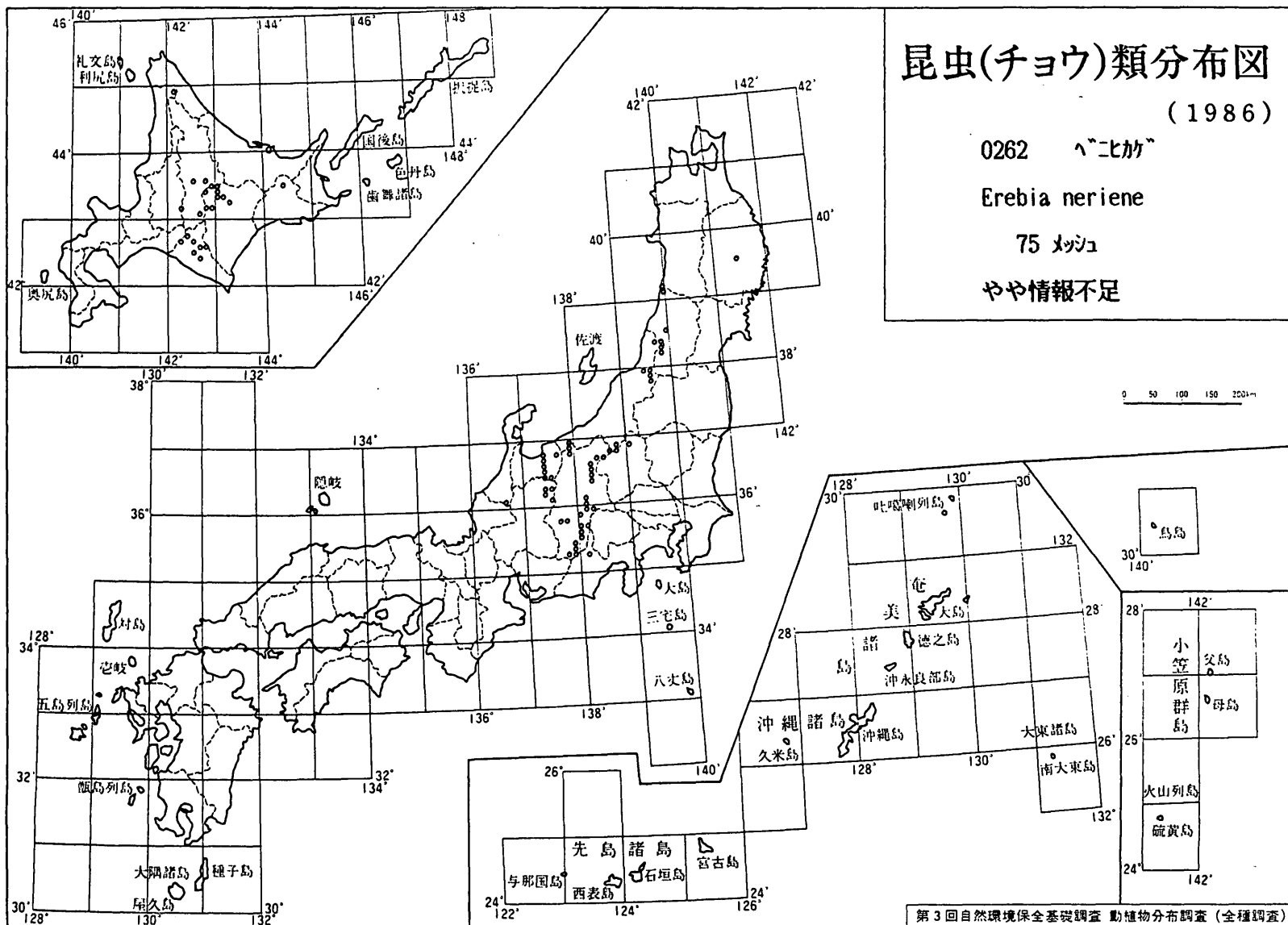


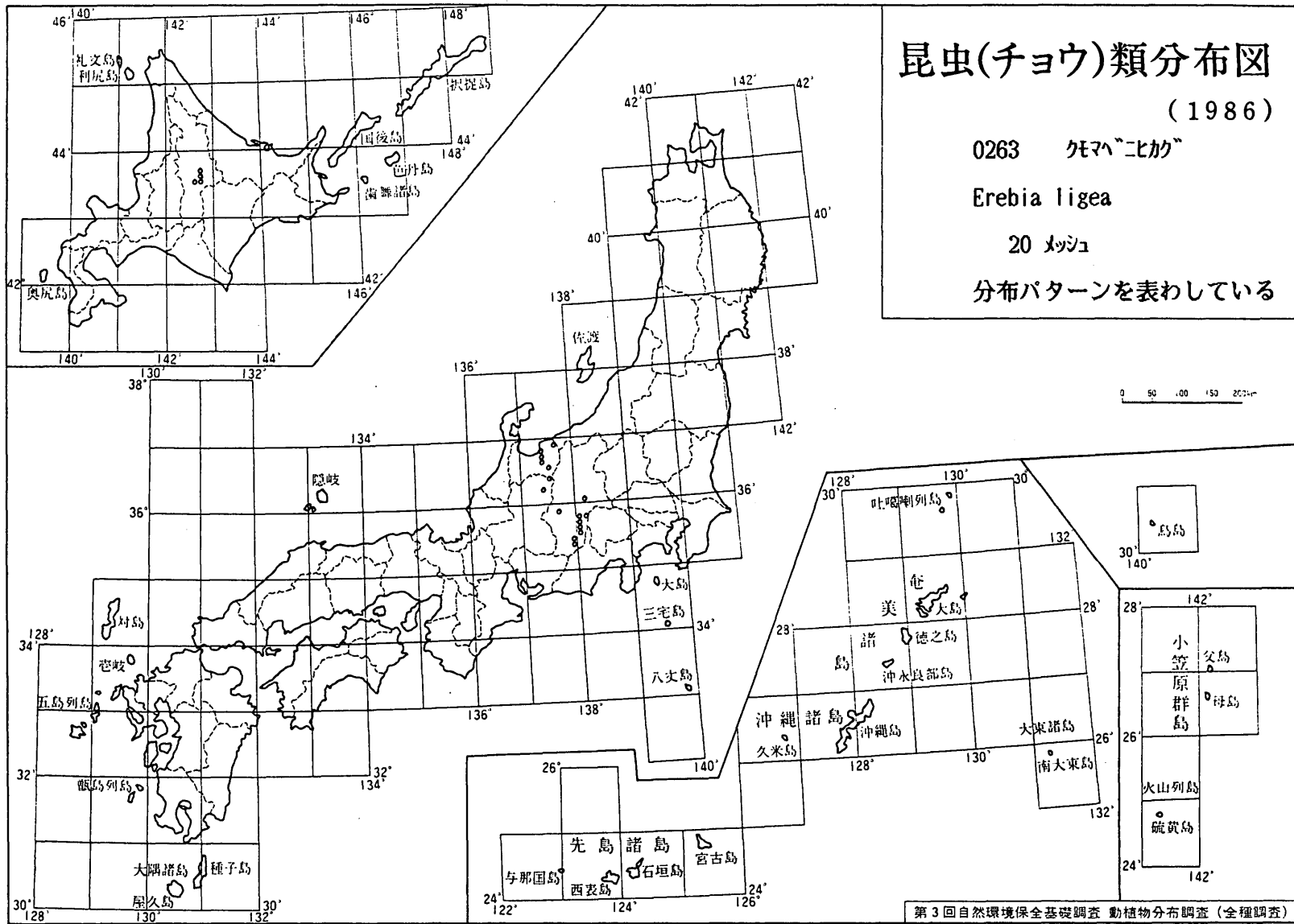


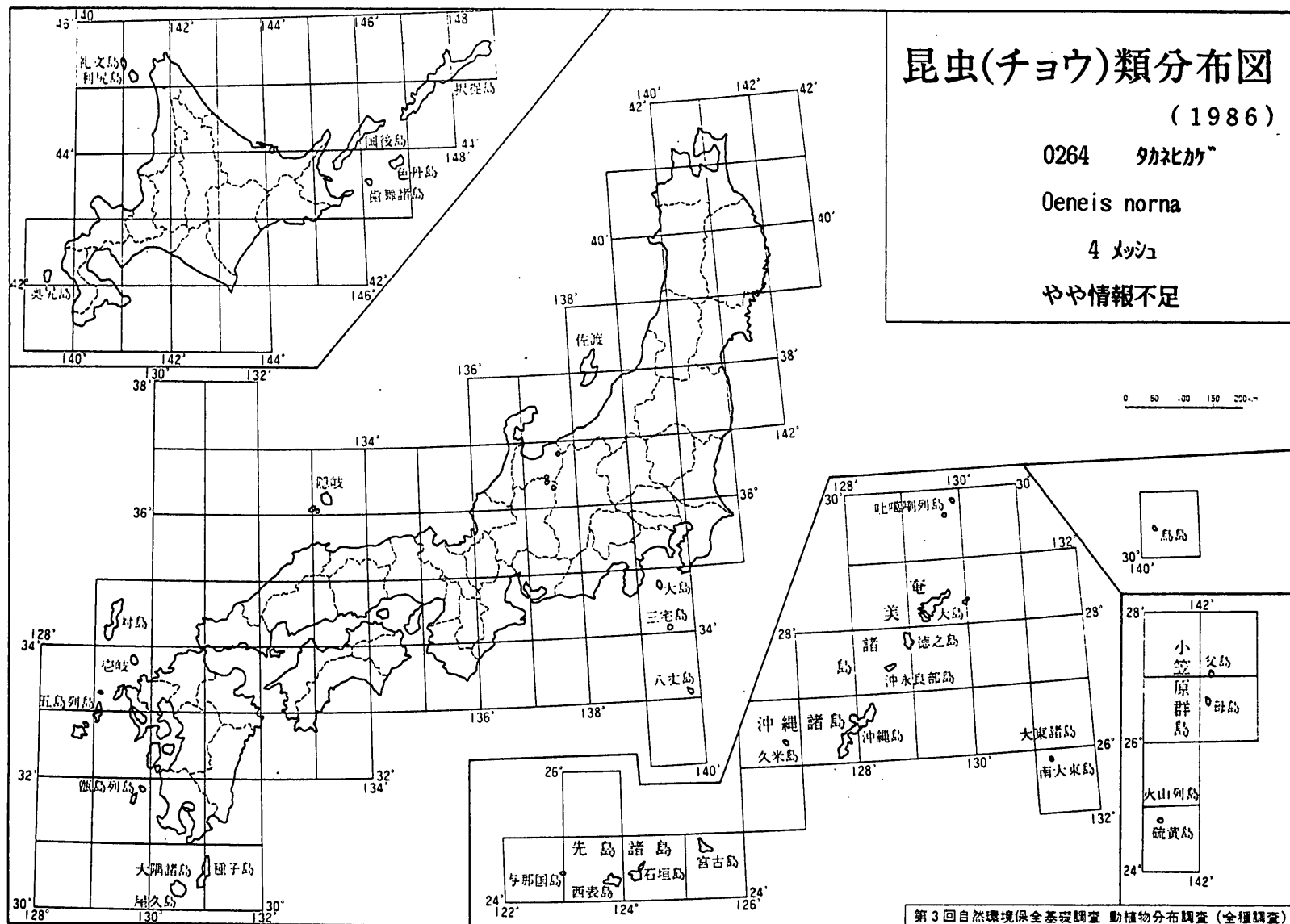


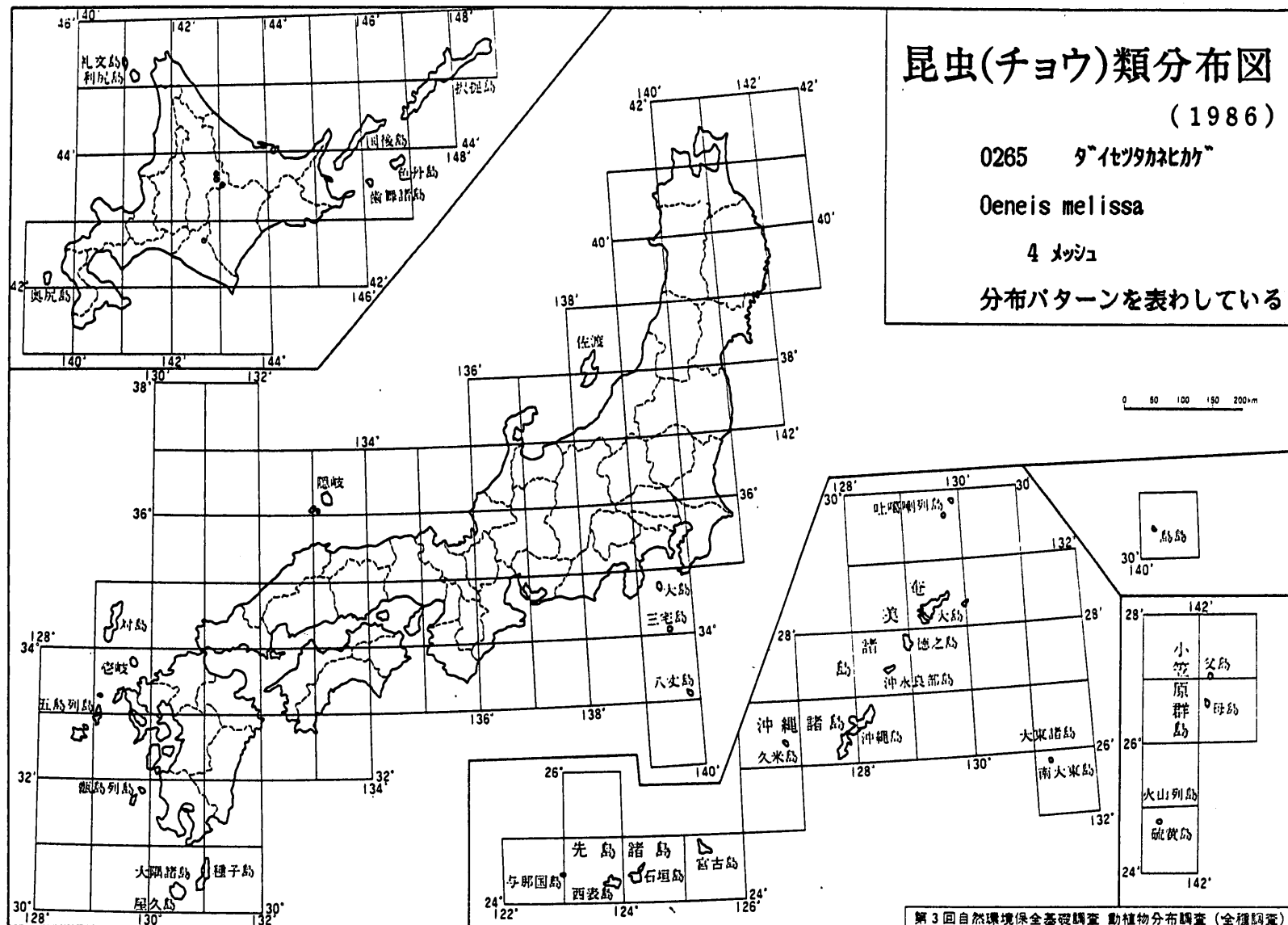


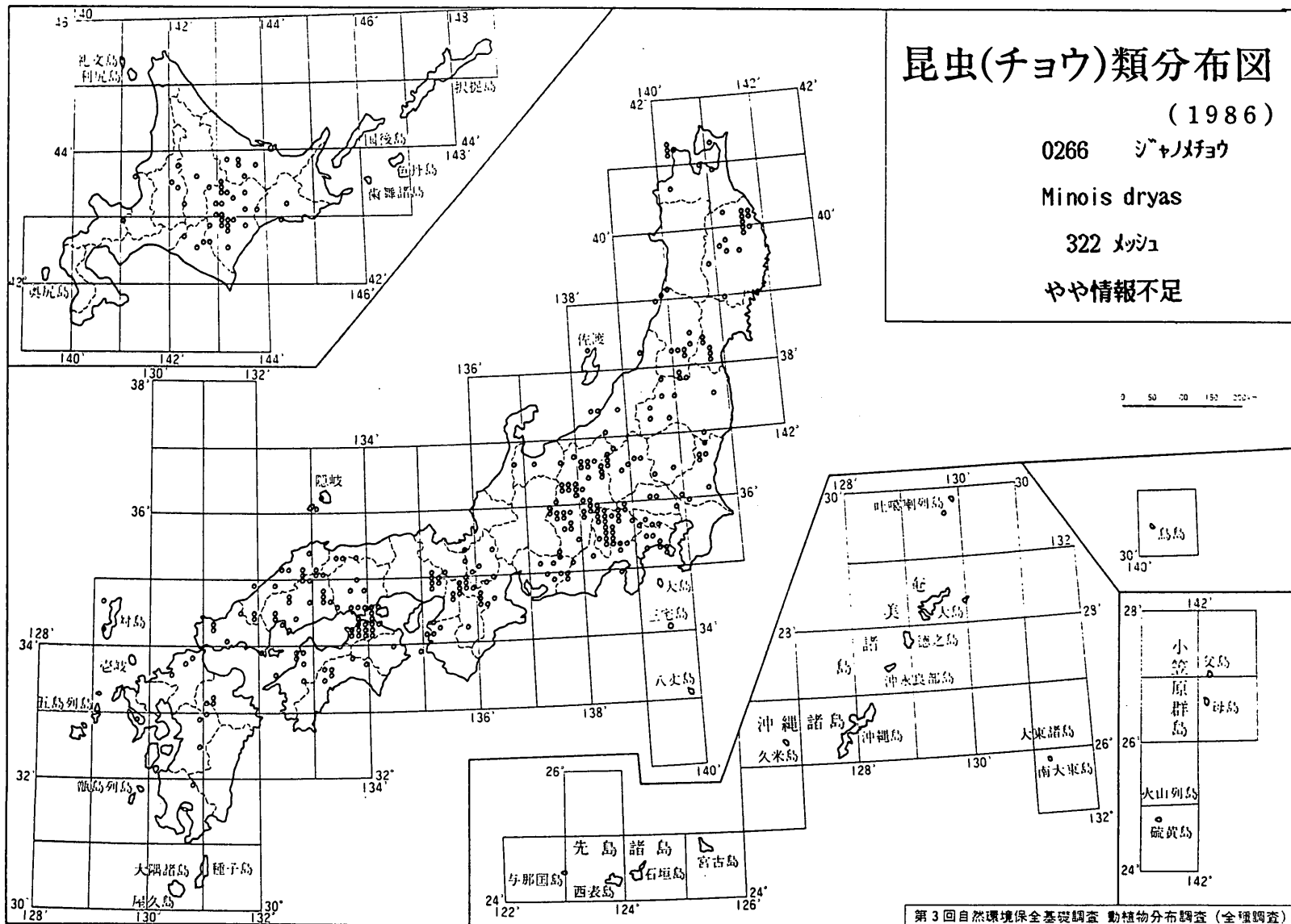


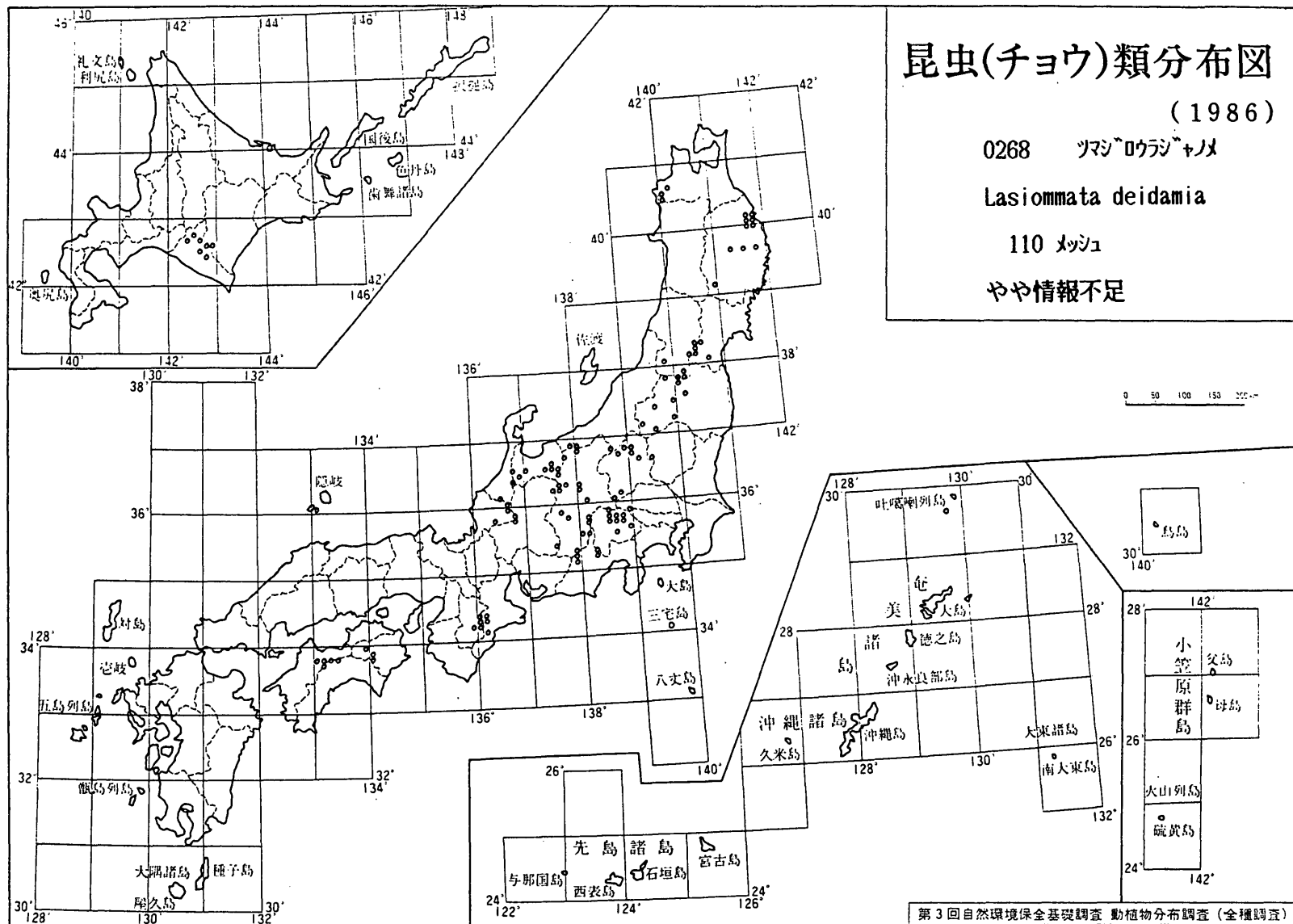


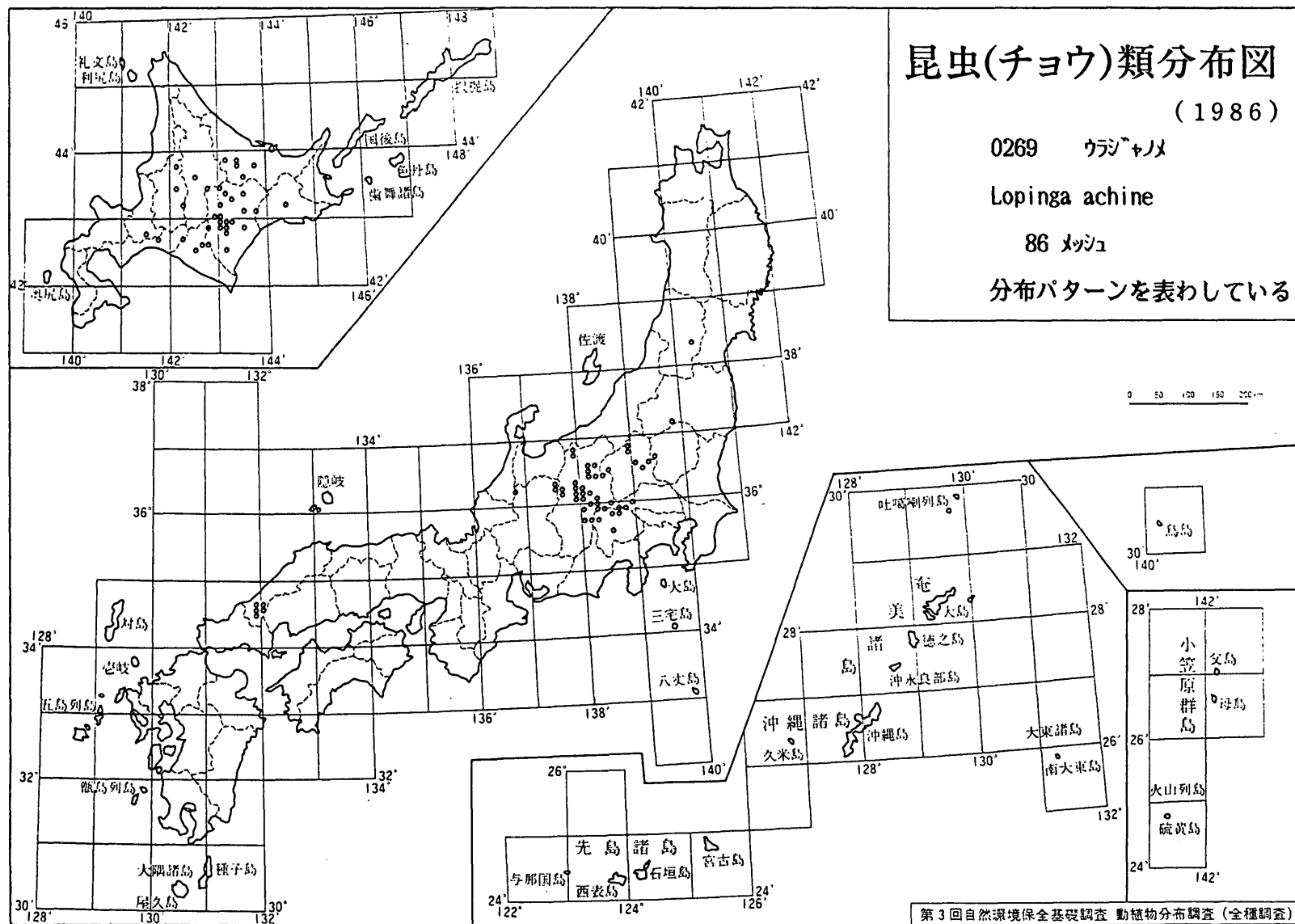












昆虫(チョウ)類分布図

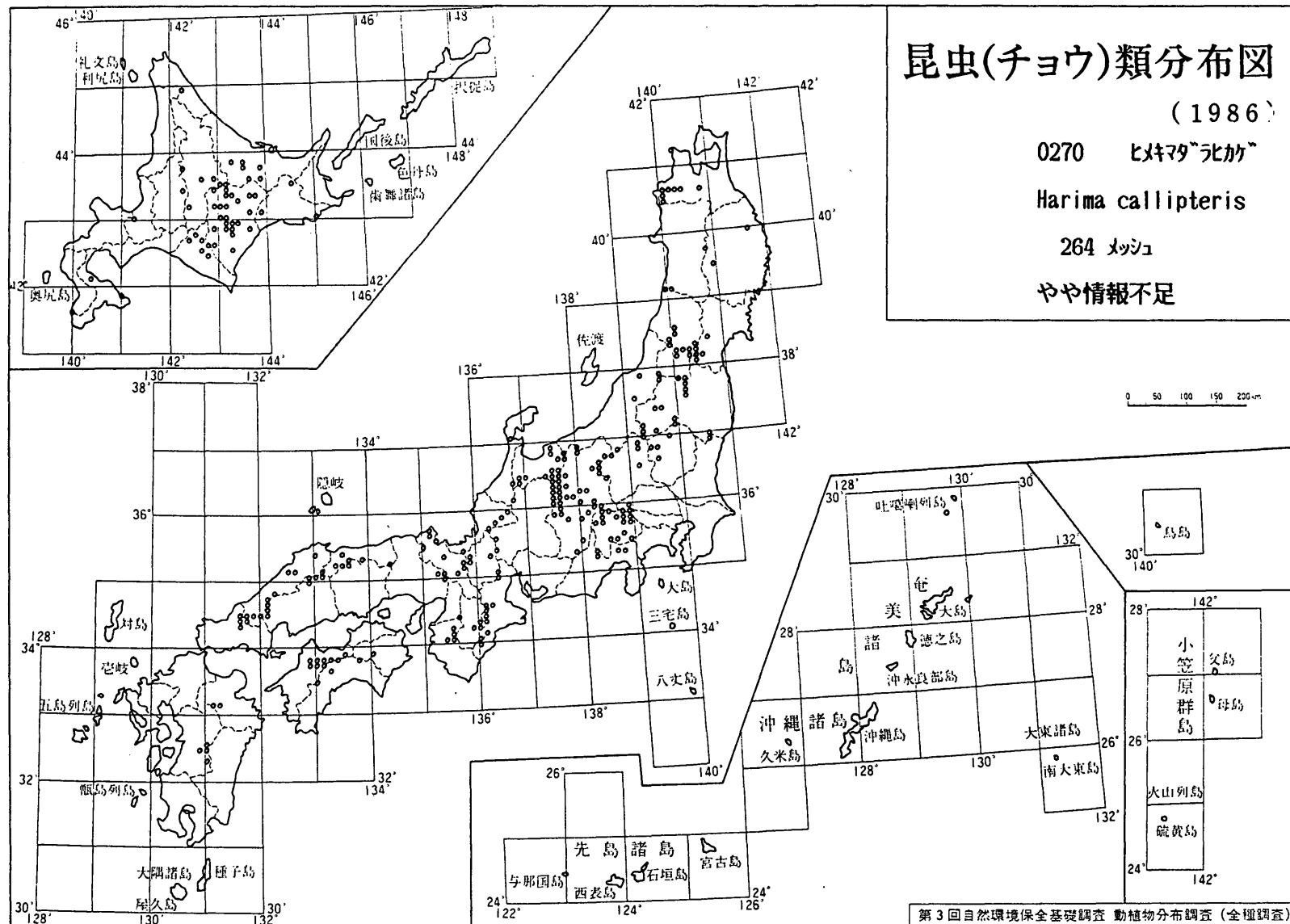
(1986)

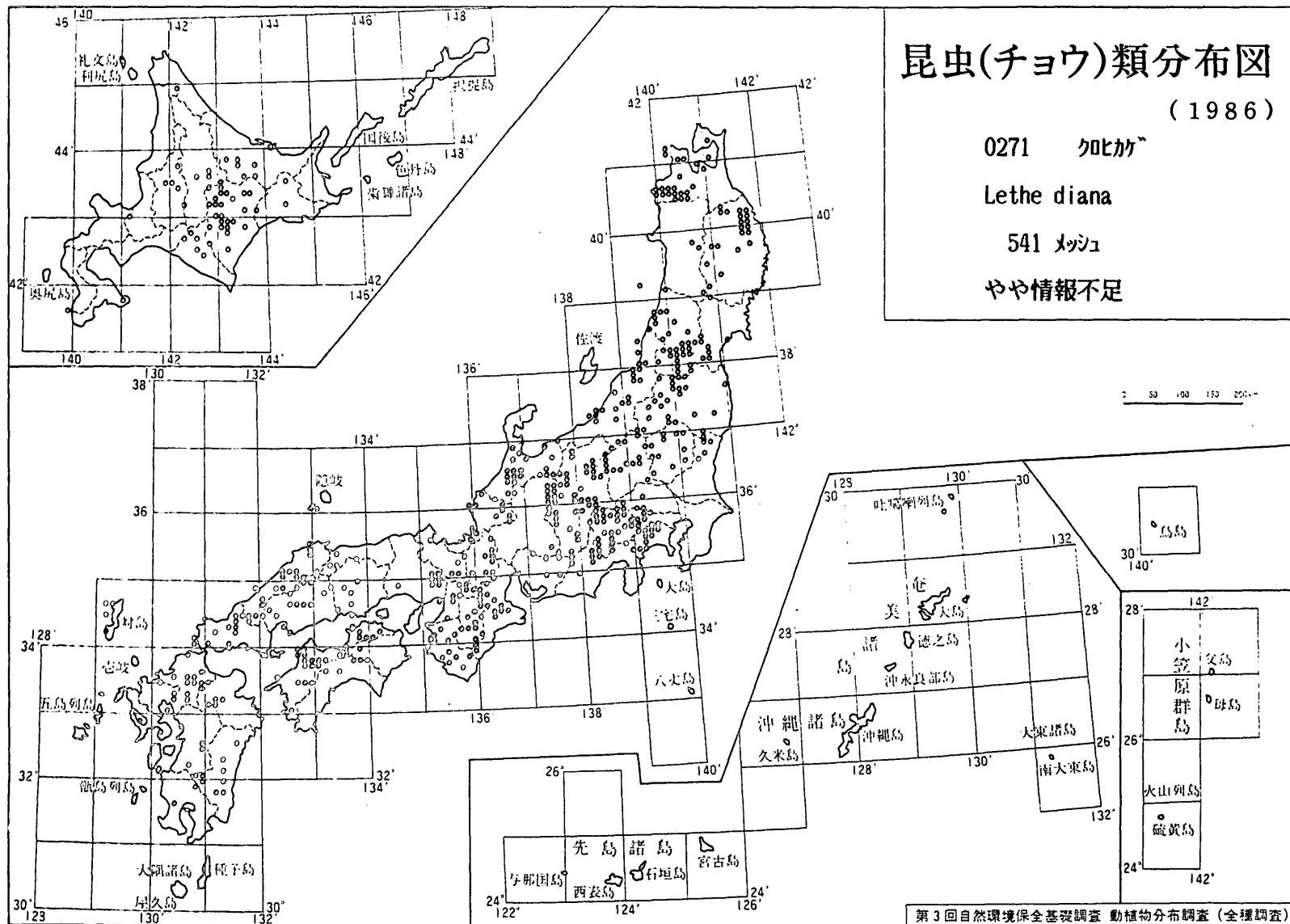
0270 ヒメキマツバカ

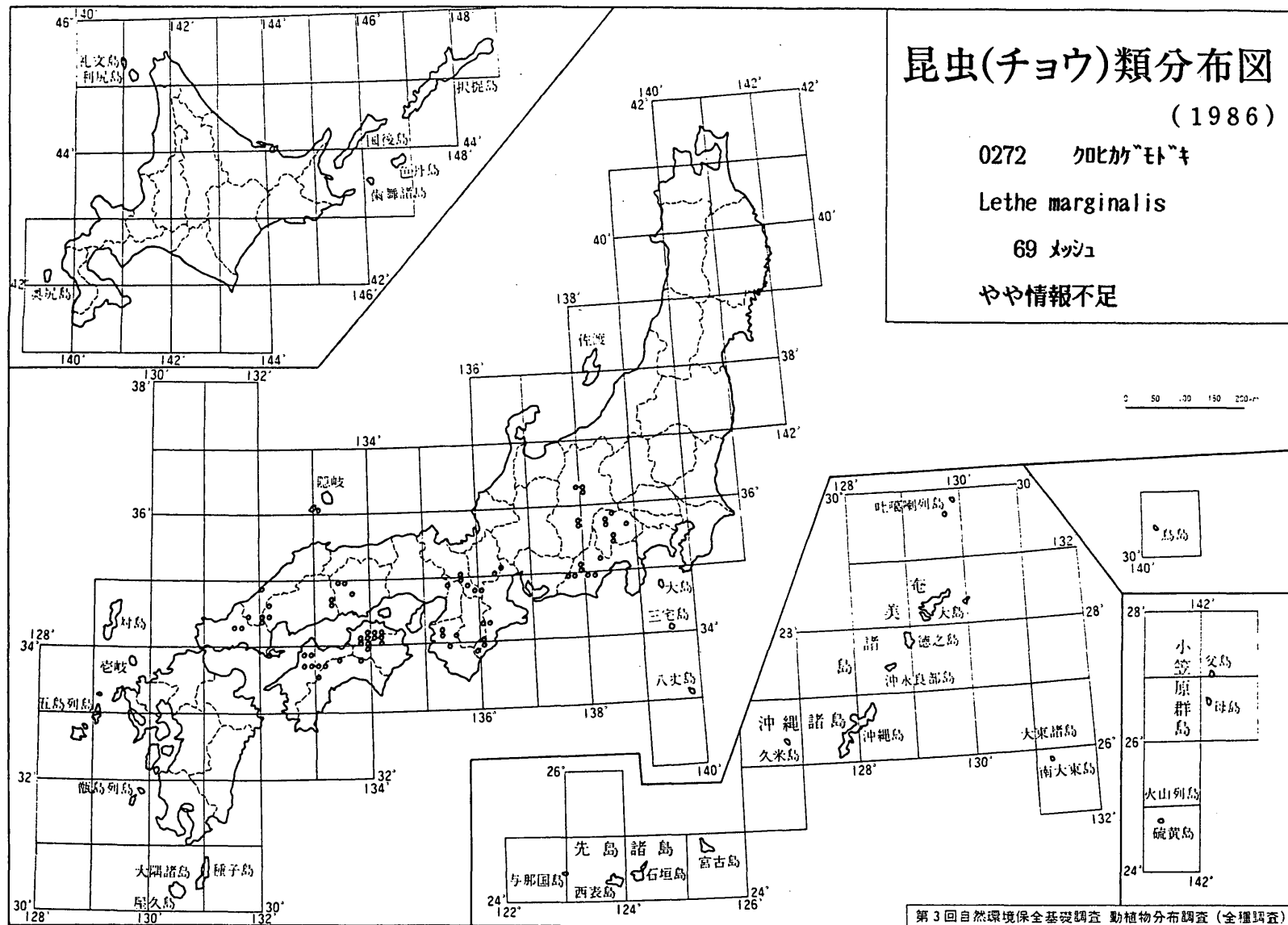
Harima callipteris

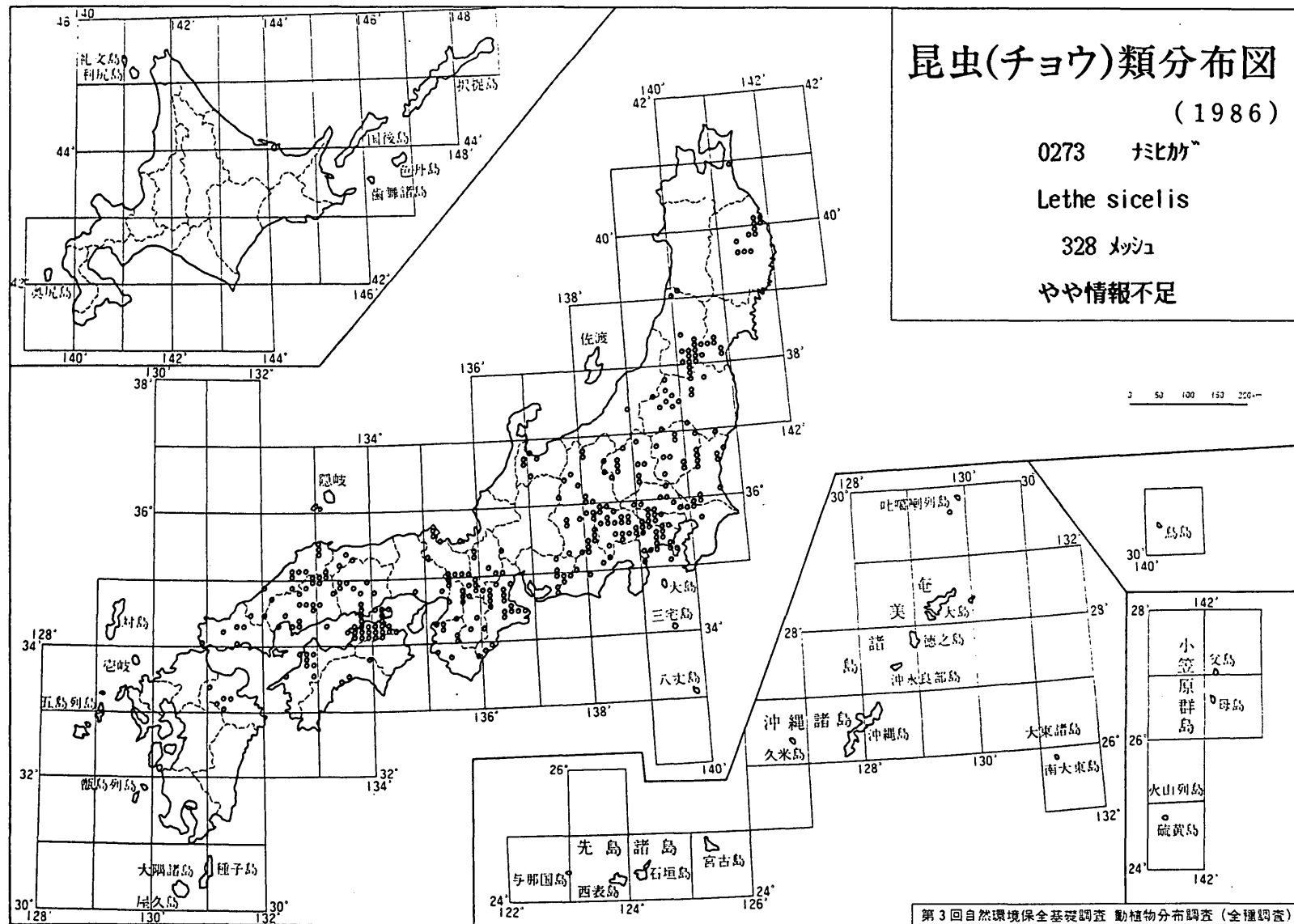
264 メッシュ

やや情報不足









昆虫(チョウ)類分布図

(1986)

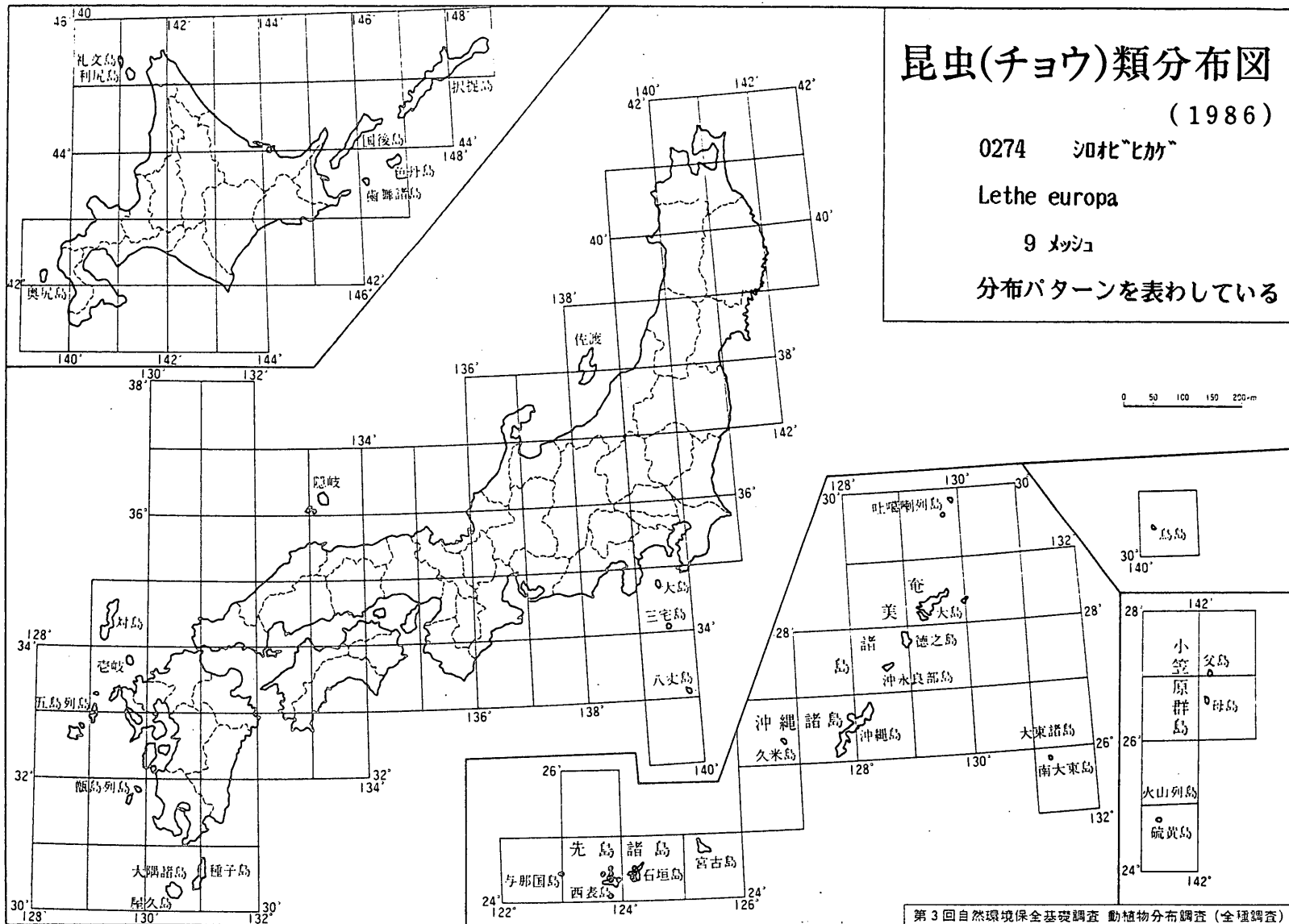
0274 シロヒカ

Lethe europa

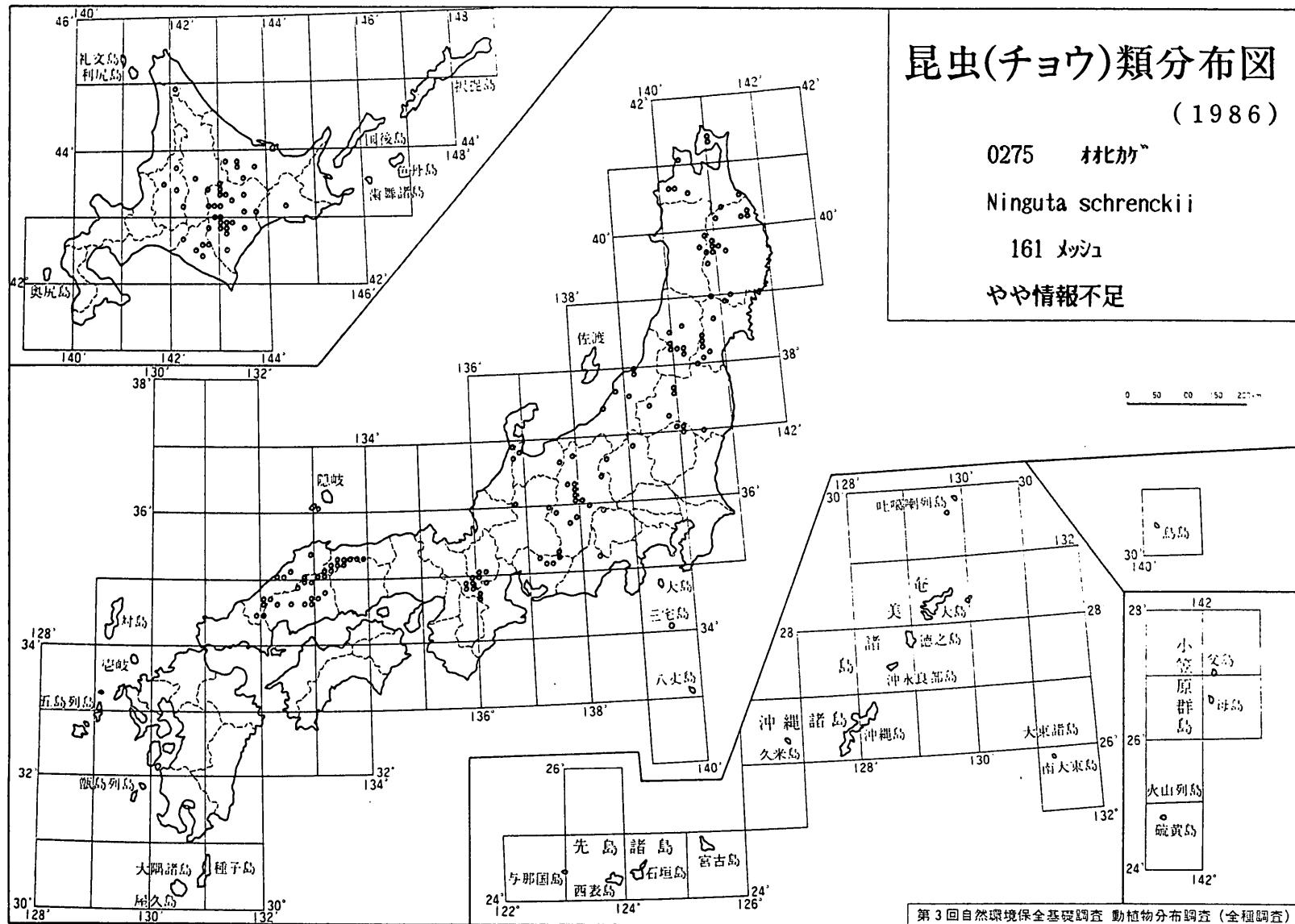
9 メッシュ

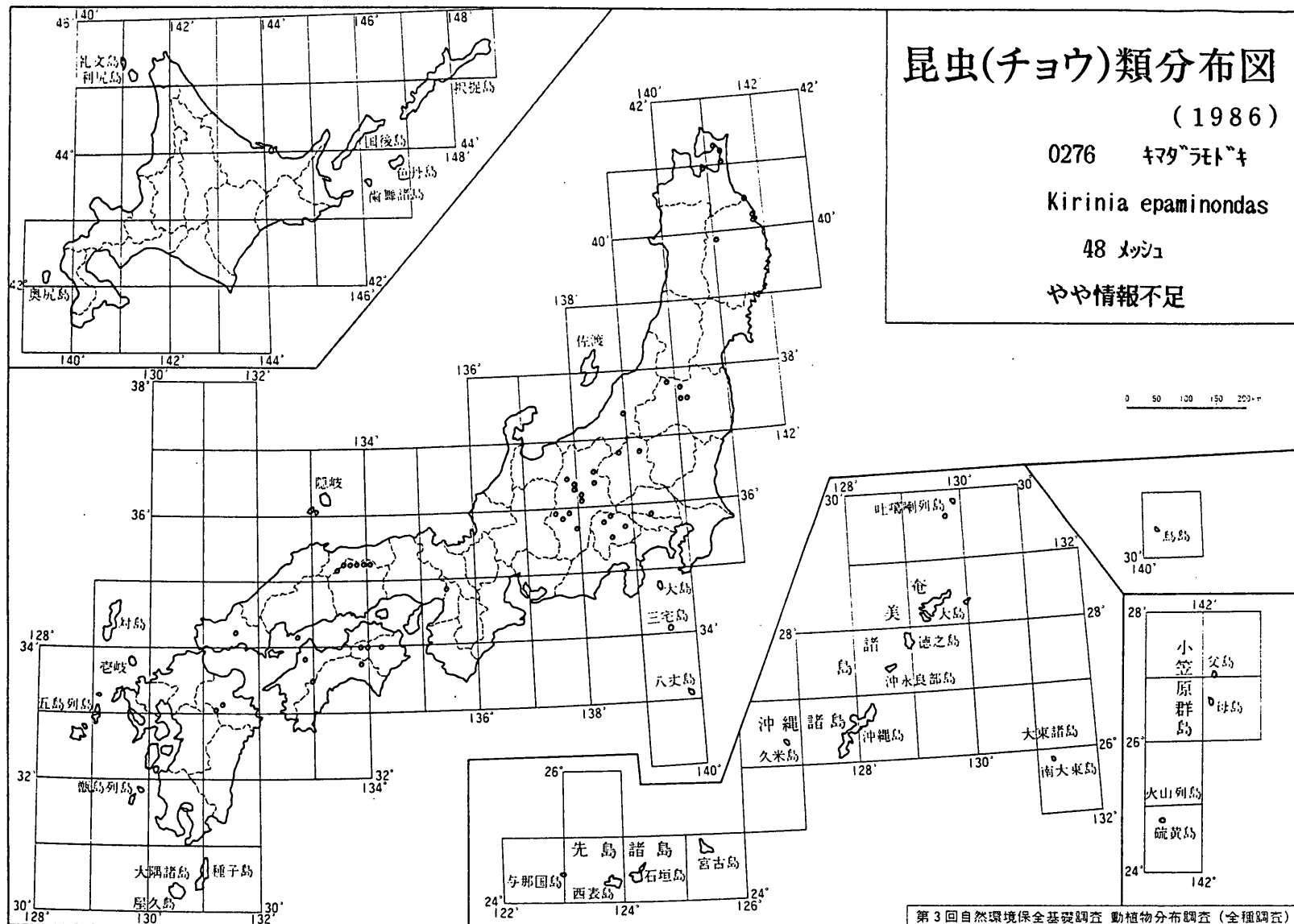
分布パターンを表わしている

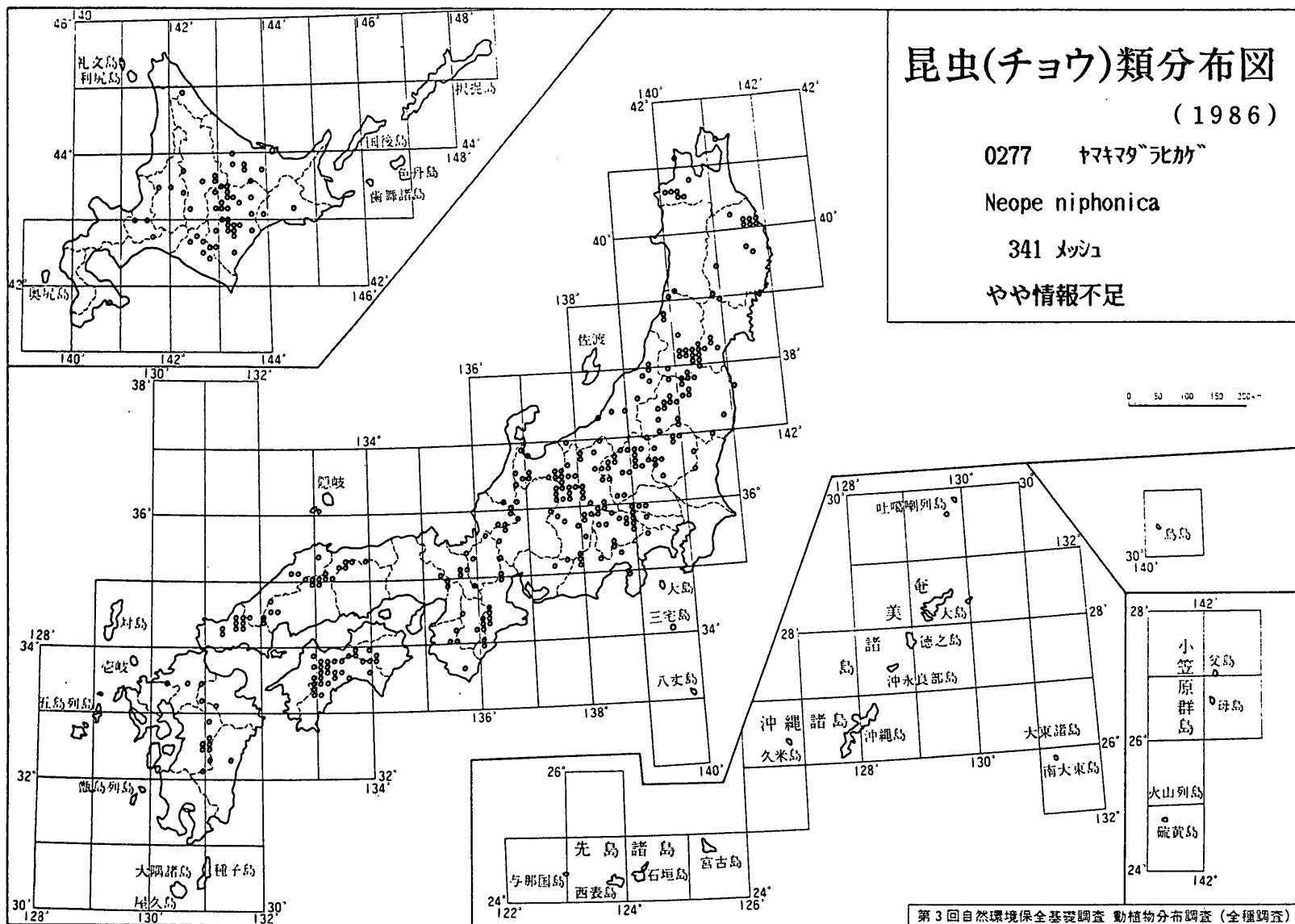
0 50 100 150 200-m

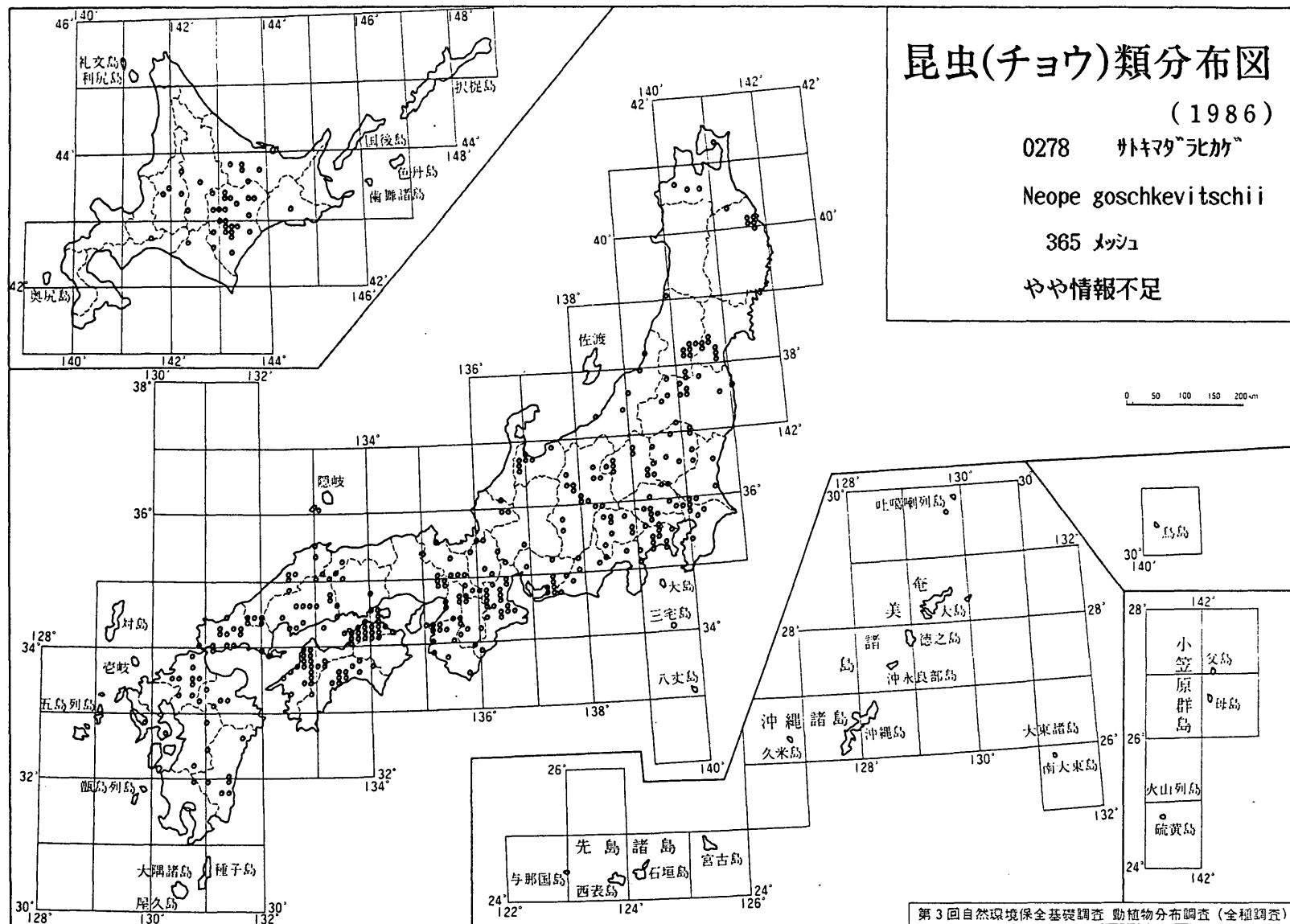


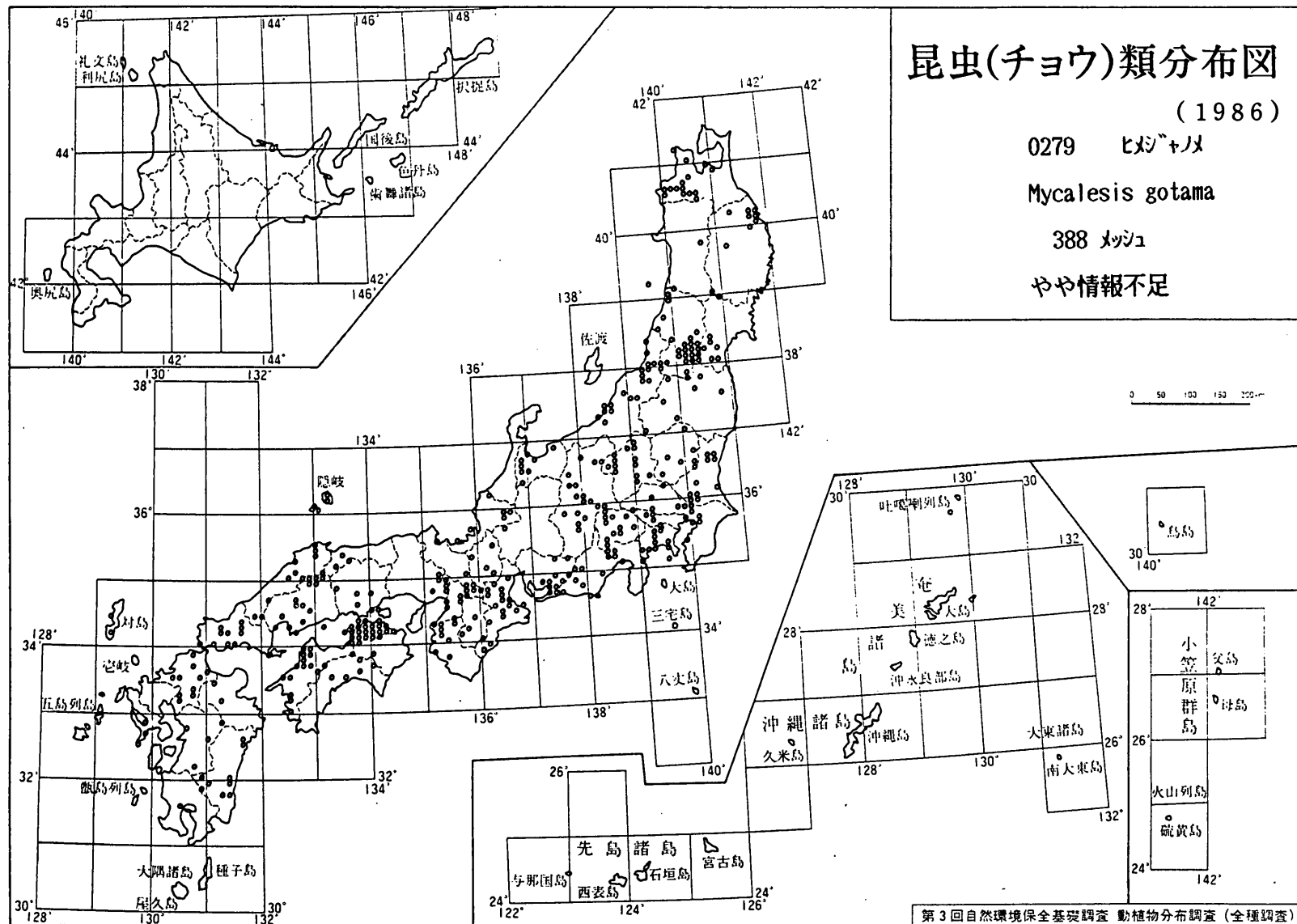
第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)

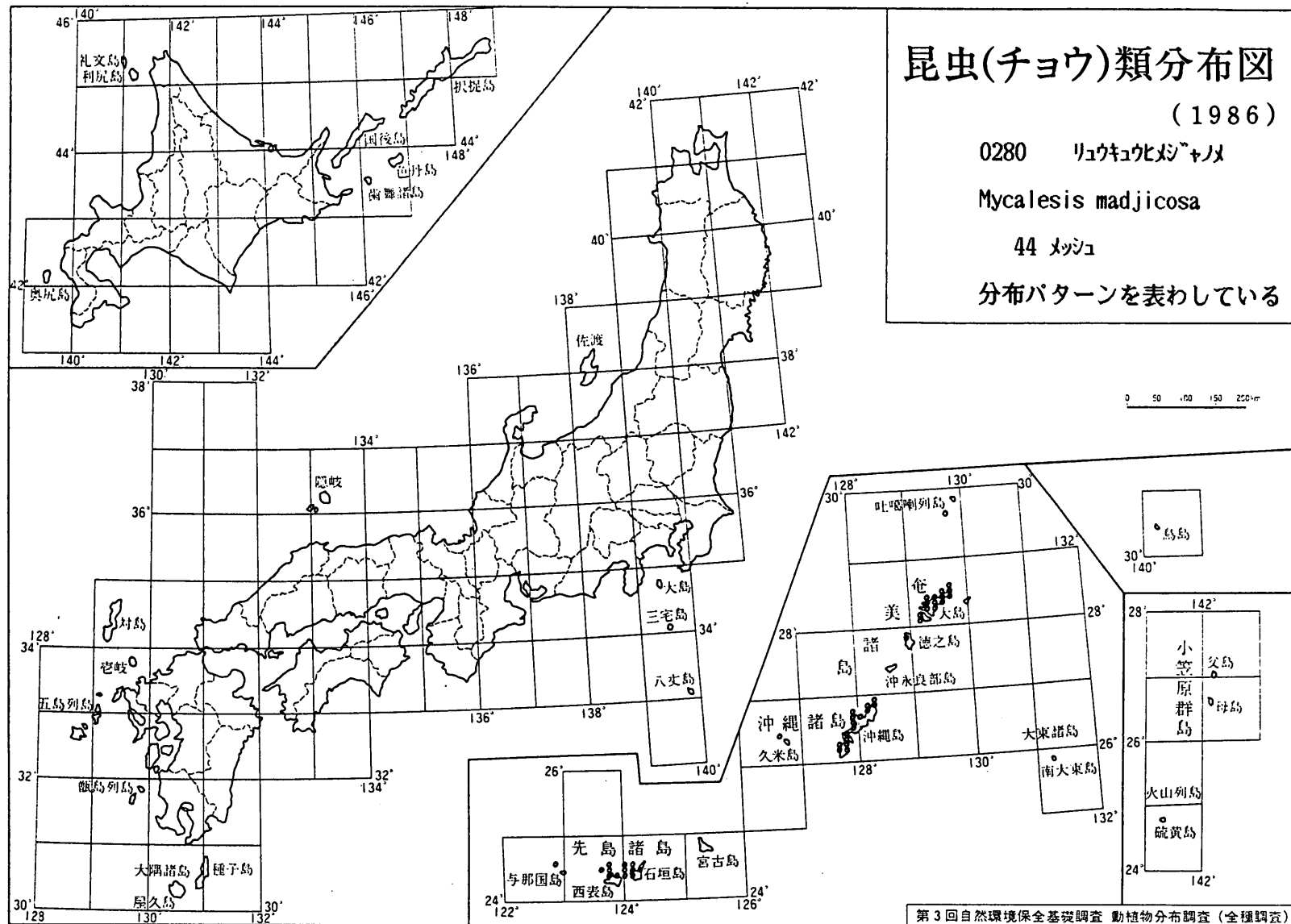


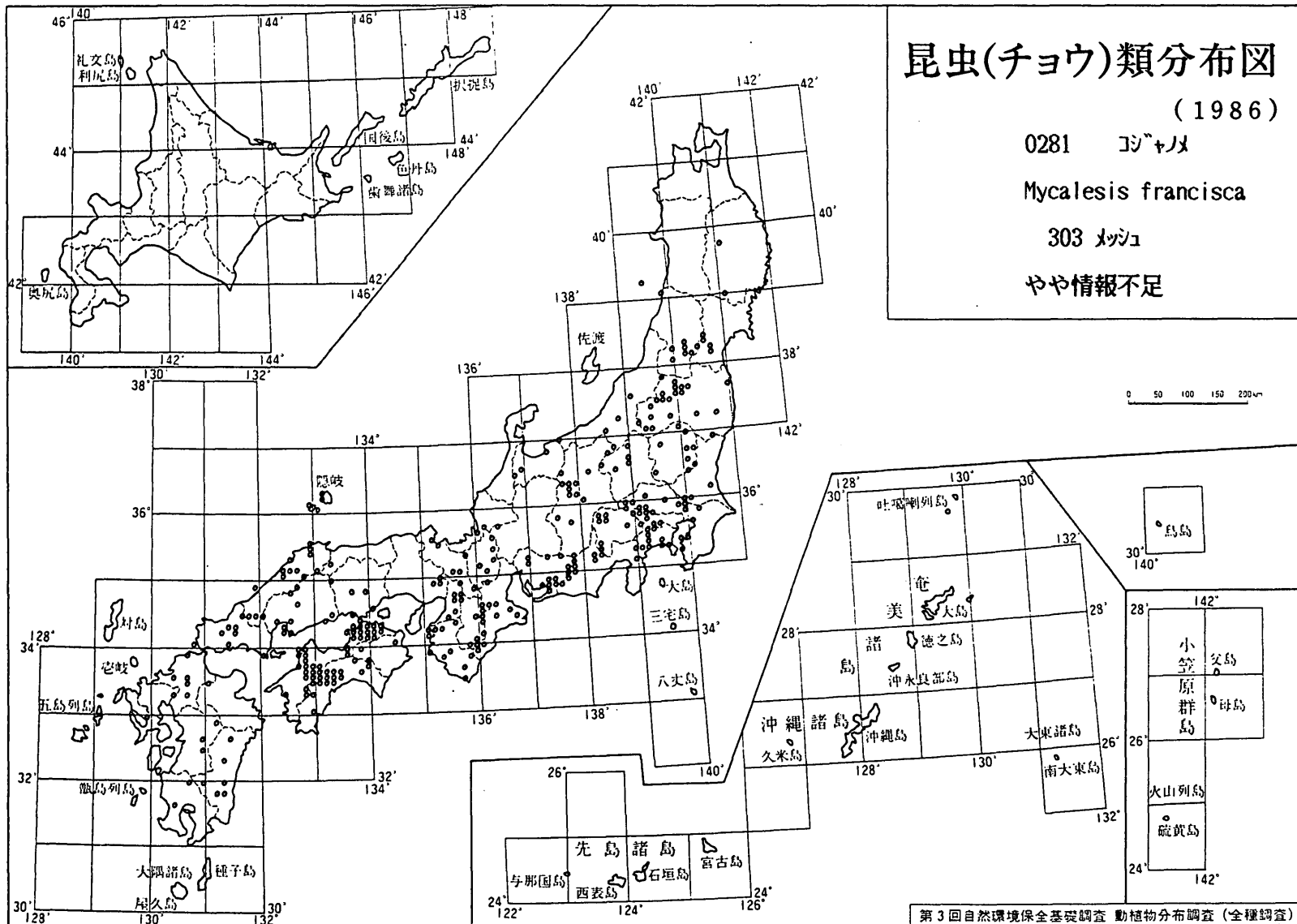


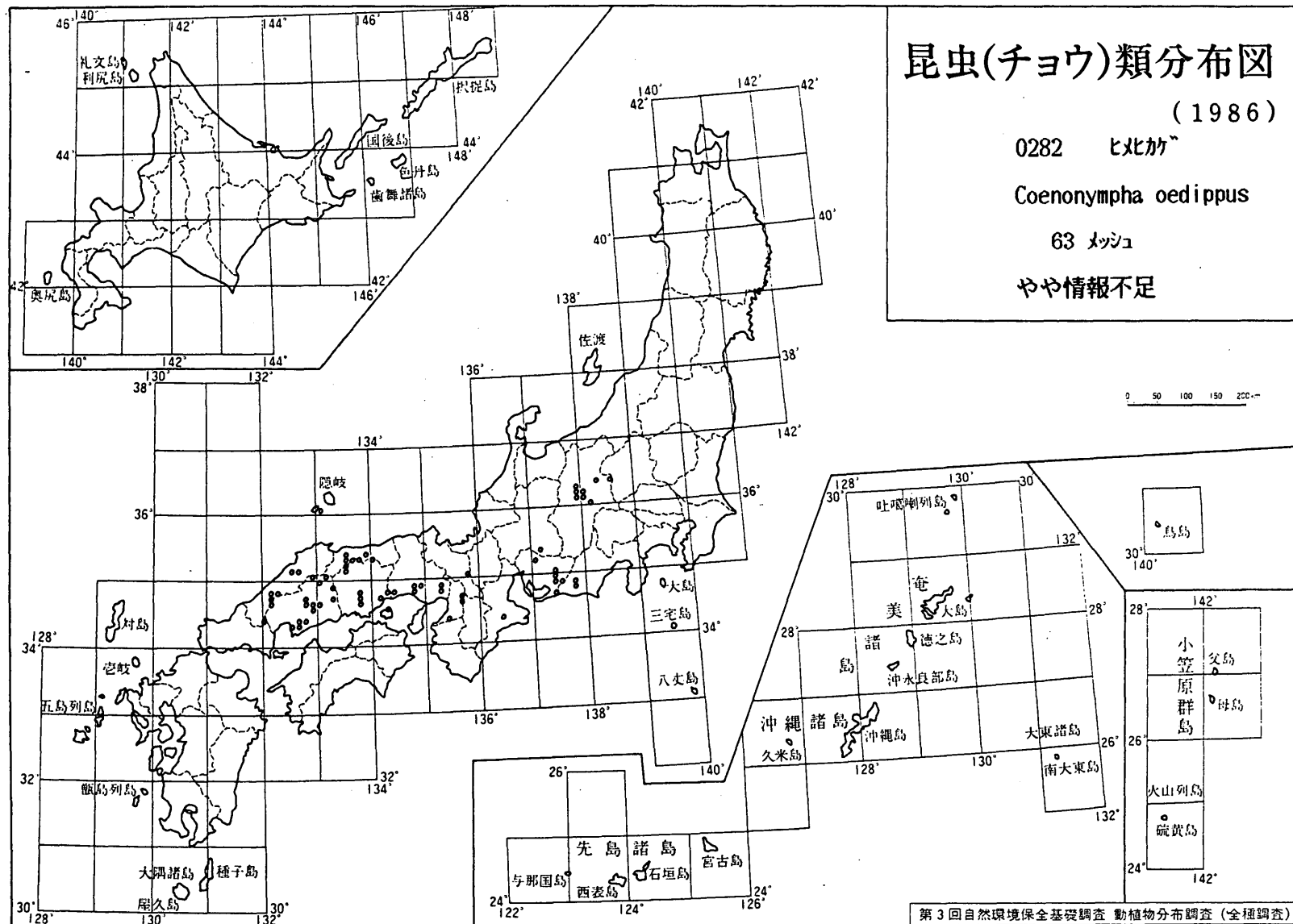


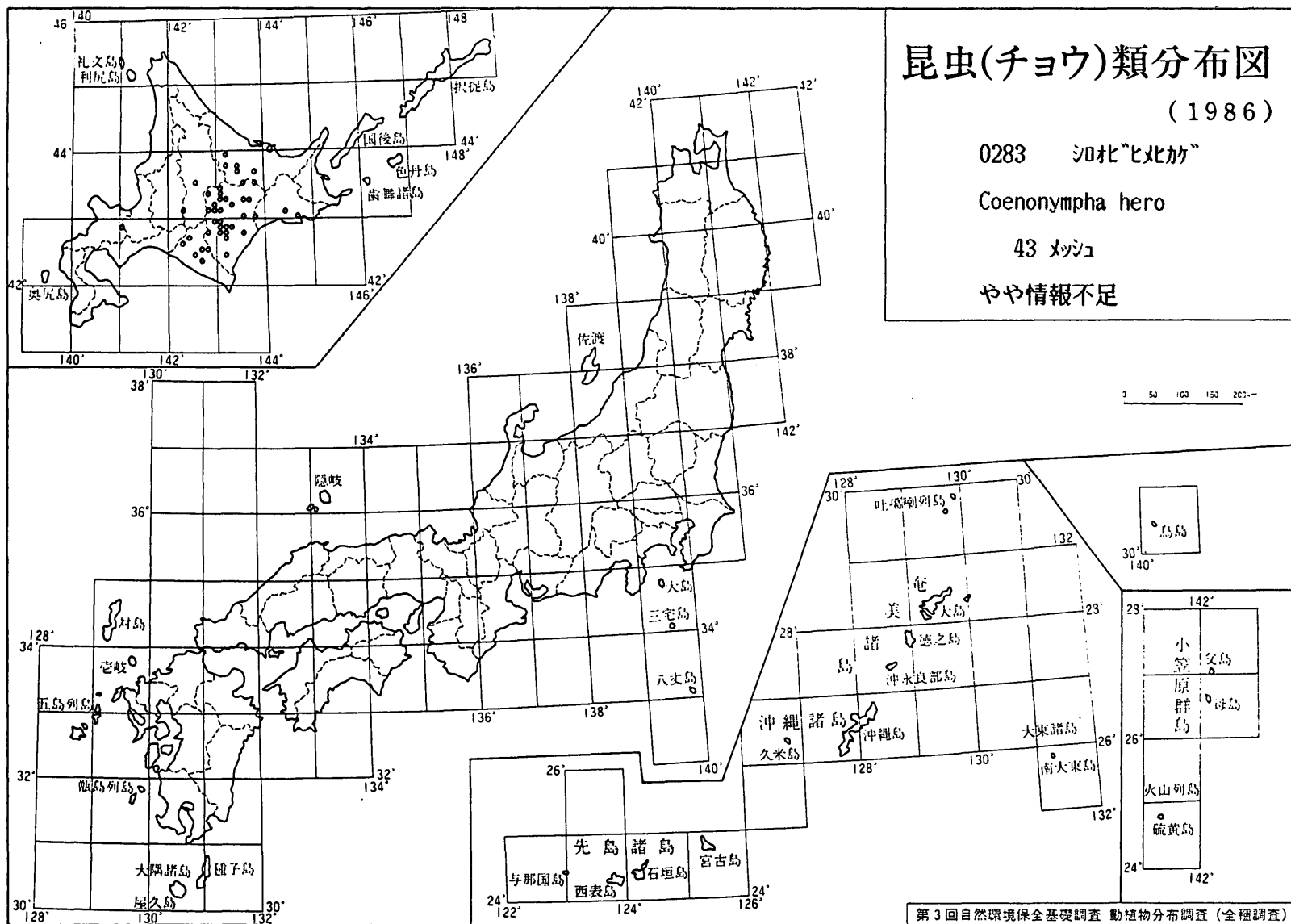












昆虫(チョウ)類分布図

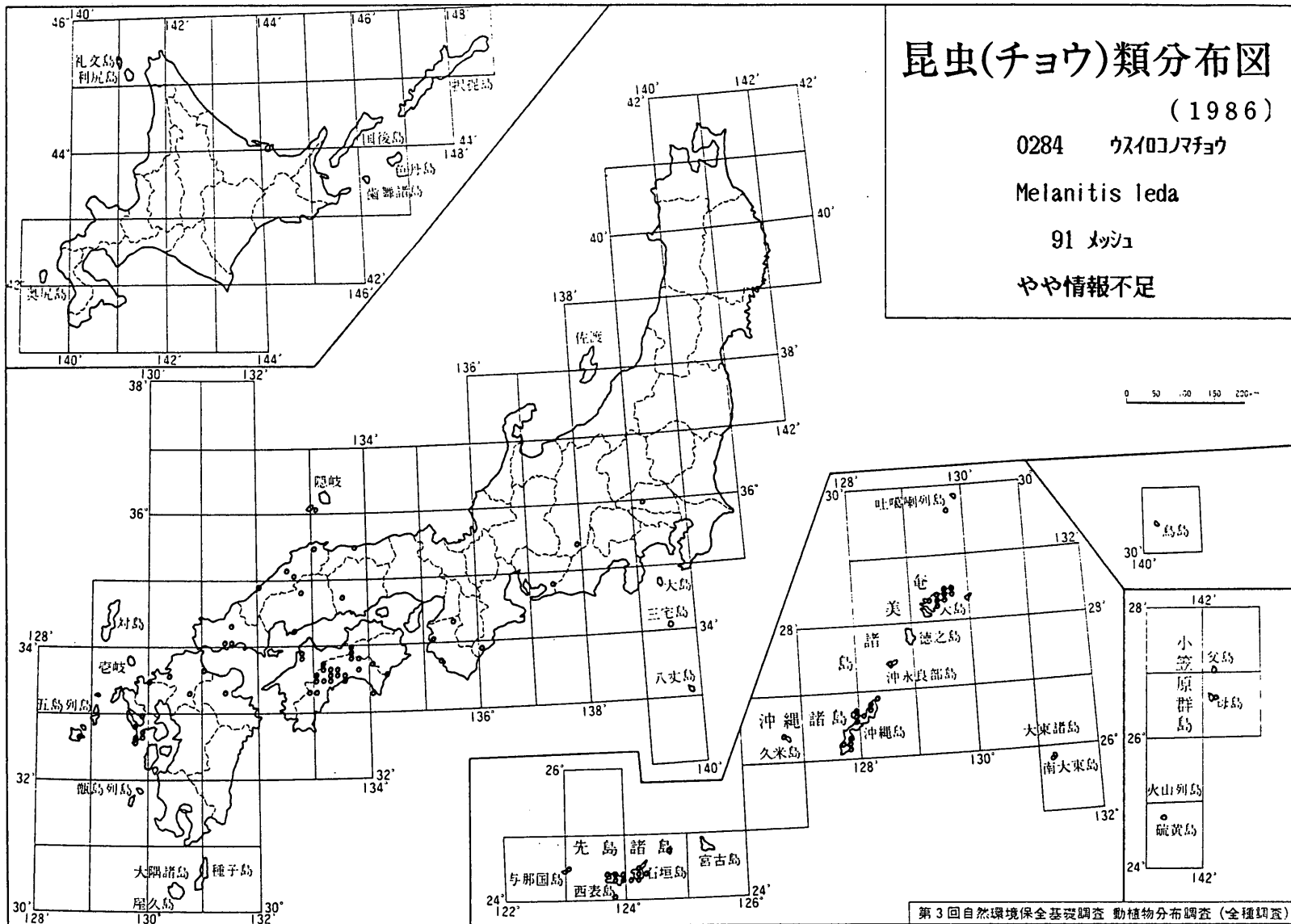
(1986)

0284 ウスバコマチョウ

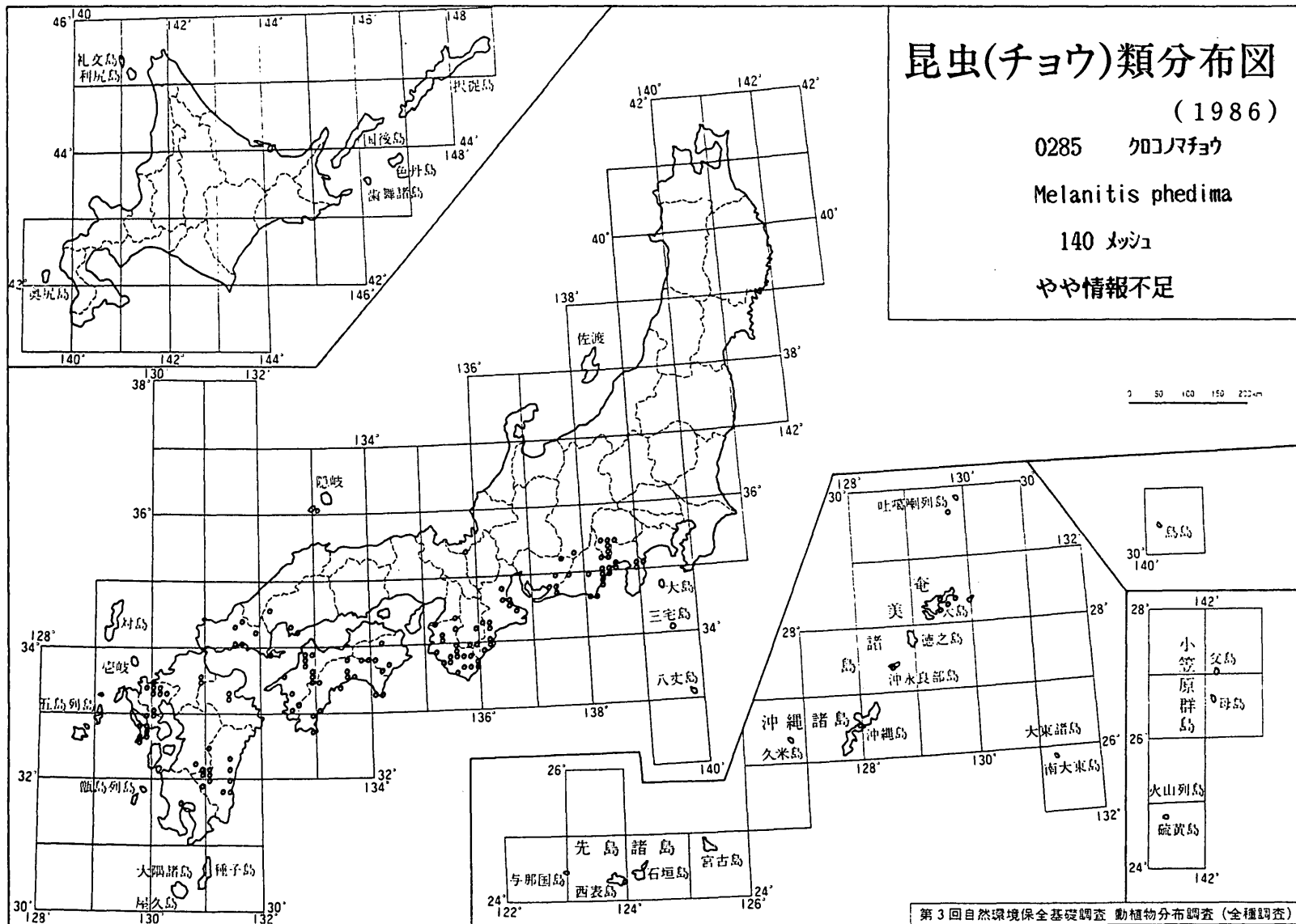
Melanitis leda

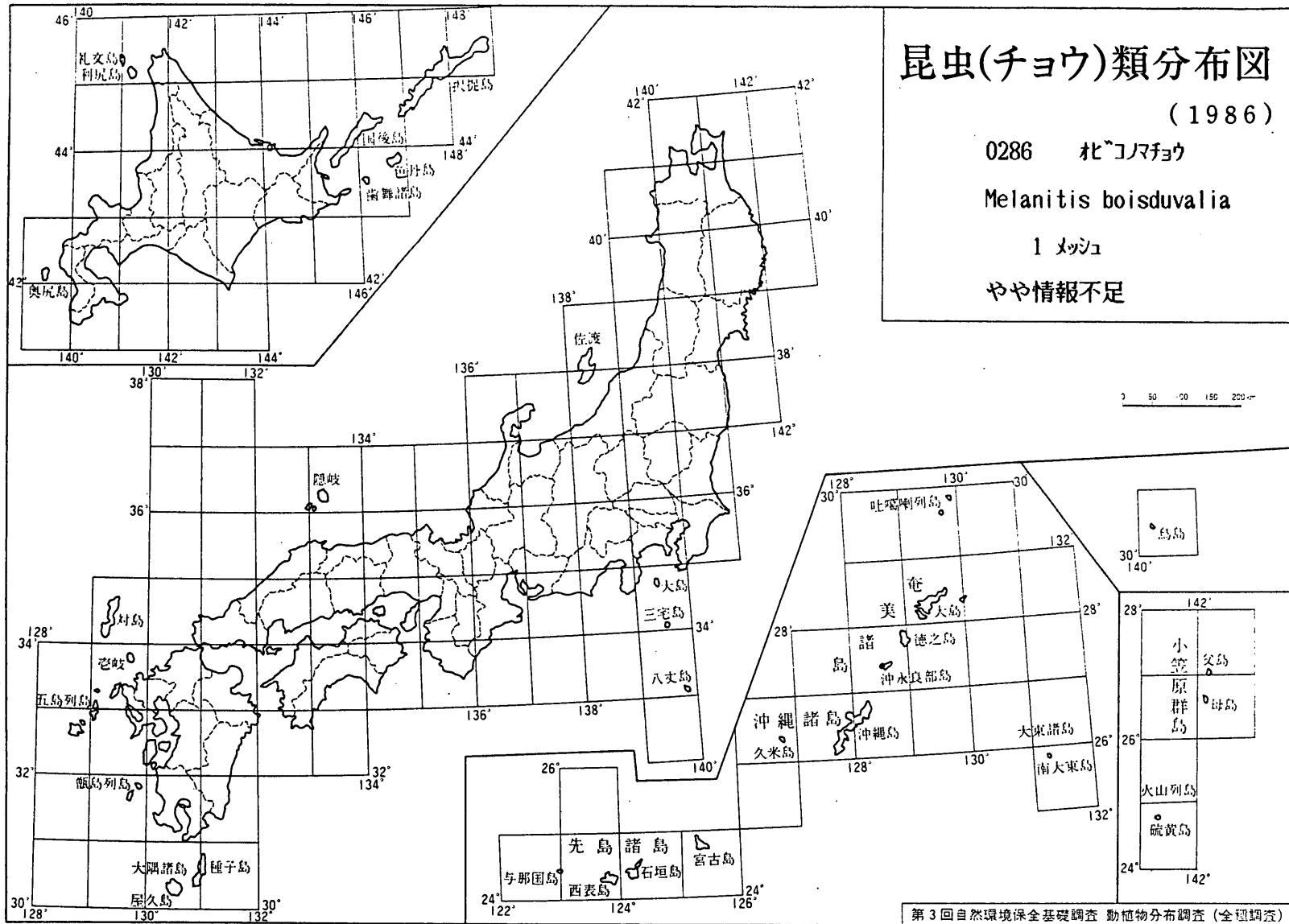
91 メッシュ

やや情報不足



第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 (全種調査)





第2. 集 計 表

分布図を掲載した全ての種・亜種について、都道府県別の情報収集状況を把握するため、調査票に記載された3次メッシュ（およそ1 Km×1 Km）を単位として集計を行った。

配列は、分布図と同様、巻末資料「調査対象種一覧表」に示された調査対象種・亜種の順である。

- 注(1) 本集計表は、報告のあった3次メッシュを種別・都道府県別に集計したものである。従って分布図上に示された地点（2次メッシュ）数とは必ずしも一致しない。
- (2) 同一種、同一3次メッシュにおいて、複数の調査員からの、あるいは異なる調査年月の報告があった場合は重複を排除し、1件として集計した。
- (3) 複数の都府県にまたがるメッシュについては、便宜的にその中で一番大きな面積を占める都府県に属するものとして集計した。

昆虫(チョウ)類

(注) 本集計表は報告のあった3次メッシュ数を種別・都道府県別に集計したものである。

従って分布図上に示された地点(2次メッシュ)数とは必ずしも一致しない。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	合計		
	北	青	岩	宮	秋	山	福	茨	栃	群	埼	千	東	神	新	富	石	福	山	長	岐	静	愛	三	滋	京	大	兵	奈	和	鳥	島	岡	広	山	徳	香	愛	高	福	佐	長	熊	大	宮	鹿	沖			
	海													奈																歌																				
	道	森	手	城	田	形	島	城	木	馬	玉	葉	京	川	潟	山	川	井	梨	野	阜	岡	知	重	賀	都	阪	庫	良	山	取	根	山	島	口	島	川	媛	知	岡	賀	崎	本	分	崎	島	縄			
0001	チマダラセセリ	32	0	6	2	0	1	11	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7	12	0	0	0	0	0	0	0	0	93	
0002	ヒメチマダラセセリ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
0003	ミヤマセセリ	40	1	13	7	0	32	11	5	11	33	11	4	15	8	10	15	0	4	39	33	7	6	18	11	8	22	21	5	5	7	1	5	11	24	6	2	3	21	11	3	7	6	1	3	0	0	0	506	
0004	タンシヨウセセリ	0	4	25	8	0	49	18	17	18	27	12	19	21	31	38	14	0	10	30	35	6	17	28	26	15	12	16	0	5	26	4	20	6	28	11	6	67	33	27	15	2	1	2	2	9	0	0	760	
0005	コウトウシロシタセセリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	33	
0006	アオハセセリ	0	3	4	4	0	21	9	6	11	10	7	3	12	9	5	10	0	6	6	9	5	4	8	7	8	13	0	4	8	1	6	7	25	5	7	17	23	30	10	25	6	1	2	7	12	39	424		
0007	キハセセリ	70	7	10	1	1	11	10	0	1	7	1	0	0	0	2	3	0	0	6	15	2	0	0	0	4	0	0	0	0	2	0	1	0	3	0	0	0	3	7	0	0	0	0	0	1	0	0	168	
0008	オキナワヒロウトセセリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	65	82		
0009	テノイロヒロウトセセリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9	
0010	タイワンアオハセセリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	41	
0011	キンシロモンシロセセリ	32	0	5	3	0	1	8	3	7	9	3	4	8	0	2	2	0	0	19	19	4	10	15	6	0	2	0	4	1	0	7	1	8	10	6	4	0	0	3	0	0	0	7	2	3	0	0	218	
0012	タカキマダラセセリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
0013	カラフトタカキマダラセセリ	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	
0014	おシチハハセセリ	0	0	0	2	0	6	6	1	3	5	1	0	0	0	2	0	0	0	12	7	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	4	12	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	72
0015	ネソハセセリ	0	0	0	2	0	0	1	6	3	1	2	2	7	6	0	3	0	0	8	3	2	2	9	12	8	7	10	4	1	10	4	7	5	17	5	4	38	12	1	6	1	6	2	1	4	0	0	222	
0016	ハナナセセリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	15	
0017	スジクハシロセセリ	2	12	7	6	1	12	14	2	2	4	3	0	0	0	2	1	0	0	5	25	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	2	4	2	10	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	125
0018	ハリクハシロセセリ	2	7	22	0	0	0	5	0	4	11	3	0	0	0	0	7	7	1	0	11	41	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	8	3	6	12	4	0	5	2	1	0	0	0	2	1	0	0	0	169
0019	コキマダラセセリ	69	22	40	10	2	41	15	0	6	17	0	0	0	0	6	18	1	1	10	41	4	3	1	0	5	0	0	2	0	0	3	1	9	21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	349
0020	アサヒキマダラセセリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0</																								

昆虫（チョウ）類

(注) 本集計表は報告のあった3次メッシュ数を種別・都道府県別に集計したものである。

従って分布図上に示された地点（2次メッシュ）数とは必ずしも一致しない。

[illegible]

昆虫（チョウ）類

(注) 本集計表は報告のあった3次メッシュ数を種別・都道府県別に集計したものである。
従って分布図上に示された地点(2次メッシュ)数とは必ずしも一致しない。

[illegible]

昆虫（チョウ）類

(注) 本集計表は報告のあった3次メッシュ数を種別・都道府県別に集計したものである。
従って分布図上に示された地点(2次メッシュ)数とは必ずしも一致しない。

[illegible]

昆虫（チョウ）類

(注) 本集計表は報告のあった3次メッシュ数を種別・都道府県別に集計したものである。

従って分布図上に示された地点（2次メッシュ）数とは必ずしも一致しない。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	合計			
	北	青	岩	宮	秋	山	福	茨	栃	群	埼	千	東	神	新	富	石	福	山	長	岐	静	愛	三	滋	京	大	兵	奈	和	鳥	島	岡	山	徳	香	愛	高	福	佐	長	熊	大	宮	鹿	沖					
	海												奈																歌															児							
	道	森	手	城	田	形	島	城	木	馬	玉	葉	京	川	潟	山	井	梨	野	阜	岡	知	重	賀	都	阪	庫	良	山	取	根	山	島	口	島	川	媛	知	岡	賀	崎	本	分	崎	島	縄					
0163	ミヤマシジミ	0	0	0	1	0	0	20	0	3	10	1	0	0	1	3	5	0	0	19	26	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	101
0164	アヤマシジミ	22	0	0	0	0	0	0	0	1	25	0	0	0	0	3	4	0	0	26	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	129	
0165	カラフトハシリジミ	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12		
0166	キムラシジミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
0167	ウナギノシジミ	0	0	0	0	0	0	2	12	8	5	8	18	14	21	2	12	0	3	35	7	7	25	23	21	14	19	16	5	12	29	3	18	21	22	11	10	153	40	17	16	2	11	4	4	7	12	35	704		
0168	テンクノショウ	0	0	57	5	0	24	11	2	17	35	16	0	29	23	3	28	0	20	93	63	7	25	10	28	9	31	25	8	14	29	3	21	23	25	18	9	57	50	28	5	6	9	6	7	6	47	49	981		
0170	アサキマダラ	1	2	6	8	9	12	3	0	9	15	3	0	2	5	6	23	1	11	30	42	11	36	18	15	12	13	8	1	10	12	3	8	9	19	8	6	4	35	28	11	4	15	1	8	8	31	81	603		
0171	タイワンアサキマダラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6		
0172	ヒメモンアサキマダラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
0173	ハシロアサキマダラ	0	0	0																																															

昆虫(チョウ)類

(注) 本集計表は報告のあった3次メッシュ数を種別・都道府県別に集計したものである。

従って分布図上に示された地点(2次メッシュ)数とは必ずしも一致しない。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	北	青	岩	宮	秋	山	福	茨	栃	群	埼	千	東	神	新	富	石	福	山	長	岐	静	愛	三	滋	京	大	兵	奈	和	鳥	島	岡	広	山	徳	香	愛	高	福	佐	長	熊	大	宮	鹿	沖																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	海													奈																歌																児																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	道	森	手	城	田	形	島	城	木	馬	玉	葉	京	川	潟	山	井	梨	野	阜	岡	知	重	賀	都	阪	庫	良	山	取	根	山	島	口	島	川	媛	知	岡	賀	崎	本	分	崎	島	縄																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
0199	ウラキ	ンスシ	・	ヒョウ	モン																																													370																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
0200	オウラキ	ンスシ	・	ヒョウ	モン																																																316																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
0201	ミドリ	ヒョウ	モン																																																	801																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
0202	クモカ	・	ヒョウ	モン																																																375																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
0203	メスク	・	ヒョウ	モン																																																486																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
0204	ウラキ	ンスシ	・	ヒョウ	モン																																																657																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
0205	オウラキ	ンスシ	・	ヒョウ	モン																																																	24																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
0206	キンホ	ンスシ	・	ヒョウ	モン																																																	213																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
0207	グマク	・	ヒョウ	モン																																																			493																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
0208	ウラヘ	・	ヒョウ	モン																																																				7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	(ウラヘ	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・	ヒョウ	モン	・</

昆虫（チョウ）類

(注) 本集計表は報告のあった3次メッシュ数を種別・都道府県別に集計したものである。

従って分布図上に示された地点（2次メッシュ）数とは必ずしも一致しない。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	合計			
	北	青	岩	宮	秋	山	福	茨	栃	群	埼	千	東	神	新	富	石	福	山	長	岐	静	愛	三	滋	京	大	兵	奈	和	鳥	島	岡	広	山	徳	香	愛	高	福	佐	長	熊	大	宮	鹿	沖				
	海													奈																歌																児					
	道	森	手	城	田	形	島	城	木	馬	玉	葉	京	川	潟	山	井	梨	野	阜	岡	知	重	賀	都	阪	庶	良	山	取	根	山	島	口	島	川	媛	知	岡	賀	崎	本	分	崎	島	縄					
0228	エルサレム	62	4	21	2	0	7	4	0	17	10	0	0	0	0	2	0	0	6	38	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	182	
0229	リリタレム	48	14	41	13	3	43	17	12	19	23	20	7	6	24	28	14	0	14	60	62	9	14	26	30	14	16	23	11	15	16	2	9	25	23	20	9111	56	31	12	2	7	3	10	9	46	98	1115			
0230	キヘリダレム	53	10	43	7	7	20	8	0	13	6	2	0	0	0	4	2	0	1	12	34	8	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	240	
0231	ヒルトンショウ	16	2	6	13	0	32	11	0	16	20	6	0	7	13	25	27	0	18	39	46	2	7	13	13	7	12	20	5	5	16	2	10	12	23	7	5	9	38	22	10	3	3	3	3	4	2	0	0	553	
0232	クシヤクショウ	76	22	80	18	6	52	26	2	9	28	2	0	0	2	9	8	0	0	56	98	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105
0233	コビトシ(ヒメコビトシ)	82	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	17	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	518	
0235	ヒメアカデム	25	5	13	2	3	25	6	9	9	10	9	17	6	7	20	12	0	2	16	14	1	14	18	5	4	6	7	2	3	18	0	9	11	9	9	3	78	45	17	11	3	4	2	1	5	37	62	594		
0236	アカデム	29	19	23	8	2	48	19	5	14	27	11	11	6	11	18	22	0	7	34	42	13	18	15	20	9	14	18	7	7	12	1	9	11	16	10	7	25	58	26	13	2	11	3	4	6	39	76	806		
0237	オオデムヒートキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	13	0	0	0	2	50	76		
0238	デムヒートキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	8	0	0	8	38107	166		
0243	ユノチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	51	54
0246	メスアカムラサキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	18	0	0	1	7	75	106
0247	リュウキユウムラサキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	132	
0248	キエトムラサキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70	
0249	インカキショウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	459	
0250	スミナカシ	0	2	16	8	0	20	9	2	10	9	10	0	15	9	5	8	0	5	18	24	7	8	4	7	4	14	10	2	2	9	0	7	6	12	4	8	14	21	27	7	4	13	0	4	7	3	46	524		
0251	コムラサキ	60	13	63	5	2	36	15	3	9	15	3	2	0	3	10	17	0	4	19	61	9	7	5	12	4	6	10	5	2	17	1	3	4	15	5	18	16	16	4	0	1	5	7	7	1	0	420			
0252	コノマツラショウ	8	0	4	8	1	24	1	5	12	5	8	10	9	23	15	15	0	2	12	12	4	8	9	15	8	7	10	2	1	10	0	10	13	24	11	1	56	28	9	13	0	11	2	5	7	0	0	438		
0253	アカホシコノマツラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	
0254	オオムラサキ	2	2	16	8	1	27	10	3	19	5	9	0	4	5	1	9	0	2	62	33	2	4	2	3	11	6	10	1	3	12	2	11	11	22	1	6	3	21	21	7	0	0	7	15	2	7	0	408		
0255	フサキショウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	23	
0257	ヒメクワナミシヤノメ	67	20	73	12	0	68	26	18	14	13	8	15	19	29	44	18	0	16	55	49	5	26	47	41	11	19	24	9	13	24	3	15	20	35	15	9182	54	39	29	0	6	5	5	16	1	0	1217			
0258	クワナミシヤノメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	7	1	0	3	4	5	4	2	0	3	4	4	5	1	4	4	12	4	0	21	2	1	3	0	0	101	
0259	リュウキョウクワナミシヤノメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	
0260	キエトクワナミシヤノメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	
0261	マサキクワナミシヤノメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	
0262	ヘンコヒカク	26	0	1	0	11	22	0	0	0	11	0	0	0	0	0	14	9	0	0	4	43	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	152	
0263	クモマヘンコヒカク	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	2	19	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	
0264	タカネヒカク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
0265	タシヒツタカネヒカク	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	

昆虫(チョウ)類

(注) 本集計表は報告のあった3次メッシュ数を種別・都道府県別に集計したものである。

従って分布図上に示された地点(2次メッシュ)数とは必ずしも一致しない。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	合計	
	北	青	岩	宮	秋	山	福	茨	栃	群	埼	千	東	神	新	富	石	福	山	長	岐	静	愛	三	滋	京	大	兵	奈	和	鳥	島	岡	広	山	徳	香	愛	高	福	佐	長	熊	大	宮	鹿	沖		
	海													奈															歌																	児			
	道	森	手	城	田	形	島	城	木	馬	玉	葉	京	川	湯	山	川	井	梨	野	阜	岡	知	重	賀	都	阪	庫	良	山	取	根	山	島	口	島	川	媛	知	岡	賀	崎	本	分	崎	島	縄		
0266 シ ^ン メ ^メ ョウ	52	9	54	5	1	27	12	8	2	14	4	2	6	8	7	2	0	0	48	62	1	12	6	12	7	11	11	4	3	7	4	11	13	24	5	2	54	13	12	3	0	3	2	4	2	0	0	549	
0268 プ ^シ ラ ^シ メ	10	3	31	5	0	10	9	0	2	8	1	0	0	0	1	11	0	8	18	28	3	11	0	8	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	7	0	7	6	0	0	0	0	0	0	0	0	194	
0269 ク ^シ メ	44	0	0	0	0	2	0	0	2	8	2	0	0	0	0	0	0	11	40	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	124		
0270 ヒ ^メ マ ^ダ ラ ^ヒ カ ^メ	73	10	3	7	3	28	13	0	6	7	4	0	0	0	9	22	1	7	27	59	13	11	0	15	4	18	2	3	9	5	3	9	5	20	4	1	0	11	11	0	0	0	2	3	3	0	0	431	
0271 ク ^ロ ヒ ^カ メ	74	30	95	12	3	66	26	5	19	22	7	0	12	26	33	26	1	17	42	73	12	12	4	36	10	20	20	6	13	10	3	16	11	29	15	5	11	25	15	15	1	7	2	10	14	1	0	912	
0272 ク ^ロ ヒ ^カ メ ^ト キ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	11	0	8	0	7	6	7	1	0	2	5	0	3	3	8	5	11	21	13	6	0	0	0	0	0	0	0	129			
0273 ナ ^ミ ヒ ^カ メ	0	1	17	6	1	31	12	11	18	12	10	7	10	24	5	9	0	1	27	42	2	10	11	31	10	16	14	2	7	8	3	12	14	27	6	31	24	24	4	0	0	0	0	5	0	0	0	577	
0274 シ ^ロ ヒ ^メ ヒ ^カ メ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	27	
0275 オ ^キ ヒ ^カ メ	51	8	33	8	0	15	7	0	3	2	0	0	0	0	6	5	0	0	2	17	1	0	5	12	14	4	0	0	0	0	9	5	12	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	248	
0276 キ ^マ ダ ^ラ ヒ ^カ メ	0	8	7	0	0	0	4	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	6	15	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	11	0	7	1	1	7	0	4	2	0	0	0	0	3	0	0	0	85	
0277 ナ ^ミ マ ^ダ ラ ^ヒ カ ^メ	66	8	33	10	1	38	19	0	11	21	4	2	2	1	14	18	0	10	26	53	11	10	4	16	4	6	4	2	12	4	3	7	6	13	10	10	0	13	25	1	2	0	6	4	4	0	0	514	
0278 ナ ^ミ マ ^ダ ラ ^ヒ カ ^メ	54	4	14	7	0	20	10	6	13	11	10	9	9	26	6	12	0	4	14	23	4	9	22	32	7	14	20	3	8	14	2	13	7	21	21	1	93	43	18	14	0	2	4	6	7	1	0	638	
0279 ヒ ^メ シ ^メ メ	0	17	19	9	2	65	7	12	7	17	7	14	6	22	29	13	0	7	21	23	1	15	29	26	6	9	12	5	7	10	3	13	6	23	12	71	66	39	9	15	0	6	3	4	10	1	0	734	
0280 リ ^ュ キ ^ュ ウ ^ヒ メ ^シ メ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	89	131
0281 コ ^シ メ	0	0	2	6	0	13	21	8	9	7	14	12	11	28	7	3	0	1	12	18	3	16	26	29	4	10	11	1	9	10	2	16	4	18	10	8	61	33	22	10	0	1	1	2	7	3	0	489	
0282 ヒ ^メ ヒ ^カ メ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	2	2	18	1	0	1	2	13	1	0	6	6	13	29	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	105		
0283 シ ^ロ ヒ ^メ ヒ ^カ メ	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64	
0284 ク ^ス イ ^ロ コ ^ノ マ ^チ ョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	1	0	0	0	0	4	1	4	1	2	3	3	0	2	20	3	2	11	0	1	0	25	71	164		
0285 ク ^ロ コ ^ノ マ ^チ ョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	2	0	39	8	12	1	0	2	0	3	23	0	0	0	3	6	4	0	12	21	1	18	16	3	3	15	9	3	227	
0286 ナ ^ミ コ ^ノ マ ^チ ョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	

種 数: 258

総メッシュ数(3次メッシュ): 70223

第3 考 察

1 総 括

チョウ類は全国的に研究者・愛好者が多く、長年にわたる調査記録の蓄積によって、ほぼ完全に近く国内における分布の実態は把握されているので、短期間の小人数による調査でそれを上回るような成果を望みえないのは当然である。

しかし近年とみに進行している自然破壊、自然の荒廃あるいは環境条件の変化によって、分布圏の縮小（従来の生息地から姿を消した種、あるいは消しつつある種）が進み、絶滅が憂慮される種さえある。その反面、人為的環境に適合した種では分布圏の拡大、個体数の増加の傾向もみうけられる。また近年において、いくつかの種において著しい分布の北上が観察されているので、その実態を追跡することも重要である。環境庁による今回の分布調査は現時点における分布の実態を把握、記録し、将来において過去の変遷をたどる資料として残すこともその目的の一つであった。

チョウは他の昆虫に比べて、とくに多人数の調査員を動員した関係もあって、今回の調査結果を要約した分布図をみると全般的に調査精度も高く、一般的には各種の分布の特性がよくとらえられていると言える。特定の島嶼の特産種、狭分布種ではほぼ完全に近い分布図も少ない。しかし全国的な普通種においても、分布印の濃密な地域がある反面、他方において大きな空白があるのは分布の実態を示すものではなく、調査員の、あるいは調査地の偏在によっておこった記録の空白を示しているに過ぎない。北海道、東北地方の一部、中部地方の西南域、中国地方の東部、九州地方の中～南部にそれが目立つ。

なおこの調査の当初の目標は現時点（少なくとも1980年以降の）の分布の実態調査であったが、調査員にこの趣旨が徹底しなかったために、少数例ではあるが一部にかなり古い記録（現在ではすでに消滅していると考えられる地域）も含まれていることを御了承頂きたい。

今後行われる調査のために、今回のとりまとめから反省される点について述べると、実力ある調査員の増加と、それが万遍なく全国に配置されることが望ましい。また調査員の委嘱はその直前ではなく、かなりの余裕をもって早目に行い、計画を考える時間を与えるべきである。また今回の調査では部分的な空白が目立つが、空白地帯が生じないために、調査を行う側がどういう処置をとるべきかを考える必要がある。ある程度、調査員各自の分担区域を定めるのも有効かも知れない。あるいは各都道府県毎に調査員の責任者を指名して、大きな空白のでないように調整を行うことも一方法であろう。しかしそれよりさらに有効かと思われるのは調査期間の延長である。チョウの中には早春のみ、あるいは晩夏のみに出現というように短期間に発生を終るものも少なく、こういうものでは他に職業をもつ調査員の個人的事情で欠落を生じやすく、2年あるいは3年にわたる調査が望ましい。最初の1年間にえられた成果にもとずく分布図を各調査員に配布して、それをもとに次年度の計画を立てれば、空白部を埋める調査が行われ、完全に近い分布図がえられる筈である。

2 分布の概要

チョウ各種の分布はそれぞれ特異性があって、まったく同一というものはありえないが、大局的

にはいくつかの分布型としてまとめることが可能である。知見の整理のために、今回の調査結果および従前の蓄積資料と総合して、日本産のチョウの主な分布型をまとめると次のようになる。なお迷チョウはその性質上この考察から除外した。以下の分布図はすべて概念図である。

アカタテハ型（分布図1）

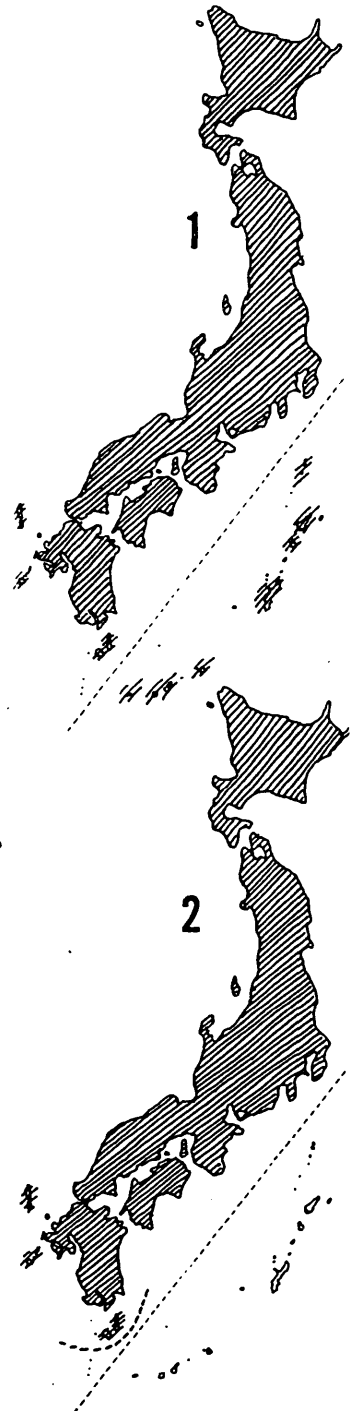
全国分布型。北海道全土より八重山諸島まで分布。

このタイプに属するものにナミアゲハ、カラスアゲハ、モンシロチョウ、モンキチョウ、ルリタテハなどがある。カラスアゲハは沖縄本島、八重山諸島において特化が著しく、これらをそれぞれ独立種とする説が有力であるが、大局的に見た場合にはこれらはカラスアゲハの代置種（または代置亜種）でこの分布型に含めてよいものと思われる。テングチョウは北海道内で南西部にその分布が限定される点にわずかの相違があるが、この型の一変形にすぎないと判断される。ヒメアカタテハ、アサギマダラ、ウスイロコノマチョウも外見的にはこの分布型に入るが、これは高温期における北方への一時的分散によるもので、内容的にはこの分布型とは異なる。これらの3種は暖地でのみ越冬可能、寒冷地では世代を継続できない。

スジグロシロチョウ型（分布図2）

北海道全土より九州本土まで、あるいはさらに種子島・屋久島まで分布するが、トカラ列島以南の南西諸島に欠如するもの。このタイプに属するものに、オナガアゲハ、ツマキチョウ、ウラギンヒョウモン、オオウラギンスジヒョウモン、クモガタヒョウモン、ミドリヒョウモン、メスグロヒョウモン、イチモンジチョウ、サカハチチョウ、ヒオドシチョウ、コムラサキ、ヒメウラナミジャノメ、ナミジャノメ、クロヒカゲ、コツバメ、トラフシジミ、ベニシジミ、ツバメシジミ、ミヤマセセリ、コチャバネセセリ、オオチャバネセセリなどがある。

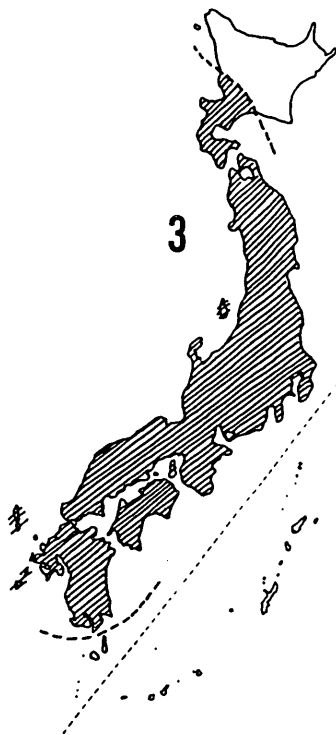
キマダラセセリはトカラ中之島にも産するが、それはこの型のわずかな変形と認められる。



ゴマダラチョウ型 (分布図3)

北海道南西部より九州本土まで分布。北海道北東部および南西諸島に分布しない。

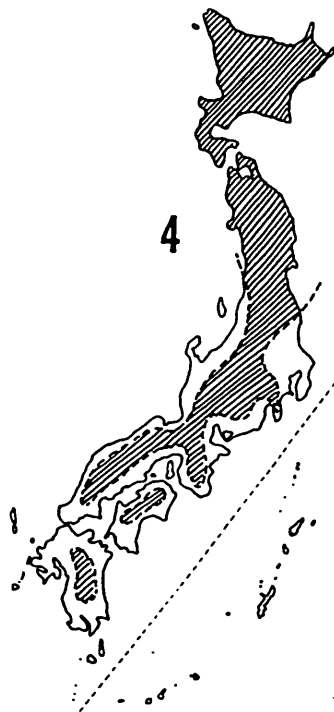
このタイプに属するものに、オオムラサキ、キマダラモドキ、ウラクロシジミ、ゴイシシジミ、ダイミョウセセリなどがある。



ヒメキマダラヒカゲ型 (分布図4)

北海道全土より九州まで分布するが、南西日本の暖地では山地性あるいはやや山地性となるもの。南西諸島に分布しない。この分布型は分布図2のスジグロシロチョウ型と本質的には同じもので連続的であるが、日本南西部では山地性となるため、一見かなり異った感じの分布図となるので、一応別型としてぬき出してみた。従って両者の中間型の分布を示し、その所属の判定に困惑を感じる種もいくつかある。

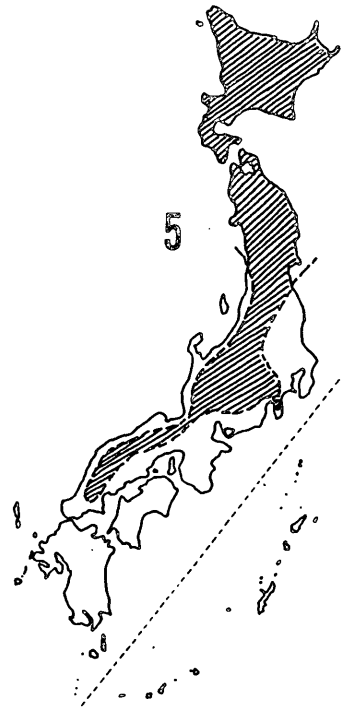
このタイプに属するものに、シータテハ、ヤマキマダラヒカゲ、ウラゴマダラシジミ、ウラキンシジミ、オナガシジミ、メスアカミドリシジミ、アイノミドリシジミ、エゾミドリシジミ、カラスシジミ、ミヤマカラスシジミ、ヒメキマダラセセリ、ヘリグロチャバネセセリなどがある。ウラクロシジミは北海道では渡島半島の南端部にその分布が限られるが、この分布型のわずかな変形と判断される。



コキマダラセセリ型（分布図 5）

北海道全土より中国地方山地にわたって分布するが、四国・九州に分布しないもの。

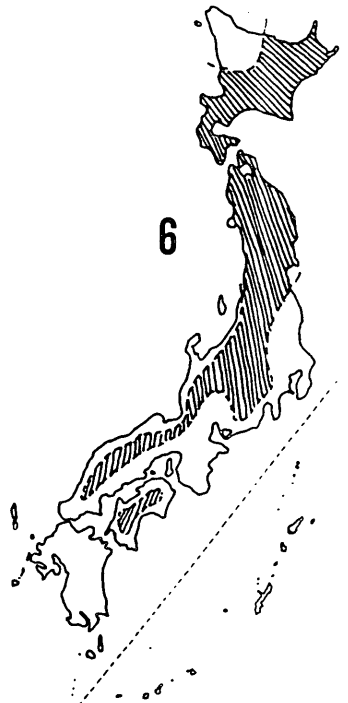
このタイプに属するものに、オオヒカゲ（近畿地方で紀伊半島の基部まで分布が南下する点においてわずかに相違）、ジョウザンミドリシジミがある。



ウスバアゲハ型（分布図 6）

前型に類似するが、四国山地にも分布を拡げている点で相違する。九州に分布しない。

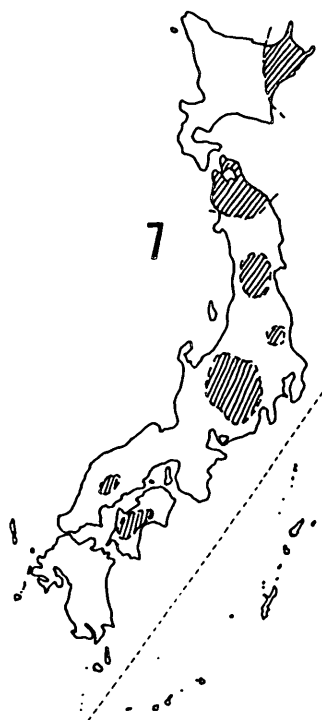
このタイプに属するものはウスバアゲハの1種のみ。



チャマダラセセリ型（分布図7）

分布図6のウスバアゲハ型の一変形と思われるもの、その産地は局部的。

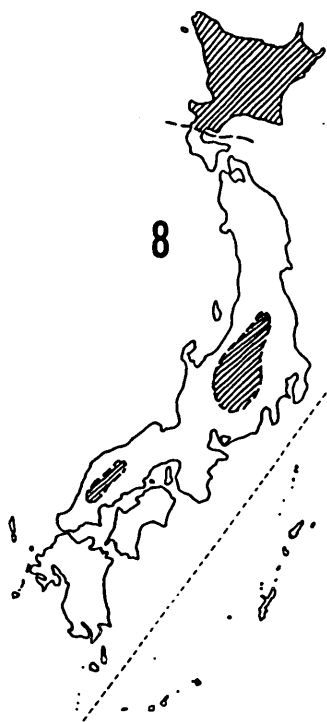
このタイプに属するものはチャマダラセセリの1種のみ。



ウラジャノメ型（分布図8）

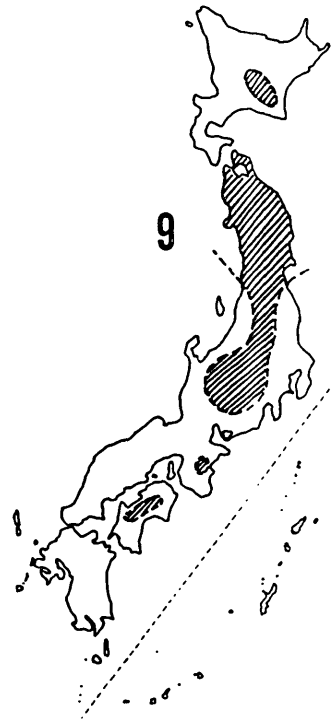
分布図5のコキマダラセセリ型の一変形と思われるもの。その分布は北海道、東北地方南部～中部地方山地、中国地方山地に隔離分布。四国・九州に分布しない。

このタイプに属するものはウラジャノメの1種のみ。



ツマジロウラジャノメ型（分布図9）

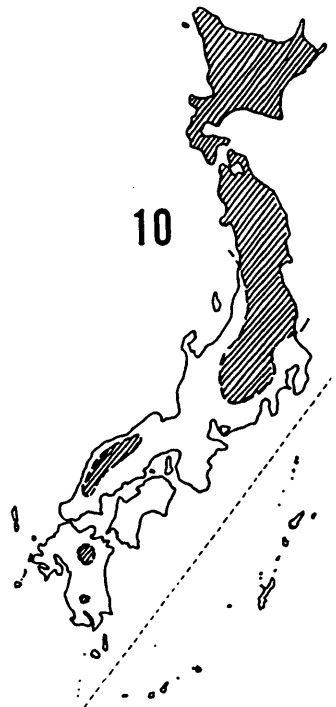
北海道の日高山脈、東北地方北部より中部地方山地、紀伊半島大台原周辺山地、四国山地の4ヶ所に隔離分布。中国地方山地、九州に分布しない。ツマジロウラジャノメはウラジャノメより山地性ではないと思われるので、この分布型は異常。このタイプに属するものはツマジロウラジャノメの1種のみ。



ハヤシミドリシジミ型（分布図10）

分布図4のヒメキマグラヒカゲ型の一変形と思われるもの。四国に分布せず、近畿地方とその周辺に広い分布の空白がある。

このタイプに属するもの、あるいはこれに近いものにヒメシロチョウ、ウラムスジシジミ、ウスイロオナガシジミ、ウラジロミドリシジミ、ゴマシジミ、ヒメシジミ、スジグロチャバネセセリなどがある。スジグロチャバネセセリは愛媛県下の離島（鹿島）に生息するが、これは例外的なもので取り敢えずこの分布型に含めた。

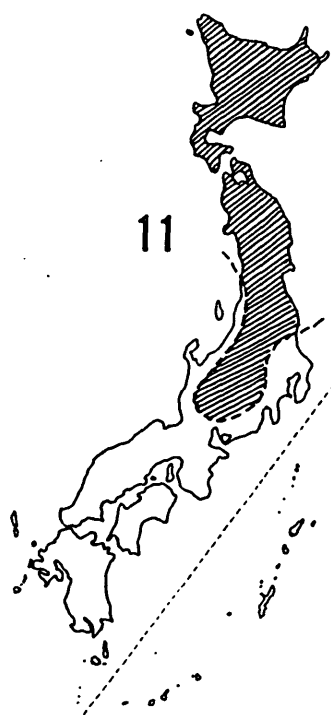


クジャクチョウ型（分布図 11）

北海道全土より東北地方山地から本州中部地方にかけて連続的な分布を示すもの。

このタイプに属するものはギンボシヒョウモン、エルタテハ、キベリタテハ、ベニヒカゲなど。

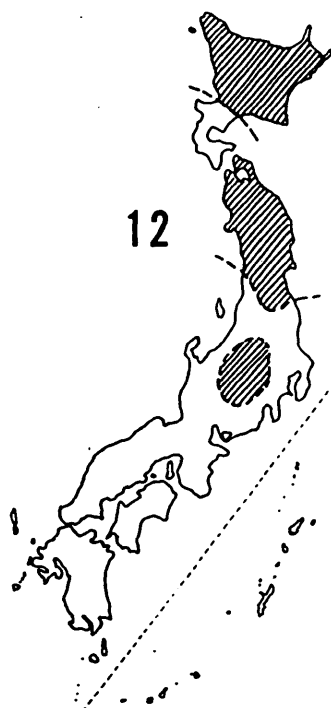
オオミスジの分布はこれに近いが、北海道の分布は南西部に限定される。



ヒメギフチョウ型（分布図 12）

上記のクジャクチョウ型に類似。北海道では北東部、本州では東北地方北～中部、関東地方赤城山塊～中部地方山地の3地域に隔離分布をするもの。

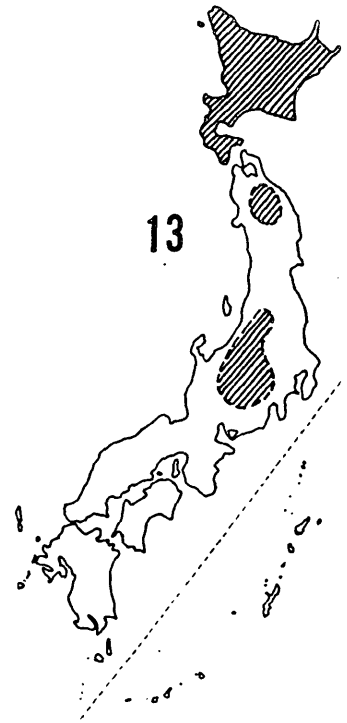
このタイプに属するものはヒメギフチョウの1種のみ。



フタスジチョウ型 (分布図 13)

上記のヒメギフチョウ型に類似するが、北海道では全土に、本州では東北地方の一部（岩手県北部と岩手県に接する秋田県の東部山地）と関東山地～本州中部山地の2ヶ所に隔離分布をするもの。

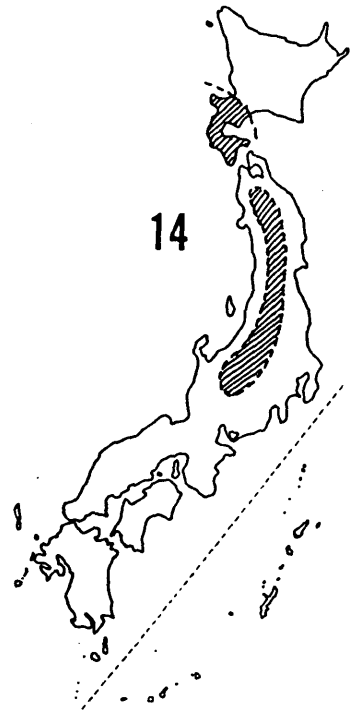
このタイプに属するものはフタスジチョウの1種のみ。
本州内の分布形式はヤマキチョウに類似。



オオゴマシジミ型 (分布図 14)

北海道南西部と東北地方山地～関東地方山地～中部地方山地の二つの地域に分布するもの。

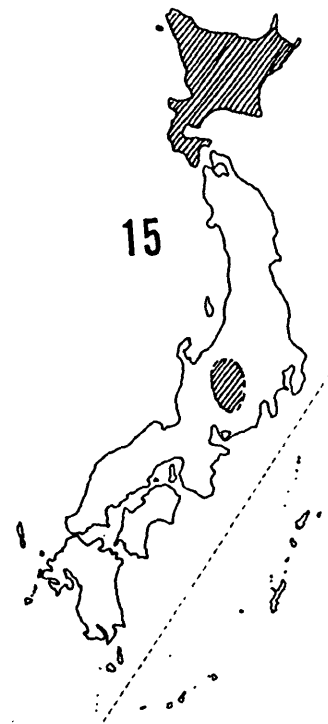
このタイプに属するものはオオゴマシジミの1種のみ。



コヒオドシ型 (分布図15)

北海道と本州中部山地 (あるいは中部山地～関東北部山地) に遠く離れて隔離分布するもの。

このタイプに含まれるものに、コヒョウモン、オオイチモンジ、アサマシジミがある。いずれも北海道では南西部の渡島半島に分布しない点でわずかの差がある。クモマベニヒカゲは北海道でも高山帯 (大雪山系、利尻島高地) に限られるが、基本的には同一分布型。

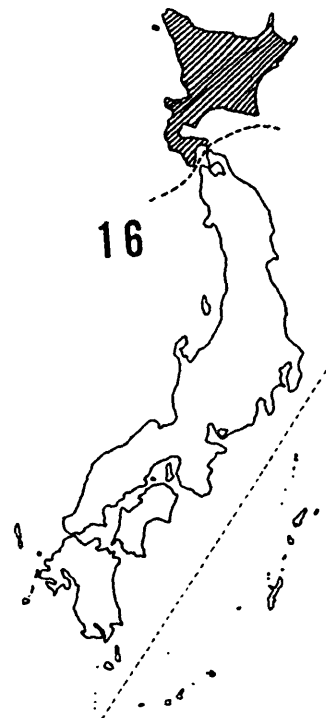


エゾシロチョウ型 (分布図16)

北海道特産、全土に分布。本州以南に分布しない。

このタイプに含まれるものに、エゾヒメシロチョウ、アカマダラがある。

これにきわめて類似の分布型をもつものにカバイロシジミ (北海道全土、青森県の津軽半島・下北半島の北部に分布) があり、このタイプの一変型と思われる。

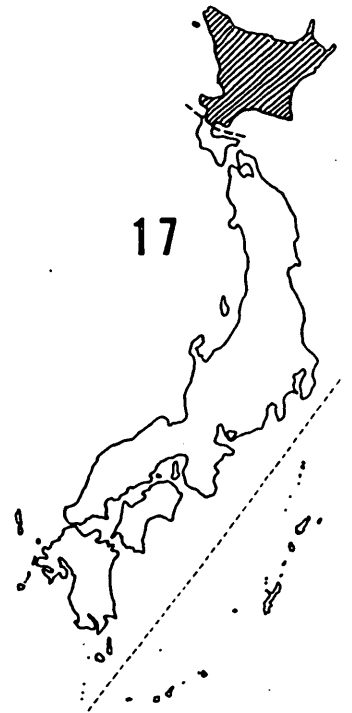


ヒメウスバアゲハ型 (分布図 17)

北海道特産、長万部～黒松内線以南の渡島半島に欠如。

このタイプに含まれるものに、カラフトヒョウモン、ホソバヒョウモン、シロオビヒメヒカゲ、リンゴシジミ、ジョウザンシジミ、カラフトルリシジミ、カラフトタカネキマダラセセリなどがある。

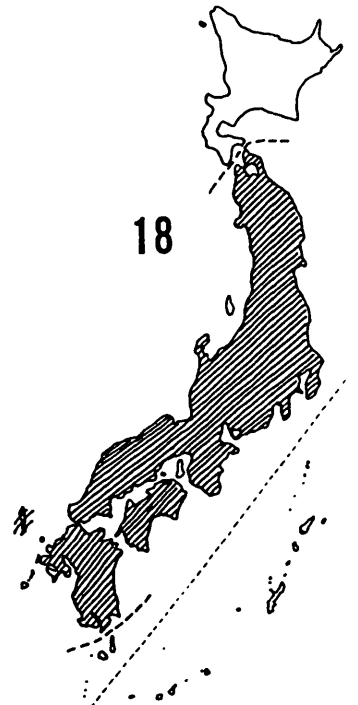
生息地の極限されるヒメチャマダラセセリ、高山性のため中央高山帯に孤立的分布を示すキイロウスバアゲハ(ウスバキチョウ)、アサヒヒョウモン、ダイセツタカネヒカゲはこの分布型の極端なものである。



クロシジミ型 (分布図 18)

本州、四国、九州に広く分布。北海道および種子・屋久島以南の南西諸島に分布しない。

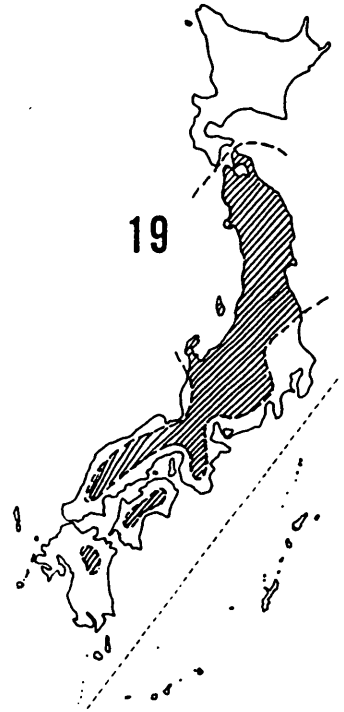
このタイプに属するものにオオウラギンヒョウモン、ナミヒカゲ、ミヤマチャバネセセリなどがある。ナミヒカゲは九州の西部と中南部に分布しない不思議な分布型を示すがその理由は不明。



スジボソヤマキチョウ型（分布図 19）

本州、四国、九州に分布。上記のクロシジミ型と基本的には同じであるが、南西日本の暖地では高地帯に局部的分布を示すもの。ヒメキマダラヒカゲ型（分布図 4）とは北海道に分布しない点でのみ異なる。

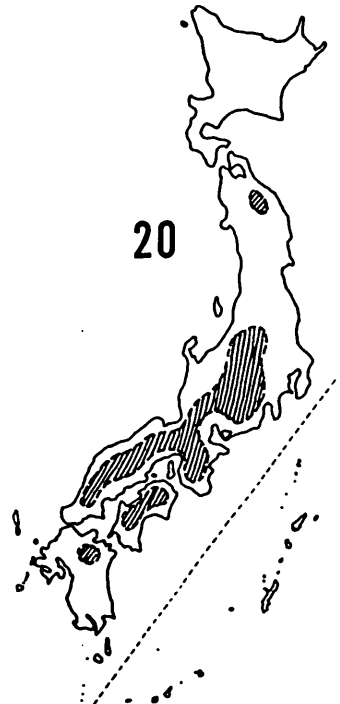
このタイプに属するものはスジボソヤマキチョウの 1 種。



クロヒカゲモドキ型（分布図 20）

本州、四国、九州に分布。上記のスジボソヤマキチョウ型（分布図 19）に似ているが、東北地方に異常な広い分布の空白地帯があり、岩手県下にその分布が極限されるので分離してみた。

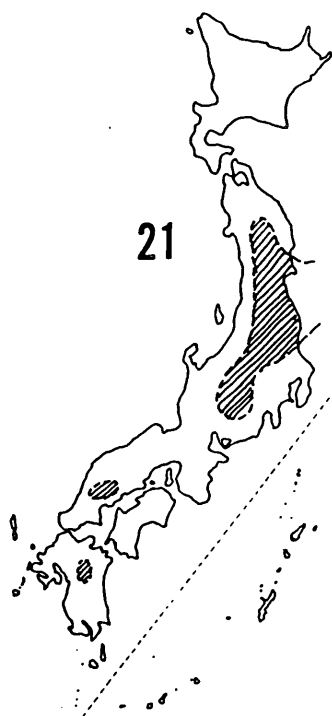
東北地方の分布はヤマキチョウ型に似る。



クロミドリシジミ型（分布図 21）

本州、九州に局部的分布。四国に分布しない。

このタイプに属するものはクロミドリシジミの1種のみ。

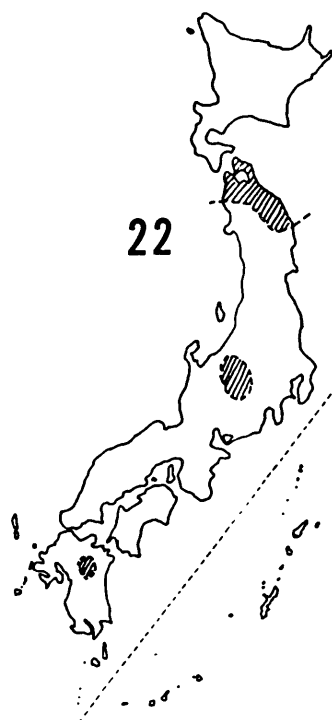


オオルリシジミ型（分布図 22）

本州、九州に局部的分布。四国に分布しない。

上記のクロミドリシジミ型（分布図 21）に似ているが、中国地方に分布しないこと、その他本州の分布状況に差がみられるのでとりあえず1型としてとりあげてみた。

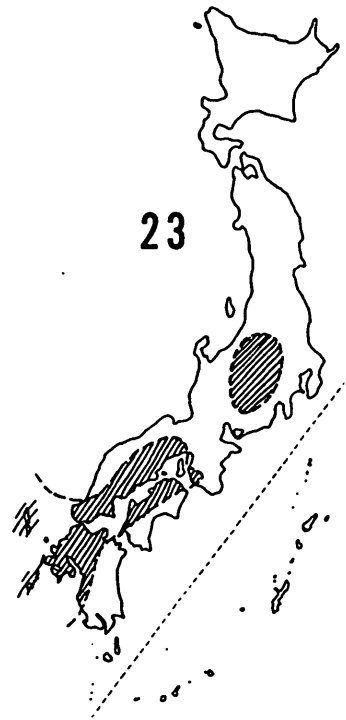
このタイプに属するものはオオルリシジミの1種のみ。



クロツバメシジミ型 (分布図 23)

本州、四国、九州に分布するが、分布図で明らかなように、
本州中部と中国地方瀬戸内海沿岸部～四国北部海岸地域～九
州北～中部～宍粟～対馬の二つの地域に隔離分布。

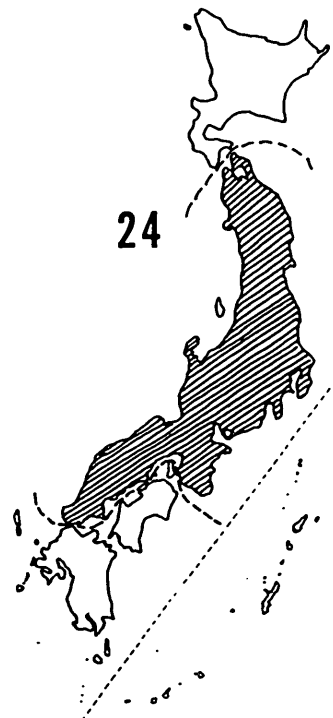
このタイプに属するものはクロツバメシジミの1種のみ。



アサマイチモンジ型 (分布図 24)

本州特産種。青森県より山口県まで分布し、とくに高地性の
ものでもないのに、北海道、四国、九州に分布しない。同じ
スイカズラ科植物と食草とするイチモンジチョウが北海道か
ら四国、九州に分布することを考えると、誠に不思議な分布
型である。

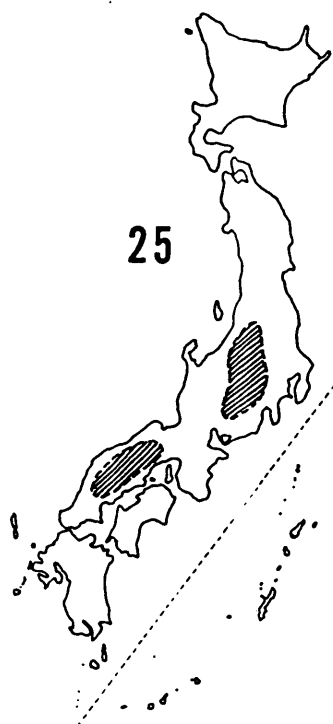
このタイプに属するものはアサマイチモンジが代表的なもの。
本州内で局所的な分布を示すキマダラルリツバメ、ホシチャ
パネセリ (この種は対馬に産する点で特異であるが一応こ
れに含めておく) はこの変形であろう。



ヒョウモンモドキ型 (分布図 25)

本州特産。中部地方と中国地方に隔離分布。

このタイプに属するものにヒメヒカゲがある。ヒョウモンモドキ、ヒメヒカゲはともに草原性のチョウである点に共通点がある。

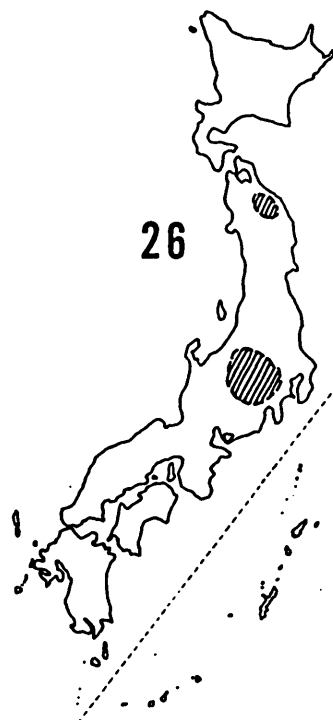


ヤマキチョウ型 (分布図 26)

本州特産。中部地方と東北地方の一部（岩手県北部とそれに隣接する青森県の南東部）に隔離分布をするもの。

このタイプに属するものはヤマキチョウの1種のみ。

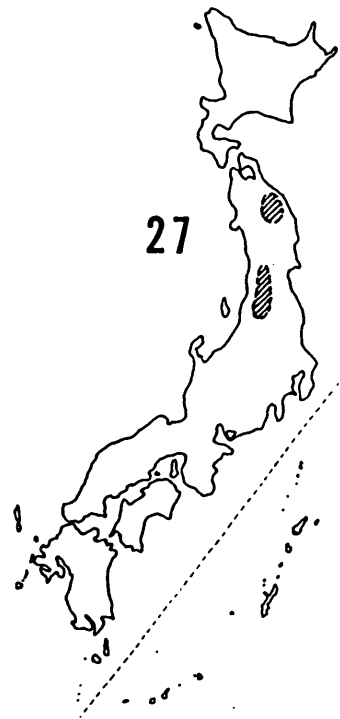
東北地方における分布型はクロヒカゲモドキに酷似する。



チョウセンアカシジミ型（分布図 27）

本州、東北地方の特産。東北地方の二地域、岩手県と山形県（それに接する新潟県の北東端部）に隔離分布。

このタイプに属するものはチョウセンアカシジミの1種のみ。

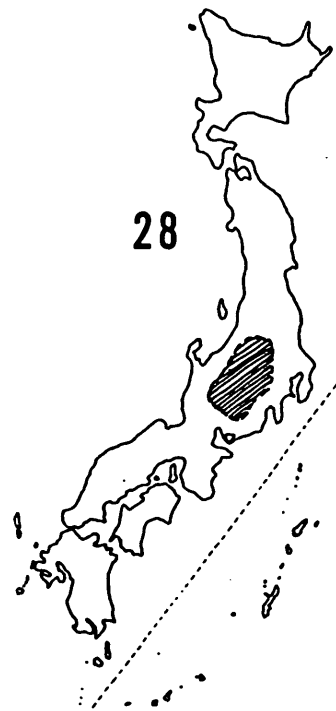


コヒョウモンモドキ型（分布図 28）

本州特産。中部地方山地、あるいは中部地方山地から関東地方の山地にかけて分布。

このタイプに属するものはアサマシジミ、アカセセリ、それにクモツマキチョウ、ミヤマモンキチョウ、タカネキマダラセセリなどの高山チョウも含まれる。

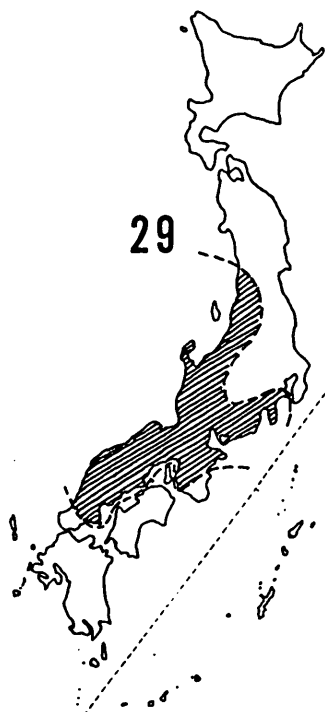
このタイプに近似のものに関東よりさらに東北地方南部にまで分布をひろげるミヤマシジミがある。



ギフチョウ型（分布図 29）

本州特産。山口県より太平洋側では関東地方西部山地、日本海側では秋田県南西端がその分布の北限。

このタイプに属するものはギフチョウの1種のみ。

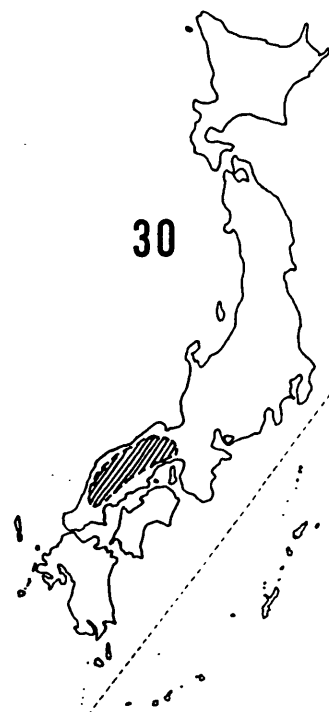


ヒロオビミドリシジミ型（分布図 30）

本州中国地方の特産。このタイプに属するものは朝鮮半島～中国東北部に分布する。

このタイプに属するものにほかにウスイロヒョウモンモドキがある。

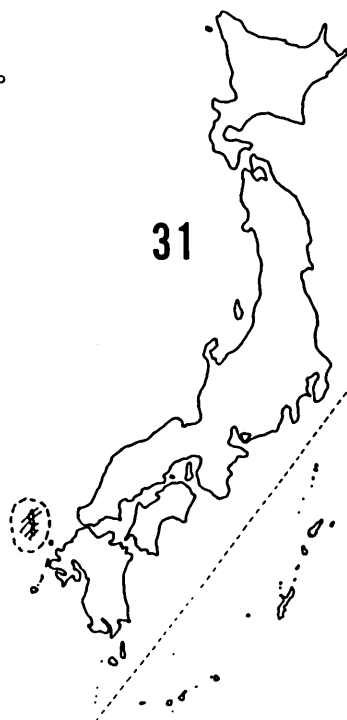
他の昆虫にも類似の例がある。



ツシマウラボシシジミ型（分布図 31）

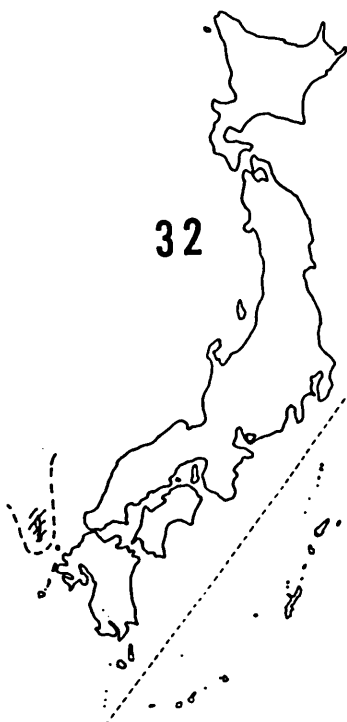
日本では対馬の特産種。近隣の朝鮮半島、中国に分布しない。
島嶼遺存型の 1 例。国外分布は台湾山地、アッサム山地、マ
レイ半島山地。

このタイプに属するものはチョウではツシマウラボシシジミ
の 1 種のみであるが、他の昆虫には類似の例がある。



台湾モンシロチョウ型（分布図 32）

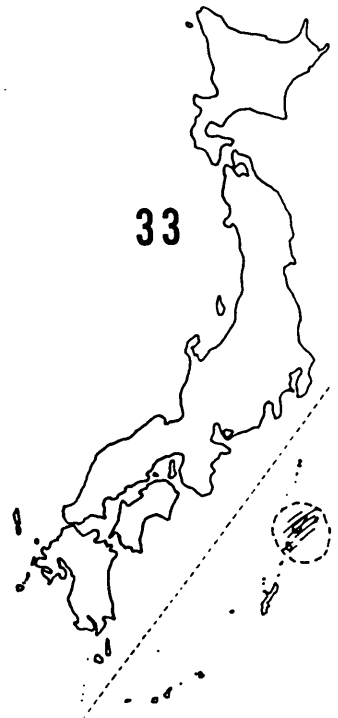
日本では対馬の特産種であるが、上記のツシマウラボシシ
ジミ型（分布図 31）と異なり、朝鮮半島より南下して対馬に
到達したもの。八重山諸島でしばしば発見される台湾モン
シロチョウは台湾からの迷チョウによる一時的発生。



アカボシゴマダラ型 (分布図 33)

日本では奄美大島の特産。近年、徳之島でも採集されるが、もともと土着のものか、人為的な放チョウによるものかは不明。島嶼遺存型の1例。国外では朝鮮半島、済州島、中国、台湾に分布。

このタイプに属するものはチョウではこの1例のみ。他の昆虫には類似のものが多い。

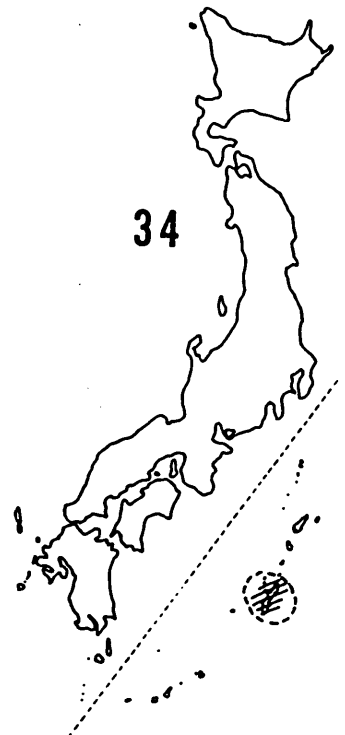


フタオチョウ型 (分布図 34)

沖縄本島特産。島嶼遺存型の1例。

このタイプに属するものにリュウキュウウラナミジャノメがある。フタオチョウは国外では台湾、中国〜ヒマラヤ、マレー半島に分布、日本では沖縄本島の特産であるが、リュウキュウウラナミジャノメは国外に分布しない真の特産種である。

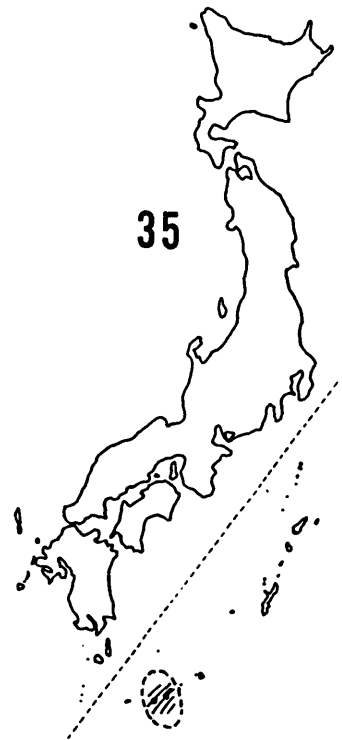
なお他の昆虫において沖縄本島と奄美諸島に共通の特産種(特産亜種)はきわめて多く、上記のアカボシゴマダラ型とフタオチョウ型は分離せず一型とするのが妥当であるかも知れない。



アサヒナキマダラセセリ型 (分布図 35)

八重山諸島特産。島嶼遺存種の 1 例。

このタイプに属するものに、マサキウラナミジャノメ、ヤエヤマウラナミジャノメがある。日本では八重山諸島に特有のチョウはヤエヤマイチモンジ、シロオビヒカゲ、ネッタアカセセリなど、ほかに数種を数えるが、これらは南方からの北上種で、標記のものとは別のカテゴリーに含まれるものである。



オガサワラシジミ型 (分布図なし)

小笠原諸島特産種。島嶼遺存型の 1 例。

このタイプに属するものにオガサワラセセリがある。いずれも他地域に分布しない真の特産種である。

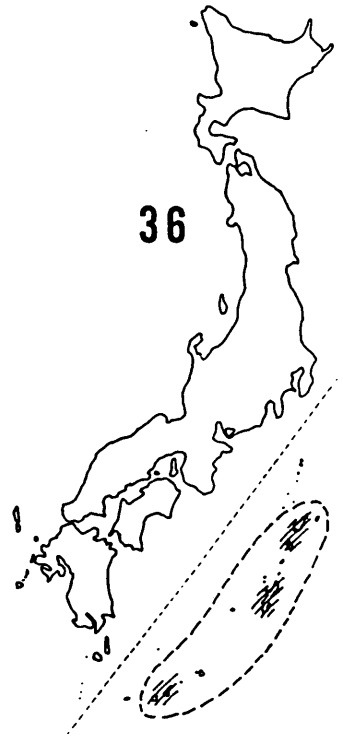
マルバネウラナシジミ (オガサワラウラナシジミ) は日本では小笠原諸島のみで発見されているが、これは東南アジアの広域分布種。小笠原のものは迷チョウによる一時的発生、表記の特産種とはその意味が本質的に異なる。

リュウキュウヒメジャノメ型 (分布図 36)

奄美諸島～八重山諸島地域の特産種。これは島嶼遺存種ではなく、ヒメジャノメの代置種でややその意味が異なる。

このタイプに属するものはリュウキュウヒメジャノメの1種のみ。

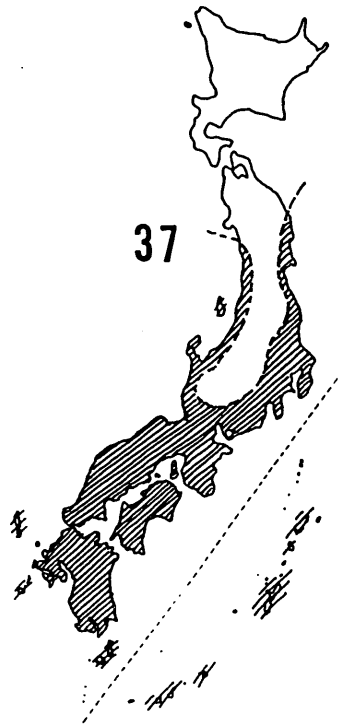
ほかにリュウキュウミスジ、イワカワシジミなど、日本国内だけを考えればこれと全く同じ分布型を示すものがいくらかあるが、これらは南方からの北上種で、標記のものとは別のカテゴリーに含まれるものである。



アオスジアゲハ型 (分布図 37)

南西諸島より北上して暖帯の北限（またはそれに近いライン）まで分布を拡げているもの。

このタイプに属するものは、クロアゲハ、モンキアゲハ、ジャコウアゲハ、キチョウ、ツマグロキチョウ、スミナガシ、ウラギンシジミ、ムラサキシジミ、ヤマトシジミ、シルビアシジミ、アオバセセリなどその例が多い。



コジャノメ型（分布図なし）

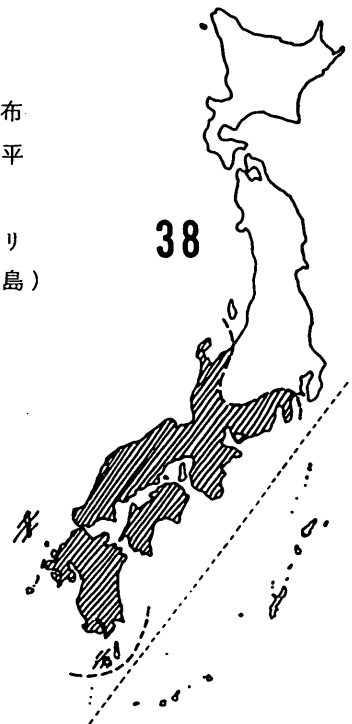
上記のアオスジアゲハ型とほぼ同様であるが南西諸島に分布しないもの。

このタイプに属するものにホソバセセリがある。

キリシマミドリシジミ型（分布図 38）

上記のコジャノメ型と同じく南西諸島に分布せず、本州の分布北限線はアオスジアゲハ型、コジャノメ型より南に偏在、太平洋側では神奈川県下がその北東限となる。

このタイプに属するものにウラナミジャノメ、ヒサマツミドリシジミがある。ゴイシツバメシジミ（九州中～南部、紀伊半島）はこの型の極端な場合であると思われる。

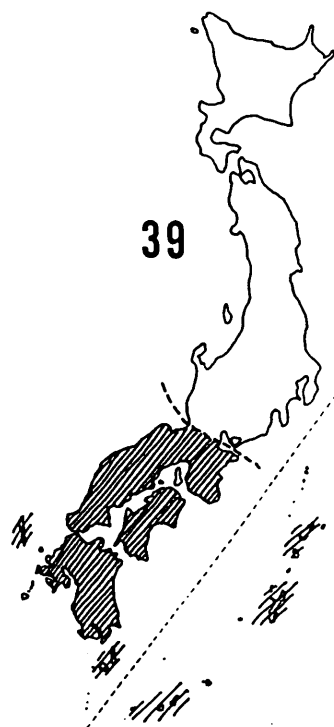


ムラサキツバメ型 (分布図 39)

上記のキリシマミドリシジミ型に近似、分布北限線はさらに南偏、近畿地方がその分布北限となる。キリシマミドリシジミ型と違い南西諸島に分布。

ツマクロヒョウモンの土着北限線はほぼこれに一致する。イシガケチョウ、サツマシジミはこのタイプと見なされる。北東進を続けているナガサキアゲハの分布は現在ほぼこの北限線に到達した。

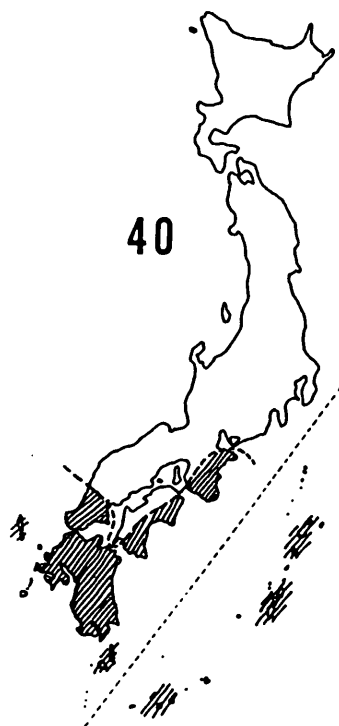
クロコノマチョウもこのタイプに近いが、この種はさらに北東進して現在は静岡、山梨県下にて分布を拡げている。



ミカドアゲハ型 (分布図 40)

上記のアオスジアゲハ型、コジャノメ型、キリシマミドリシジミ型、ムラサキツバメ型よりさらに分布北限は南偏、その分布は広島県以西、四国南半、紀伊半島以南に限られる。

ルーミスシジミの分布はほぼこのタイプ、ただ飛び離れて房総半島南部に分布する点、南西諸島に分布しない点でわずかの相違がある。そのほか、ヤクシマルリシジミ、タイワンツバメシジミ (両種とも中国地方西部に分布しない) もこのタイプに近い。

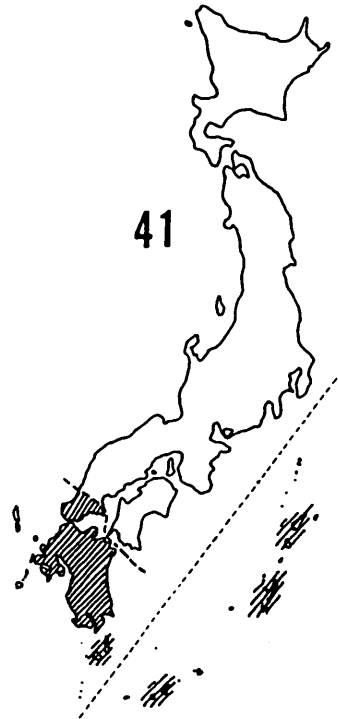


クロセリ型（分布図 41）

上記のミカドアゲハ型（分布図 40）よりさらに分布北限が南偏するもの。中国地方山口県が分布北限。より以東の中国地方、四国に分布しない。

このタイプに属するものはクロセリの 1 種のみ。山口県における分布は近年における九州からの分布拡大。

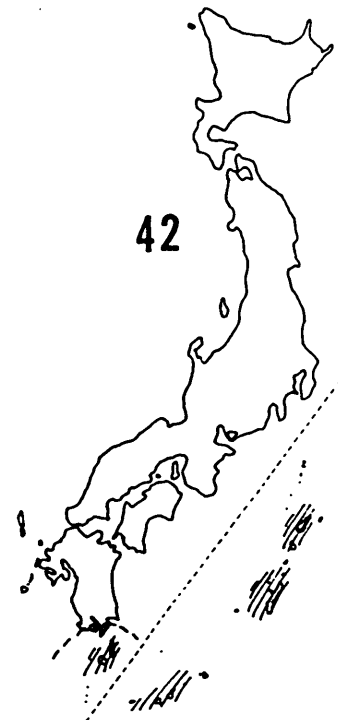
四国南半、紀伊半島に分布しないことは分布の常識からは説明が困難。



ツマベニチョウ型（分布図 42）

上記のクロセリ型より分布北限線がさらに南偏、九州本土南端部の大隅半島、薩摩半島の南部が分布北限線となる。

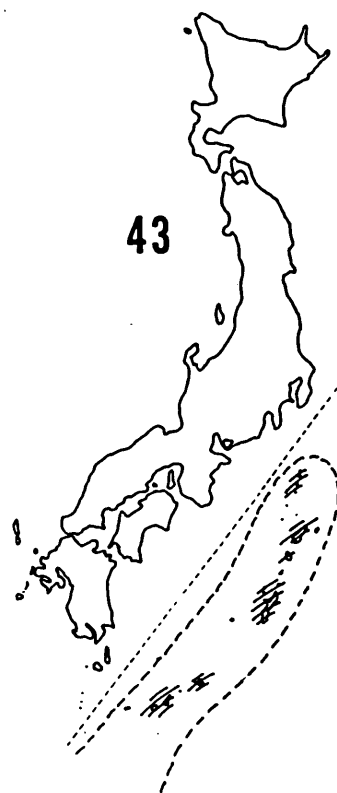
タテハモドキは以前はほぼこれと同じ分布型であったが、現在では太平洋側では宮崎平野まで北上している。



リュウキュウアサギマダラ型（分布図 43）

南方より北上して分布北限がトカラ諸島に達するもの。

台湾ウラボシジミはこの数十年来北上を続けているが、遂にトカラ列島に到達した。



オオシロモンセセリ型（分布図なし）

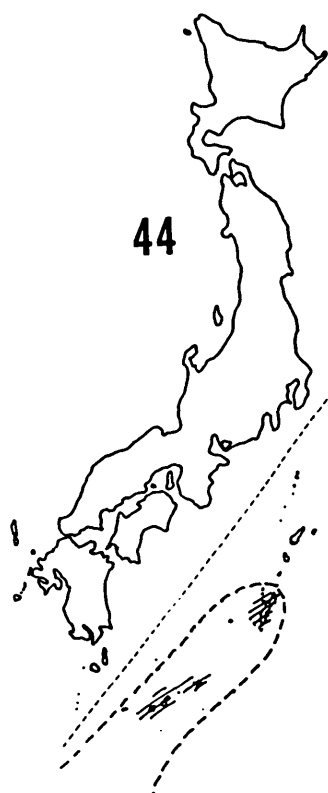
南方より北上して奄美諸島に達するもの。

このタイプに属するものにシロオビアゲハ、ナミエシロチョウ、イワカワシジミ、オキナワヒロウドセセリ、ヒメイチモンジセセリなどがある。

コノハチョウ型 (分布図 44)

南方より北上し、沖縄本島がその分布北限となるもの。

リュウキュウラボシシジミ、ハマヤマトシジミはこのタイプに属する。



ヤエヤマイチモンジ型 (分布図 45)

南方より北上し、八重山諸島がその分布北限となるもの。

シロミスジ、スジグロカバマダラ、シロオビヒカゲ、ヒメウ
ラナミシジミ、ルリウラナミシジミ、タイワンアオバセセリ、
コウトウシロシタセセリ、ネットアイアカセセリなどはこの
タイプに属する。



以上の分布型はさしあたりの参考資料として、代表的と思われるものを抜き出したにすぎない。従ってより正確な資料のもとに厳密な考証を行えば、一つの分布型の分離、複数の分布型の併合などの変更が必要となることは充分にありうると思われる。

なお図示した分布図の1～4は全国的分布型、6～7、9は北海道・本州・四国・九州の分布型、10は北海道・本州・九州の分布型、8、11～15は北海道・本州の分布型、16～17は北海道特産分布型、18～20、23は本州・四国・九州の分布型、21～22は本州・九州の分布型、24～30は本州特産型、31～36は島嶼特産型、37～45は南方からの北上分布型というように大まかに分けてみた。

3 日本産チョウ類における分布圏の拡大

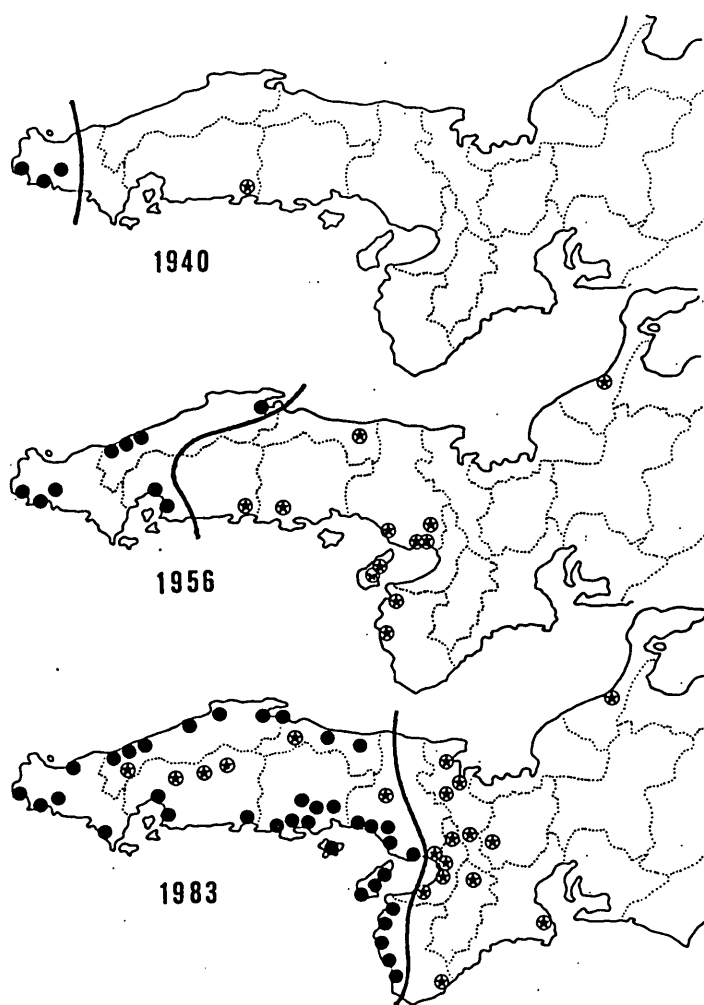
日本のチョウの中にはこの数十年の間に分布圏の拡大したもの、縮小したものがかなりの数にのぼる。

拡大の顕著な例として、ナガサキアゲハ、タテハモドキ、クロコノマチョウの北進（東進）をあげることができるが、ここではその代表的なものとしてナガサキアゲハの1例を述べる。

ナガサキアゲハは1920年代の終りまでは四国南部、九州以南に産するチョウというのが研究者の常識であった。これが山口県で初めて発見されたのが1929年、1930年代の初めまでに山口県南部の平野部の一部に定着したものと認められる。1950年代のはじめ（1952年～1953年）には広島市近傍に普通となり、土着種とされるようになった。島根県でも1950年代に入って日本海側の海岸部に記録が続出し、1950年の終りまでには松江市までほぼ定着圏に入ったと判断される。以後その定着圏は次第に東方に拡大、少くとも1980年までには島根県の日本海々岸地域、岡山県南部、兵庫県南部（姫路市や神戸市など）で普通種となり、土着種と認められるようになった。岡山県下では野外の越冬も確認されている。淡路島では1951年初発見、1965年以降は毎年発生が見られるという。和歌山県で最初に発見されたのは1944年、その後は散発的な記録が見られる程度であるが、1980年代に入って和歌山市、田辺市などの西海岸一帯で定着したと認められている。大阪府（1977年初発見、その後数例）、京都府（1978年初発見、その後数例、幼虫の発生も観察されている）、滋賀県（1981年初発見、現在まで1例のみ）、三重県（1979年初発見、現在まで1例のみ）、奈良県（1981年初発見、現在まで1例のみ）では未だ定着とは認められないが、これまでの経過から判断すると定着に至るのも遠い将来ではないと思われる。以上のナガサキアゲハの北進（東進）の概要を分布図46に示した。

三重県下の1例に対し、京都府下の記録は多く、気候条件から見てやや異様に感ぜられるが、日本海側低地に沿う暖地性のチョウの北上は多くの例があるので、あるいは当然のことであるのかも知れない。

近年のナガサキアゲハの北進（東進）の原因としてミカン栽培の増加、ミカンの値下りによるミカン園の放置などが言われているが、西日本ではミカン栽培は古くから行われており、またナガサキアゲハの主発生地は農家庭先きや住宅地の家のミカンで、私は上記の説にあまり賛成ではない。ナガサキアゲハの分布北限で考えられる寒冷淘汰による蛹の耐寒性の増大、あるいは気象条件のわ



分布図 46 ナガサキアゲハの北上・東進（白水隆 1985 より）。各年代ごとの分布の変遷を示す。黒丸印はその年代までに土着したと認められた地点、星印は採集されてはいるが、未だ土着しておらず迷チョウと判断されるもの。

ずかの変化（温暖化）のいずれかがその原因である可能性は高い。

以上のナガサキアゲハのほか、前述のタテハモドキ（九州本土における定着と分布の北上）、クロノマチョウ（中部地方の太平洋側の分布拡大）も顕著な例である。そのほか、近年におけるモンキアゲハ、イシガキチョウの北上と個体数の増加を示唆する報告は多い。またテングチョウの分布拡大と個体数の増加が各地で報告されているが、その原因は明らかでない。

そのほか南西諸島における暖地性チョウ類の近年における顕著な北進現象（分布北限の更新）に

については筆者の前報（白水隆著作集Ⅰ：28-29，1985）にまとめたので省略する。

4 近年における迷チョウの土着

約20年ほど前から迷チョウによる土着（帰化）と思われる現象が南西諸島で目立つようになった。発見以後現在まで連続的に発生を続け、完全に土着したと認められるのは、ベニモンアゲハ（1968年以降）、タイワンキマダラ（1973年以降）、バナナセセリ（1971年以降）、テツイロビロウドセセリ（1974年以降）、クロボシセセリ（1973年以降）の5種である。以上のうち沖縄本島に土着したバナナセセリは人為的な移入にほぼ間違いがなく、恐らくこれは米軍の輸送機によってベトナムから持込まれたものである。他の4種は恐らく南方からの迷チョウの定着であろうと推定されるが、わずか数年の間に（大きく見ればほぼ同時期に）どうしてこういう現象が起ったのか、その理由は明らかでない。

そのほかウラベニヒョウモン（ウラベニヒョウモンモドキ）は1964年に石垣島・西表島で発見され、同地域では1980年代のはじめまでほぼ連続的に発生が認められているが、定着するに至らなかったものと思われる。沖縄本島では1973年に多数発生したが、その年限りで消滅した。

以上の迷チョウによるとと思われる国外種の定着とその後の分布拡大については筆者がまとめたものがあるので（蝶と蛾 33(1/2):47, 1982; 白水隆著作集Ⅰ：28-29, 1985）、ここでは省略する。

（白水 隆）

第4 ま と め

第3回自然環境保全基礎調査における動植物分布調査の全種調査は、哺乳類、鳥類、両生類・爬虫類、淡水魚類、昆虫類（トンボ類、チョウ類、セミ類、ガ類、甲虫類）、貝類（陸産貝類、淡水産貝類）を調査対象に実施した。本調査においては、種の同定に卓越した能力を持つ専門研究者に協力を要請し、分布情報の提供をいただいたもので、結果として約2,200名の協力が得られ、延べ報告件数は、およそ42万件にのぼった。これらの分布に関する原情報は、1キロメッシュの情報であるが、分布図に整理するに際しては10キロメッシュに変換して表示した。分布図は、報告のあった全ての種について作成し、分類群ごとの分冊（哺乳類、鳥類、両生類・爬虫類、淡水魚類、トンボ類、チョウ類、ガ類、セミ類・甲虫類、貝類の9分冊）として取りまとめた。

1 全種調査全般について

全種調査は、生物地理学、生態学等の自然科学の基礎資料になるとともに、動植物の保護管理のための施策立案に客観的な情報を提供することを目的に、人為的、自然的要因により変化する我が国の生物相を網羅的に記録する事を目指しているものである。

なお、この調査を通じて、特定の目的に利用が限られていた各種の調査結果や、公開の機会が限られていた個人の観察記録などが有効な分布情報として蘇生されるよう期待した。

今回の調査では、ごく限られた期間の内に、約2,000種についての分布情報が得られ、全て分布図化された。分布情報に空白域があって全ての分布図が全国的な分布状況を表わしているわけではないが、およそ半数の分布図が「分布パターンを表わしている」と判定されたこと、分布に関するいくつかの新しい知見が得られたことなどが今回の全種調査の成果である。なお、今回の調査では、我が国では前例のない調査体制が採られたが、幸い多くの専門研究者の理解と協力が得られ、調査を可能にする基盤となった。これは、今後の全種調査継続に明るい展望を与えるものである。

しかし、今回の調査を顧みれば、いくつか問題点も指摘される。まず、調査者になりうる人の絶対数が限られ、かつ調査フィールドの地域的な片寄りもあって、収集された分布情報にも地域的な片寄りが見られ、調査の全国的な均一性はまだ確保できていない。このことから、今回の報告書は、全種調査の中間取りまとめとして位置付けられよう。

また、調査者の負担についての問題として、地域メッシュコードの検索・書き写しに多くの時間を要したこと、調査票の控が手元に残せなかったことなどが挙げられる。

今後の調査継続の際には、分布情報の空白の解消とともに、調査員の省力化についての改善策の検討が必要である。

2 昆虫（チョウ）類の調査について

チョウ類については、調査員の数の多さとともに、ひとりひとりの大量のデータ提供によって、多くの分布情報を集めることができた。全国的に見れば、まだ、分布情報の空白域は残っており、今後の調査に期待しなければならないが、特定の島の特産種及び狭分布種についての分布のパターンが相当明らかになるなど、このたびの調査で得られた成果は大きい。

チョウ類についての調査の概況は次のとおりである。

(1) 調査対象種

我が国に生息する鱗翅目チョウ類の全種・286種を種レベルで調査対象とした。

(2) 調査員と分布情報

調査は、昆虫分科会検討員より推薦されたチョウ類の専門研究者の内、186名の参加協力により実施され、258種について91,405件の分布情報が得られた。

(3) 分布図

分布図は、258枚が作成された。分布図には、それぞれの種の分布がどの程度表現されているか、その程度を判定し短いコメントを付したが、「分布パターンを表わしている」と判定されたものは111枚、「やや情報不足」と判定されたものは146枚、「情報不足」と判定されたものは1枚である。

III 資 料

1 . 第3回自然環境保全基礎調査検討会及び分科会

** 自然環境保全基礎調査検討会名簿

座長 宝月 欣二	植物生態学	玉川大学教授
有賀 祐勝	植物生態学	東京水産大学水産学部教授
今泉 吉典	動物生態学	東京農業大学教授
奥富 清	植物生態学	東京農工大学農学部教授
北森 良之助	海洋生物学	元農水省東海区水産研究所水質部 汚濁対策研究室長
玖村 敦彦	作物学	東京大学農学部教授
黒田 長久	鳥類学	(財)山階鳥類研究所副所長
佐々 学	環境生物学	富山医科薬科大学学長
佐藤 大七郎	林学	(財)日本野生生物研究センター理事長
高井 康雄	土壌学	東京農業大学教授
田崎 忠良	植物生態学	東邦大学理学部教授
中島 巖	航測学	千葉大学客員教授
沼田 真	植物生態学	淑徳大学教授
半谷 高久	地球化学	東京都立大学名誉教授
古田 能久	陸水生物学	農水省東海区水産研究所陸水部主任研究官
宮脇 昭	植物生態学	横浜国立大学環境科学研究センター教授
門司 正三	植物生態学	東京大学名誉教授
山本 護太郎	海洋学	東海大学海洋学部教授
吉川 虎雄	自然地理学	東京農業大学教授
(北沢 右三	動物生態学	物 故)

**** 昆虫類分科会名簿**

座長 朝比奈 正二郎

石原 保

大野 正男

奥谷 禎一

笹川 満広

佐藤 力夫

白水 隆

谷 幸三

林 長閑

布施 英明

宮本 正一

山崎 柄根

渡辺 泰明

国立予防衛生研究所名誉所員,客員研究員

愛媛大学名誉教授

東洋大学文学部(自然分野)教授

神戸大学名誉教授

京都府立大学農学部教授

新潟県立新潟中央高校教諭

九州大学名誉教授

奈良県立生駒高校教諭

法政大学第二高校教諭

西武赤城自然観察園昆虫研究室長

筑紫女学園短期大学教授

東京都立大学理学部助教授

東京農業大学農学部助教授

2. 第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査実施要綱

1. 目 的

本調査の目的は、専門研究者のみならず広く一般の自然愛好者の協力も得て、動植物の分布に関する知見を集成することである。なお、本調査によって次のような成果を期待するものである。

(1) 生物相に関する記録の収集と保存

人為的または自然的要因により変化するわが国の生物相を一定間隔で網羅的に記録することによって、生物地理学・生態学等の自然科学の基礎資料となる。

(2) 動植物の保護管理のための科学的情報の提供

生物種ごとの分布のパターンや分布域の拡大・縮小の傾向等を把握することにより、動植物の保護管理のための施策への客観的判断が可能となる。

(3) 環境診断

人間をも含めた動植物の生活の場としての環境が正常に機能しているのかどうかを、特定の生物種を環境指標種として用いることにより、判定することが可能となる。

(4) 各種調査データの蘇生

特定の目的に利用が限られていた各種の調査結果や、公開の機会が限られていた個人の観察記録などが、動植物の分布記録に関する体系的・汎用的な方法の提示により、有効な分布情報として蘇生される。

(5) 環境教育への寄与

多くの人が身の回りの自然を注意深く観察し、自然の多様性、自然の仕組みなどに関心を寄せることになり、環境教育の新たな展開が図られる。

2. 調査対象

本調査は、特定の分類群に属するすべての種についての分布情報を収集する全種調査および環境指標種として選定された種の分布情報を収集する環境指標種調査から成る。調査対象種は維管束植物、軟体動物、節足動物、脊椎動物の各群の中から、陸域、陸水域で生活史の一部または全部を過ごすものであって生物学的知見、特に分類学的知見が十分に蓄積されているものを選定する。なお、環境指標種については、多くの人が識別しやすいものから選定する。

3. 調査体制および方法

本調査では、同定能力を有する者の自発的参加を得、調査研究活動や観察活動の際に得られる分布に関する知見の提供を受けるものとする。

(1) 調査の体制およびその役割は次のとおりとする。

ア. 環境庁

環境庁は、自然環境保全基礎調査検討会の下に、分類群別に動植物分布調査のための専門家による分科会を設け、次の検討を行う。

(ア) 調査の基盤となる分類目録の整備

(イ) 調査対象種の選定

(ウ) 分布情報の点検

(ニ) 情報の分析

(ホ) 情報の公開・管理基準の策定

(カ) その他、専門的見地からの各種検討、指導、現地調査等

イ. 調査員

調査の主旨に賛同し、情報提供を行う者を調査員とする。

ただし、全種調査の調査員は専門的知見を有する者とする。環境指標種調査の調査員は一般公募による。

調査員は動植物の分布に関する必要な情報を調査票に記入し、環境庁に送付するものとする。

(2) 調査は次の方法により実施するものとし、詳細は「調査の手引書」等による。

ア. 分布情報の収集

調査員は直接野外観察または過去の観察記録に基づき、調査対象種の分布に関する情報についての必要事項を調査票に記入し、環境庁に送付する。

分布に関する情報は、調査員が直接観察または自ら採集した記録に基づくことを原則とするが、博物館、大学、個人等が所蔵している標本で必要な要件を備えている場合にはそれによることができる。

イ. 情報の集成、管理

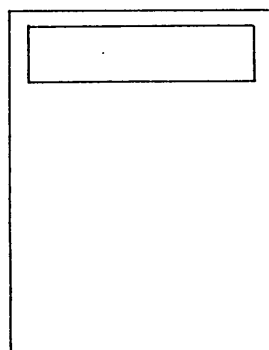
環境庁は調査員から送付された情報を集成し、すみやかに公開するものとする。また、継続的に提供される情報についても整備し、管理に努めるものとする。

3. 動植物分布調査票の記入のしかた

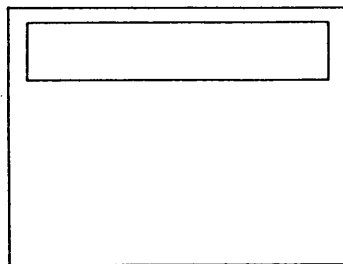
I 調査票の種類と使い方

調査票には、大きく分けて2つの種類があります。ひとつはタテ長のカード(1)で、もうひとつはヨコ長のカード(2)です。

1. この調査票は、ある区画（地形図をタテ・ヨコに分けたもの）の中に、いつ（年月日）、どういう種類が記録されたかを記入するためのものです。したがって、区画が異なる場合、または期間が2つの月以上にまたがる場合は、原則として新しい調査票を使用してください。



2. この調査票は、ある種類がどの場所とどの場所で記録されたかを記入するためのものです。したがって、動植物の種類が異なるごとに新しい調査票を使用してください。



どちらの調査票を使用するかは各々の調査員の自由で、調査方法（場所を定めてそこにいる種をチェックするのか、あるいはいくつかの種を限りそれらの分布を調べるのか）により、使いやすいものを選んでください。

Ⅱ 記入のしかた

調査者は太枠内の各項目について、記入してください。

1. 調査者名

調査者名を漢字で記入するとともに、その読み方をカタカナで記入してください。

2. 調査者コード

調査員証に記載された調査者コードを記入します。調査者コードがない場合は空欄にしておいてください。

3. 調査年月日

調査を行った時期を記入します。タテ長の調査票の場合、調査をある期間継続して、あるいは断続的に行ったときは、最初と最後の日付を記入します。

1ケタの月、日のときは、数字の前に必ず0を入れてください。

1	9	8	4	0	5	1	0	—	3	1	1984年5月10日 から31日
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---------------------

過去の記録などで月日が不明の場合は該当欄に — を引いてください。

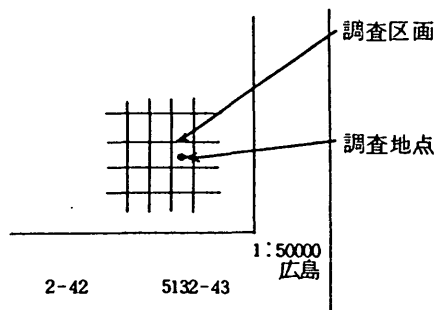
ただし、年が不明の場合はデータとして採用しないものとします。

1	9	8	4	1	0	—	—	1984年10月(日不明)
---	---	---	---	---	---	---	---	---------------

1	9	6	4	—	—	—	—	1964年(月日不明)
---	---	---	---	---	---	---	---	-------------

4. メッシュコード（区画番号）

調査地点が含まれるタテ・ヨコの線で囲まれた小さな区画を番号で表わすには、次のようにします。



(1) まず、調査地点が、地図を4等分したどの場所にあるのかをみます。

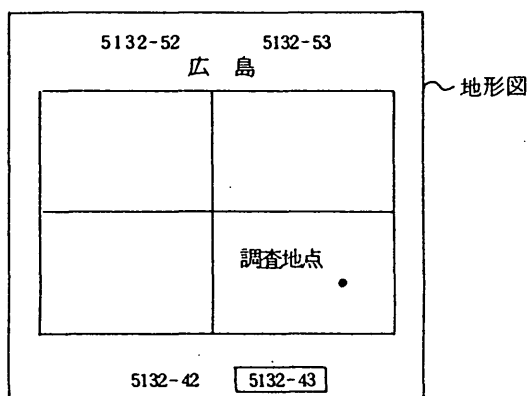
4等分した大きな区画を表わす数字は地図の上と下に表示されている6ケタの数字です。

たとえば、調査地点が・印の位置とすると、5132-43 がその数字です。

したがって調査票にはまず

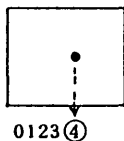
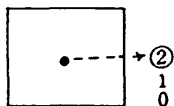
5 1 3 2 4 3

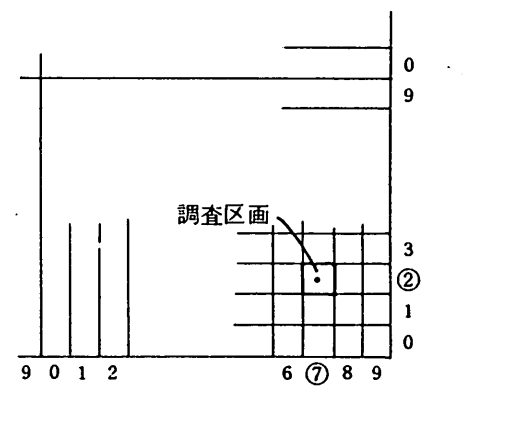
と記入します。



これで、だいたいの位置が決まります。過去の記録に基づいて記入する場合は、基本的には、ここまでの表示で結構ですが、これから調査を行う場合は、さらに詳しい位置を特定するために、次の手順に進んでください。

(2) タテ軸の番号、次にヨコ軸の番号の順に、地図の周囲に付された0から9の数字を読むことにより決まります。





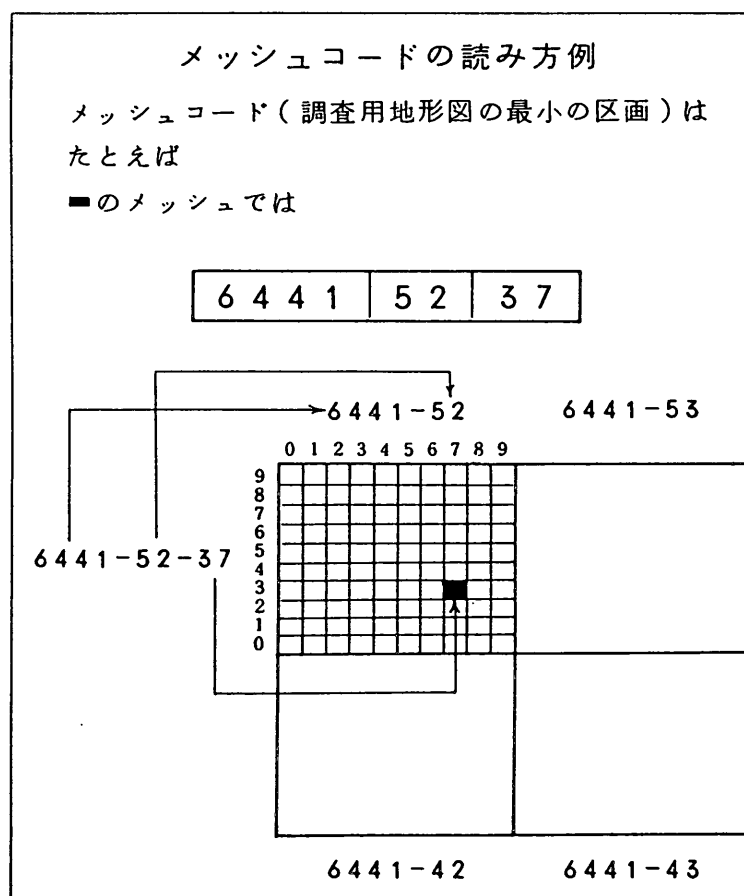
調査区画が左図の場合、タテ軸の番号は2、ヨコ軸の番号は7となり、これでメッシュコードの最後の2ケタが埋まります。

5 1 3 2 4 3 2 7

(注意) タテ・ヨコの順が逆になると、位置が全く異なってくるので注意すること。

この最小単位の区画（ほぼ $1\text{ km} \times 1\text{ km}$ に相当）を確定できない場合は、最後の2ケタに $\frac{\text{バー}}$ を記入してください。

5 1 3 2 4 3 - -



5. 調 査 地

調査を行った位置の都道府県名，市区町村名を確認して記入します。次に，調査用地形図上で，その地点を含む区画（メッシュ）内に地名を表わす文字があれば，市区町村名の後の余白に記入してください。なお，地図上に表示されていなくてもその場所に明瞭な名称がある場合は（ ）書きにして記入してください。

例） （ 白山神社の森 ）

調査地が河川（水生昆虫，淡水魚等）の場合は地図上でその地点より川筋を下流または上流に辿り，最初に出会う河川名を（ ）書きにしてください。

6. 確 認 種

(1) タテ長の調査票

生息または生育を確認した種について，その番号を○で囲んでください。「その他の確認種」欄については，その種名を余白に記入してください。陸産貝類の場合，調査票中に掲げられていないものは，目録中の種名の前の番号を枠内に記入します。陸産貝類以外は「その他の確認種」欄の枠内には何も記入しないでください。

なお，動植物のあるグループでは，種名が印刷されていないものがあります。この場合は，別添の種名目録を参考にして種名コードと種名を記入してください。

(2) ヨコ長の調査票

タテ長の調査票に記載されている種名と番号，または別添の種名目録を参考にして，種名コードと種名を記入してください。

7. 生息環境（ヨコ長の調査票のみ）

調査を行った地点の環境を重要なものについて記入してください。生息環境が確定できない場合は記入しなくても結構です。

8. 採集者名，標本所蔵場所（ヨコ長の調査票のみ）

博物館・大学等に所蔵されている標本を調査した場合は，採集者名，標本所蔵場所を該当欄に記入してください。

9. 個体数欄（鳥類のみ）

調査区画の中で観察した鳥について，個体数がわかれば記入します。

その種の個体数が1の位（0～9羽）か10の位（11～99羽）かといったおおよその数で表わします。

		個 体 数				
		一	十	百	千	万
例	0 ～ 9羽の場合	☒	☐	☐	☐	☐
	10 ～ 99羽の場合	☐	☒	☐	☐	☐
	100 ～ 999羽の場合	☐	☐	☒	☐	☐
	1,000 ～ 9,999羽の場合	☐	☐	☐	☒	☐
	10,000 ～ の 場 合	☐	☐	☐	☐	☒

これらの記入項目のうち，最低限必要なものは，調査者コード（誰が），メッシュコード（どこで），調査年（いつ），種名コード（何を）ですので，注意深く記入してください。

Ⅲ 問い合わせ先

調査の内容または調査票の記入のしかた等で，不明の点がありましたら

100 千代田区霞が関1-2-2

環境庁自然保護局企画調整課自然環境調査室

TEL 03(581)3351(内)6422

までお問い合わせください。

なお，鳥類については(財)日本野鳥の会03(406)7141，その他の分類群については(財)日本野生生物研究センター03(813)8806でも問い合わせに応じております。

その他の確認種

カタカナで種名を
記入してください。

ここには何も記入
しないでください。
(陸産貝類を除く)

環境庁自然保護局企画調整課自然環境調査室

自然環境保全基礎調査動植物分布調査票

N		01	淡水産貝類
調査者名		調査者コード	種名コード
(姓) 押谷 (名) 誠		0210012	1530
カタカナ	採集者名	種名	
オシタニ マコト		カフニナ	
メッシュコード	調査地	年 月 日	生息環境
56397504	山形県 小国町温身平	19840710	ブナ林中の細流
56397513	〃	19840713	河辺林

4. 調査対象種一覧表

チョウ類

I. HESPERIIDAE ツリチョウ科

0001 <i>Pyrgus maculatus</i>	チマタ ^ツ ツリ
0002 <i>P. malvae</i>	ヒメチマタ ^ツ ツリ
0003 <i>Erynnis montanus</i>	ミヤマツリ
0004 <i>Daimio tethys</i>	タ ^ツ イミョウツリ
0005 <i>Tagiades trebellius</i>	コウトウシロシタツリ
0006 <i>Choaspes benjaminii</i>	アオハ ^ツ ツリ
0007 <i>Bibasis aquilina</i>	キハ ^ツ ツリ
0008 <i>Hasora chromus</i>	オキナワヒ ^ツ ロウト ^ツ ツリ
0009 <i>H. badra</i>	テフイロヒ ^ツ ロウト ^ツ ツリ
0010 <i>Badamia exclamationis</i>	タイワンアオハ ^ツ ツリ
0011 <i>Leptalina unicolor</i>	キンイロモンシ ^ツ ツリ
0012 <i>Carterocephalus palaemon</i>	タカネキマタ ^ツ ツリ
0013 <i>C. sylvicola</i>	かうフトタカネキマタ ^ツ ツリ
0014 <i>Aeromachus inachus</i>	オシチハ ^ツ ツリ
0015 <i>Isoteinon lamprospilus</i>	オソハ ^ツ ツリ
0016 <i>Erionota torus</i>	ハ ^ツ ナナツリ
0017 <i>Thymelicus leoninus</i>	スジ ^ツ ク ^ツ ロチハ ^ツ ツリ
0018 <i>T. sylvaticus</i>	ヘリク ^ツ ロチハ ^ツ ツリ
0019 <i>Ochlodes venata</i>	コキマタ ^ツ ツリ
0020 <i>O. asahinai</i>	アサヒナキマタ ^ツ ツリ
0021 <i>O. ochracea</i>	ヒメキマタ ^ツ ツリ
0022 <i>Hesperia florinda</i>	アカツリ
0023 <i>Potanthus flavum</i>	キマタ ^ツ ツリ
0024 <i>P. wilemanni</i>	ワイルマンキマタ ^ツ ツリ(イリオモテキマタ ^ツ ツリ)
0025 <i>Telicota colon</i>	ネッタイアカツリ
0026 <i>Thoressa varia</i>	コチハ ^ツ ツリ
0027 <i>Polytremis pellucida</i>	オオチハ ^ツ ツリ
0028 <i>Pelopidas mathias</i>	チハ ^ツ ツリ
0029 <i>P. agna</i>	トカ ^ツ リチハ ^ツ ツリ
0030 <i>P. jansonis</i>	ミヤマチハ ^ツ ツリ
0031 <i>Parnara guttata</i>	イチモンシ ^ツ ツリ
0032 <i>P. naso</i>	ヒメイチモンシ ^ツ ツリ
0033 <i>P. ogasawarensis</i>	オカ ^ツ サワラツリ
0034 <i>Borbo cinnara</i>	コウレイツリ
0035 <i>Suastus gremius</i>	クロネシツリ
0036 <i>Notocrypta curvifascia</i>	クロツリ
0037 <i>Udaspes folus</i>	オオシロモンツリ

II. PAPILIONIDAE アケハチョウ科

0038 <i>Parnassius glacialis</i>	ウスハ ^ツ シロチョウ
0039 <i>P. stubbendorfii</i>	ヒメウスハ ^ツ シロチョウ
0040 <i>P. eversmanni</i>	ウスハ ^ツ キチョウ
0041 <i>Luehdorfia japonica</i>	キ ^ツ フチョウ
0042 <i>L. puziloi</i>	ヒメキ ^ツ フチョウ
0043 <i>Byasa alcinous</i>	シ ^ツ コウアケ ^ツ ハ
0044 <i>Pachliopta aristolochiae</i>	ヘ ^ツ ニモンアケ ^ツ ハ
0045 <i>Graphium doson</i>	ミカト ^ツ アケ ^ツ ハ
0046 <i>G. sarpedon</i>	アオスジ ^ツ アケ ^ツ ハ
0047 <i>G. cloanthus</i>	タイワンタイマイ
0048 <i>Papilio demoleus</i>	オナシアケ ^ツ ハ
0049 <i>P. machaon</i>	キアケ ^ツ ハ
0050 <i>P. xuthus</i>	ナミアケ ^ツ ハ(アケ ^ツ ハ. アケ ^ツ ハチョウ)

0051 <i>P. polytes</i>	シロオヒ ^{アケ} ハ
0052 <i>P. macilentus</i>	オナカ ^{アケ} ハ
0053 <i>P. protenor</i>	クロア ^ケ ハ
0054 <i>P. memnon</i>	ナカ ^{サキアケ} ハ
0055 <i>P. rumanzovia</i>	アカサ ^{アケ} ハ
0056 <i>P. helenus</i>	モンキア ^ケ ハ
0057 <i>P. bianor</i>	カラスア ^ケ ハ
0058 <i>P. maackii</i>	ミヤマカラスア ^ケ ハ

III. PIERIDAE シロチョウ科

0059 <i>Leptidea amurensis</i>	ヒメシロチョウ
0060 <i>L. morsei</i>	イソ ^{ヒメ} シロチョウ
0061 <i>Eurema hecabe</i>	キチョウ
0062 <i>E. blanda</i>	タイワンキチョウ
0063 <i>E. laeta</i>	ヅマク ^ロ キチョウ
0064 <i>E. brigitta</i>	オシホ ^シ キチョウ
0065 <i>Gonepteryx rhamni</i>	ヤマキチョウ
0066 <i>G. aspasia</i>	スシ ^ホ ツヤマキチョウ
0067 <i>Colias erate</i>	モンキチョウ
0068 <i>C. palaeno</i>	ミヤマモンキチョウ
0069 <i>C. fieldi</i>	フィールド ^{イタ} イモンキチョウ
0070 <i>Catopsilia pyranthe</i>	ウラナミシロチョウ
0071 <i>C. pomona</i>	ウスキシロチョウ
0072 <i>Anthocharis cardamines</i>	クロマヅマキチョウ
0073 <i>A. scolymus</i>	ヅマキチョウ
0074 <i>Hebomoia glaucippe</i>	ヅマ ^ヘ ニチョウ
0075 <i>Ixias pyrene</i>	メス ^シ ロキチョウ
0076 <i>Pieris rapae</i>	モンシロチョウ
0077 <i>P. melete</i>	スシ ^ク ロシロチョウ
0078 <i>P. napi</i>	イソ ^{スシ} ク ^ロ シロチョウ
0079 <i>P. canidia</i>	タイワンモンシロチョウ
0080 <i>Leptosia nina</i>	クロテンシロチョウ
0081 <i>Pontia daplidice</i>	チョウテンシロチョウ
0082 <i>Appias lyncida</i>	タイワンシロチョウ
0083 <i>A. paulina</i>	ナミエシロチョウ
0084 <i>A. albina</i>	カワカミシロチョウ
0085 <i>A. nero</i>	ヘ ^ニ シロチョウ
0086 <i>Saletara panda</i>	イワサキシロチョウ
0087 <i>Aporia hippia</i>	ミヤマシロチョウ
0088 <i>A. crataegi</i>	イソ ^シ ロチョウ

IV. LYCAENIDAE シシミチョウ科

0089 <i>Panchala ganesa</i>	ル ^ミ スシ ^ミ
0090 <i>Narathura japonica</i>	ムラサキシシ ^ミ
0091 <i>N. bazalus</i>	ムラサキツハ ^メ
0092 <i>Artipoetes pryeri</i>	ウラコ ^マ ラシシ ^ミ
0093 <i>Coreana raphaelis</i>	チョウテンアカシシ ^ミ
0094 <i>Ussuriana stygiana</i>	ウラキンシシ ^ミ
0095 <i>Shirozua jonasi</i>	ムモンアカシシ ^ミ
0096 <i>Japonica lutea</i>	アカシシ ^ミ
0097 <i>J. saepestriata</i>	ウラナミアカシシ ^ミ
0098 <i>Araragi enthea</i>	オナカ ^{シシ} ミ
0099 <i>Antigius attilia</i>	ミス ^イ オナカ ^{シシ} ミ
0100 <i>A. butleri</i>	ウスイオナカ ^{シシ} ミ
0101 <i>Wagimo signata</i>	タ ^イ テンシシ ^ミ

0102	Iratsume orsedice	ウラクロシシ ^ミ
0103	Neozephyrus taxila	ミト ^リ シシ ^ミ
0104	Chrysozephyrus smaragdinus	メスアカミト ^リ シシ ^ミ
0105	C. brilliantinus	アイノミト ^リ シシ ^ミ
0106	C. hisamatsusanus	ヒサマツミト ^リ シシ ^ミ
0107	C. ataxus	キリシマミト ^リ シシ ^ミ
0108	Quercusia fujisana	フジ ^ミ ト ^リ シシ ^ミ
0109	Favonius saphirinus	ウラシ ^ミ ト ^リ シシ ^ミ
0110	F. orientalis	オオミト ^リ シシ ^ミ
0111	F. yuasai	クロミト ^リ シシ ^ミ
0112	F. jezoensis	エゾ ^ミ ト ^リ シシ ^ミ
0113	F. ultramarinus	ハヤシミト ^リ シシ ^ミ
0114	F. latifasciatus	ヒロオビ ^ミ ト ^リ シシ ^ミ
0115	F. aurorinus	シ ^ミ ョウサ ^ミ ンミト ^リ シシ ^ミ
0116	Rapala arata	トラフシシ ^ミ
0117	Deudorix eryx	イワカワシシ ^ミ
0118	Strymonidia w-album	カラスシシ ^ミ
0119	S. mera	ミヤマカラスシシ ^ミ
0120	S. iyonis	ヘ ^ミ ニモンカラスシシ ^ミ
0121	S. pruni	リンコ ^ミ シシ ^ミ
0122	Callophrys ferrea	コブハ ^ミ
0123	Spindasis takanonis	キマタ ^ミ ラハリツハ ^ミ
0124	Lycaena phlaeas	ヘ ^ミ ニシシ ^ミ
0125	Taraka hamada	コ ^ミ イシシシ ^ミ
0126	Spalgis epius	シロモンクロシシ ^ミ
0127	Syntarucus plinius	カクモンシシ ^ミ
0128	Niphanda fusca	クロシシ ^ミ
0129	Lampides boeticus	ウラナミシシ ^ミ
0130	Euchrysops cnejus	オシ ^ミ ロシシ ^ミ
0131	Nacaduba kurava	アママウラナミシシ ^ミ
0132	Prosotas nora	ヒメウラナミシシ ^ミ
0133	Petrelaea dana	オカ ^ミ サウラウラナミシシ ^ミ
0134	Jamides bochus	ハリウラナミシシ ^ミ
0135	J. alecto	シロウラナミシシ ^ミ
0136	Catochrysops panormus	ウスアオオカ ^ミ ウラナミシシ ^ミ
0137	C. strabo	ムラサキオカ ^ミ ウラナミシシ ^ミ
0138	Zizeeria maha	ヤマトシシ ^ミ
0139	Z. knysna	ハマトマトシシ ^ミ
0140	Zizina otis	シロヒ ^ミ アシシ ^ミ
0141	Famegana alsulus	クロホシヒメシシ ^ミ
0142	Zizula hylax	ホライコシシ ^ミ
0143	Scolotantides orion	シ ^ミ ョウサ ^ミ ンシシ ^ミ
0144	Shijimiaeoides divina	オオハリシシ ^ミ
0145	Glaucopsyche lycormas	カハ ^ミ イロシシ ^ミ
0146	Maculinea teleius	コ ^ミ マシシ ^ミ
0147	M. arionides	オオコ ^ミ マシシ ^ミ
0148	Celastrina argiolus	ハリシシ ^ミ
0149	C. sugitanii	スキ ^ミ タニハリシシ ^ミ
0150	C. puspa	ヤクシマハリシシ ^ミ
0151	C. ogasawaraensis	オカ ^ミ サウラシシ ^ミ
0152	C. dilecta	タツハ ^ミ ンハリシシ ^ミ
0153	C. albocaerulea	サツマシシ ^ミ
0154	Megisba malaya	タイワンクロホシシシ ^ミ
0155	Shijimia moorei	コ ^ミ イシツハ ^ミ シシ ^ミ
0156	Pithecopus fulgens	グシマウラホ ^ミ シシ ^ミ
0157	P. corvus	リュウキュウウラホ ^ミ シシ ^ミ
0158	Danis schaeffera	コウトウシシ ^ミ

0159 *Everes argiades*
 0160 *E. lacturnus*
 0161 *Tongeia fischeri*
 0162 *Plebejus argus*
 0163 *Lycaeides argyrognomon*
 0164 *L. subsolana*
 0165 *Vacciniina optilete*
 0166 *Chilades mindora*

ツハ`メシ`ミ
 タイワンツハ`メシ`ミ
 クロツハ`メシ`ミ
 ヒメシ`ミ
 ミヤマシ`ミ
 アヤマシ`ミ
 カラフトハリシ`ミ
 キヤムラシ`ミ

V. CURETIDAE ウラキ`ンシ`ミ科

0167 *Curetis acuta*

ウラキ`ンシ`ミ

VI. LIBYTHEIDAE テンク`チョウ科

0168 *Libythea celtis*
 0169 *L. geoffroyi*

テンク`チョウ
 ムラサキテンク`チョウ

VII. DANAIDAE マタ`ラチョウ科

0170 *Parantica sita*
 0171 *P. melaneus*
 0172 *P. aglea*
 0173 *P. luzonensis*
 0174 *Radena similis*
 0175 *Tirumala septentrionis*
 0176 *T. hamata*
 0177 *T. limniace*
 0178 *Salatura genutia*
 0179 *S. lotis*
 0180 *Anosia chrysippus*
 0181 *Danaus plexippus*
 0182 *Idea leuconoe*
 0183 *Euploea leucostictos*
 0184 *E. klugii*
 0185 *E. tulliolus*
 0186 *E. sylvestor*
 0187 *E. mulciber*
 0188 *E. camaralzeman*
 0189 *E. diocletianus*
 0190 *E. swainson*
 0191 *E. core*

アサキ`マタ`ラ
 タイワンアサキ`マタ`ラ
 ヒメコモンアサキ`マタ`ラ
 ルソンアサキ`マタ`ラ
 リュウキュウアサキ`マタ`ラ
 コモンマタ`ラ
 ミナミコモンマタ`ラ
 ウスコモンマタ`ラ
 スシ`ク`ロカハ`マタ`ラ
 スシ`ク`ロシロマタ`ラ(コウトウマタ`ラ)
 カハ`マタ`ラ
 オオカハ`マタ`ラ
 オオコ`マタ`ラ
 マルハ`ネハリマタ`ラ
 クル`キ`-ハリマタ`ラ
 マサキハリマタ`ラ
 ハリマタ`ラ
 ツマムラサキマタ`ラ
 シロオヒ`マタ`ラ
 シロモンハリマタ`ラ
 クロイワマタ`ラ
 カ`ランヒ`マタ`ラ

VIII. NYMPHALIDAE タテハチョウ科

0192 *Ariadne ariadne*
 0193 *Cupha erymanthis*
 0194 *Clossiana thore*
 0195 *C. iphigenia*
 0196 *C. freija*
 0197 *Brenthis daphne*
 0198 *B. ino*
 0199 *Argyronome laodice*
 0200 *A. ruslana*
 0201 *Argynnis paphia*
 0202 *Nephargynnis anadyomene*
 0203 *Damora sagana*

カハ`タテハ
 タイワンキマタ`ラ
 ヒメカラフトヒョウモン
 カラフトヒョウモン
 アサヒヒョウモン
 ヒョウモンチョウ
 コヒョウモン
 ウラキ`ンズシ`ヒョウモン
 オオウラキ`ンズシ`ヒョウモン
 ミト`リヒョウモン
 クモカ`タヒョウモン
 メスク`ロヒョウモン

0204 Fabriciana adippe	ウラキ ^ン ヒョウモン
0205 F. nerippe	オオウラキ ^ン ヒョウモン
0206 Speyeria aglaja	キ ^ン ホ ^ン シヒョウモン
0207 Argyreus hyperbius	ツマク ^ロ ヒョウモン
0208 Phalanta phalanta	ウラヘ ^ニ ヒョウモン(ウラヘ ^ニ ヒョウモンモト ^キ)
0209 Limenitis populi	オオイチモンシ ^ン
0210 Ladoga camilla	イチモンシ ^ン チョウ
0211 L. glorifica	アサマイチモンシ ^ン
0212 Athyma perius	シロミスシ ^ン
0213 A. selenophora	ヤイヤマイチモンシ ^ン
0214 Neptis sappho	コミスシ ^ン
0215 N. hylas	リュウキュウミスシ ^ン (リュウキュウコミスシ ^ン)
0216 N. philyra	ミスシ ^ン チョウ
0217 N. alwina	オオミスシ ^ン
0218 N. rivularis	フタスシ ^ン チョウ
0219 N. pryri	おシミスシ ^ン
0220 Parthenos sylvia	トラフタテハ
0221 Mellicta athalia	コヒョウモンモト ^キ
0222 Melitaea diamina	ウスイロヒョウモンモト ^キ
0223 M. scotosia	ヒョウモンモト ^キ
0224 Araschnia brejana	サカハチチョウ
0225 A. levana	アカマダ ^ラ
0226 Polygonia c-aureum	キタテハ
0227 P. c-album	シ-タテハ
0228 P. vau-album	エダテハ
0229 Kaniska canace	黒リタテハ
0230 Nymphalis antiopa	キヘ ^リ タテハ
0231 N. xanthomelas	ヒオト ^シ チョウ
0232 Inachis io	クシ ^{ヤク} チョウ
0233 Aglais urticae	コヒオト ^シ (ヒメヒオト ^シ)
0234 A. milberti	ヤンキ-コヒオト ^シ
0235 Cynthia cardui	ヒメアカタテハ
0236 Vanessa indica	アカタテハ
0237 Precis orithya	アオタテハモト ^キ
0238 P. almana	タテハモト ^キ
0239 P. lemonias	ジ ^ン ノメタテハモト ^キ
0240 P. hedonia	イワサキタテハモト ^キ
0241 P. atlites	ハイイロタテハモト ^キ
0242 P. lintingensis	カリモンタテハモト ^キ
0243 Kallima inachus	コノハチョウ
0244 Yoma sabina	キオビ ^コ ノハ
0245 Doleschallia bisaltide	イワサキコノハ
0246 Hypolimnas misippus	メスアカムササキ
0247 H. bolina	リュウキュウムササキ
0248 H. anomala	ヤイヤムササキ
0249 Cyrestis thyodamas	イシカ ^キ チョウ
0250 Dichorragia nesimachus	スミナカ ^シ
0251 Apatura metis	コムササキ
0252 Hestina japonica	コ ^マ ダ ^ラ チョウ
0253 H. assimilis	アカホシコ ^マ ダ ^ラ
0254 Sasakia charonda	オオムササキ
0255 Polyura eudamippus	フタオチョウ
0256 Timalaea maculata	ヒョウマダ ^ラ

IX. SATYRIDAE シ^ンノメチョウ科

0257 Ypthima argus	ヒメウラナシ ^ン ノメ
--------------------	------------------------

0258 Y. motschulskyi	ウラナミシ ^{ノメ}
0259 Y. riukiwana	リュウキュウウラナミシ ^{ノメ}
0260 Y. yayeyamana	イヱヤマウラナミシ ^{ノメ}
0261 Y. masakii	マサキウラナミシ ^{ノメ}
0262 Erebia neriene	ヘ ^{ニヒカク}
0263 E. ligea	クモマヘ ^{ニヒカク}
0264 Oeneis norna	タカネヒカク ^ニ
0265 O. melissa	タ ^ニ イセツタカネヒカク ^ニ
0266 Minois dryas	シ ^{ノメ} メチョウ
0267 Melanargia epimede	モリシロシ ^{ノメ}
0268 Lasiommata deidamia	ツマシ ^{ノメ} ロウシ ^{ノメ}
0269 Lopinga achine	ウラシ ^{ノメ}
0270 Harima callipteris	ヒメキマタ ^{ラヒカク}
0271 Lethe diana	クロヒカク ^ニ
0272 L. marginalis	クロヒカク ^ニ モト ^ニ キ
0273 L. sicelis	ナミヒカク ^ニ
0274 L. europa	シロオヒ ^{ニヒカク}
0275 Ninguta schrenckii	オオヒカク ^ニ
0276 Kirinia epaminondas	キマタ ^{ラモト^ニキ}
0277 Neope niphonica	ヤマキマタ ^{ラヒカク}
0278 N. goschkevitschii	サトキマタ ^{ラヒカク}
0279 Mycalesis gotama	ヒメシ ^{ノメ}
0280 M. madjicosa	リュウキュウヒメシ ^{ノメ}
0281 M. francisca	コシ ^{ノメ}
0282 Coenonympha oedippus	ヒメヒカク ^ニ
0283 C. hero	シロオヒ ^{ニヒメヒカク}
0284 Melanitis leda	ウスイロコノマチョウ
0285 M. phedima	クロコノマチョウ
0286 M. boisduvalia	オヒ ^ニ コノマチョウ

5. 調 査 協 力 者 名 簿

(昆虫(チョウ)類)

調 査 者 コード	氏 名 (五十音順)	居 住 地 (県名)
0060274	青野 孝昭	岡山
0060081	青山 慎一	北海道
0060239	秋田 勝己	三重
0060155	芦沢 一郎	神奈川
0060261	乾風 一登	和歌山
0060092	阿部 東充	青森
0060311	有田 和尚	愛媛
0060198	安藤 尚一	愛知
0050001	飯島 雄則	北海道
0060313	勇 一定	愛媛
0090028	市橋 甫昭	三重
0060077	伊藤 邦正	北海道
0060151	伊藤 正宏	神奈川
0070019	井上 和也	滋賀
0060314	井上 豊彰	香川
0060205	今井 彰郁	愛知
0060326	岩崎 雄俊	宮崎
0060162	岩野 秀司	神奈川
0060329	上杉 兼司	沖縄
0060112	梅津 晋	宮城
0060287	梅原 努	広島
0060258	宇山 喜士	大阪
0060058	榎戸 良裕	神奈川
0060148	大釜 章男	埼玉
0060069	大大 柳熊	福岡
0060201	大大 曾根	愛知
0060168	大大 塚依	群馬
0060291	岡 耿一	山口
0060265	岡 義人	東京
0060097	岡野 磨瑛	岩手
0060301	岡部 正明	高知
0060117	尾形 正夫	千葉
0060211	荻野 誠作	新潟
0060268	小椋 隆良	鳥取
0060098	小田 公良	青森
0060241	乙部 宏己	三重
0060221	小野 克己	京都
0060079	小野 決	北海道
0050070	小野 正則	北海
0060101	小野 精美	岡山

調査者 コード	氏 名 (五十音順)	居住地 (県名)
0060331	片野 茂樹	沖繩
0060105	加藤 和彦	山形
0060140	加藤 輝年	埼玉
0060010	神園 香	鹿児島
0060009	神園 政行	鹿児島
0060188	河合 博行	静岡
0060207	川原 誠	岐阜
0060276	河邊 誠一郎	岡山
0060264	河本 哲至	鳥取
0050078	菊池 恭司	岩手
0060254	菊池 行道	大阪
0060192	菊地 泰雄	神奈川
0060154	岸 一弘	神奈川
0060288	岸本 修	広島
0060195	北原 正彦	山梨
0080028	木俣 正繁	山形
0060179	清沢 晴親	長野
0060034	行徳 直巳	福岡
0060310	楠 博幸	愛媛
0060091	工藤 忠	青森
0060137	久保田 繁男	東京
0060312	窪田 聖一	愛媛
0060343	久保田 由紀	長野
0060129	熊澤 隆義	栃木
0060169	小出 雄一	群馬
0060037	国分 謙一	福岡
0060128	小坂 公之	栃木
0060275	近藤 光宏	岡山
0060240	後藤 光勇	三重
0060338	後藤 安一郎	長崎
0060083	斉藤 龍司	北海道
0060123	坂入 守	北茨城
0060213	桜沢 英郎	茨城
0060350	笹川 満廣	新潟
0060309	佐々木 孝明	大阪
0060295	佐竹 新嘉	徳島
0060253	小路 明寛	山口
0060120	小塩 正利	大阪
0060115	信太 智	茨城
0060167	篠原 豊	千葉

調査者 コード	氏 名 (五十音順)	居住地 (県名)
0060157	渋谷 誠	神奈川県
0060215	下野谷 豊一	福岡県
0060191	白井 和伸	福岡県
0060043	白水 隆	福岡県
0060320	新海 義治	福岡県
0060132	新川 勉	東京都
0060234	新保 友之	滋賀県
0060143	神久保 美津夫	埼玉県
0060146	杉田 正之	埼玉県
0060243	杉山 貞雄	三重県
0060196	鈴木 利明	愛知県
0060218	鈴木 利文	岐阜県
0060200	鈴木 友之	愛知県
0060183	清 邦彦	静岡県
0050073	高橋 篤美	佐賀県
0060182	高橋 真弓	静岡県
0090007	高橋 雄一	宮城県
0060260	高松 勉	和歌山県
0060348	竹内 崇夫	埼玉県
0060263	竹内 亮	鳥取県
0060281	竹下 佳嗣	島根県
0060299	竹束 正	高知県
0090010	田添 京二	福島県
0060210	田中 忠次	富山県
0060349	田中 正弘	岐阜県
0060292	田中 正文	山梨県
0060242	田中 徳	三重県
0050040	谷 幸三	奈良県
0060341	田原 鳴雄	熊本県
0060229	茶坂 和夫	東京都
0060321	茶村 修吾	福岡県
0090006	千葉 武勝	岩手県
0090032	塚本 武珪	京都府
0060106	角田 伊一	福島県
0060315	豊嶋 弘	香川県
0060267	中井 博喜	鳥取県
0060078	中嶋 康二	北海道
0060237	中西 元男	三重県
0060236	中邨 徹	大阪府
0060094	中谷 充	岩手県

調査者 コード	氏 名 (五十音順)	居住地 (県名)
0060327	永井 彪	宮崎
0060002	長嶺 邦雄	沖縄
0060272	難波 通孝	岡山
0060004	新里 元達	鹿児島
0060252	西川 芳太郎	大阪
0070037	西村 正賢	奈良
0060125	西山 隆	栃木
0060119	野崎 武	茨城
0060346	野林 千枝	沖縄
0060172	浜 栄一	長野
0060256	浜 祥明	大阪
0060161	原 聖樹	奈良
0060175	原 雅幸	長野
0050025	馬場 金太郎	新潟
0060328	比嘉 正一	沖縄
0060026	久川 健	熊本
0060176	氷室 傲	長野
0060174	蛭川 憲男	長野
0060160	深澤 政晶	神奈川
0060135	福田 晴男	東京
0060257	福田 洋一	大阪
0060163	布施 英明	群馬
0060173	降旗 剛寛	長野
0090019	降旗 剛寛	長野
0060248	法西 定雄	兵庫
0060165	星野 才一	群馬
0060147	星野 正博	埼玉
0070015	堀 紳二	兵庫
0060113	松井 英子	千葉
0060088	松野 武敏	青森
0060171	丸山 潔	長野
0060208	水野 透	富山
0060283	水元 満夫	富山
0060047	溝上 誠司	佐賀
0060286	宮川 和夫	広島
0060342	三宅 誠治	岡山
0060178	宮田 渡	長野
0060099	宮本 裕	岩手
0060232	森 石雄	滋賀
0060319	森 一弘	大分

調査者 コード	氏 名 (五十音順)	居住地 (県名)
0060039	森田 公造	福岡
0060246	森地 重博	兵庫
0060335	守家 泰一 郎	長崎
0060285	門田 亨	広島
0060152	山内 達也	島 川
0060040	山崎 泰	神奈
0060144	山崎 政則	福岡
0060305	山下 泉	福岡
0060164	山田 昭二	高知
0080105	山田 米一	群馬
0060316	山平 務	新潟
0060130	山本 勝之	福岡
0060238	山本 浩平	東京
0060277	山本 正志	三重
0060121	山本 道也	岡山
0090009	山谷 文仁	茨城
0060103	横倉 明	宮城
0060206	横山 憲治	山形
0060304	横山 定郎	富山
0060049	吉田 和充	高知
0060344	吉田 嘉男	佐賀
0060278	淀江 賢一 郎	岡山
0050072	渡辺 一雄	島根
0060330	渡辺 清	静岡
0060193	渡辺 通人	沖縄
0060245	渡辺 康之	山梨
		兵庫

(計 186 名)

6. 分布図索引 (和名 50 音順)

チ ヨ ウ 類 確 認 種 和 名 リ ス ト

0105	アイノミト [・] リシジ [・] ミ	0217	オオミズジ [・]
0046	アオスジ [・] アケ [・] ハ	0110	オオミト [・] リシジ [・] ミ
0237	アオタテハモト [・] キ	0254	オオムラサキ
0006	アオハ [・] セセリ	0144	オオムリシジ [・] ミ
0096	アカシジ [・] ミ	0151	オカ [・] ヲウラシジ [・] ミ
0022	アカセセリ	0033	オカ [・] ヲウラセセリ
0236	アカタテハ	0008	オキナフヒ [・] ロウト [・] セセリ
0253	アカホシコ [・] マダ [・] ラ	0130	オシ [・] ロシジ [・] ミ
0225	アカマダ [・] ラ	0052	オナカ [・] アケ [・] ハ
0170	アサキ [・] マダ [・] ラ	0098	オナカ [・] シジ [・] ミ
0020	アサヒナキマダ [・] ラセセリ	0048	オナシアケ [・] ハ
0196	アサヒヒョウモン	0286	オヒ [・] コノマチヨフ
0211	アサマイチモンジ [・]	0127	カクモンシジ [・] ミ
0164	アサマシジ [・] ミ	0145	カハ [・] イロシジ [・] ミ
0131	アサミウラナミシジ [・] ミ	0192	カハ [・] タテハ
0249	イシカ [・] キチヨフ	0180	カハ [・] マダ [・] ラ
0031	イチモンジ [・] セセリ	0057	カラスアケ [・] ハ
0210	イチモンジ [・] チヨフ	0118	カラスシジ [・] ミ
0117	イワカウシジ [・] ミ	0013	カラフトタカネキマダ [・] ラセセリ
0136	ウスアオオナカ [・] ウラナミシジ [・] ミ	0195	カラフトヒョウモン
0100	ウスイロオナカ [・] シジ [・] ミ	0165	カラフトムリシジ [・] ミ
0284	ウスイロコノマチヨフ	0084	カワカミシロチヨフ
0222	ウスイロヒョウモンモト [・] キ	0049	キアケ [・] ハ
0071	ウスキシロチヨフ	0226	キタテハ
0177	ウスコモンマダ [・] ラ	0061	キチヨフ
0040	ウスハ [・] キチヨフ	0007	キハ [・] ネセセリ
0038	ウスハ [・] シロチヨフ	0041	キ [・] フチヨフ
0094	ウラキシジ [・] ミ	0230	キハ [・] リタテハ
0167	ウラキ [・] ンシジ [・] ミ	0023	キマダ [・] ラセセリ
0199	ウラキ [・] ンスジ [・] ヒョウモン	0276	キマダ [・] ラモト [・] キ
0204	ウラキ [・] ンヒョウモン	0123	キマダ [・] ラムリツハ [・] メ
0102	ウラクロシジ [・] ミ	0166	キヤムラシジ [・] ミ
0092	ウラコ [・] マダ [・] ラシジ [・] ミ	0107	キリシマミト [・] リシジ [・] ミ
0269	ウラジ [・] ヤノメ	0011	キ [・] ンイチモンジ [・] セセリ
0109	ウラジ [・] ロミト [・] リシジ [・] ミ	0206	キ [・] ンホ [・] シヒョウモン
0097	ウラナミアカシジ [・] ミ	0232	クジ [・] ヤクチヨフ
0129	ウラナミシジ [・] ミ	0202	クモカ [・] タヒョウモン
0070	ウラナミシロチヨフ	0072	クモマツマキチヨフ
0258	ウラナミシ [・] ヤノメ	0263	クモマハ [・] ニヒカク [・]
0208	ウラハ [・] ニヒョウモン(ウラハ [・] ニヒョウモンモト [・] キ	0184	クルーキ [・] ールリマダ [・] ラ
0088	イソ [・] シロチヨフ	0053	クロアケ [・] ハ
0078	イソ [・] スジ [・] グ [・] ロシロチヨフ	0285	クロコノマチヨフ
0060	イソ [・] ヒメシロチヨフ	0128	クロシジ [・] ミ
0112	イソ [・] ミト [・] リシジ [・] ミ	0036	クロセセリ
0228	イルタテハ	0161	クロツハ [・] メシジ [・] ミ
0209	オオイチモンジ [・]	0271	クロヒカケ [・]
0200	オオウラキ [・] ンスジ [・] ヒョウモン	0272	クロヒカケ [・] モト [・] キ
0205	オオウラキ [・] ンヒョウモン	0035	クロホシセセリ
0147	オオコ [・] マシジ [・] ミ	0111	クロミト [・] リシジ [・] ミ
0182	オオコ [・] マダ [・] ラ	0125	コ [・] イシシジ [・] ミ
0037	オオシロモンセセリ	0155	コ [・] イシツハ [・] メシジ [・] ミ
0027	オオチャハ [・] ネセセリ	0005	コフトフシロシタセセリ
0275	オオヒカケ [・]	0019	コキマダ [・] ラセセリ
		0281	コジ [・] ヤノメ
		0026	コチャハ [・] ネセセリ

0122 コツハ・メ
 0243 コノハチヨフ
 0198 コヒヨフモン
 0221 コヒヨフモンモト・キ
 0233 コヒオト・シ(ヒメヒオト・シ)
 0146 コ・マシジ・ミ
 0252 コ・マダ・ラチヨフ
 0214 コミスジ
 0251 コムラサキ
 0175 コモンマダ・ラ
 0224 サカハチチヨフ
 0153 ヲツマシジ・ミ
 0278 ヲトキマダ・ラヒカケ
 0227 シーダテハ
 0043 シ・ヤコウアケ・ハ
 0266 シ・ヤノメチヨフ
 0143 シ・ヨウサ・ソシジ・ミ
 0115 シ・ヨウサ・ソミト・リシジ・ミ
 0140 シルヒ・アシジ・ミ
 0135 シロウラナミシジ・ミ
 0051 シロオヒ・アケ・ハ
 0274 シロオヒ・ヒカケ
 0283 シロオヒ・ヒメヒカケ
 0188 シロオヒ・マダ・ラ
 0212 シロミスジ
 0149 スキ・タニルリシジ・ミ
 0178 スジ・ク・ロカハ・マダ・ラ
 0077 スジ・ク・ロシロチヨフ
 0179 スジ・ク・ロシロマダ・ラ(コウトマダ・ラ)
 0017 スジ・ク・ロチャハ・ネセセリ
 0066 スジ・ホ・ソヤマキチヨフ
 0250 スミナカ・シ
 0265 タ・イセツタカネヒカケ
 0101 タ・イセソシジ・ミ
 0004 タ・イミヨフセセリ
 0010 タイワソアハ・セセリ
 0171 タイワソアハ・マダ・ラ
 0062 タイワソキチヨフ
 0193 タイワソキマダ・ラ
 0154 タイワソクロホシシジ・ミ
 0082 タイワソシロチヨフ
 0160 タイワソツハ・メシジ・ミ
 0079 タイワソモンシロチヨフ
 0012 タカネキマダ・ラセセリ
 0264 タカネヒカケ
 0152 タツハ・ソルリシジ・ミ
 0238 タテハモト・キ
 0028 チャハ・ネセセリ
 0001 チャマダ・ラセセリ
 0093 チヨフセンアカシジ・ミ
 0081 チヨフセンシロチヨフ
 0156 ツシマワラホ・シシジ・ミ
 0159 ツハ・メシジ・ミ
 0073 ツマキチヨフ
 0063 ツマク・ロキチヨフ

0207 ツマク・ロヒヨフモン
 0268 ツマシ・ロウラジ・ヤノメ
 0074 ツマハ・ニチヨフ
 0187 ツマムラサキマダ・ラ
 0009 テツイロヒ・ロウト・セセリ
 0168 テソク・チヨフ
 0029 トカ・リチャハ・ネセセリ
 0116 トラフシジ・ミ
 0054 ナカ・サキアケ・ハ
 0050 ナミアケ・ハ(アケ・ハ、アケ・ハチヨフ)
 0083 ナミエシロチヨフ
 0273 ナミヒカケ
 0025 ネツタイアカセセリ
 0016 ハ・ナナセセリ
 0139 ハマヤマトシジ・ミ
 0113 ハヤシミト・リシジ・ミ
 0231 ヒスト・シチヨフ
 0106 ヒマツミト・リシジ・ミ
 0235 ヒメアカタテハ
 0032 ヒメイチモンジ・セセリ
 0039 ヒメウスハ・シロチヨフ
 0132 ヒメウラナミシジ・ミ
 0257 ヒメウラナミジ・ヤノメ
 0194 ヒメカラフトヒヨウモン
 0021 ヒメキマダ・ラセセリ
 0270 ヒメキマダ・ラヒカケ
 0042 ヒメキ・フチヨフ
 0172 ヒメコモンアサキ・マダ・ラ
 0162 ヒメシジ・ミ
 0059 ヒメシロチヨフ
 0279 ヒメジ・ヤノメ
 0002 ヒメチャマダ・ラセセリ
 0282 ヒメヒカケ
 0197 ヒヨウモンチヨフ
 0223 ヒヨウモンモト・キ
 0114 ヒロオヒ・ミト・リシジ・ミ
 0108 フジ・ミト・リシジ・ミ
 0255 フタオチヨフ
 0218 フタスジ・チヨフ
 0124 ハ・ニシジ・ミ
 0262 ハ・ニヒカケ
 0044 ハ・ニモンアケ・ハ
 0120 ハ・ニモンカラシシジ・ミ
 0018 ハリク・ロチャハ・ネセセリ
 0014 ホシチャハ・ネセセリ
 0064 ホシホ・シキチヨフ
 0219 ホシミスジ
 0015 ホソハ・セセリ
 0142 ホソイコシジ・ミ
 0261 マサキウラナミジ・ヤノメ
 0185 マサキルリマダ・ラ
 0183 マルハ・ネルリマダ・ラ
 0045 ミカド・アケ・ハ
 0216 ミスジ・チヨフ
 0099 ミス・イロオナカ・シジ・ミ

0103 ミト・リシジ・ミ
 0201 ミト・リヒヨウモン
 0176 ミナミコモンマダ・ラ
 0058 ミヤマカラスアゲ・ハ
 0119 ミヤマカラスシジ・ミ
 0163 ミヤマシジ・ミ
 0087 ミヤマシロチヨウ
 0003 ミヤマセセリ
 0030 ミヤマチャハ・ネセセリ
 0068 ミヤマモンキチヨウ
 0095 ムモンアカシジ・ミ
 0137 ムラサキオナカ・ウラナミシジ・ミ
 0090 ムラサキシジ・ミ
 0091 ムラサキツハ・メ
 0104 メスアカミト・リシジ・ミ
 0246 メスアカムラサキ
 0203 メスグ・ロヒヨウモン
 0056 モンキアゲ・ハ
 0067 モンキチヨウ
 0076 モンシロチヨウ
 0213 ヤイヤマイチモンジ
 0260 ヤイヤマウラナミジ・ヤノメ
 0248 ヤイヤムラサキ
 0150 ヤクシマルリシジ・ミ
 0065 ヤマキチヨウ
 0277 ヤマキマダ・ラヒカゲ
 0138 ヤマトシジ・ミ
 0034 ヱクレイセセリ
 0174 リユウキユウアサキ・マダ・ラ
 0259 リユウキユウウラナミジ・ヤノメ
 0157 リユウキユウウラナ・シシジ・ミ
 0280 リユウキユウヒメジ・ヤノメ
 0215 リユウキユウミスジ・(リユウキユウミスジ・)
 0247 リユウキユウムラサキ
 0121 リソコ・シジ・ミ
 0173 ルソノアサキ・マダ・ラ
 0089 ルーミスジ・ミ
 0134 ルリウラナミシジ・ミ
 0148 ルリシジ・ミ
 0229 ルリタテハ

